

練馬区高齢者基礎調査等 報告書

平成 29 年（2017 年）3 月



目 次

I 高齢者基礎調査	1
I-1 調査概要	3
I-2 調査結果の詳細	7
1 回答者の基本属性	7
(1) 調査票の記入者	7
(2) 性別	7
(3) 年齢	8
(4) 居住地区	9
(5) 世帯の状況	10
(6) 暮らし向き	13
2 日常生活の状況	16
(1) からだを動かすこと	16
(2) 食べること	20
(3) 自立状況	22
(4) 成年後見制度	26
(5) 日常生活で困った場合の相談先	30
(6) 将来の不安	31
(7) 老後を楽しく生きていくために必要なもの	32
(8) 健康や保健福祉の情報の入手方法	34
(9) パソコン等の情報通信機器の使用状況	35
(10) 今後力を入れてほしい高齢者施策	37
3 住まい	38
(1) 住居形態	38
(2) 住居の所有形態	38
(3) 住まいで改修したいところ	39
(4) ケア付き住まい	40
(5) 多様な老後の住まい方	43
4 医療・健康	45
(1) かかりつけ医等の状況	45
(2) 医療の受診状況	46
(3) 在宅療養	47
(4) 認知症の診断状況	51
(5) 健康	52
5 介護予防	59
(1) 介護予防の取組	59
(2) 参加しやすい介護予防事業	61
6 社会参加	68
(1) 高齢者だと思ふ年齢	68
(2) 就労状況	69
(3) 運動やスポーツの取組状況	72
(4) 外出状況	73
7 地域活動と地域とのつながり	80
(1) 地域活動への参加状況	80
(2) 地域づくりの推進	84
(3) 周囲の人とのたすけあい	86
(4) 近所付き合いの程度	92
(5) 近所付き合いや地域住民の交流の必要性	92

(6) 手助け.....	93
8 高齢者相談センター.....	95
(1) 高齢者相談センターの認知度.....	95
(2) 高齢者相談センターに期待する役割.....	96
(3) 高齢者の虐待.....	97
(4) 認知症.....	99
9 介護.....	101
(1) 要介護認定の状況.....	101
(2) 介護保険サービス.....	103
(3) 支給限度額に対する介護サービスの利用.....	111
(4) ケアマネジャーに対する満足度.....	112
(5) 新しい総合事業の住民サービスの利用意向.....	113
(6) 介護保険サービスの利用による変化.....	114
(7) 介護保険料と介護サービスの利用料.....	117
(8) 高齢者保健福祉施策や介護保険に関する主な意見・要望（自由回答）.....	119
10 特別養護老人ホーム入所申込みの状況.....	123
(1) 現在の生活場所.....	123
(2) 医療処置の状況.....	124
(3) 最初に特別養護老人ホームの入所を申し込んだ時期からの待機年数.....	125
(4) 入所したい特別養護老人ホームのタイプ.....	125
(5) 特別養護老人ホームの申込み状況.....	127
(6) 特別養護老人ホーム以外の入所申込みの状況.....	130
(7) 入所申し込み後に欲しい情報（連絡）.....	132
(8) 入所申し込みをした特別養護老人ホームを選択した理由.....	133
(9) 特別養護老人ホームを申し込んだ理由.....	134
(10) 特別養護老人ホームに期待すること.....	135
(11) 区外の特別養護老人ホーム入所申込み状況.....	136
(12) 申し込んでいる特別養護老人ホームから連絡がきた場合の対応.....	137
(13) サービス等の充実による在宅生活の継続希望.....	140
(14) ショートステイの利用状況.....	142
11 入所施設の状況.....	144
(1) 入所期間.....	144
(2) 入所前の住居の状況.....	144
(3) 施設への入所前後での要介護度の変化.....	144
(4) 施設入所者の特別養護老人ホームへの申込み状況.....	145
(5) 入所施設の状況.....	147
12 家族介護の状況.....	154
(1) 主な介護者.....	154
(2) 主な家族介護者の属性.....	154
(3) 介護期間.....	157
(4) 介護者の就労状況.....	158
(5) 介護以外の負担の状況.....	159
(6) 介護サービス利用時の家族介護者の感じ方.....	160
(7) 家族介護者の負担や困りごと.....	161
(8) 介護をされていてつらい時の相談先.....	162
(9) 介護者が希望する自身の将来の姿.....	163
(10) 施設に申し込んだ理由（主な家族介護者）.....	164
(11) 家族介護者が施設に期待すること.....	165
13 介護サービス事業所調査.....	166
(1) 事業所の概要.....	166

(2) 従業員数	167
(3) 利用者数	168
(4) 居宅介護支援事業所の考え	171
(5) 苦情対応	181
(6) サービスの質の向上	182
(7) 事業所の運営	184
(8) 新しい総合事業	192
(9) 地域との関わり	194
(10) 人材の確保・育成	197
(11) 平成 27 年介護保険制度改正による影響	213
(12) 介護保険および高齢者保健福祉施策について、利用者から寄せられた主な意見（自由回答）	214
(13) 介護保険制度に対する主な要望・意見（自由回答）	214
II 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	217
II-1. 調査概要	219
II-2. 調査結果の詳細	220
III 在宅介護実態調査	229
III-1. 調査概要	231
III-2. 調査結果の詳細（単純集計結果）	233
1 基本調査項目（A票）	233
(1) 世帯類型	233
(2) 家族等による介護の頻度	233
(3) 主な介護者の年齢	234
(4) 介護のための離職の有無	234
(5) 施設等検討の状況	235
2 主な介護者に関する調査項目（B票）	236
(1) 主な介護者の勤務形態	236
(2) 主な介護者の働き方の調整状況	236
(3) 主な介護者の就労継続の可否に係る意識	237
(4) 今後の在宅生活の継続に向けて、主な介護者が不安に感じる介護	237
3 要介護認定データ	238
(1) 年齢	238
(2) 性別	238
(3) 二次判定結果（要介護度）	239
(4) サービス利用の組み合わせ	239
(5) 訪問系サービスの合計利用回数	240
(6) 通所系サービスの合計利用回数	240
(7) 短期系サービスの合計利用回数	241
(8) 障害高齢者の日常生活自立度	241
(9) 認知症高齢者の日常生活自立度	242
III-3. 調査結果の詳細（クロス集計結果）	243
1 サービス利用状況等と介護者が不安に感じる介護	243
(1) 基礎集計	243
(2) 要介護度・認知症自立度の重度化に伴う「主な介護者が不安に感じる介護」の変化	244
(3) 要介護度・認知症自立度の重度化に伴う「サービス利用の組み合わせ」の変化	246
(4) 「サービス利用の組み合わせ」と「施設等検討の状況」の関係	247
(5) 「サービス利用の組み合わせ」と「主な介護者が不安に感じる介護」の関係	248
(6) 「サービス利用の回数」と「施設等検討の状況」の関係	250
(7) 「サービス利用の回数」と「主な介護者が不安に感じる介護」の関係	253

2	主な介護者の就労状況と就労継続見込み	259
(1)	基本集計	259
(2)	就労状況別の就労継続見込み	261
(3)	「就労継続見込み」と「主な介護者が不安に感じる介護」の関係	263
(4)	「サービス利用の組み合わせ」と「就労継続見込み」の関係	264
(5)	就労状況別の施設等検討の状況	265
(6)	就労状況別の介護のための働き方の調整	266
3	世帯類型別のサービス利用や施設等の検討状況	268
(1)	基礎集計	268
(2)	「世帯類型別・要介護度別」の「家族等による介護の頻度」	269
(3)	「要介護度別・認知症自立度別」の「世帯類型別のサービス利用の組み合わせ」	271
(4)	「要介護度別・認知症自立度別」の「世帯類型別の施設等検討の状況」	273
IV	施設整備調査	277
IV-1	調査概要	279
IV-2	調査結果の詳細	280
1	特別養護老人ホーム	280
2	ショートステイ	282
3	介護老人保健施設	283
4	介護付き有料老人ホーム	284
5	サービス付き高齢者向け住宅	285
6	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	286
7	夜間対応型訪問介護	289
8	地域密着型通所介護	292
9	(介護予防) 認知症対応型通所介護	295
10	(介護予防) 小規模多機能型居宅介護・看護小規模多機能型居宅介護	298
11	(介護予防) 認知症対応型共同生活介護	301
12	都市型軽費老人ホーム 《参考》	304
V	参考資料	305

I

高齡者基礎調查

I-1. 調査概要

1 調査の目的

平成30年度を計画の始期とする第7期練馬区高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定のための基礎資料を得ることを目的とし、以下の各調査を実施した。

調査種別	調査の目的
①高齢者一般調査	生活状況、介護予防、社会参加等に関する実態や意向を把握するための基礎資料を得る。
②要支援・要介護認定者調査	介護サービスの利用状況・利用意向等の把握により、今後の介護サービス量を推計するための基礎資料を得る。
③これから高齢期を迎える方の調査	高齢者の保健福祉施策の10年後を見据え、生活状況、介護予防、社会参加等に関する実態や意向を把握するための基礎資料を得る。
④特別養護老人ホーム入所待機者調査	特別養護老人ホーム入所待機者の生活状況、今後の入所意向等の把握により、今後の施設整備、居宅サービス量を推計するための基礎資料を得る。
⑤介護サービス事業所調査	介護サービス事業の現状、介護人材の育成・確保の状況、介護保険制度の見直し等に関する要望等を把握するための基礎資料を得る。
⑥施設入所者調査	施設入所者の生活状況、今後の生活場所の意向等の把握により、今後の施設整備、居宅サービス量を推計するための基礎資料を得る。

2 調査方法

調査種別	調査方法
①高齢者一般調査	郵送法（郵送配付・郵送回収）
②要支援・要介護認定者調査	
③これから高齢期を迎える方の調査	
④特別養護老人ホーム入所待機者調査	【ご自宅にお住まいの練馬区特別養護老人ホーム入所基準の指数が 13 ポイント以上の方】 高齢者相談センター職員の訪問配付・郵送回収 【その他の方】 郵送法（郵送配付・郵送回収）
⑤介護サービス事業所調査	郵送法（郵送配付・郵送回収）
⑥施設入所者調査	施設宛てに郵送法（郵送配付・郵送回収）

3 調査対象

- 調査基準日を平成 28 年 12 月 1 日として、抽出等を行った。
- 各調査の調査対象者は、④特別養護老人ホーム入所待機者調査、⑤介護サービス事業所調査、⑥施設入所者調査を除き住民基本台帳から無作為抽出した。
- 無作為抽出は、調査間での対象者の重複を避け、所定の人数を抽出した。

調査種別	調査対象
①高齢者一般調査	介護保険の認定を受けていない 65 歳以上の区民から無作為に 2,300 人を抽出した（総合事業対象者を含まない）。
②要支援・要介護認定者調査	介護保険の認定を受けている 65 歳以上の区民から無作為に 5,000 人を抽出した（総合事業対象者を含む）。
③これから高齢期を迎える方の調査	介護保険の認定を受けていない 55～64 歳の区民から無作為に 800 人を抽出した。
④特別養護老人ホーム入所待機者調査	特別養護老人ホーム入所待機者の方全員 1,339 人を対象とした。
⑤介護サービス事業所調査	介護サービスを提供している区内の全事業所 980 事業所を対象とした。
⑥施設入所者調査	有料老人ホーム（特定施設のみ）、サービス付き高齢者向け住宅、認知症高齢者グループホームに入所している 65 歳以上の区民を対象とした。

4 調査期間

調査種別	調査期間
①高齢者一般調査	平成 28 年 12 月 9 日～平成 28 年 12 月 26 日
②要支援・要介護認定者調査	
③これから高齢期を迎える方の調査	
④特別養護老人ホーム入所待機者調査	【訪問調査】平成 28 年 12 月 12 日～平成 29 年 1 月 13 日 【郵送調査】平成 28 年 12 月 9 日～平成 29 年 1 月 13 日
⑤介護サービス事業所調査	平成 28 年 12 月 9 日～平成 28 年 12 月 26 日
⑥施設入所者調査	平成 28 年 12 月 9 日～平成 29 年 1 月 13 日

5 回収状況

調査種別	発送数	回収数	回収率	有効回収数	有効回収率
①高齢者一般調査	2,300	1,495	65.0%	1,494	65.0%
②要支援・要介護認定者調査	5,000	2,833	56.7%	2,824	56.5%
③これから高齢期を迎える方の調査	800	383	47.9%	383	47.9%
④特別養護老人ホーム入所待機者調査	1,339	568	42.4%	479	35.8%
13ポイント以上	168	55	32.7%	47	28.0%
12ポイント以下	1,171	513	43.8%	432	36.9%
⑤介護サービス事業所調査	980	599	61.1%	599	61.1%
⑥施設入所者調査	—	622	—	622	—

※ ⑥施設入所者調査は、調査対象の区内 94 施設へ調査票を送付し、入所している練馬区民への配付および回収について、施設へ協力を依頼して調査した

6 報告書を利用するにあたって

- 図・表中のnとは、基数となる実数のことである。
- 回答はnを100%として百分率で算出してある。小数点以下第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が全体を示す数値と一致しないことがある。
- 図・表中の「—」は回答者が皆無のものである。
- 複数回答ができる質問では、回答比率の合計が100%を超える。
- 複数の回答選択肢を1つにまとめて分析する場合（例えば、「とてもよい」と「まあよい」を合算し、「よい」として分析する場合）、回答選択肢ごとの比率を合計した数値と、1つにまとめた比率の数値が異なる場合がある。これは四捨五入する際に生じた差異である。
- 質問において、性別、年齢別、要介護度別など調査対象者の基本属性を中心としたクロス集計結果の図・表については、基本属性等に「無回答」があるため、全体の示す数値と一致しない。
- 図・表において、回答の選択肢表記を簡略化している場合がある。
- 図・表中では、各対象の調査名を下記のように記載する。

調査種別	記載名
①高齢者一般調査	高齢者一般
②要支援・要介護認定者調査	要介護認定者
③これから高齢期を迎える方の調査	これから高齢期
④特別養護老人ホーム入所待機者調査	【特養入所待機者】 全体
練馬区特別養護老人ホーム入所基準の指数 13 ポイント以上	13 ポイント以上
練馬区特別養護老人ホーム入所基準の指数 12 ポイント以下	12 ポイント以下
⑤介護サービス事業所調査	介護サービス事業所
⑥施設入所者調査	施設入所者

○クロス集計の図・表中では、居住地区の住所表記を下記のように記載する。

選択肢	記載名
旭丘1～2丁目、小竹町1～2丁目、栄町、羽沢1～3丁目、豊玉上1～2丁目、豊玉中1～4丁目、豊玉南1～3丁目、豊玉北1～6丁目、中村1～3丁目、中村南1～3丁目、中村北1～4丁目、桜台1～6丁目、練馬1～4丁目、向山1～4丁目、貫井1～5丁目	練馬
錦1～2丁目、氷川台1～4丁目、平和台1～4丁目、早宮1～4丁目、春日町1～6丁目、高松1～6丁目、北町1～8丁目、田柄1～5丁目、光が丘1～7丁目、旭町1～3丁目、土支田1～4丁目	光が丘
富士見台1～4丁目、南田中1～5丁目、高野台1～5丁目、谷原1～6丁目、三原台1～3丁目、石神井町1～8丁目、石神井台1～8丁目、下石神井1～6丁目、関町北1～5丁目、関町南1～4丁目、上石神井町南町、立野町、上石神井1～4丁目、関町東1～2丁目	石神井
東大泉1～7丁目、西大泉1～6丁目、南大泉1～6丁目、大泉町1～6丁目、大泉学園町1～9丁目、西大泉町	大泉

○クロス集計の図・表中では、サービス種別の選択肢表記を下記のように記載する。

選択肢	記載名
居宅介護支援、居宅療養管理指導	居宅介護支援
訪問介護、訪問入浴介護、訪問看護、訪問リハビリテーション	訪問系
通所介護、通所リハビリテーション、地域密着型通所介護※	通所系
介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設、短期入所生活介護、短期入所療養介護	入所系
定期巡回・随時対応型訪問介護看護、夜間対応型訪問介護、認知症対応型通所介護、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護、認知症高齢者グループホーム	地域密着型サービス
福祉用具貸与・販売	福祉用具貸与・販売
特定施設入居者生活介護	特定施設入居者生活介護

※ サービス分類としては地域密着型サービスだが、通所系として集計した

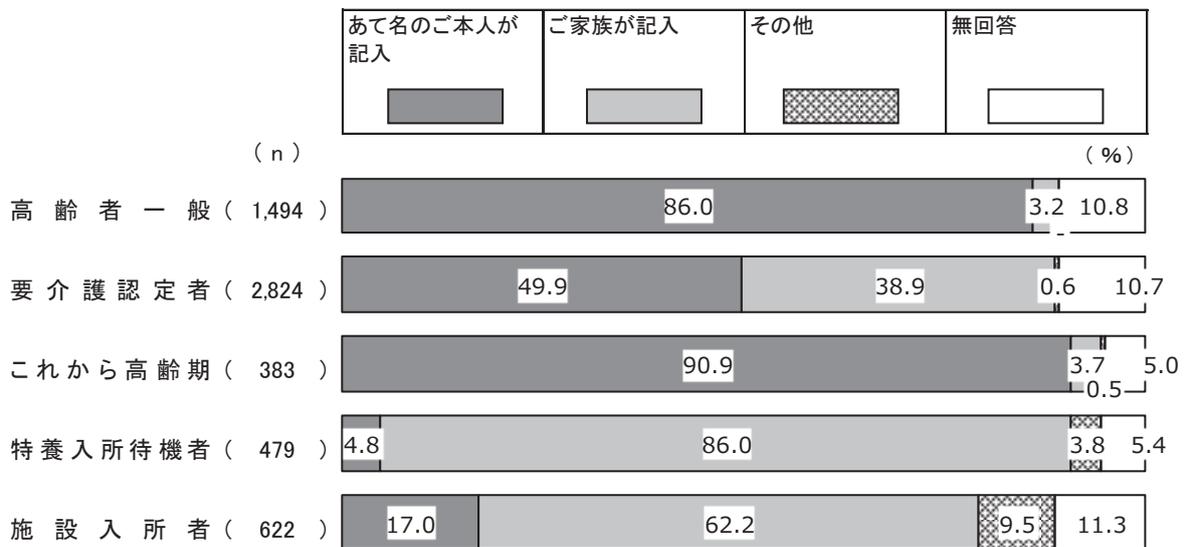
I-2. 調査結果の詳細

1 回答者の基本属性

(1) 調査票の記入者

- 調査票の記入者は、高齢者一般、これから高齢期ともに「あて名のご本人が記入」が最も高く、高齢者一般が86.0%、これから高齢期が90.9%と約8割半ば～9割を占めている。
- 要介護認定者では、「あて名のご本人が記入」が49.9%で最も高く、次いで「ご家族が記入」が38.9%で続いている。
- 特養入所待機者、施設入所者では、「ご家族が記入」が最も高く、特養入所待機者が86.0%、施設入所者が62.2%となっている。

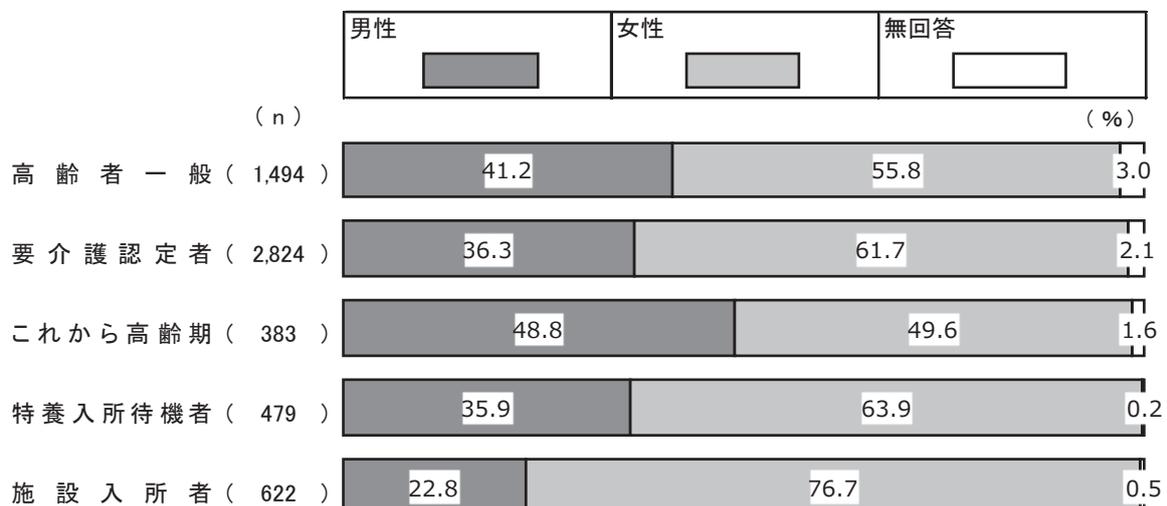
■調査票の記入者



(2) 性別

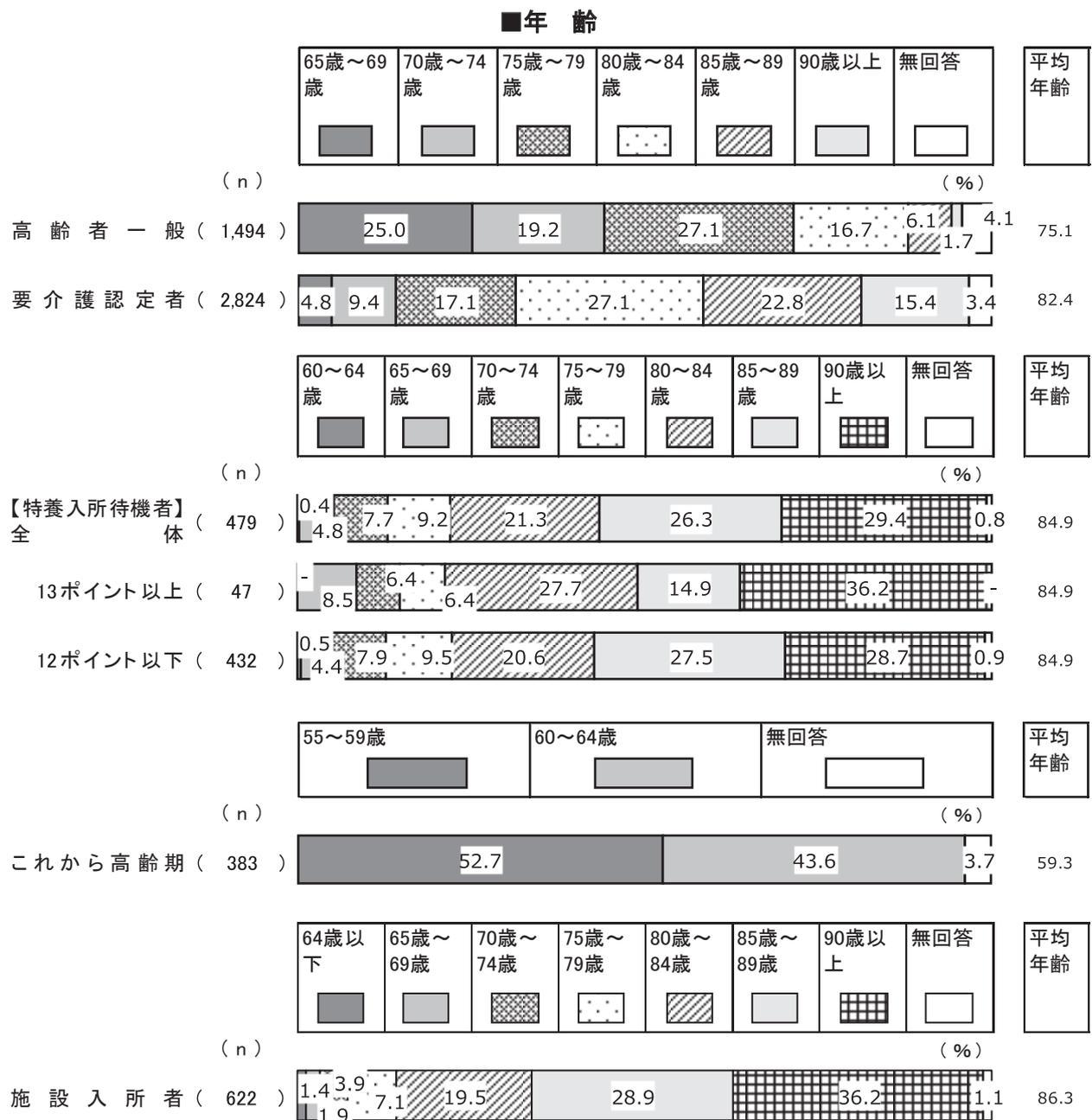
- 高齢者一般では、「男性」が41.2%、「女性」が55.8%、これから高齢期では、「男性」が48.8%、「女性」が49.6%となっている。
- 要介護認定者、特養入所待機者、施設入所者では、「女性」の割合が高く、それぞれ約6～7割半ばとなっている。

■性別



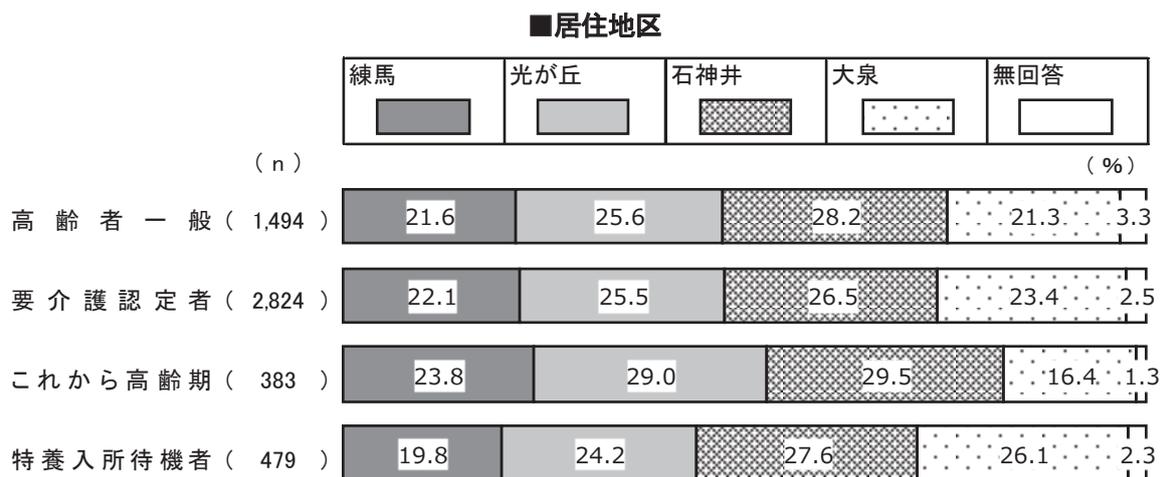
(3) 年齢

- 高齢者一般では「75～79歳」が最も高く27.1%で、平均年齢は75.1歳である。
- 要介護認定者では「80～84歳」が最も高く27.1%で、平均年齢は82.4歳である。
- 特養入所待機者では「90歳以上」が最も高く29.4%で、平均年齢は84.9歳である。
- これから高齢期では、「55～59歳」が52.7%、「60～64歳」が43.6%で、平均年齢は59.3歳である。
- 施設入所者は、「90歳以上」が最も高く36.2%で、平均年齢は86.3歳である。



(4) 居住地区

- 高齢者一般では、「練馬」が21.6%、「光が丘」が25.6%、「石神井」が28.2%、「大泉」が21.3%となっている。
- 要介護認定者では、「練馬」が22.1%、「光が丘」が25.5%、「石神井」が26.5%、「大泉」が23.4%となっている。
- これから高齢期では、「練馬」が23.8%、「光が丘」が29.0%、「石神井」が29.5%、「大泉」が16.4%となっている。
- 特養入所待機者では、「練馬」が19.8%、「光が丘」が24.2%、「石神井」が27.6%、「大泉」が26.1%となっている。

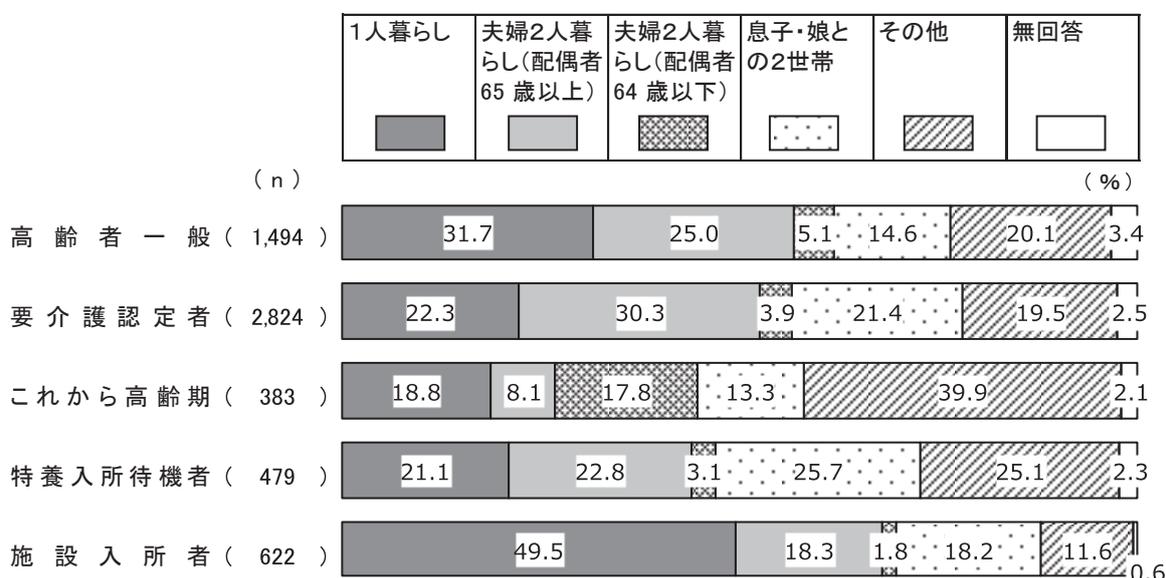


(5) 世帯の状況

① 世帯構成

- 高齢者一般では、「1人暮らし」が31.7%、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が25.0%、「夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）」が5.1%、「息子・娘との2世帯」が14.6%であった。
- 要介護認定者では、「1人暮らし」が22.3%、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が30.3%、「夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）」が3.9%、「息子・娘との2世帯」が21.4%であった。
- これから高齢期では、「1人暮らし」が18.8%、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が8.1%、「夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）」が17.8%、「息子・娘との2世帯」が13.3%であった。
- 特養入所待機者では、「1人暮らし」が21.1%、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が22.8%、「夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）」が3.1%、「息子・娘との2世帯」が25.7%であった。
- 施設入所者の入所前の世帯構成は、「1人暮らし」が49.5%、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が18.3%、「夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）」が1.8%、「息子・娘との2世帯」が18.2%であった。

■世帯構成 <<ニーズ調査>>



【高齢者一般】 【要介護認定者】

○年代別にみると、高齢者一般、要介護認定者ともに『前期高齢者』は子どもが「いない」が2割超で、『後期高齢者』と比べて高い。

■子どもの有無

<高齢者一般：年代別>

	n	有無 (%)		
		いる	いない	無回答
高齢者一般	1,494	81.1	16.1	2.7
前期高齢者(65-74歳)	661	77.8	22.2	-
後期高齢者(75歳以上)	771	88.2	11.5	0.3

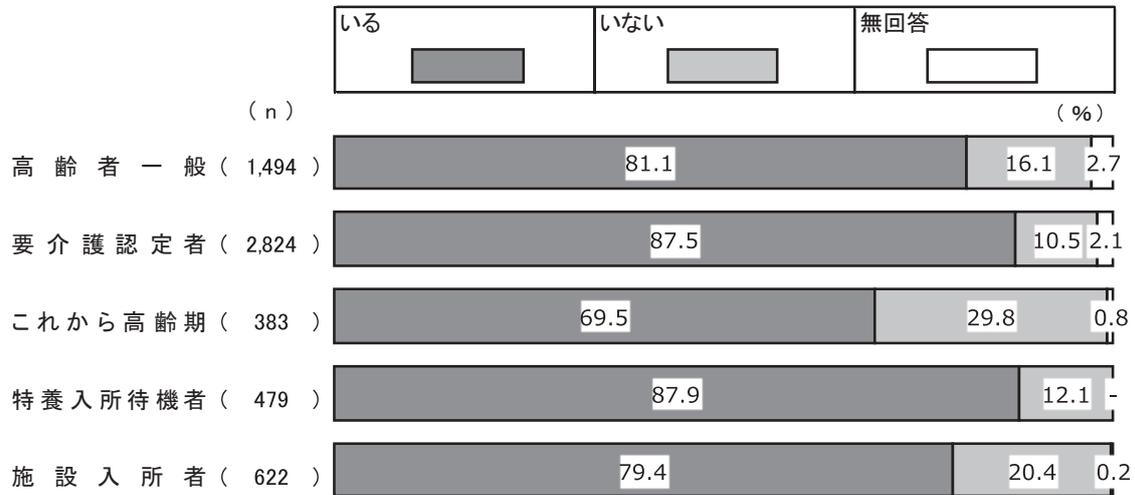
<要介護認定者：年代別>

	n	有無 (%)		
		いる	いない	無回答
要介護認定者	2,824	87.5	10.5	2.1
前期高齢者(65-74歳)	401	78.1	21.7	0.2
後期高齢者(75歳以上)	2,328	90.8	8.8	0.4

② 子どもの有無

- 高齢者一般、要介護認定者、特養入所待機者、施設入所者では「いる」が約8～9割となっている。
- これから高齢期では、「いない」が約3割となっている。

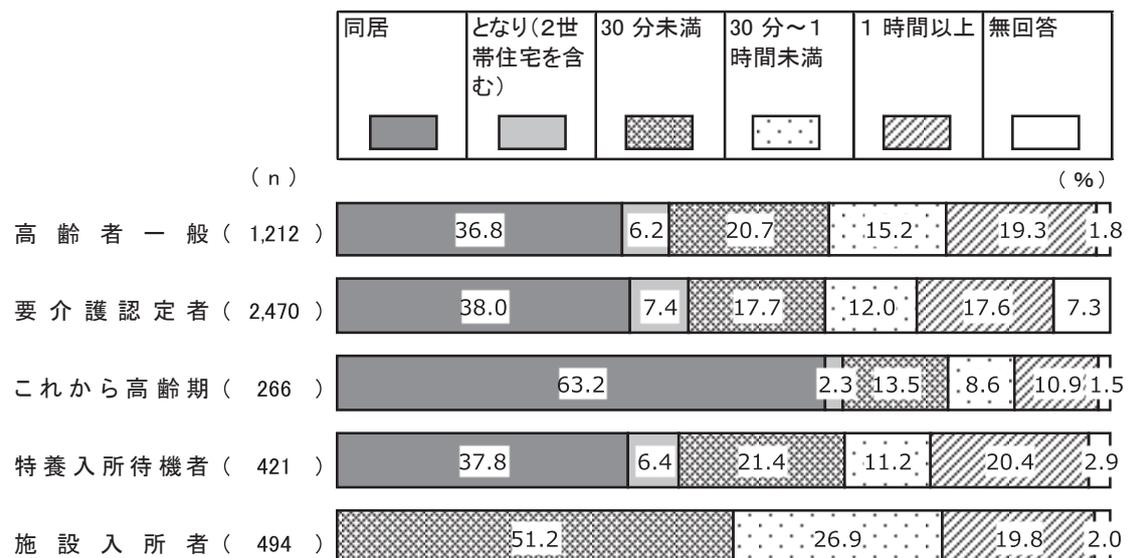
■子どもの有無



③ 子どもとの距離

- 子どもが「いる」と回答した人の最も日頃よく行き来している子どもの家は、高齢者一般、要介護認定者、特養入所待機者で「同居」がそれぞれ3割半ばから4割近くで最も高く、「同居」と「となり」「30分未満」を合わせた“30分未満”が6割超となっている。「1時間以上」はそれぞれ約2割となっている。
- これから高齢期では、「同居」が63.2%で最も高い。
- 施設入所者では、「30分未満」が51.2%で最も高い。

■子どもとの距離

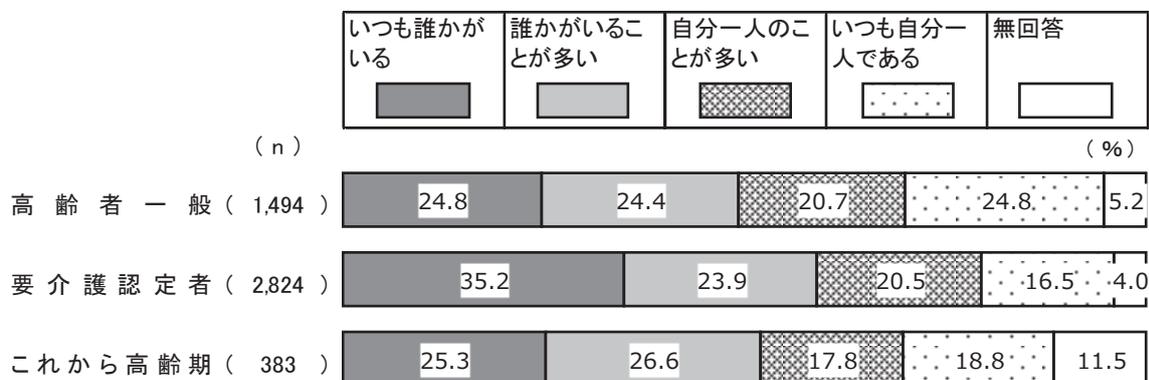


※ 施設入所者は、「同居」「となり(2世帯住宅を含む)」は聞いていない

④ 日中独居の状況

- 高齢者一般では、「いつも自分一人である」(24.8%)と「自分一人のことが多い」(20.7%)と合わせた、「日中独居」は4割半ばとなっている。
- 要介護認定者では、「いつも誰かがいる」が35.2%で最も高い。「日中独居」は4割近くとなっている。
- これから高齢期では、「日中独居」は3割半ばとなっている。

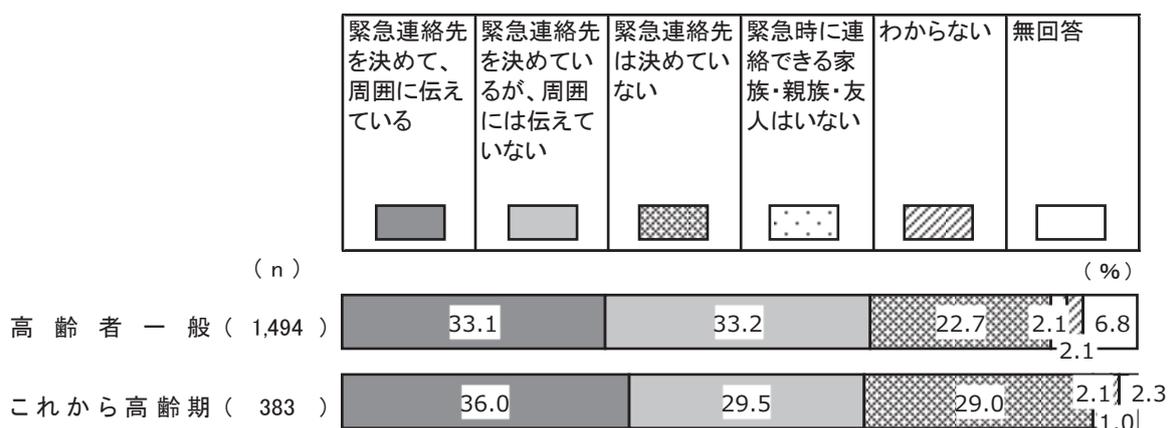
■日中独居の状況



⑤ 緊急連絡先の有無

- 高齢者一般では、「緊急連絡先を決めて、周囲に伝えている」が33.1%、「緊急連絡先を決めているが、周囲には伝えていない」が33.2%となっている。「緊急連絡先は決めていない」は2割超となっている。
- これから高齢期では、「緊急連絡先を決めて、周囲に伝えている」が36.0%、「緊急連絡先を決めているが、周囲には伝えていない」が29.5%となっている。「緊急連絡先は決めていない」は約3割となっている。

■緊急連絡先の有無

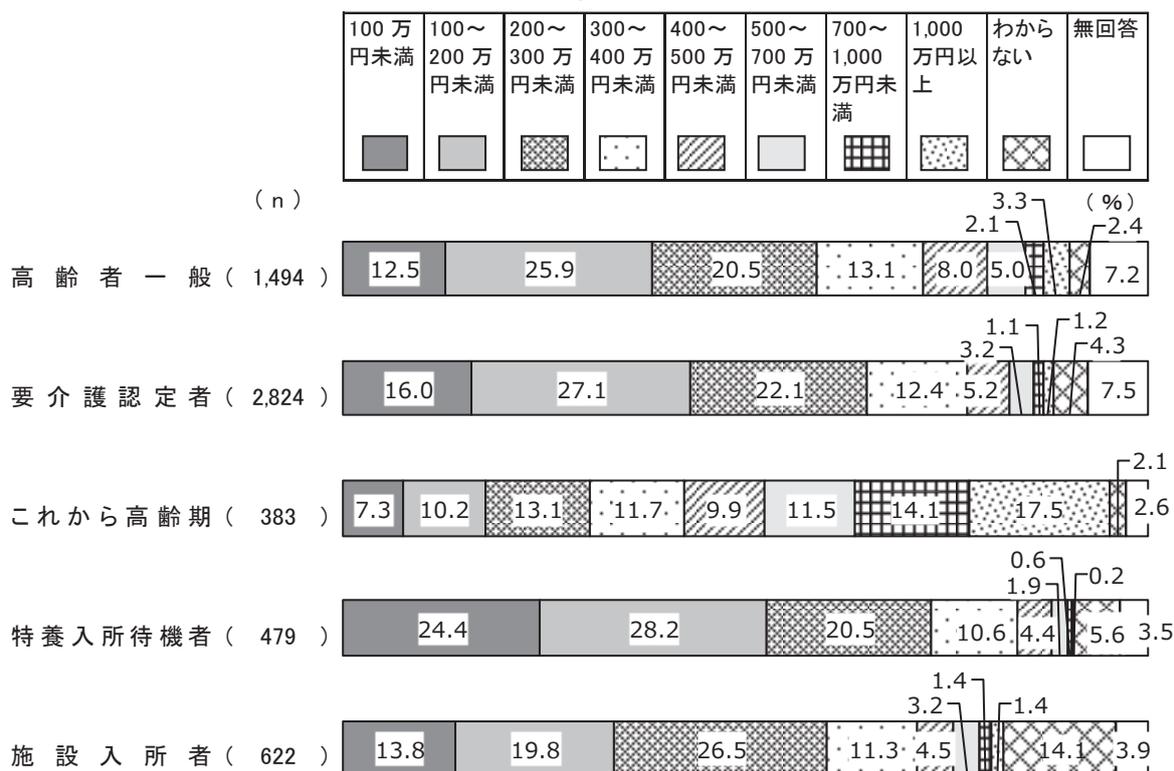


(6) 暮らし向き

① 世帯の年収

- 高齢者一般、要介護認定者では、「100～200万円未満」が最も高く、それぞれ25.9%、27.1%となっている。「300万円未満」（「100万円未満」～「200～300万円未満」の合計）が約6割～6割半ばとなっている。
- これから高齢期では、「300万円以上」（「300～400万円未満」～「1,000万円以上」の合計）が6割半ばとなっている。
- 特養入所待機者では、「100万円未満」が24.4%と他の対象者よりも高く、「300万円未満」が7割超となっている。
- 施設入所者では、「300万円未満」が約6割となっている。

■世帯の年収



【高齢者一般】

- 経済状況別にみると、『苦しい・大変苦しい』では「200万円未満」（「100万円未満」と「100～200万円未満」の合計）が約6割、『ややゆとりがある・ゆとりがある』では「500万円以上」（「500～700万円未満」～「1,000万円以上」の合計）が4割半ばとなっている。

■世帯の年収<高齢者一般：経済状況別>

	(n)	100万円未満	100～200万円未満	200～300万円未満	300～400万円未満	400～500万円未満	500～700万円未満	700～1,000万円未満	1,000万円以上	わからない	無回答
高齢者一般	1,494	12.5	25.9	20.5	13.1	8.0	5.0	2.1	3.3	2.4	7.2
苦しい・大変苦しい	541	21.6	37.5	20.0	7.9	3.7	0.9	0.2	0.2	2.6	5.4
ふつう	747	8.4	23.6	24.6	16.6	9.8	6.4	1.6	2.4	2.7	3.9
ややゆとりがある・ゆとりがある	150	2.0	4.0	8.7	18.7	18.0	14.0	12.0	20.0	1.3	1.3

【要介護認定者】

○経済状況別にみると、『苦しい・大変苦しい』では“200万円未満”が6割超、『ややゆとりがある・ゆとりがある』では“500万円以上”が約3割となっている。

■世帯の年収<要介護認定者：経済状況別>

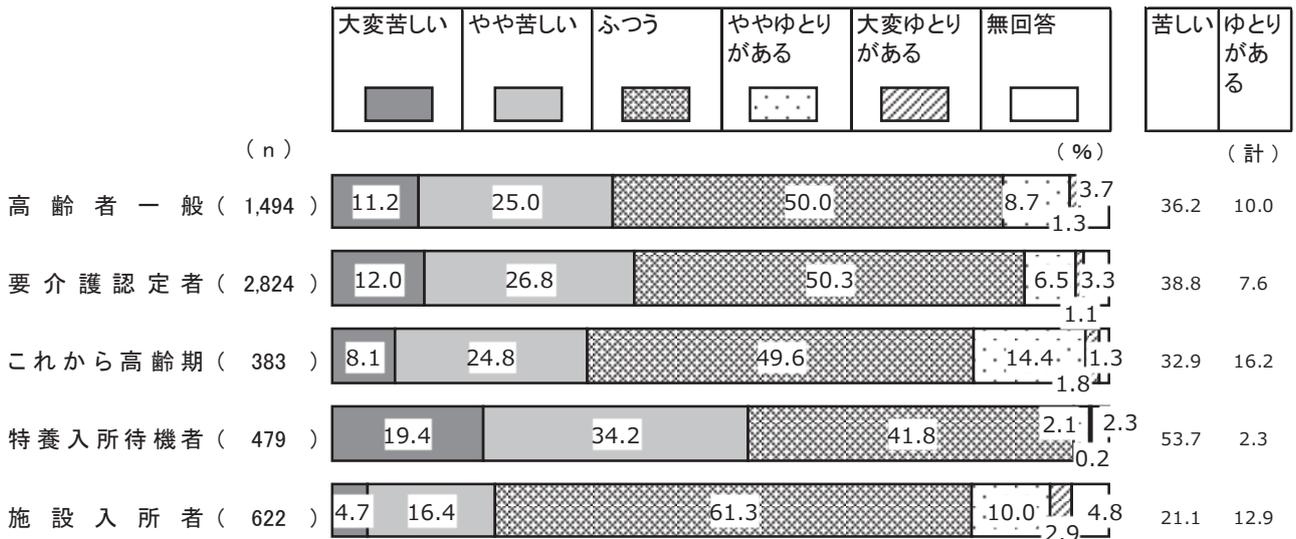
	n	(%)									
		万1円0未満	万21円00未満	万32円00未満	万43円00未満	万54円00未満	万75円00未満	万170円00未満	万170円00以上	わからない	無回答
要介護認定者	2,824	16.0	27.1	22.1	12.4	5.2	3.2	1.1	1.2	4.3	7.5
苦しい・大変苦しい	1,097	25.3	36.3	19.5	6.3	1.9	1.1	0.1	-	5.0	4.6
ふつう	1,420	11.2	24.0	26.2	17.0	7.0	3.4	1.2	0.8	3.7	5.6
ややゆとりがある・ゆとりがある	214	3.3	9.8	17.3	16.8	12.1	13.6	6.5	10.7	6.1	3.7

② 暮らし向きの感じ方

○「大変苦しい」と「やや苦しい」を合わせた“苦しい”と回答した人は、高齢者一般が36.2%、要介護認定者が38.8%、これから高齢期が32.9%、特養入所待機者が53.7%、施設入所者が21.1%となっている。

○いずれの調査においても「ふつう」が最も高く、約4～6割超となっている。

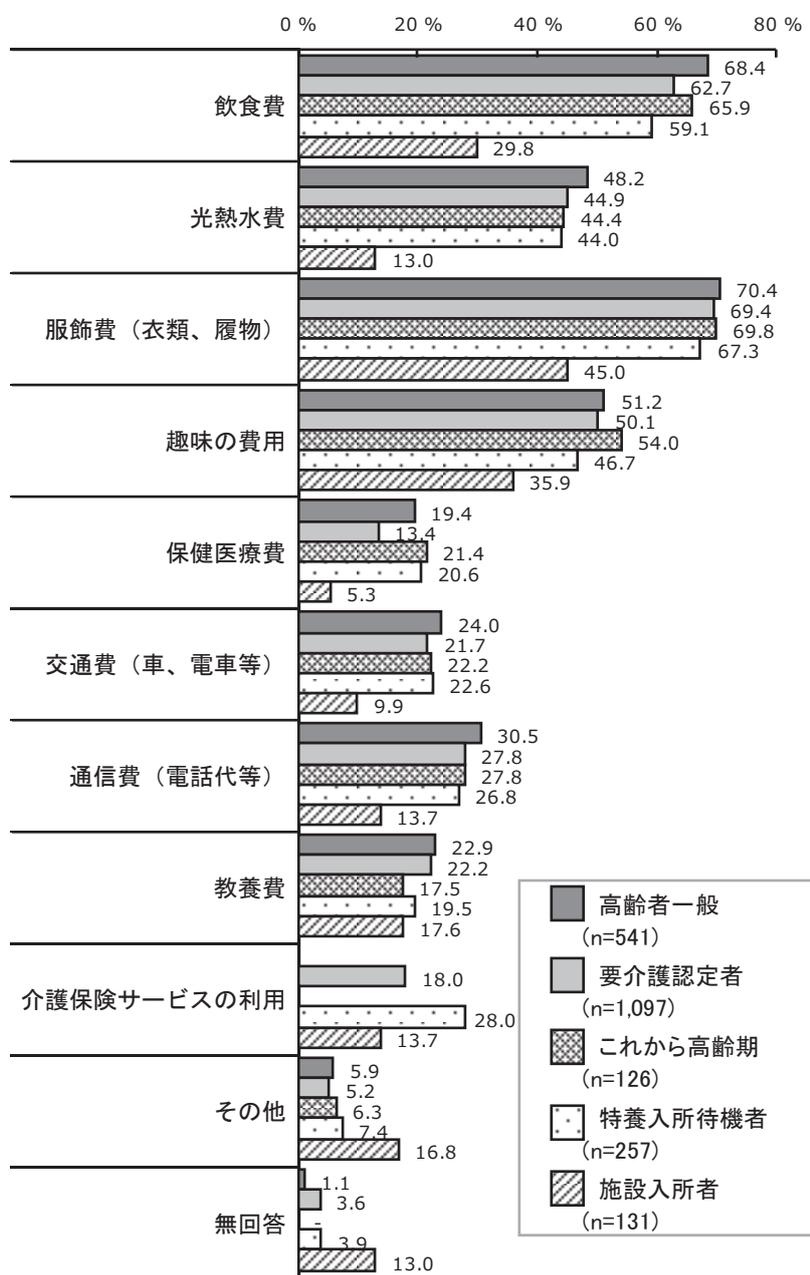
■暮らし向きの感じ方 <<ニーズ調査>>



③ 暮らし向きが苦しい場合に節約するもの

○ “苦しい” と回答した人が節約するものは、いずれの調査においても、「服飾費」が最も高く、高齢者一般、要介護認定者、これから高齢期、特養入所待機者では約7割となっている。高齢者一般、要介護認定者、これから高齢期、特養入所待機者では、次いで「飲食費」「趣味の費用」「光熱水費」と続いている。

■暮らし向きが苦しい場合に節約するもの（複数回答）



※ 高齢者一般、これから高齢期では、「介護保険サービスの利用」は聞いていない

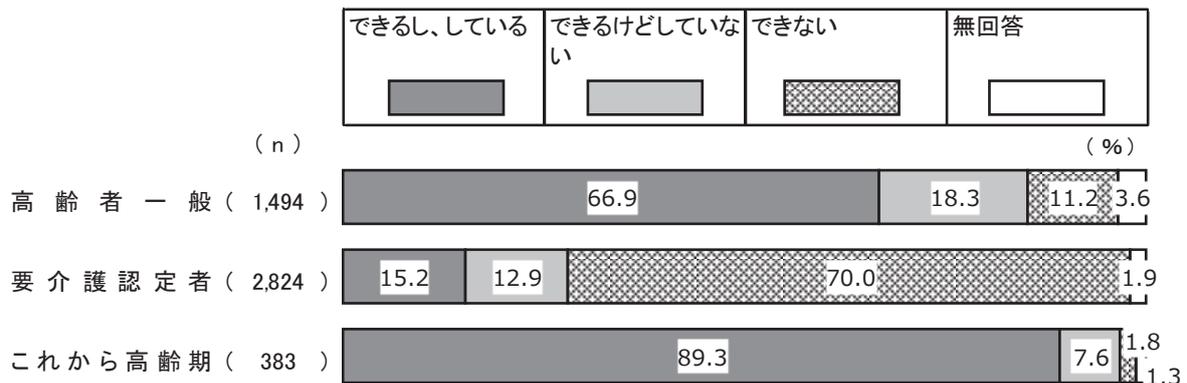
2 日常生活の状況

(1) からだを動かすこと

① 階段を手すりや壁をつたわずに昇ること

○階段や手すりを壁をつたわずに昇ることが“できる”（「できるし、している」と「できるけどしていない」の合計）と回答した人は、高齢者一般で 85.1%、要介護認定者で 28.1%、これから高齢期で 96.9%となっている。

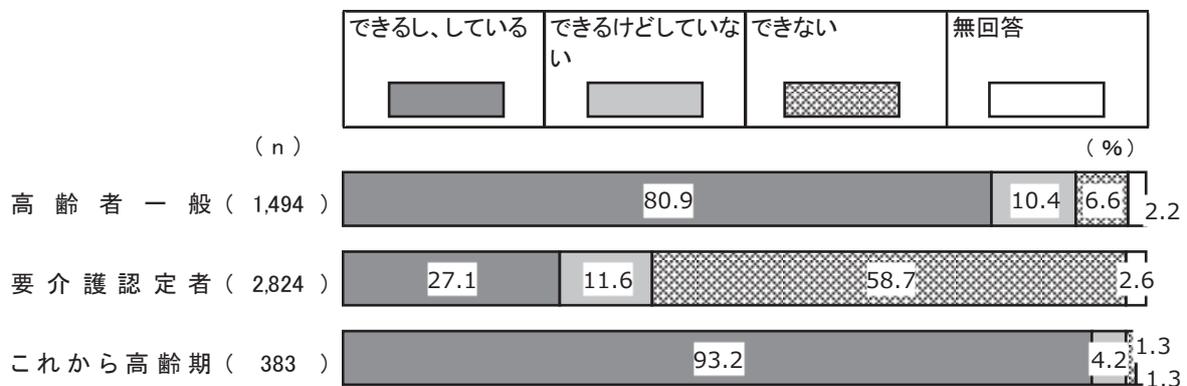
■階段を手すりや壁をつたわずに昇ること 《ニーズ調査》



② 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がること

○椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がることが“できる”と回答した人は、高齢者一般で 91.2%、要介護認定者で 38.7%、これから高齢期で 97.4%となっている。

■椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がること 《ニーズ調査》

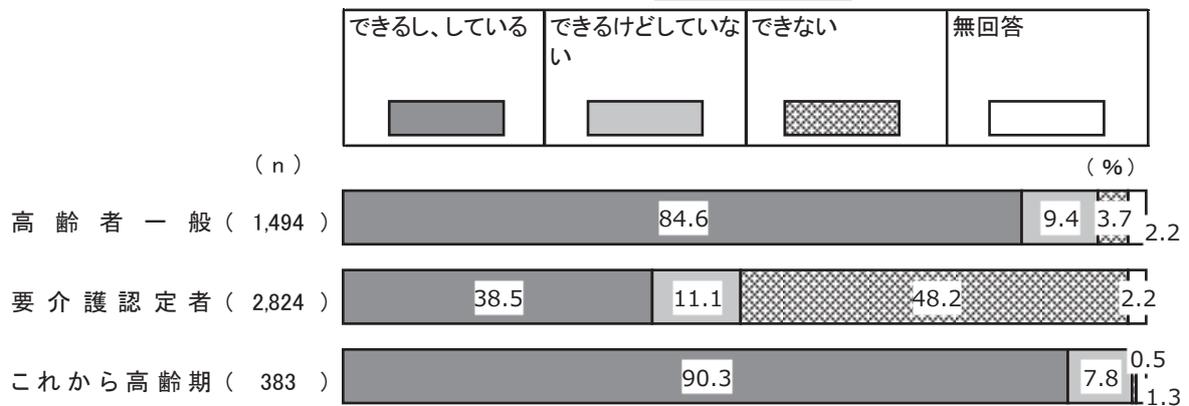


※ 《ニーズ調査》とは、『介護予防・日常生活圏域ニーズ調査』として国が示した調査項目を指す。第Ⅱ章では、国が指定している調査対象者（要支援1・2の認定を受けている方、総合事業対象者、要支援・要介護認定を受けていない方）に限定して再集計した結果を掲載している

③ 15分続けて歩くこと

○15分続けて歩くことが“できる”と回答した人は、高齢者一般で94.0%、要介護認定者で49.6%、これから高齢期で98.2%となっている。

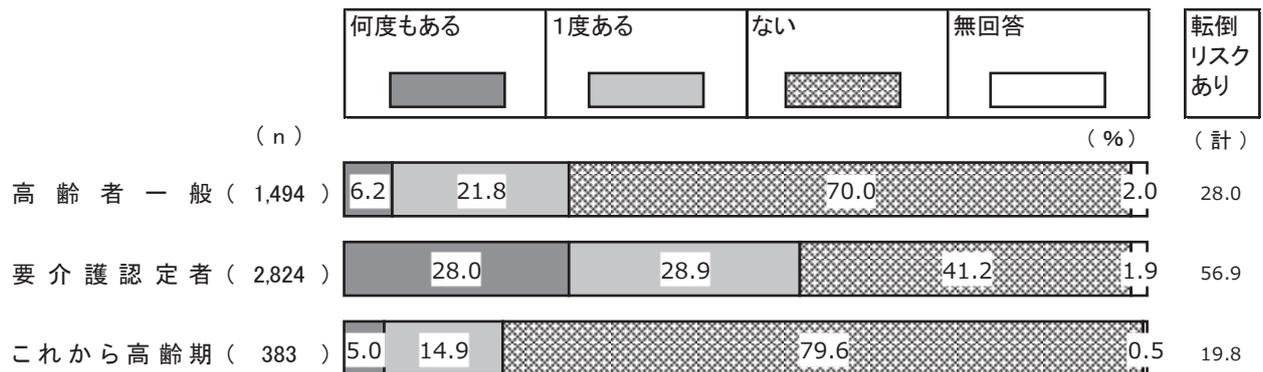
■15分続けて歩くこと <<ニーズ調査>>



④ 過去1年間の転んだ経験

○転倒リスクがある人（過去1年間の転んだ経験が「何度もある」と「1度ある」の合計）は、高齢者一般で28.0%、要介護認定者で56.9%、これから高齢期で19.8%となっている。

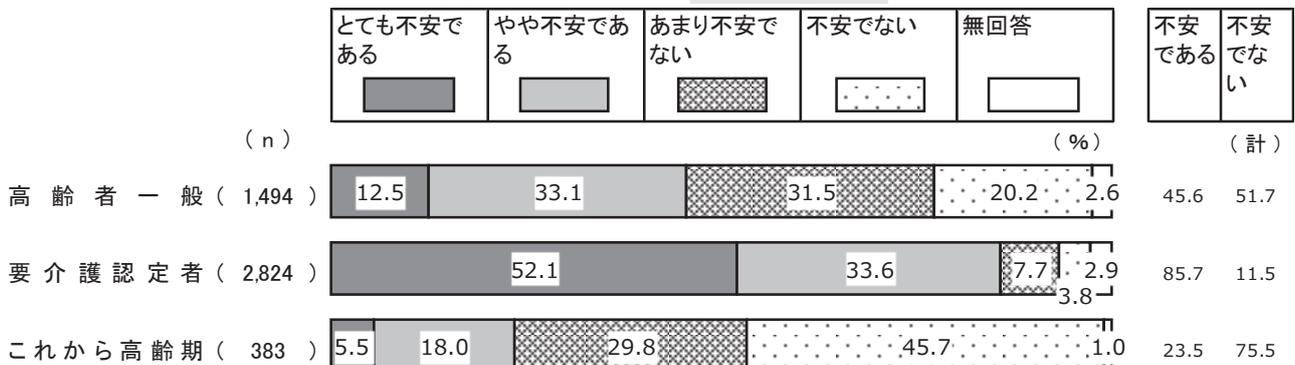
■過去1年間の転んだ経験 <<ニーズ調査>>



⑤ 転倒に対する不安

○転倒に対して“不安である”（「とても不安である」と「やや不安である」の合計）と回答した人は、高齢者一般で45.6%、要介護認定者で85.7%、これから高齢期で23.5%となっている。

■転倒に対する不安 <<ニーズ調査>>



【高齢者一般】

○性別にみると、『女性』は転倒に対して“不安である”と回答した人が5割半ばと、『男性』（3割半ば）と比べて高い。

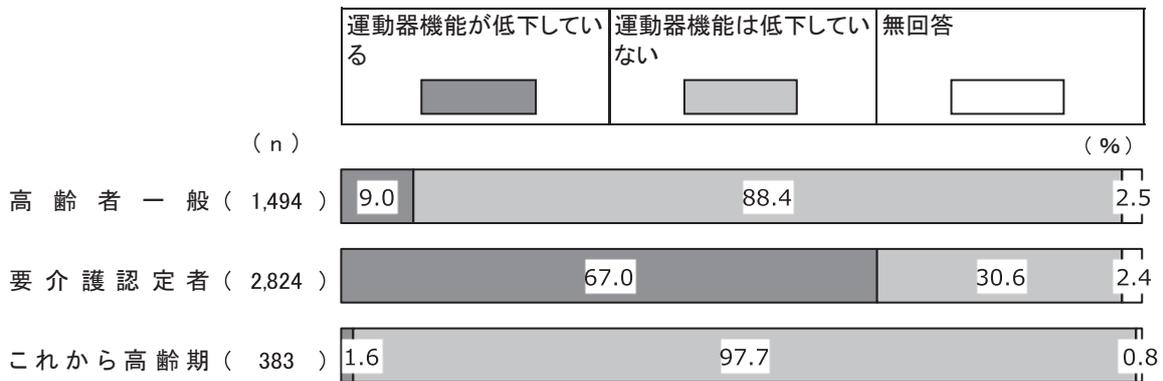
■転倒に対する不安 《ニーズ調査》<高齢者一般：性別>

	n	(%)					(計)	
		不安である	やや不安である	あまり不安でない	不安でない	無回答	不安である	不安でない
高齢者一般	1,494	12.5	33.1	31.5	20.2	2.6	45.6	51.7
男性	615	7.3	27.6	35.9	27.3	1.8	35.0	63.3
女性	834	16.4	37.5	28.1	15.3	2.6	54.0	43.4

⑥ 運動器機能の低下している高齢者

○「運動器機能が低下している」は、高齢者一般で9.0%、要介護認定者で67.0%、これから高齢期で1.6%であった。

■運動器機能の低下している高齢者 《ニーズ調査》

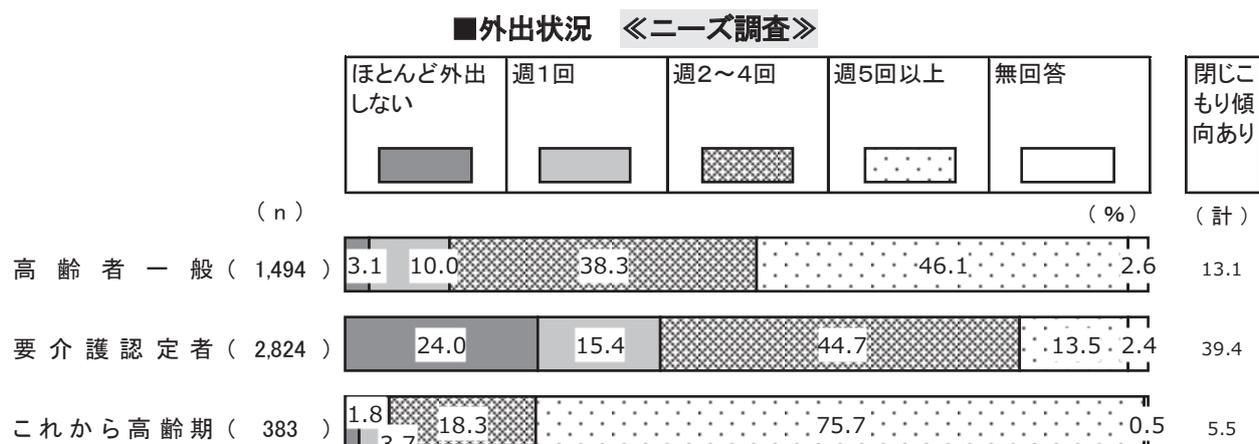


※ 下記の項目に3つ以上該当する場合に、「運動器機能の低下している高齢者」としている

- ・階段を手すりや壁をつたわずに昇ることができない
- ・椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がることができない
- ・15分続けて歩くことができない
- ・過去1年間に転んだ経験が、何度もある、あるいは、1度ある
- ・転倒に対して、とても不安である、あるいは、やや不安である

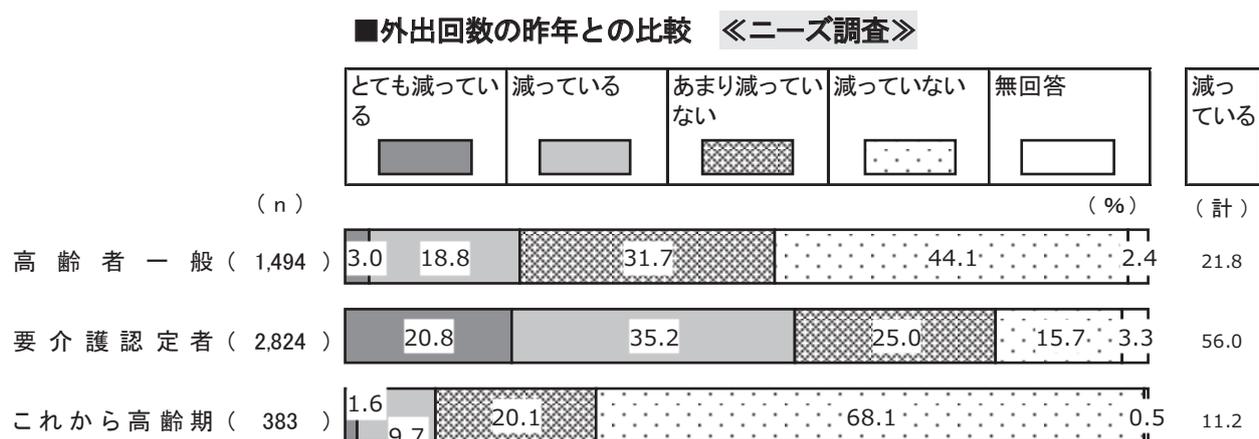
⑦ 外出状況

○閉じこもり傾向のある人（「ほとんど外出しない」と「週1回」の合計）は、高齢者一般で13.1%、要介護認定者で39.4%、これから高齢期で5.5%であった。



⑧ 外出回数の昨年との比較

○昨年と比べて外出の回数が“減っている”（「とても減っている」と「減っている」の合計）と回答した人は、高齢者一般で21.8%、要介護認定者で56.0%、これから高齢期で11.2%であった。

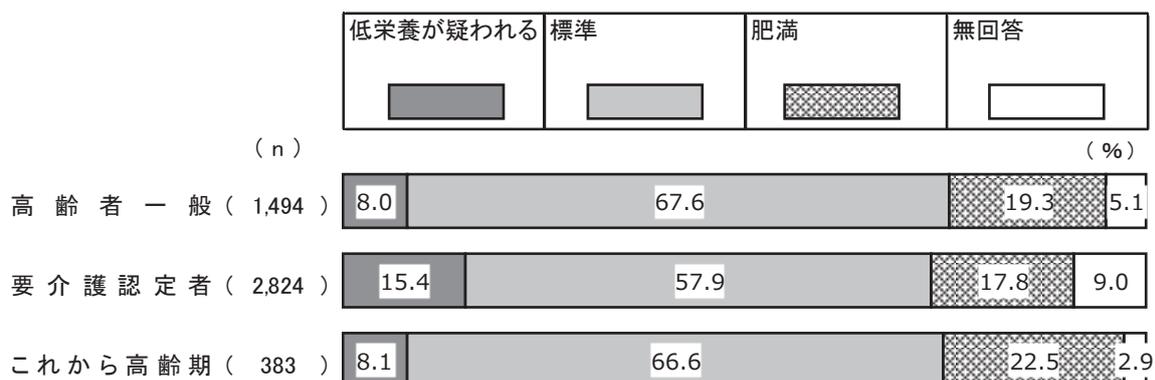


(2) 食べること

① BMI (Body Mass Index (肥満指数) の略)

- 高齢者一般では、「低栄養が疑われる」が8.0%、「標準」が67.6%、「肥満」が19.3%であった。
- 要介護認定者では、「低栄養が疑われる」が15.4%、「標準」が57.9%、「肥満」が17.8%であった。
- これから高齢期では、「低栄養が疑われる」が8.1%、「標準」が66.6%、「肥満」が22.5%であった。

■BMI 《ニーズ調査》

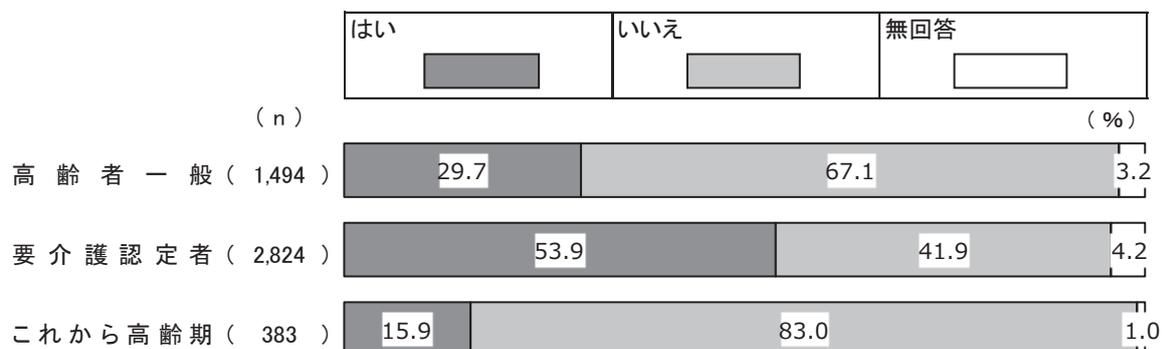


※ BMIとは、体重(kg) ÷ (身長(m) × 身長(m)) で算出され、18.5未満の場合に低栄養が疑われる。18.5~25.0未満が標準、25.0以上が肥満気味とされる

② 半年前との固いものの食べにくさの比較

- 咀嚼機能の低下が疑われる人(「はい」と回答した人)は、高齢者一般で29.7%、要介護認定者で53.9%、これから高齢期で15.9%であった。

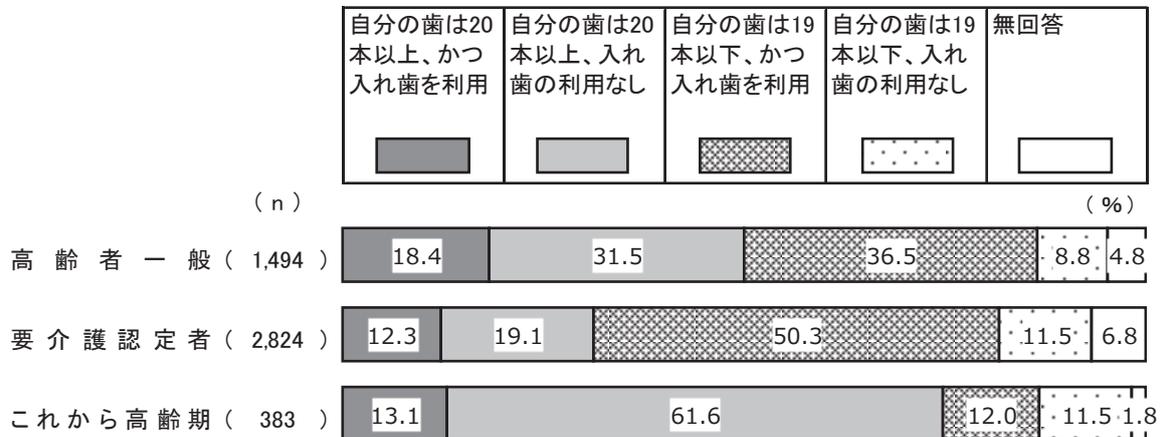
■半年前との固いものの食べにくさの比較 《ニーズ調査》



③ 歯の数と入れ歯の使用

- 高齢者一般、要介護認定者では、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が最も高く、それぞれ36.5%、50.3%となっている。
- これから高齢期では、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が最も高く、61.6%となっている。

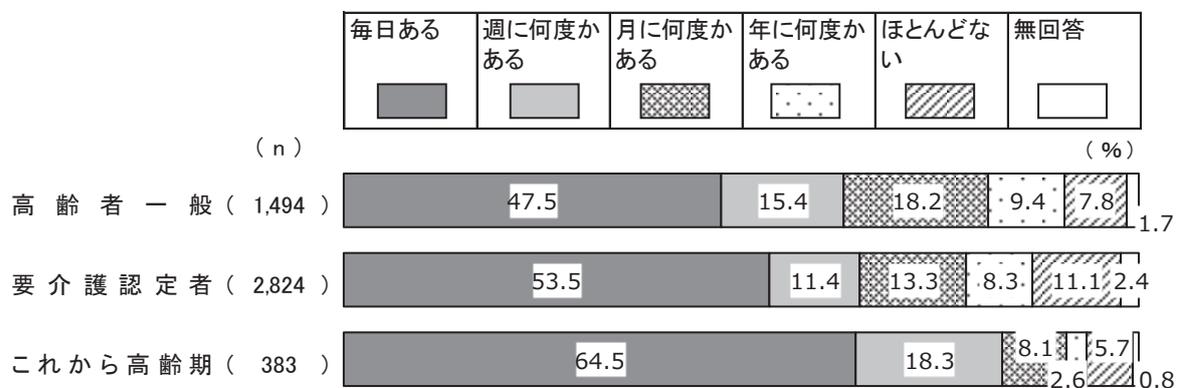
■歯の数と入れ歯の使用 《ニーズ調査》



④ 誰かと食事をとる機会

- いずれの調査でも、「毎日ある」が最も高い。
- 「ほとんどない」は、高齢者一般で7.8%、要介護認定者で11.1%、これから高齢期で5.7%であった。

■誰かと食事をとる機会 《ニーズ調査》



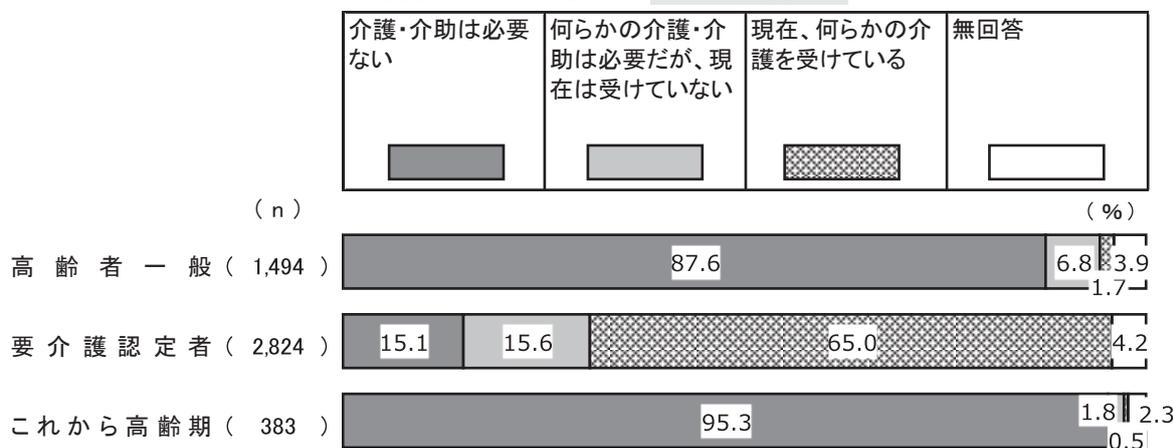
(3) 自立状況

① 介護・介助の必要性

○高齢者一般、これから高齢期では「介護・介助は必要ない」が最も高く、それぞれ87.6%、95.3%となっている。

○要介護認定者では、「現在、何らかの介護を受けている」が6割半ばであった。

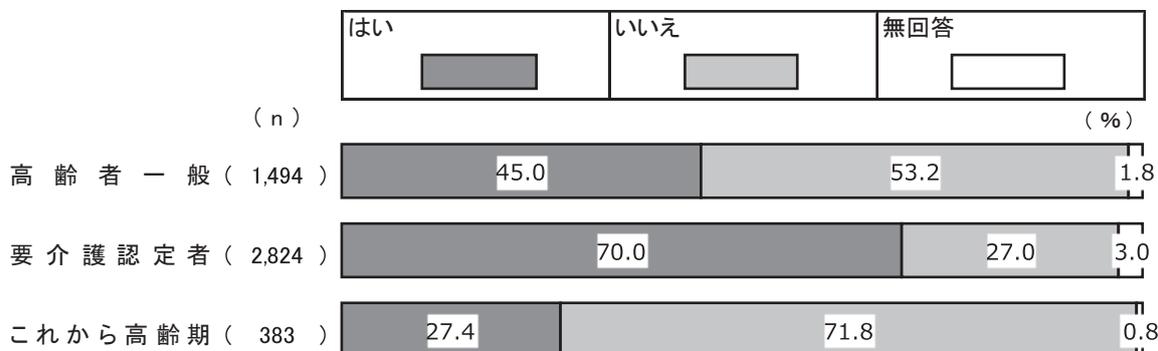
■介護・介助の必要性 <<ニーズ調査>>



② 物忘れの様子

○認知機能の低下がみられる（「はい」と回答した）人は、高齢者一般で45.0%、要介護認定者で70.0%、これから高齢期で27.4%であった。

■物忘れの様子 <<ニーズ調査>>



【高齢者一般】 【要介護認定者】

○年代別にみると、『後期高齢者』で認知機能の低下がみられる（「はい」と回答した）人が高齢者一般で5割超、要介護認定者で7割超と、それぞれ『前期高齢者』と比べて高い。

■物忘れの様子 <<ニーズ調査>>

<高齢者一般：年代別>

<要介護認定者：年代別>

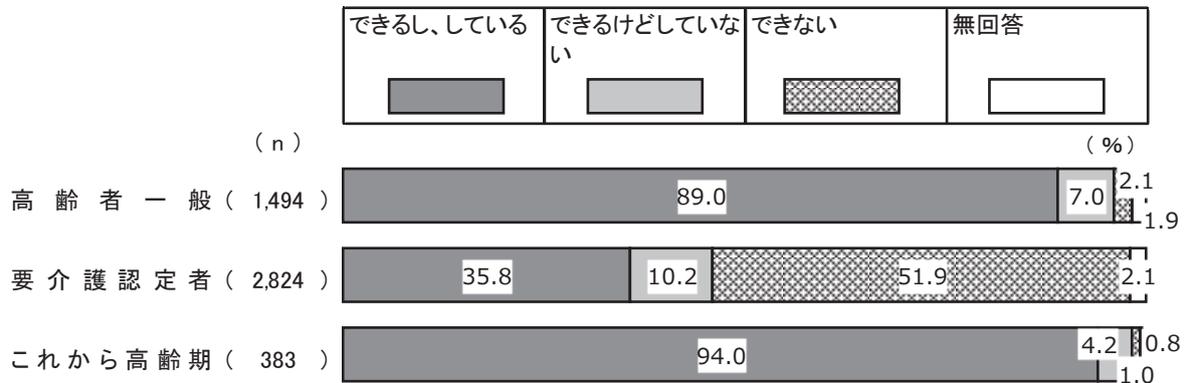
	n	はい (%)	いいえ (%)	無回答 (%)
高齢者一般	1,494	45.0	53.2	1.8
前期高齢者(65-74歳)	661	38.6	59.9	1.5
後期高齢者(75歳以上)	771	51.9	46.8	1.3

	n	はい (%)	いいえ (%)	無回答 (%)
要介護認定者	2,824	70.0	27.0	3.0
前期高齢者(65-74歳)	401	56.6	41.6	1.7
後期高齢者(75歳以上)	2,328	72.4	24.7	2.9

③ バスや電車を使ってひとりで外出すること

○バスや電車を使ってひとりで外出することが“できる”と回答した人は、高齢者一般で96.0%、要介護認定者で46.0%、これから高齢期で98.2%となっている。

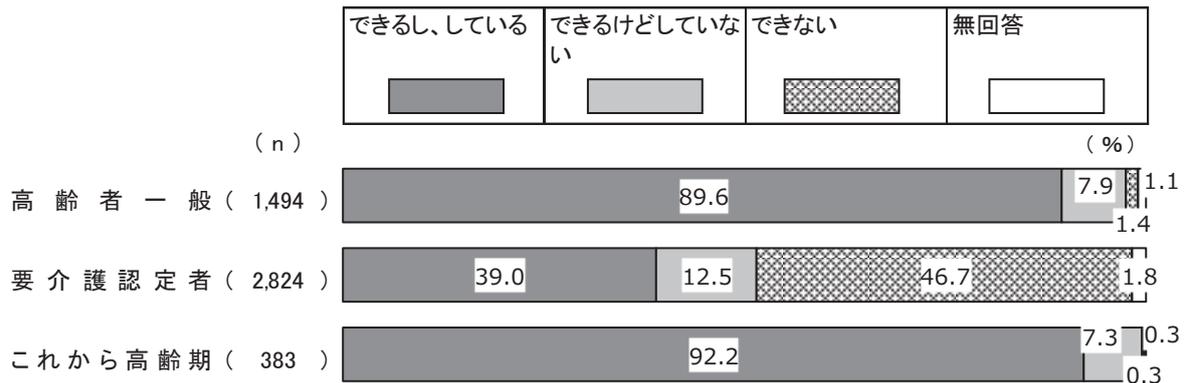
■バスや電車を使ってひとりで外出すること 《ニーズ調査》



④ 自分で食品・日用品の買い物をすること

○“できる”と回答した人は、高齢者一般で97.5%、要介護認定者で51.5%、これから高齢期で99.5%となっている。

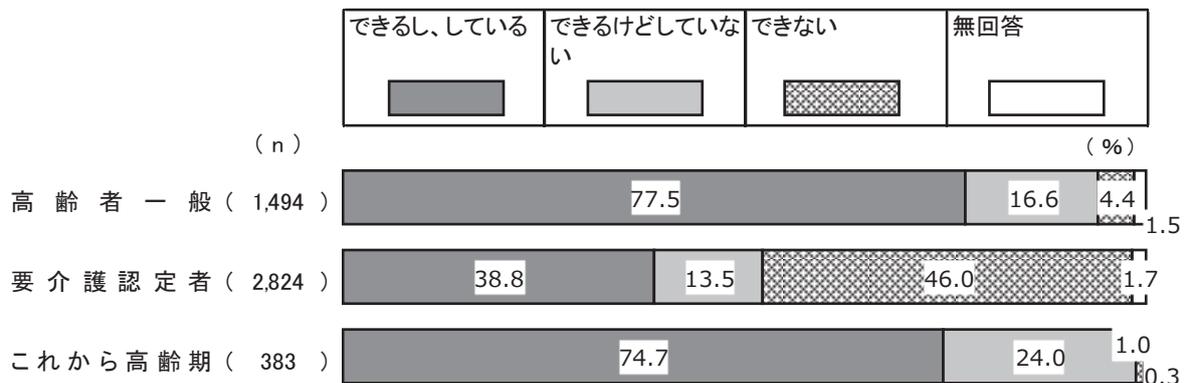
■自分で食品・日用品の買い物をすること 《ニーズ調査》



⑤ 自分で食事の用意をすること

○“できる”と回答した人は、高齢者一般で94.1%、要介護認定者で52.3%、これから高齢期で98.7%となっている。

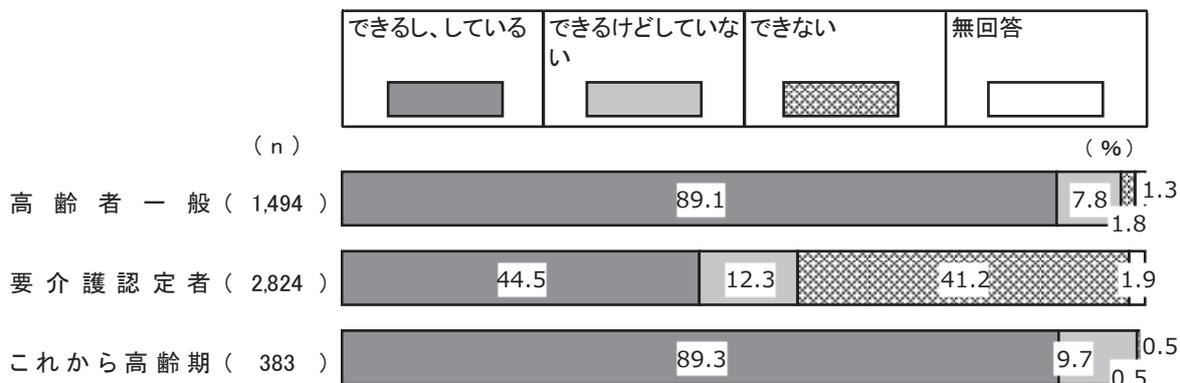
■自分で食事の用意をすること 《ニーズ調査》



⑥ 自分で請求書の支払いをすること

○“できる”と回答した人は、高齢者一般で96.9%、要介護認定者で56.9%、これから高齢期で99.0%となっている。

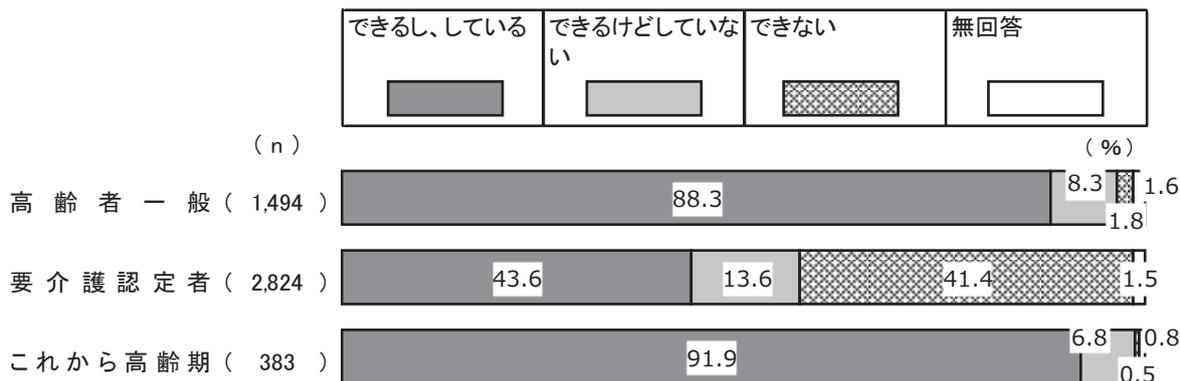
■自分で請求書の支払いをすること 《ニーズ調査》



⑦ 自分で預貯金の出し入れをすること

○“できる”と回答した人は、高齢者一般で96.6%、要介護認定者で57.1%、これから高齢期で98.7%となっている。

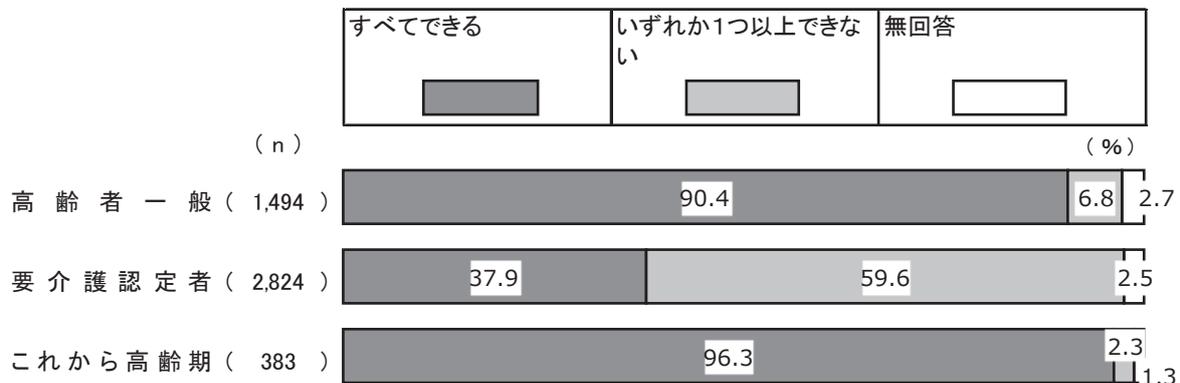
■自分で預貯金の出し入れをすること 《ニーズ調査》



⑧ 日常生活の自立状況

○「すべてできる」と回答した人は、高齢者一般で90.4%、要介護認定者で37.9%、これから高齢期で96.3%となっている。

■日常生活の自立状況

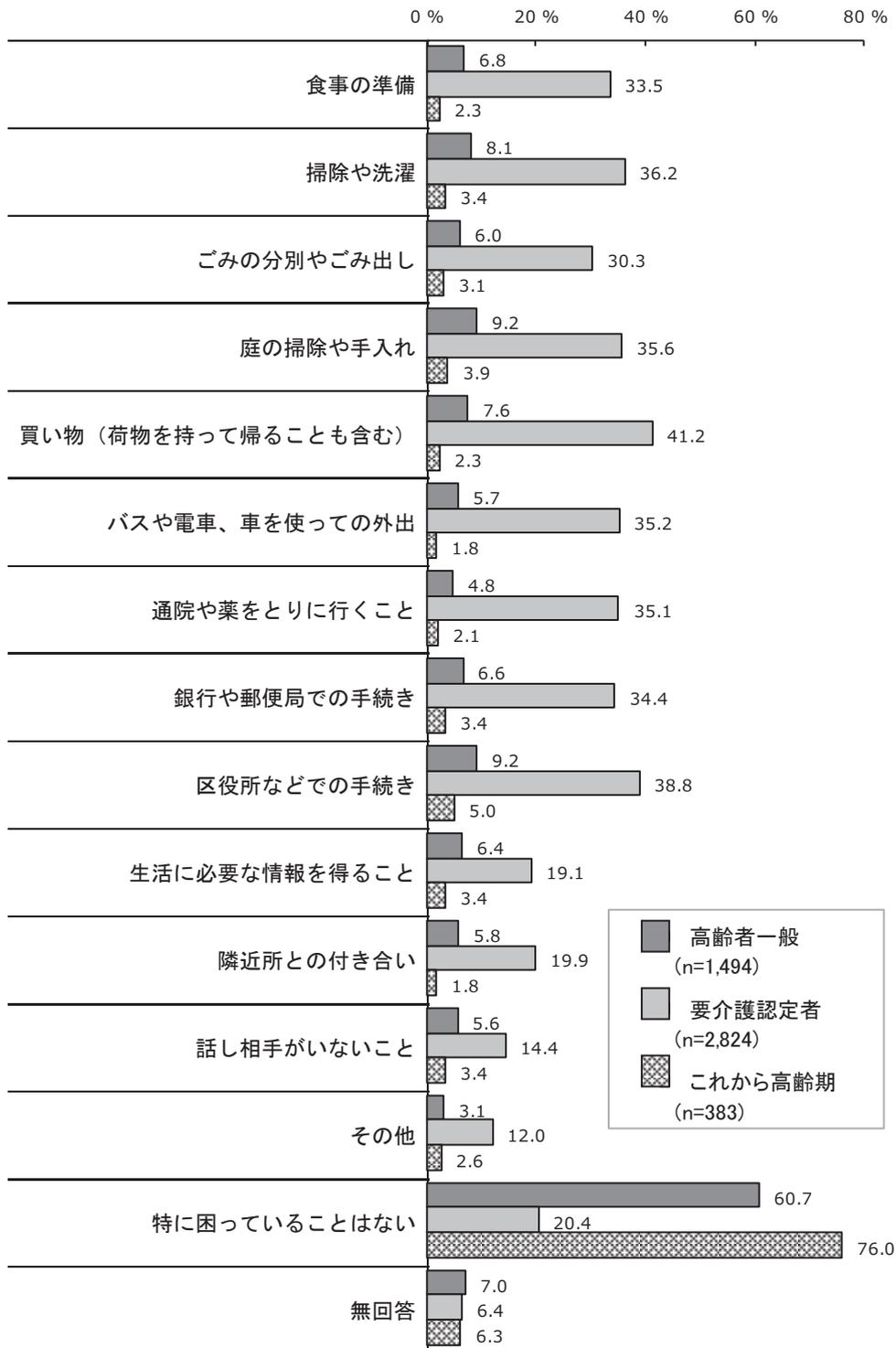


※ ③～⑦の5項目全てについて「できるし、している」あるいは「できるけどしていない」と回答した人を「すべてできる」、5項目のいずれかについて「できない」と回答した人を「いずれか1つ以上できない」に分類した

⑨ 日常生活の中での困りごと

- 高齢者一般、これから高齢期では、「特に困っていることはない」が最も高く、それぞれ60.7%、76.0%となっている。
- 要介護認定者では、「買い物」（41.2%）、「区役所などでの手続き」（38.8%）、「掃除や洗濯」（36.2%）、「庭の掃除や手入れ」（35.6%）、「バスや電車、車を使っての外出」（35.2%）、「通院や薬をとりに行くこと」（35.1%）が上位に挙げられている。

■日常生活の中での困りごと（複数回答）



【高齢者一般】

○年代別にみると、『前期高齢者』は日常生活の中で「特に困っていることはない」が約7割であるのに対し、『後期高齢者』は5割超となっている。『後期高齢者』の日常生活の中での困りごととしては、「庭の掃除や手入れ」「区役所などでの手続き」「買い物(荷物を持って帰ることも含む)」「掃除や洗濯」が1割超となっている。

■日常生活の中での困りごと(複数回答) <高齢者一般：年代別>

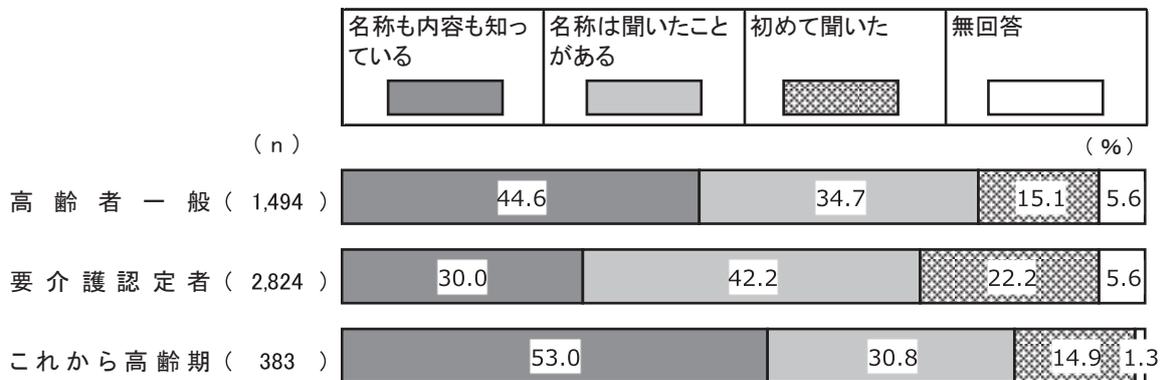
		庭の掃除や手入れ	区役所などでの手続き	掃除や洗濯	買い物(荷物を持って帰ることも含む)	食事の準備	銀行や郵便局での手続き	生活に必要な情報を得ること	ごみの分別やごみ出し	隣近所との付き合い	バスや電車、車を使うための外出	話し相手がいないこと	通院や薬をとりに行くこと	その他	特に困っていることはない	無回答
	n															(%)
高齢者一般	1,494	9.2	9.2	8.1	7.6	6.8	6.6	6.4	6.0	5.8	5.7	5.6	4.8	3.1	60.7	7.0
前期高齢者(65-74歳)	661	4.7	4.4	5.7	4.1	5.4	3.0	4.8	4.5	4.2	2.6	3.9	1.8	2.9	70.3	6.2
後期高齢者(75歳以上)	771	13.6	13.1	10.5	11.0	8.3	9.5	8.3	7.1	7.3	8.3	7.4	7.3	3.6	52.9	6.9

(4) 成年後見制度

①成年後見制度の認知度

- 「名称も内容も知っている」は、高齢者一般で44.6%、要介護認定者で30.0%、これから高齢期で53.0%であった。
- 「初めて聞いた」は、高齢者一般で15.1%、要介護認定者で22.2%、これから高齢期で14.9%であった。

■成年後見制度の認知度



【高齢者一般】 【要介護認定者】

○年代別にみると、『前期高齢者』で「名称も内容も知っている」は高齢者一般では約5割、要介護認定者では4割近くで、それぞれ『後期高齢者』と比べて認知度が高い。

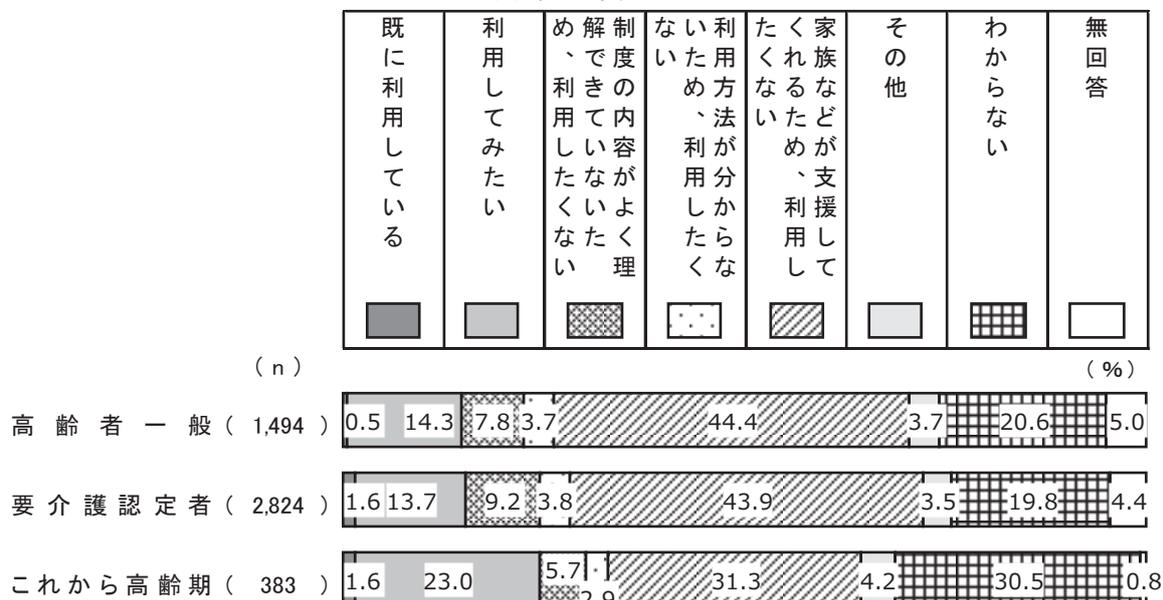
■成年後見制度の認知度 <高齢者一般：年代別> <要介護認定者：年代別>

		名称も内容も知っている	名称は聞いたことがある	初めて聞いた	無回答
	n				(%)
高齢者一般	1,494	44.6	34.7	15.1	5.6
前期高齢者(65-74歳)	661	49.6	34.2	13.9	2.3
後期高齢者(75歳以上)	771	42.8	37.4	16.3	3.5
	n				(%)
要介護認定者	2,824	30.0	42.2	22.2	5.6
前期高齢者(65-74歳)	401	37.4	42.4	19.2	1.0
後期高齢者(75歳以上)	2,328	29.6	43.0	23.1	4.3

②成年後見制度の利用意向

- 高齢者一般、要介護認定者では、「家族などが支援してくれるため、利用したくない」が4割超で最も高い。
- これから高齢期では、「家族などが支援してくれるため、利用したくない」「わからない」がそれぞれ約3割となっている。

■成年後見制度の利用意向



【高齢者一般】 【要介護認定者】

- 性別にみると、高齢者一般では『男性』は「利用してみたい」が約2割で『女性』（約1割）と比べて利用意向が高い。
- 要介護認定者では、『男性』は「利用してみたい」が1割半ばで、『女性』（1割超）と比べて利用意向が高い。

■成年後見制度の利用意向

<高齢者一般：性別>

	n	既に利用している	利用してみたい	め、解制、度の利きの用てたいが、くなく、たい	ない利用た、め、方、法、が、利、用、し、た、ら、な	たく家族な、れ、た、め、が、支、援、し、て	その他	わからない	無回答
高齢者一般	1,494	0.5	14.3	7.8	3.7	44.4	3.7	20.6	5.0
男性	615	0.2	19.8	9.8	4.7	39.0	3.3	21.6	1.6
女性	834	0.8	10.8	6.6	3.1	50.4	4.3	20.9	3.1

<要介護認定者：性別>

(%)

	n	既に利用している	利用してみたい	用できたくない	制度の内容がよく理解	利用方法が分からない	利用できる家族などが支援してくれない	その他	わからない	無回答
要介護認定者	2,824	1.6	13.7	9.2	3.8	43.9	3.5	19.8	4.4	
男性	1,024	2.0	16.6	10.4	4.5	43.4	3.1	18.0	2.1	
女性	1,742	1.4	12.3	8.8	3.3	45.5	3.9	21.5	3.3	

○年代別にみると、高齢者一般では『前期高齢者』の利用意向が高くなっている。

○要介護認定者では、『前期高齢者』と『後期高齢者』で大きな差はみられない。

<高齢者一般：年代別>

(%)

	n	既に利用している	利用してみたい	用できたくない	制度の内容がよく理解	利用方法が分からない	利用できる家族などが支援してくれない	その他	わからない	無回答
高齢者一般	1,494	0.5	14.3	7.8	3.7	44.4	3.7	20.6	5.0	
前期高齢者(65-74歳)	661	0.3	17.5	7.6	3.3	41.8	4.5	23.1	1.8	
後期高齢者(75歳以上)	771	0.8	12.2	8.4	4.2	48.9	3.2	19.3	3.0	

<要介護認定者：年代別>

(%)

	n	既に利用している	利用してみたい	用できたくない	制度の内容がよく理解	利用方法が分からない	利用できる家族などが支援してくれない	その他	わからない	無回答
要介護認定者	2,824	1.6	13.7	9.2	3.8	43.9	3.5	19.8	4.4	
前期高齢者(65-74歳)	401	1.7	16.2	11.7	3.7	38.4	3.7	22.4	2.0	
後期高齢者(75歳以上)	2,328	1.6	13.4	9.0	3.7	46.0	3.7	19.8	2.8	

○子どもの有無別にみると、高齢者一般では『子はいない』と回答した人は「利用してみたい」が3割近くで“子がいる”（『同居の子がいる』『近所の子がいる』『子がいる』）（1割超～1割半ば）と比べて利用意向が高い。

■成年後見制度の利用意向＜高齢者一般：子どもの有無別＞

(%)

	n	既に利用している	利用してみたい	用で制 しき度 たての くいな ないが いたよ めく、 理利 解	た利 め用 、方 法用 がし 分か らな い	なれ家 いる族 たな めど 、が 支支 援援 した たく く	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答
高齢者一般	1,494	0.5	14.3	7.8	3.7	44.4	3.7	20.6	5.0
同居の子がいる	446	0.7	11.2	7.8	2.0	55.8	1.6	16.8	4.0
近居の子がいる	326	-	11.0	6.4	3.7	61.0	1.2	15.3	1.2
子がいる(同居・近居除く)	440	0.7	14.1	8.0	4.5	42.0	4.8	24.3	1.6
子はいない	241	0.8	27.0	10.4	5.8	12.0	10.0	31.1	2.9

○子どもの有無別にみると、要介護認定者では『子はいない』と回答した人は「利用してみたい」が2割半ばで“子がいる”（『同居の子がいる』『近所の子がいる』『子がいる』）（いずれも1割超）と比べて利用意向が高い。

■成年後見制度の利用意向＜要介護認定者：子どもの有無別＞

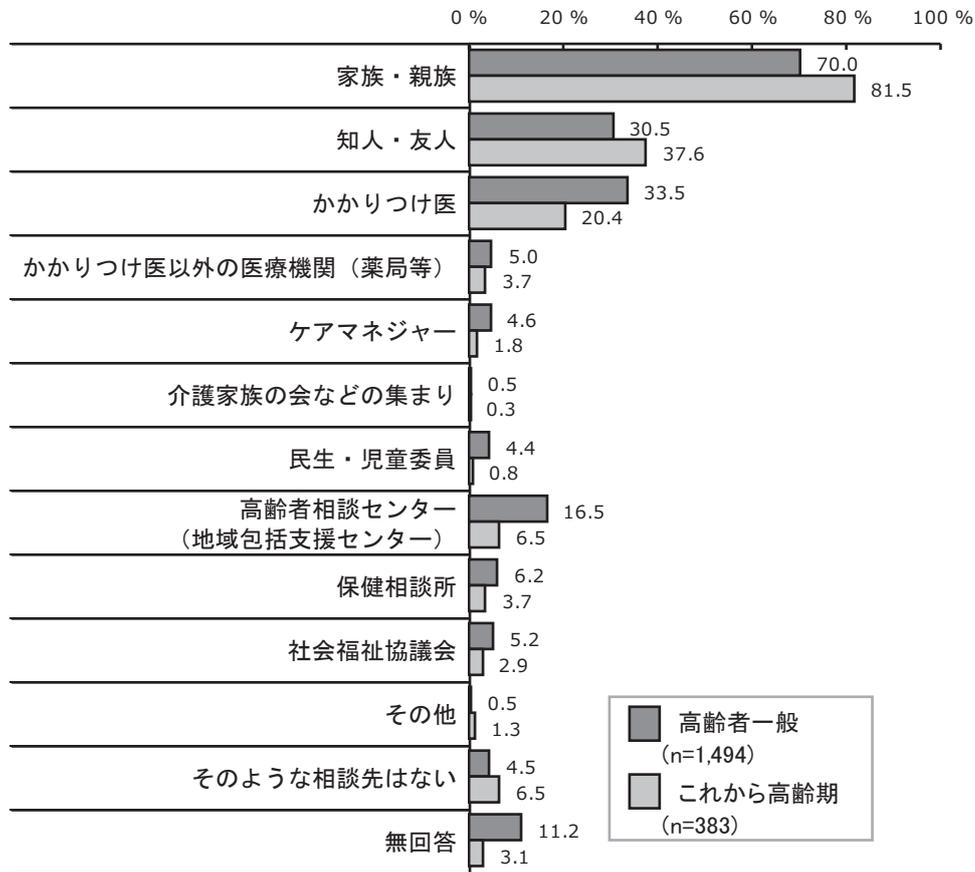
(%)

	n	既に利用している	利用してみたい	用で制 しき度 たての くいな ないが いたよ めく、 理利 解	た利 め用 、方 法用 がし 分か らな い	なれ家 いる族 たな めど 、が 支支 援援 した たく く	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答
要介護認定者	2,824	1.6	13.7	9.2	3.8	43.9	3.5	19.8	4.4
同居の子がいる	938	1.4	12.0	8.0	2.9	49.1	2.8	21.0	2.8
近居の子がいる	620	1.6	12.6	9.5	4.4	52.4	2.3	15.3	1.9
子がいる(同居・近居除く)	912	1.4	13.2	9.9	3.9	45.0	3.9	19.7	3.0
子はいない	296	3.4	24.7	12.5	5.4	14.9	8.1	28.0	3.0

(5) 日常生活で困った場合の相談先

- いずれの調査でも「家族・親族」が最も高く、高齢者一般で70.0%、これから高齢期で81.5%であった。
- 「高齢者相談センター（地域包括支援センター）」は、高齢者一般で16.5%であった。

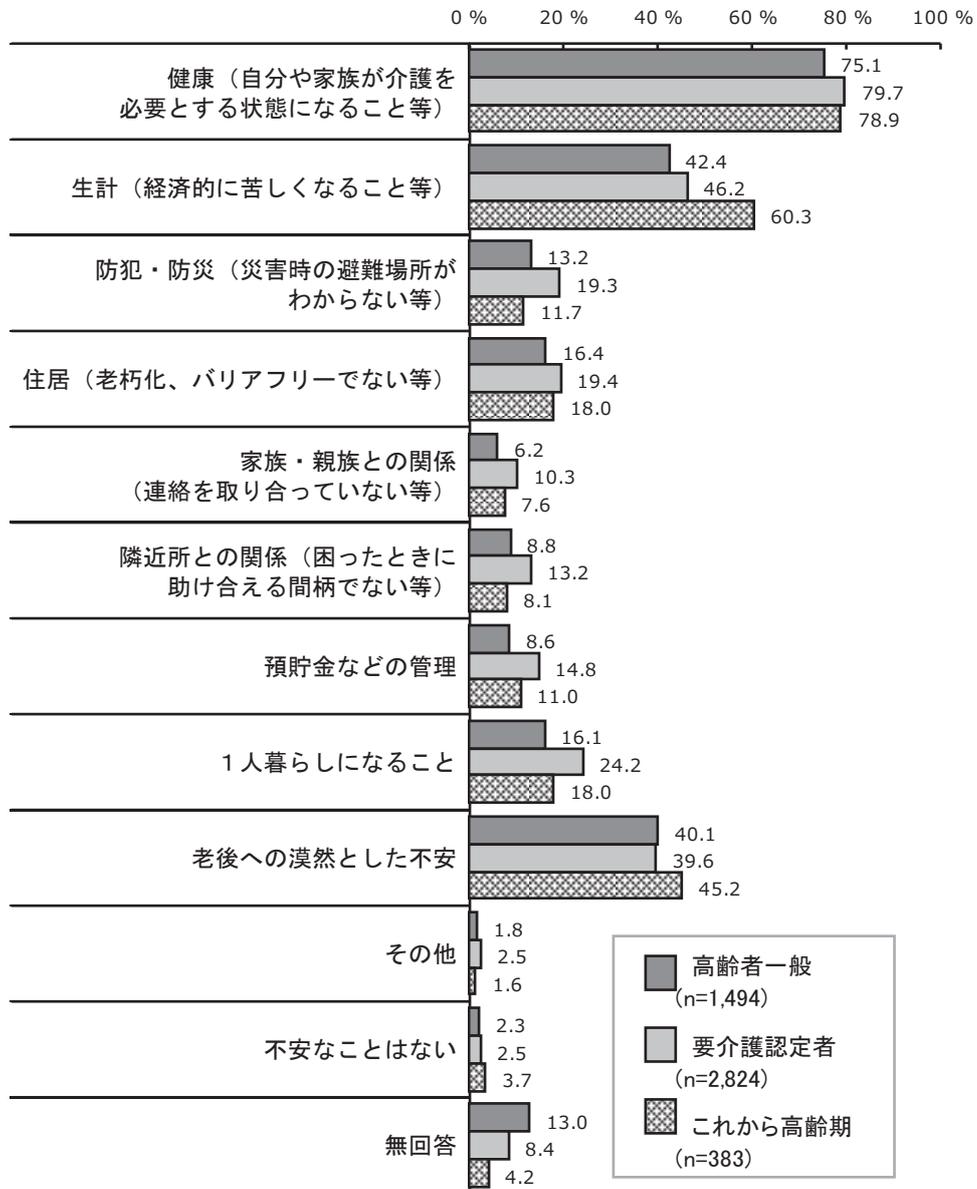
■日常生活で困った場合の相談先（複数回答）



(6) 将来の不安

○いずれの調査においても、「健康」が最も高く7割半ば～8割近くとなっている。
○次いで、「生計」「老後への漠然とした不安」と続いている。

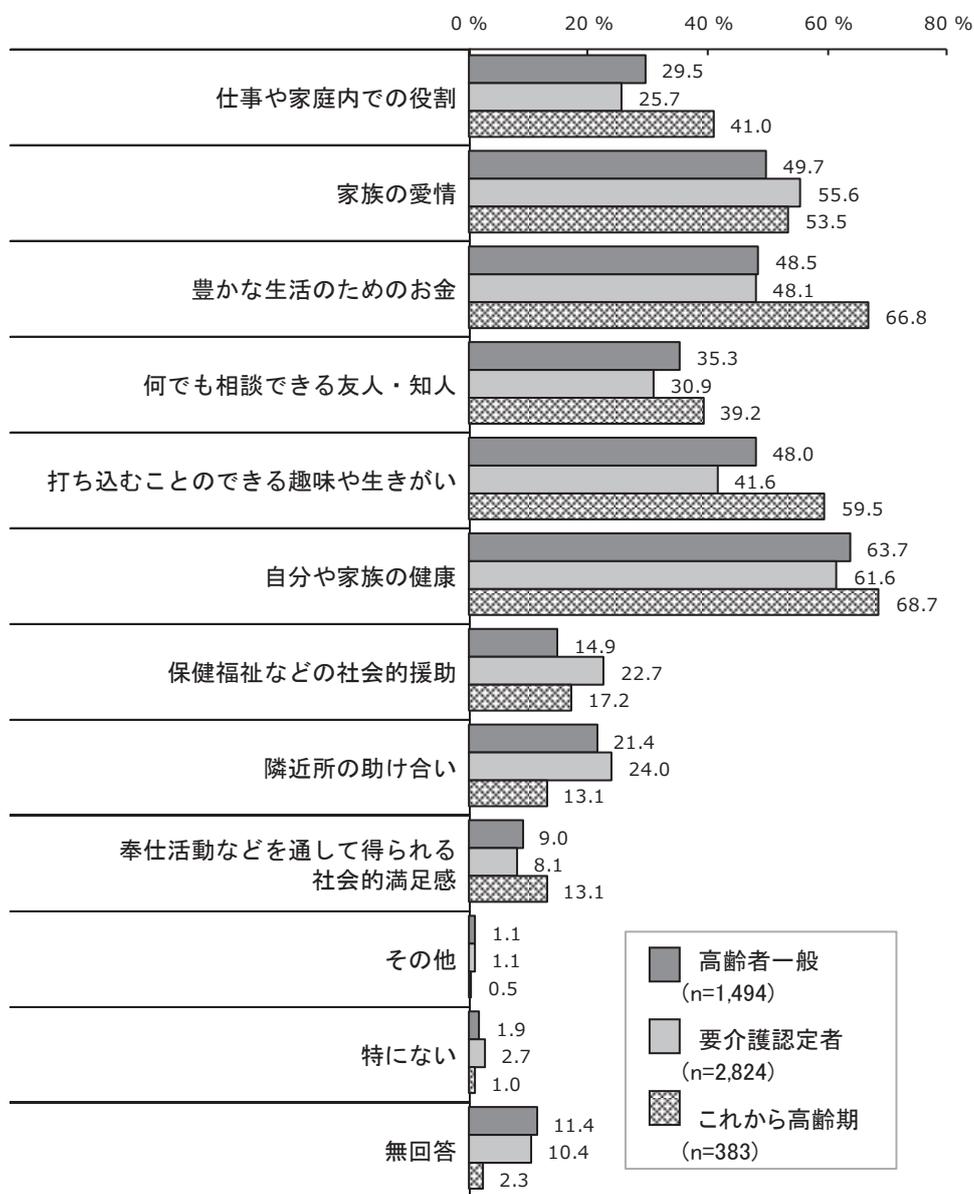
■将来の不安（複数回答）



(7) 老後を楽しく生きていくために必要なもの

- いずれの調査においても、「自分や家族の健康」が最も高く、約6割～7割近くとなっている。
 ○「自分や家族の健康」以外には、「家族の愛情」や「豊かな生活のためのお金」、「打ち込むことのできる趣味や生きがい」が上位に挙げられている。

■老後を楽しく生きていくために必要なもの（複数回答）



【高齢者一般】

○年代別にみると、『前期高齢者』は「豊かな生活のためのお金」「打ち込むことのできる趣味や生きがい」が『後期高齢者』と比べて高い。

■老後を楽しく生きていくために必要なもの（複数回答）＜高齢者一般：年代別＞

	n	自分や家族の健康	家族の愛情	豊かな生活のためのお金	打ち込むことのできる趣味や生きがい	人・知人も相談できる友人	仕事や家庭内の役割	隣近所の助け合い	保健福祉などの社会的援助	足感	奉仕活動などを通じた社会的満足	その他	特になし	無回答
高齢者一般	1,494	63.7	49.7	48.5	48.0	35.3	29.5	21.4	14.9	9.0	1.1	1.9	11.4	
前期高齢者(65-74歳)	661	66.4	48.3	52.6	51.6	37.5	32.8	18.2	16.2	11.8	0.9	2.1	10.0	
後期高齢者(75歳以上)	771	63.0	52.7	46.2	45.5	34.0	27.4	24.6	14.1	6.9	1.4	1.4	11.8	

○世帯構成別にみると、『夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）』は「仕事や家庭内の役割」「家族の愛情」「自分や家族の健康」が『1人暮らし』と比べて高い。

■老後を楽しく生きていくために必要なもの（複数回答）＜高齢者一般：世帯構成別＞

	n	仕事や家庭内の役割	家族の愛情	豊かな生活のためのお金	友・知人も相談できる友人	いき打ち込むことのできる趣味や生きがい	自分や家族の健康	会的保健福祉などの社会的援助	隣近所の助け合い	的満足感	奉仕活動などを通じた社会的満足	その他	特になし	無回答
高齢者一般	1,494	29.5	49.7	48.5	35.3	48.0	63.7	14.9	21.4	9.0	1.1	1.9	11.4	
1人暮らし	474	15.2	32.1	48.3	39.9	44.3	52.5	16.9	24.3	10.5	1.5	3.4	13.1	
夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	374	34.5	60.4	51.1	31.0	50.3	72.7	15.0	23.8	9.6	1.1	1.9	9.1	
夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	76	40.8	50.0	51.3	26.3	48.7	61.8	22.4	17.1	11.8	1.3	1.3	10.5	
息子・娘との2世帯	218	40.8	61.9	46.3	32.1	51.8	71.6	10.1	18.3	6.9	0.5	0.5	10.6	
その他	301	35.2	58.1	49.8	39.5	50.8	68.8	14.3	18.3	7.0	1.3	0.3	9.3	

【参考：過去の調査結果との比較】

○平成13年度に実施した調査と比べると、平成28年度は「保健福祉などの社会的援助」が低い。

■老後を楽しく生きていくために必要なもの（複数回答）＜高齢者一般：経年比較＞

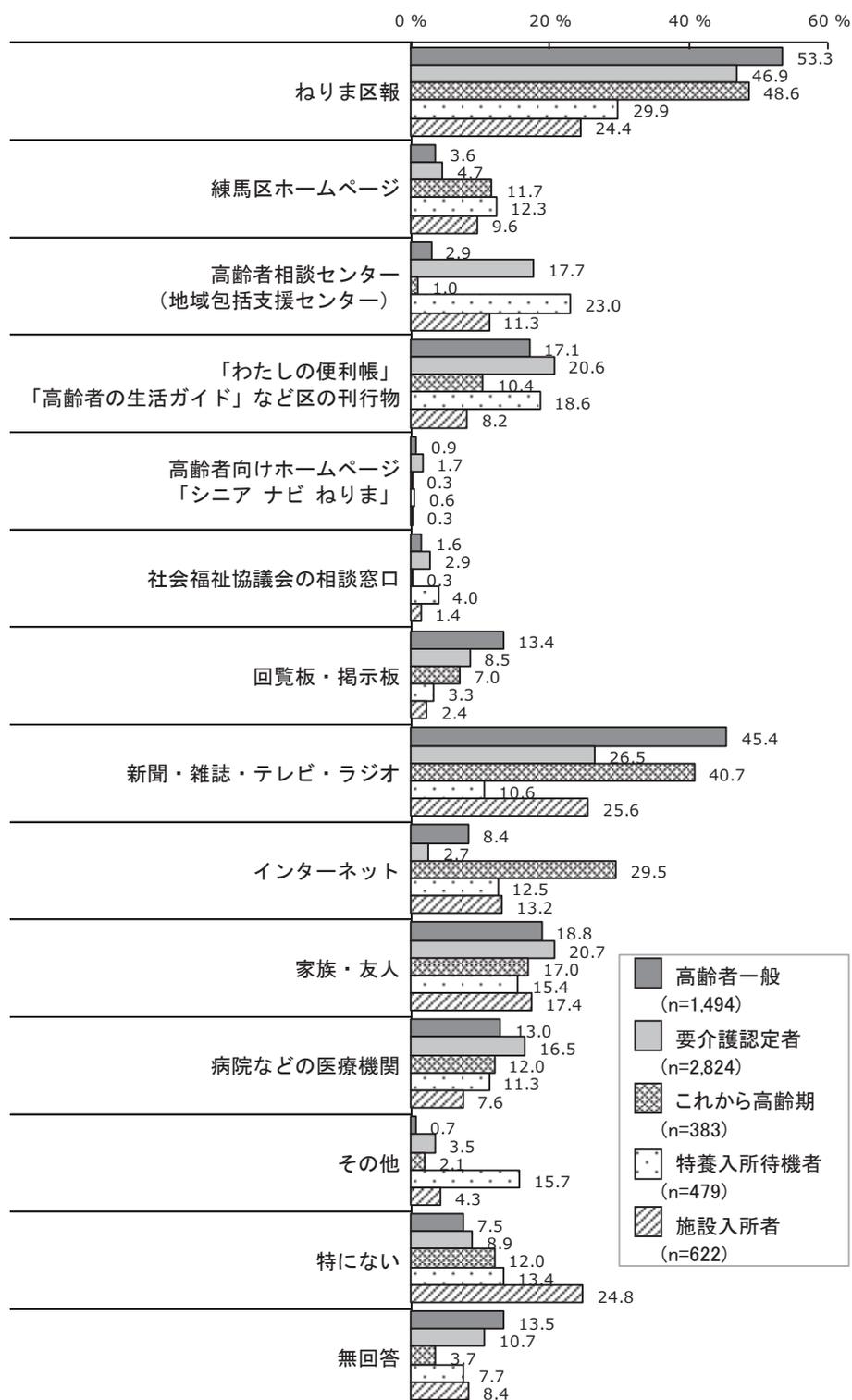
	n	自分や家族の健康	家族の愛情	豊かな生活のためのお金	打ち込むことのできる趣味や生きがい	人・知人も相談できる友人	仕事や家庭内の役割	隣近所の助け合い	的保健福祉などの社会的援助	足感	奉仕活動などを通じた社会的満足	その他	特になし	無回答
平成28年度	1,434	64.3	49.6	49.0	48.7	35.8	29.4	22.0	15.0	9.2	1.2	1.7	11.4	
平成13年度	2,008	79.4	57.3	43.9	53.3	36.6	27.1	31.5	33.4	17.0	1.5	2.0	2.0	

※ 平成13年度調査は、住民基本台帳から介護保険の認定を受けている者を含む65歳以上の高齢者を無作為に抽出して調査を行っている（回答者の構成比は、＜男性45.4%、女性53.4%＞＜前期高齢者64.1%、後期高齢者34.9%＞＜1人暮らし世帯10.8%、同居世帯48.3%、夫婦のみ世帯36.3%＞）。そのため、平成13年度は身体状況を聞く設問で「交通機関を使い不自由なく一人で外出できる」「多少不自由だが交通機関を使い外出できる」と回答した者（2,008人）のみ、平成28年度は『バスや電車を使って一人で外出しているか（自家用車含む）』を聞く設問で「できるし、している」「できるけどしていない」と回答した者（1,434人）のみを対象とした

(8) 健康や保健福祉の情報の入手方法

- 高齢者一般、要介護認定者、これから高齢期では、「ねりま区報」が最も高く、それぞれ 53.3%、46.9%、48.6%となっている。
- これから高齢期では、「インターネット」が約3割と他の調査対象者よりも高くなっている。
- 特養入所待機者では、「ねりま区報」と「高齢者相談センター（地域包括支援センター）」が上位に挙げられている。

■健康（介護保険）や保健福祉の情報の入手方法（○は3つまで）

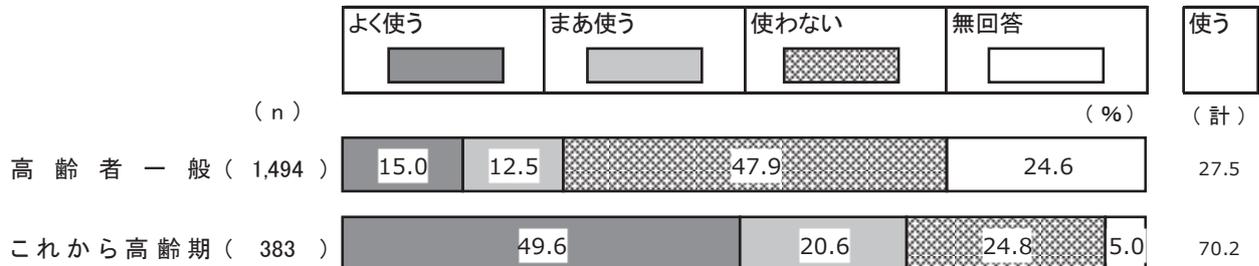


(9) パソコン等の情報通信機器の使用状況

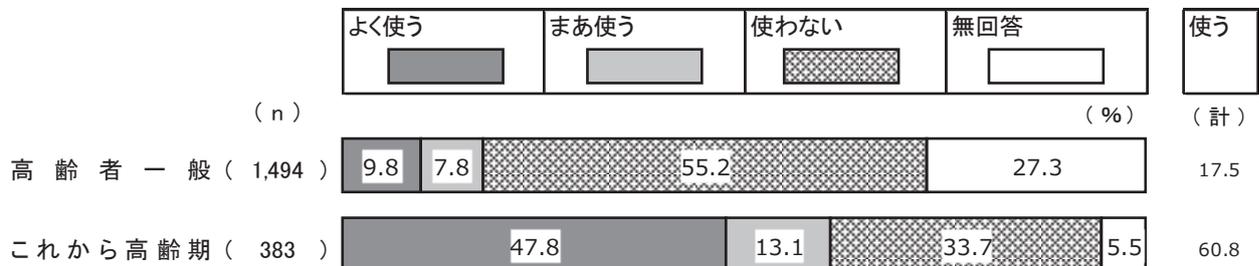
- 「携帯電話」は、高齢者一般、これから高齢期ともに約半数が使用している。
- これから高齢期では、「パソコン」が約7割（高齢者一般は3割近く）、「スマートフォン」が約6割（高齢者一般は2割近く）の使用状況となっている。

■パソコン等の情報通信機器の使用状況

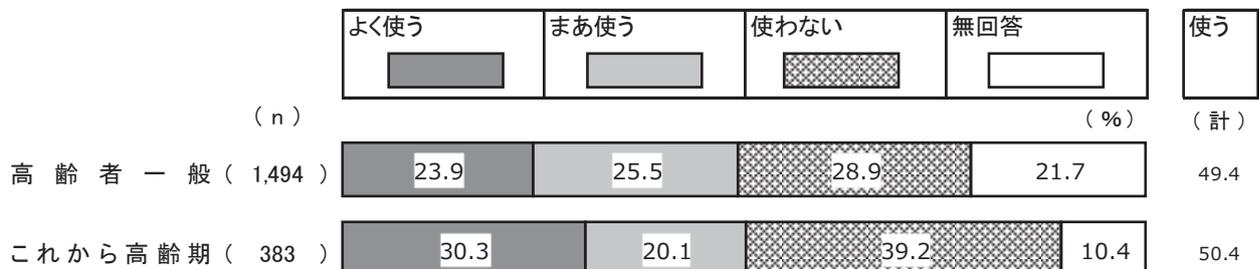
①パソコン



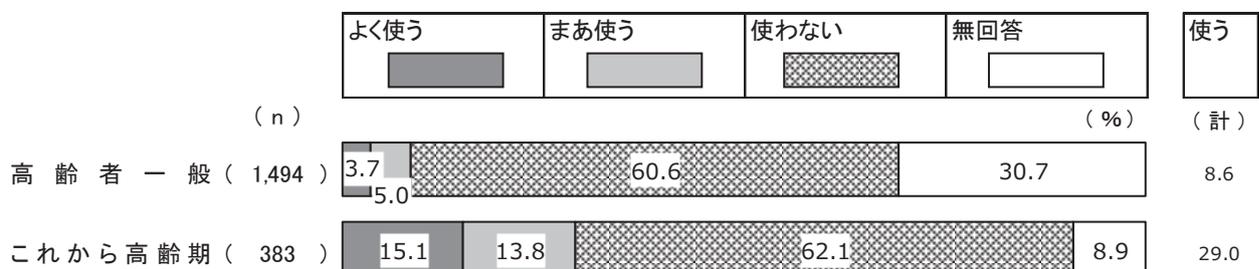
②スマートフォン



③携帯電話



④タブレット型端末



【高齢者一般】

○年代別にみると、『前期高齢者』の情報通信機器の使用率は、『後期高齢者』と比べて高い。

■パソコン等の情報通信機器の使用状況<高齢者一般：年代別>

①パソコン

	n	(%)				(計)
		よく使う	まあ使う	使わない	無回答	使う
高齢者一般	1,494	15.0	12.5	47.9	24.6	27.5
前期高齢者(65-74歳)	661	22.2	15.0	44.6	18.2	37.2
後期高齢者(75歳以上)	771	9.2	10.9	50.8	29.1	20.1

②スマートフォン

	n	(%)				(計)
		よく使う	まあ使う	使わない	無回答	使う
高齢者一般	1,494	9.8	7.8	55.2	27.3	17.5
前期高齢者(65-74歳)	661	16.6	10.6	53.9	18.9	27.2
後期高齢者(75歳以上)	771	4.2	5.3	57.7	32.8	9.5

③携帯電話

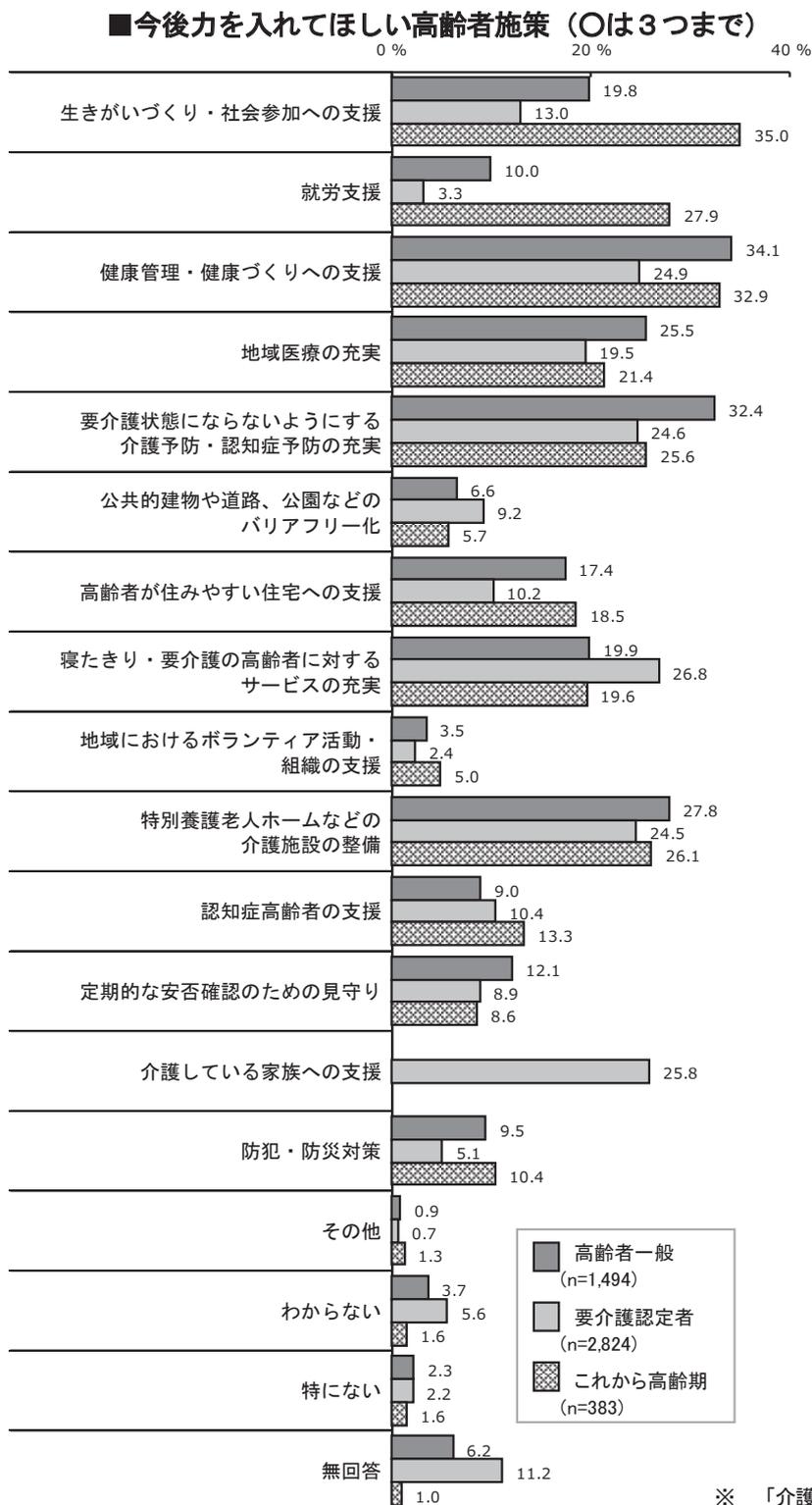
	n	(%)				(計)
		よく使う	まあ使う	使わない	無回答	使う
高齢者一般	1,494	23.9	25.5	28.9	21.7	49.4
前期高齢者(65-74歳)	661	28.7	26.0	28.0	17.2	54.8
後期高齢者(75歳以上)	771	20.0	25.6	29.8	24.6	45.5

④タブレット型端末

	n	(%)				(計)
		よく使う	まあ使う	使わない	無回答	使う
高齢者一般	1,494	3.7	5.0	60.6	30.7	8.6
前期高齢者(65-74歳)	661	5.7	7.0	63.5	23.8	12.7
後期高齢者(75歳以上)	771	2.1	3.4	59.5	35.0	5.4

(10) 今後力を入れてほしい高齢者施策

- 高齢者一般では、「健康管理・健康づくりへの支援」(34.1%)、「要介護状態にならないようにする介護予防・認知症予防の充実」(32.4%)が上位に挙げられている。
- 要介護認定者では、「寝たきり・要介護の高齢者に対するサービスの充実」(26.8%)、「介護している家族への支援」(25.8%)、「健康管理・健康づくりへの支援」(24.9%)、「要介護状態にならないようにする介護予防・認知症予防の充実」(24.6%)、「特別養護老人ホームなどの介護施設の整備」(24.5%)が上位に挙げられている。
- これから高齢期では、「生きがいがづくり・社会参加への支援」(35.0%)、「健康管理・健康づくりへの支援」(32.9%)が上位に挙げられている。



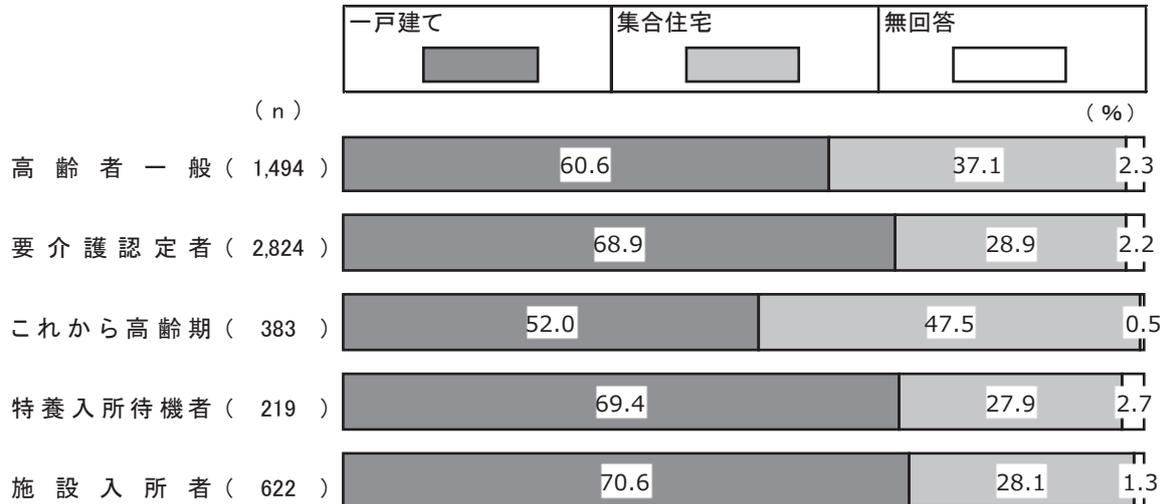
※ 「介護している家族への支援」は要介護認定者のみ聞いている

3 住まい

(1) 住居形態

- いずれの調査においても「一戸建て」が最も高く、高齢者一般で60.6%、要介護認定者で68.9%、これから高齢期で52.0%、特養入所待機者で69.4%であった。
- 施設入所者では、入所前の住居として「一戸建て」が70.6%であった。

■住居形態

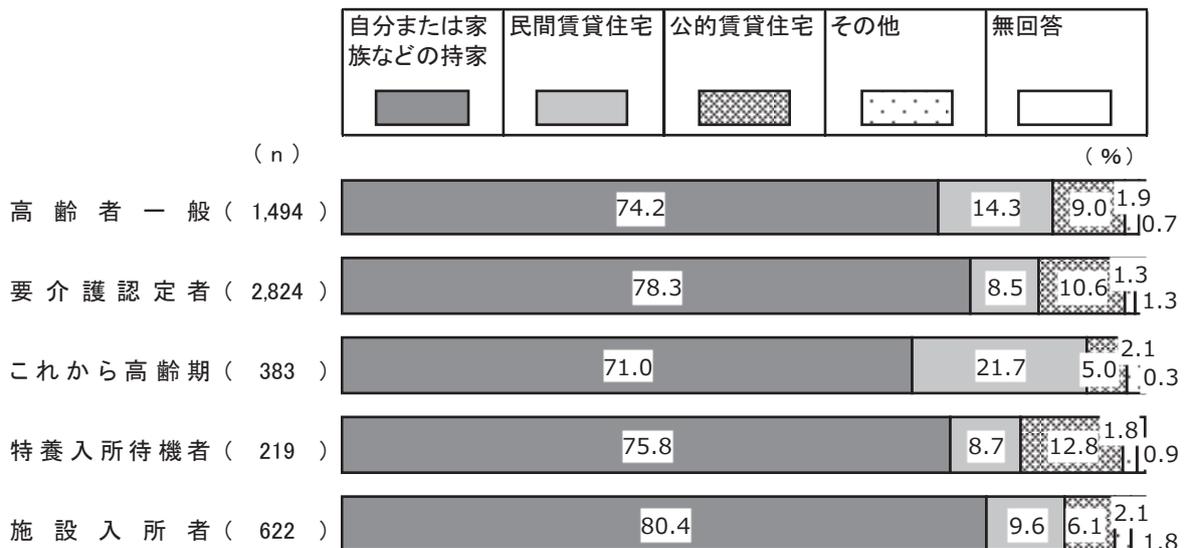


- ※ 特養入所待機者は、現在の生活場所を尋ねる設問で「自宅（家族などとの同居も含む）」と答えた人を対象に聞いた
- ※ 施設入所者は、施設入所前の住居形態について聞いた

(2) 住居の所有形態

- いずれの調査においても、「自分または家族などの持家」が最も高く、高齢者一般で74.2%、要介護認定者で78.3%、これから高齢期で71.0%、特養入所待機者で75.8%、施設入所者で80.4%であった。

■住居の所有形態



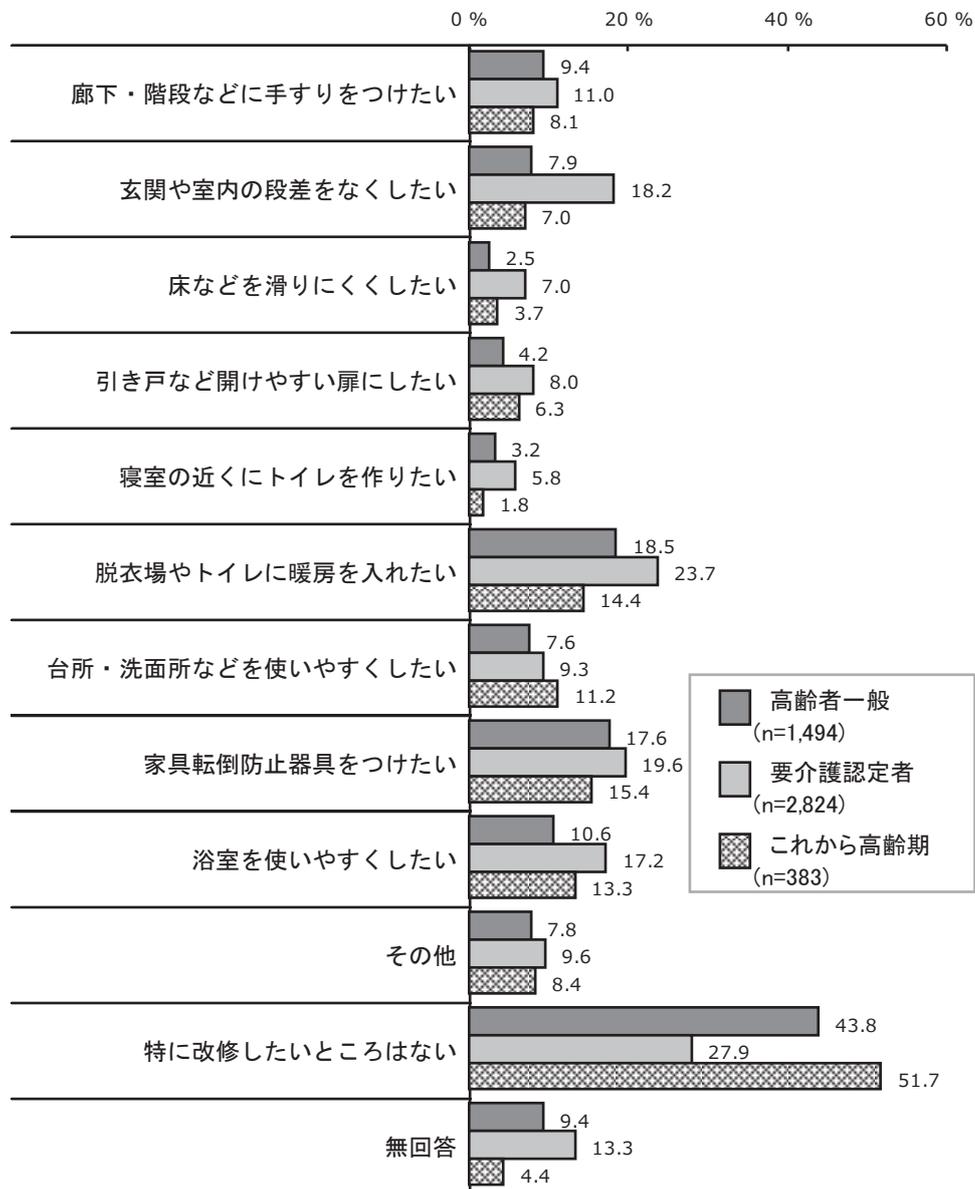
- ※ 特養入所待機者は、現在の生活場所を尋ねる設問で「自宅（家族などとの同居も含む）」と答えた人を対象に聞いた
- ※ 施設入所者は、施設入所前の住居形態について聞いた

(3) 住まいで改修したいところ

○いずれの調査においても、「特に改修したいところはない」が最も高く、高齢者一般で 43.8%、要介護認定者で 27.9%、これから高齢期で 51.7%であった。

○また、改修したいところとして、いずれの調査においても、「脱衣場やトイレに暖房を入れたい」「家具転倒防止器具をつけたい」が上位に挙げられている。

■住まいで改修したいところ（複数回答）

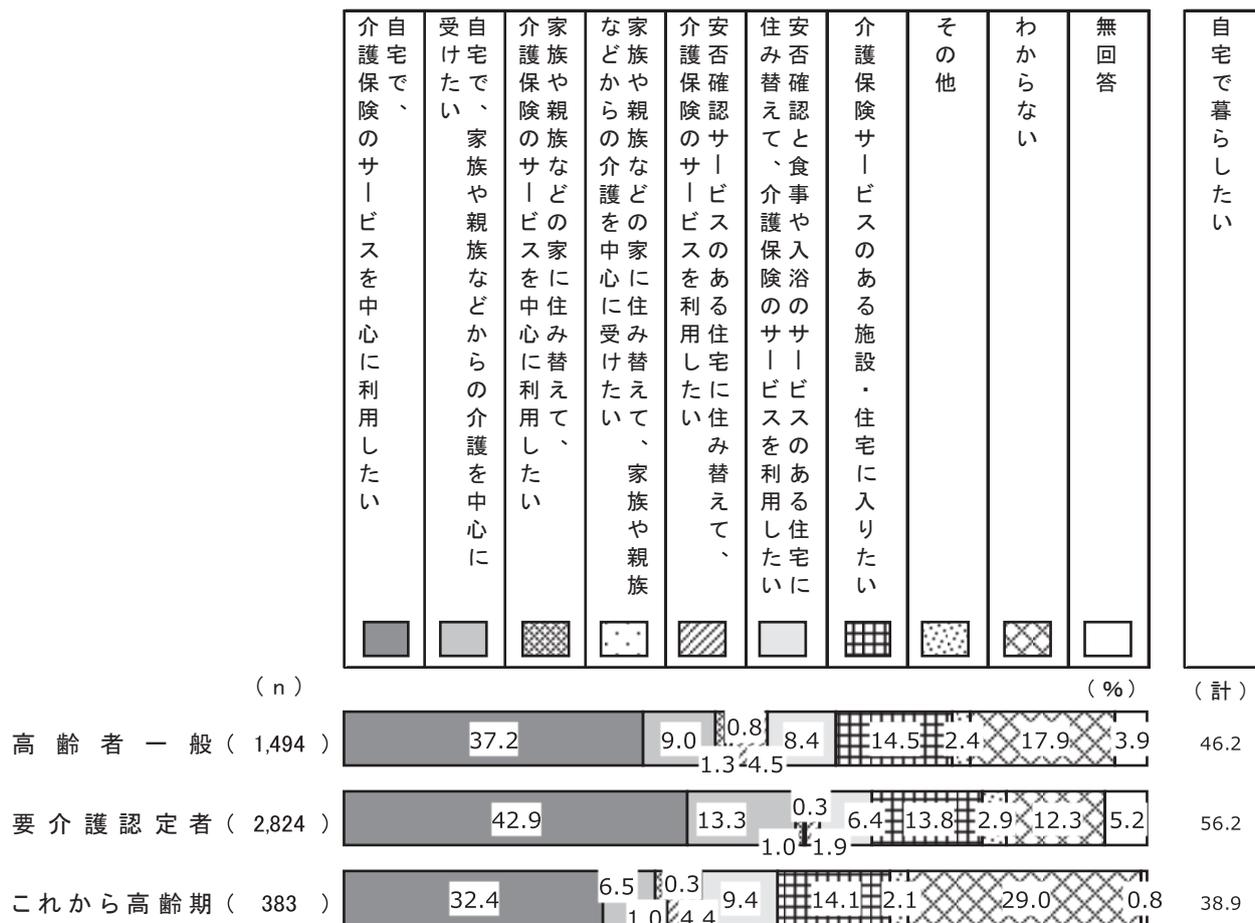


(4) ケア付き住まい

① 介護が必要になった場合に希望する暮らし方

- いずれの調査においても、「自宅で、介護保険のサービスを中心に利用したい」が最も高く、3割超～4割超となっている。
- “自宅で暮らしたい”（「自宅で、介護保険のサービスを中心に利用したい」と「自宅で、家族や親族などからの介護を中心に受けたい」の合計）は、高齢者一般で46.2%、要介護認定者で56.2%であった。
- これから高齢期では、「わからない」が約3割となっている。

■介護が必要になった場合に希望する暮らし方



【高齢者一般】

○住まい形態別にみると、『自分または家族などの持家』と回答した人は“自宅で暮らしたい”が5割超で、その他の住まい形態と回答した人（2割近く～4割近く）と比べて高い。

■介護が必要になった場合に希望する暮らし方<高齢者一般：住まい形態別>

	n	(%)										(計)		
		自宅中心に介護保険のサービスを利用したい	自宅中心に介護保険のサービスを利用したい	家族や親族などの家に住み替えて、介護保険のサービスを中心にする	その他	わからない								
高齢者一般	1,494	37.2	9.0	1.3	0.8	4.5	8.4	14.5	2.4	17.9	3.9	46.2		
自分または家族などの持家	1,108	42.0	10.4	1.2	0.8	2.3	7.7	15.3	2.4	15.1	2.9	52.3		
民間賃貸住宅	213	20.2	3.3	0.9	0.5	15.0	10.8	10.8	2.8	28.2	7.5	23.5		
公的賃貸住宅	135	29.6	8.9	1.5	1.5	5.2	12.6	12.6	1.5	23.0	3.7	38.5		
その他	28	17.9	-	7.1	-	10.7	3.6	21.4	3.6	32.1	3.6	17.9		

○世帯構成別にみると、『1人暮らし』と回答した人は“自宅で暮らしたい”が3割超で、その他の世帯構成と回答した人（約5割～6割近く）と比べて低い。

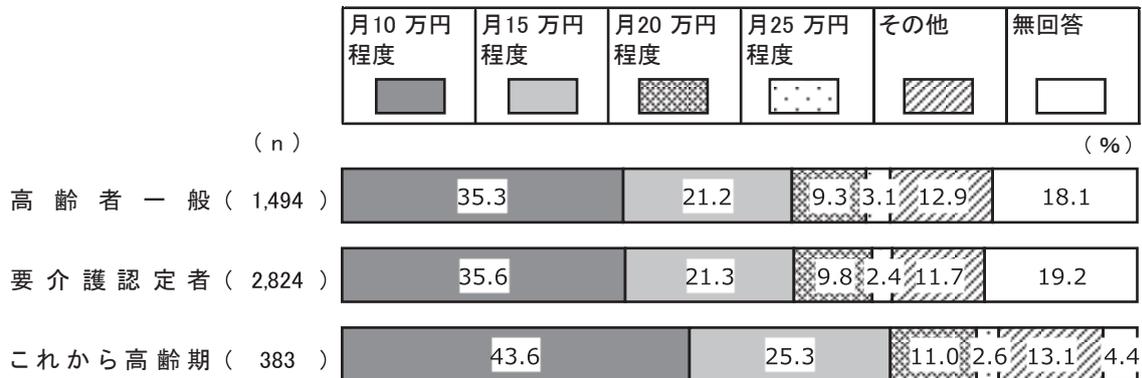
■介護が必要になった場合に希望する暮らし方<高齢者一般：世帯構成別>

	n	(%)										(計)	
		自宅中心に介護保険のサービスを利用したい	自宅中心に介護保険のサービスを利用したい	家族や親族などの家に住み替えて、介護保険のサービスを中心にする	その他	わからない							
高齢者一般	1,494	37.2	9.0	1.3	0.8	4.5	8.4	14.5	2.4	17.9	3.9	46.2	
1人暮らし	474	28.1	4.6	2.3	1.3	8.6	10.1	16.0	3.2	20.7	5.1	32.7	
夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	374	42.2	8.3	1.1	0.5	2.1	10.4	14.4	2.1	15.8	2.9	50.5	
夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	76	39.5	15.8	1.3	-	1.3	11.8	10.5	1.3	14.5	3.9	55.3	
息子・娘との2世帯	218	40.4	18.3	-	0.5	2.8	6.0	14.2	1.8	13.8	2.3	58.7	
その他	301	43.5	9.3	1.0	1.0	2.3	4.3	13.3	2.0	20.3	3.0	52.8	

② ケア付き住まいに入居する際の費用負担可能額

○いずれの調査においても、ケア付き住まいに入居する場合に負担できる家賃・食事・光熱水費・サービス提供などの費用の合計額は、「月10万円程度」が最も高い。

■ケア付き住まいに入居する際の費用負担可能額



【高齢者一般】

○経済状況別にみると、『苦しい・大変苦しい』と回答した人は「月10万円程度」が4割半ば、『ややゆとりがある・ゆとりがある』と回答した人は「月20万円程度」が3割超となっている。

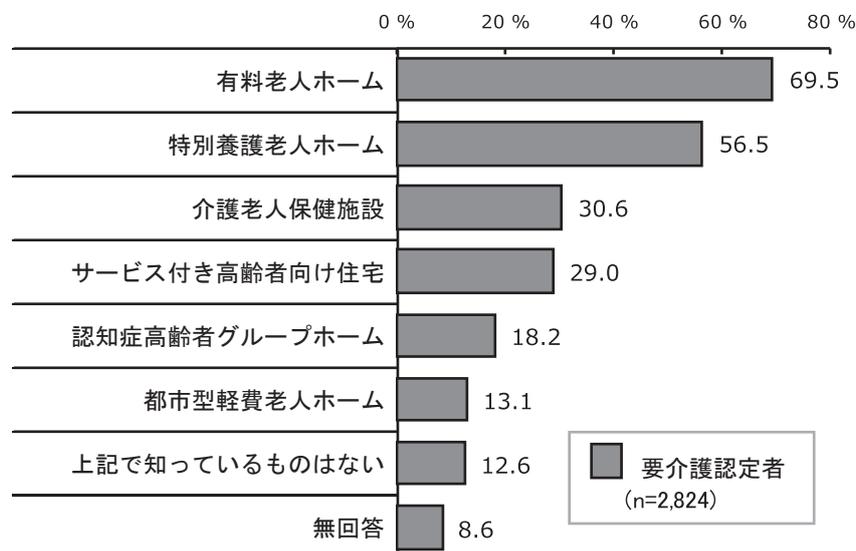
■ケア付き住まいに入居する際の費用負担可能額<高齢者一般：経済状況別>

	n	万円1程0度		万円2程5度		その他	無回答
		1程0度	2程5度	1程0度	2程5度		
高齢者一般	1,494	35.3	21.2	9.3	3.1	12.9	18.1
苦しい・大変苦しい	541	44.7	9.1	2.4	0.6	22.0	21.3
ふつう	747	33.9	29.0	9.6	2.8	8.8	15.8
ややゆとりがある・ゆとりがある	150	11.3	28.7	32.7	15.3	2.7	9.3

③ 高齢者向け住宅・施設の認知度

○高齢者向け住宅・施設の認知度は、「有料老人ホーム」が約7割、「特別養護老人ホーム」が5割半ばとなっている。「認知症高齢者グループホーム」「都市型軽費老人ホーム」は2割未満となっている。

■高齢者向け住宅・施設の認知度（複数回答）

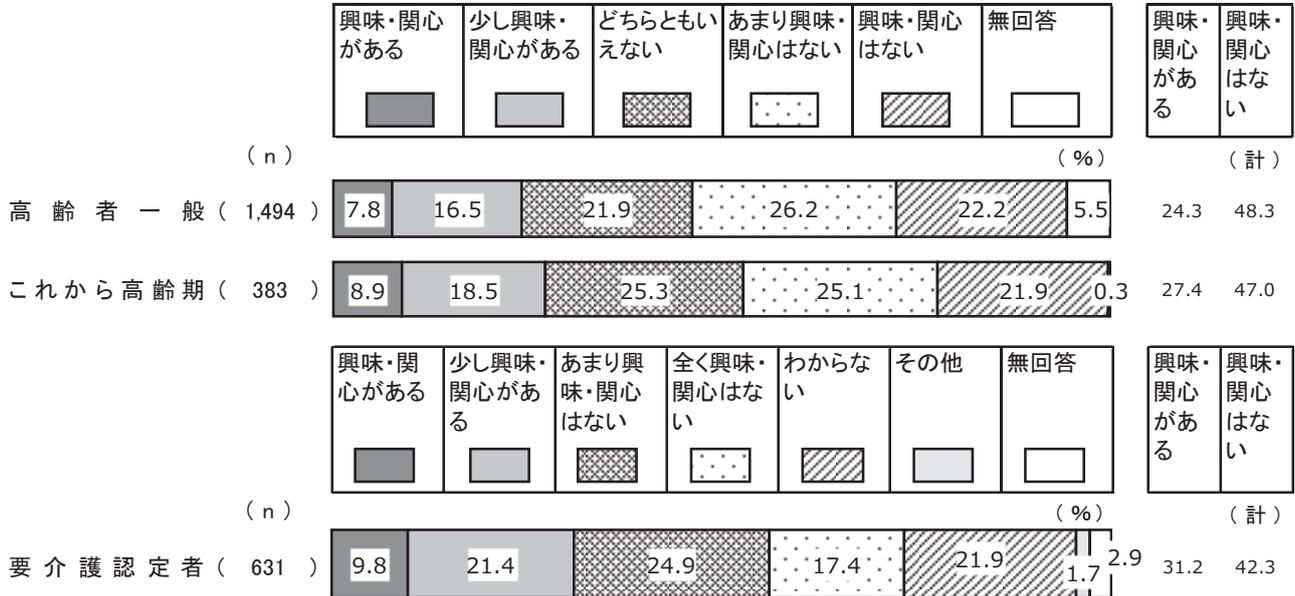


(5) 多様な老後の住まい方

① グループリビングへの興味・関心

○ “興味・関心がある”（「興味・関心がある」と「少し興味・関心がある」の合計）は、高齢者一般で24.3%、要介護認定者で31.2%、これから高齢期で27.4%となっている。

■グループリビングへの興味・関心

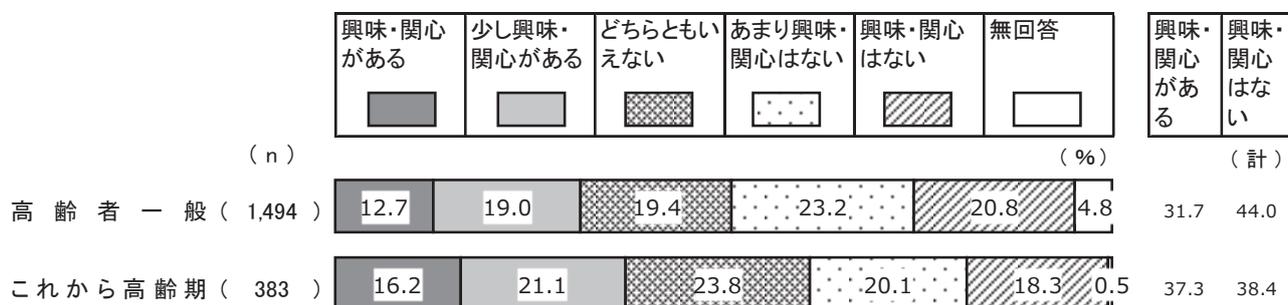


※ 要介護認定者調査では、世帯構成で「1人暮らし」と回答した人を対象に聞いた

② 地方移住への興味・関心

- “興味・関心がある” は、高齢者一般で31.7%、これから高齢期で37.3%であった。
- “興味・関心はない”（「興味・関心はない」と「あまり興味・関心はない」の合計）は、高齢者一般で44.0%、これから高齢期で38.4%であった。

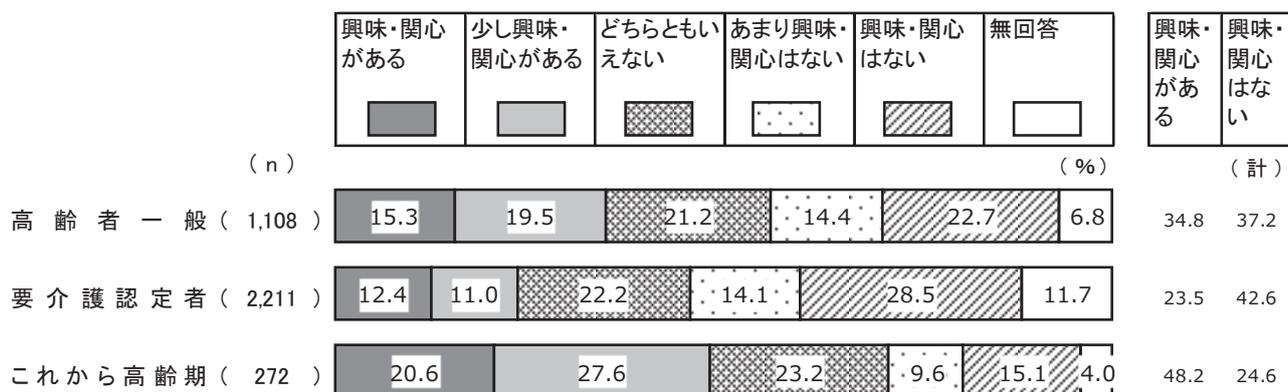
■地方移住への興味・関心



③ 持家の家賃収入を施設費用に充当することへの興味・関心

- 住まいが自分または家族などの持家と回答した人に持家の貸出しについて聞いたところ、“興味・関心がある” は、高齢者一般で34.8%、要介護認定者で23.5%、これから高齢期で48.2%であった。
- “興味・関心はない” は、高齢者一般で37.2%、要介護認定者で42.6%、これから高齢期で24.6%であった。

■持家の家賃収入を施設費用に充当することへの興味・関心

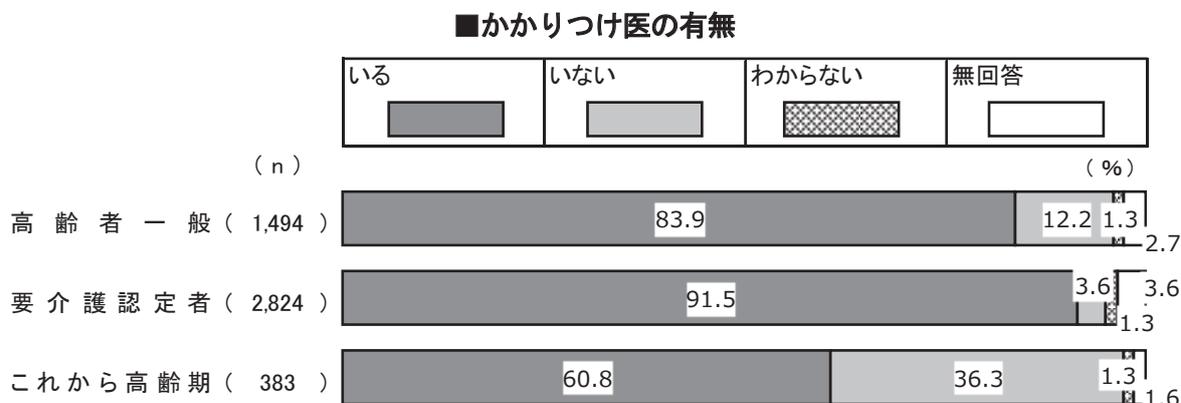


4 医療・健康

(1) かかりつけ医等の状況

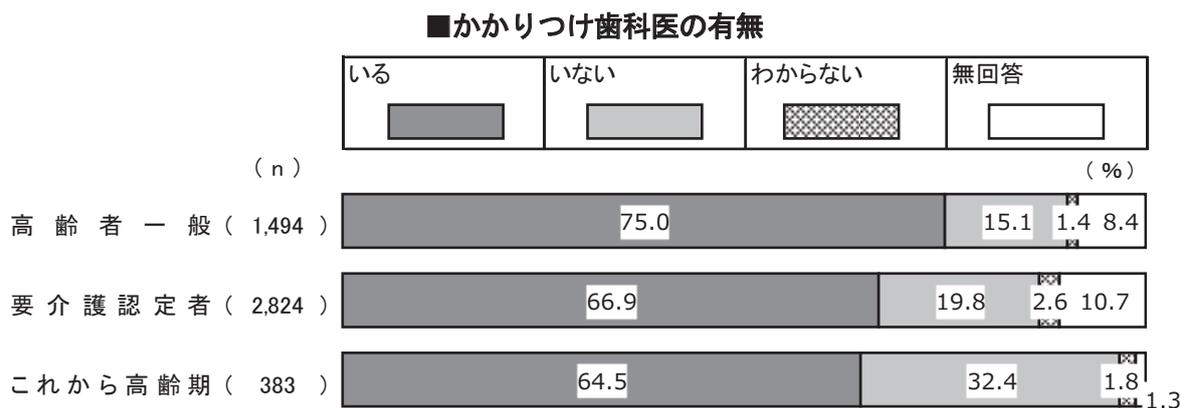
① かかりつけ医の有無

○「いる」は、高齢者一般で83.9%、要介護認定者で91.5%、これから高齢期で60.8%であった。



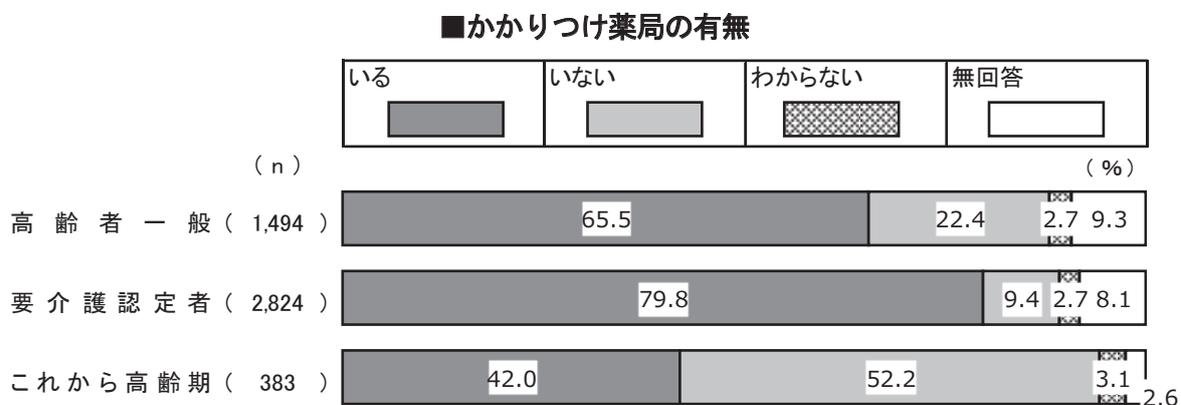
② かかりつけ歯科医の有無

○「いる」は、高齢者一般で75.0%、要介護認定者で66.9%、これから高齢期で64.5%であった。



③ かかりつけ薬局の有無

○「いる」は、高齢者一般で65.5%、要介護認定者で79.8%、これから高齢期で42.0%であった。

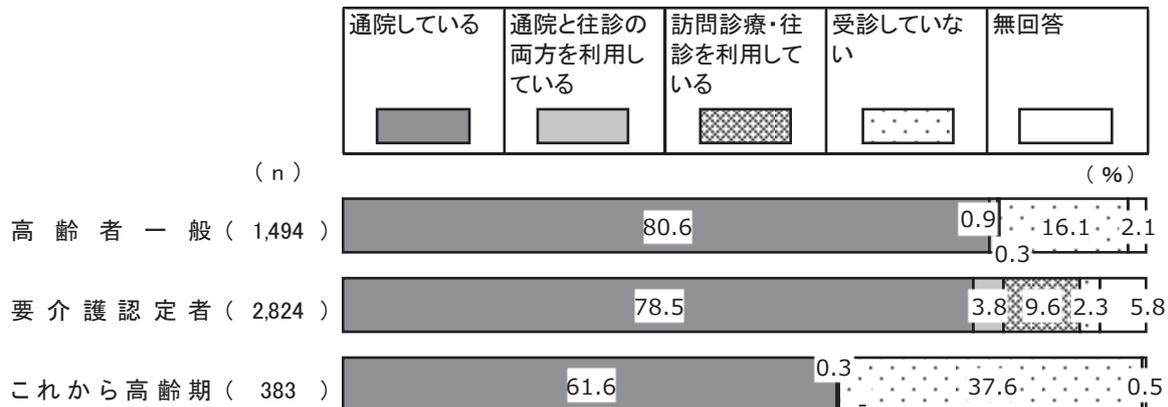


(2) 医療の受診状況

① 医療の受診形態

- 「通院している」「通院と往診の両方を利用している」「訪問診療・往診を利用している」と回答した“何らかの方法で医療を受診している”人は、高齢者一般で8割超、要介護認定者で9割超、これから高齢期で6割超であった。
- 「受診していない」は、高齢者一般で1割半ば、これから高齢期で4割近くであった。

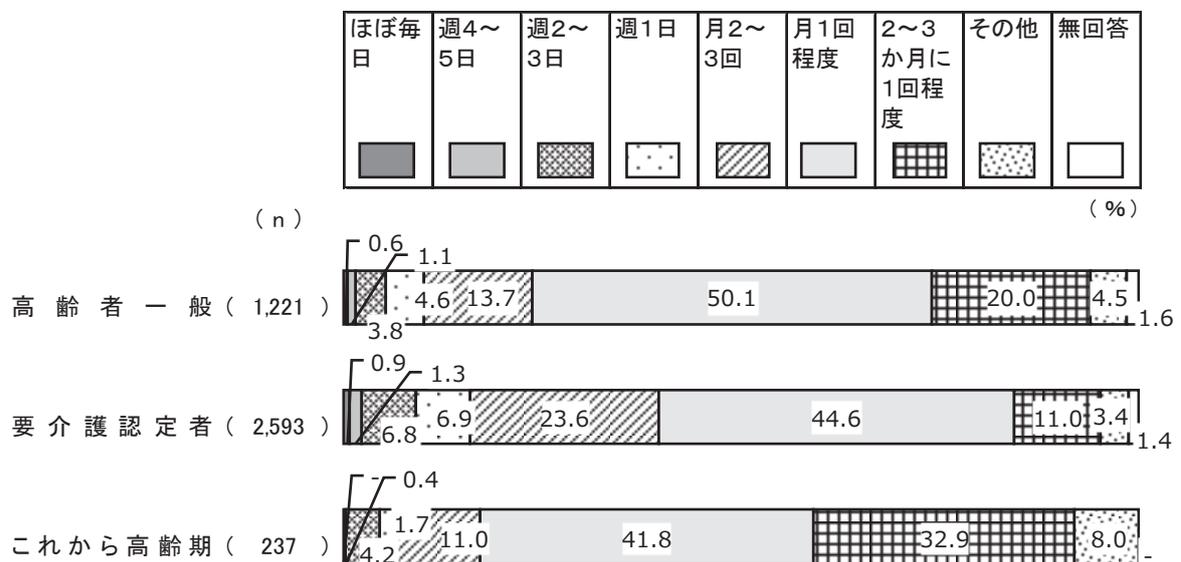
■医療の受診形態



② 医療機関の受診頻度

- “何らかの方法で医療を受診している”人の医療機関の受診頻度は、いずれの調査においても「月1回程度」が最も高く、「月2～3回」と回答した人も含めると、“月1～3回”が5割超～7割近くであった。

■医療機関の受診頻度

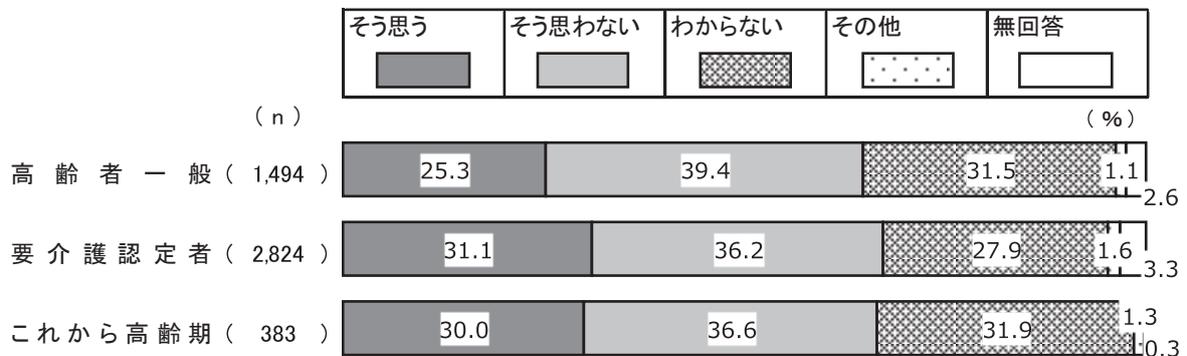


(3) 在宅療養

① 在宅療養の希望

○脳卒中の後遺症や末期がんなどで長期療養が必要になった場合、病院などへの入院・入所はしないで、自宅で生活したいかどうか聞いたところ、いずれの調査においても、「そう思わない（在宅療養したくない）」が「そう思う（在宅療養したい）」を上回った。

■在宅療養の希望



【経年比較】

○平成25年度の調査結果と比較すると、平成28年度調査結果は、「そう思う」が3割超と高くなっている。

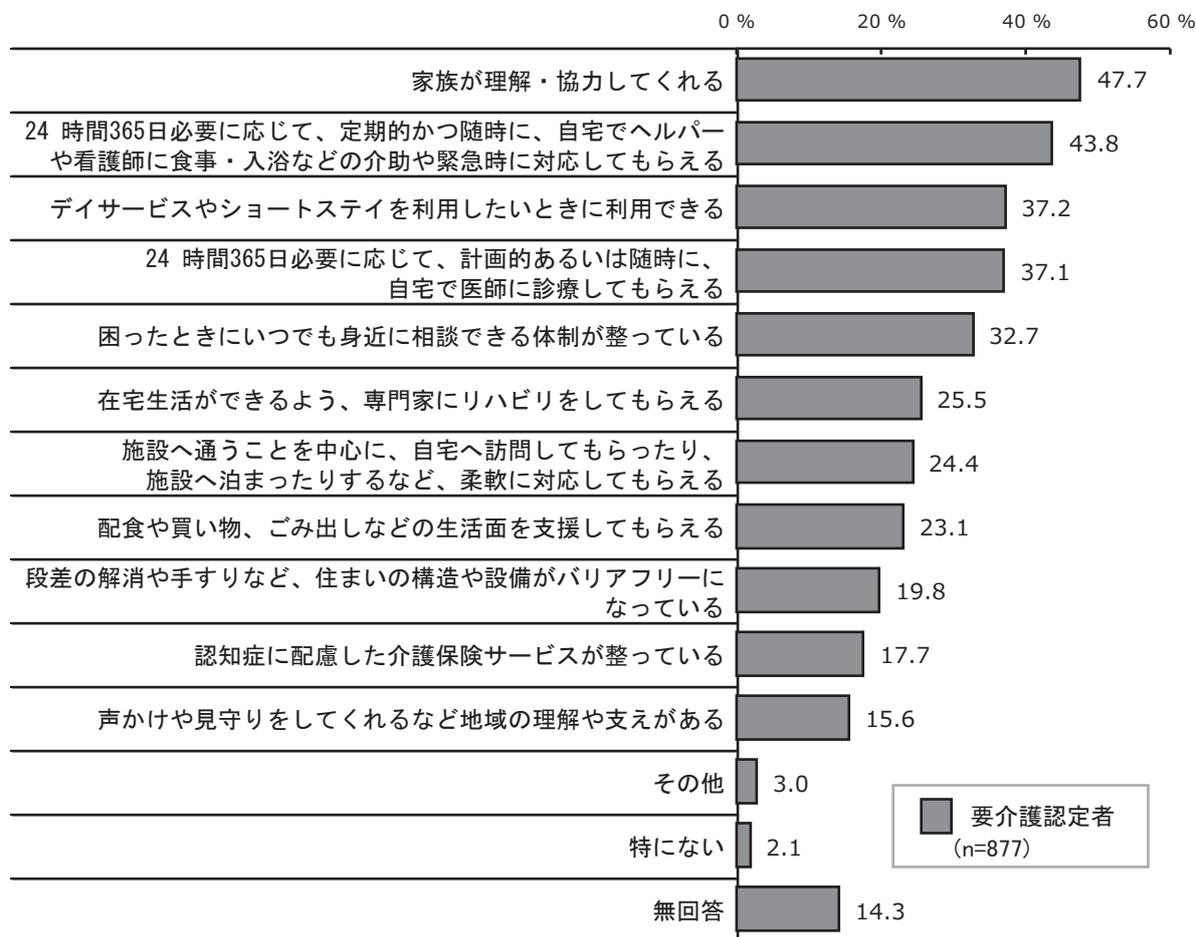
■在宅療養の希望<要介護認定者：経年比較>

	n	うそ う 思	わそ な う い 思	な わ い か ら	そ の 他	無 回 答
平成28年度	2,824	31.1	36.2	27.9	1.6	3.3
平成25年度	1,534	26.9	40.7	25.9	1.7	4.8

② 在宅療養生活を継続するために必要なこと

○在宅療養の希望で「そう思う（在宅療養したい）」と回答した人の在宅療養生活を継続するために必要なことは、「家族が理解・協力してくれる」が47.7%で最も高く、次いで「24時間365日必要に応じて、定期的かつ随時に、自宅でヘルパーや看護師に食事・入浴などの介助や緊急時に対応してもらえる」（43.8%）が続いている。

■在宅療養生活を継続するために必要なこと（複数回答）

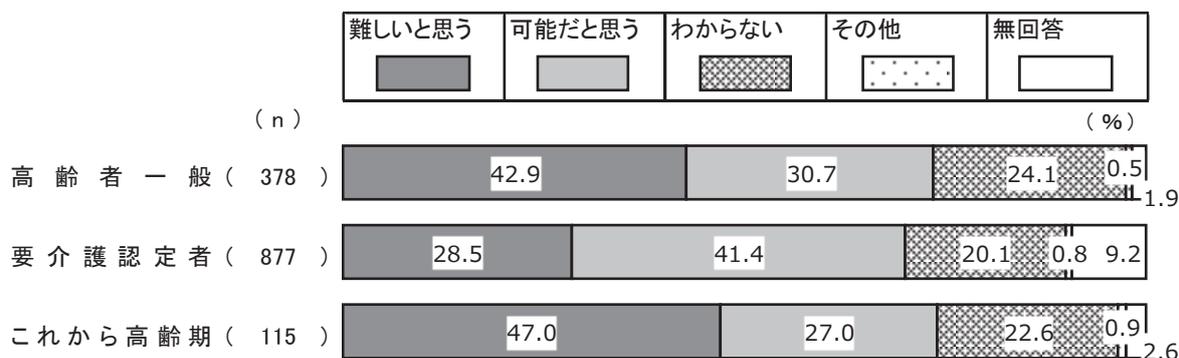


③ 在宅療養の実現可能性

○在宅療養の希望で「そう思う（在宅療養したい）」と回答した人の在宅療養の実現可能性は、高齢者一般、これから高齢期ともに「難しいと思う」が「可能だと思う」を上回っている。

○要介護認定者では、「可能だと思う」が41.4%、「難しいと思う」が28.5%となっている。

■在宅療養の実現可能性



【経年比較】

○平成25年度調査結果と比較すると、平成28年度は「可能だと思う」が4割超と高くなっている。

■在宅療養の実現可能性<要介護認定者：経年比較>

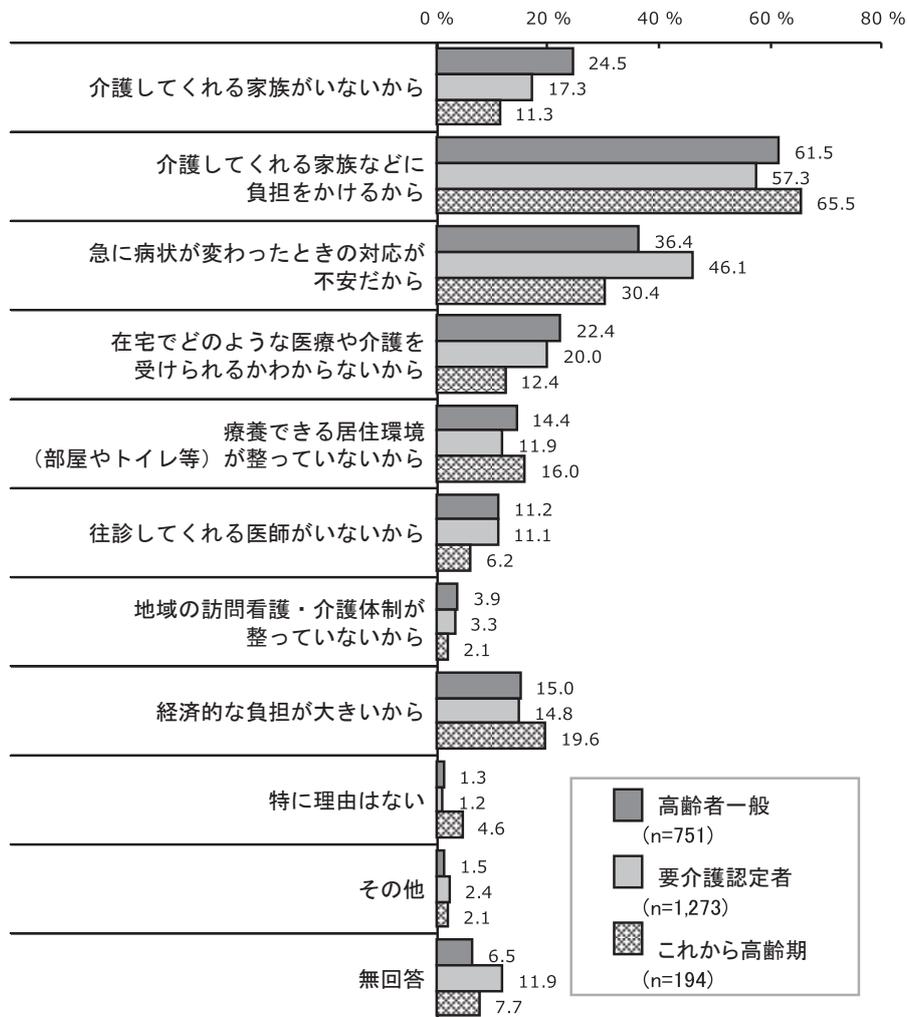
	n	思 難 う し い と	思 可 う 能 だ と	い わ か ら な い	そ の 他	無 回 答
平成28年度	877	28.5	41.4	20.1	0.8	9.2
平成25年度	413	30.5	35.1	20.6	1.9	11.9

④ 在宅療養が難しいと思う理由

○在宅療養の希望で「そう思わない（在宅療養したくない）」あるいは在宅療養の実現が「難しいと思う」と回答した人の実現が難しい理由は、いずれの調査においても、「介護してくれる家族などに負担をかけるから」が最も高い。

○要介護認定者では、「急に病状が変わったときの対応が不安だから」が46.1%と、他の対象者よりもやや高くなっている。

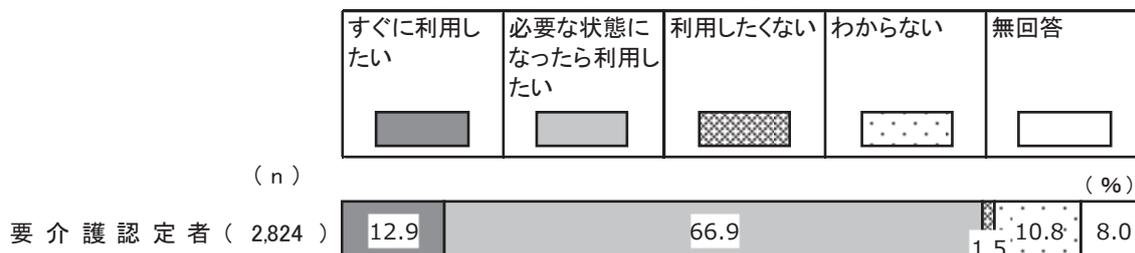
■在宅療養が難しいと思う理由（〇は3つまで）



⑤ 医療と介護の相談窓口の利用意向

○「すぐに利用したい」が12.9%、「必要な状態になったら利用したい」が66.9%で、2つを合わせた“医療と介護の相談窓口を利用したい”は約8割であった。

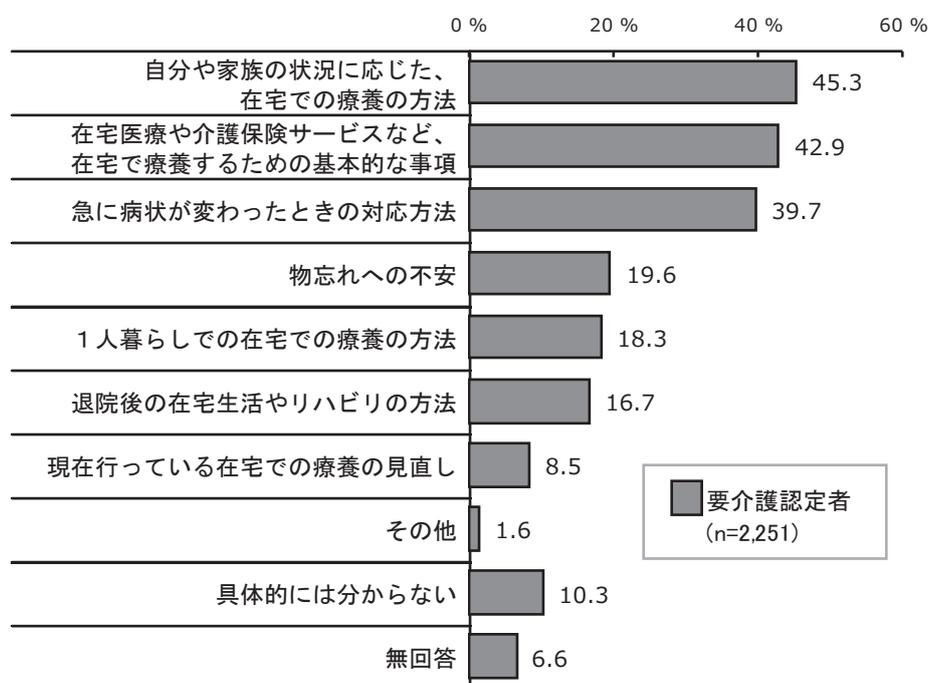
■医療と介護の相談窓口の利用意向



⑥ 医療と介護の相談窓口で相談したいこと

○“医療と介護の相談窓口を利用したい”と回答した人の相談したいことは、「自分や家族の状況に応じた、在宅での療養の方法」が45.3%で最も高い。次いで、「在宅医療や介護保険サービスなど、在宅で療養するための基本的な事項」(42.9%)、「急に病状が変わったときの対応方法」(39.7%)で続いている。

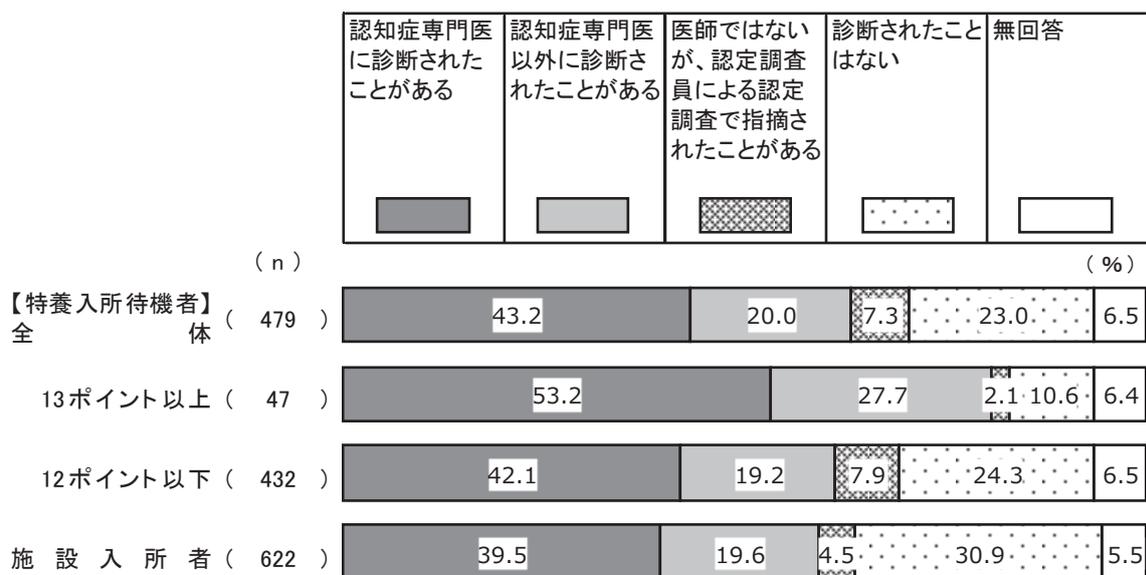
■医療と介護の相談窓口で相談したいこと（複数回答）



(4) 認知症の診断状況

- 特養入所待機者では、「認知症専門医に診断されたことがある」が43.2%、「認知症専門医以外に診断されたことがある」が20.0%、「医師ではないが、認定調査員による認定調査で指摘されたことがある」が7.3%、「診断されたことはない」が23.0%であった。
- 施設入所者では、「認知症専門医に診断されたことがある」が39.5%、「認知症専門医以外に診断されたことがある」が19.6%、「医師ではないが、認定調査員による認定調査で指摘されたことがある」が4.5%、「診断されたことはない」が30.9%であった。

■ 認知症の診断状況

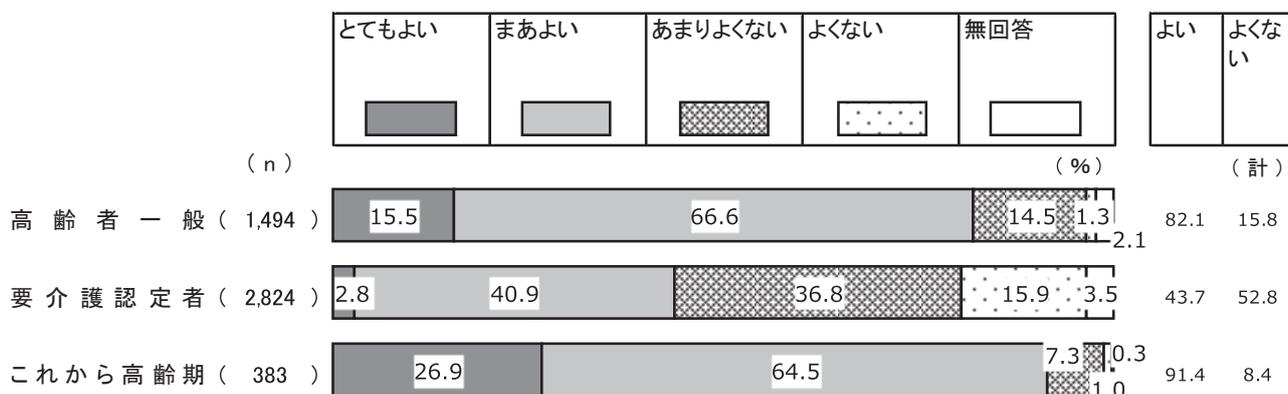


(5) 健康

① 健康状態

- “よい”（「とてもよい」と「まあよい」の合計）は、高齢者一般で82.1%、要介護認定者で43.7%、これから高齢期で91.4%であった。
- 要介護認定者では、健康状態が“よくない”（「よくない」と「あまりよくない」の合計）が半数を超えている。

■健康状態 <<ニーズ調査>>



【高齢者一般】

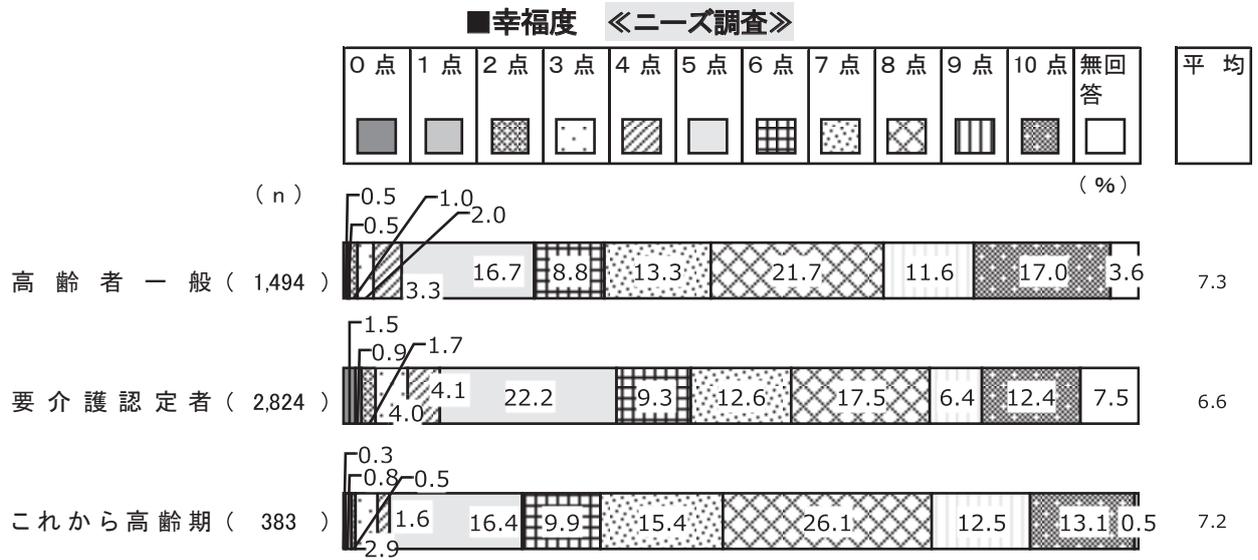
- 介護予防の実施有無別にみると、『意識して取り組んでいる』と回答した人は、“よい”が9割超で、『興味・関心は特にない』（約8割）と回答した人よりも高い。

■健康状態 <<ニーズ調査>> <高齢者一般：介護予防実施有無別>

	n	健康状態					（計）	
		とてもよい	まあよい	あまりよくない	よくない	無回答	よい	よくない
高齢者一般	1,494	15.5	66.6	14.5	1.3	2.1	82.1	15.8
意識して取り組んでいる	265	25.3	66.0	6.4	0.4	1.9	91.3	6.8
今後取り組みたい	441	15.2	72.6	10.9	0.2	1.1	87.8	11.1
興味はあるが、具体的な取り組み方がわからない	180	6.7	68.9	20.6	3.3	0.6	75.6	23.9
その他	49	14.3	53.1	30.6	2.0	-	67.3	32.7
興味・関心は特にない	404	14.6	64.6	16.8	1.7	2.2	79.2	18.6

② 幸福度

- 高齢者一般、これから高齢期では、「8点」が最も高く、それぞれ21.7%、26.1%であった。平均点は、それぞれ7.3点、7.2点であった。
- 要介護認定者では、「5点」が最も高く、22.2%、平均点は6.6点であった。



【高齢者一般】

- 経済状況別にみると、『苦しい・大変苦しい』は平均6.4点、『ややゆとりがある・ゆとりがある』は平均8.5点と、経済状況にゆとりがあると幸福度が高い傾向がみられる。

■幸福度 《ニーズ調査》<高齢者一般：経済状況別>

	n	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答	平均
高齢者一般	1,494	0.5	0.5	1.0	2.0	3.3	16.7	8.8	13.3	21.7	11.6	17.0	3.6	7.3
苦しい・大変苦しい	541	0.9	0.7	2.6	3.5	6.1	25.9	10.2	13.7	14.0	7.2	11.1	4.1	6.4
ふつう	747	0.1	0.4	-	1.2	1.6	13.8	9.2	13.1	26.9	13.5	17.4	2.7	7.6
ややゆとりがある・ゆとりがある	150	-	-	-	-	1.3	4.0	3.3	11.3	26.0	16.7	36.0	1.3	8.5

- 健康状態別にみると、『とてもよい・よい』は平均7.5点、『あまりよくない・よくない』は平均5.8点と、健康状態（主観的）が良いと幸福度が高い傾向がみられる。

■幸福度 《ニーズ調査》<高齢者一般：健康状態別>

	n	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答	平均
高齢者一般	1,494	0.5	0.5	1.0	2.0	3.3	16.7	8.8	13.3	21.7	11.6	17.0	3.6	7.3
とてもよい・よい	1,226	0.2	0.3	0.4	1.5	2.2	14.6	8.2	14.2	22.9	13.5	19.6	2.2	7.5
あまりよくない・よくない	236	1.7	1.3	3.8	4.7	9.3	27.5	12.7	10.2	17.8	2.5	5.9	2.5	5.8

○外出頻度別にみると、『外出している』は平均7.4点、『自宅に閉じこもりがち』は平均6.4点と、外出頻度が高いと幸福度が高い傾向がみられる。

■幸福度 《ニーズ調査》<高齢者一般：外出頻度別>

	n	(%)												平均
		0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答	
高齢者一般	1,494	0.5	0.5	1.0	2.0	3.3	16.7	8.8	13.3	21.7	11.6	17.0	3.6	7.3
外出している	1,225	0.2	0.2	0.9	1.6	2.9	15.6	8.3	13.2	22.4	12.9	18.4	3.2	7.4
どちらともいえない	122	0.8	1.6	0.8	3.3	4.9	22.1	10.7	13.9	19.7	8.2	9.8	4.1	6.6
自宅に閉じこもりがち	106	-	1.9	1.9	3.8	5.7	24.5	13.2	12.3	19.8	1.9	11.3	3.8	6.4

○介護予防の実施有無別にみると、『意識して取り組んでいる』は平均8.0点、『興味・関心は特にない』は平均7.1点と、介護予防に取り組んでいると幸福度が高い傾向がみられる。

■幸福度 《ニーズ調査》<高齢者一般：介護予防実施有無別>

	n	(%)													平均
		0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答		
高齢者一般	1,494	0.5	0.5	1.0	2.0	3.3	16.7	8.8	13.3	21.7	11.6	17.0	3.6	7.3	
意識して取り組んでいる	265	-	0.4	-	0.4	1.5	9.1	5.7	14.3	25.3	17.0	23.4	3.0	8.0	
今後取り組みたい	441	-	0.5	0.7	2.0	4.1	16.3	10.0	15.0	22.4	13.6	13.2	2.3	7.2	
興味はあるが、具体的な取り組み方がわからない	180	0.6	-	-	1.1	5.6	21.1	12.2	12.2	25.6	8.3	10.6	2.8	6.9	
その他	49	2.0	-	2.0	4.1	-	28.6	4.1	10.2	20.4	10.2	18.4	-	6.9	
興味・関心は特にない	404	0.5	0.5	1.7	3.0	3.7	18.8	9.9	13.1	19.3	8.7	18.3	2.5	7.1	

【要介護認定者】

○健康状態別にみると、『とてもよい・よい』は「8点」が最も高く、平均7.4点、『あまりよくない・よくない』は「5点」が最も高く、平均5.9点と、健康状態（主観的）が良いと幸福度が高い傾向がみられる。

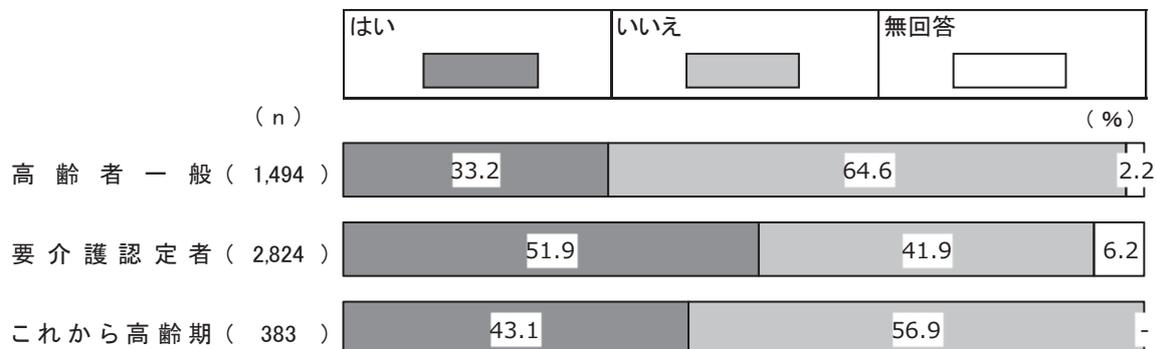
■幸福度 《ニーズ調査》<要介護認定者：健康状態別>

	n	(%)												平均
		0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答	
要介護認定者	2,824	1.5	0.9	1.7	4.0	4.1	22.2	9.3	12.6	17.5	6.4	12.4	7.5	6.6
とてもよい・よい	1,234	0.2	0.1	0.4	1.1	1.5	18.6	9.0	14.3	23.3	8.9	18.6	4.1	7.4
あまりよくない・よくない	1,490	2.5	1.7	2.8	6.6	6.4	26.0	10.1	11.9	13.3	4.5	7.5	6.6	5.9

③ この1か月に気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりしたこと

- 高齢者一般、これから高齢期では、「はい（この1か月に気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりしたことがある）」がそれぞれ33.2%、43.1%であった。
- 要介護認定者では、「はい」が51.9%、「いいえ」（41.9%）を上回っている。

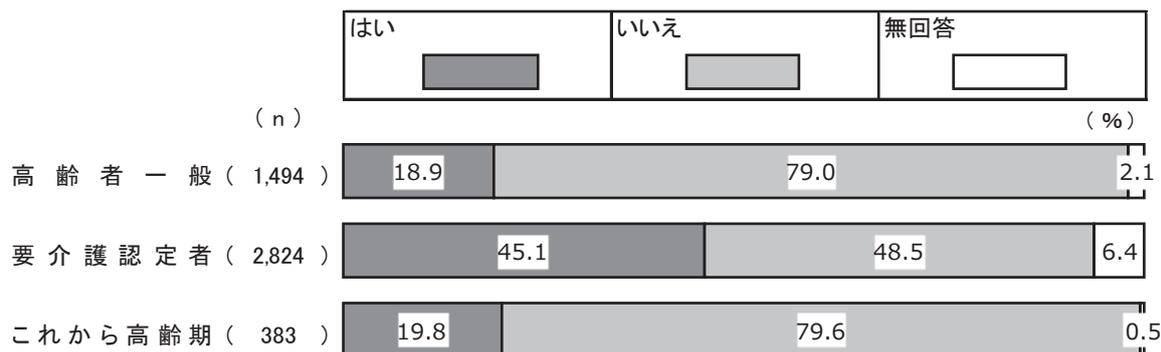
■この1か月に気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりしたこと 《ニーズ調査》



④ この1か月に物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめなかったこと

- 「はい（この1か月に物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめなかったことがある）」は、高齢者一般で18.9%、要介護認定者で45.1%、これから高齢期で19.8%であった。

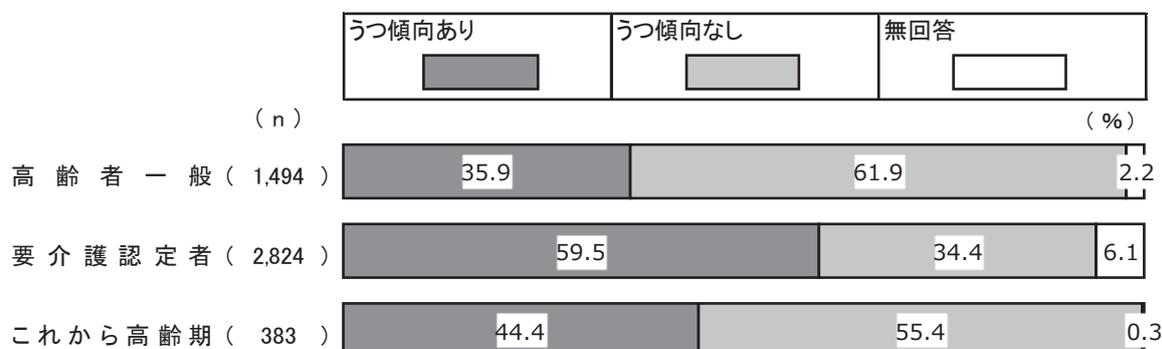
■この1か月に物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめなかったこと 《ニーズ調査》



⑤ うつ傾向の有無

- うつ傾向がある人(※)は、高齢者一般で35.9%、要介護認定者で59.5%、これから高齢期で44.4%であった。

■うつ傾向の高齢者 《ニーズ調査》

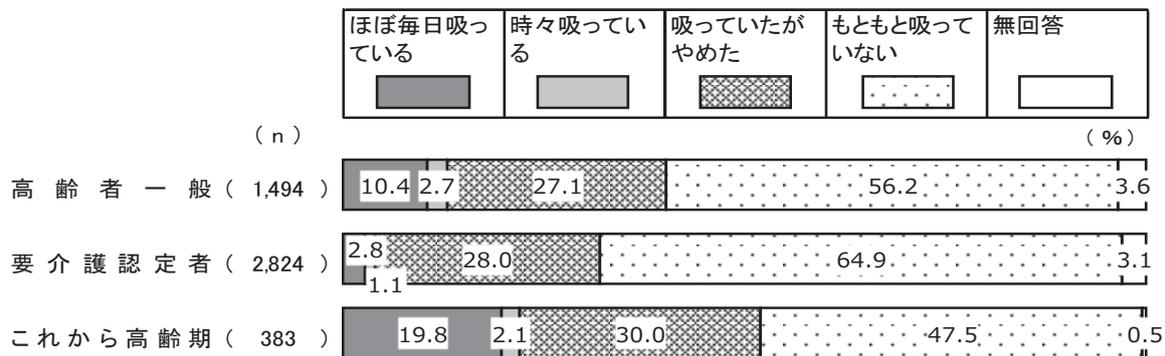


※ ③④のいずれか1つでも「はい」に該当した場合、うつ傾向ありとなる

⑥ 喫煙の状況

○「ほぼ毎日吸っている」は、高齢者一般で10.4%、要介護認定者で2.8%、これから高齢期で19.8%であった。

■喫煙の状況 <<ニーズ調査>>

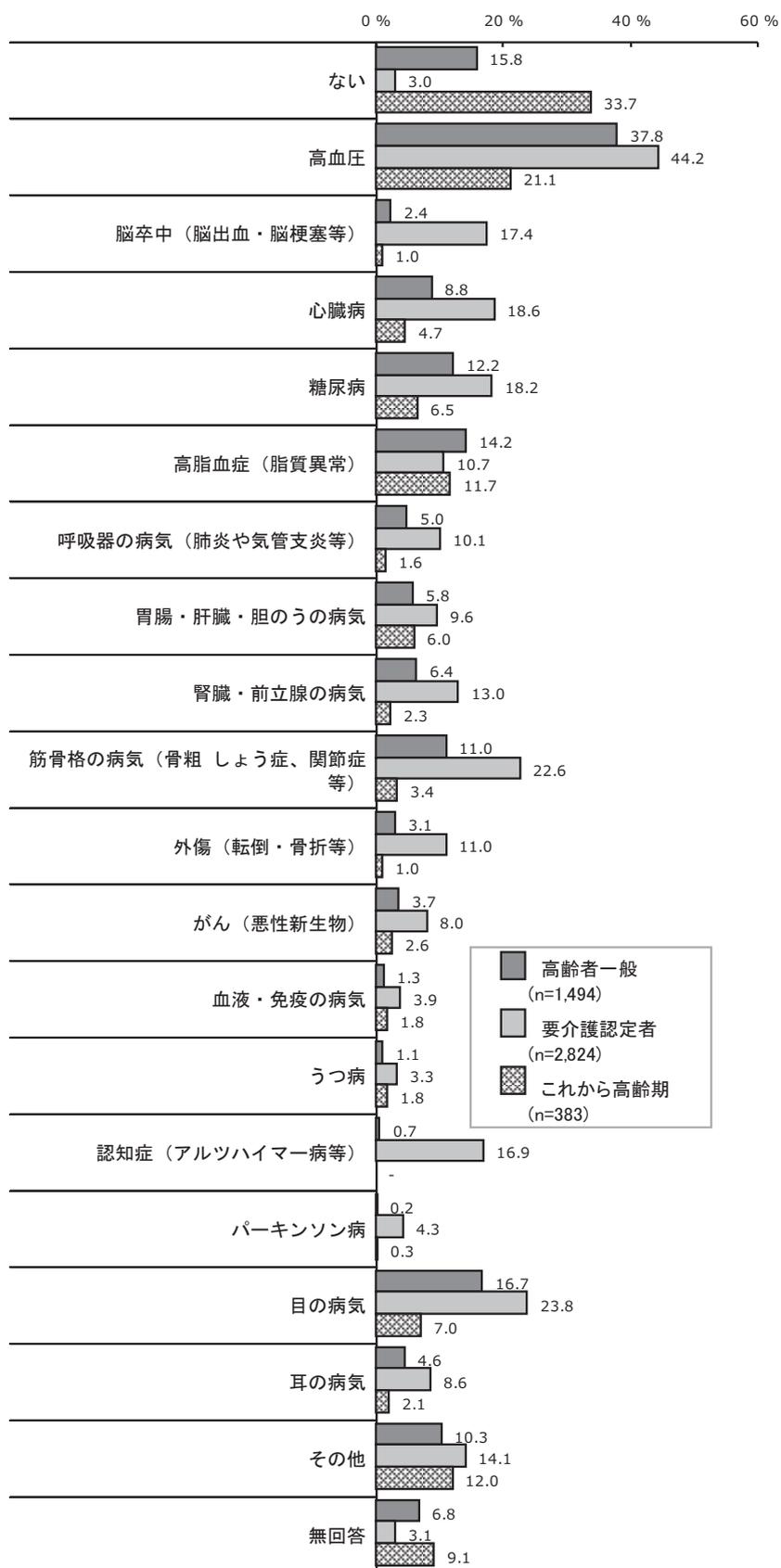


⑦ 治療中の病気

○いずれの調査においても、「高血圧」が病気のなかで最も高い。

○「ない」は、高齢者一般で15.8%、これから高齢期で33.7%となっている。

■治療中の病気（複数回答） 《ニーズ調査》

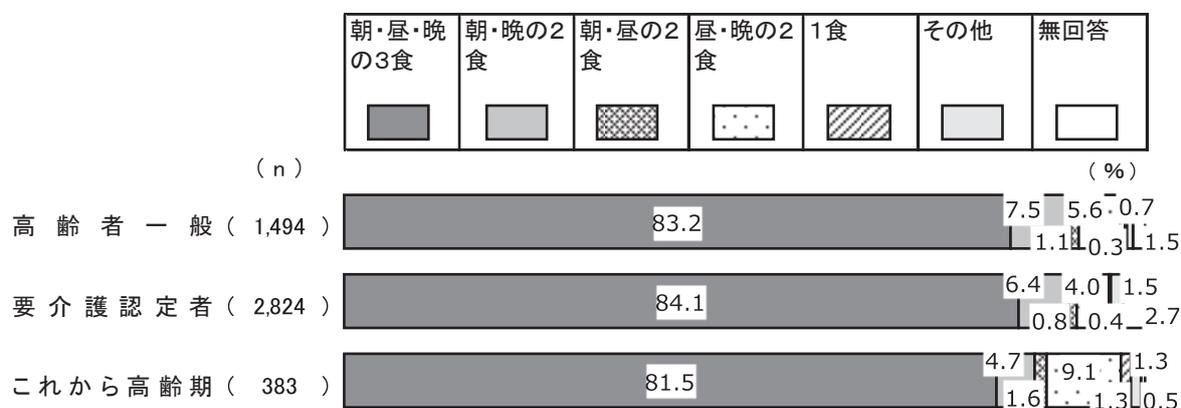


⑧ 1日の食事の回数

○いずれの調査においても、「朝・昼・晩の3食」が8割を超えている。

○“朝・昼・晩のいずれか1食を欠食している”（「朝・晩の2食」「朝・昼の2食」「昼・晩の2食」の合計）人や「1食」と回答した人は、高齢者一般で14.5%、要介護認定者で11.7%、これから高齢期で16.7%であった。

■ 1日の食事の回数



【高齢者一般】

○世帯構成別にみると、いずれも「朝・昼・晩の3食」が最も高い。『1人暮らし』は“朝・昼・晩のいずれか1食を欠食している”人が2割超で、他の世帯構成（1割前後）より高い。

■ 1日の食事の回数<高齢者一般：世帯構成別>

	n	(%)							(計)
		の朝 3・ 食昼 ・ 晩	食朝 ・ 晩 の 2	食朝 ・ 昼 の 2	食昼 ・ 晩 の 2	1 食	そ の 他	無 回 答	2 食
高齢者一般	1,494	83.2	7.5	1.1	5.6	0.3	0.7	1.5	14.3
1人暮らし	474	74.5	11.8	1.9	8.6	0.6	1.3	1.3	22.4
夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	374	89.6	5.3	0.3	3.2	-	0.8	0.8	8.8
夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	76	89.5	5.3	-	2.6	-	1.3	1.3	7.9
息子・娘との2世帯	218	85.8	5.5	1.4	5.0	-	-	2.3	11.9
その他	301	88.0	4.7	1.0	4.0	0.3	0.3	1.7	9.6

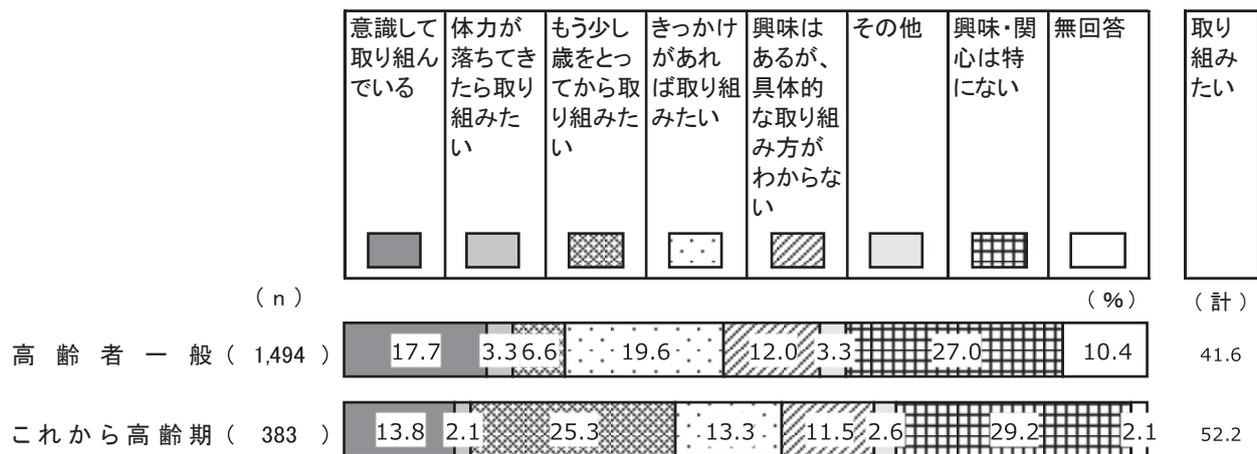
5 介護予防

(1) 介護予防の取組

① 介護予防の取組状況

- 「意識して取り組んでいる」は、高齢者一般で17.7%、これから高齢期で13.8%であった。
- “取り組みたい”（「体力が落ちてきたら取り組みたい」「もう少し歳をとってから取り組みたい」「きっかけがあれば取り組みたい」「興味はあるが、具体的な取り組み方がわからない」の合計）は、高齢者一般で41.6%、これから高齢期で52.2%であった。
- 「興味・関心は特にない」は、高齢者一般で27.0%、これから高齢期で29.2%であった。

■介護予防の取組状況



※ 就労・運動・スポーツや地域行事・趣味サークルなどへの積極的な参加、栄養・口腔衛生教室、認知症予防教室への参加、食事の工夫などの介護予防につながる活動に意識して取り組んでいるかどうかを聞いた

【高齢者一般】

○年代別にみると、『前期高齢者』で“取り組みたい”が5割近くで、『後期高齢者』と比べて高い。

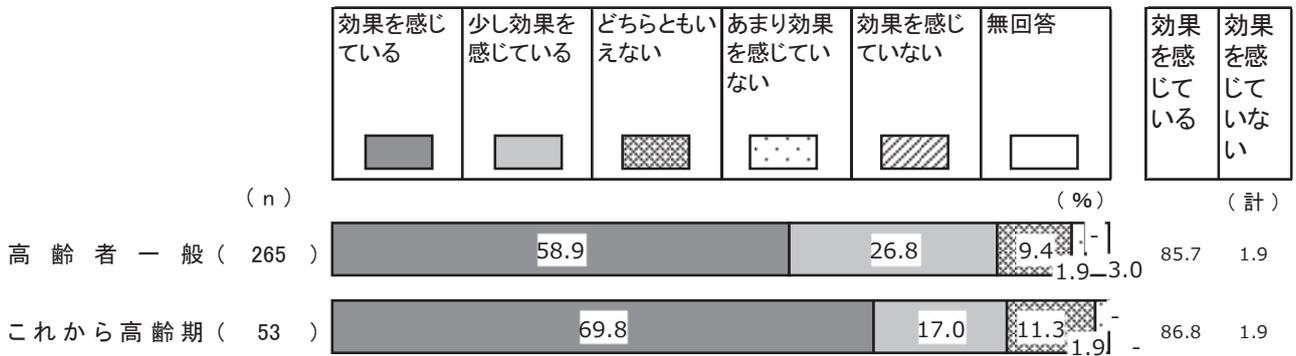
■介護予防の取組状況<高齢者一般：年代別>

	n	意識して取り組んでいる	体力が落ちてきたら取り組みたい	もう少し歳をとってから取り組みたい	きっかけがあれば取り組みたい	興味はあるが、具体的な取り組み方がわからない	その他	興味・関心は特にない	無回答	取り組みたい
高齢者一般	1,494	17.7	3.3	6.6	19.6	12.0	3.3	27.0	10.4	41.6
前期高齢者(65-74歳)	661	18.8	3.3	12.0	20.7	11.8	2.3	24.5	6.7	47.8
後期高齢者(75歳以上)	771	17.0	3.5	1.8	19.3	12.3	4.4	28.7	13.0	37.0

② 介護予防の主観的な効果

○介護予防に意識して取り組んでいると回答した人で、その取組に“効果を感じている”（「効果を感じている」と「少し効果を感じている」の合計）人は、高齢者一般で85.7%となっている。

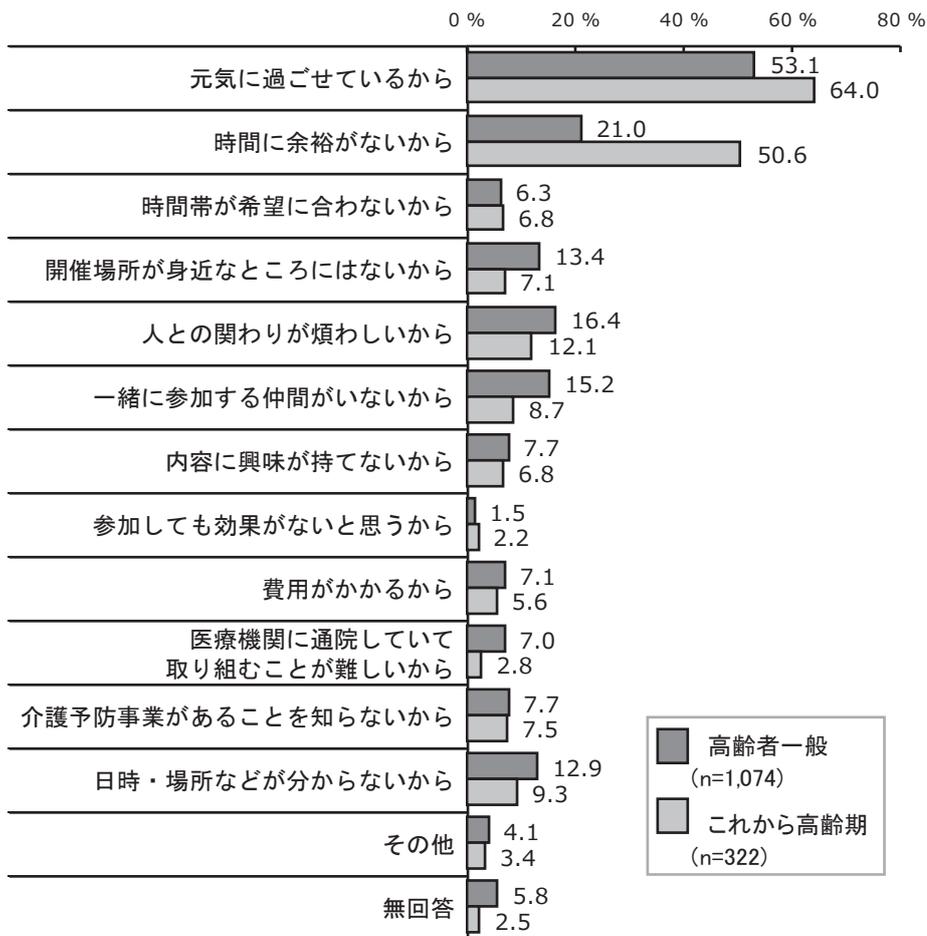
■介護予防の主観的な効果



③ 介護予防に取り組んでいない理由

○介護予防に取り組んでいないと回答した人（※）の取り組んでいない理由は、いずれの調査においても、「元気に過ごせているから」（それぞれ53.1%、64.0%）が最も高く、次いで「時間に余裕がないから」（それぞれ21.0%、50.6%）と続いている。

■介護予防に取り組んでいない理由（複数回答）



※ ①で「体力が落ちてきたら取り組みたい」「もう少し歳をとってから取り組みたい」「きっかけがあれば取り組みたい」「興味はあるが、具体的な取り組み方がわからない」「その他」「興味・関心は特にない」と回答した人

【高齢者一般】

○年代別にみると、『前期高齢者』では「元気に過ごせているから」（6割超）、「時間に余裕がないから」（約3割）が、『後期高齢者』と比べて高い。

■介護予防に取り組んでいない理由<高齢者一般：年代別>

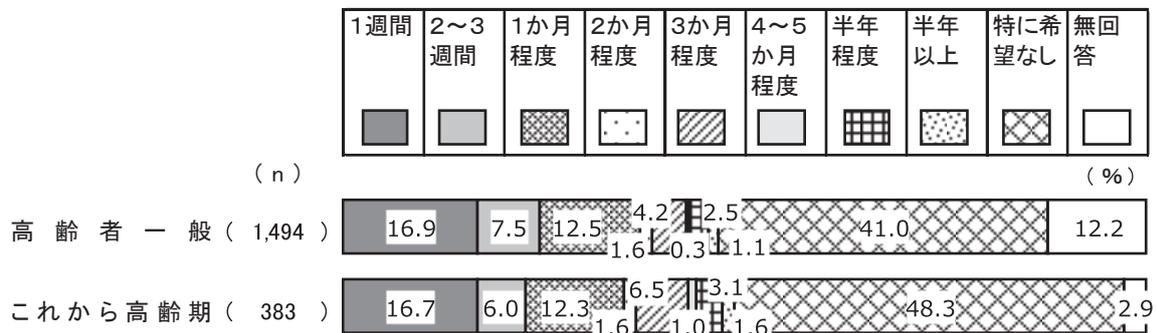
		元気に過ごせているから	時間に余裕がないから	人との関わりが煩わしいから	一緒に参加する仲間がいないから	開催場所が身近なところにはないから	日時・場所などが分からないから	内容に興味が持てないから	介護予防事業があることを知らないから	費用がかかるから	医療機関に通院して取り組むことが難しいから	時間帯が希望に合わないから	参加しても効果がないと思うから	その他	無回答
	n														
高齢者一般	1,074	53.1	21.0	16.4	15.2	13.4	12.9	7.7	7.7	7.1	7.0	6.3	1.5	4.1	5.8
前期高齢者(65-74歳)	493	62.3	29.0	17.4	13.0	10.8	12.4	7.5	6.7	7.3	4.1	8.5	1.2	3.2	3.7
後期高齢者(75歳以上)	540	45.6	13.0	15.4	17.4	15.7	13.1	8.3	8.9	7.0	10.0	4.4	1.9	4.8	7.0

(2) 参加しやすい介護予防事業

① 介護予防事業の望ましい実施期間

○いずれの調査においても、「特に希望なし」が最も高く、それぞれ41.0%、48.3%であった。

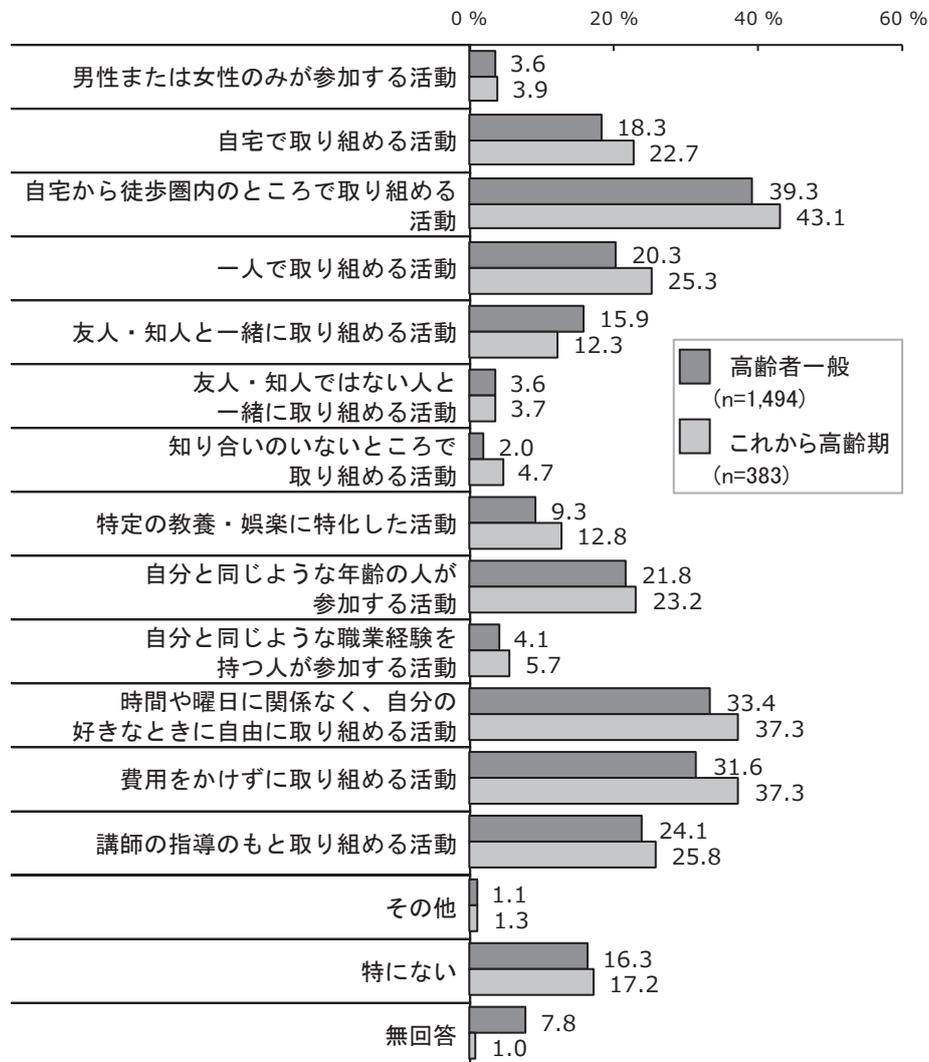
■介護予防事業（教室・講座など）の望ましい実施期間



② 介護予防に取り組むための条件

○いずれの調査においても、「自宅から徒歩圏内のところで取り組める活動」が最も高く、高齢者一般では 39.3%、これから高齢期では 43.1%となっている。次いで、「時間や曜日に関係なく、自分の好きなときに自由に取り組める活動」「費用をかけずに取り組める活動」「講師の指導のもと取り組める活動」が上位に挙げられている。

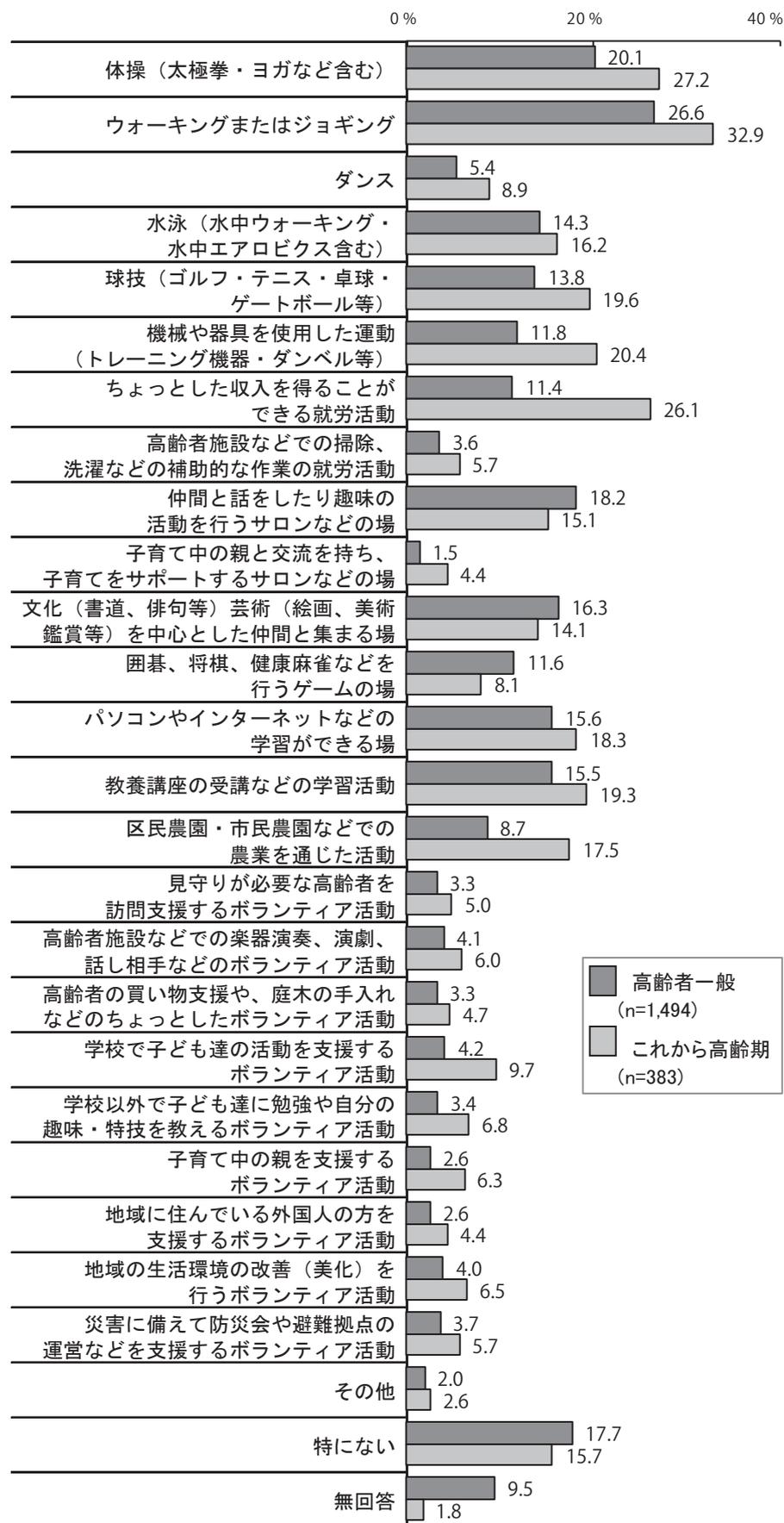
■介護予防に取り組むための条件（複数回答）



③ 参加したい活動

○いずれの調査においても、「ウォーキングまたはジョギング」が最も高く、高齢者一般で26.6%、これから高齢期で32.9%となっている。次いで、「体操（太極拳・ヨガなど含む）」と続いている。

■参加したい活動（複数回答）



【高齢者一般】

- 性別にみると、『男性』は「ウォーキングまたはジョギング」（3割超）、「球技（ゴルフ・テニス・卓球・ゲートボール等）」（約2割）、「囲碁、将棋、健康麻雀などを行うゲームの場」が『女性』と比べて高い。『女性』は「体操（太極拳・ヨガなど含む）」（2割半ば）、「仲間と話しをしたり趣味の活動を行うサロンなどの場」（2割超）が『男性』と比べて高い。
- 年代別にみると、『前期高齢者』は「体操（太極拳・ヨガなど含む）」（2割半ば）、「ちょっとした収入を得ることができる就労活動」（2割近く）が『後期高齢者』と比べて高い。

■参加したい活動（複数回答）＜高齢者一般：性別・年代別＞

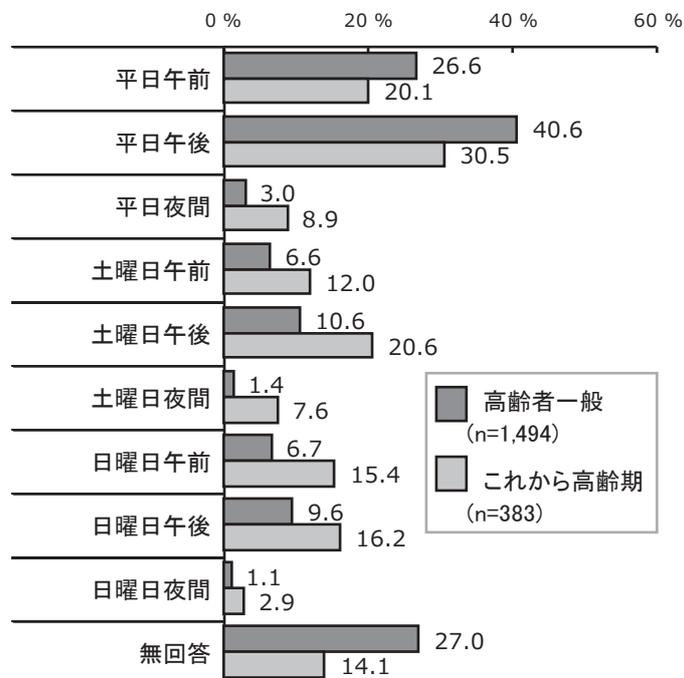
	(%)				
	高齢者 一般	男性	女性	前期 高齢者	後期 高齢者
(n)	1,494	615	834	661	771
ウォーキングまたはジョギング	26.6	31.7	23.4	30.9	24.1
体操(太極拳・ヨガなど含む)	20.1	14.3	25.1	25.6	16.5
仲間と話しをしたり趣味の活動を行うサロンなどの場	18.2	13.8	21.9	16.5	20.5
文化(書道、俳句等)芸術(絵画、美術鑑賞等)を中心とした仲間と集まる場	16.3	13.8	18.2	17.2	16.0
パソコンやインターネットなどの学習ができる場	15.6	18.2	14.1	18.9	13.2
教養講座の受講などの学習活動	15.5	16.3	15.2	18.0	13.7
水泳(水中ウォーキング・水中エアロビクス含む)	14.3	11.1	16.8	18.0	11.3
球技(ゴルフ・テニス・卓球・ゲートボール等)	13.8	20.2	9.4	16.5	11.8
機械や器具を使用した運動(トレーニング機器・ダンベル等)	11.8	13.5	10.8	14.8	9.6
囲碁、将棋、健康麻雀などを行うゲームの場	11.6	20.8	5.2	12.6	11.4
ちょっとした収入を得ることができる就労活動	11.4	14.8	9.1	17.1	7.0
区民農園・市民農園などでの農業を通じた活動	8.7	12.7	6.1	12.0	6.2
ダンス	5.4	4.1	6.1	5.7	4.8
学校で子ども達の活動を支援するボランティア活動	4.2	5.7	3.4	7.0	2.1
高齢者施設などでの楽器演奏、演劇、話し相手などのボランティア活動	4.1	2.6	5.0	4.4	3.8
地域の生活環境の改善(美化)を行うボランティア活動	4.0	6.0	2.6	6.1	2.5
災害に備えて防災会や避難拠点の運営などを支援するボランティア活動	3.7	5.4	2.6	4.2	3.4
高齢者施設などでの掃除、洗濯などの補助的な作業の就労活動	3.6	2.9	4.3	4.4	3.2
学校以外で子ども達に勉強や自分の趣味・特技を教えるボランティア活動	3.4	3.9	3.1	5.0	2.2
見守りが必要な高齢者を訪問支援するボランティア活動	3.3	2.0	4.6	4.2	2.9
高齢者の買い物支援や、庭木の手入れなどのちょっとしたボランティア活動	3.3	3.6	3.4	5.0	2.1
子育て中の親を支援するボランティア活動	2.6	1.6	3.5	3.5	2.1
地域に住んでいる外国人の方を支援するボランティア活動	2.6	2.9	2.4	3.9	1.6
子育て中の親と交流を持ち、子育てをサポートするサロンなどの場	1.5	0.7	2.0	1.5	1.4
その他	2.0	1.8	2.3	2.1	1.9
特になし	17.7	19.0	17.0	15.0	20.1
無回答	9.5	6.7	10.9	5.3	12.3

④ 参加しやすい時間帯

○高齢者一般では、「平日午後」(40.6%)が最も高く、次いで「平日午前」(26.6%)、「土曜日午後」(10.6%)、「日曜日午後」(9.6%)と続いている。

○これから高齢期では、「平日午後」(30.5%)が最も高く、次いで「土曜日午後」(20.6%)、「平日午前」(20.1%)、「日曜日午後」(16.2%)と続いている。

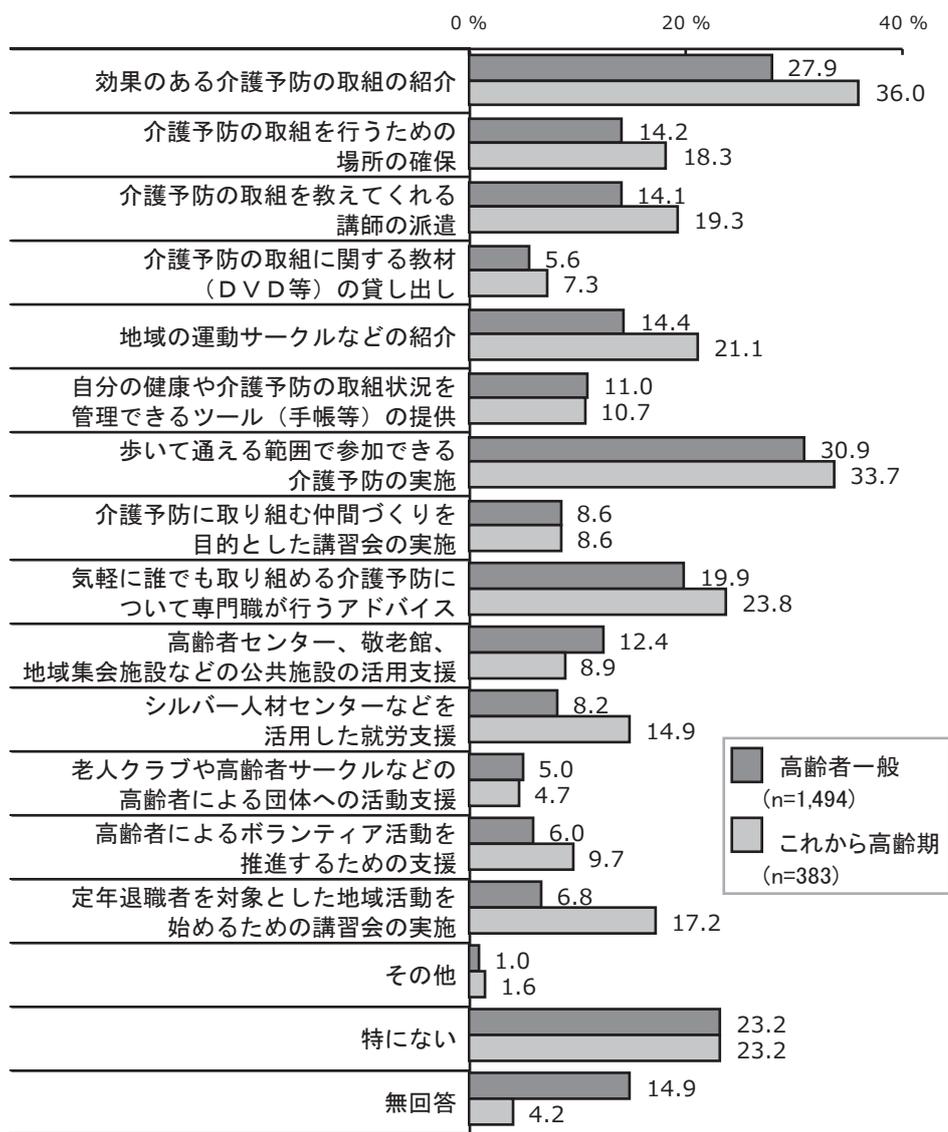
■参加しやすい時間帯(複数回答)



⑤ 介護予防に取り組むために必要な支援

- 高齢者一般では、「歩いて通える範囲で参加できる介護予防の実施」(30.9%)が最も高く、次いで「効果のある介護予防の取組の紹介」(27.9%)、「気軽に誰でも取り組める介護予防について専門職が行うアドバイス」(19.9%)、「地域の運動サークルなどの紹介」(14.4%)、「介護予防の取組を行うための場所の確保」(14.2%)、「介護予防の取組を教えてくれる講師の派遣」(14.1%)と続いている。また「特にない」は23.2%となっている。
- これから高齢期では、「効果のある介護予防の取組の紹介」(36.0%)が最も高く、次いで「歩いて通える範囲で参加できる介護予防の実施」(33.7%)、「気軽に誰でも取り組める介護予防について専門職が行うアドバイス」(23.8%)、「地域の運動サークルなどの紹介」(21.1%)、「介護予防の取組を教えてくれる講師の派遣」(19.3%)、「介護予防の取組を行うための場所の確保」(18.3%)と続いている。また「特にない」は23.2%となっている。

■介護予防に取り組むために必要な支援（複数回答）



※ 「高齢者センター」は、平成29年4月に「はつらつセンター」に名称を変更した

【高齢者一般】

○年代別にみると、『前期高齢者』は「歩いて通える範囲で参加できる介護予防の実施」が3割半ばで、『後期高齢者』と比べて高い。

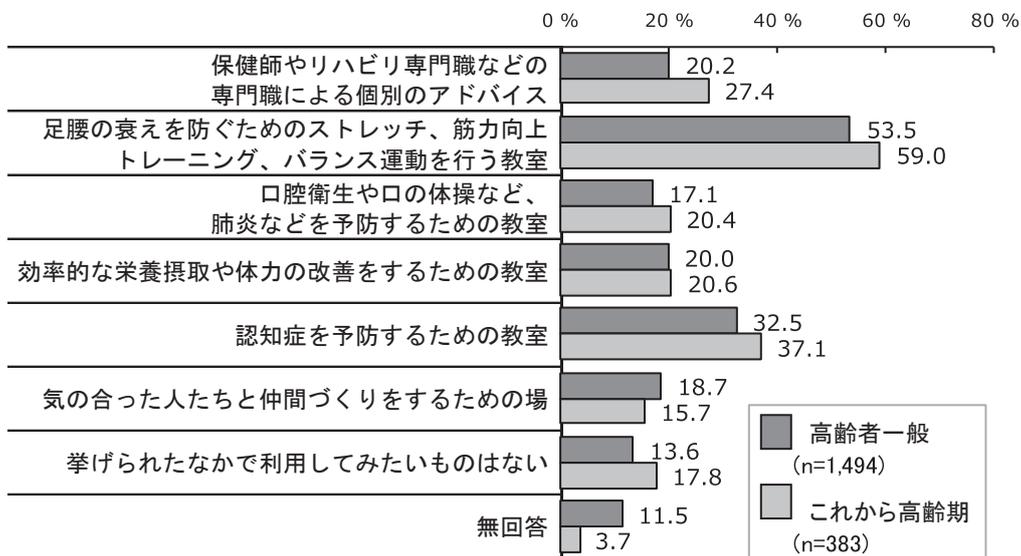
■介護予防に取り組むために必要な支援<高齢者一般：年代別>

		歩 の 実 施	効 果 の あ る 介 護 予 防 の 取 組 の 紹 介	て 気 軽 に 誰 で も 取 り 組 め る 介 護 予 防 に つ い	地 域 の 運 動 サ ー ク ル な ど の 紹 介	介 護 予 防 の 取 組 を 行 う た め の 場 所 の 確 保	遣 介 護 予 防 の 取 組 を 教 え て く れ る 講 師 の 派	高 齢 者 セ ン タ ー 、 敬 老 館 、 地 域 集 会 施 設	で 自 分 の 健 康 や 介 護 予 防 の 取 組 状 況 を 管 理	介 護 予 防 に 取 り 組 む 仲 間 づ き を 目 的 と し た 講 習 会 の 実 施	シ ル バ ー 人 材 セ ン タ ー な ど を 活 用 し た 就 業 支 援	定 年 退 職 者 を 対 象 と し た 地 域 活 動 を 始 め る た め の 講 習 会 の 実 施	高 齢 者 に よ る ボ ラ ン テ ィ ア 活 動 を 推 進 す る た め の 支 援	等 の 貸 し 出 し	介 護 予 防 の 取 組 に 関 する 教 材 （ D V D ）	老 人 ク ラ ブ や 高 齢 者 サ ー ク ル な ど の 高 齢 者 に よ る 団 体 へ の 活 動 支 援	そ の 他	特 に な い	無 回 答	
	n																			
高齢者一般	1,494	30.9	27.9	19.9	14.4	14.2	14.1	12.4	11.0	8.6	8.2	6.8	6.0	5.6	5.6	5.0	1.0	23.2	14.9	
前期高齢者(65-74歳)	661	35.2	30.7	22.4	19.2	15.4	14.1	13.2	11.3	9.7	11.0	11.5	6.7	7.1	5.0	0.9	22.1	10.6		
後期高齢者(75歳以上)	771	28.1	26.2	18.0	11.2	13.5	14.5	12.1	11.0	8.2	6.1	3.0	5.6	4.3	5.2	1.2	23.9	17.4		

⑥ 介護予防サービスの利用意向

○いずれの調査においても、「足腰の衰えを防ぐためのストレッチ、筋力向上トレーニング、バランス運動を行う教室」が最も高く、高齢者一般で53.5%、これから高齢期で59.0%となっている。

■介護予防サービスの利用意向（複数回答）

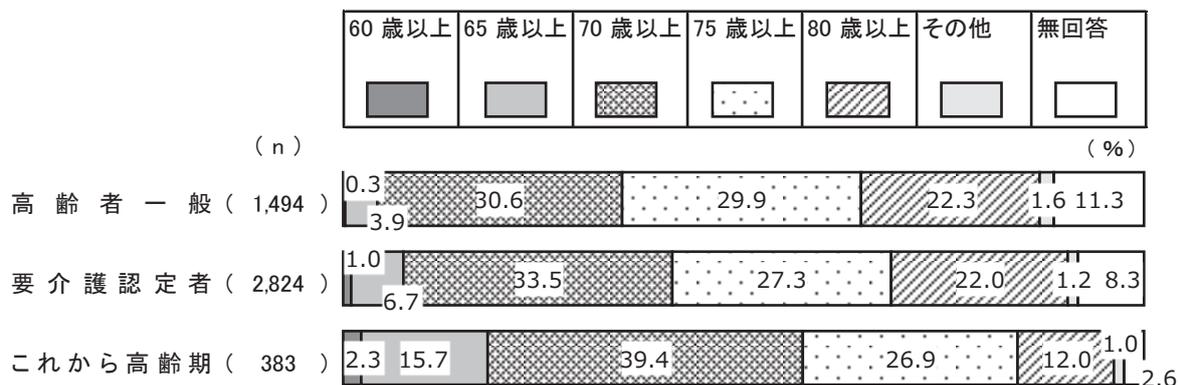


6 社会参加

(1) 高齢者だと思う年齢

- いずれの調査においても、「70歳以上」が最も高く、約3～4割となっている。
- 高齢者一般、要介護認定者では、「80歳以上」が2割超となっている。
- “75歳以上”（「75歳以上」と「80歳以上」の合計）は、高齢者一般で5割超、要介護認定者で約5割、これから高齢期で4割近くであった。

■高齢者だと思う年齢



【経年比較】

- 平成25年度の調査結果と比較すると、平成28年度の調査結果は「75歳以上」が高齢者一般では5割超、これから高齢期では4割近くと、いずれもポイントが高くなっている。

■高齢者だと思う年齢

<高齢者一般：経年比較>

	n	60歳以上		65歳以上		70歳以上		その他	無回答
		60歳以上	65歳以上	65歳以上	70歳以上	70歳以上	75歳以上		
平成28年度	1,494	0.3	3.9	30.6	52.2	1.6	11.3		
平成25年度	1,583	0.5	7.6	42.1	41.2	6.1	2.5		

<これから高齢期：経年比較>

	n	60歳以上		65歳以上		70歳以上		その他	無回答
		60歳以上	65歳以上	65歳以上	70歳以上	70歳以上	75歳以上		
平成28年度	383	2.3	15.7	39.4	38.9	1.0	2.6		
平成25年度	450	2.7	20.0	44.2	28.7	3.3	1.1		

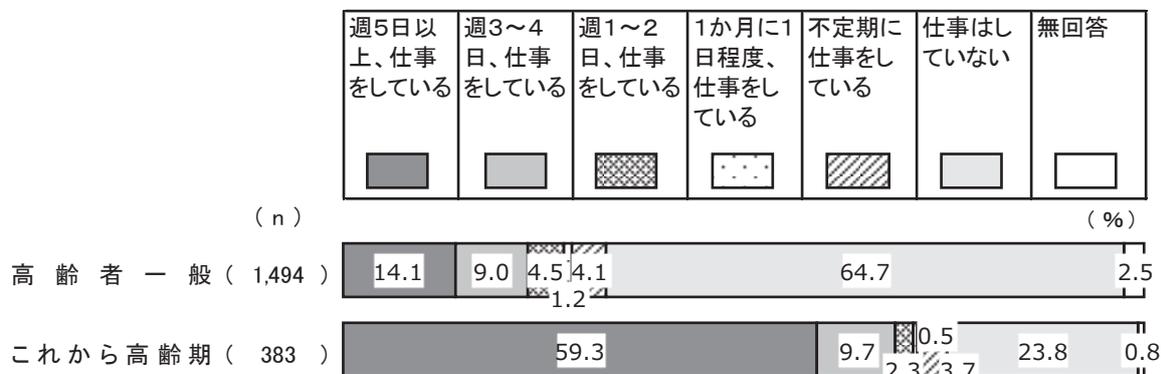
※ 平成25年度の調査は「80歳以上」を聞いていないため、「75歳以上」として再集計を行った

(2) 就労状況

① 就労状況

○“仕事をしている”（「仕事はしていない」を除く）人は、高齢者一般で32.9%、これから高齢期で75.5%であった。

■就労状況



【高齢者一般】

○年代別にみると、『前期高齢者』は“仕事をしている”人は5割近くで、『後期高齢者』（約2割）と比べて高い。「週5日以上、仕事をしている」人は、『前期高齢者』では2割超となっている。

■就労状況<高齢者一般：年代別>

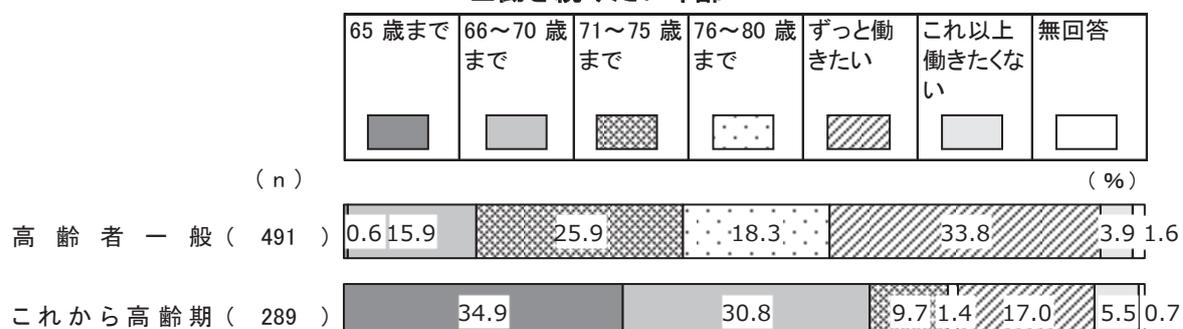
	n	週5日以上、仕事をしている	週3~4日、仕事をしている	週1~2日、仕事をしている	1か月に1日程度、仕事をしている	不定期に仕事をしている	仕事はしていない	無回答
高齢者一般	1,494	14.1	9.0	4.5	1.2	4.1	64.7	2.5
前期高齢者(65-74歳)	661	22.1	13.6	5.4	0.8	5.6	51.6	0.9
後期高齢者(75歳以上)	771	7.3	5.1	3.5	1.4	3.0	76.5	3.2

② 働き続けたい年齢

○“仕事をしている”人の働き続けたい年齢は、高齢者一般では「ずっと働きたい」が最も高く33.8%であった。

○これから高齢期では、「65歳まで」が34.9%、「66~70歳まで」が30.8%となっている。

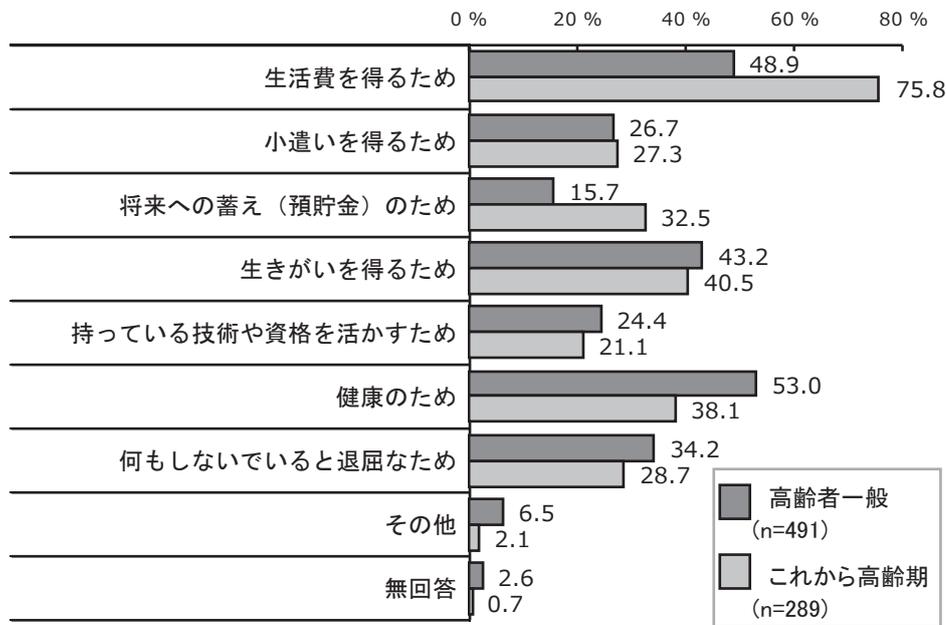
■働き続けたい年齢



③ 働く理由

- “仕事をしている” 人の働く理由は、高齢者一般では、「健康のため」(53.0%) が最も高く、「生活費を得るため」(48.9%)、「生きがいを得るため」(43.2%)、「何もしないでいると退屈なため」(34.2%)と続いている。
- これから高齢期では、「生活費を得るため」(75.8%) が最も高く、「生きがいを得るため」(40.5%)、「健康のため」(38.1%)、「将来への蓄え(預貯金)のため」(32.5%)、「何もしないでいると退屈なため」(28.7%)と続いている。

■働く理由(複数回答)



【経年比較】

- 平成25年度の調査結果と比較すると、平成28年度の高齢者一般の調査結果は「何もしないでいると退屈なため」が3割超と高くなっている。

■働く理由(複数回答) <高齢者一般：経年比較>

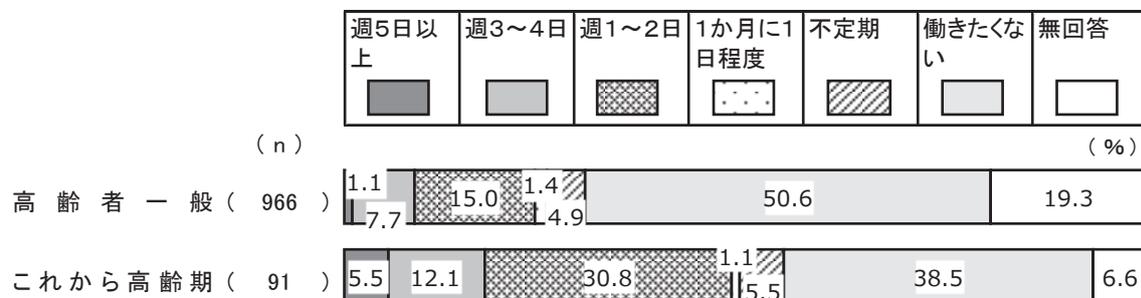
	n	健康のため	生活費を得るため	生きがいを得るため	何もしないでいると退屈なため	小遣いを得るため	持っている技術や資格を活かすため	将来への蓄え(預貯金)のため	その他	無回答
平成28年度	491	53.0	48.9	43.2	34.2	26.7	24.4	15.7	6.5	2.6
平成25年度	486	43.0	47.1	39.9	17.7	20.6	24.5	16.5	4.5	6.4

④ 希望する就労の頻度

○仕事はしていないと回答した人の働きたい頻度は、高齢者一般では、「週1～2日」が15.0%、「不定期」が4.9%であった。また、「働きたくない」が50.6%であった。

○これから高齢期では、「週1～2日」が30.8%、「週3～4日」が12.1%であった。また、「働きたくない」が38.5%であった。

■希望する就労の頻度

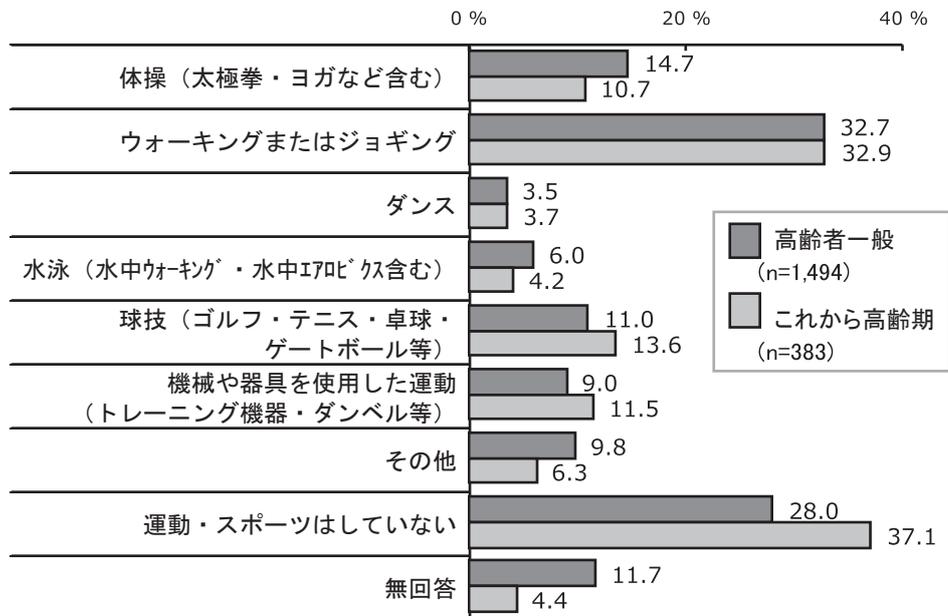


(3) 運動やスポーツの取組状況

① 運動やスポーツの取組状況

- 何らかの運動・スポーツをしていると回答した人の取り組んでいる運動やスポーツは、いずれの調査においても「ウォーキングまたはジョギング」が最も高く、高齢者一般で32.7%、これから高齢期で32.9%であった。
- 「運動・スポーツはしていない」は、高齢者一般で28.0%、これから高齢期で37.1%であった。

■運動やスポーツの取組状況（複数回答）



【高齢者一般】

- 性別にみると、『男性』は「ウォーキングまたはジョギング」（4割超）、「球技（ゴルフ・テニス・卓球・ゲートボール等）」（2割近く）が『女性』と比べて高い。『女性』は「体操（太極拳・ヨガなど含む）」（2割近く）が『男性』と比べて高い。

■運動やスポーツの取組状況（複数回答）＜高齢者一般：性別＞

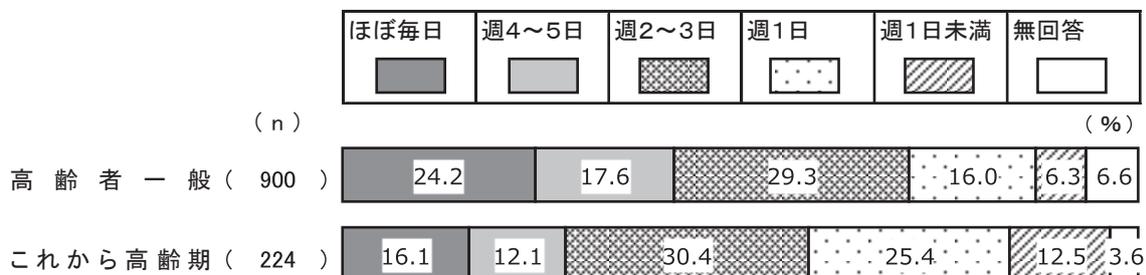
	n	ウォーキングまたはジョギング	体操（太極拳・ヨガなど含む）	球技（ゴルフ・卓球・ゲートボール等）	機械や器具を使用した運動（トレーニング機器・ダンベル等）	水泳（水中ウォーキング・水中エアロビクス含む）	ダンス	その他	運動・スポーツはしていない	無回答
高齢者一般	1,494	32.7	14.7	11.0	9.0	6.0	3.5	9.8	28.0	11.7
男性	615	42.3	10.1	17.4	9.4	4.6	2.3	8.6	28.8	8.5
女性	834	26.5	18.6	6.7	9.0	7.3	4.4	10.8	27.1	13.5

② 運動やスポーツの取組頻度

○何らかの運動・スポーツをしていると回答した人の取組頻度は、高齢者一般では、「ほぼ毎日」が24.2%、「週4～5日」が17.6%、「週2～3日」が29.3%、「週1日」が16.0%、「週1日未満」が6.3%であった。

○これから高齢期では、「ほぼ毎日」が16.1%、「週4～5日」が12.1%、「週2～3日」が30.4%、「週1日」が25.4%、「週1日未満」が12.5%であった。

■運動やスポーツの取組頻度



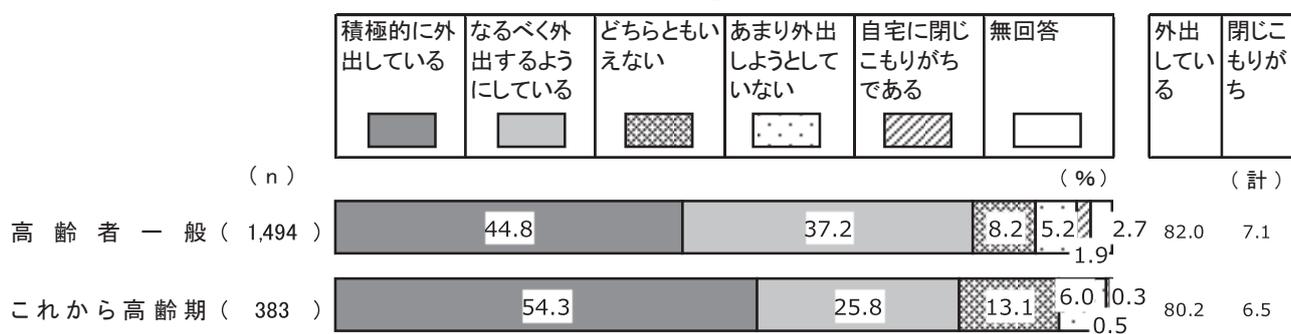
(4) 外出状況

① 外出に対する積極性

○いずれの調査においても「積極的に外出している」が最も高く、高齢者一般で44.8%、これから高齢期で54.3%であった。

○「自宅に閉じこもりがちである」は、高齢者一般で1.9%、これから高齢期で0.5%であった。

■外出に対する積極性



※ “外出している”は、「積極的に外出している」と「なるべく外出するようにしている」の合計

【高齢者一般】

○情報機器の利用別にみると、各情報機器を利用している人の方が“外出している”が高い。

■外出に対する積極性<高齢者一般：パソコン利用別>

	n	(%)						(計)	
		積極的に外出する	積極的に外出しない	どちらともいえない	あまり外出しない	あまり外出しない	あまり外出しない	外出している	外出していない
高齢者一般	1,494	44.8	37.2	8.2	5.2	1.9	2.7	82.0	7.1
パソコンを使う	411	57.2	31.1	5.6	3.2	1.2	1.7	88.3	4.4
パソコンを使わない	715	39.4	39.3	10.5	6.3	2.0	2.5	78.7	8.3

■外出に対する積極性<高齢者一般：スマートフォン利用別>

	n	(%)						(計)	
		積極的に外出する	積極的に外出しない	どちらともいえない	あまり外出しない	あまり外出しない	あまり外出しない	外出している	外出していない
高齢者一般	1,494	44.8	37.2	8.2	5.2	1.9	2.7	82.0	7.1
スマートフォンを使う	262	58.0	34.7	4.2	1.5	0.4	1.1	92.7	1.9
スマートフォンを使わない	824	41.6	37.4	9.8	6.4	2.1	2.7	79.0	8.5

■外出に対する積極性<高齢者一般：携帯電話利用別>

	n	(%)						(計)	
		積極的に外出する	積極的に外出しない	どちらともいえない	あまり外出しない	あまり外出しない	あまり外出しない	外出している	外出していない
高齢者一般	1,494	44.8	37.2	8.2	5.2	1.9	2.7	82.0	7.1
携帯電話を使う	738	50.7	36.6	6.2	3.1	1.1	2.3	87.3	4.2
携帯電話を使わない	432	36.8	37.0	12.0	9.0	2.5	2.5	73.8	11.6

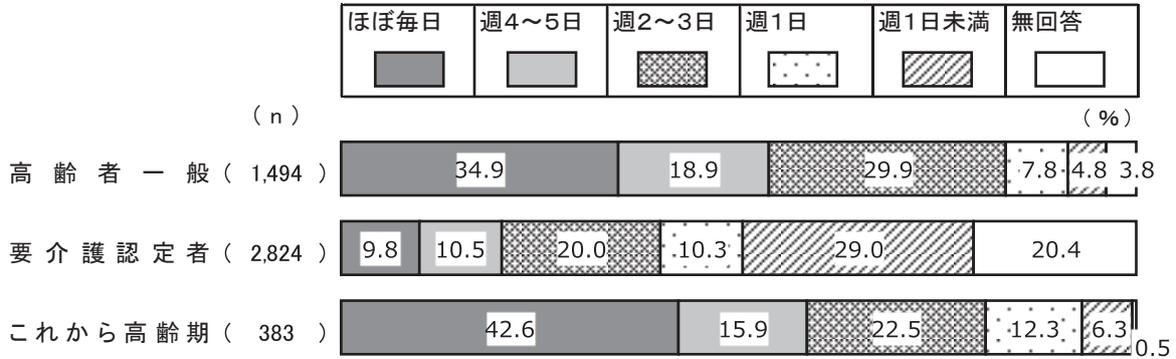
■外出に対する積極性<高齢者一般：タブレット型端末利用別>

	n	(%)						(計)	
		積極的に外出する	積極的に外出しない	どちらともいえない	あまり外出しない	あまり外出しない	あまり外出しない	外出している	外出していない
高齢者一般	1,494	44.8	37.2	8.2	5.2	1.9	2.7	82.0	7.1
タブレット型端末を使う	129	58.9	29.5	7.8	2.3	-	1.6	88.4	2.3
タブレット型端末を使わない	906	42.8	37.9	9.2	5.7	2.0	2.4	80.7	7.7

② 買物で外出する頻度

- “週1日以上外出している”人は、高齢者一般で91.4%、要介護認定者で50.6%、これから高齢期で93.2%であった。
- 「週1日未満」は、高齢者一般で4.8%、要介護認定者で29.0%、これから高齢期で6.3%であった。

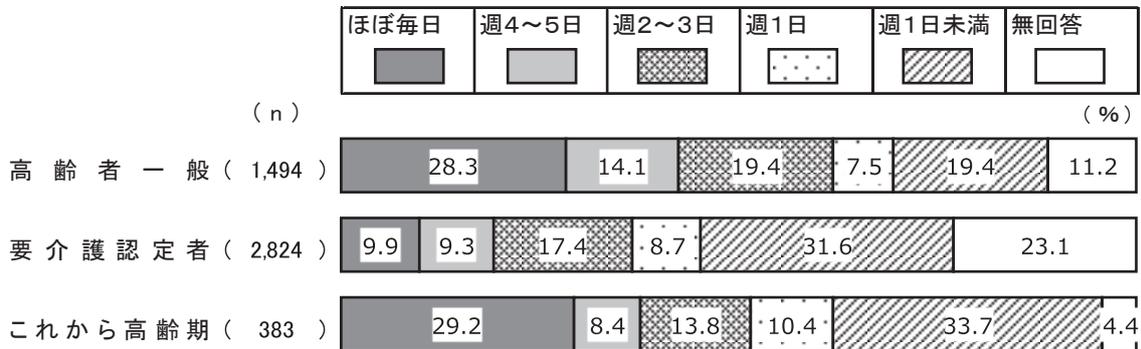
■買物で外出する頻度



③ 散歩で外出する頻度

- “週1日以上外出している”人は、高齢者一般で69.3%、要介護認定者で45.3%、これから高齢期で61.9%であった。
- 「週1日未満」は、高齢者一般で19.4%、要介護認定者で31.6%、これから高齢期で33.7%であった。

■散歩で外出する頻度



④ 家族・親せきや友人・知人の家を訪れる頻度

- “週1日以上外出している”人は、高齢者一般で19.1%、これから高齢期で18.5%であった。
- “週1日未満”は、高齢者一般で67.7%、これから高齢期で78.1%であった。

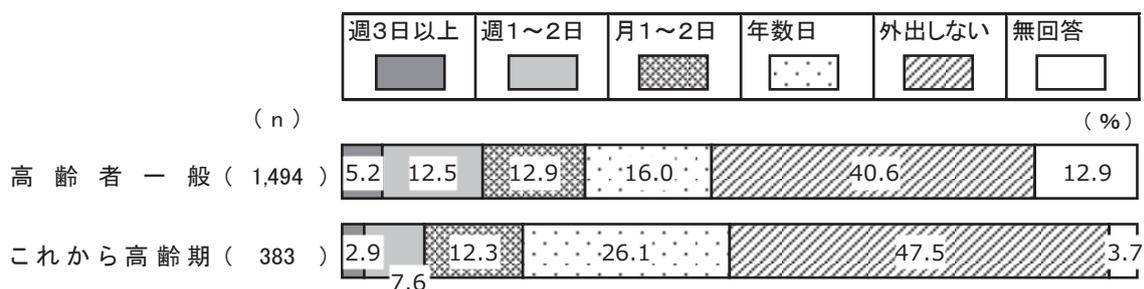
■家族・親せきや友人・知人の家を訪れる頻度



⑤ 図書館、体育館、プールなどの区立施設を訪れる頻度

○ “週1日以上外出している”人は、高齢者一般で17.7%、これから高齢期で10.4%であった。

■図書館、体育館、プールなどの区立施設を訪れる頻度

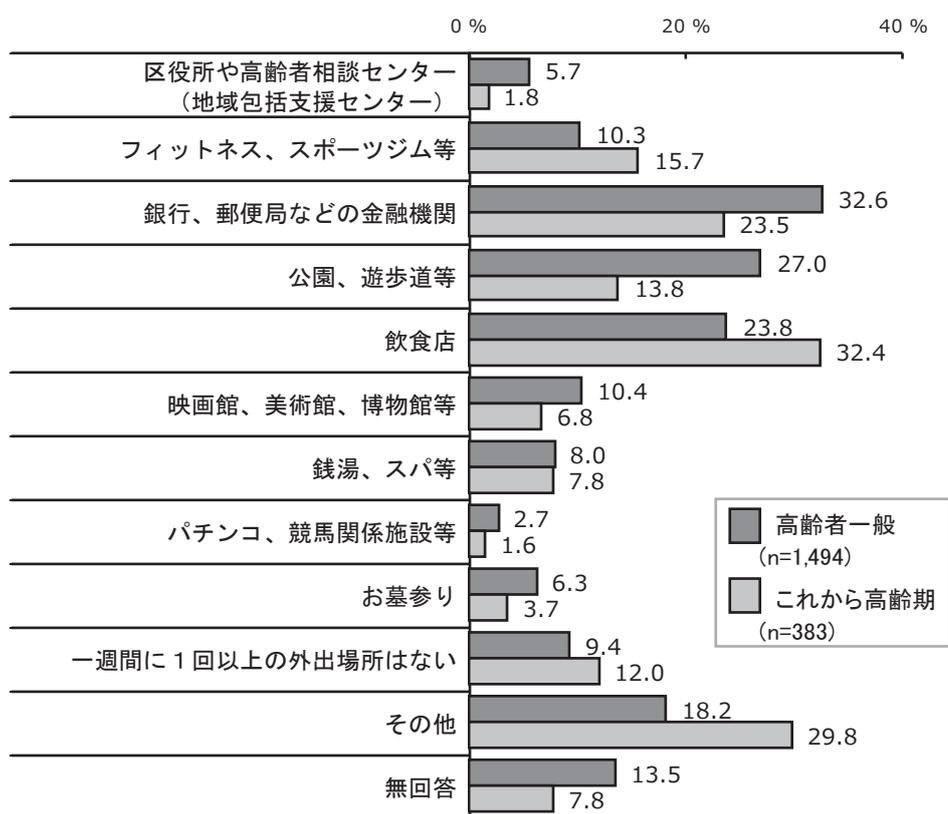


⑥ 一週間に1回以上外出する場所

○ 高齢者一般では、「銀行、郵便局などの金融機関」(32.6%)が最も高く、「公園、遊歩道等」(27.0%)、「飲食店」(23.8%)と続いている。

○ これから高齢期では、「飲食店」(32.4%)が最も高く、「銀行、郵便局などの金融機関」(23.5%)、「フィットネス、スポーツジム等」(15.7%)と続いている。

■一週間に1回以上外出する場所（複数回答）



【高齢者一般】

○性別にみると、『男性』の外出場所は「公園、遊歩道等」が3割半ばで、『女性』（2割超）と比べて高い。

■一週間に1回以上外出する場所（複数回答）＜高齢者一般：性別＞

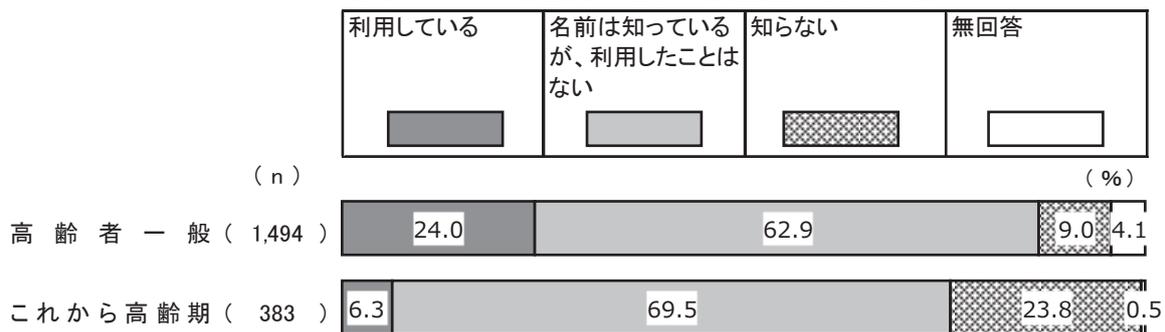
	n	金融機関、銀行、郵便局などの	公園、遊歩道等	飲食店	物映画館等、美術館、博物館等	フィットジム等	銭湯、スパ等	お墓参り	区役所や高齢者相談センター	施設等	パチンコ、競馬関係	外一週間に1回以上ない	その他	無回答
高齢者一般	1,494	32.6	27.0	23.8	10.4	10.3	8.0	6.3	5.7	2.7	9.4	18.2	13.5	
男性	615	28.3	34.5	28.8	9.4	8.0	9.8	4.9	4.1	5.7	8.6	17.7	11.7	
女性	834	35.5	21.8	20.0	11.2	12.2	6.7	7.4	7.0	0.6	10.2	19.1	14.1	

⑦ 高齢者センター・敬老館・地域集会施設の利用状況

○高齢者一般では、「利用している」が24.0%、「名前は知っているが、利用したことはない」が62.9%、「知らない」が9.0%であった。

○これから高齢期では、「利用している」が6.3%、「名前は知っているが、利用したことはない」が69.5%、「知らない」が23.8%であった。

■高齢者センター・敬老館・地域集会施設の利用状況

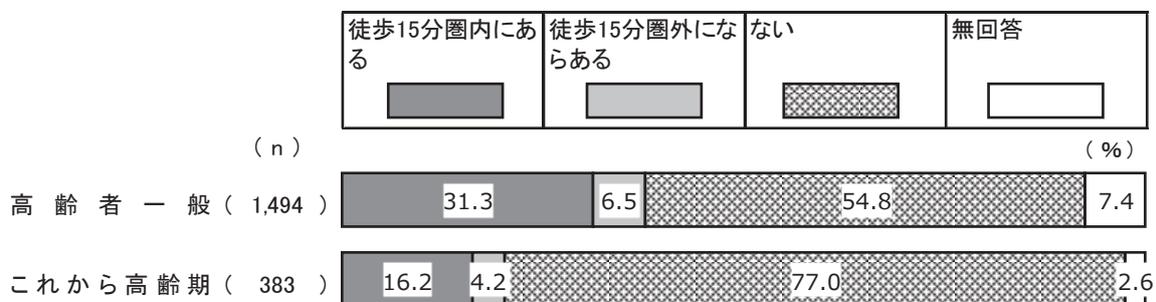


⑧ 日中、徒歩圏内で気軽に立ち寄れる場所

○高齢者一般では、「徒歩15分圏内にある」が31.3%、「ない」が54.8%であった。

○これから高齢期では、「徒歩15分圏内にある」が16.2%、「ない」が77.0%であった。

■日中、徒歩圏内で気軽に立ち寄れる場所



【高齢者一般】

○近所付き合いの程度別にみると、『何かあったときに助け合える関係』では「徒歩 15 分圏内にある」が5割超で、『ほとんど付き合いはない』（1割半ば）と比べて高く、近所付き合いの程度が深いほど、徒歩圏内に気軽に立ち寄れる場所がある人が多いことが伺える。

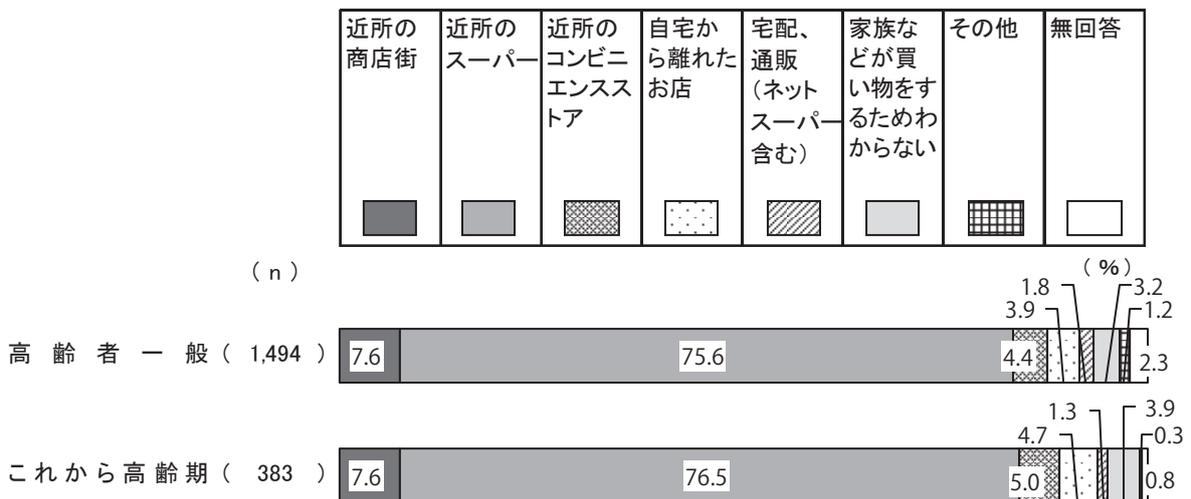
■日中、徒歩圏内で気軽に立ち寄れる場所<高齢者一般：近所付き合いの程度別>

	n	あ 分 徒 歩 圏 内 1 に 5	な 分 徒 歩 圏 外 1 に 5	な い	無 回 答
高齢者一般	1,494	31.3	6.5	54.8	7.4
何かあったときに助け合える関係	238	51.3	3.8	37.4	7.6
互いに訪問し合う関係	76	57.9	11.8	17.1	13.2
立ち話をする程度	474	31.9	7.0	55.7	5.5
あいさつをする程度	463	20.1	7.3	66.5	6.0
ほとんど付き合いはない	99	14.1	4.0	71.7	10.1
どんな人が住んでいるのか知らない	40	17.5	2.5	80.0	-

⑨ 食料品や日用品を買う場所

○いずれの調査においても、「近所のスーパー」が最も高く、7割半ばとなっている。

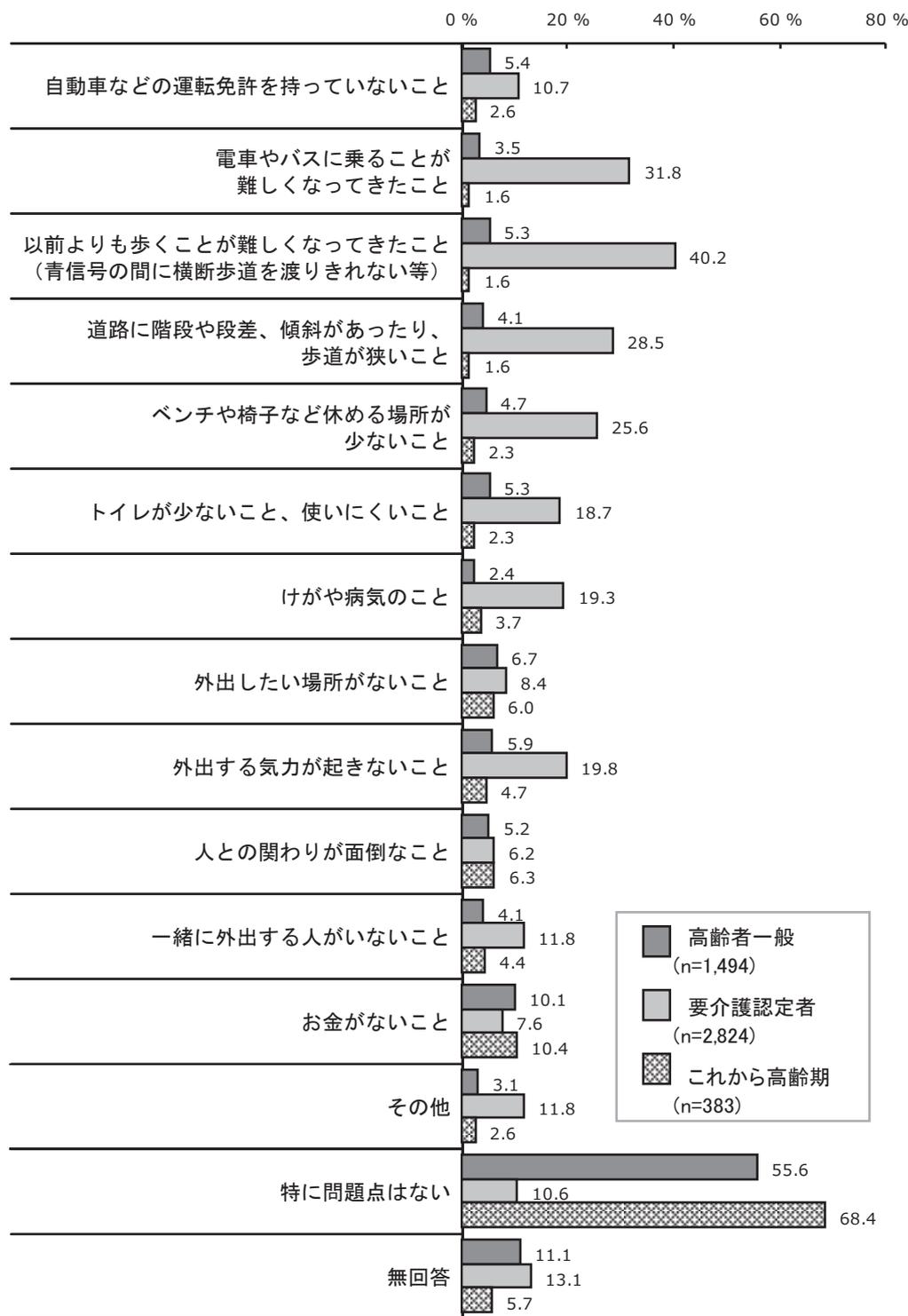
■食料品や日用品を買う場所



⑩ 外出をためらってしまうような問題点

- 高齢者一般、これから高齢期では、「特に問題点はない」が最も高く、それぞれ55.6%、68.4%であった。問題点として、「お金がないこと」が1割程度となっている。
- 要介護認定者では、「以前よりも歩くことが難しくなってきたこと（青信号の間に横断歩道を渡りきれない等）」が40.2%で最も高く、次いで、「電車やバスに乗ることが難しくなってきたこと」（31.8%）、「道路に階段や段差、傾斜があったり、歩道が狭いこと」（28.5%）、「ベンチや椅子など休める場所が少ないこと」（25.6%）と続いている。

■外出をためらってしまうような問題点（複数回答）



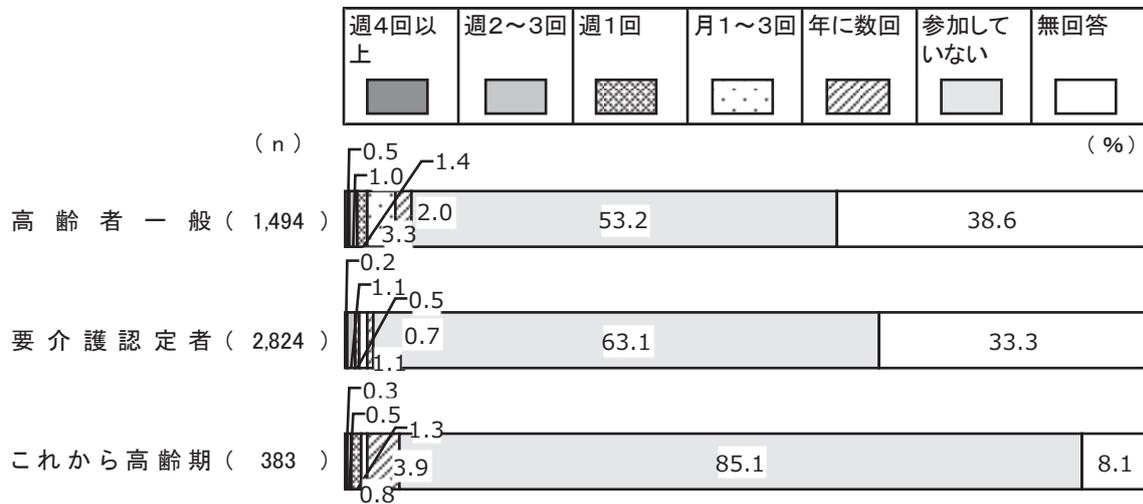
7 地域活動と地域とのつながり

(1) 地域活動への参加状況

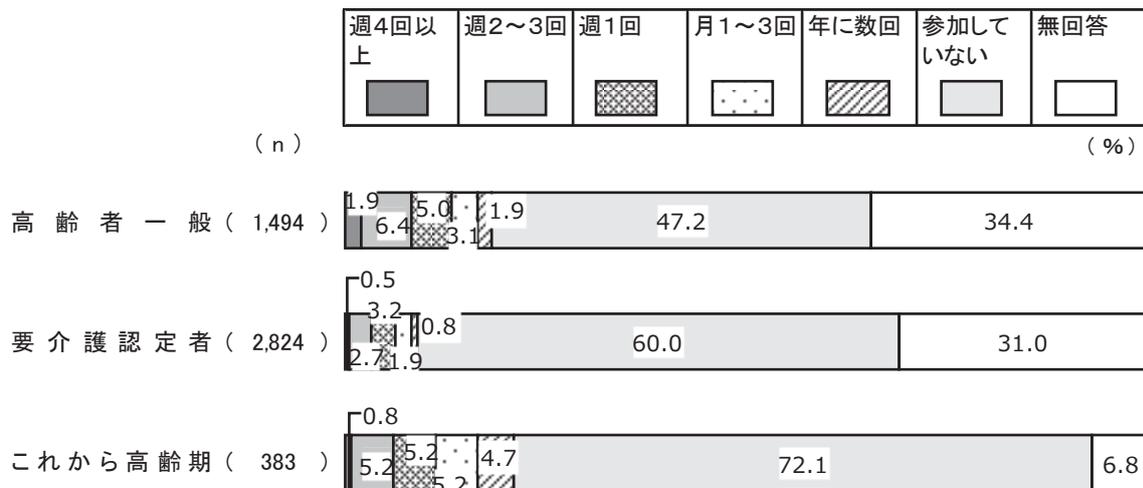
① 地域活動の参加頻度

○いずれの調査、活動においても、「参加していない」が最も高く、約4割超～9割となっている。

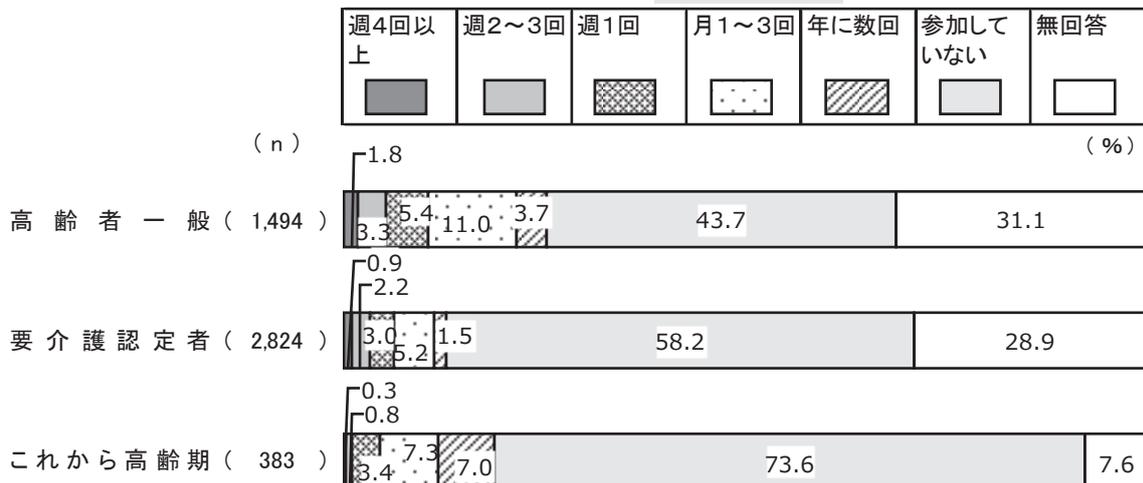
■ボランティアグループ 《ニーズ調査》



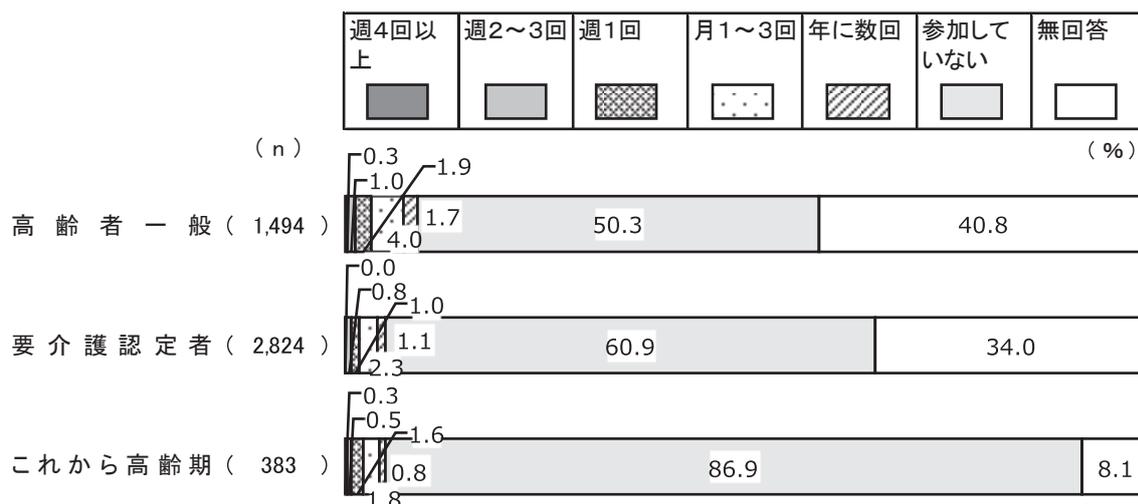
■スポーツ関係のグループやクラブ 《ニーズ調査》



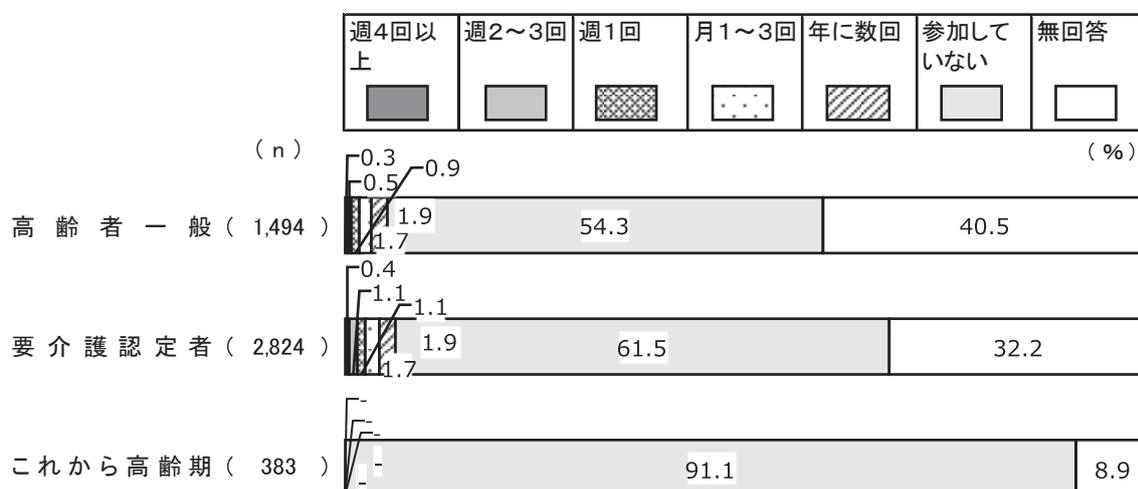
■趣味関係のグループ 《ニーズ調査》



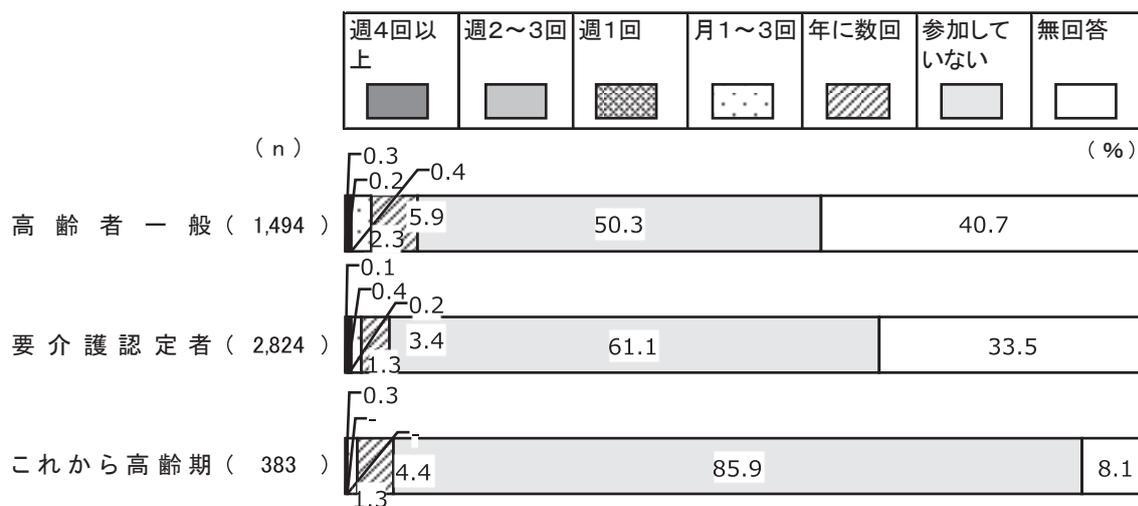
■学習・教養サークル 《ニーズ調査》



■老人クラブ 《ニーズ調査》



■町内会・自治会 《ニーズ調査》

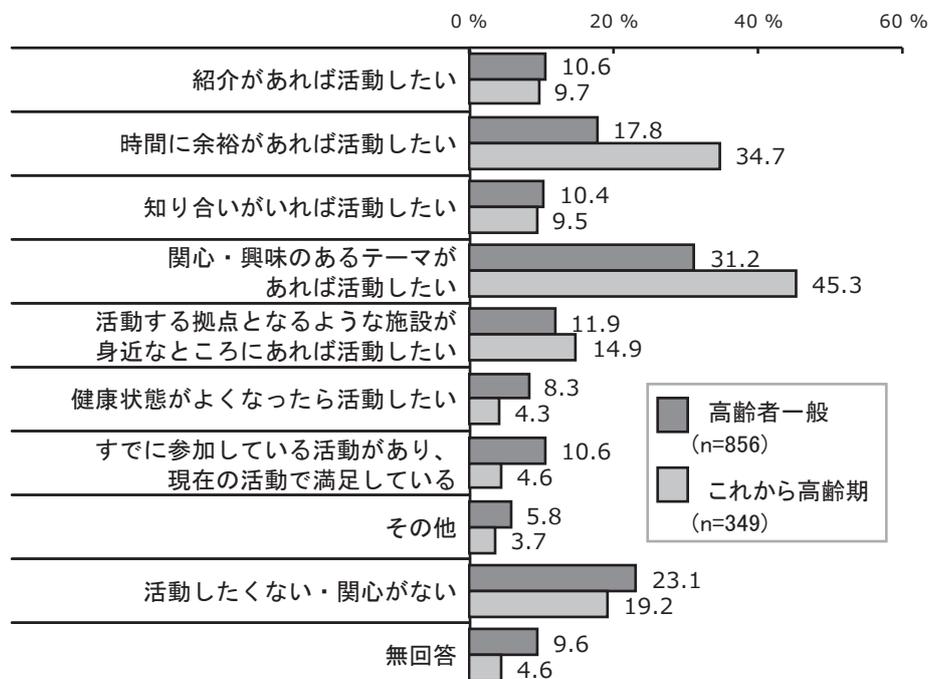


② 地域活動に参加するきっかけ

○①で1つでも「参加していない」と回答した人の地域活動に参加するきっかけは、いずれの調査においても、「関心・興味のあるテーマがあれば活動したい」が最も高く、高齢者一般で31.2%、これから高齢期で45.3%となっている。次いで、「時間に余裕があれば活動したい」「活動する拠点となるような施設が身近なところがあれば活動したい」「紹介があれば活動したい」と続いている。

○「活動したくない・関心がない」は、高齢者一般で23.1%、これから高齢期で19.2%であった。

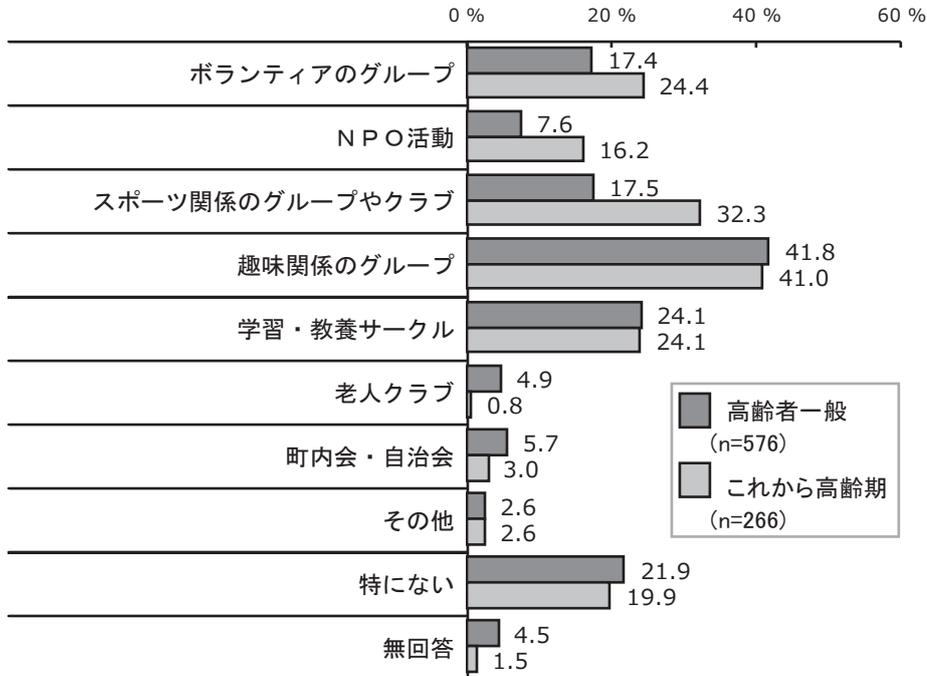
■地域活動に参加するきっかけ（複数回答）



③ 活動してみたい地域活動の分野

○地域活動に参加するきっかけがあれば活動したいと回答した人の活動してみたい地域活動の分野は、いずれの調査においても、「趣味関係のグループ」が最も高く、高齢者一般で41.8%、これから高齢期で41.0%となっている。次いで、高齢者一般では「学習・教養サークル」(24.1%)、「スポーツ関係のグループやクラブ」(17.5%)、「ボランティアのグループ」(17.4%)と続いている。これから高齢期では「スポーツ関係のグループやクラブ」(32.3%)、「ボランティアのグループ」(24.4%)、「学習・教養サークル」(24.1%)と続いている。

■活動してみたい地域活動の分野（複数回答）

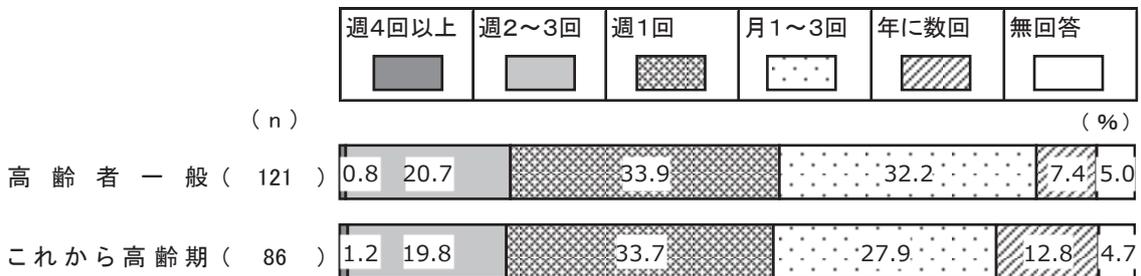


④ ボランティア活動・NPO活動への希望する参加頻度

○活動してみたい地域活動の分野を「ボランティアのグループ」「NPO活動」と回答した人の希望する参加頻度は、高齢者一般では、「週4回以上」が0.8%、「週2～3回」が20.7%、「週1回」が33.9%、「月1～3回」が32.2%、「年に数回」が7.4%であった。

○これから高齢期では、「週4回以上」が1.2%、「週2～3回」が19.8%、「週1回」が33.7%、「月1～3回」が27.9%、「年に数回」が12.8%であった。

■ボランティア活動・NPO活動への希望する参加頻度

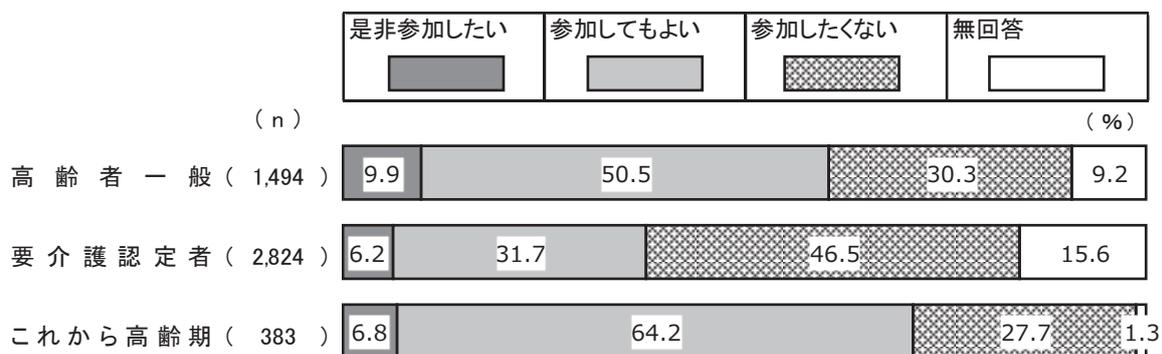


(2) 地域づくりの推進

① 参加者としての参加意向

- 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味などのグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとした場合、参加者として参加してみたいか聞いたところ、高齢者一般、これから高齢期では、「参加してもよい」が最も高く、それぞれ50.5%、64.2%であった。
- 要介護認定者では、「参加したくない」が最も高く46.5%であった。「是非参加したい」は6.2%、「参加してもよい」は31.7%であった。

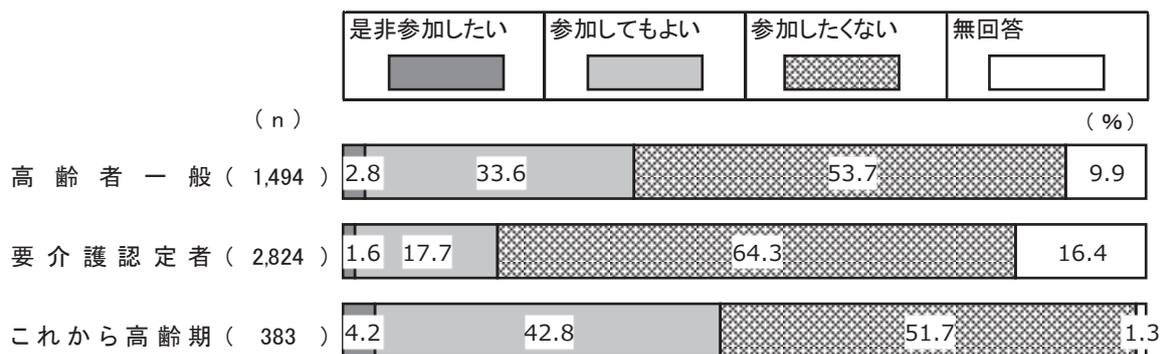
■参加者としての参加意向 <<ニーズ調査>>



② 企画・運営（お世話役）としての参加意向

- 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味などのグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとした場合、企画・運営（お世話役）として参加してみたいか聞いたところ、いずれの調査においても「参加したくない」が最も高く、高齢者一般では53.7%、要介護認定者では64.3%、これから高齢期では51.7%であった。
- “参加したい”（「是非参加したい」と「参加してもよい」の合計）は、高齢者一般で3割半ば、要介護認定者で約2割、これから高齢期で4割半ばであった。

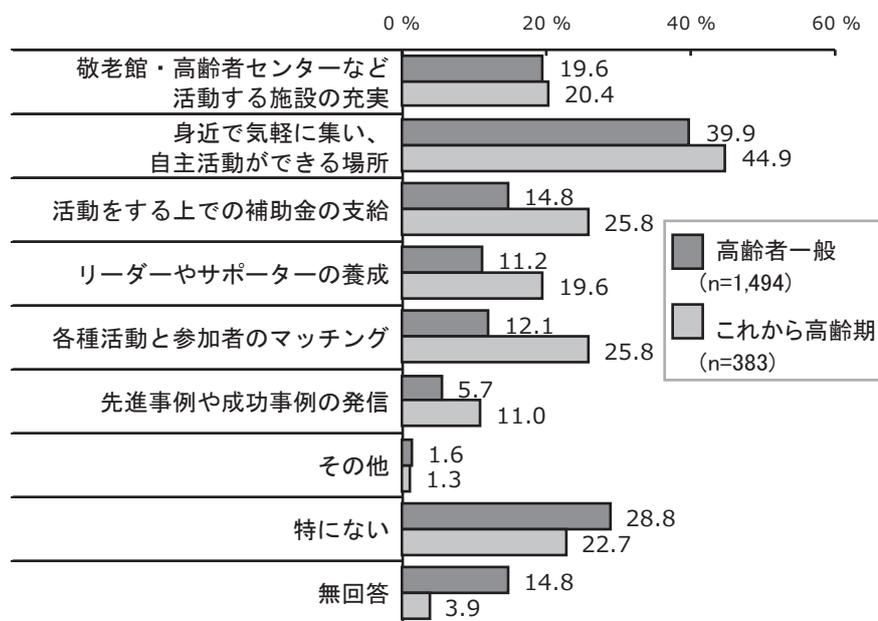
■企画・運営（お世話役）としての参加意向 <<ニーズ調査>>



③ 地域活動をする上で今後必要なもの

- いずれの調査においても、「身近で気軽に集い、自主活動ができる場所」が最も高く、それぞれ39.9%、44.9%であった。
- 高齢者一般では、次いで「敬老館・高齢者センターなど活動する施設の充実」(19.6%)、「活動をする上での補助金の支給」(14.8%)が続いている。また、「特にない」は28.8%であった。
- これから高齢期では、次いで「活動をする上での補助金の支給」「各種活動と参加者のマッチング」(ともに25.8%)が続いている。また、「特にない」は22.7%であった。

■地域活動をする上で今後必要なもの（複数回答）

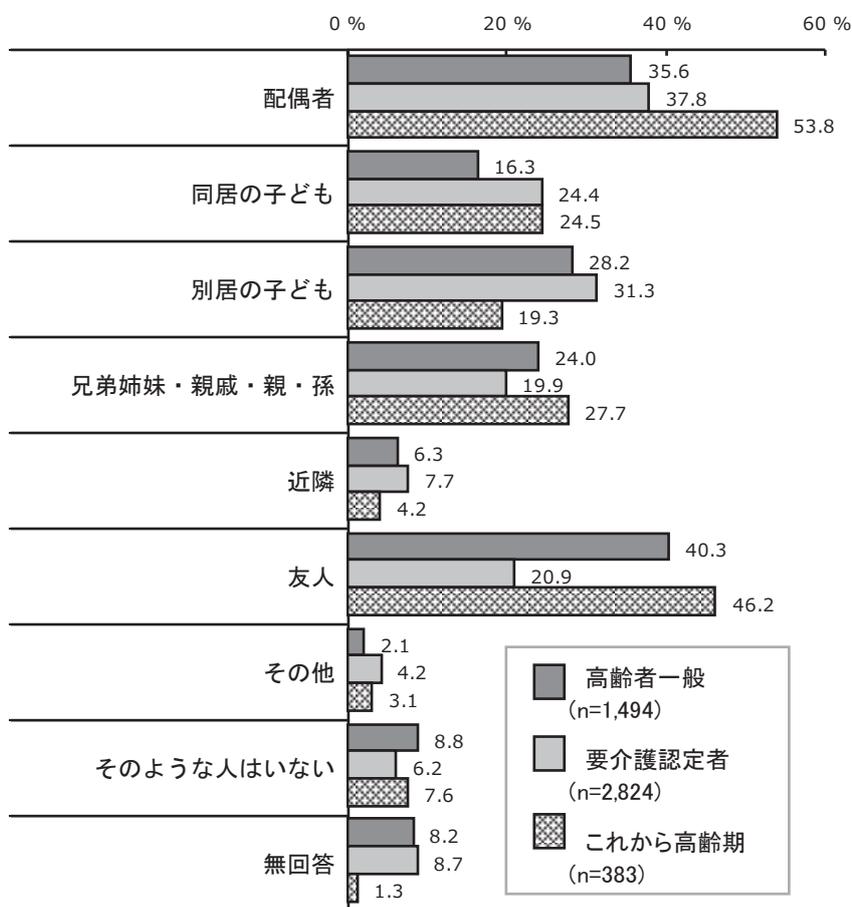


(3) 周囲の人とのたすけあい

① 心配事や愚痴を聞いてくれる人

- 高齢者一般では、「友人」(40.3%)が最も高く、次いで「配偶者」(35.6%)、「別居の子ども」(28.2%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(24.0%)と続いている。
- 要介護認定者では、「配偶者」(37.8%)が最も高く、次いで「別居の子ども」(31.3%)、「同居の子ども」(24.4%)、「友人」(20.9%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(19.9%)と続いている。
- これから高齢期では、「配偶者」(53.8%)が最も高く、次いで「友人」(46.2%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(27.7%)、「同居の子ども」(24.5%)、「別居の子ども」(19.3%)が続いている。
- 「そのような人はいない」は、高齢者一般で8.8%、要介護認定者で6.2%、これから高齢期で7.6%となっている。

■心配事や愚痴を聞いてくれる人(複数回答) 《ニーズ調査》



【高齢者一般】

○性別にみると、『男性』は「配偶者」が5割超で『女性』と比べて高いが、「友人」「別居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」では『女性』よりも低くなっている。

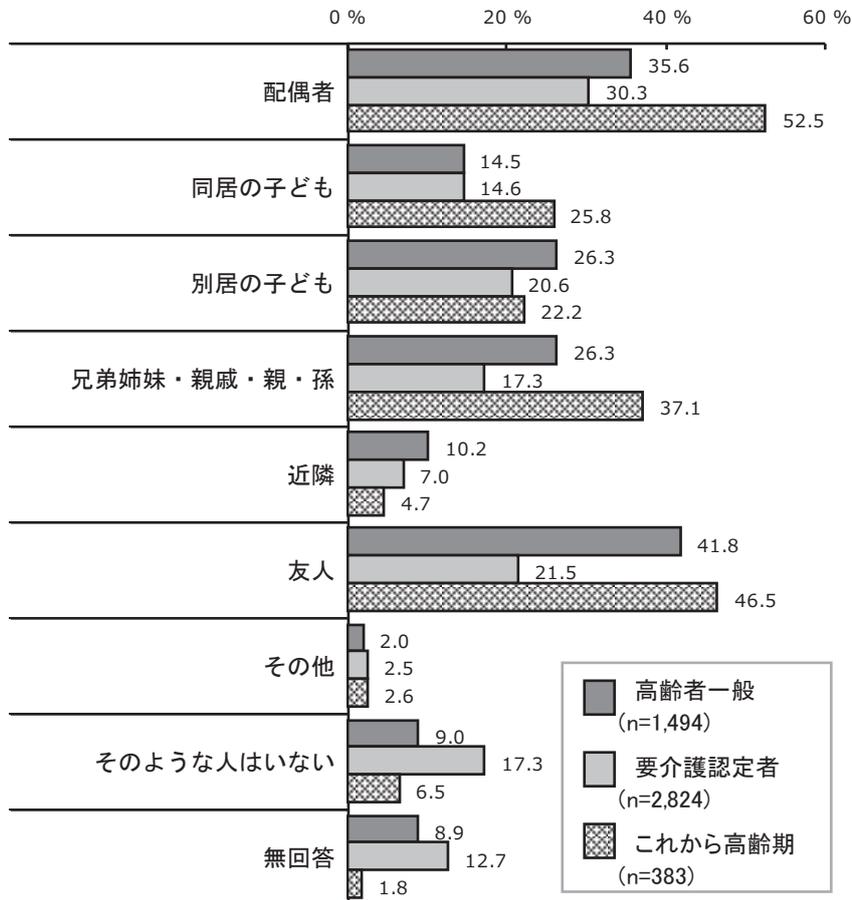
■心配事や愚痴を聞いてくれる人（複数回答） **《ニーズ調査》<高齢者一般：性別>**

	n	友人	配偶者	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親	同居の子ども	近隣	その他	いそがないような人は	無回答
高齢者一般	1,494	40.3	35.6	28.2	24.0	16.3	6.3	2.1	8.8	8.2
男性	615	26.8	51.5	18.2	14.1	13.8	3.6	2.3	14.1	7.2
女性	834	50.8	24.3	35.9	31.4	17.9	8.4	1.9	4.9	8.6

② 心配事や愚痴を聞いてあげる人

- 高齢者一般では、「友人」(41.8%)が最も高く、次いで「配偶者」(35.6%)、「別居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(ともに26.3%)が続いている。
- 要介護認定者では、「配偶者」(30.3%)が最も高く、次いで「友人」(21.5%)、「別居の子ども」(20.6%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(17.3%)が続いている。
- これから高齢期では、「配偶者」(52.5%)が最も高く、次いで「友人」(46.5%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(37.1%)、「同居の子ども」(25.8%)と続いている。

■心配事や愚痴を聞いてあげる人(複数回答) <<ニーズ調査>>

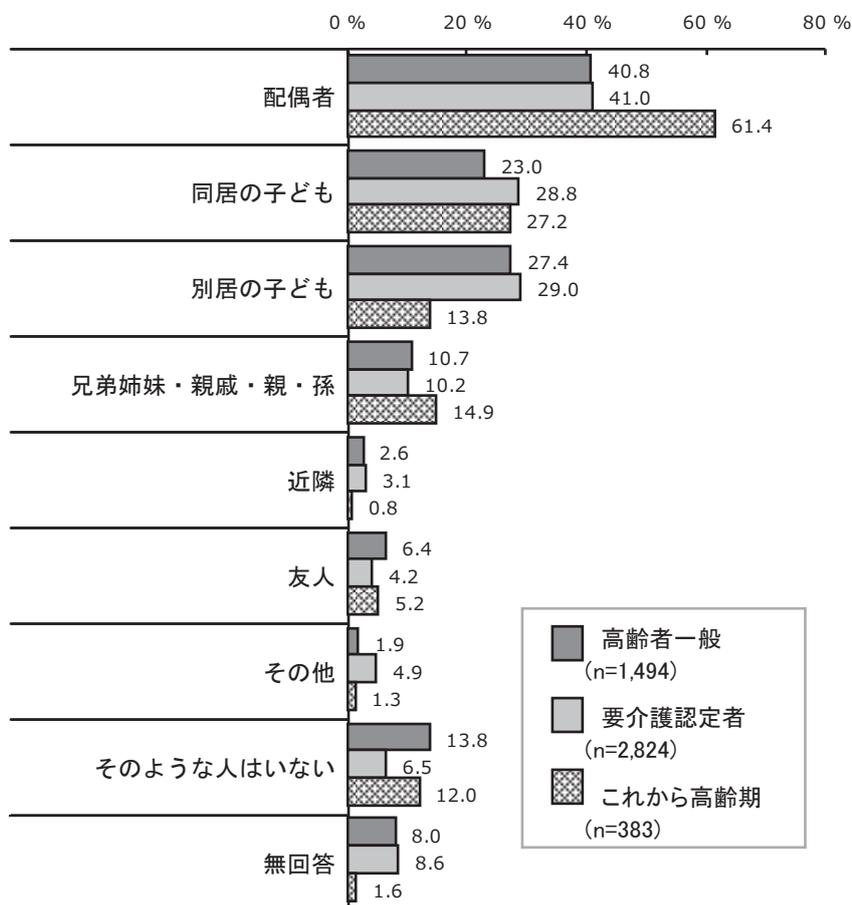


③ 看病や世話をしてくれる人

○いずれの調査においても、「配偶者」が最も高く、高齢者一般で40.8%、要介護認定者で41.0%、これから高齢期で61.4%となっている。

○「そのような人はいない」は、高齢者一般で13.8%、要介護認定者で6.5%、これから高齢期で12.0%となっている。

■看病や世話をしてくれる人（複数回答） 《ニーズ調査》

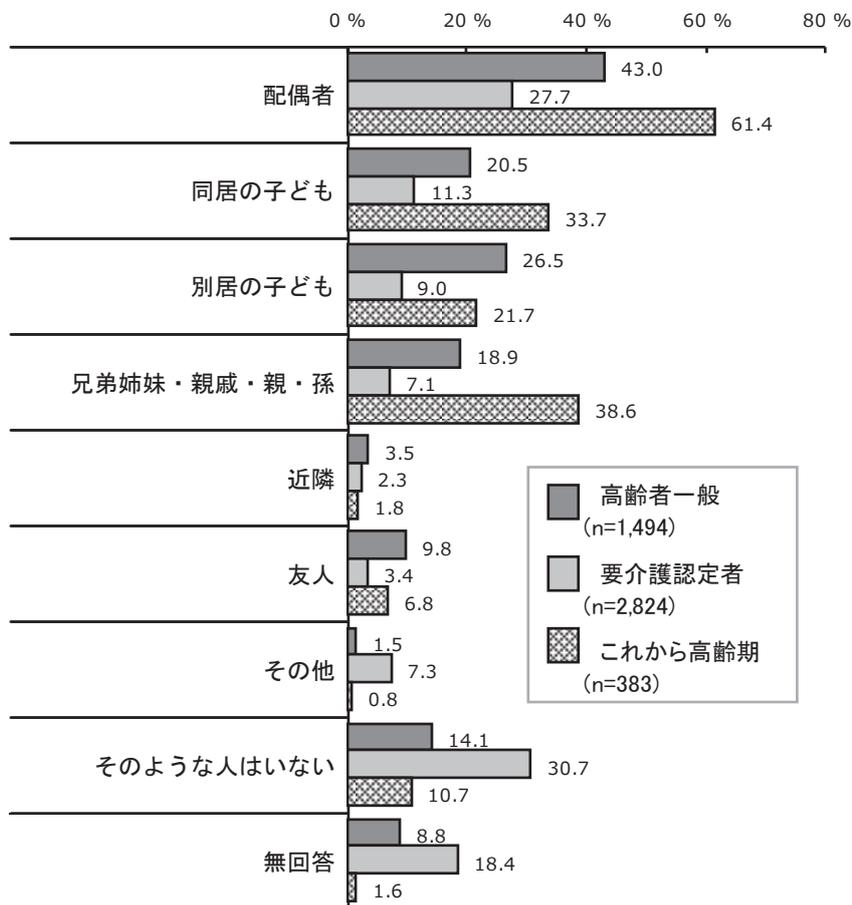


④ 看病や世話をしあける人

○いずれの調査においても、「配偶者」が最も高く、高齢者一般で43.0%、要介護認定者で27.7%、これから高齢期で61.4%となっている。

○「そのような人はいない」は、高齢者一般で14.1%、要介護認定者で30.7%、これから高齢期で10.7%となっている。

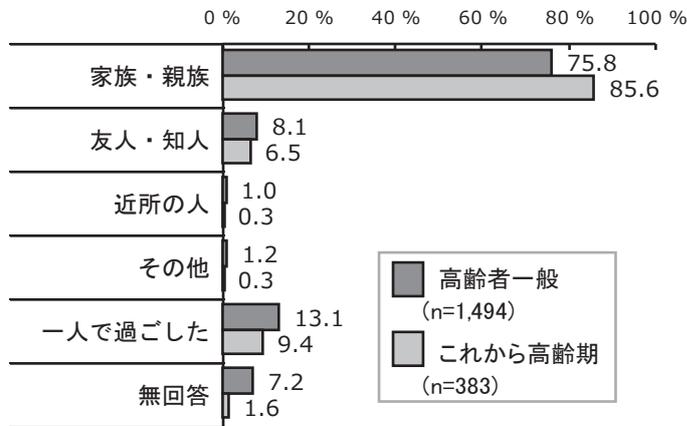
■看病や世話をしあける人（複数回答） 《ニーズ調査》



⑤ お正月に過ごした人

- いずれの調査においても、「家族・親族」が最も高い。
- 「一人で過ごした」は、高齢者一般で13.1%、これから高齢期で9.4%となっている。

■お正月に過ごした人（複数回答）



【高齢者一般】

- 性別にみると、『男性』は「一人で過ごした」が『女性』と比べて高い。

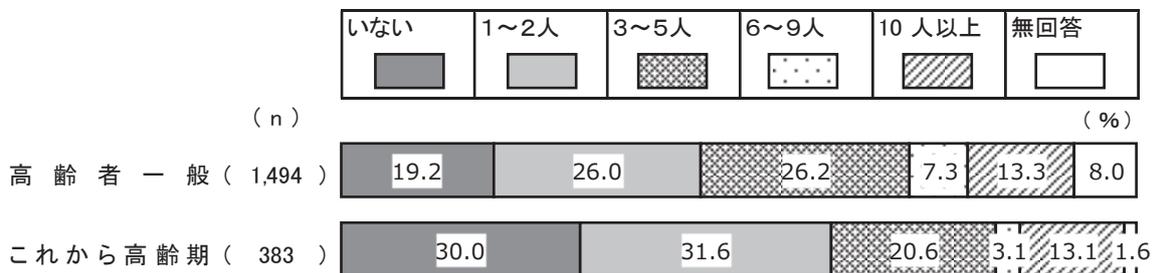
■お正月に過ごした人（複数回答）＜高齢者一般：性別＞

	n	家族・親族	友人・知人	近所の人	その他	一人で過ごした	無回答
高齢者一般	1,494	75.8	8.1	1.0	1.2	13.1	7.2
男性	615	73.3	8.8	1.1	1.3	17.1	5.5
女性	834	78.1	7.6	1.0	1.2	10.3	7.9

⑥ 1か月に1回以上会う友人・知人の人数

- 「いない」は、高齢者一般で19.2%、これから高齢期で30.0%であった。

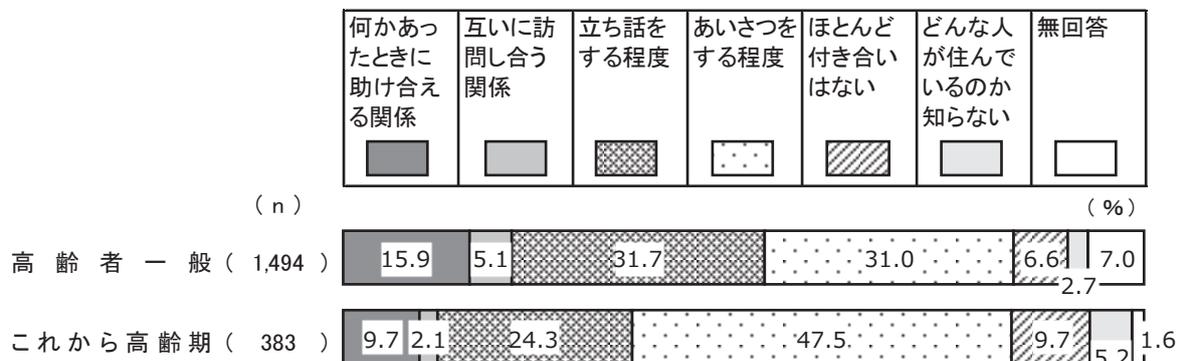
■1か月に1回以上会う友人・知人の人数



(4) 近所付き合いの程度

- 高齢者一般では、「立ち話をする程度」(31.7%)、「あいさつをする程度」(31.0%)がそれぞれ約3割となっている。「ほとんど付き合いはない」は6.6%、「どんな人が住んでいるのか知らない」は2.7%であった。
- これから高齢期では、「あいさつをする程度」が47.5%と最も高い。「ほとんど付き合いはない」は9.7%、「どんな人が住んでいるのか知らない」は5.2%であった。

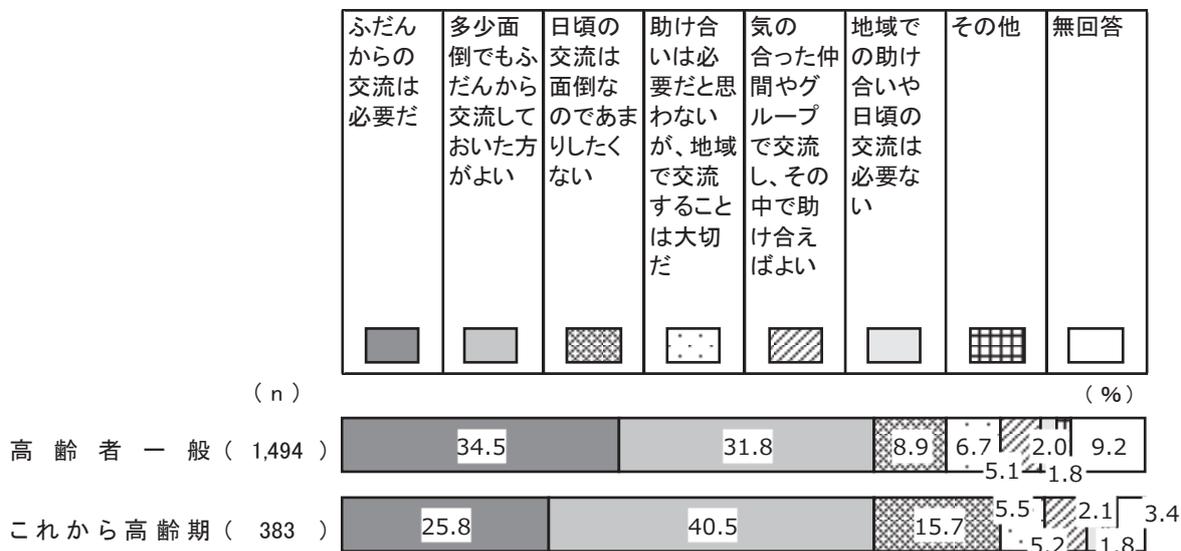
■近所付き合いの程度



(5) 近所付き合いや地域住民の交流の必要性

- いずれの調査においても、「近所付き合いや地域住民の交流は必要」(「ふだんからの交流は必要だ」と「多少面倒でもふだんから交流しておいた方がよい」の合計)が、6割半ばとなっている。

■近所付き合いや地域住民の交流の必要性

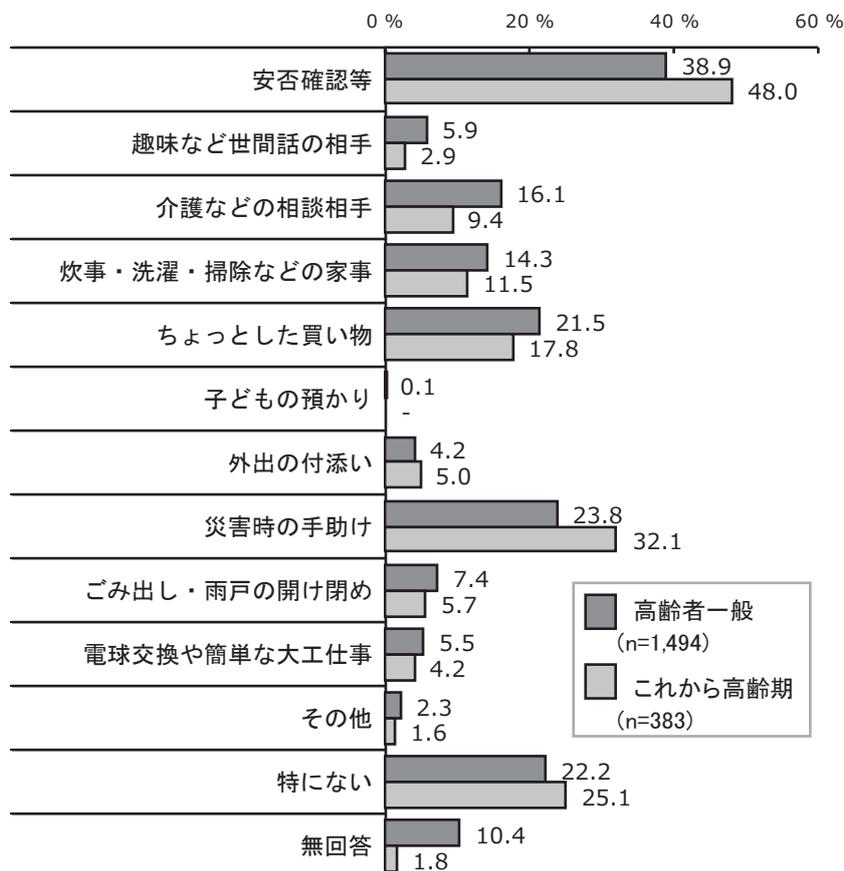


(6) 手助け

① 地域の人たちにしてほしい手助け

- 高齢や病気、事故などで日常生活が不自由になったとき、地域の人たちにしてほしい手助けは、高齢者一般、これから高齢期ともに「安否確認等」が最も高くそれぞれ 38.9%、48.0%となっている。次いで、「災害時の手助け」が続いている。
- 「特にない」は、高齢者一般は2割超、これから高齢期は2割半ばとなっている。

■地域の人たちにしてほしい手助け (〇は3つまで)

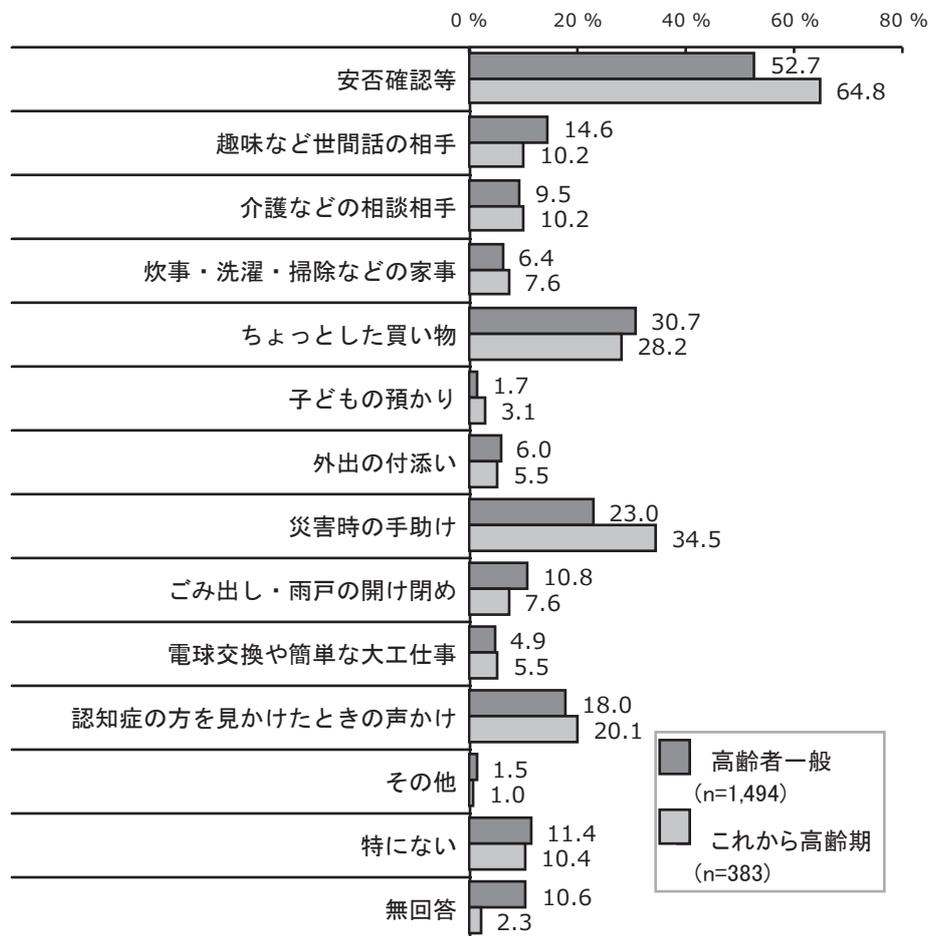


② 地域の支え合いとして自身ができること

○高齢者一般、これから高齢期ともに「安否確認等」が最も高く、それぞれ52.7%、64.8%となっている。次いで、高齢者一般では「ちょっとした買い物」(30.7%)、「災害時の手助け」(23.0%)、「認知症の方を見かけたときの声かけ」(18.0%)、これから高齢期では「災害時の手助け」(34.5%)、「ちょっとした買い物」(28.2%)、「認知症の方を見かけたときの声かけ」(20.1%)と続いている。

○「特にない」は、いずれの調査においても約1割であった。

■地域の支え合いとして自身ができること (〇は3つまで)



【高齢者一般】

○性別にみると、『男性』は「災害時の手助け」(3割超)、「電球交換や簡単な大工仕事」(1割超)が『女性』と比べて高い。『女性』は「ちょっとした買い物」(4割近く)が『男性』と比べて高い。

■地域の支え合いとして自身ができること (〇は3つまで) <高齢者一般：性別>

	n	安否確認等	ちょっとした買い物	災害時の手助け	認知症の方を見かけたときの声かけ	趣味など世間話の相手	ごみ出し・雨戸の開け閉め	介護などの相談相手	炊事・洗濯・掃除などの家事	外出の付添い	電球交換や簡単な大工仕事	子どもの預かり	その他	特にない	無回答
高齢者一般	1,494	52.7	30.7	23.0	18.0	14.6	10.8	9.5	6.4	6.0	4.9	1.7	1.5	11.4	10.6
男性	615	54.5	22.3	31.7	13.3	13.2	9.9	8.5	3.1	5.0	11.4	1.1	2.1	12.8	8.1
女性	834	52.4	37.3	16.9	21.7	15.8	11.5	10.6	8.8	6.7	0.2	2.2	1.0	10.6	11.5

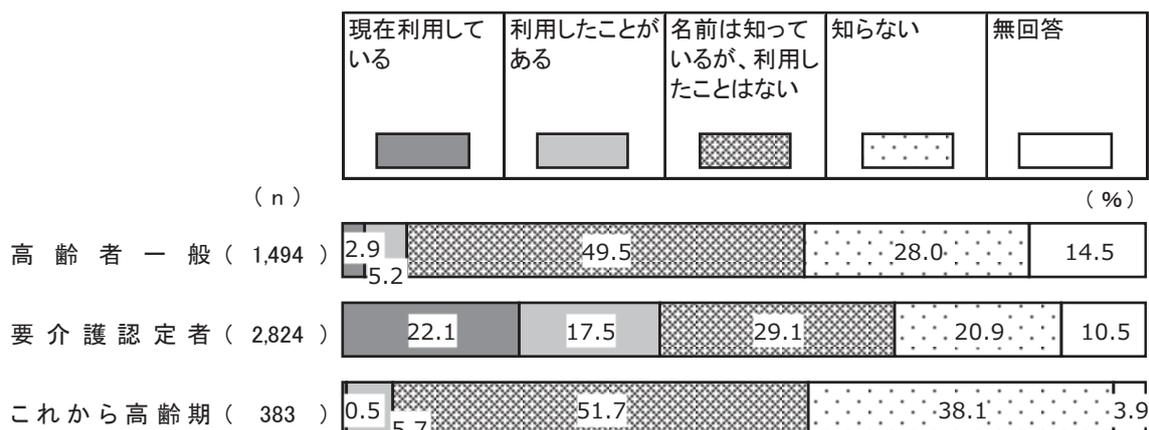
8 高齢者相談センター

(1) 高齢者相談センターの認知度

○高齢者相談センターを「知らない」と回答した人は、高齢者一般で28.0%、要介護認定者で20.9%、これから高齢期で38.1%となっている。

○いずれの調査においても、「現在利用している」「利用したことがある」「名前は知っているが、利用したことはない」を合わせた“知っている”が、「知らない」を上回っている。

■高齢者相談センターの認知度



【経年比較】

○平成25年度調査結果と比較すると、平成28年度の要介護認定者の調査結果は、“知っている”が7割近くと高い。

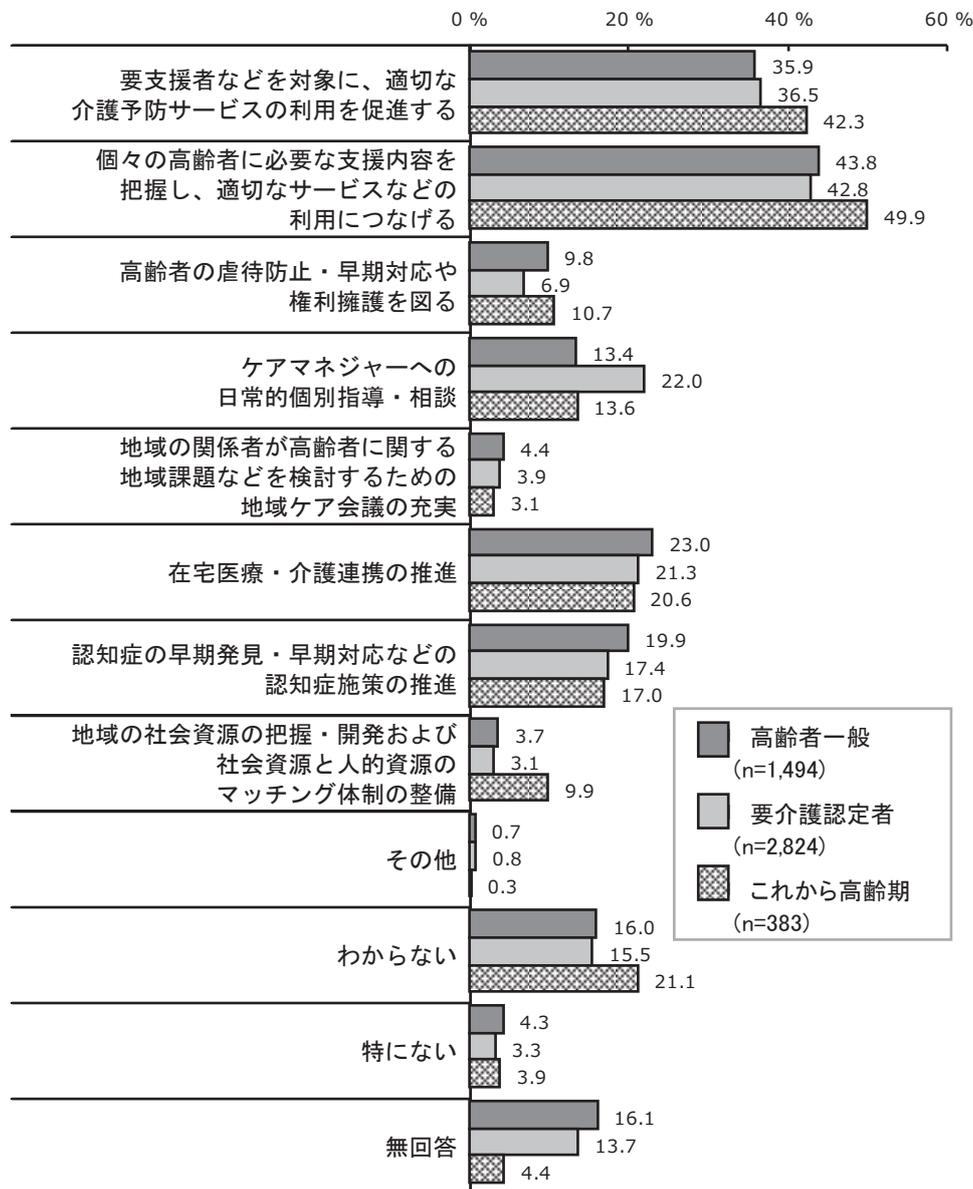
■高齢者相談センターの認知度<要介護認定者：経年比較>

	n	現在利用している	利用したことがある	名前は知っているが、利用したことはない	知らない	無回答
平成28年度	2,824	22.1	17.5	29.1	20.9	10.5
平成25年度	1,534	15.1	14.0	31.9	31.0	8.0

(2) 高齢者相談センターに期待する役割

○いずれの調査においても、「個々の高齢者に必要な支援内容を把握し、適切なサービスなどの利用につなげる」が最も高く、高齢者一般で43.8%、要介護認定者で42.8%、これから高齢期で49.9%となっている。次いで、「要支援者などを対象に、適切な介護予防サービスの利用を促進する」が続いている。

■高齢者相談センターに期待する役割（○は3つまで）

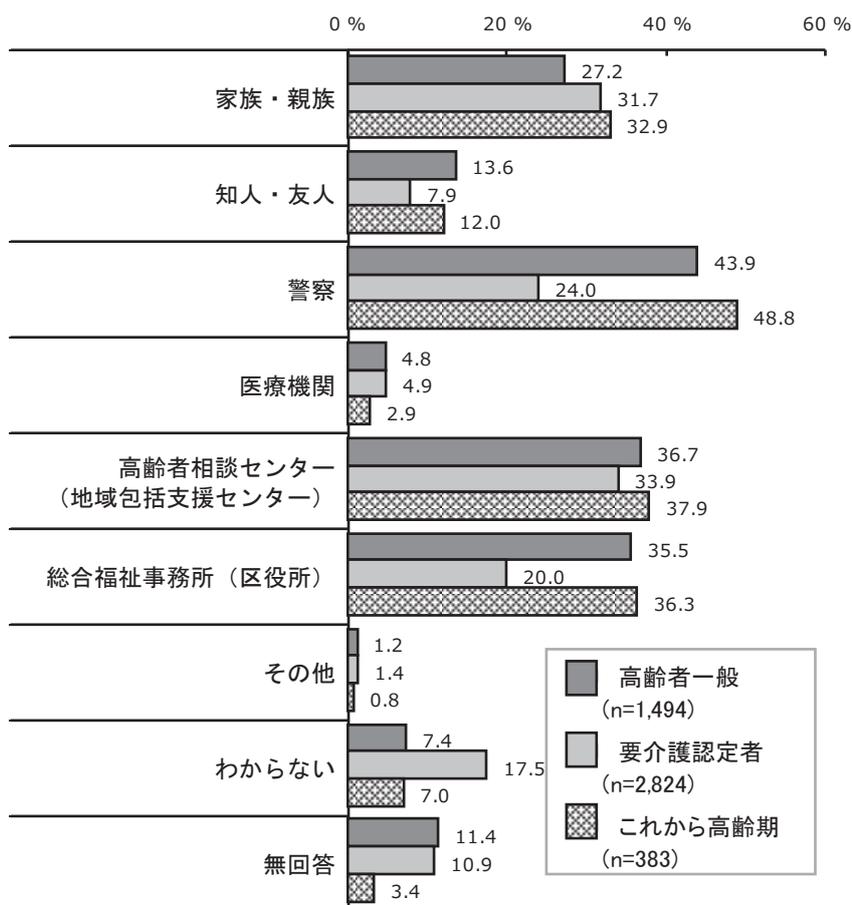


(3) 高齢者の虐待

① 高齢者虐待の相談先

- 高齢者一般、これから高齢期では、「警察」が最も高く（それぞれ43.9%、48.8%）、次いで「高齢者相談センター（地域包括支援センター）」（それぞれ36.7%、37.9%）と続いている。また、「わからない」は、それぞれ7.4%、7.0%となっている。
- 要介護認定者では、「高齢者相談センター（地域包括支援センター）」（33.9%）が最も高く、「家族・親族」（31.7%）、「警察」（24.0%）となっている。また、「わからない」は17.5%となっている。

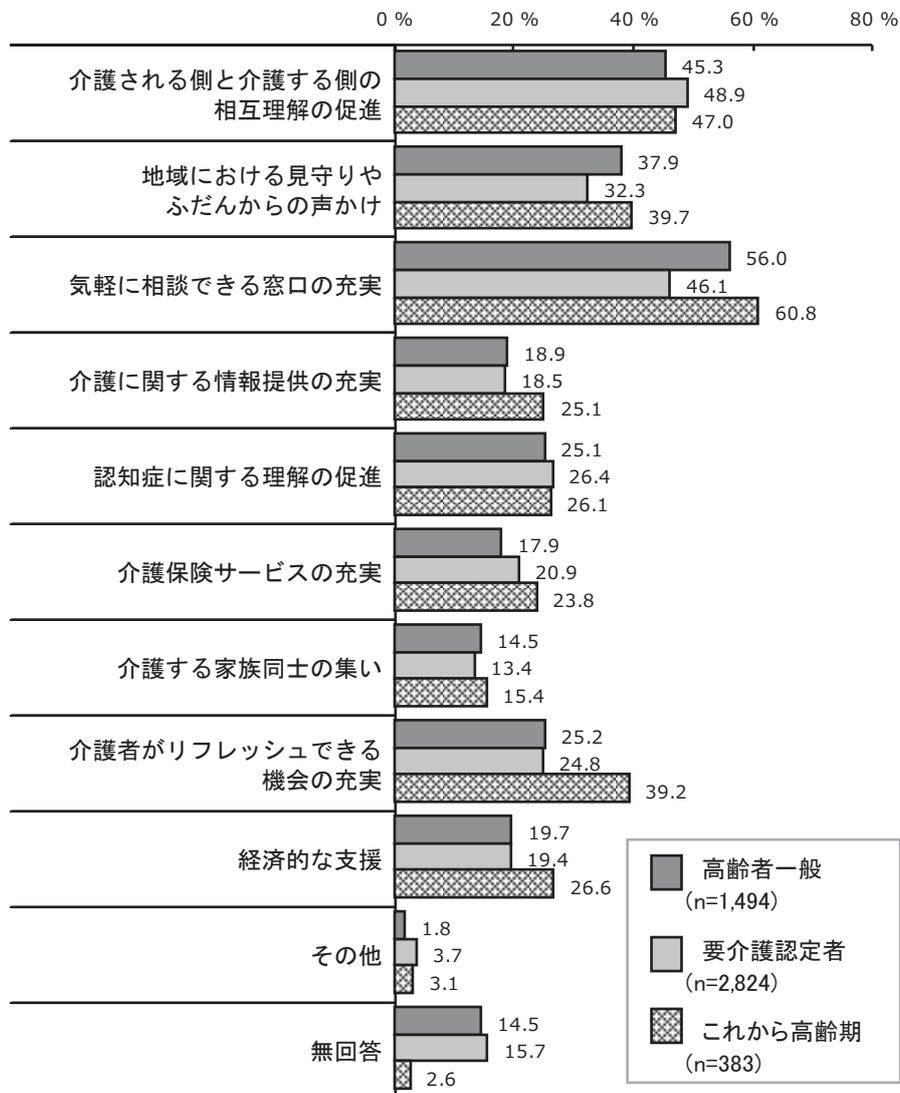
■高齢者虐待の相談先（複数回答）



② 高齢者虐待を防止するために必要なこと

- 高齢者一般、これから高齢期では、「気軽に相談できる窓口の充実」（それぞれ 56.0%、60.8%）が最も高く、次いで「介護される側と介護する側の相互理解の促進」（それぞれ 45.3%、47.0%）、
「地域における見守りやふだんからの声かけ」（それぞれ 37.9%、39.7%）と続いている。
- 要介護認定者では、「介護される側と介護する側の相互理解の促進」（48.9%）が最も高く、次いで、「気軽に相談できる窓口の充実」（46.1%）、「地域における見守りやふだんからの声かけ」（32.3%）と続いている。

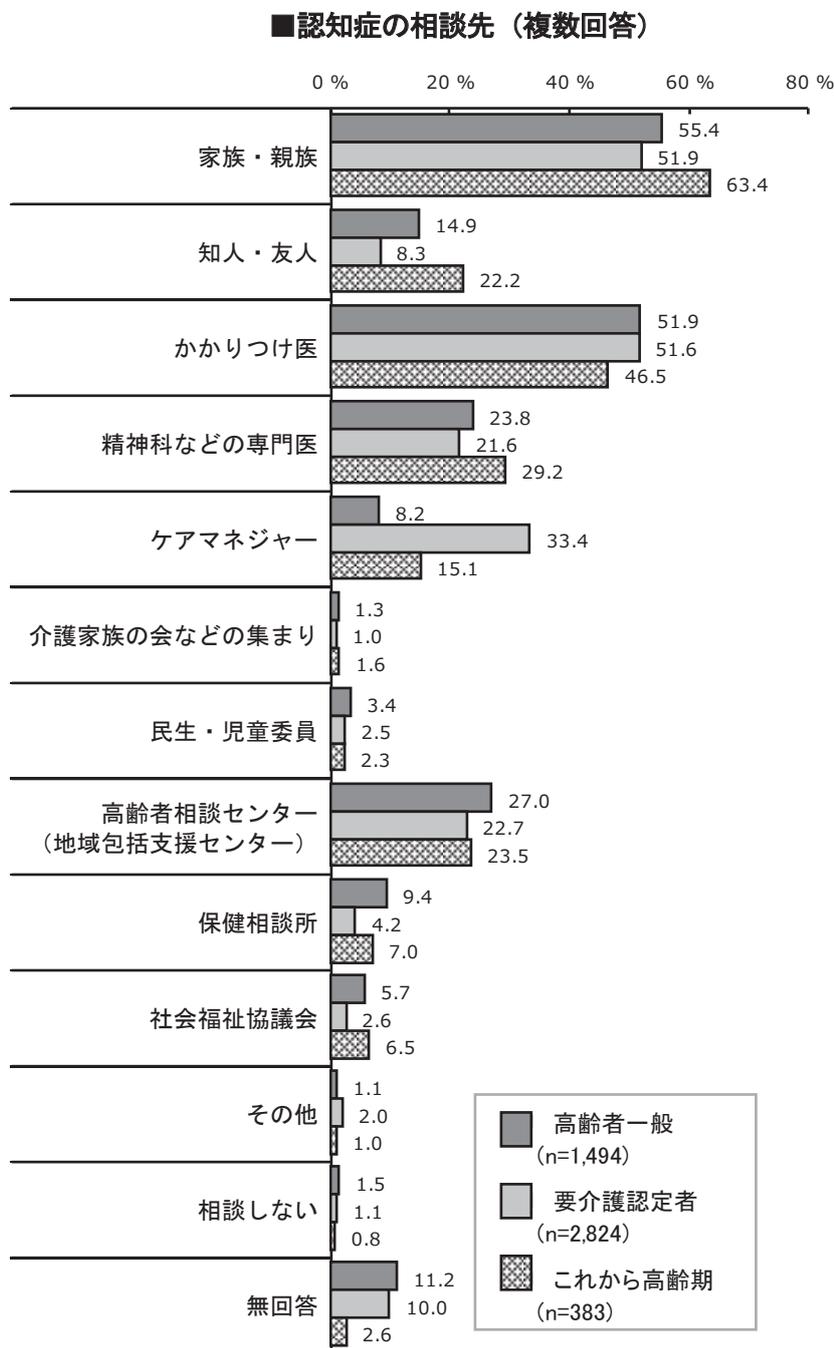
■高齢者虐待を防止するために必要なこと（複数回答）



(4) 認知症

① 認知症の相談先

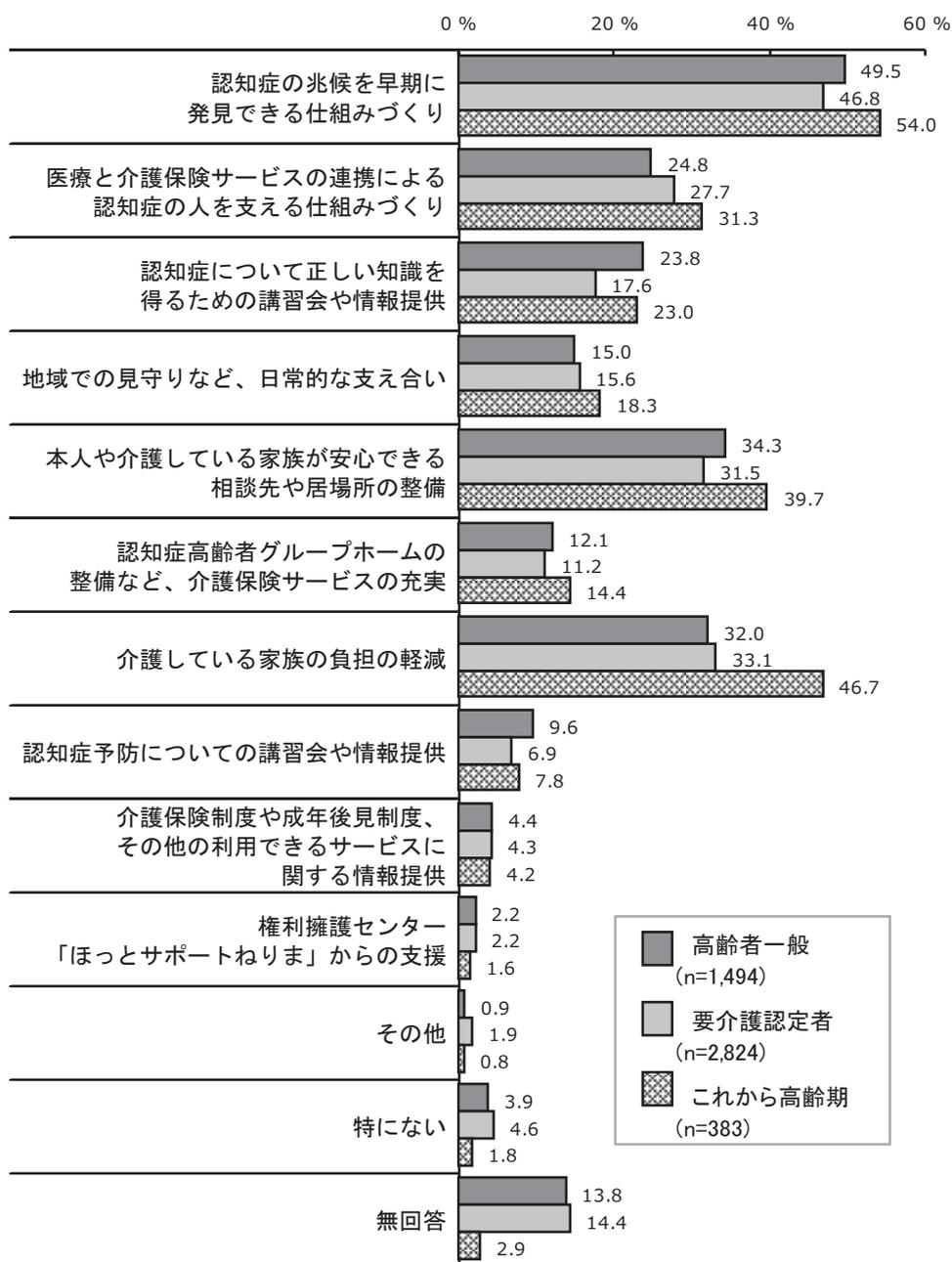
○いずれの調査においても、「家族・親族」が最も高く（高齢者一般で 55.4%、要介護認定者で 51.9%、これから高齢期で 63.4%）、次いで「かかりつけ医」（それぞれ 51.9%、51.6%、46.5%）と続いている。



② 認知症施策で必要なこと

○いずれの調査においても、「認知症の兆候を早期に発見できる仕組みづくり」が最も高く、高齢者一般で49.5%、要介護認定者で46.8%、これから高齢期で54.0%となっている。次いで、高齢者一般では「本人や介護している家族が安心できる相談先や居場所の整備」(34.3%)、「介護している家族の負担の軽減」(32.0%)と続いている。要介護認定者、これから高齢期では、「介護している家族の負担の軽減」(それぞれ33.1%、46.7%)、「本人や介護している家族が安心できる相談先や居場所の整備」(それぞれ31.5%、39.7%)と続いている。

■認知症施策で必要なこと (○は3つまで)



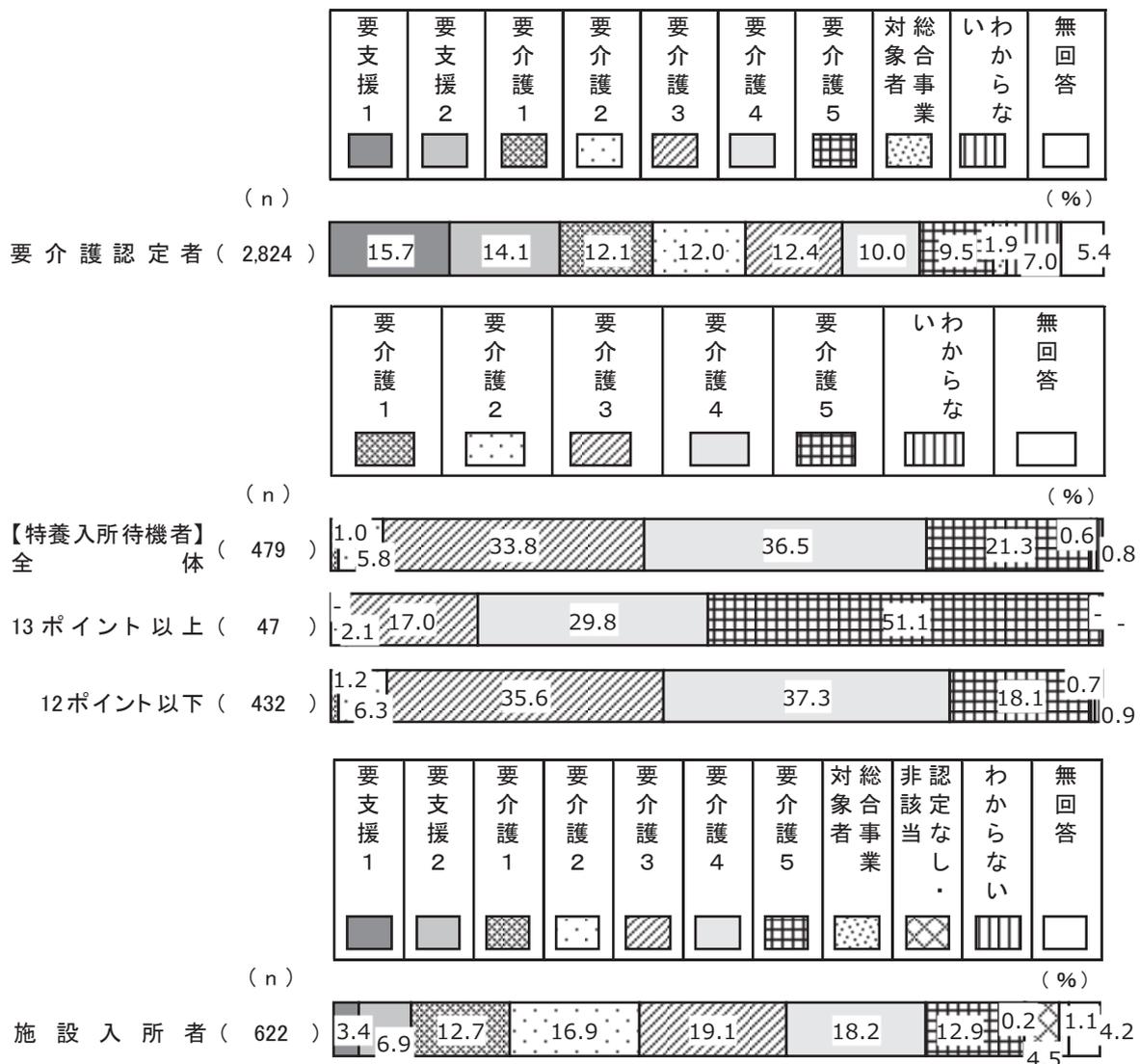
9 介護

(1) 要介護認定の状況

① 要介護度

- 要介護認定者では「総合事業対象者」「要支援1」「要支援2」を合わせた“要支援等”が31.7%、「要介護1」「要介護2」を合わせた“軽度”が24.0%、「要介護3」「要介護4」「要介護5」を合わせた“中重度”が31.8%となっている。
- 特養入所待機者では、「要介護1」「要介護2」を合わせた“軽度”が6.9%、「要介護3」「要介護4」「要介護5」を合わせた“中重度”が91.6%となっている。
- 施設入所者では、「総合事業対象者」「要支援1」「要支援2」を合わせた“要支援等”が10.5%、「要介護1」「要介護2」を合わせた“軽度”が29.6%、「要介護3」「要介護4」「要介護5」を合わせた“中重度”が50.2%となっている。

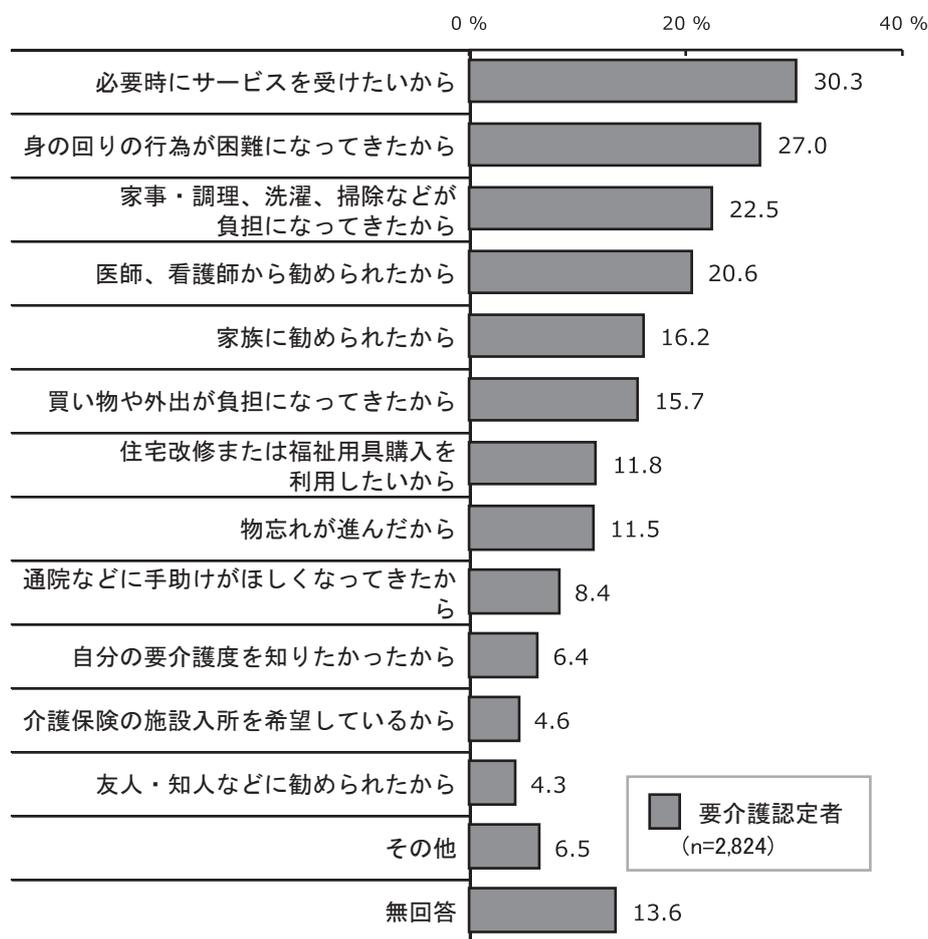
■要介護度



② 要介護認定を申請した理由

○要介護認定を申請した理由は、「必要時にサービスを受けたいから」が最も高く 30.3%、次いで「身の回りの行為が困難になってきたから」（27.0%）、「家事・調理、洗濯、掃除などが負担になってきたから」（22.5%）と続いている。

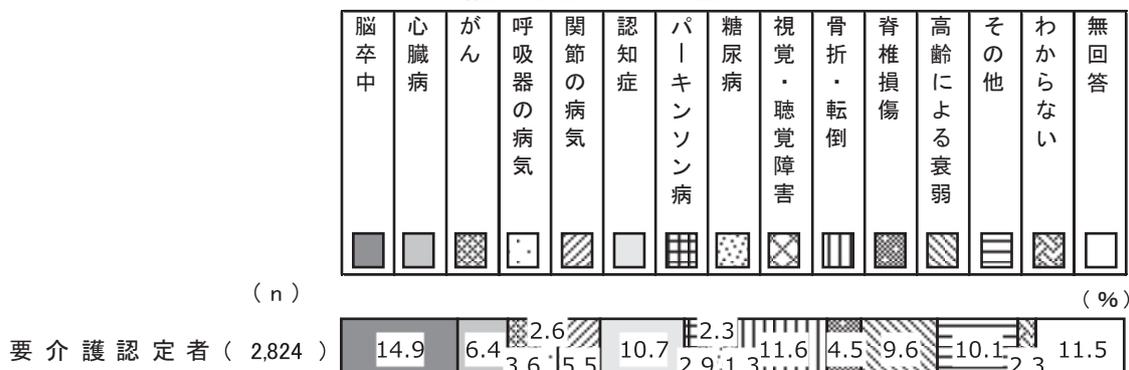
■要介護認定を申請した理由（○は3つまで）



③ 要介護認定を申請した主な原因

○要介護認定を申請した主な原因は、「脳卒中」が 14.9%、「骨折・転倒」が 11.6%、「認知症」が 10.7%となっている。

■要介護認定を申請した主な原因

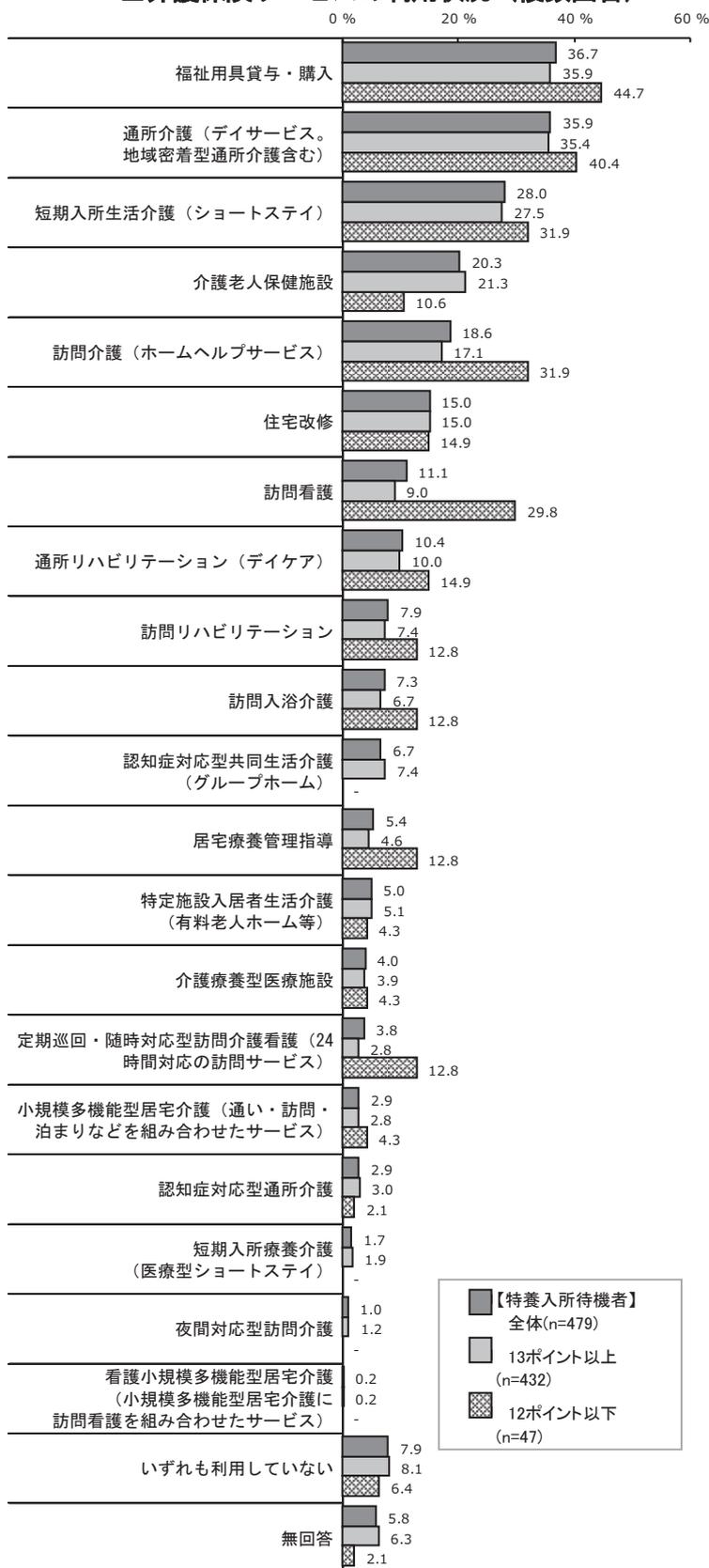


(2) 介護保険サービス

① 介護保険サービスの利用状況

○特養入所待機者では、「福祉用具貸与・購入」が最も高く36.7%、次いで「通所介護（デイサービス。地域密着型通所介護含む）」が35.9%、「短期入所生活介護（ショートステイ）」が28.0%と続いている。

■介護保険サービスの利用状況（複数回答）

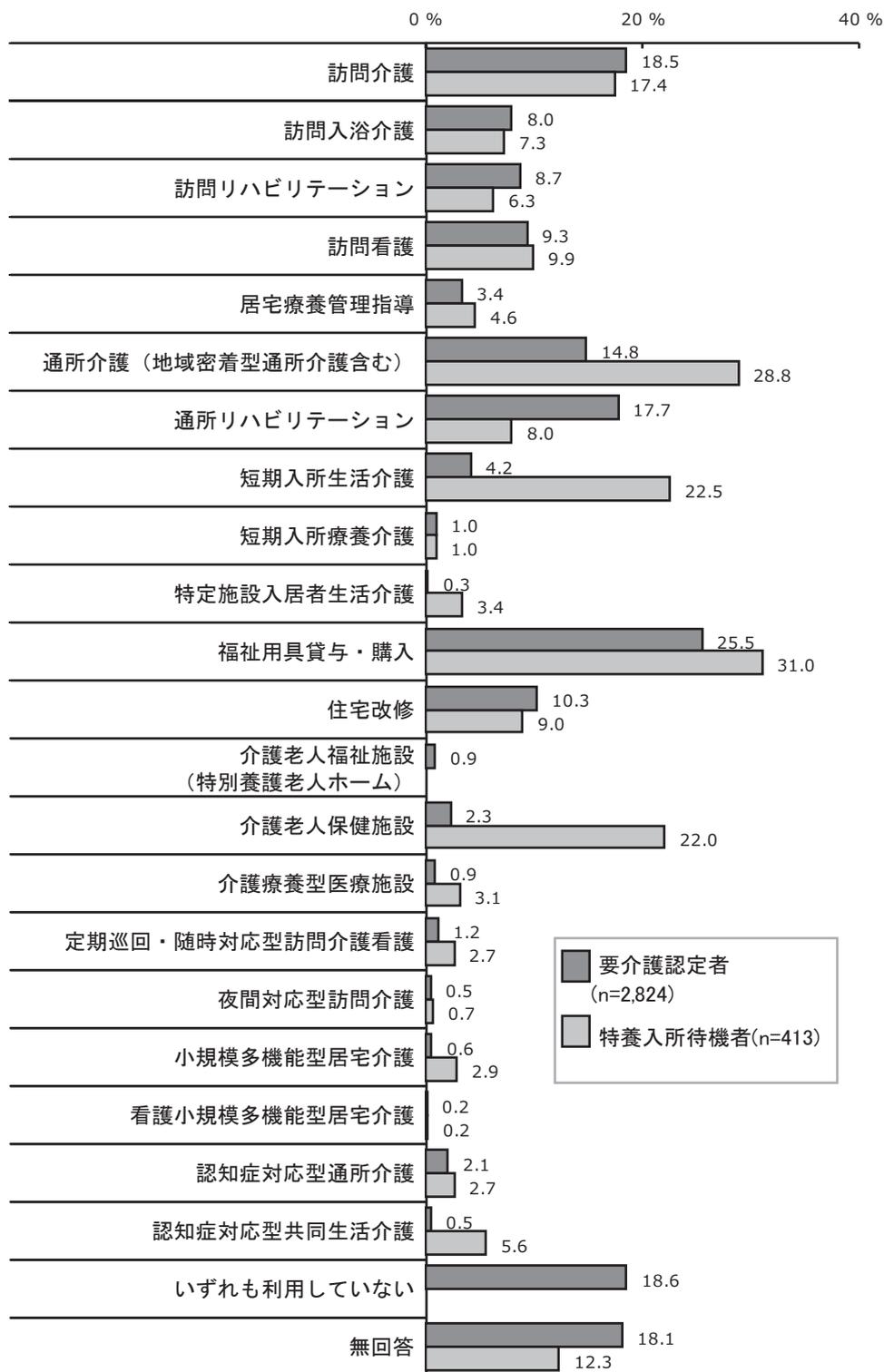


② 満足している介護保険サービス

○要介護認定者の満足している介護保険サービスは、「福祉用具貸与・購入」(25.5%)、「訪問介護」(18.5%)となっている。

○介護保険サービスの利用状況で“いずれかの介護保険サービスを利用している”と回答した特養入所待機者の満足している介護保険サービスは、「福祉用具貸与・購入」(31.0%)、「通所介護(地域密着型通所介護含む)」(28.8%)となっている。

■満足している介護保険サービス(複数回答)

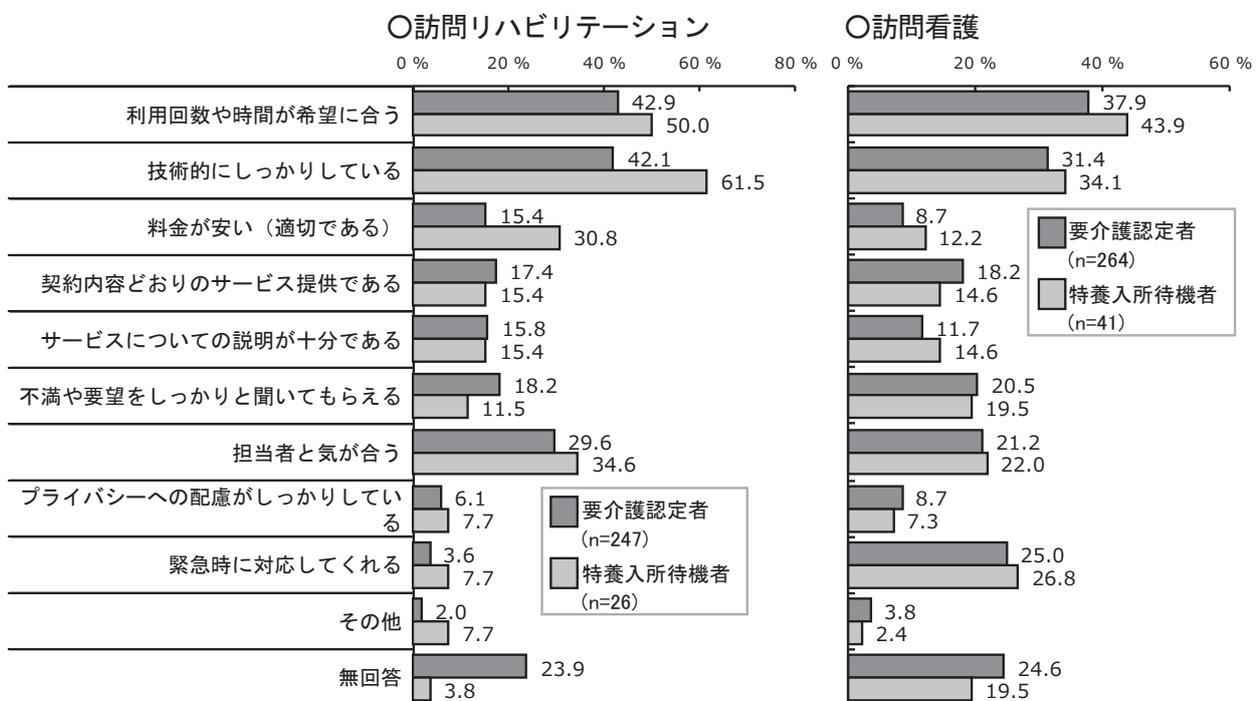
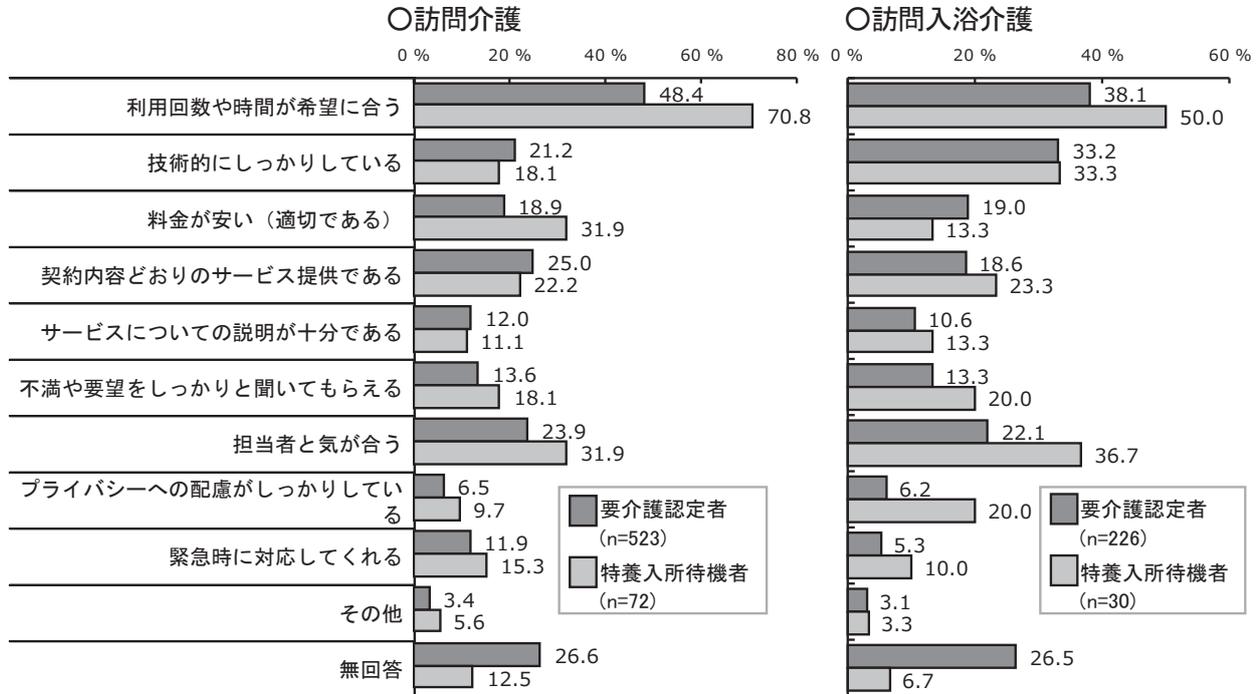


※ 「介護老人福祉施設」「いずれも利用していない」は要介護認定者のみ聞いている

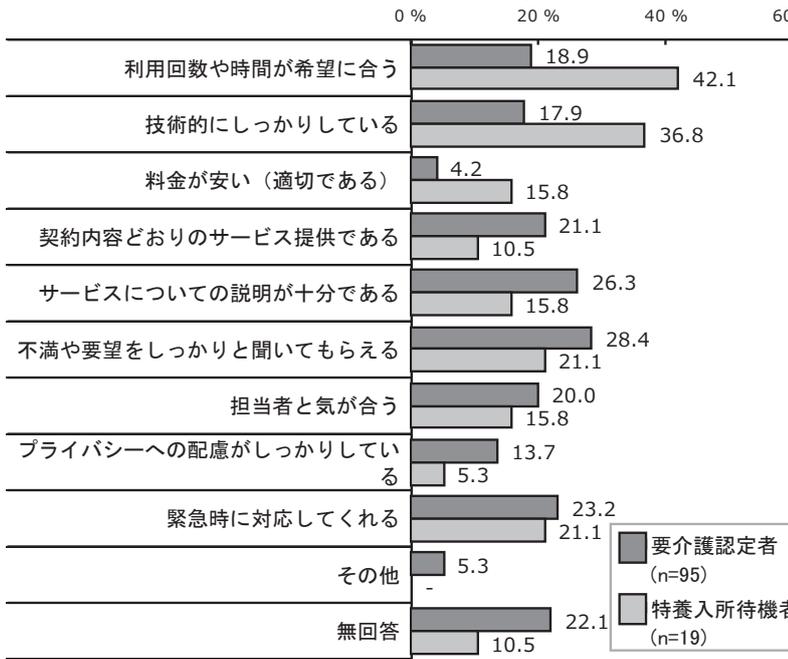
③ 満足している理由

○要介護認定者の満足している介護保険サービスの理由は、“訪問介護” “訪問入浴介護” “訪問リハビリテーション” “訪問看護” “通所介護” “通所リハビリテーション” “短期入所生活介護” では「利用回数や時間が希望に合う」が高い。“福祉用具貸与・購入” “住宅改修” では「料金が安い（適切である）」が高い。

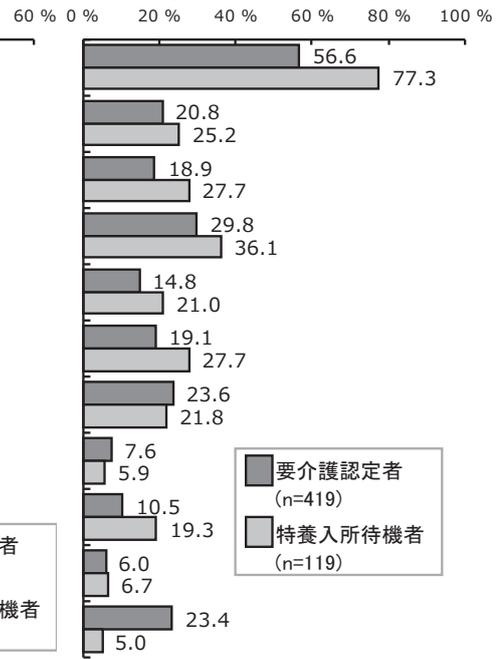
■満足している理由（複数回答）



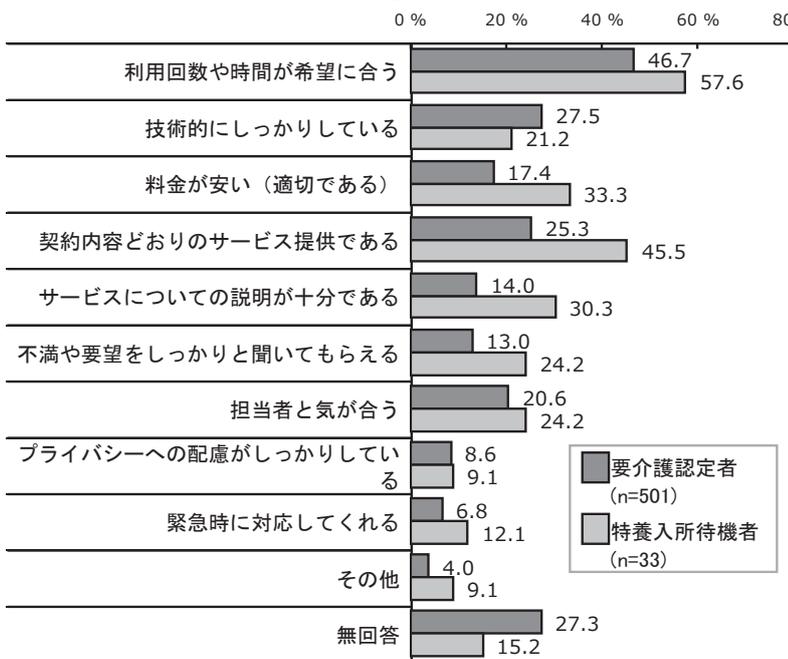
○居宅療養管理指導



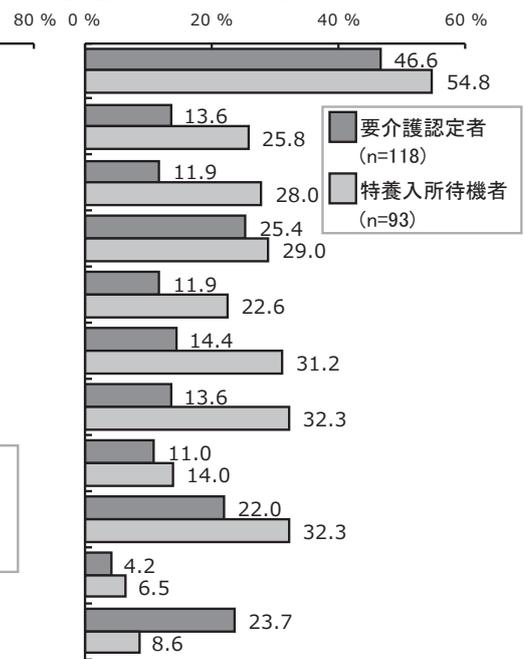
○通所介護 (地域密着型通所介護含む)



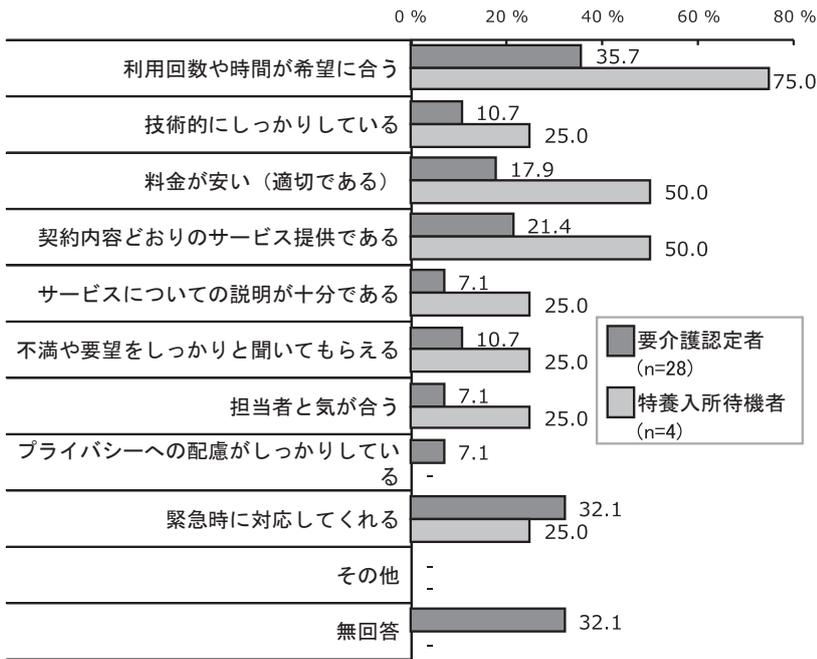
○通所リハビリテーション



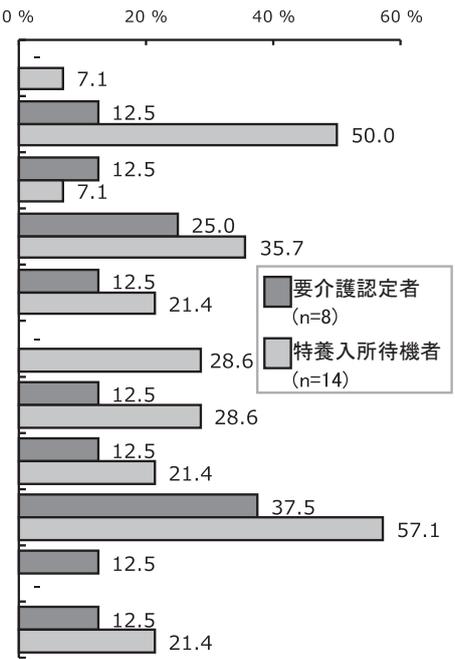
○短期入所生活介護



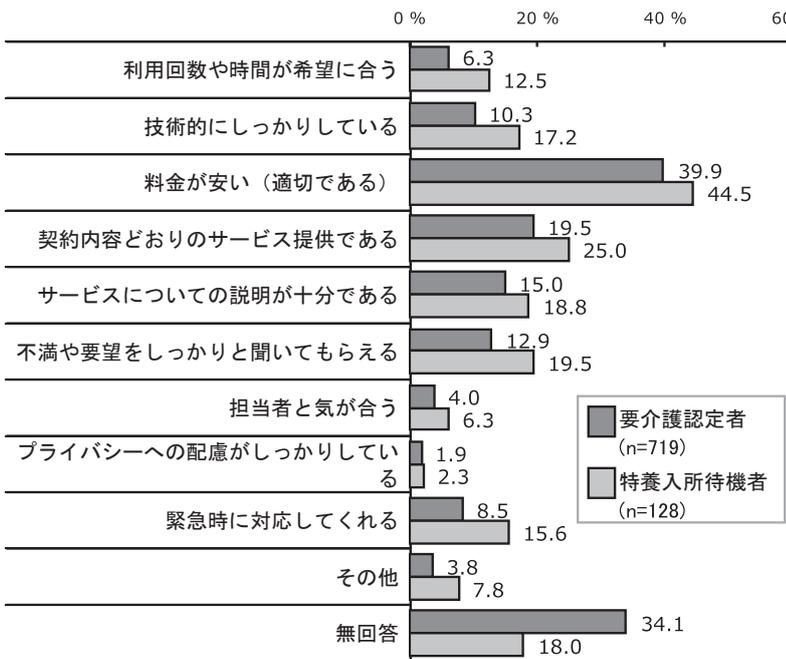
○短期入所療養介護



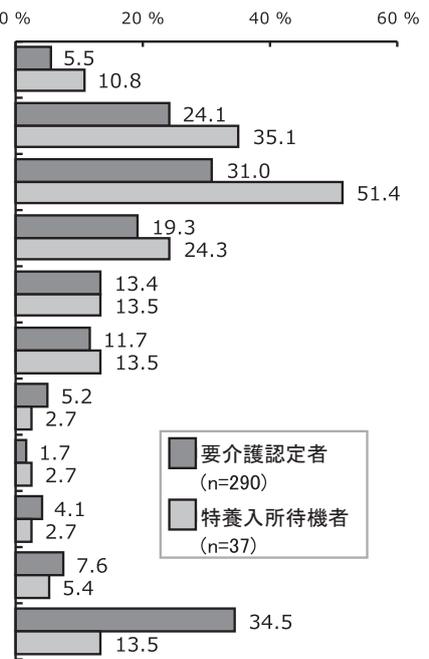
○特定施設入居者生活介護



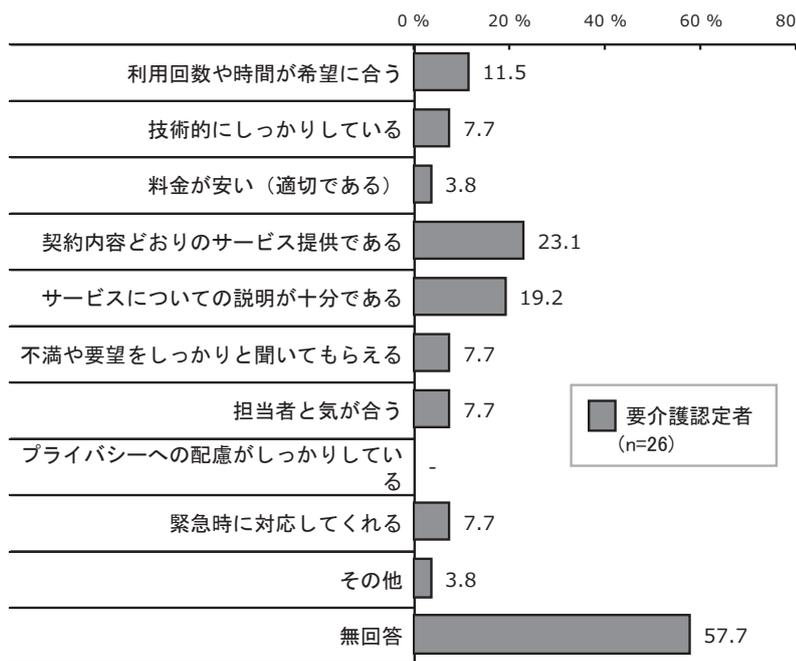
○福祉用具貸与・購入



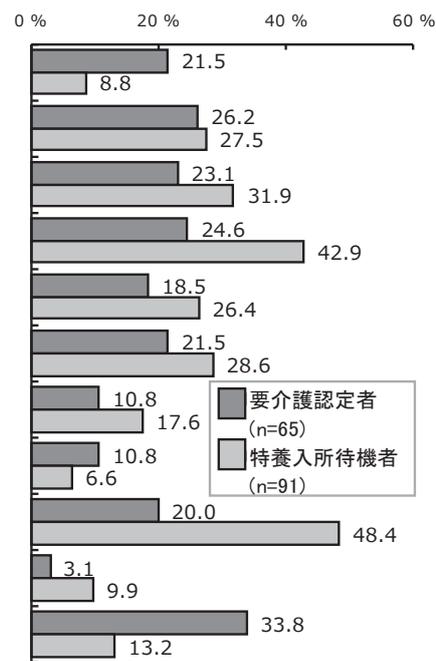
○住宅改修



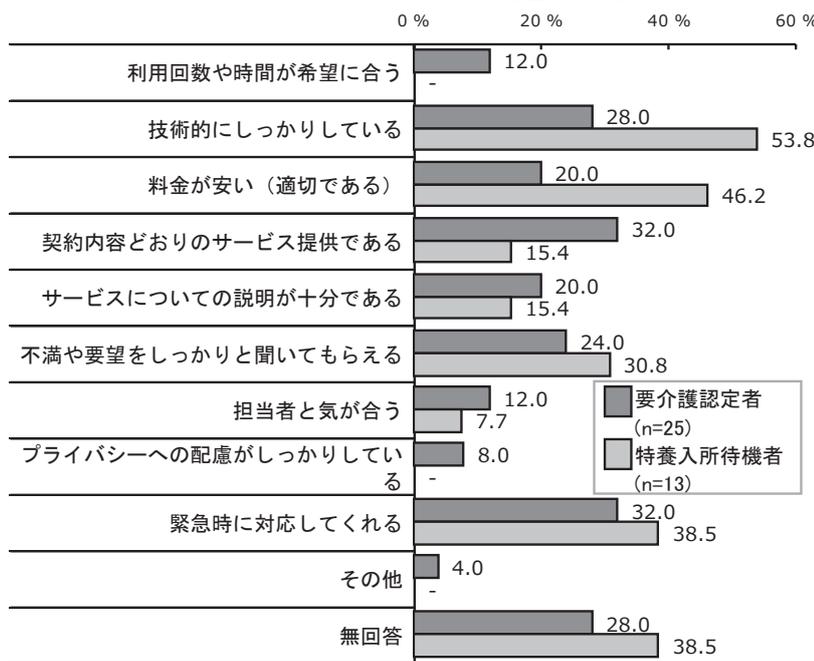
○介護老人福祉施設



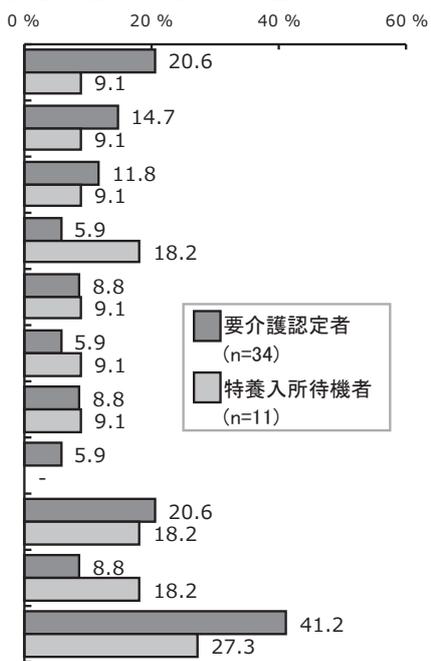
○介護老人保健施設



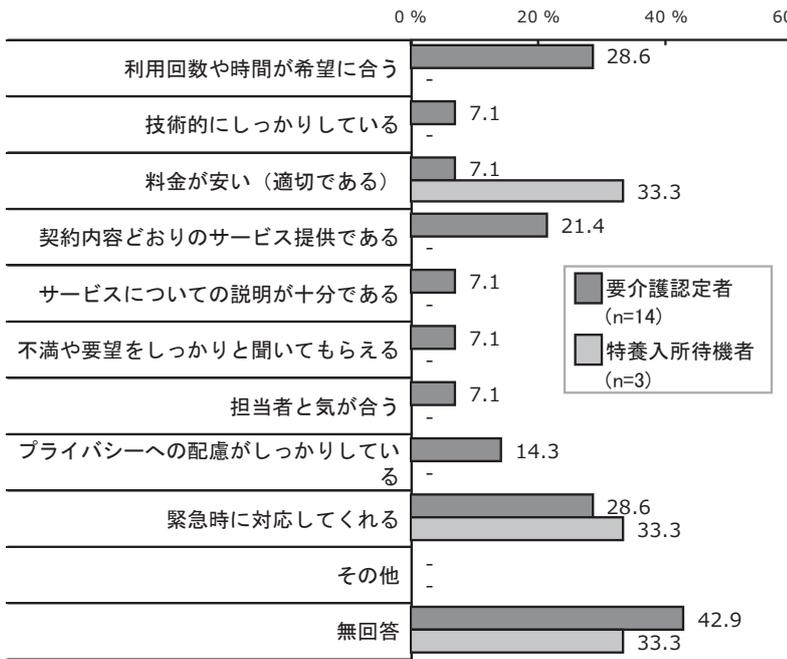
○介護療養型医療施設



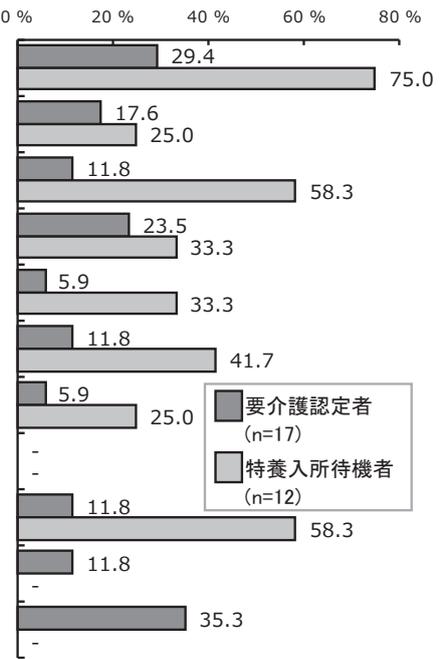
○定期巡回・随時対応型訪問介護看護



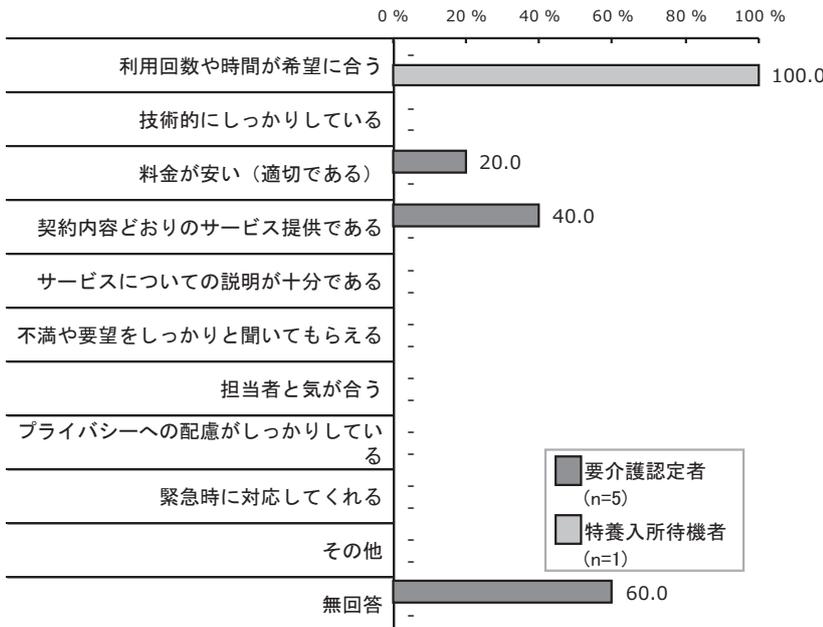
○夜間対応型訪問介護



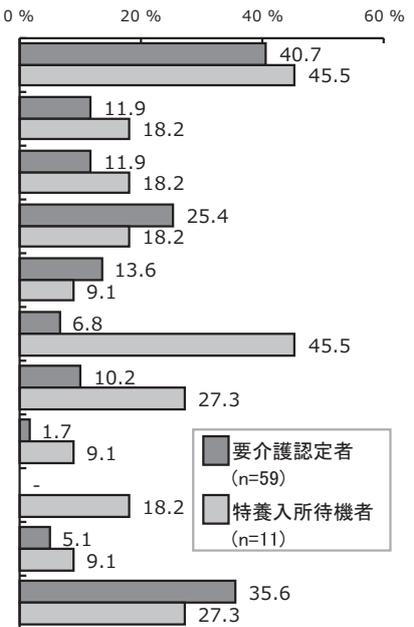
○小規模多機能型居宅介護



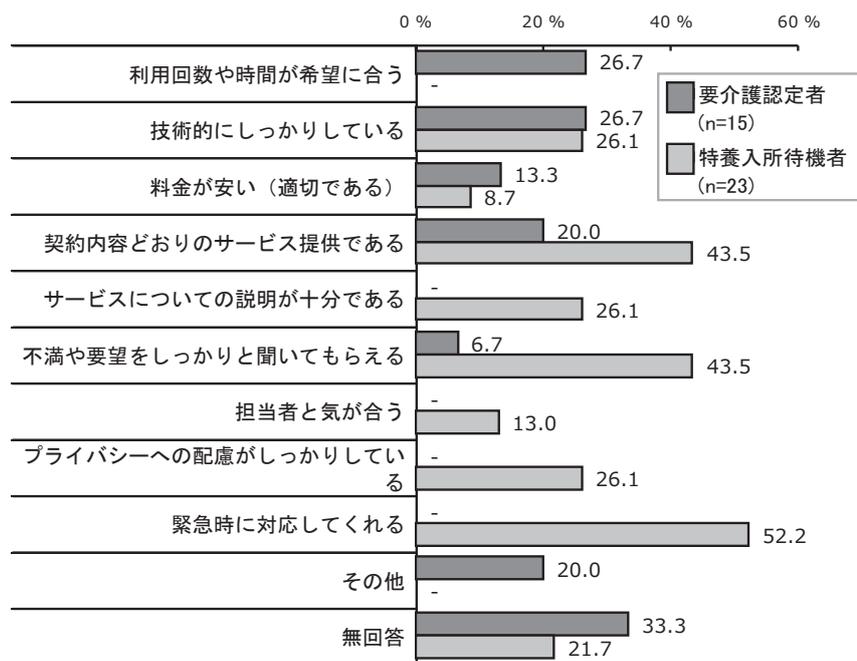
○看護小規模多機能型居宅介護



○認知症対応型通所介護



○認知症高齢者グループホーム

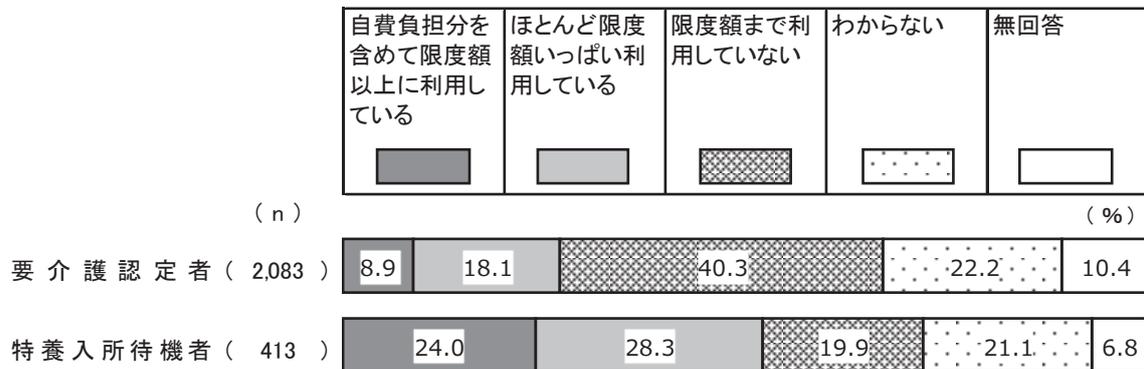


(3) 支給限度額に対する介護サービスの利用

① 支給限度額に対する介護サービスの利用状況

- “いずれかの介護保険サービスを利用している”と回答した人の利用状況は、要介護認定者では「限度額まで利用していない」が最も高く 40.3%となっている。
- 特養入所待機者では、“支給限度額まで利用している人”（「自費負担分を含めて限度額以上に利用している」と「ほとんど限度額いっぱい利用している」の合計）が5割を超えている。

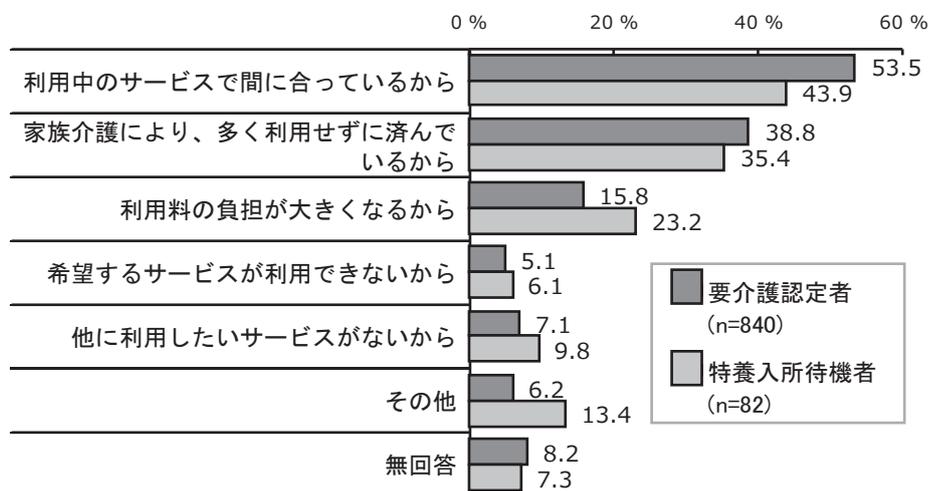
■支給限度額に対する介護サービスの利用状況



② 支給限度額まで利用していない理由

- 支給限度額に対する介護サービスの利用状況で「限度額まで利用していない」と回答した人の支給限度額まで利用していない理由は、要介護認定者、特養入所待機者ともに「利用中のサービスで間に合っているから」が最も高い。

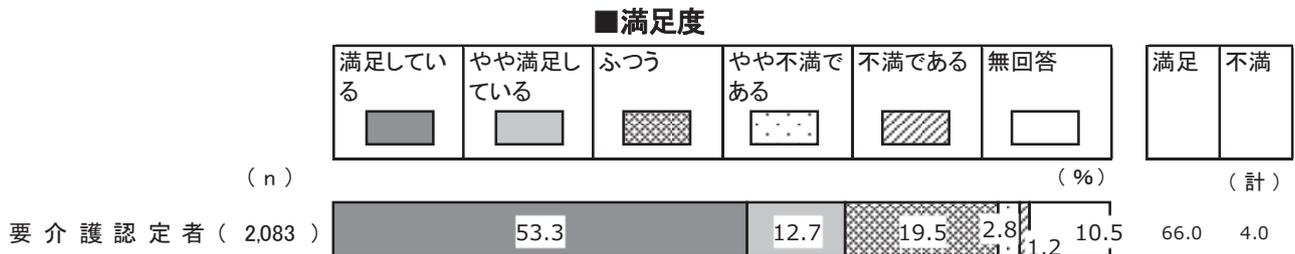
■支給限度額まで利用していない理由（複数回答）



(4) ケアマネジャーに対する満足度

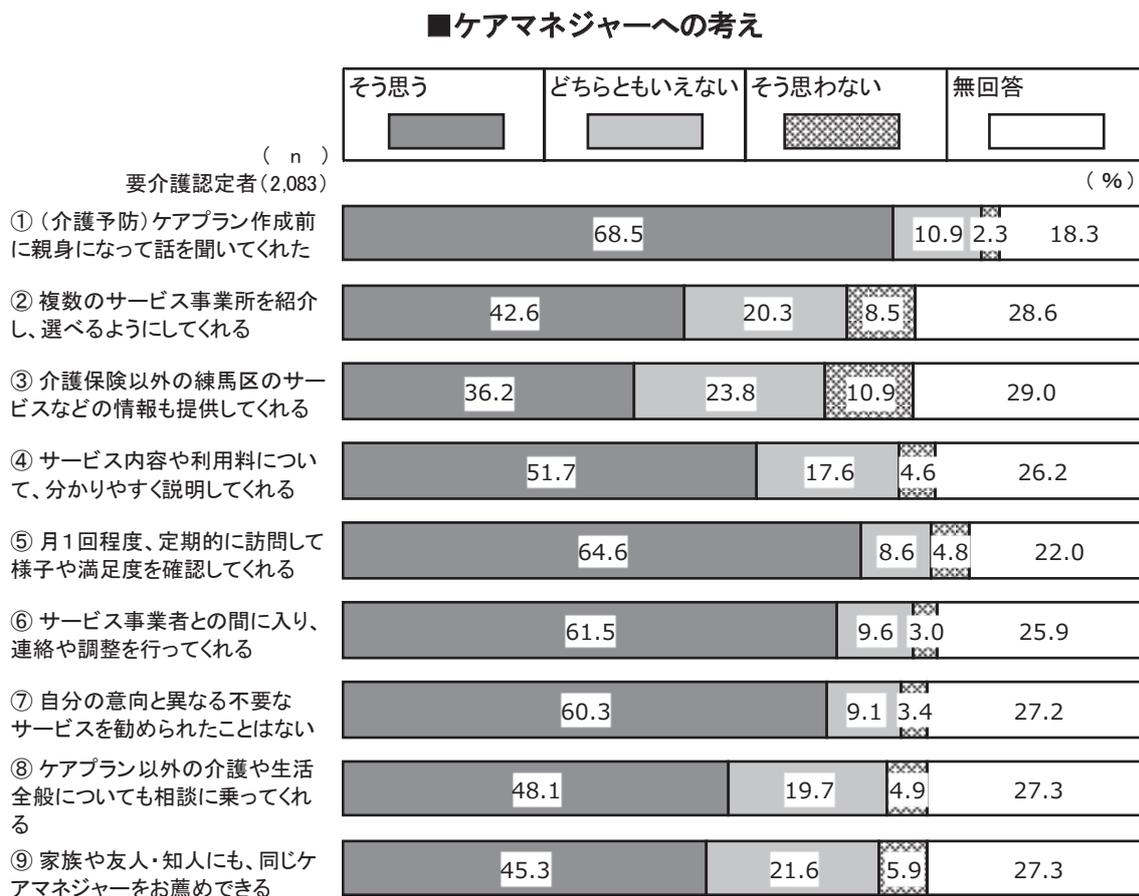
① 満足度

- “いずれかの介護保険サービスを利用している”と回答した人にケアマネジャーの満足度を聞いたところ、“満足”（「満足している」と「やや満足している」の合計）は66.0%で、“不満”（「不満である」と「やや不満である」の合計）の4.0%を大きく上回っている。



② ケアマネジャーへの考え

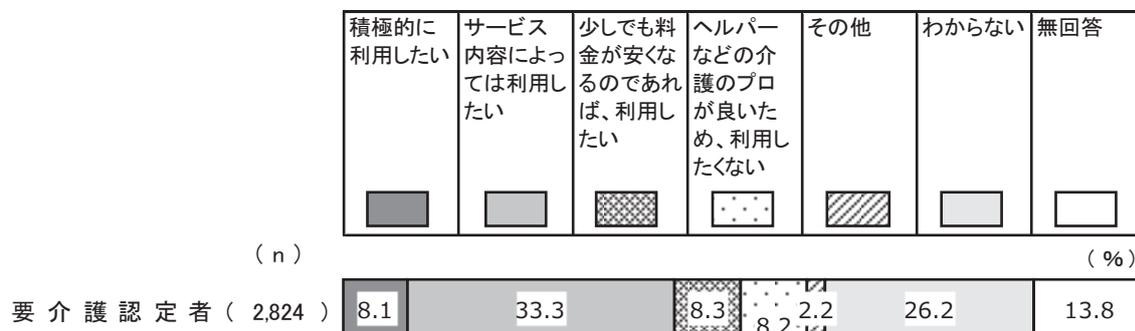
- “いずれかの介護保険サービスを利用している”と回答した人のうち、『①（介護予防）ケアプラン作成前に親身になって話を聞いてくれた』『⑤月1回程度、定期的に訪問して様子や満足度を確認してくれる』『⑥サービス事業者との間に入り、連絡や調整を行ってくれる』『⑦自分の意向と異なる不要なサービスを勧められたことはない』は、「そう思う」が6割を超えている。



(5) 新しい総合事業の住民サービスの利用意向

- 「サービス内容によっては利用したい」が33.3%で最も高い。
- 一方で、「わからない」が26.2%となっている。

■新しい総合事業の住民サービスの利用意向

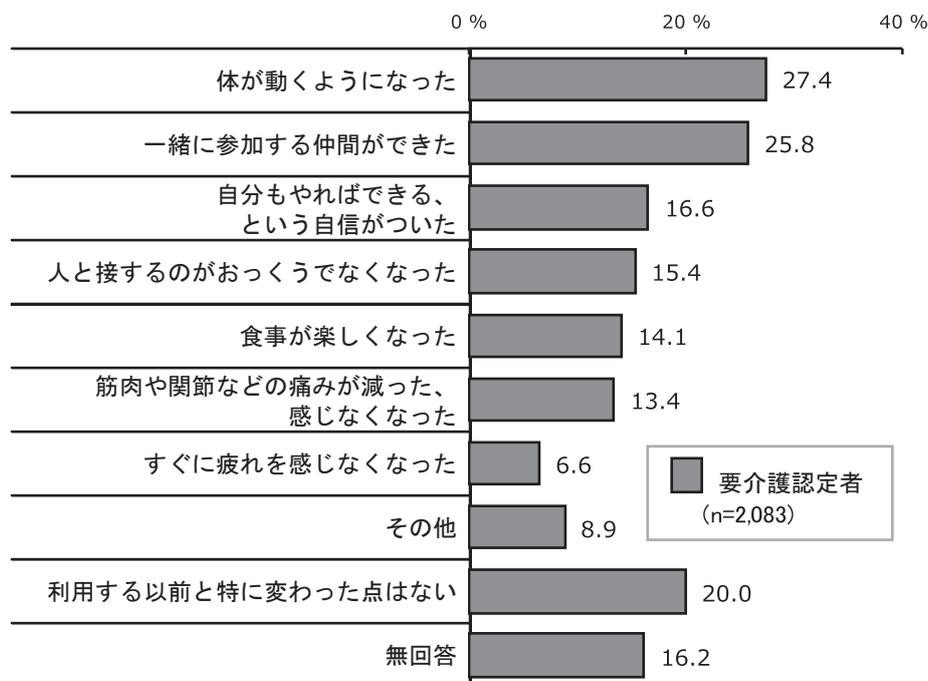


(6) 介護保険サービスの利用による変化

① 介護保険サービス利用後の変化

- “いずれかの介護保険サービスを利用している” と回答した人の介護保険サービス利用後の変化は、「体が動くようになった」が最も高く 27.4%、次いで「一緒に参加する仲間ができた」(25.8%)と続いている。
- 一方、「利用する以前と特に変わった点はない」は2割となっている。

■ 介護保険サービス利用後の変化（複数回答）



【経年比較】

- 平成 25 年度調査結果と比較すると、平成 28 年度は「体が動くようになった」が3割近くと高い。

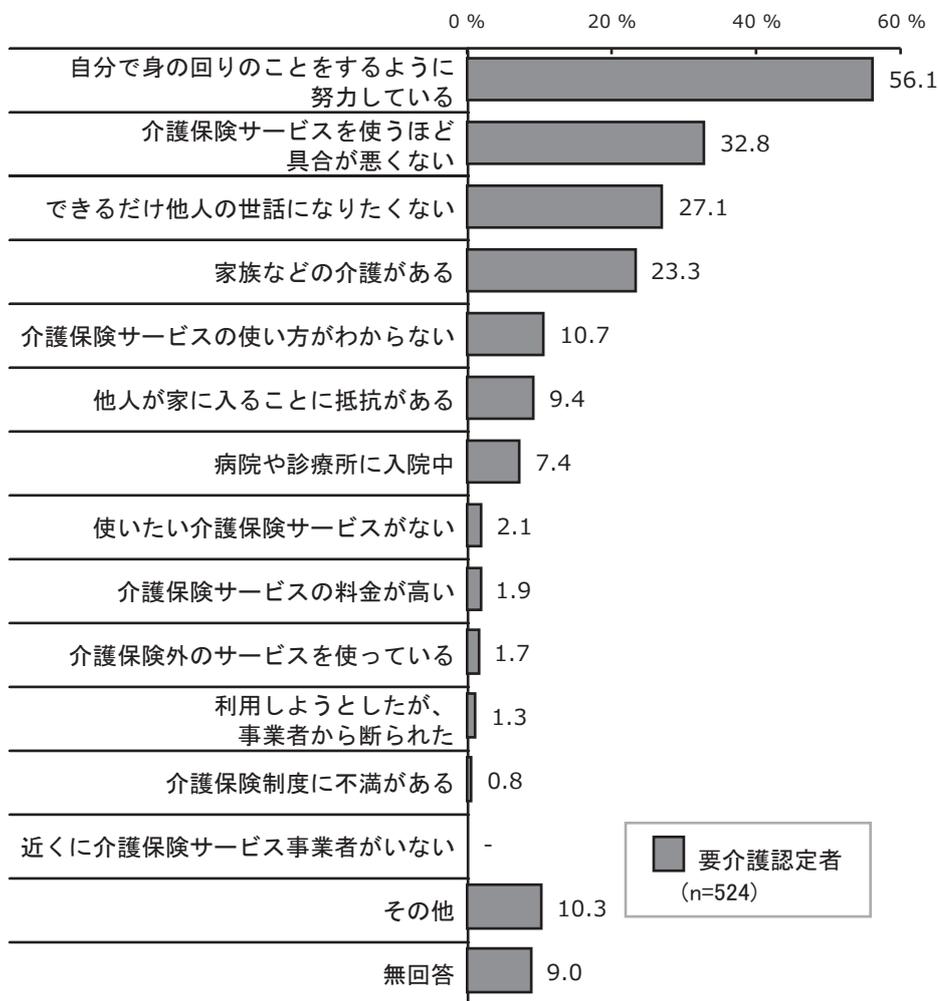
■ 介護保険サービス利用後の変化（複数回答）＜要介護認定者：経年比較＞

	n	体が動くようになった	一緒に参加する仲間ができた	自分もやればできる、という自信がついた	人と接するのがおっくうでなくなった	食事が楽しくなった	筋肉や関節などの痛みが減った、感じなくなった	すぐに疲れを感じなくなった	その他	利用する以前と特に変わった点はない	無回答
平成28年度	2,083	27.4	25.8	16.6	15.4	14.1	13.4	6.6	8.9	20.0	16.2
平成25年度	1,142	22.6	23.7	12.0	14.5	11.5	9.9	4.9	11.1	23.4	13.7

② 介護保険サービスを利用していない理由

○満足している介護保険サービスで「いずれも利用していない」と回答した人のサービスを利用していない理由は、「自分で身の回りのことをするように努力している」が最も高く 56.1%、次いで「介護保険サービスを使うほど具合が悪くない」が 32.8%、「できるだけ他人の世話になりたくない」が 27.1%、「家族などの介護がある」が 23.3%と続いている。

■介護保険サービスを利用していない理由（複数回答）



③ 要介護度の改善に対する考え

○「改善して、介護保険サービスの利用を減らし、自立した生活を送りたい」が32.4%、「改善したいが、介護保険サービスの利用量の減少と内容の変更が不安」が14.3%、「介護保険サービスの利用量の減少・内容の変更になるため改善したくない」が2.8%、「改善するとは思えない」が10.3%、「わからない」が22.0%となっている。

■要介護度の改善に対する考え

改善して、介護保険サービスの利用を減らし、自立した生活を送りたい	改善したいが、介護保険サービスの利用量の減少と内容の変更が不安	介護保険サービスの利用量の減少・内容の変更になるため改善したくない	改善するとは思えない	その他	わからない	無回答

(n)

(%)

要介護認定者(2,824)

32.4	14.3	2.8	10.3	3.1	22.0	15.3
------	------	-----	------	-----	------	------

【要介護認定者】

○年代別にみると、『前期高齢者』は「改善して、介護保険サービスの利用を減らし、自立した生活を送りたい」が4割超で、『後期高齢者』（約3割）と比べて高く、改善に対する意欲が高いことが伺える。

■要介護度の改善に対する考え<要介護認定者：年代>

(%)

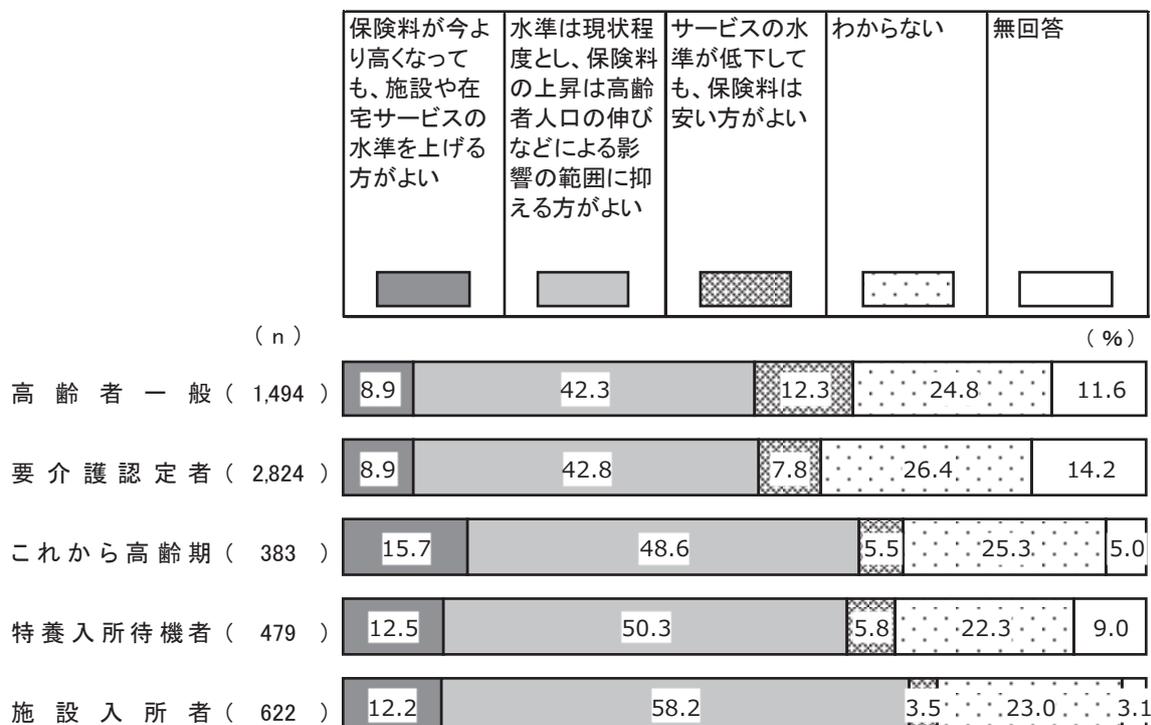
	n	改善して、介護保険サービスの利用を減らし、自立した生活を送りたい	改善したいが、介護保険サービスの利用量の減少と内容の変更が不安	介護保険サービスの利用量の減少・内容の変更になるため改善したくない	改善するとは思えない	その他	わからない	無回答
要介護認定者	2,824	32.4	14.3	2.8	10.3	3.1	22.0	15.3
前期高齢者(65-74歳)	401	42.1	13.2	2.5	8.5	3.0	21.2	9.5
後期高齢者(75歳以上)	2,328	30.8	14.9	2.8	10.5	3.2	22.2	15.5

(7) 介護保険料と介護サービスの利用料

① 介護保険サービスと保険料についての考え

- いずれの調査においても、「水準は現状程度とし、保険料の上昇は高齢者人口の伸びなどによる影響の範囲に抑える方がよい」が最も高く、4割超～6割近くとなっている。
- 一方で、いずれの調査においても「わからない」が2割を超えている。

■介護保険サービスと保険料についての考え



【高齢者一般】

- 経済状況別にみると、『苦しい・大変苦しい』『ふつう』は「保険料が今より高くなっても、施設や在宅サービスの水準を上げる方がよい」が1割未満であるのに対し、『ややゆとりがある・ゆとりがある』は2割超となっている。

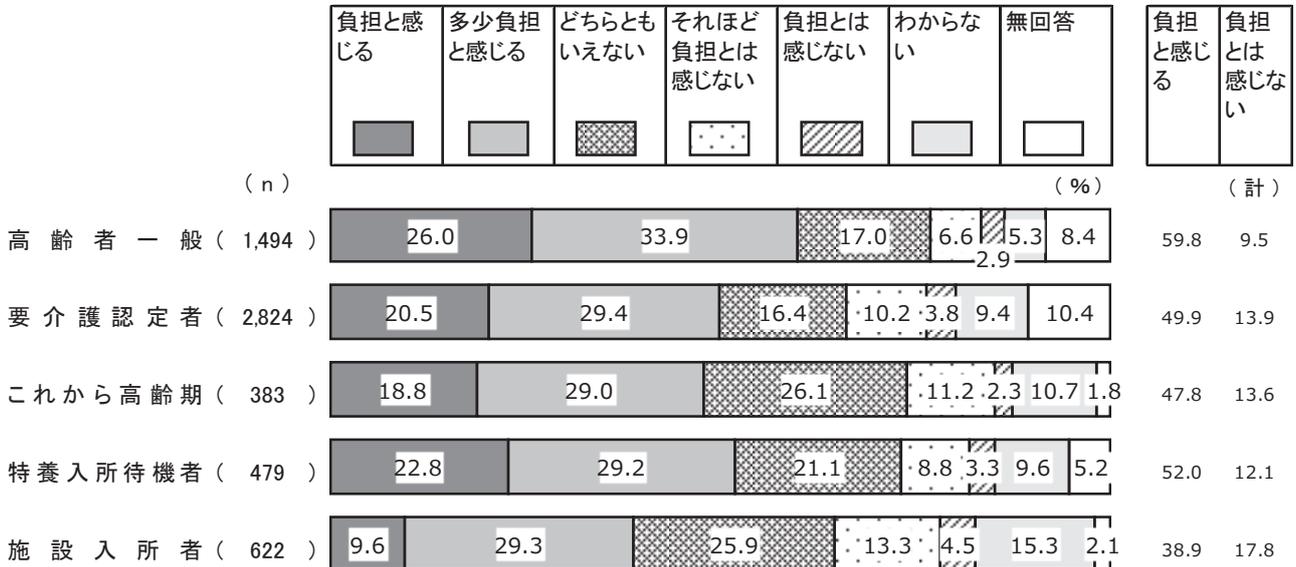
■介護保険サービスと保険料についての考え<高齢者一般：経済状況別>

	n	保険料が今より高くなっても、施設や在宅サービスの水準を上げる方がよい	水準は現状程度とし、保険料の上昇は高齢者人口の伸びなどによる影響の範囲に抑える方がよい	サービスの水準が低下しても、保険料は安い方がよい	わからない	無回答
高齢者一般	1,494	8.9	42.3	12.3	24.8	11.6
苦しい・大変苦しい	541	4.6	37.9	17.4	27.5	12.6
ふつう	747	9.4	47.0	9.0	24.4	10.3
ややゆとりがある・ゆとりがある	150	22.0	40.0	9.3	19.3	9.3

② 介護保険料の負担感

○いずれの調査においても、“負担と感じる”（「負担と感じる」と「多少負担と感じる」の合計）が“負担とは感じない”（「負担とは感じない」と「それほど負担とは感じない」の合計）を上回っており、高齢者一般が59.8%、要介護認定者が49.9%、これから高齢期が47.8%、特養入所待機者が52.0%、施設入所者が38.9%となっている。

■介護保険料の負担感



【高齢者一般】

○経済状況別にみると、高齢者一般では『苦しい・大変苦しい』は“負担と感じる”が7割半ばであるのに対し、『ややゆとりがある・ゆとりがある』では4割近くにとどまっている。

■介護保険料の負担感<高齢者一般：経済状況別>

	n	負担と感じる	多少負担と感じる	どちらともいえない	それほど負担とは感じない	負担とは感じない	わからない	無回答	(%)	(計)
高齢者一般	1,494	26.0	33.9	17.0	6.6	2.9	5.3	8.4	59.8	9.5
苦しい・大変苦しい	541	42.5	31.6	9.6	1.1	0.9	5.4	8.9	74.1	2.0
ふつう	747	17.3	37.3	21.0	8.8	2.9	4.8	7.8	54.6	11.8
ややゆとりがある・ゆとりがある	150	12.7	26.0	24.0	16.0	10.7	4.7	6.0	38.7	26.7

【要介護認定者】

○経済状況別にみると、要介護認定者では『苦しい・大変苦しい』は“負担と感じる”が6割半ばであるのに対し、『ややゆとりがある・ゆとりがある』では3割近くにとどまっている。

■介護保険料の負担感<要介護認定者：経済状況別>

	n	負担と感じる	多少負担と感じる	どちらともいえない	それほど負担とは感じない	負担とは感じない	わからない	無回答	(%)	(計)
要介護認定者	2,824	20.5	29.4	16.4	10.2	3.8	9.4	10.4	49.9	13.9
苦しい・大変苦しい	1,097	32.6	32.7	9.9	3.6	1.8	8.6	10.8	65.4	5.4
ふつう	1,420	13.4	28.4	21.3	13.5	3.8	10.1	9.5	41.8	17.3
ややゆとりがある・ゆとりがある	214	7.5	20.1	20.6	25.2	13.6	7.5	5.6	27.6	38.8

③ 介護サービス利用料の負担感

○いずれの調査においても、“負担と感じる”が“負担とは感じない”を上回っており、要介護認定者が31.7%、特養入所待機者が45.5%、施設入所者が33.1%となっている。

■介護サービス利用料の負担感

	負担感							負担感		
	負担と感じる	多少負担と感じる	どちらともいえない	それほど負担とは感じない	負担とは感じない	わからない	無回答	負担と感じる	負担とは感じない	
(n)								(%)	(計)	
要介護認定者 (2,824)	10.2	21.4	19.0	13.0	4.2	19.2	12.9	31.7	17.2	
特養入所待機者 (479)	16.3	29.2	24.2	9.0	2.7	11.9	6.7	45.5	11.7	
施設入所者 (622)	8.8	24.3	24.3	13.8	4.8	19.0	5.0	33.1	18.6	

【要介護認定者】

○経済状況別にみると、『苦しい・大変苦しい』は“負担と感じる”が4割半ばであるのに対し、『ややゆとりがある・ゆとりがある』では1割超にとどまっている。

■介護サービス利用料の負担感＜要介護認定者：経済状況別＞

	n	負担感 (%)							負担感 (計)	
		負担と感じる	多少負担と感じる	どちらともいえない	それほど負担とは感じない	負担とは感じない	わからない	無回答	負担と感じる	負担とは感じない
要介護認定者	2,824	10.2	21.4	19.0	13.0	4.2	19.2	12.9	31.7	17.2
苦しい・大変苦しい	1,097	18.4	26.8	15.8	6.3	1.5	18.4	12.9	45.2	7.7
ふつう	1,420	5.4	18.9	22.2	16.3	4.9	20.0	12.4	24.3	21.1
ややゆとりがある・ゆとりがある	214	1.9	11.7	17.3	29.9	15.0	18.2	6.1	13.6	44.9

(8) 高齢者保健福祉施策や介護保険に関する主な意見・要望（自由回答）

(介護保険料／利用料)

- ・所得のわりに、介護保険料が高いような気がする。いつか払えなくなってしまう。[高齢者一般]
- ・まだ介護保険を使っていないため保険料が高く感じる。例えば、使わない人にポイントをつけるなどの特典があるといい。[高齢者一般]
- ・国の決定事項かもしれないが年金から引かれている介護保険料が高すぎる。[要介護認定者]
- ・介護保険の2割負担が経済的・精神的に負担になっている。年金収入がボーダーラインの少し上であるために2割負担となり、不公平感が残る。[要介護認定者]
- ・年金のみの生活のため、これ以上、介護保険料が上がるのは困る。[要介護認定者]
- ・介護区分が重くなり、金額が上がってしまうのは辛い。[特養入所待機者]

(制度等に対する不安／不満)

- ・介護が必要になった時に問題なく生活が出来るための介護保険制度にしてほしい。[高齢者一般]
- ・現在の使用の仕方（認定の方法）が不公平と感じる。本当に必要な人が困っていて、まだ動ける人が介護サービスを利用している。まず「公平な介護」をお願いしたい。[高齢者一般]
- ・介護認定の申請をし面接を受けたが、その後の認定結果を受けるまでの期間が1か月以上でとても遅い。退院間近になってもなかなか認定結果の通知が来ず、自宅改修が退院直前だった。退院時に必要だった

杖の購入補助は間に合わなかった。[要介護認定者]

- ・現在、通所サービスを受けているが、受けている方のうち、機能回復、健康、体力の維持、増進に取り組んでいる人は2分の1位である。何の目的で通所されているのかとを感じる。安易に考えているように思う。サービス提供事業者の基本的なサービスに大きな差がある。認定査定者にも差があり、良い制度だが、区・事業者等、制度の見直しが必要と思う。[要介護認定者]
- ・介護をしてほしいと思っても同居している子どもがいると何もしてもらえない。同居者がいても子どもが仕事の間は一人になるため、考えてほしい。[要介護認定者]
- ・自分のことは自分でやりたいと思っても、なかなかできなくなってくる。それを言い出せない場合もある。そのような人の取りこぼしのないようにしてほしい。[要介護認定者]
- ・高収入者でヘルパーを家政婦のように思っている方がいれば、本当に困っている方が支援を受けず頑張っているなど、矛盾を感じる。[これから高齢期]
- ・元気な時に保険料をきちんと納めているのに、いざ自分がお世話になる何年、何十年先にどのような体制になっているのかを考えると不安になる。家族に迷惑・負担をかけることのない福祉の充実を願っている。[これから高齢期]
- ・システムがややこしく分かりにくい。[特養入所待機者]

(経済的な支援)

- ・高齢者への資金面の支援や生活がスムーズに過ごせるような支援をしてほしい。楽しく元気に毎日が過ごせるような話を訪問かたがたしていただけると大変嬉しい。人の中に入っていけない人達も多くいると思うので、自宅に来て話をしていただけるだけで元気になり、楽しみが増す。[要介護認定者]
- ・お金がないとサービスを受けられない社会はおかしいと思う。もう少し国が負担してほしい。[施設入所者]

(サービス内容)

- ・区内には適切なりハビリ施設が見つからず、現在は遠方まで通っている。[要介護認定者]
- ・本当に受けたいと思うサービスが受けられなかった。床面を掃除することはできても高いところの掃除ができないためお願いしても、それはサービスではできないと断られた。1時間と決められた範囲内で上からのおしきせのようなサービスではなく、今日は何がして欲しいかによるサービスをしていただきたい。また、ヘルパーとの話も、精神的サービスとしてある程度認めてほしい。[要介護認定者]
- ・訪問看護、デイサービス、訪問医が来てくれて急な対応もしてもらっている。ケアマネも相談しやすく、訪看には特にお世話になっている。練馬区は福祉が充実していると思う。[要介護認定者]
- ・個人や状況によって求められる施策は異なってくるため、広く柔軟な対応のとれる組織や運営であってほしい。どこかで線引は必要ではあるが、そして線を引いてしまえば管理するのは楽だが、血の通った運用をしてほしい。[これから高齢期]
- ・介護保険サービスを利用することができて助けられている部分はとても大きく助かっている。しかし、本当に困った時に利用できない事柄も多く感じている。[特養入所待機者]
- ・施設に入ると浮世と縁が切れてしまったようだが、まだ残された時間を有効に使いたい。[施設入所者]

(施設整備)

- ・今、住んでいる住宅が民間賃貸住宅のため、住宅の補助金等をできることなら出してほしい。公営の住宅はなかなか入居できない。[高齢者一般]
- ・私の周りにも一人暮らしの高齢者が多くいる。年金暮らしで、子供達にも迷惑をかけたくないという意見が多い。特別養護老人ホームができるといいのにと話している。[高齢者一般]
- ・一人暮らし高齢者が心身ともに生活することが困難になった場合、すぐに受け入れてくれるところがあれば安心して生活できると思う。[要介護認定者]
- ・高齢者が年金以内で、一人ですぐに入居できる住居がほしい。住むところがあれば生活はなんとかできると思うので、住まいが将来の不安である。[これから高齢期]
- ・家族が介護疲れで限界にきており、早急に特別養護老人ホームに入所したい。[特養入所待機者]
- ・特養に申し込んでも、入居可能性など全く情報がない。「あと何か月で可能」というように知らせてほしい。[特養入所待機者]
- ・特別養護老人ホームに容易に受け入れてくれる制度を充実してほしい。[特養入所待機者]

- ・施設だとしても世話をされる一辺倒ではなく、生活者としての暮らしの延長であつたら良いと思う。高齢者の人生経験を若者に伝えられるようなつながりがあると良い。＜親族＞[特養入所待機者]
- ・高額ではない介護施設を作してほしい。高い金額を払わないと良い老人ホームに入れない。[施設入所者]
- ・有料老人ホームに入居しているが、少しは医療を行ってほしい。たんの吸引や点滴程度のことをお願いしたい。結果として、手当てをしてくれるところを考えて移っていくしかない。[施設入所者]

(介護予防)

- ・介護予防対策に力を入れ、健康で生活できる人達を増やしていく施策を充実することが重要だと思う。[高齢者一般]
- ・将来のことはどうなるか分からないが、自分が努力（健康管理・人生を楽しむ趣味）をすることが大切である。[高齢者一般]
- ・今年で80歳を迎え、ようやく高齢者の仲間に入った様な気がする。自分では、生涯現役で頑張りたいと思っている。[高齢者一般]
- ・元気な高齢者が、支援を必要とする高齢者を手助けするためのポイント制度のようなものをつくり、自分に介護が必要になった時にポイントを利用できる仕組みがあれば良いと思う。若者や介護人材も少なく、また、元気なうちに他の人を手助けできる満足感や役に立っているという気持ちも味わえるのではないかと思う。[高齢者一般]
- ・病気になる以前の予防の講習会を、専門の先生にしてほしい。[要介護認定者]
- ・デイサービスに週1回通っている。他にゲートボール等の体を動かすこともしてみたいが、80歳過ぎの初心者なのでなかなか知らないところに入りづらい。高齢者向けのサークルなどを紹介してほしい。[要介護認定者]

(社会参加／元気高齢者)

- ・体力差にもよるが、高齢になっても頼られたり、何かの役目がある方が張りを持てる。やりがいを感じられ、収入も得られれば社会の負担になっている負い目ではなく、まだ貢献できるという生きがいにも繋がる。子供世代の晩婚化、親の長寿に伴い子育てと介護が重なる様になってきた。経済的・精神的に余裕がなくなると、思いやりも希薄になってくる。生涯現役の道筋が拮がると良いと思う。[高齢者一般]
- ・いつでも気軽にお茶を飲み、おしゃべりができるところがあると良い。[高齢者一般]
- ・出歩けないため交通関係の支援があると良い。[要介護認定者]
- ・少し休むとまた歩けるため、花壇よりもベンチがほしい。[要介護認定者]
- ・働けるうちは、働いていたいと思う。社会に何かしら貢献していると思えていることが、健康にいられるために重要なことと考えている。[これから高齢期]

(在宅療養)

- ・自分が寝たきりになった時の地域医療の充実と訪問看護の在り方を考えてもらいたい。[高齢者一般]
- ・安心して在宅医療・在宅介護が受けられるような施策をお願いしたい。[要介護認定者]
- ・高齢者は、家族の支援があり少しでも自立できる場合は、自宅で最後まで生活したいのが本音であると思うし、出来るなら家族もそうしたいし自分の将来もそう思うと思う。ショートステイなどの費用が安価なら、自宅と行き来でき、基本的には自宅に居るという希望もかなえられ、介護する側が余裕を持ち、疲労が軽減できるように思う。親の世話をする世代は、次の世代の世話も重なったり、自分たちのことも重なる時期のため、そのようなシステムができていると家族に平等な愛情がそそげると思う。[要介護認定者]
- ・孫が10代の時から20年近く介護をしている。介護開始時から要介護者の状態が重かったため、正規定時の仕事には就くことができない。赤ちゃんが必ず保健師のアクセスを受けるように、介護が必要な家庭環境に定期的にアクセスし、特に働き盛りの若者が介護をしているような家庭にはどんどんサポートしてほしい。[要介護認定者]
- ・緊急時の受入体制を充実してほしい。[要介護認定者]
- ・酸素など医療も併用できる施設を増やしてほしい。医療ケアが必要な場合、療養型の病院を探すしかない。[特養入所待機者]

- ・高齢者が増加するなか、医療と介護の連携が重要になってくる。あわせて、看護師・介護福祉士の育成、待遇改善も実施してほしい。[施設入所者]

(認知症)

- ・認知症予防に効果のある楽しいサークルを作してほしい。[高齢者一般]
- ・認知症の人を病院に連れていくこと自体が大変で、認定を受けるのに7年かかった。在宅のまま専門家に来てもらえるような制度を望む。認知症のプロの話しかけ方を実際に体験できる場がほしかった。[要介護認定者]
- ・母が認知症で、デイサービス等を利用しながら介護をしている。運悪く徘徊してしまった折には警察も頼りにならず、真夜中まで自分で捜し回った経験がある。地域や区、町などで、認知症の高齢者の把握をして、見守りや声掛けのできる体制を作ってもらえると安心できる。[これから高齢期]

(地域とのつながり)

- ・地域での連携、生活していく上での責任と役割（ごみ置場の清掃などわずかなことであっても）をしつかりと担っていくようなことが大切だと思う。孤独死や老夫婦の心中など悲しい出来事をなくすためにも、日常のふれあいが否応なくあるようなコミュニティであることが必要。そのためには町内会や民生委員の活動をもっとしつかりとし、それがうまくいくように区が補助していくような形がよいのではないか。[高齢者一般]

(情報提供／相談体制)

- ・介護保険を実際に使うとき、スムーズに進められるか不安が大きい。[高齢者一般]
- ・介護保険を受けずに日常を暮らすことができているが、日々、身体への不安が増している。健康面、生活面で身近に相談に応じてくれる場所がほしい。[高齢者一般]
- ・一人暮らしになってみて感じたのは、70歳以上で一人暮らしの人に対して定期的に訪問し、淋しさや不安感、悩みなどを和らげるようにしてほしい。病気がちの人は特に夜が心細いと思うため、見守り対策をお願いしたい。[高齢者一般]
- ・高齢者夫婦や高齢の同居家族のみの世帯ではインターネットやパソコンが使えないため区のホームページなどを開くことができない。唯一の頼りは区報や区の刊行物のため、なるべく大文字にしてもらえると有難い。[要介護認定者]
- ・全て（家の状況、不動産他）を相談できる人がいてほしい。[要介護認定者]
- ・50代では介護が必要になった時というのが近い将来とは思っても切実ではない。自分が介護が必要になった時、まず最初にどこに連絡をすれば良いかもわからない。最初にどこに相談したら良いのかをもっと宣伝（アピール）してほしい。[これから高齢期]
- ・今はまだ就労しているため高齢者という意識がないが、退職後の生活の仕方をレクチャーしていただかないと、これまでずっと仕事をしてきている人間にとって仕事なくなるとそれだけで気力が失くなりそう。制度や使えるサービスも分からないのが現状である。[これから高齢期]

(その他)

- ・今は元気で友人も多いが、10年先にはどうなるか色々と心配。しかし現在は介護等は必要ないため、よく分からないことが多い。[高齢者一般]
- ・ある程度、健康であるため実感がない。しかし勉強しなければと感じた。[高齢者一般]
- ・介護の徴収からみて、実際に世話をしてくれる最前線の給料が安いということが信じられない。現場の第一線のメンバーが手厚くなるようなシステムに力を注いでいただきたい。[要介護認定者]
- ・介護保険を利用しているが、人材の質に問題がある。時給が低いと問題になっているが、その前に利用者の声も聞くべき。[要介護認定者]
- ・有料老人ホームは費用がかかる分、スタッフ数も特養より少しは多く、看護師が24時間いて安心だと思う。雰囲気も良く、満足しているが、常に金銭的な不安がつきまとう。
- ・ヘルパースタッフの人員増加と入居者を敬う気持ちをきちんと持てるような基礎的な力や丁寧さについて教育できる場を作ってもらいたい。[施設入所者]

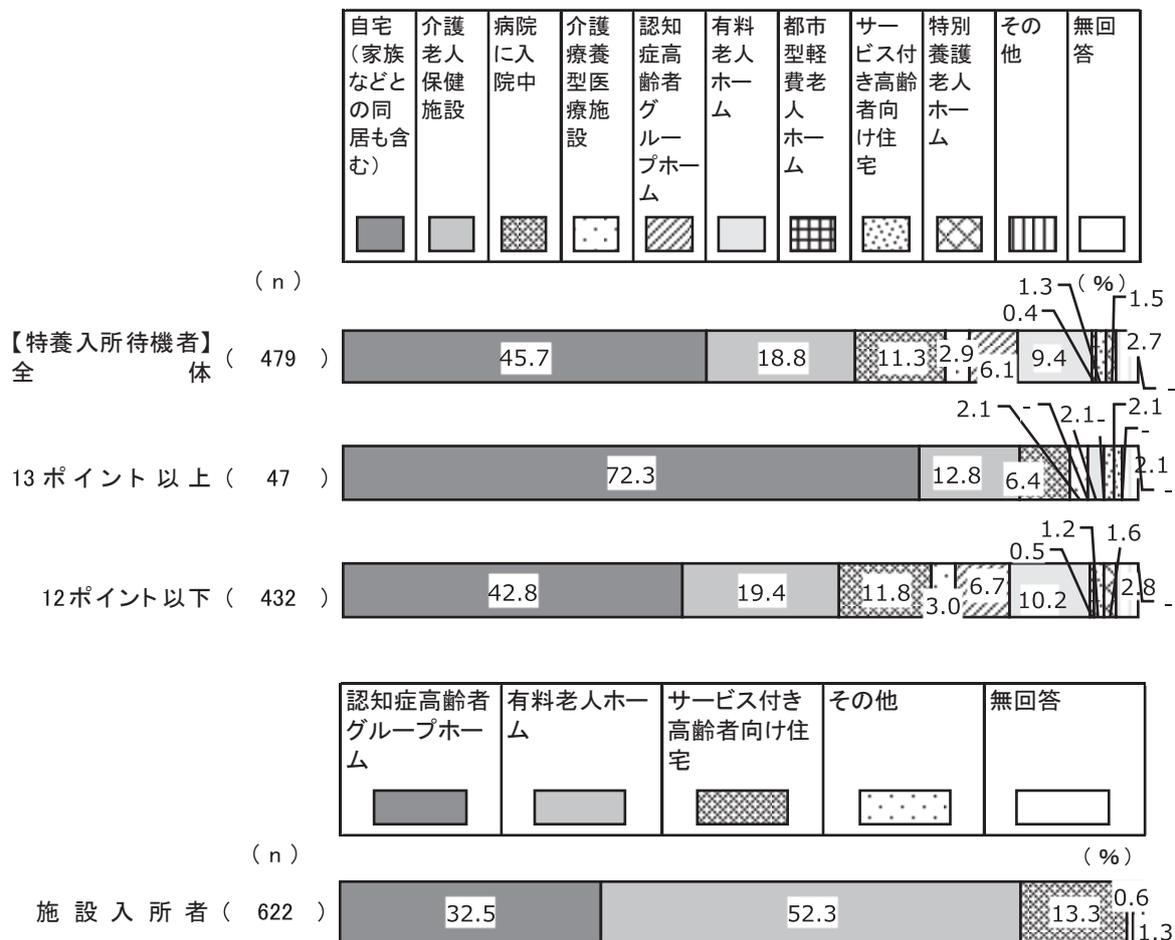
10 特別養護老人ホーム入所申込みの状況

(1) 現在の生活場所

○特養入所待機者では、「自宅（家族などとの同居も含む）」が最も高く 45.7%となっている。

○施設入所者では、「認知症高齢者グループホーム」が 32.5%、「有料老人ホーム」が 52.3%、「サービス付き高齢者向け住宅」が 13.3%となっている。

■現在の生活場所

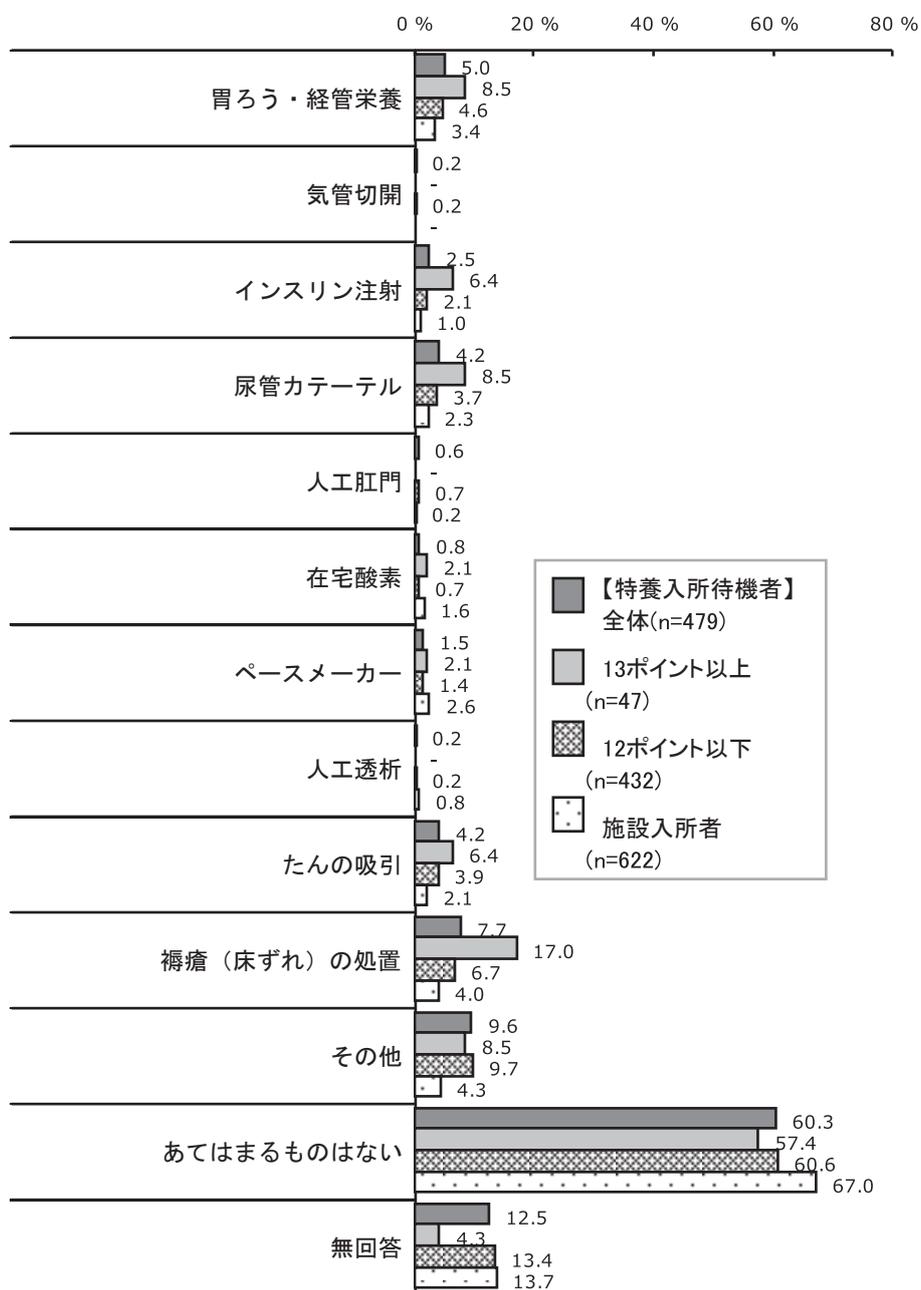


(2) 医療処置の状況

○医療処置の状況で「あてはまるものはない」は、特養入所待機者が約6割、施設入所者が7割近くとなっている。

○医療処置が必要な場合は、「褥瘡(床ずれ)の処置」(特養入所待機者7.7%、施設入所者4.0%)、「胃ろう・経管栄養」(特養入所待機者5.0%、施設入所者3.4%)が挙げられている。

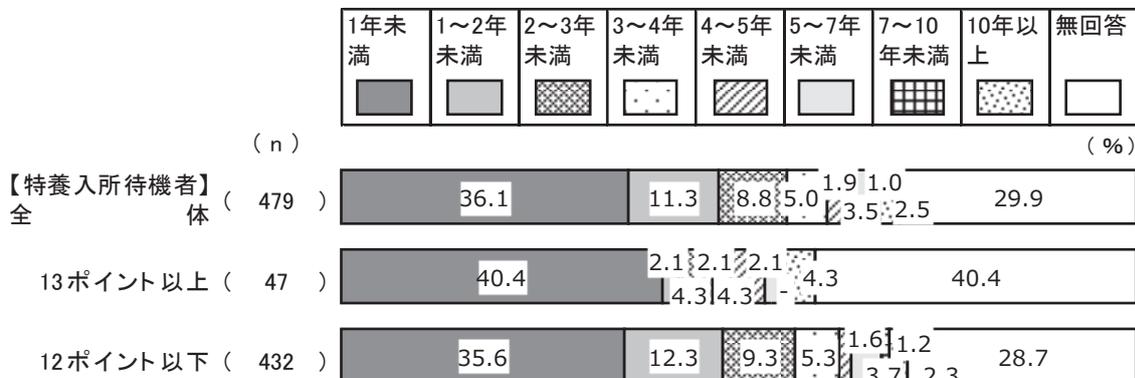
■医療処置の状況(複数回答)



(3) 最初に特別養護老人ホームの入所を申し込んだ時期からの待機年数

○最初に特別養護老人ホームの入所を申し込んだ時期からの待機年数は、「1年未満」が最も高く36.1%、「1～2年未満」(11.3%)、「2～3年未満」(8.8%)と回答した人も含めると、「3年未満」が5割半ばとなっている。

■最初に特別養護老人ホームの入所を申し込んだ時期からの待機年数



※ 起算点は平成28年12月

【経年比較】

○平成25年度調査結果と比較すると、平成28年度は「1年未満」が3割半ばとなっている。

■最初に特別養護老人ホームの入所を申し込んだ時期からの待機年数<特養入所待機者：経年比較>

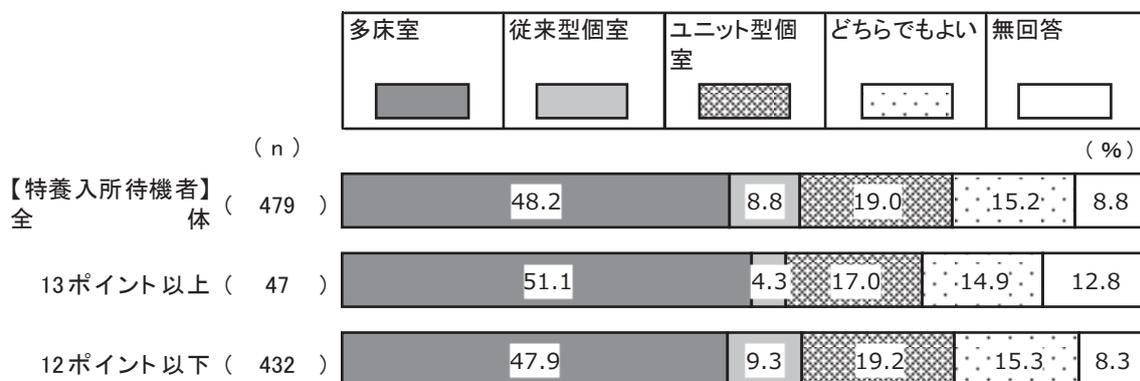
	n	満1年未満	年1未 ₂ 満	年2未 ₃ 満	年3未 ₄ 満	年4未 ₅ 満	年5未 ₇ 満	未17年	以10年	無回答
平成28年度	479	36.1	11.3	8.8	5.0	1.9	3.5	1.0	2.5	29.9
平成25年度	1,352	15.4	12.6	8.8	5.0	3.4	5.0	3.0	3.8	43.0

(4) 入所したい特別養護老人ホームのタイプ

① 入所したい特別養護老人ホームのタイプ

○「多床室」が最も高く48.2%、次いで「ユニット型個室」が19.0%となっている。

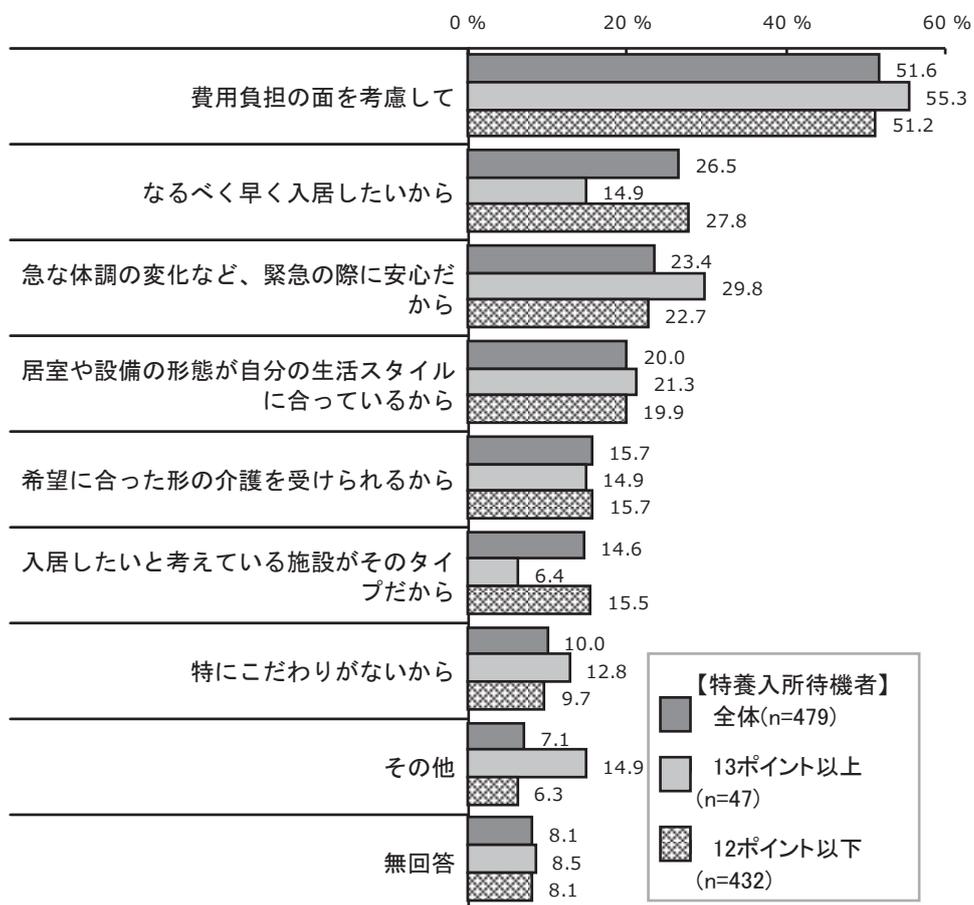
■入所したい特別養護老人ホームのタイプ



② 入所したい特別養護老人ホームのタイプの理由

○「費用負担の面を考慮して」が最も高く 51.6%、次いで「なるべく早く入居したいから」(26.5%)、「急な体調の変化など、緊急の際に安心だから」(23.4%)、「居室や設備の形態が自分の生活スタイルに合っているから」(20.0%)と続いている。

■入所したい特別養護老人ホームのタイプの理由（複数回答）

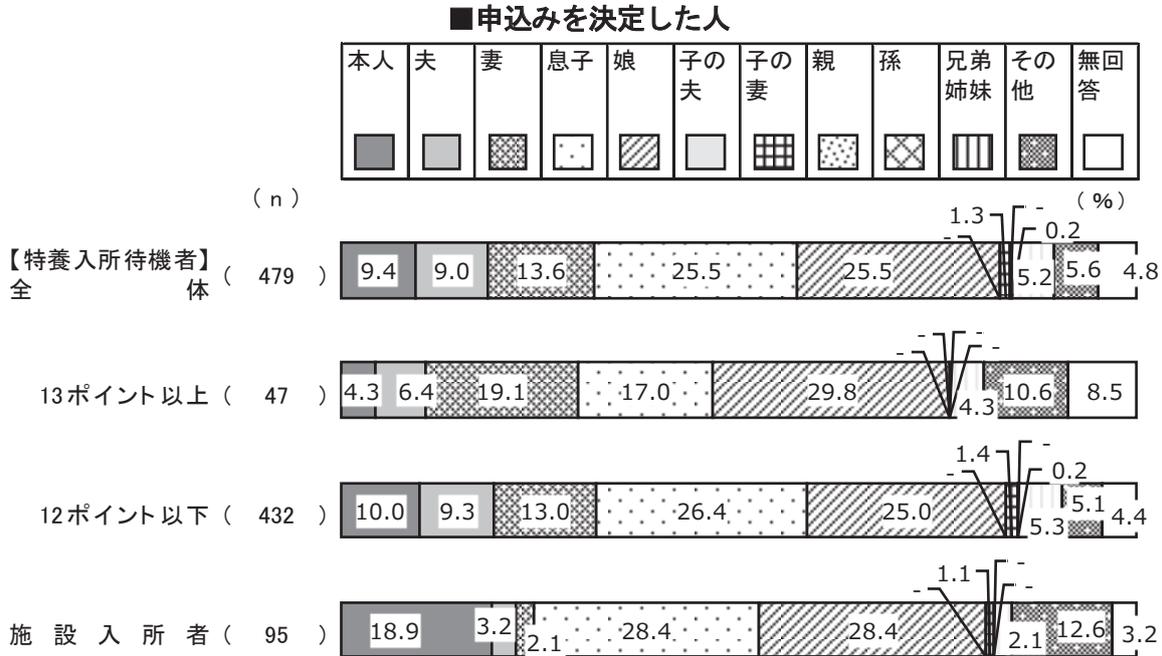


(5) 特別養護老人ホームの申込み状況

① 申込みを決定した人

○いずれの調査においても、「息子」「娘」が最も高く、両者を合わせた“子ども”が半数以上となっている。

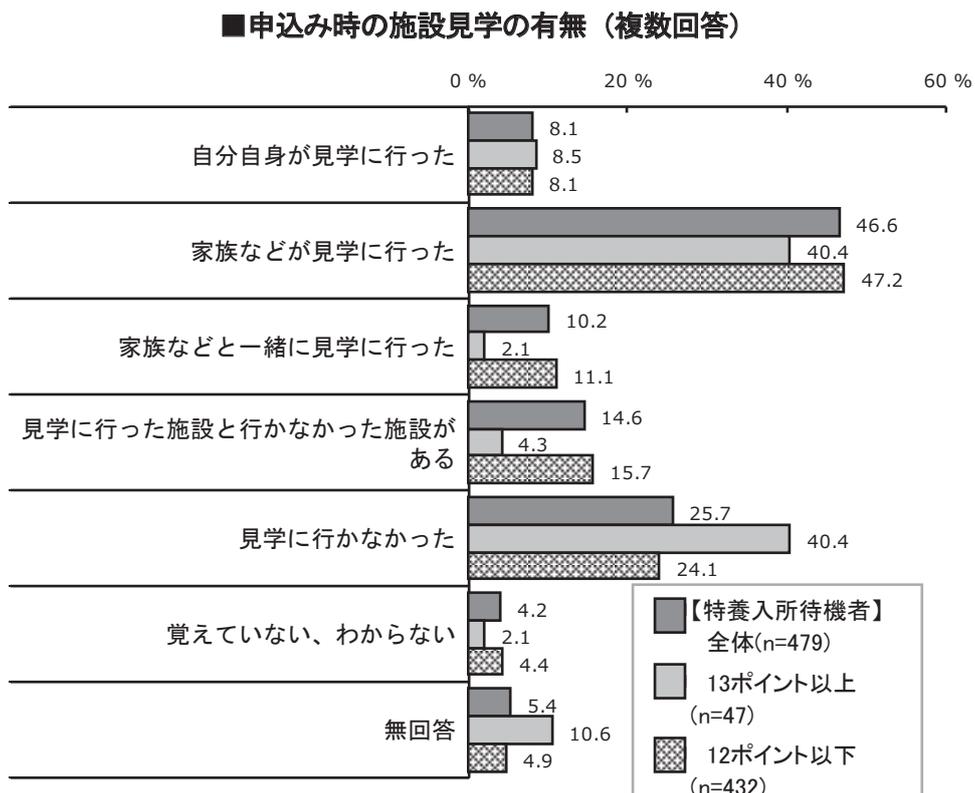
○「本人」は、特養入所待機者で1割未満、施設入所者で2割近くとなっている。



※ 施設入所者は特別養護老人ホームに入所申込みの経験のある方を対象とした

② 申込み時の施設見学の有無

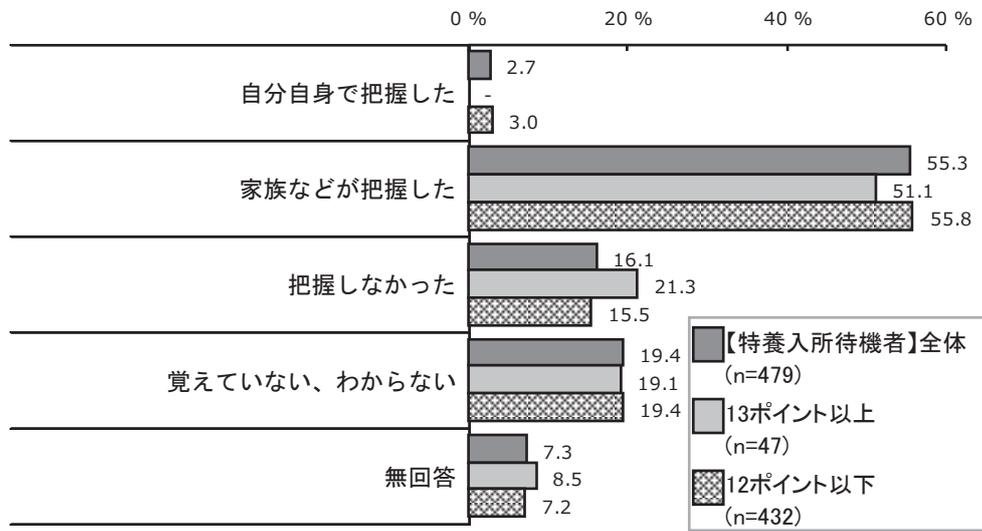
○「家族などが見学に行った」が最も高く46.6%、次いで「見学に行かなかった」が25.7%で続いている。



③ 「練馬区特別養護老人ホーム入所基準」の把握有無

- 「家族などが把握した」が最も高く55.3%となっている。
- 「把握しなかった」は1割半ばとなっている。

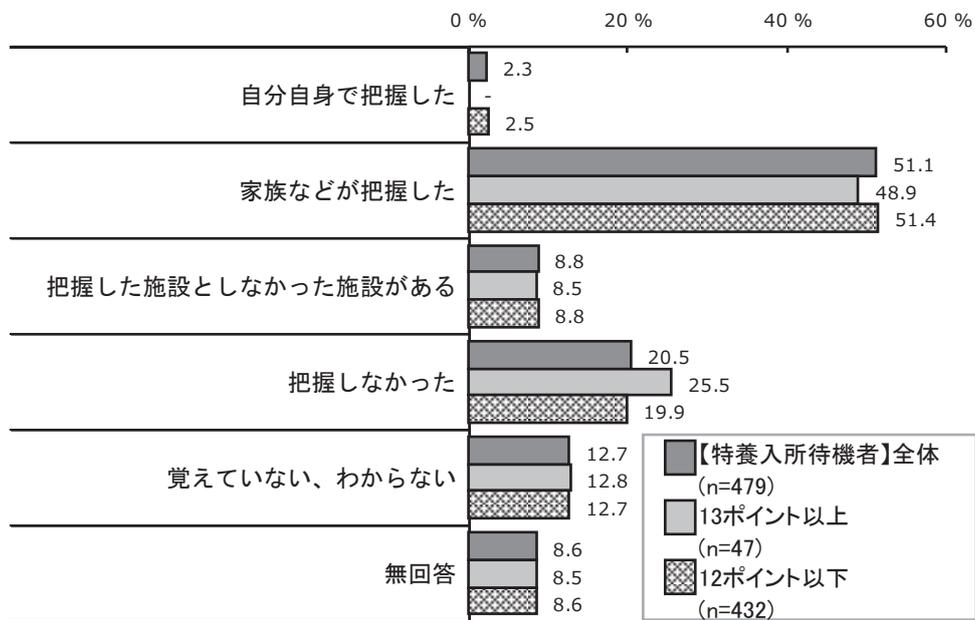
■ 「練馬区特別養護老人ホーム入所基準」の把握有無（複数回答）



④ 医療行為への対応状況の把握有無

- 「家族などが把握した」が最も高く51.1%となっている。
- 「把握しなかった」は約2割となっている。

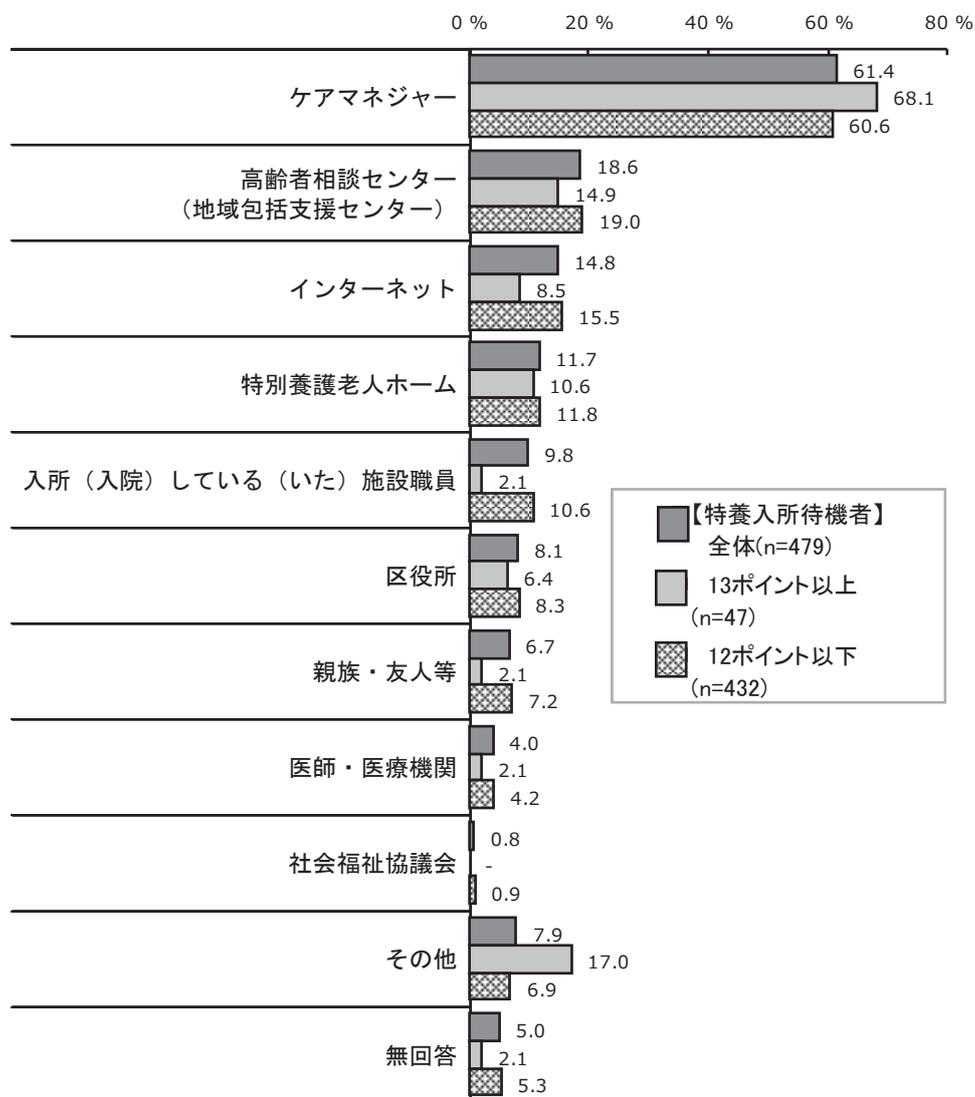
■ 医療行為への対応状況の把握有無（複数回答）



⑤ 入所申し込みをした特別養護老人ホームの情報の入手経路

○「ケアマネジャー」が最も高く61.4%、次いで「高齢者相談センター（地域包括支援センター）」が18.6%、「インターネット」が14.8%が続いている。

■入所申し込みをした特別養護老人ホームの情報の入手経路（複数回答）

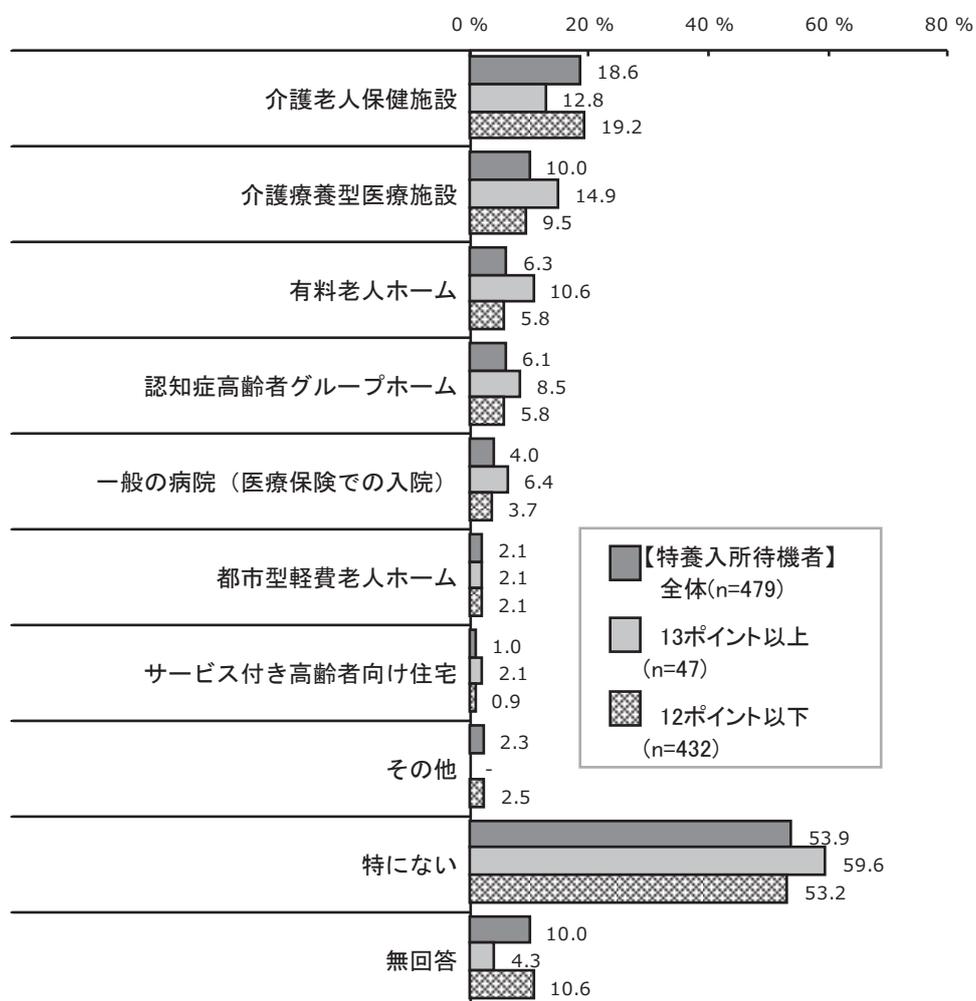


(6) 特別養護老人ホーム以外の入所申込みの状況

① 特別養護老人ホーム以外の入所申込みの状況

○「特にない」が5割を超えている。申込み先としては、「介護老人保健施設」が最も高く18.6%、次いで、介護療養型医療施設(10.0%)と続いている。

■特別養護老人ホーム以外の入所申込みの状況(複数回答)

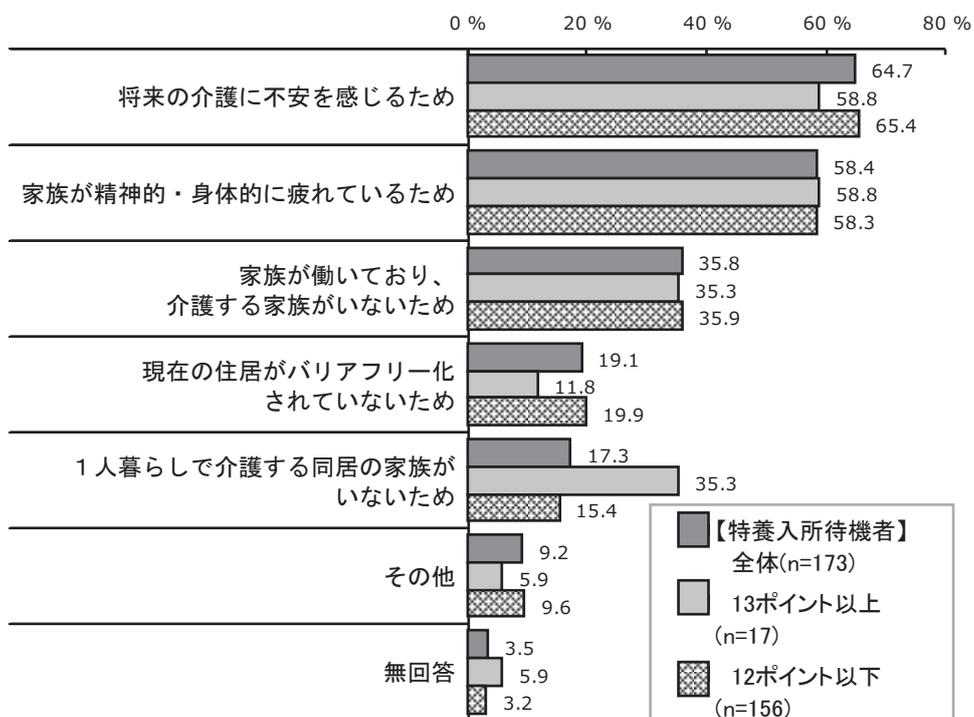


② 特別養護老人ホーム以外の施設等を利用したい理由と特別養護老人ホーム以外に申込みをしていない理由

ア. 特別養護老人ホーム以外の施設等を利用したい理由

○特別養護老人ホーム以外の入所申込みの状況で“特別養護老人ホーム以外に申込みをしている施設がある”と回答した人の特別養護老人ホーム以外の施設を利用したい理由は、「将来の介護に不安を感じるため」が最も高く 64.7%、次いで「家族が精神的・身体的に疲れているため」が 58.4%で続いている。

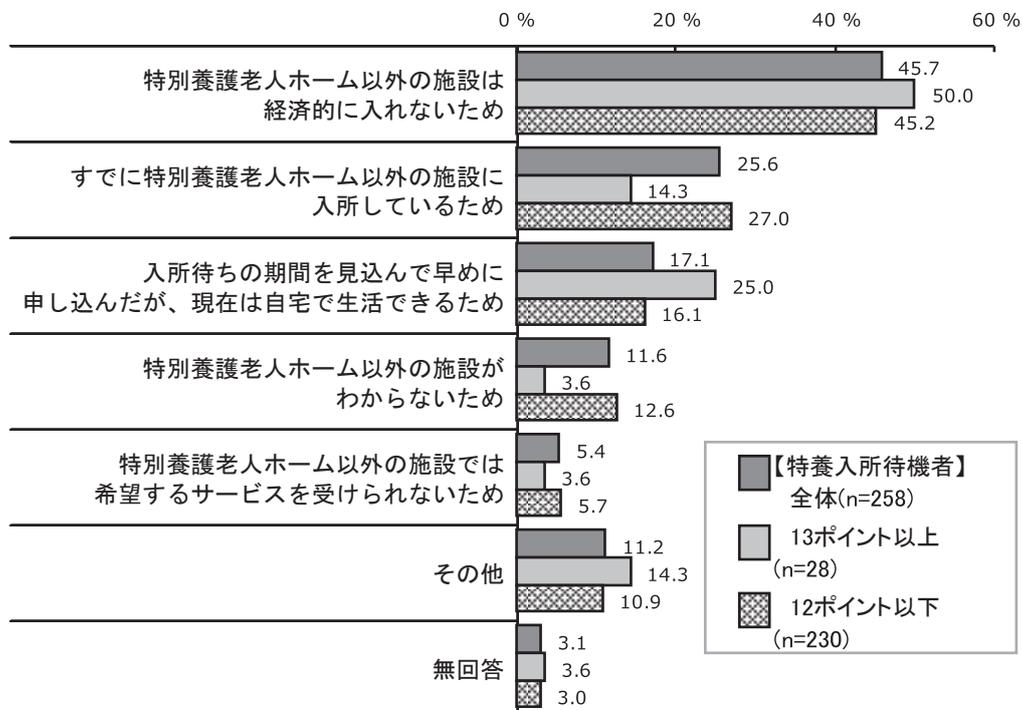
■特別養護老人ホーム以外の施設等を利用したい理由（複数回答）



イ. 特別養護老人ホーム以外に申込みをしていない理由

○特別養護老人ホーム以外の入所申込みの状況で「特にない」と回答した人の特別養護老人ホーム以外に申込みをしていない理由は、「特別養護老人ホーム以外の施設は経済的に入れないため」が最も高く 45.7%、次いで「すでに特別養護老人ホーム以外の施設に入所しているため」が 25.6%で続いている。

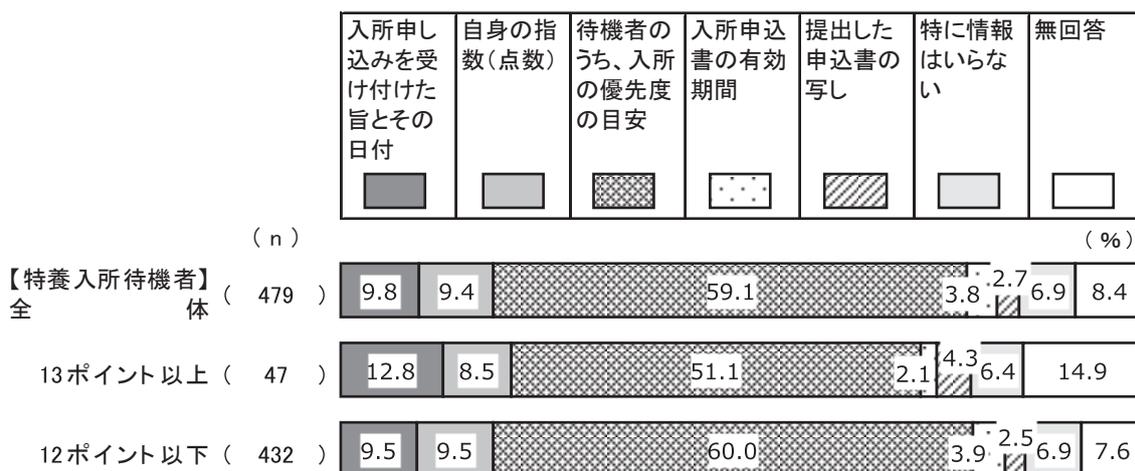
■特別養護老人ホーム以外に申込みをしていない理由（複数回答）



(7) 入所申し込み後に欲しい情報（連絡）

○「待機者のうち、入所の優先度の目安」が最も高く 59.1%となっている。

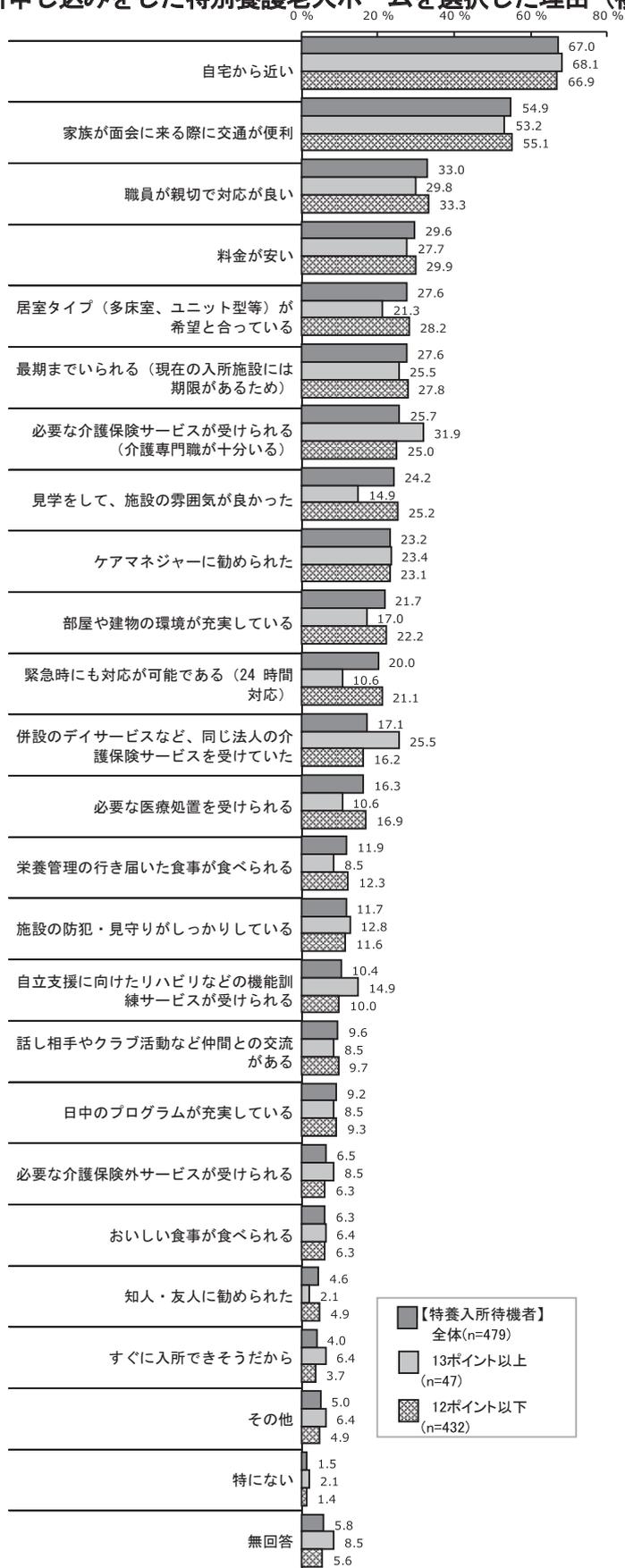
■入所申し込み後に欲しい情報（連絡）



(8) 入所申し込みをした特別養護老人ホームを選択した理由

○「自宅から近い」が最も高く67.0%、次いで「家族が面会に来る際に交通が便利」が54.9%、「職員が親切で対応が良い」が33.0%で続いている。

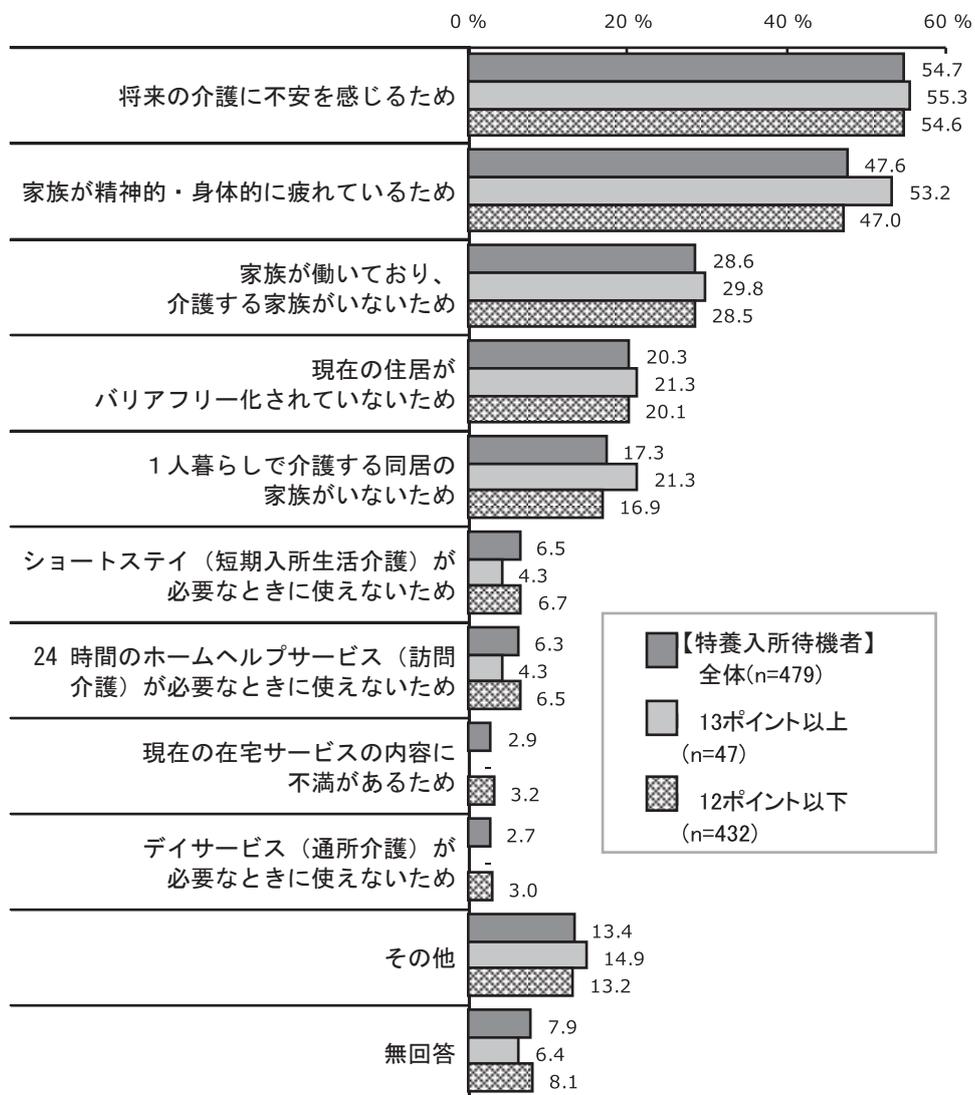
■入所申し込みをした特別養護老人ホームを選択した理由（複数回答）



(9) 特別養護老人ホームを申し込んだ理由

○「将来の介護に不安を感じるため」が最も高く 54.7%、次いで「家族が精神的・身体的に疲れているため」が 47.6%、「家族が働いており、介護する家族がいないため」が 28.6%と続いている。

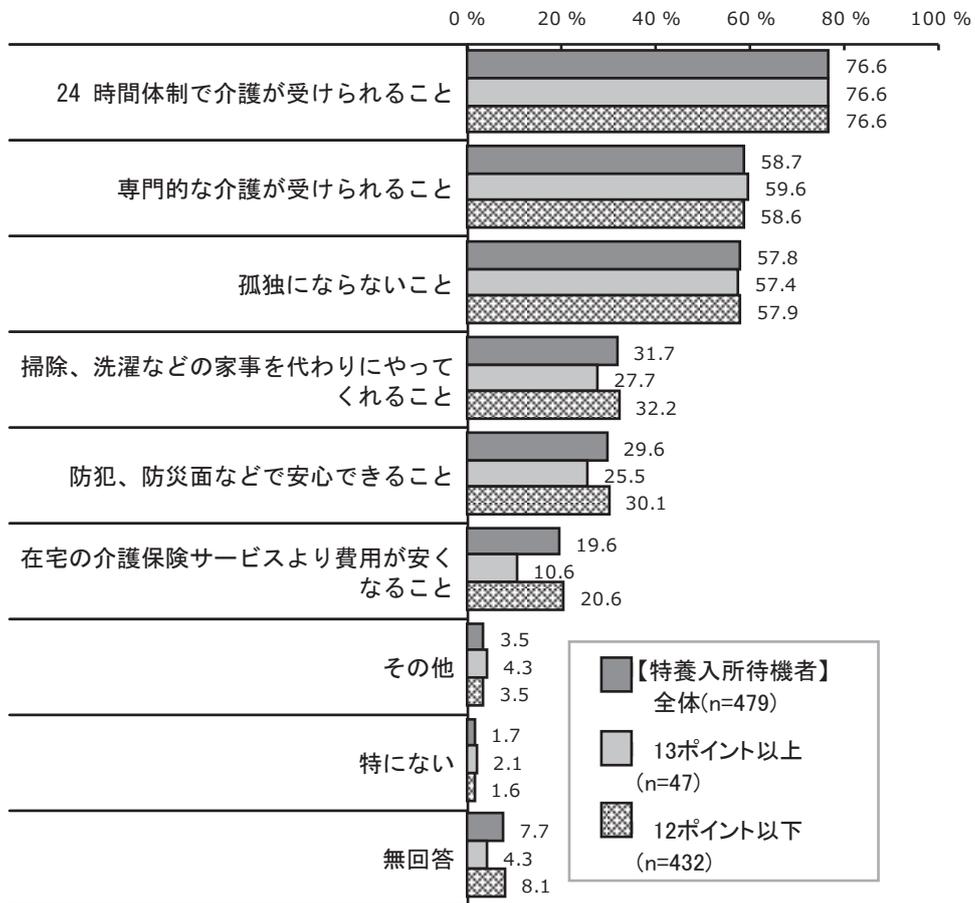
■特別養護老人ホームを申し込んだ理由（複数回答）



(10) 特別養護老人ホームに期待すること

○「24 時間体制で介護が受けられること」が最も高く 76.6%、次いで「専門的な介護が受けられること」が 58.7%、「孤独にならないこと」が 57.8%と続いている。

■特別養護老人ホームに期待すること（複数回答）

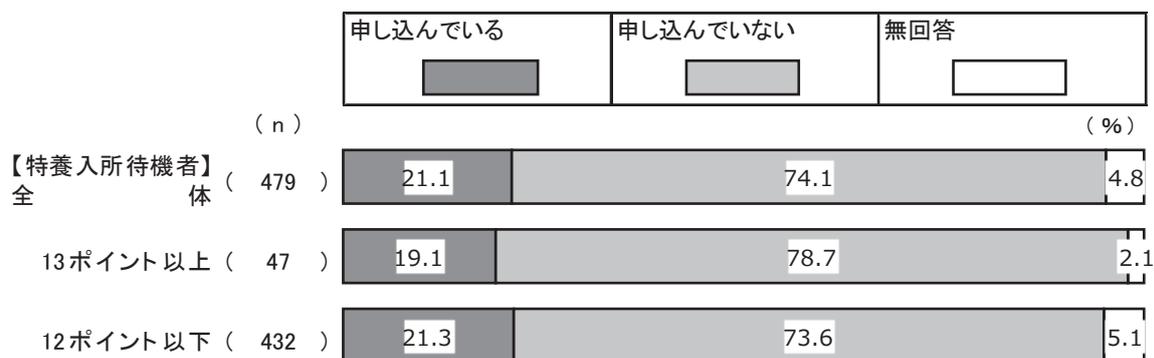


(11) 区外の特別養護老人ホーム入所申込み状況

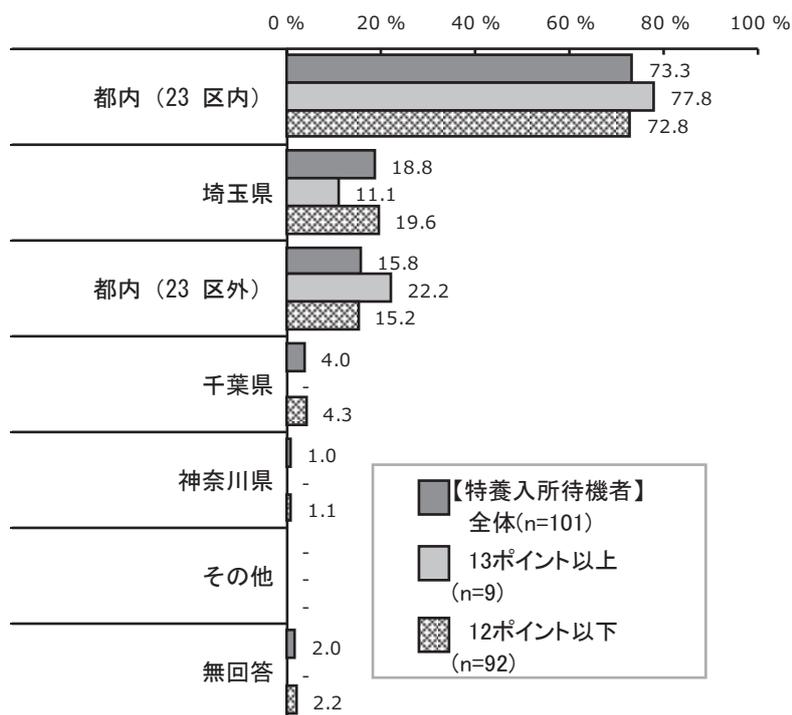
① 区外特養の入所申込みの状況

- 区外の特別養護老人ホームに入所を「申し込んでいる」人は 21.1%、「申し込んでいない」人は 74.1%となっている。
- 区外の特別養護老人ホームに入所を「申し込んでいる」と回答した人の入所を申し込んでいる特別養護老人ホームの場所は、「都内（23区内）」が最も高く 73.3%、次いで「埼玉県」が 18.8%、「都内（23区外）」が 15.8%と続いている。

■区外の特別養護老人ホーム入所申込みの状況



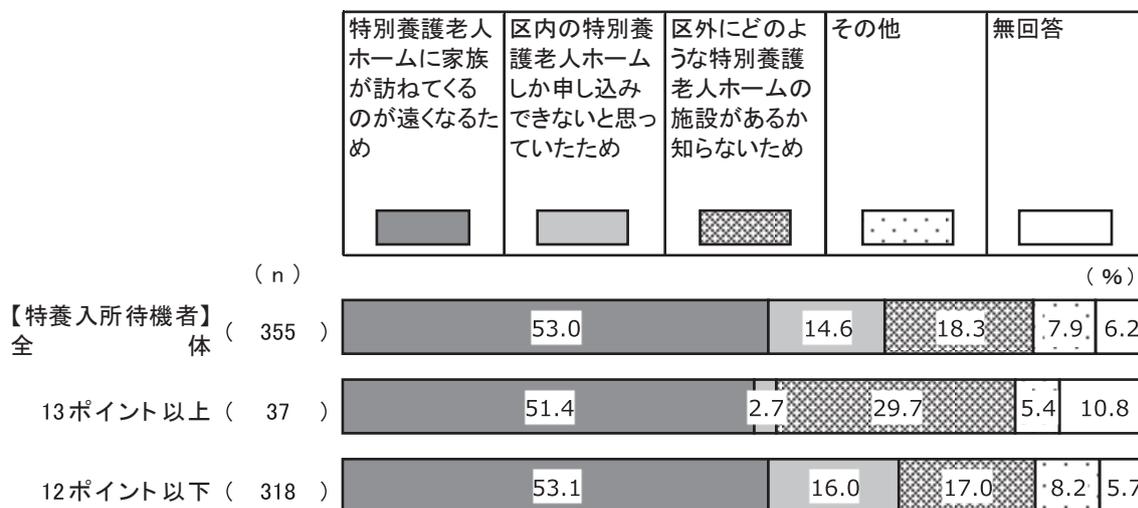
■申し込んでいる特別養護老人ホームの場所（複数回答）



② 区外特養に申し込まない理由

○区外の特別養護老人ホームに入所を「申し込んでいない」と回答した人の申し込まない理由は、「特別養護老人ホームに家族が訪ねてくるのが遠くなるため」が最も高く 53.0%となっている。「区外にどのような特別養護老人ホームの施設があるか知らないため」は 18.3%となっている。

■区外の特別養護老人ホームに申し込まない理由



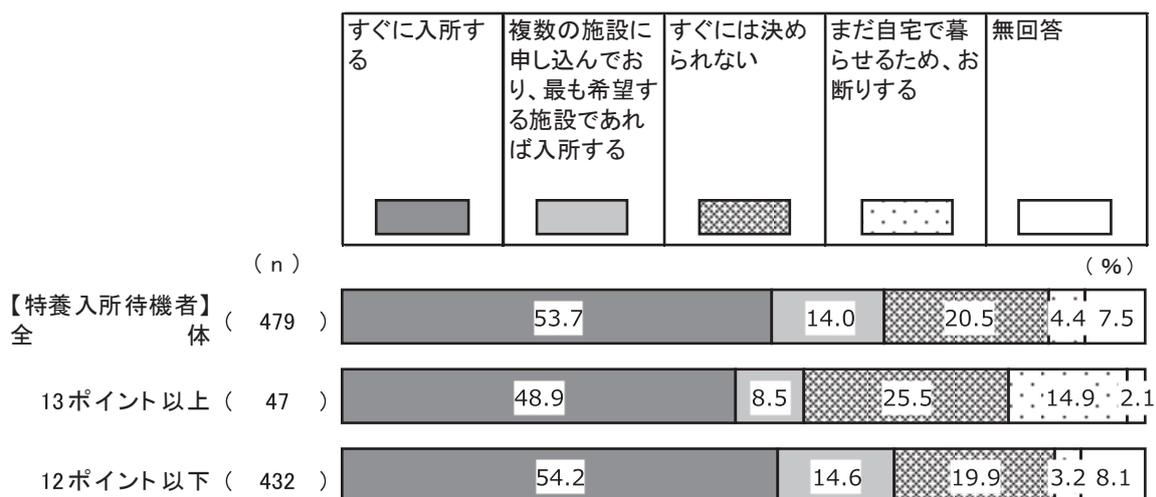
(12) 申し込んでいる特別養護老人ホームから連絡がきた場合の対応

① 連絡がきた場合の対応

○申し込んでいる特別養護老人ホームから「入所できます」と連絡がきた場合の対応は、「すぐに入所する」が 53.7%で最も高く、「複数の施設に申し込んでおり、最も希望する施設であれば入所する」(14.0%)とあわせ、入所に積極的な人が7割近くとなっている。

○「すぐには決められない」と「まだ自宅で暮らせるため、お断りする」を合わせた“すぐに入所しない”は2割半ばとなっている。

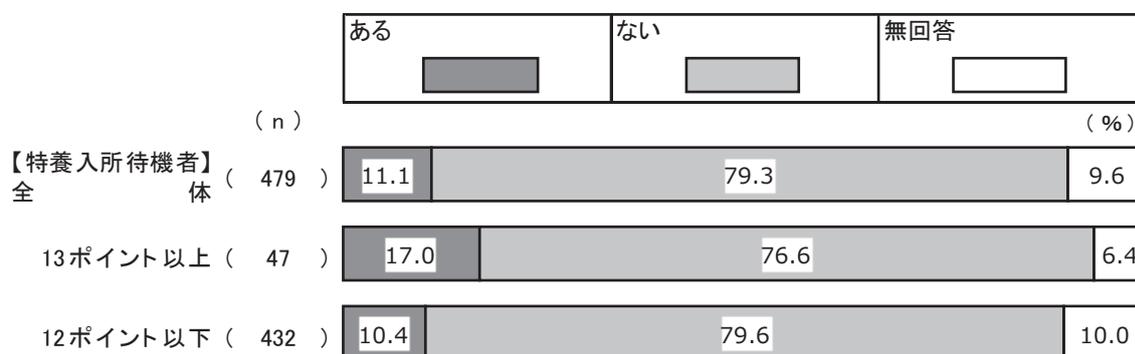
■連絡がきた場合の対応



② 入所案内の連絡を辞退した経験

○申し込んでいる特別養護老人ホームから「入所できます」と連絡があった際に断った経験が「ある」は11.1%、「ない」は79.3%となっている。

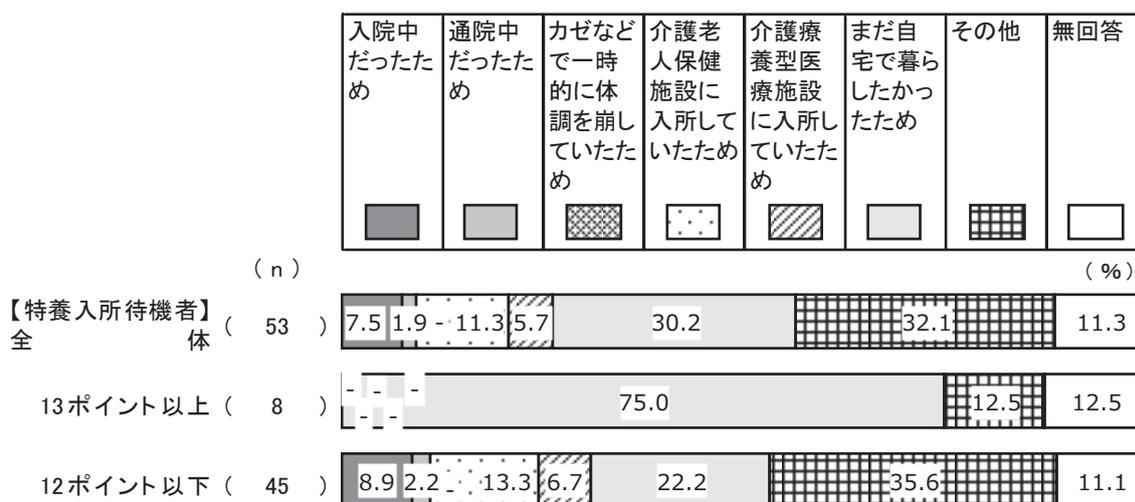
■入所案内の連絡を辞退した経験



③ 辞退した理由

○“入所辞退の経験がある”と回答した人の辞退した理由は、「まだ自宅で暮らしたかったため」が最も高く、30.2%となっている（ただし、サンプル数が少ないため参考値とする）。

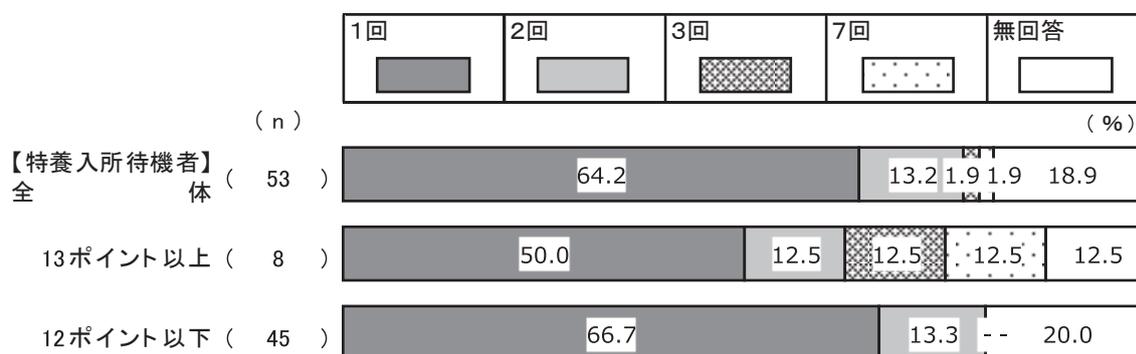
■辞退した理由



④ 辞退した回数

○“入所辞退の経験がある”と回答した人の入所辞退の回数は、「1回」が64.2%、「2回」が13.2%となっている（ただし、サンプル数が少ないため参考値とする）。

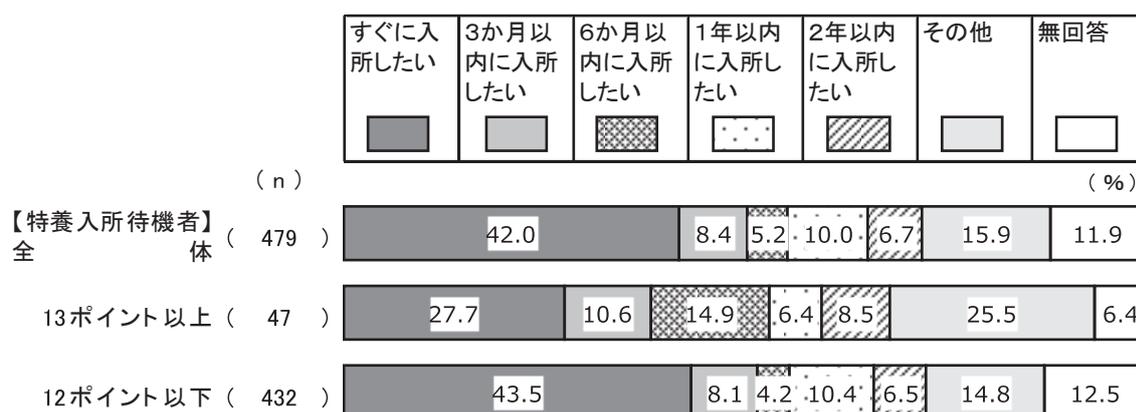
■辞退した回数



⑤ 入所の希望時期

○入所の希望時期は「すぐに入所したい」が最も高く42.0%となっている。

■入所の希望時期

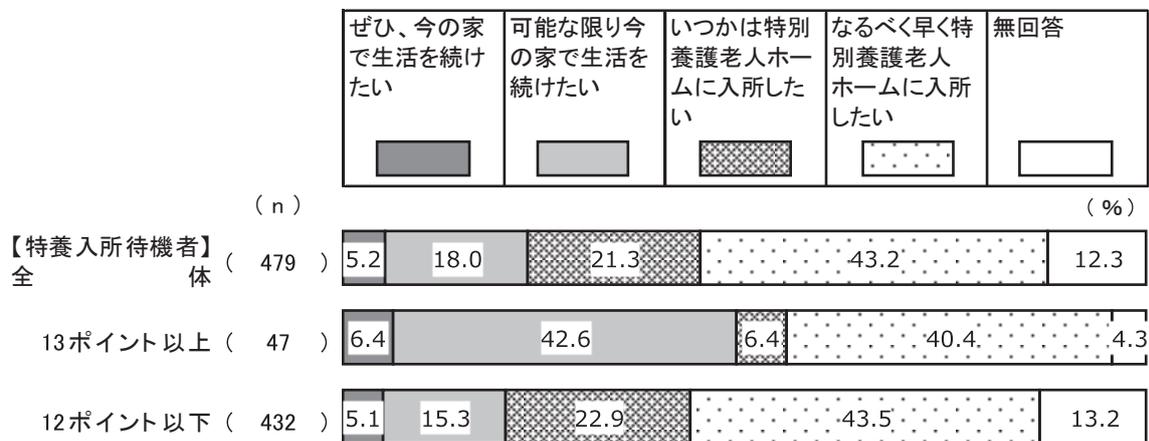


(13) サービス等の充実による在宅生活の継続希望

① 在宅生活の継続希望

○「ぜひ、今の家で生活を続けたい」と「可能な限り今の家で生活を続けたい」「いつかは特別養護老人ホームに入所したい」を合わせた“当分は在宅生活を継続する”は4割半ばで、「なるべく早く特別養護老人ホームに入所したい」と同程度となっている。

■在宅生活の継続希望



【参考：経年比較】

○「ぜひ、今の家で生活を続けたい」と「可能な限り今の家で生活を続けたい」を合わせると、平成25年度は20.6%であるのに対し、平成28年度は23.2%となっている。

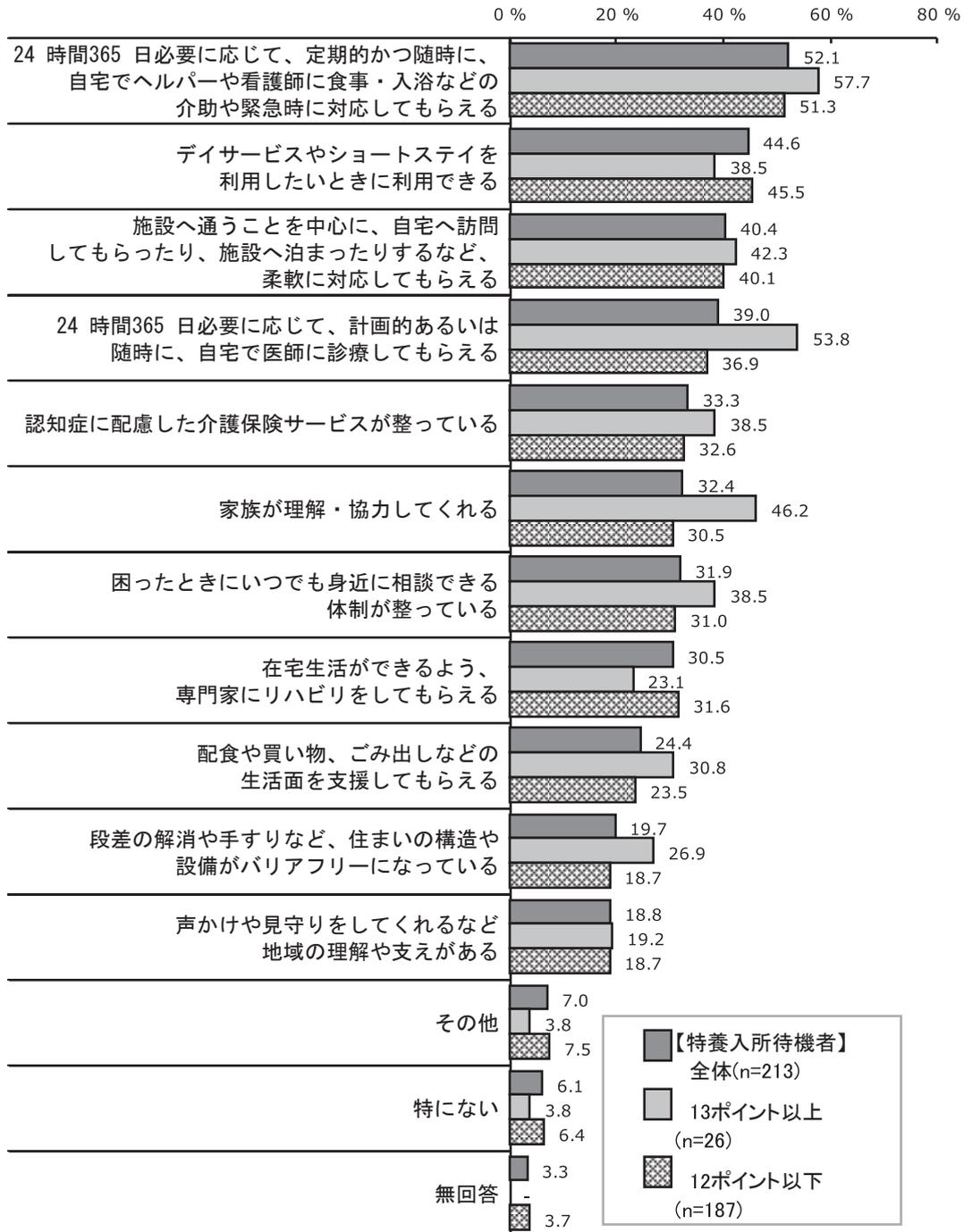
■在宅生活の継続希望<特養入所待機者：経年比較>

	n	を ぜ ひ 、 今 の 家 で 生 活 を 続 け 、 今 の 家 で 生 活 を 続 け たい	生 可 能 な 限 り 今 の 家 で 生 活 を 続 け たい	い つ か は 特 別 養 護 老 人 ホ ム に 入 所 し たい	な る べ く 早 く 特 別 養 護 老 人 ホ ム に 入 所 し たい	無 回 答	
平成28年度	479	5.2	18.0	21.3	43.2	12.3	
平成25年度	1,352	3.8	16.9	24.6	6.4	28.3	20.0

② 在宅生活を継続できる在宅サービス

- “当分は在宅生活を継続する”と回答した人の在宅生活を可能にすると思うサービスは、「24時間365日必要に応じて、定期的かつ随時に、自宅でヘルパーや看護師に食事・入浴などの介助や緊急時に対応してもらえる」が最も高く52.1%、次いで、「デイサービスやショートステイを利用したいときに利用できる」(44.6%)、「施設へ通うことを中心に、自宅へ訪問してもらったり、施設へ泊まったりするなど、柔軟に対応してもらえる」(40.4%)と続いている。

■在宅生活を継続できる在宅サービス（複数回答）

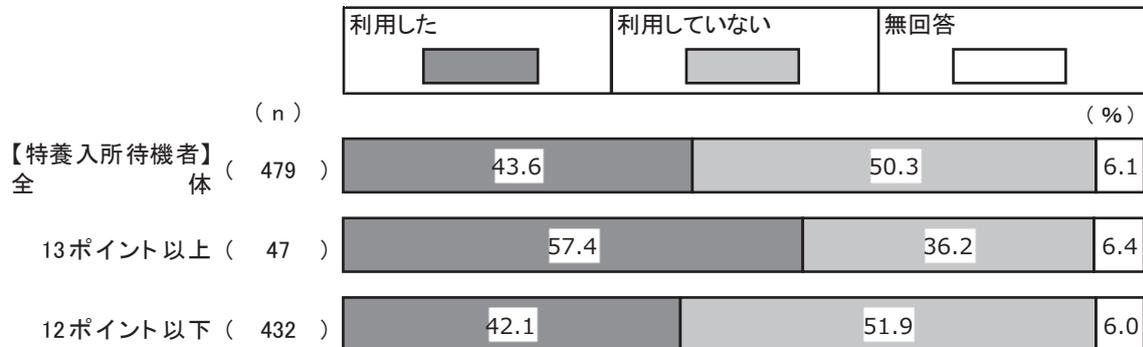


(14) ショートステイの利用状況

① 過去1年間のショートステイの利用状況

○平成27年12月～平成28年11月の過去1年間にショートステイを「利用した」が43.6%、「利用していない」が50.3%となっている。

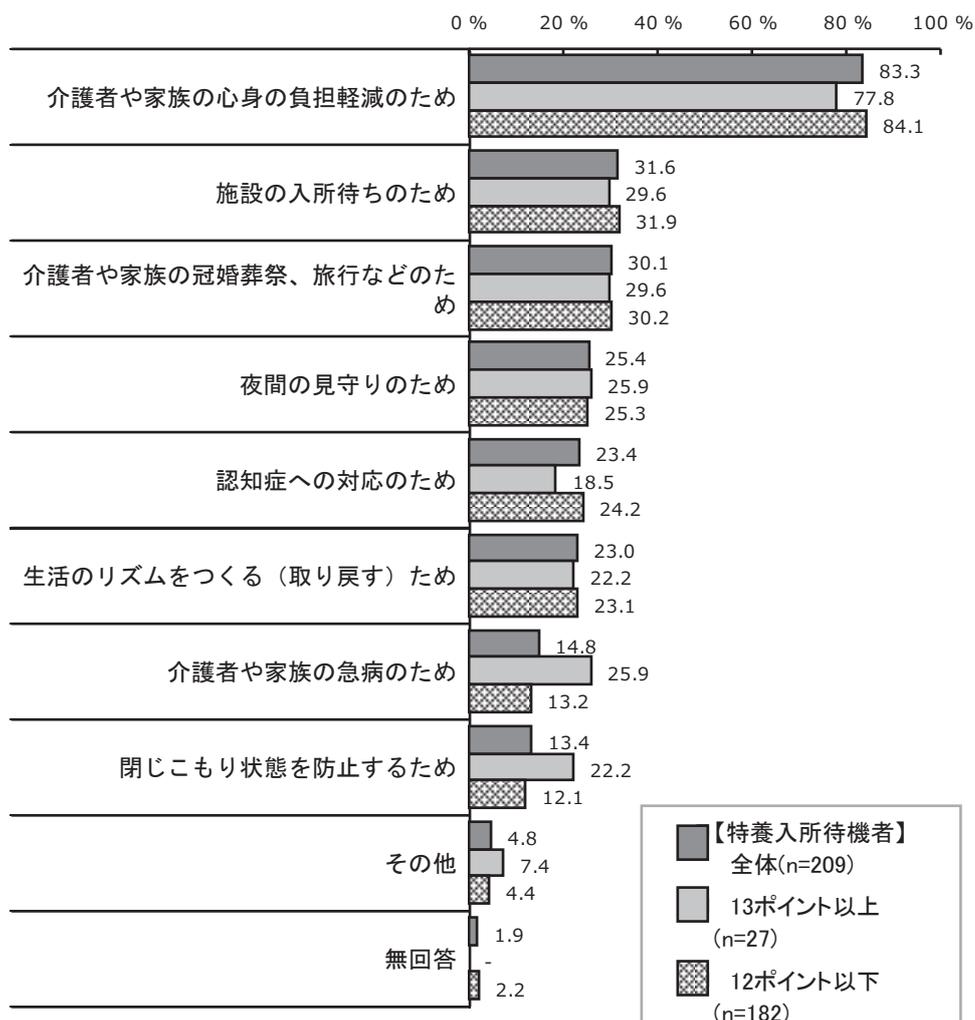
■過去1年間のショートステイの利用状況



② ショートステイの利用目的

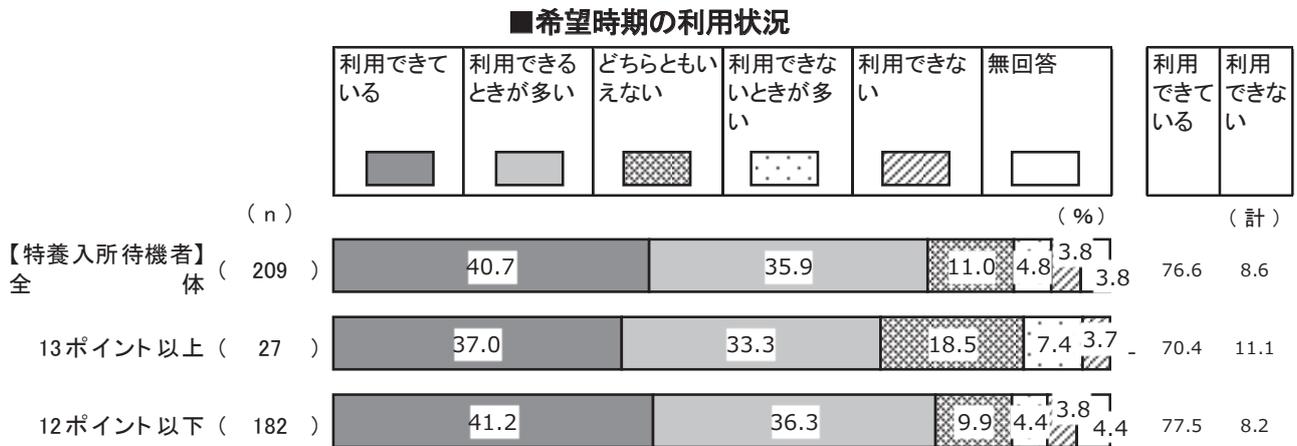
○“過去1年間にショートステイを利用した”と回答した人の利用目的は、「介護者や家族の心身の負担軽減のため」が最も高く83.3%となっている。

■利用目的（複数回答）



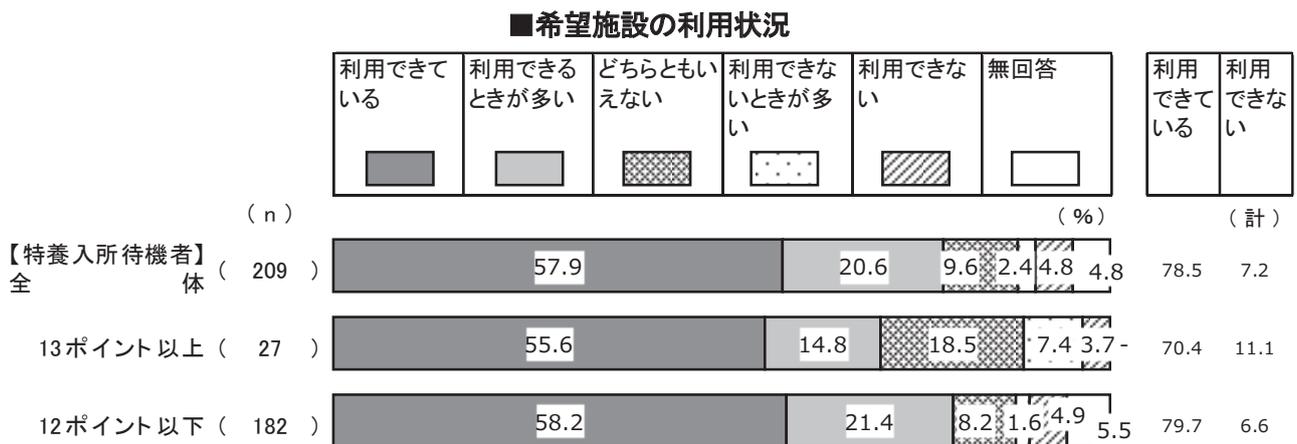
③ 希望している時期の利用状況

○ “過去1年間にショートステイを利用した”と回答した人の希望している時期の利用状況は、“利用できる”（「利用できる」と「利用できることが多い」の合計）が76.6%と、“利用できない”（「利用できない」と「利用できないことが多い」の合計）を大きく上回っている。



④ 希望施設の利用状況

○ “過去1年間にショートステイを利用した”と回答した人の希望施設の利用状況は、“利用できる”（「利用できる」と「利用できることが多い」の合計）が78.5%と、“利用できない”（「利用できない」と「利用できないことが多い」の合計）を大きく上回っている。



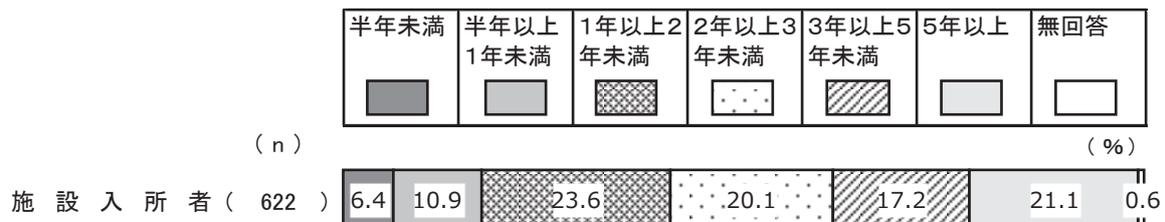
11 入所施設の状況

(1) 入所期間

○現在の入所期間は、「半年未満」が6.4%、「半年以上1年未満」が10.9%、「1年以上2年未満」が23.6%、「2年以上3年未満」が20.1%、「3年以上5年未満」が17.2%、「5年以上」が21.1%となっている。

○“3年以上”が4割近くとなっている。

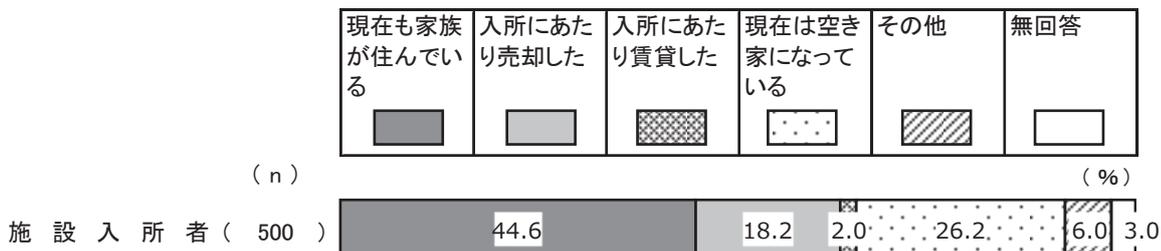
■入所期間



(2) 入所前の住居の状況

○入所前の住居が「自分または家族などの持ち家」だった人の現在の住居の状況は、「現在も家族が住んでいる」が最も高く44.6%、「現在は空き家になっている」が26.2%と続いている。

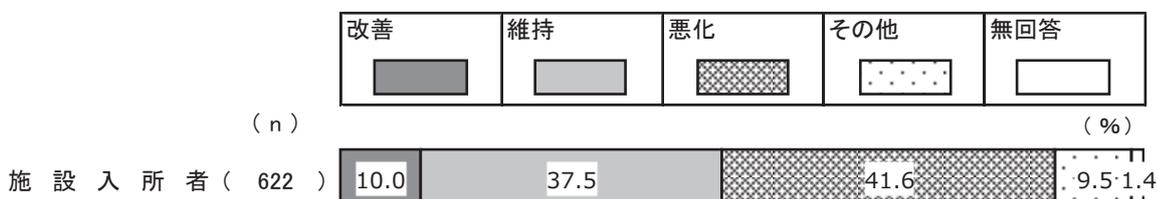
■入所前の住居の状況



(3) 施設への入所前後での要介護度の変化

○施設への入所前後での要介護度の変化をみると、「改善」が10.0%、「維持」が37.5%、「悪化」が41.6%となっている。

■施設入所前後の要介護度の変化

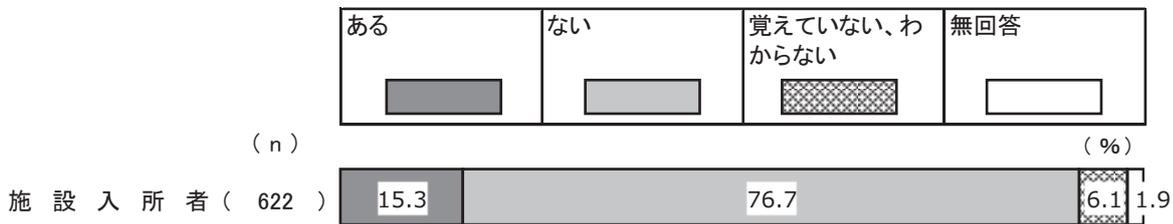


(4) 施設入所者の特別養護老人ホームへの申込み状況

① 申込み経験の有無

○特別養護老人ホームへの入所申込みの経験が「ある」は15.3%、「ない」が76.7%となっている。

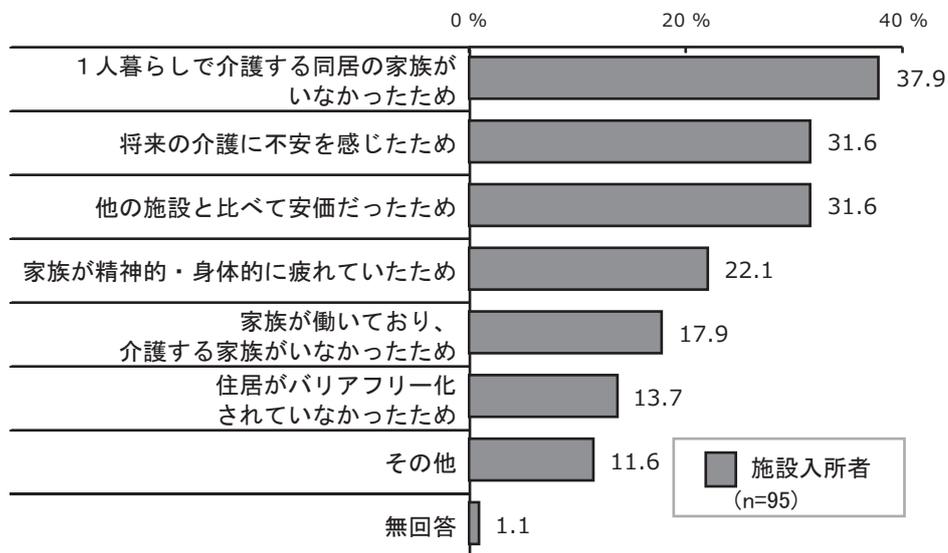
■申込み経験の有無



② 申込んだ理由

○特別養護老人ホームへの入所申込みの経験があると回答した人のその理由は、「1人暮らしで介護する同居の家族がいなかったため」が最も高く37.9%となっている。

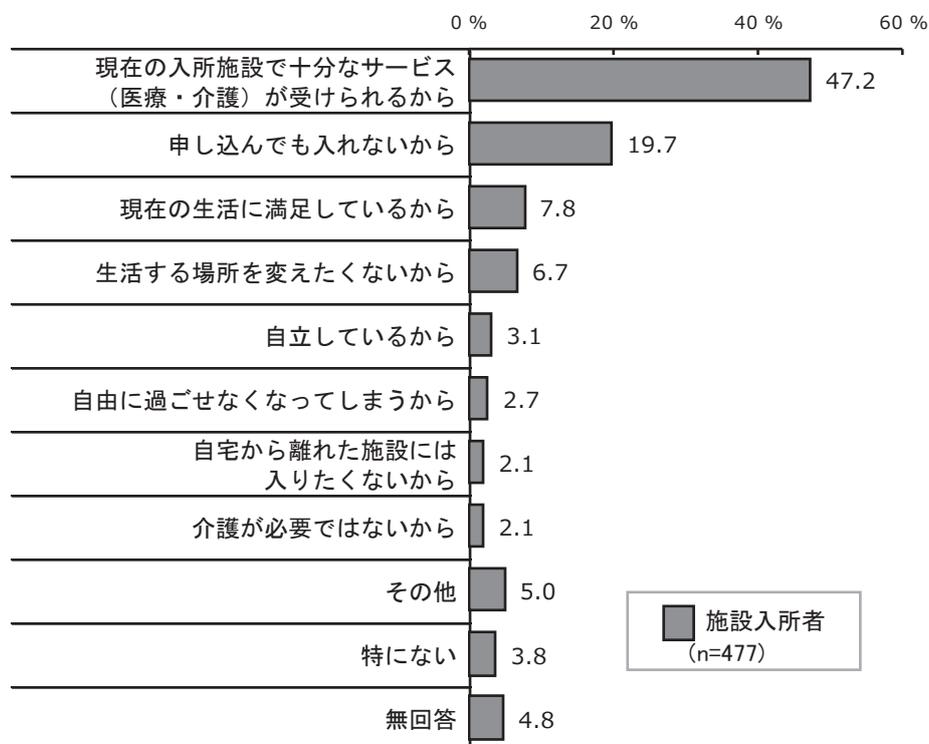
■申込んだ理由（複数回答）



③ 申し込んでいない理由

○特別養護老人ホームへの入所申込みの経験が「ない」と回答した人の理由は、「現在の入所施設で十分なサービス（医療・介護）が受けられるから」が最も高く 47.2%、次いで「申し込んでも入れないから」が 19.7%と続いている。

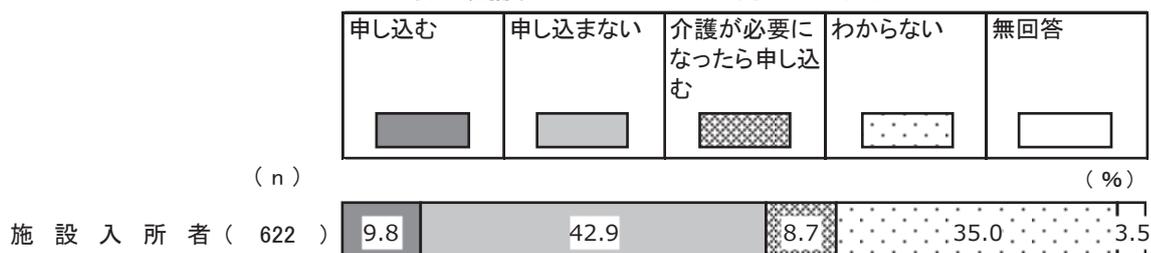
■特別養護老人ホームに入所を申し込んでいない理由（複数回答）



④ 特別養護老人ホームへの今後の入所意向

○「申し込む」が 9.8%、「申し込まない」が 42.9%となっている。一方で、「わからない」は 35.0%となっている。

■特別養護老人ホームへの今後の入所意向

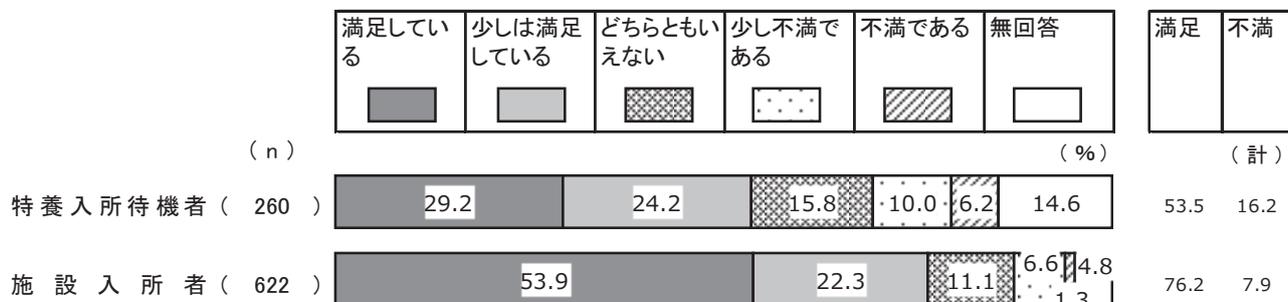


(5) 入所施設の状況

① 入所施設の満足度

○ “満足”（「満足している」と「少しは満足している」の合計）は、特養入所待機者で53.5%、施設入所者で76.2%と、“不満”（「不満である」と「少し不満である」の合計）を大きく上回っている。

■入所施設の満足度



※ 特養入所待機者は、現在の生活場所が自宅以外の方を対象に聞いた

【特養入所待機者】

○現在の生活場所をみると、いずれの施設でも“満足”が“不満”を上回っている。

■入所施設の満足度<特養入所待機者：現在の生活場所別>

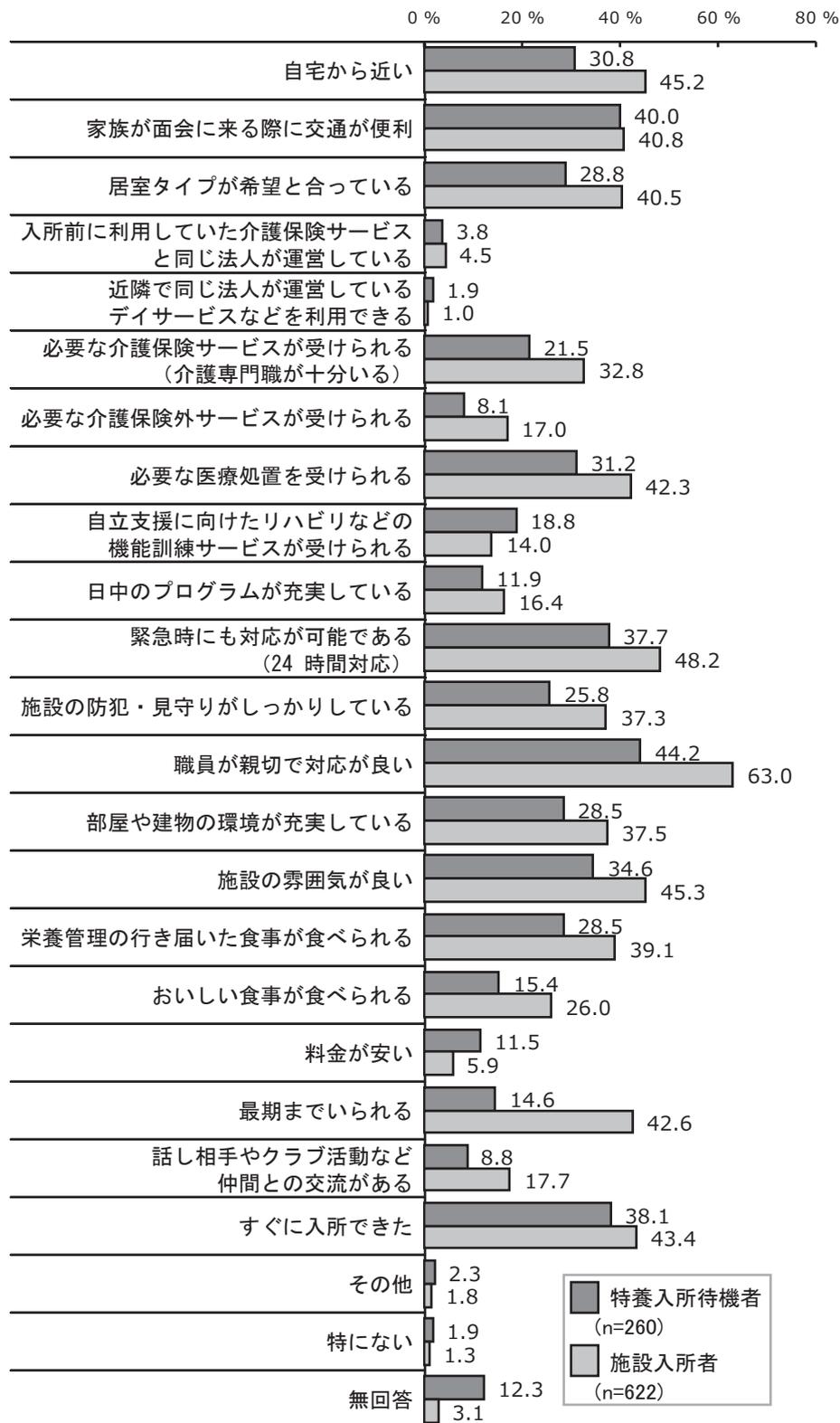
	n	満足している					不満である		無回答	
		満足している	少しは満足している	どちらともいえない	少し不満である	不満である	無回答	満足	不満	
特養入所待機者	260	29.2	24.2	15.8	10.0	6.2	14.6	53.5	16.2	
老健・病院に入院中・介護療養型医療施設	158	25.3	25.9	15.8	11.4	5.1	16.5	51.3	16.5	
認知症高齢者グループホーム	29	34.5	24.1	13.8	10.3	3.4	13.8	58.6	13.8	
有料老人ホーム・都市型軽費老人ホーム・サ高住・その他	66	34.8	19.7	18.2	7.6	10.6	9.1	54.5	18.2	
特別養護老人ホーム	7	42.9	28.6	-	-	-	28.6	71.4	-	

※ 現在の生活場所が自宅以外の方を対象に聞いた

② 入所施設の満足な点

○いずれの調査においても、「職員が親切で対応が良い」が最も高く特養入所待機者が44.2%、施設入所者が63.0%となっている。

■入所施設の満足な点（複数回答）



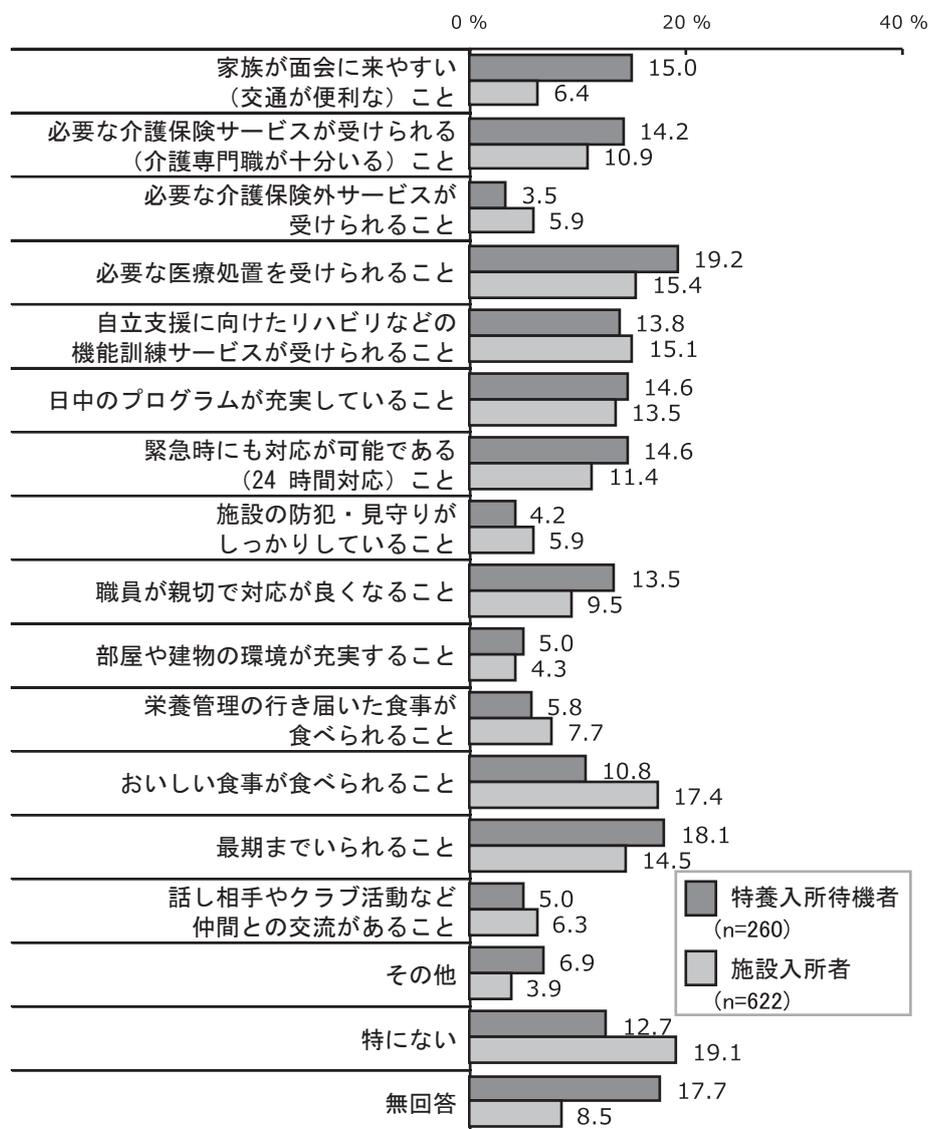
※ 特養入所待機者は、現在の生活場所が自宅以外の方を対象に聞いた

③ 入所施設の今後の充実で期待すること

○特養入所待機者では、「必要な医療処置を受けられること」が最も高く19.2%、次いで「最期までいられること」(18.1%)と続いている。

○施設入所者では、「特にない」が最も高く19.1%となっている。

■入所施設の今後の充実で期待すること (〇は3つまで)



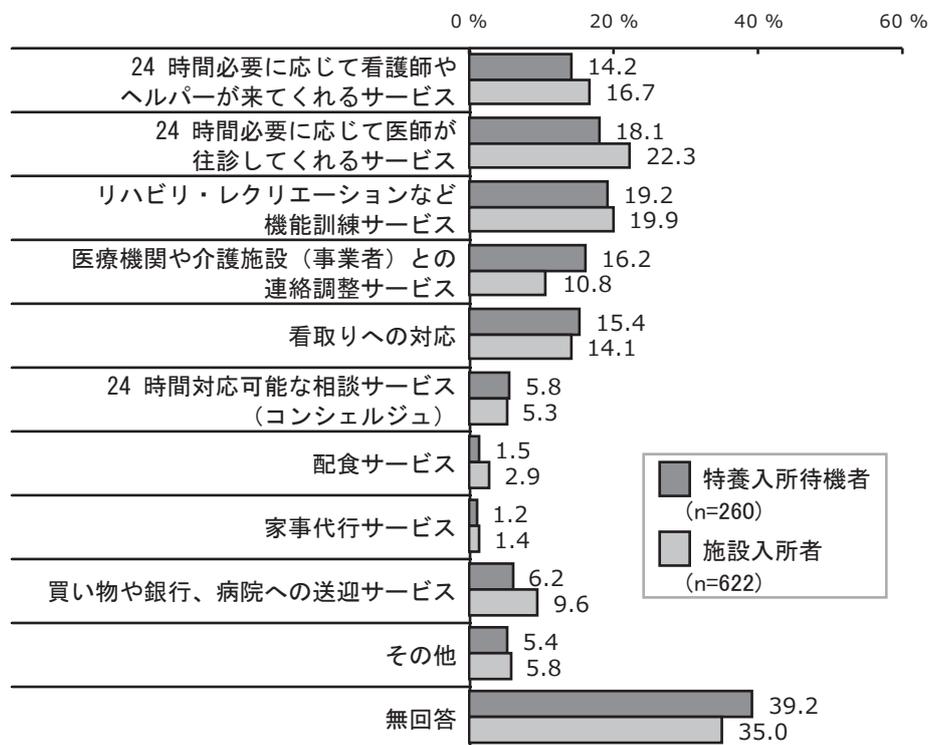
※ 特養入所待機者は、現在の生活場所が自宅以外の方を対象に聞いた

④ 現在の入所施設にあるとよいサービス

○特養入所待機者では、「リハビリ・レクリエーションなど機能訓練サービス」が最も高く 19.2%、次いで「24 時間必要に応じて医師が往診してくれるサービス」(18.1%)、「医療機関や介護施設(事業者)との連絡調整サービス」(16.2%)と続いている。

○施設入所待機者では、「24 時間必要に応じて医師が往診してくれるサービス」が最も高く 22.3%、次いで「リハビリ・レクリエーションなど機能訓練サービス」(19.9%)、「24 時間必要に応じて看護師やヘルパーが来てくれるサービス」(16.7%)と続いている。

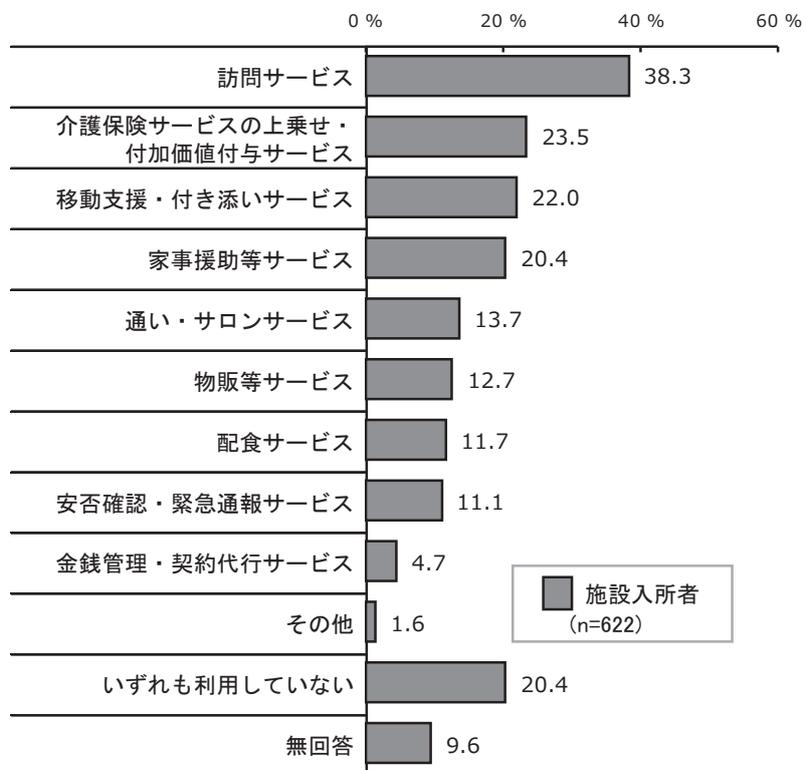
■現在の入所施設にあるとよいサービス (〇は3つまで)



⑤ 入所施設で利用している介護保険外サービス

○「訪問サービス」が最も高く 38.3%、次いで「介護保険サービスの上乗せ・付加価値付与サービス」(23.5%)、「移動支援・付き添いサービス」(22.0%)、「家事援助等サービス」(20.4%)と続いている。

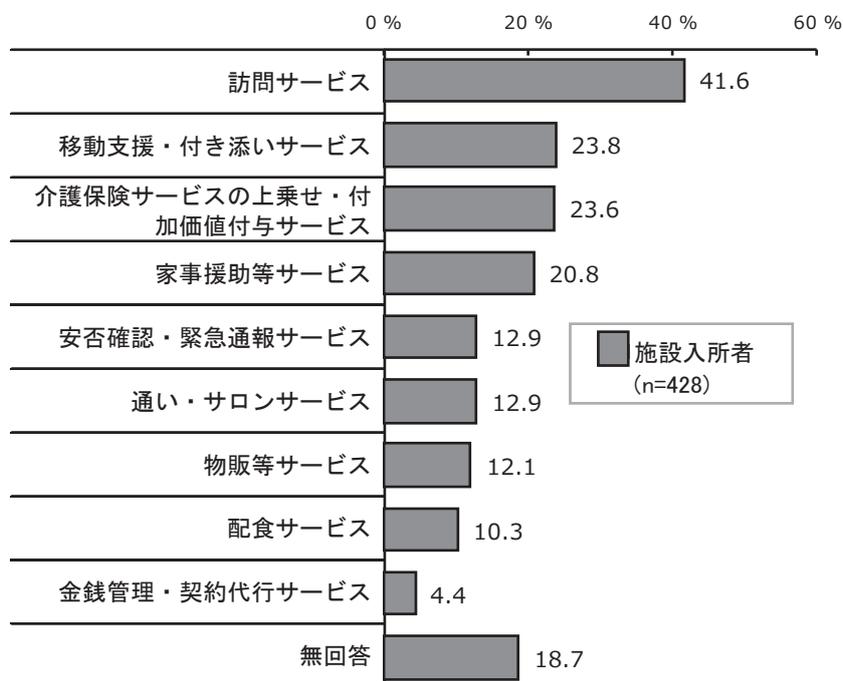
■入所施設で利用している介護保険外サービス（複数回答）



⑥ 満足している介護保険外サービスとその理由

○「訪問サービス」が最も高く 41.6%、次いで「移動支援・付き添いサービス」(23.8%)、「介護保険サービスの上乗せ・付加価値付与サービス」(23.6%)、「家事援助等サービス」(20.8%)と続いている。

■満足している介護保険外サービス（複数回答）



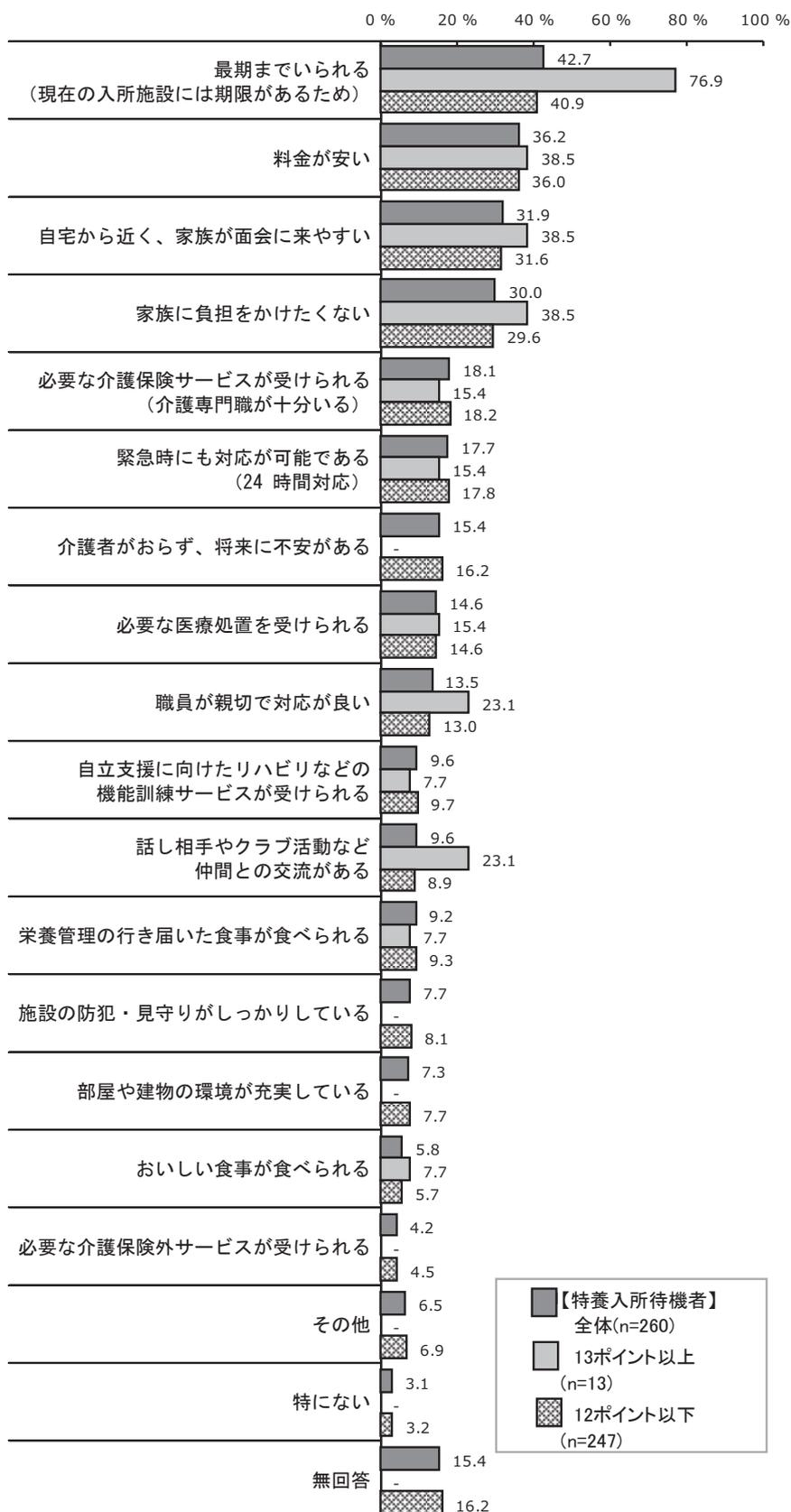
■利用している介護保険外サービス別の満足している理由（複数回答）

サービス	n	理由 (%)										
		利用回数や時間が希望	技術的にしつかりして	料金（～）が安い（適切である）	サービス提供内容である	契約内容である	説明が十分である	サービスについての説明	不満や要望をしっかりと聞いている	担当者やスタッフが合う	ブライバシーへの配慮	緊急時に対応してくれる
介護保険サービスの上乗せ・付加価値付与サービス	101	38.6	22.8	7.9	46.5	16.8	25.7	10.9	8.9	23.8	2.0	5.9
家事援助等サービス	89	39.3	18.0	9.0	34.8	7.9	16.9	15.7	2.2	6.7	2.2	9.0
訪問サービス	178	51.1	25.3	30.9	18.5	9.0	12.4	7.9	1.7	5.6	2.8	6.7
配食サービス	44	38.6	15.9	2.3	43.2	2.3	20.5	13.6	2.3	2.3	9.1	15.9
物販等サービス	52	19.2	3.8	19.2	28.8	13.5	7.7	5.8	3.8	3.8	9.6	17.3
安否確認・緊急通報サービス	55	20.0	9.1	5.5	21.8	10.9	16.4	16.4	12.7	56.4	5.5	10.9
移動支援・付き添いサービス	102	25.5	11.8	9.8	27.5	10.8	12.7	16.7	3.9	38.2	6.9	8.8
通い・サロンサービス	55	41.8	16.4	27.3	32.7	7.3	14.5	5.5	1.8	3.6	9.1	5.5
金銭管理・契約代行サービス	19	36.8	10.5	-	31.6	15.8	21.1	10.5	21.1	21.1	5.3	21.1

⑦ 特別養護老人ホームに移りたい理由

○現在の生活場所が自宅以外の特別養護老人ホーム入所待機者の特養に移りたい理由は、「最期までいられる(現在の入所施設には期限があるため)」が最も高く 42.7%、次いで「料金が安い」(36.2%)、「自宅から近く、家族が面会に来やすい」(31.9%)、「家族に負担をかけたくない」(30.0%)と続いている。

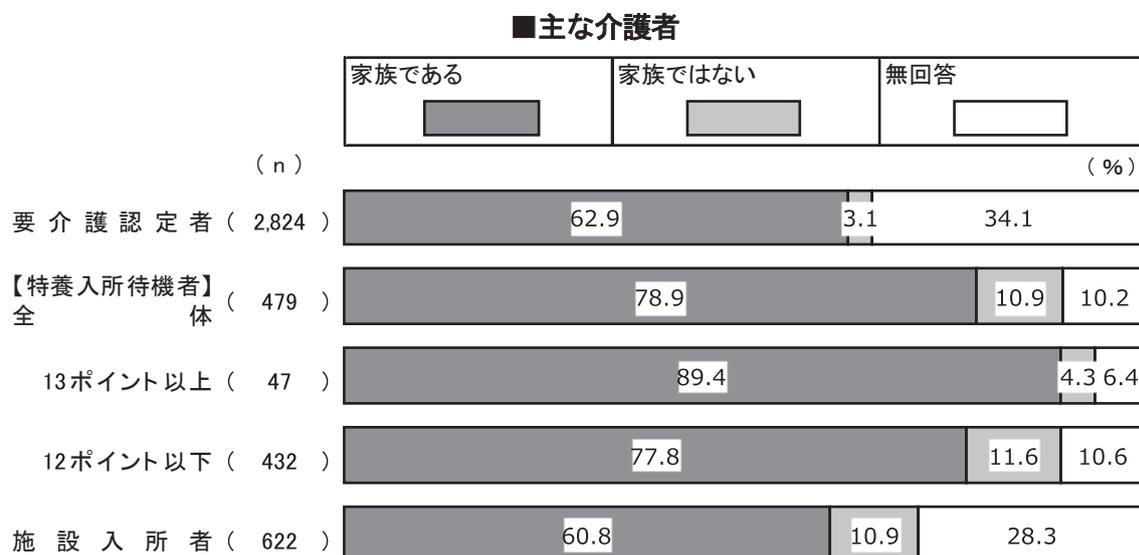
■特別養護老人ホームに移りたい理由(複数回答)



12 家族介護の状況

(1) 主な介護者

○要介護認定者、特養入所待機者、施設入所者ともに「家族である」が6割を超えている。

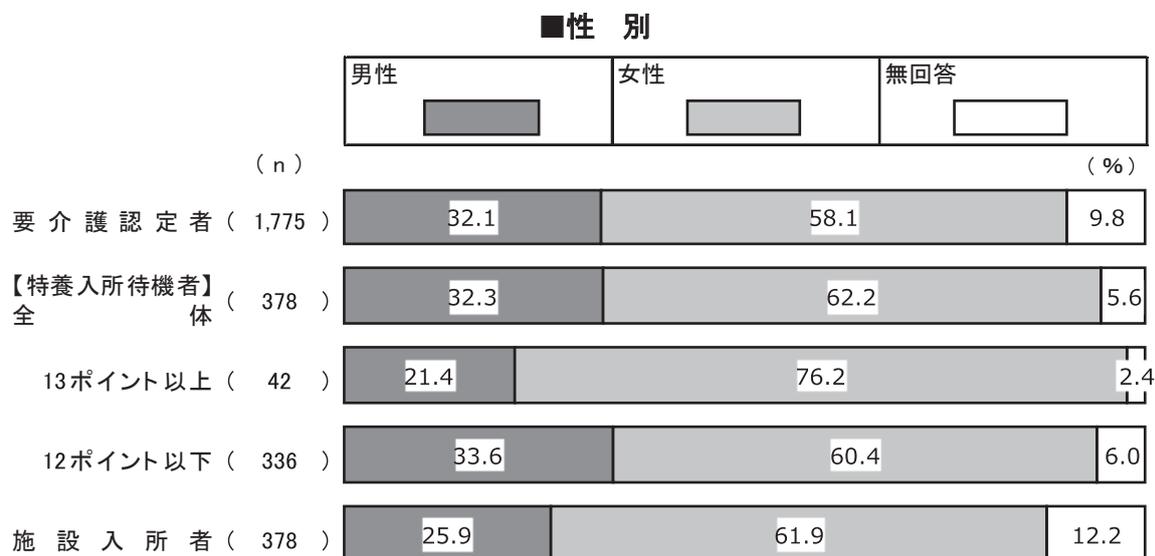


※ 施設入所者は、施設入所前の状況について聞いた

(2) 主な家族介護者の属性

① 性別

○主な家族介護者の性別は、要介護認定者、特養入所待機者、施設入所者ともに「女性」が6割前後となっている。

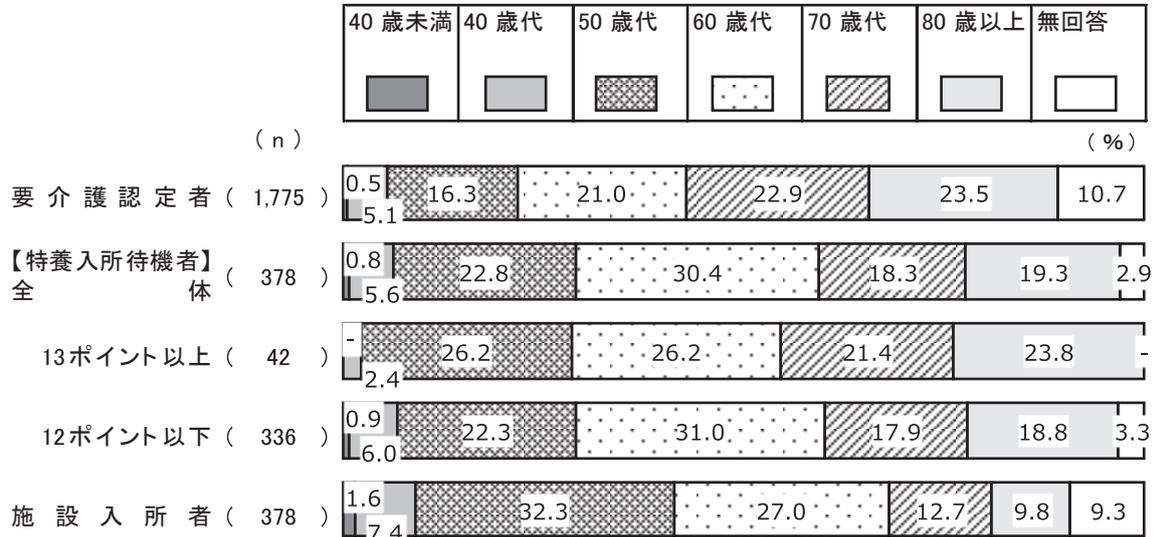


※ 施設入所者は、施設入所前の状況について聞いた

② 年齢

- 主な家族介護者の年齢は、要介護認定者では「80歳以上」が最も高く、70歳以上が4割半ばとなっている。
- 特養入所待機者では、「60歳代」が最も高く30.4%となっている。
- 施設入所者では、「50歳代」が最も高く32.3%となっている。

■年 齢

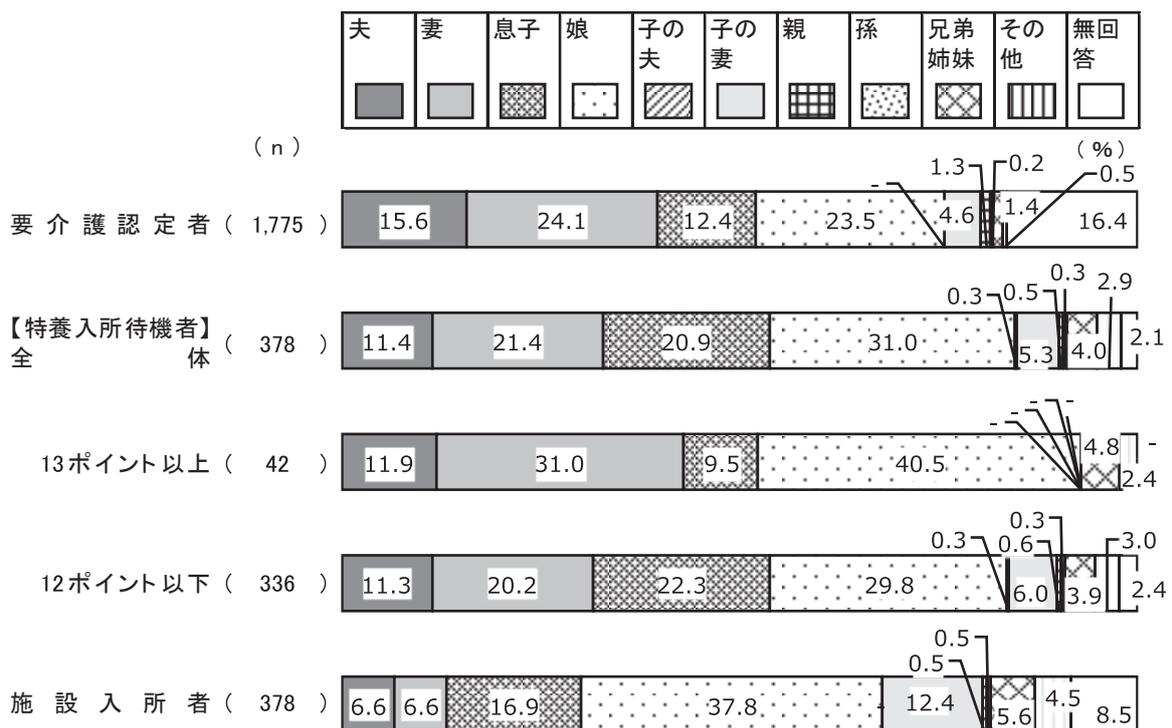


※ 施設入所者は、施設入所前の状況について聞いた

③ 続柄

- 主な家族介護者の続柄は、要介護認定者では「妻」が最も高く24.1%、次いで「娘」が23.5%、「夫」が15.6%となっている。
- 特養入所待機者では、「娘」が最も高く31.0%、次いで「妻」が21.4%、「息子」が20.9%と続いている。
- 施設入所者では、「娘」が最も高く37.8%、次いで「息子」が16.9%、「子の妻」が12.4%と続いている。

■続 柄



※ 施設入所者は、施設入所前の状況について聞いた

【要介護認定者】

○年代別にみると、『前期高齢者』は“配偶者”（「夫」と「妻」の合計）が6割半ば、『後期高齢者』は“子”（「息子」と「娘」と「子の夫」と「子の妻」の合計）が4割半ばとなっている。

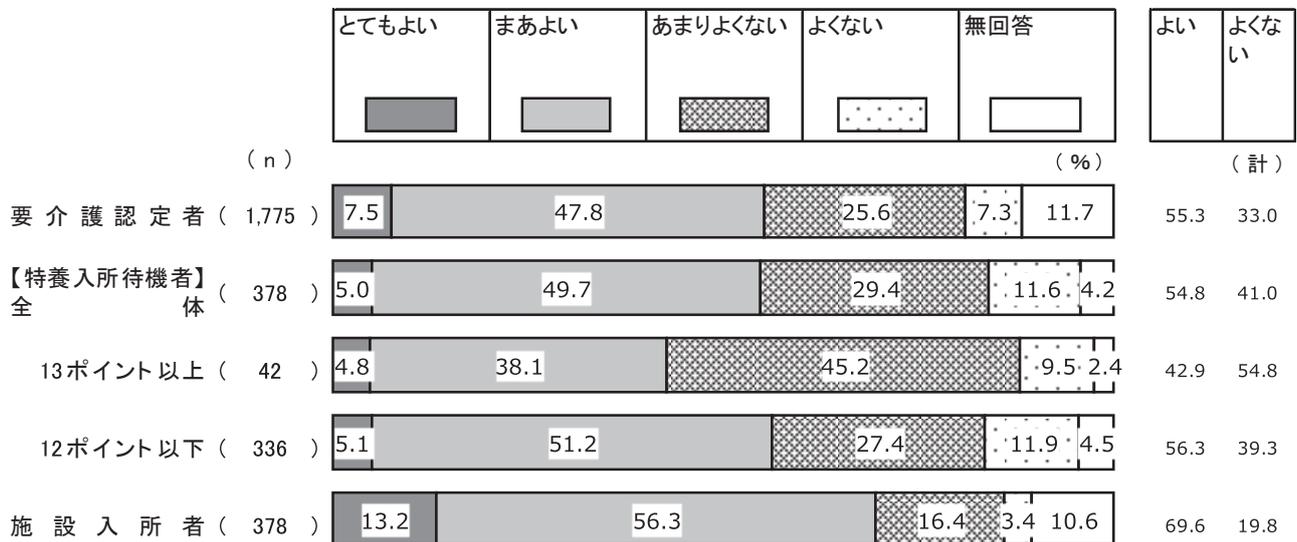
■続柄＜要介護認定者：年代別＞

		(%)										
	n	夫	妻	息子	娘	子の夫	子の妻	親	孫	兄弟姉妹	その他	無回答
要介護認定者	1,775	15.6	24.1	12.4	23.5	-	4.6	1.3	0.2	1.4	0.5	16.4
前期高齢者(65-74歳)	226	27.0	38.1	3.1	5.8	-	1.3	1.8	-	4.0	0.4	18.6
後期高齢者(75歳以上)	1,496	13.6	22.4	13.8	26.6	-	5.1	1.2	0.3	0.9	0.5	15.6

④ 健康状態

○主な家族介護者の健康状態は、要介護認定者、特養入所待機者、施設入所者ともに“よい”が“よくない”を上回っている。

■健康状態

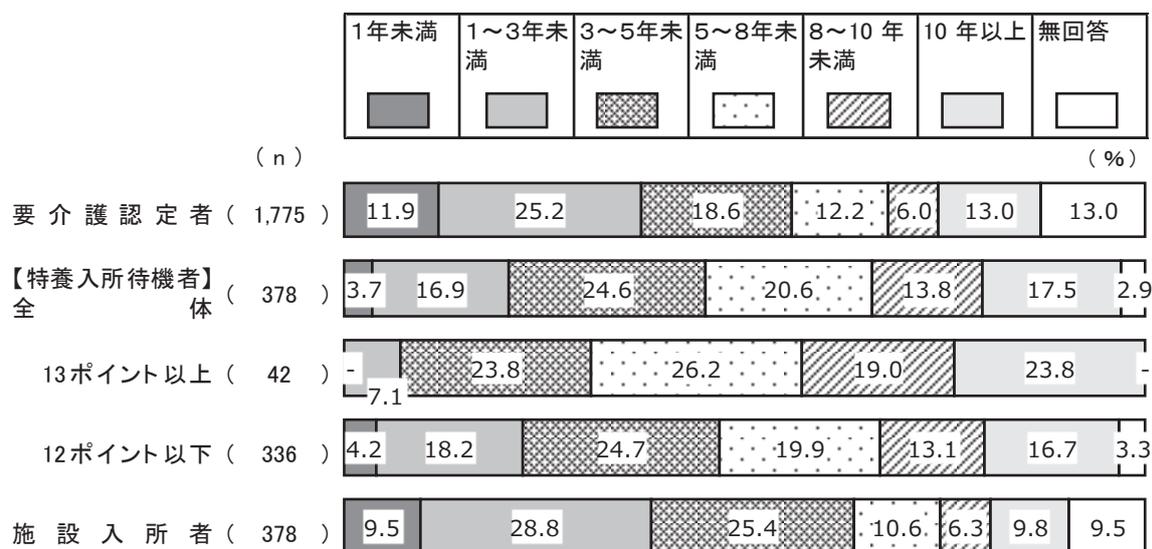


※ 施設入所者は、施設入所前の状況について聞いた

(3) 介護期間

- 主な家族介護者の介護期間は、要介護認定者では、「1～3年未満」が最も高く25.2%、次いで「3～5年未満」が18.6%、「10年以上」が13.0%、「5～8年未満」が12.2%となっている。
- 特養入所待機者では、「3～5年未満」が最も高く24.6%、「5～8年未満」が20.6%となっている。“5年以上”が半数を超えている。
- 施設入所者では、「1～3年未満」が最も高く28.8%、次いで「3～5年未満」が25.4%となっている。“5年未満”が6割を超えている。

■介護期間



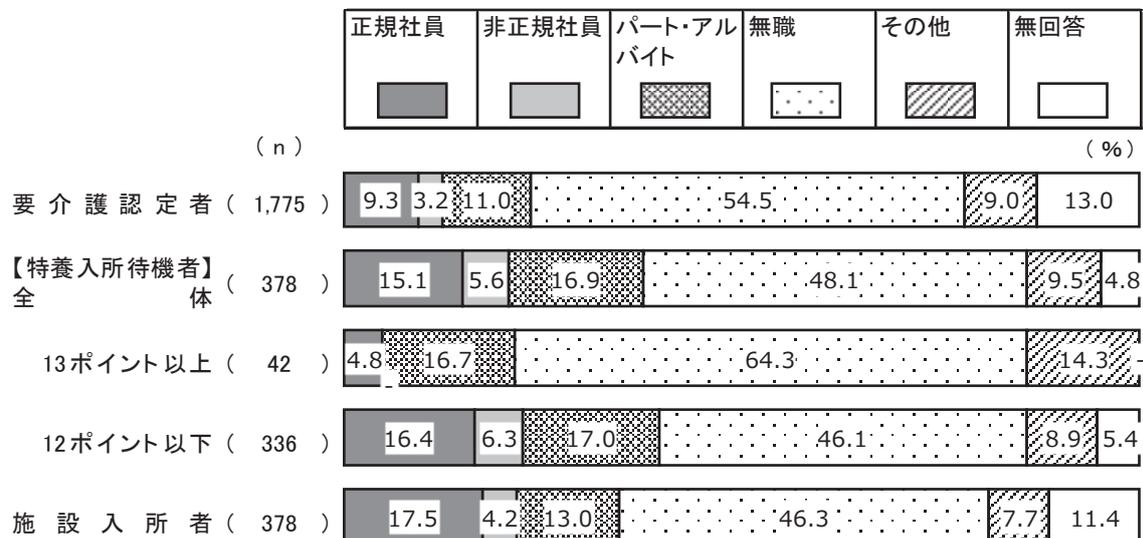
※ 施設入所者は、施設入所前の状況について聞いた

(4) 介護者の就労状況

① 就労状況

○いずれの調査においても、「無職」が最も高い。

■就労状況



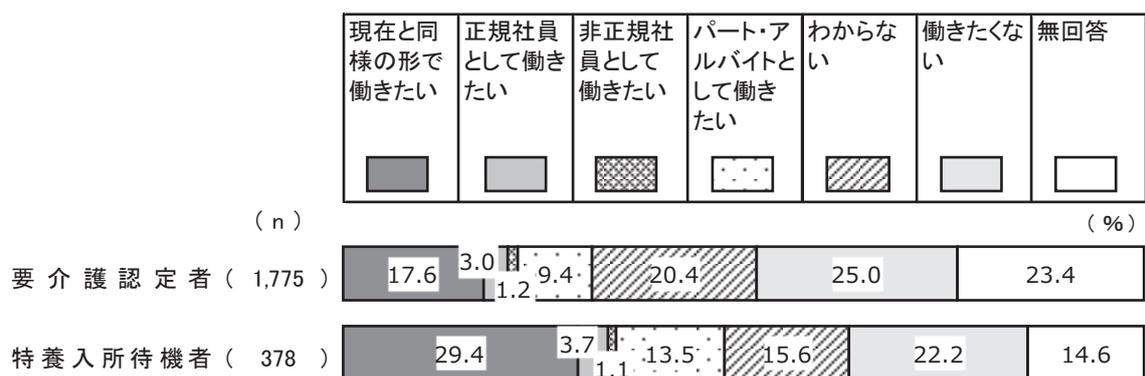
※ 施設入所者は、施設入所後の就労状況について聞いた

② 今後の就労意向

○主な家族介護者の就労意向は、要介護認定者では、「働きたくない」が最も高く 25.0%、次いで「わからない」が 20.4%と続いている。

○特養入所待機者では、「現在と同様の形で働きたい」が最も高く 29.4%、次いで「働きたくない」が 22.2%と続いている。

■今後の就労意向



③ 施設への入所前後での就労状況の変化

○施設入所者の主な家族介護者（入所前）の就労状況は、施設への入所前後どちらも「無職」が最も高く4割を超えている。

■施設への入所前後での就労状況の変化

【入所前】



【入所後】

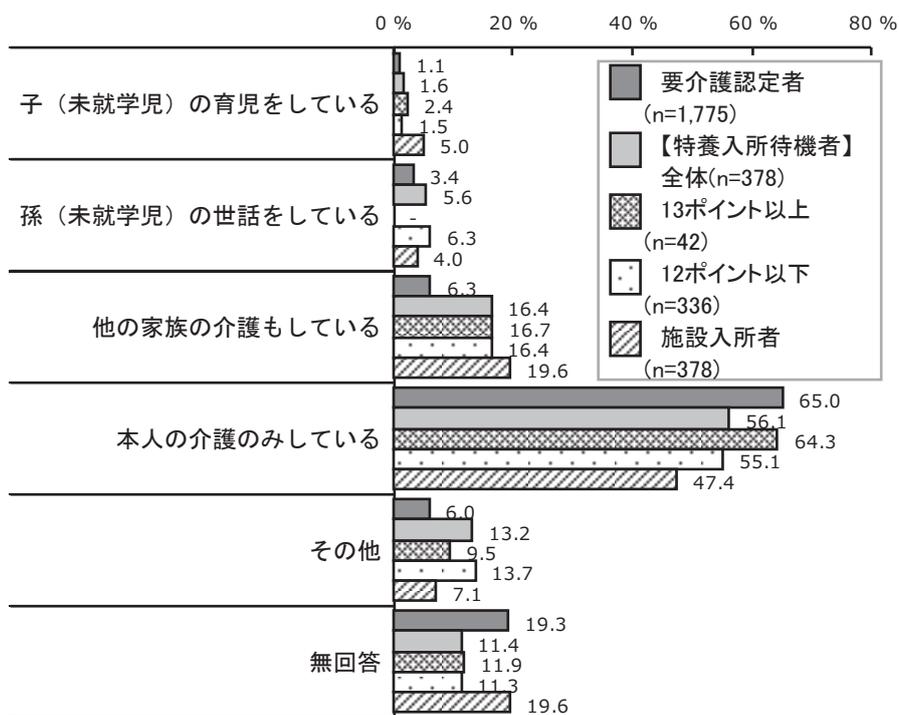


(5) 介護以外の負担の状況

○主な家族介護者の介護以外の負担の状況は、いずれの調査においても、「本人の介護のみしている」が最も高い。

○「他の家族の介護もしている」は、特養入所待機者で1割半ば、施設入所者で約2割であった。

■介護以外の負担の状況（複数回答）

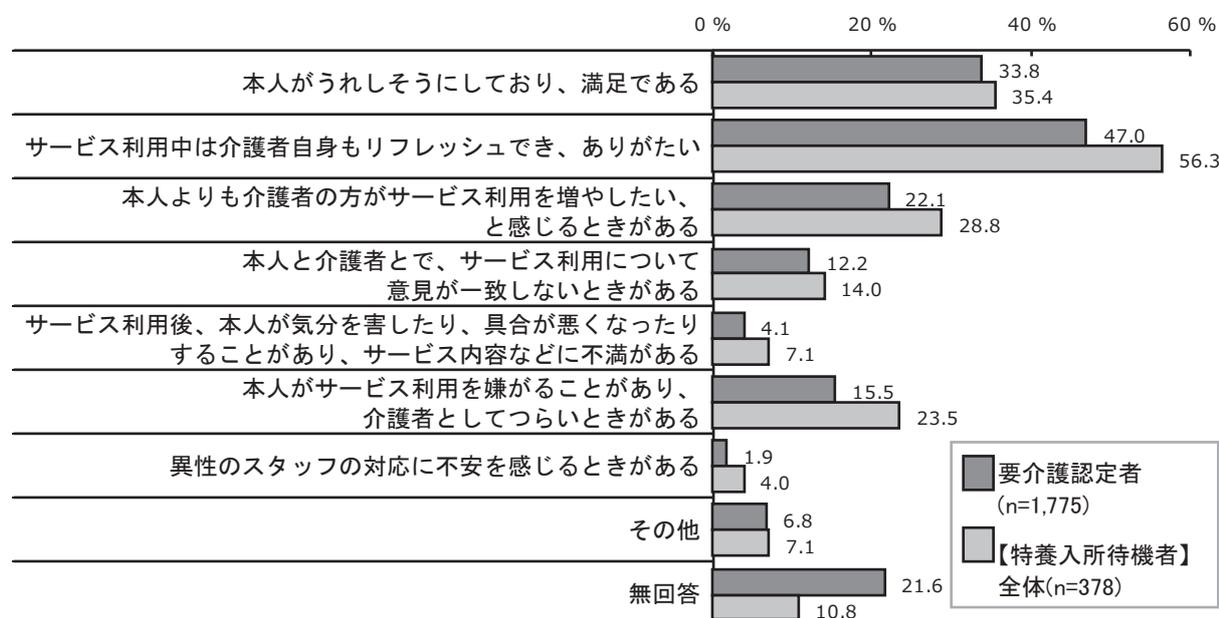


※ 施設入所者は、施設入所前の介護以外の負担の状況について聞いた

(6) 介護サービス利用時の家族介護者の感じ方

○主な家族介護者の介護サービス利用時の感じ方は、要介護認定者、特養入所待機者ともに「サービス利用中は介護者自身もリフレッシュでき、ありがたい」が最も高い。次いで、「本人がうれしそうにしており、満足である」と続いている。

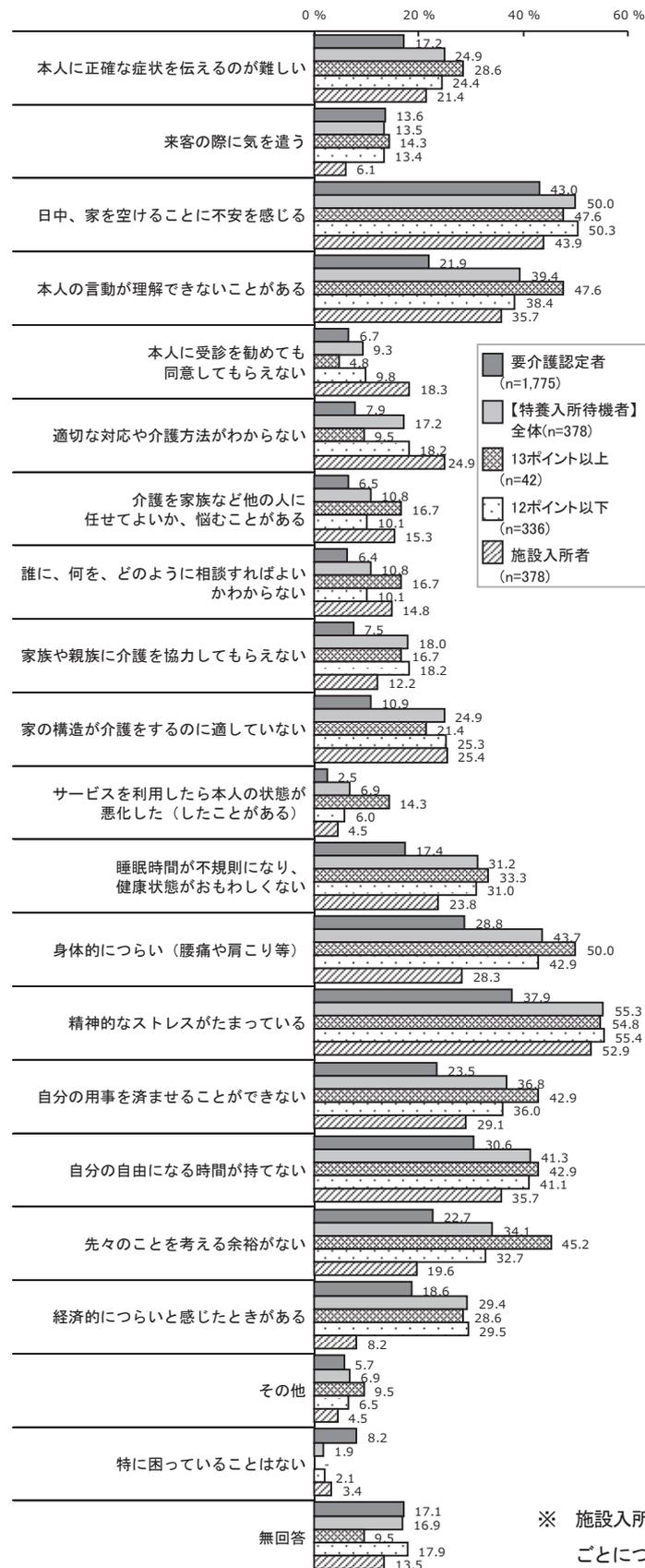
■介護サービス利用時の家族介護者の感じ方（複数回答）



(7) 家族介護者の負担や困りごと

○主な家族介護者の負担や困りごとは、要介護認定者では「日中、家を空けるのを不安に感じる」(43.0%)、特養入所待機者、施設入所者では「精神的なストレスがたまっている」(それぞれ55.3%、52.9%)が最も高い。

■家族介護者の負担や困りごと（複数回答）

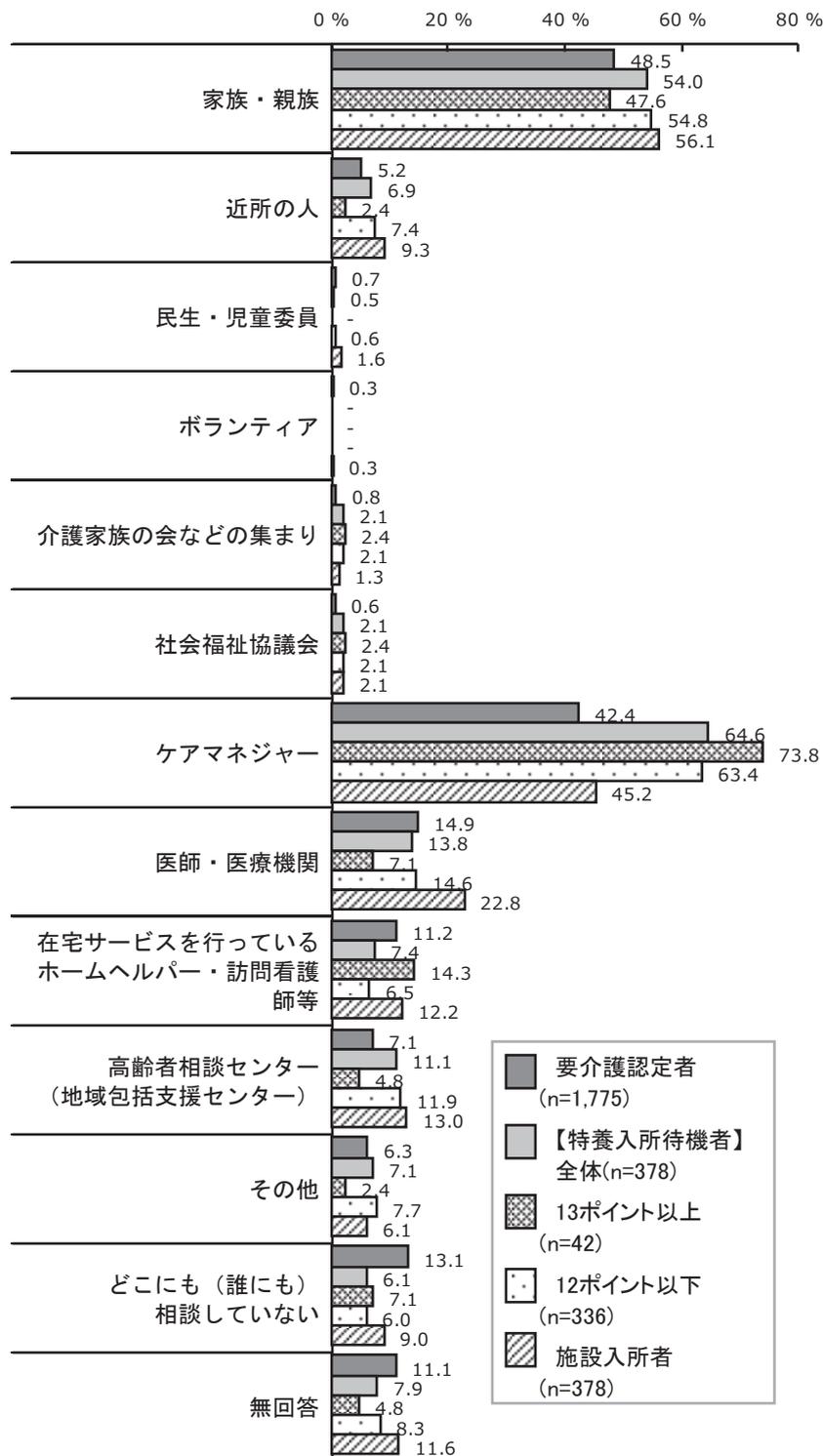


※ 施設入所者は、施設入所前の負担や困りごとについて聞いた

(8) 介護をしていてつらい時の相談先

- 主な家族介護者のつらい時の相談先は、要介護認定者、施設入所者では「家族・親族」（それぞれ48.5%、56.1%）、特養入所待機者では「ケアマネジャー」（64.6%）が最も高くなっている。
- 「高齢者相談センター（地域包括支援センター）」はいずれの調査でも1割程度となっている。
- 一方、「どこにも（誰にも）相談していない」と回答した人が要介護認定者、特養入所待機者、施設入所者ともに1割前後みられる。

■介護をしていてつらい時の相談先（複数回答）



※ 施設入所者は、施設入所前の介護をしていてつらかったときの相談先について聞いた

(9) 介護者が希望する自身の将来の姿

- 主な家族介護者が希望する自身の将来の姿は、「自宅で、介護保険のサービスを中心に利用したい」が最も高く 35.0%となっている。“自宅で暮らしたい”は、4割超となっている。
- 一方、「わからない」は 16.6%となっている。

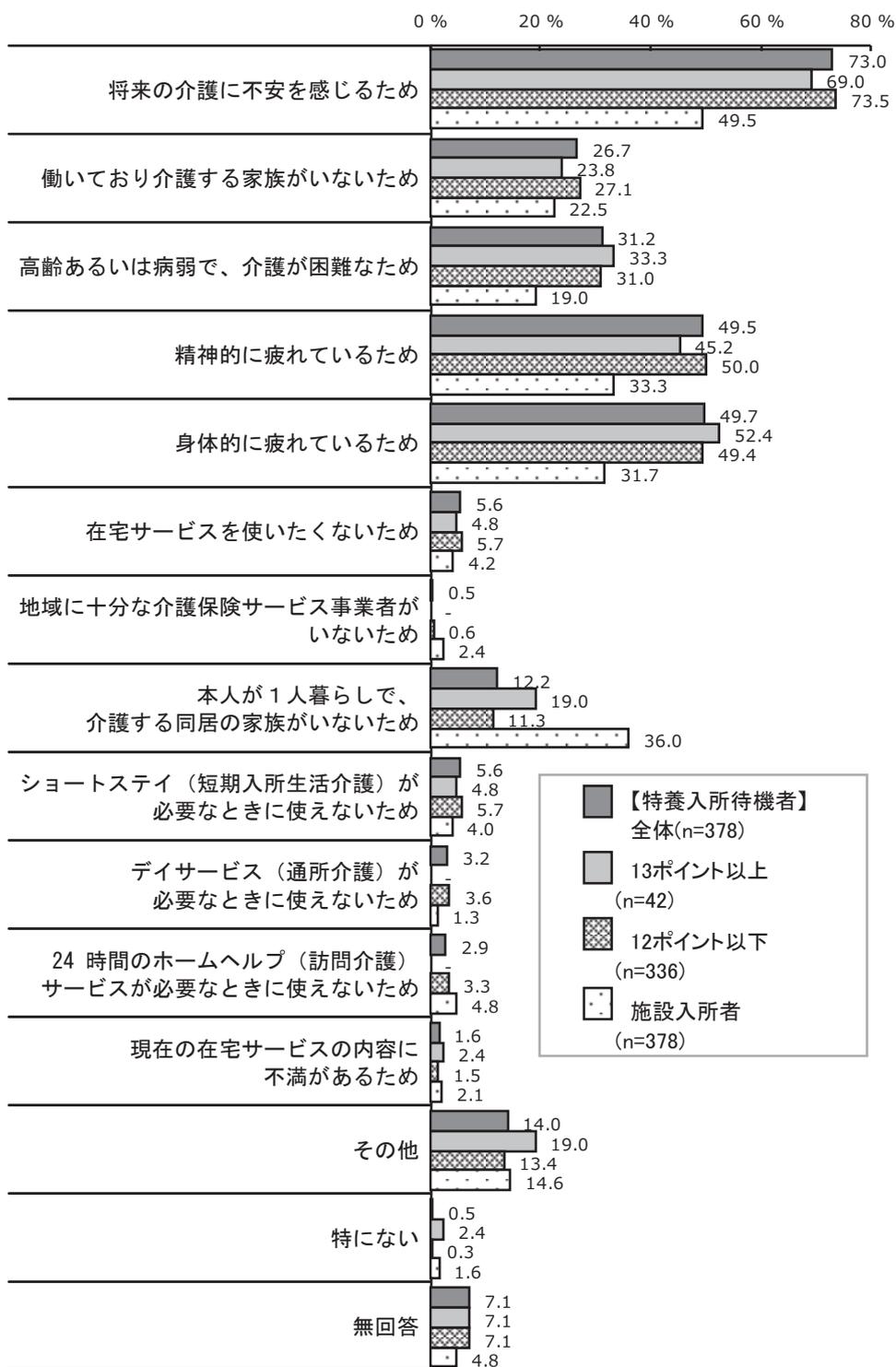
■介護者が希望する自身の将来の姿



(10) 施設に申し込んだ理由（主な家族介護者）

- 主な家族介護者が施設（特養あるいは各入所施設）に申し込んだ理由は、いずれの調査においても、「将来の介護に不安を感じるため」が最も高い。
- 特養入所待機者では、次いで「身体的に疲れているため」「精神的に疲れているため」が挙げられている。
- 施設入所者では、次いで「本人が1人暮らしで、介護する同居の家族がいないため」「精神的に疲れているため」「身体的に疲れているため」が挙げられている。

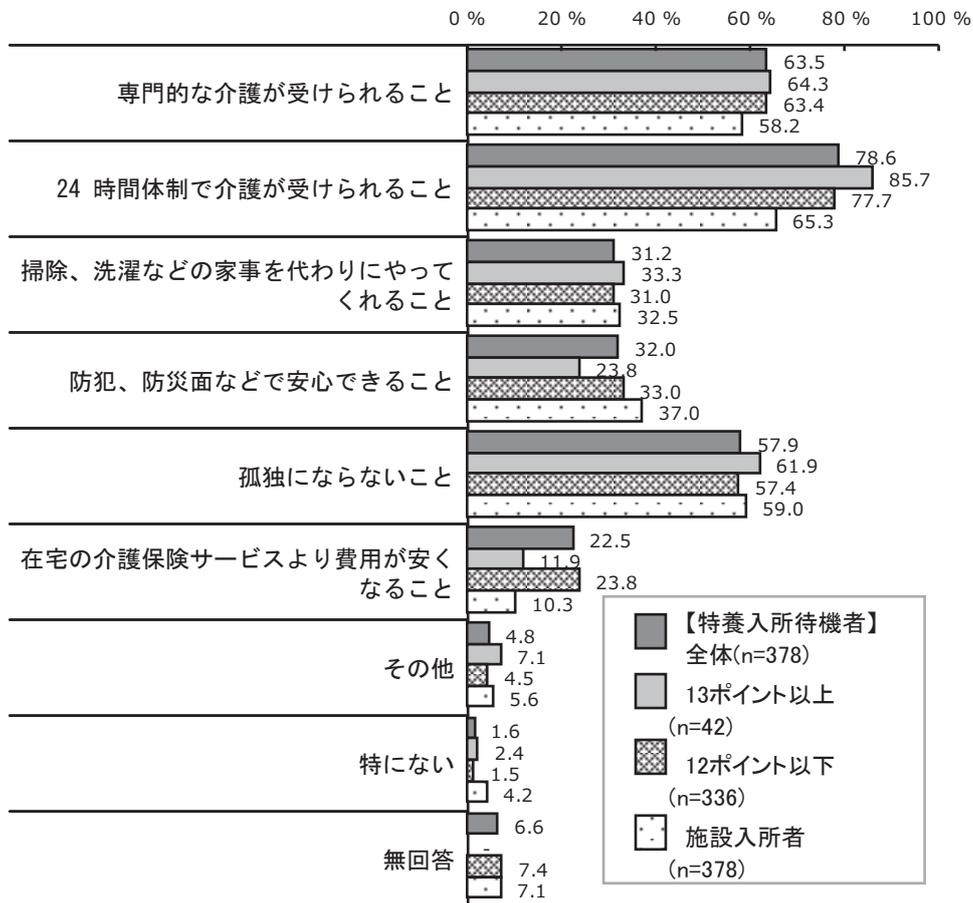
■施設に申し込んだ理由（複数回答）



(11) 家族介護者が施設に期待すること

○主な家族介護者が施設（特養あるいは各入所施設）に期待することは、いずれの調査においても、「24時間体制で介護が受けられること」が最も高い。次いで、「専門的な介護が受けられること」「孤独にならないこと」が挙げられている。

■施設に期待すること（複数回答）



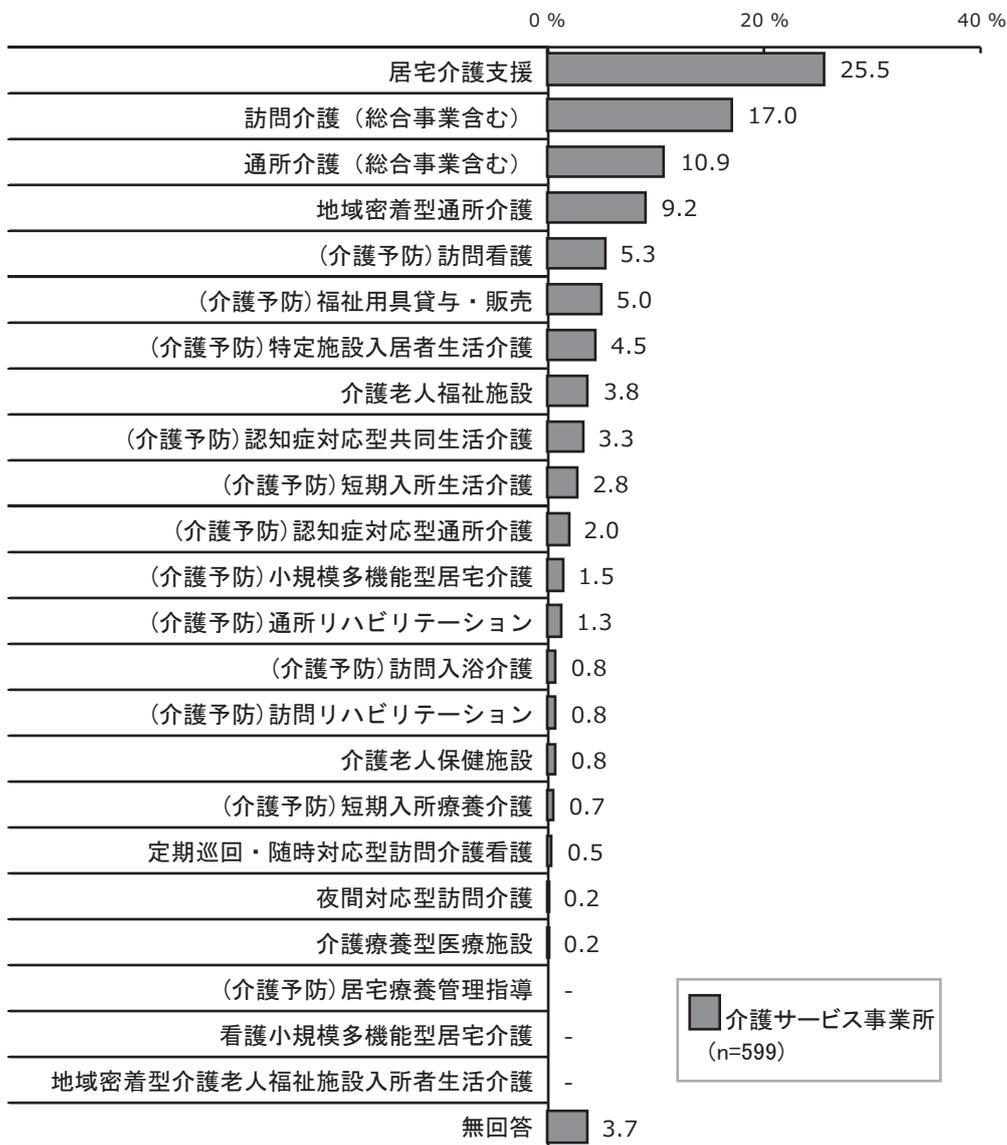
13 介護サービス事業所調査

(1) 事業所の概要

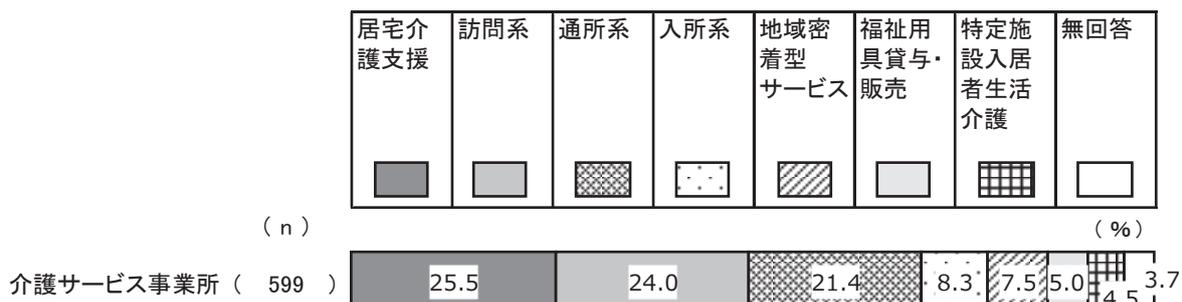
① 現在実施しているサービス

○「居宅介護支援」が最も高く 25.5%、次いで「訪問介護（総合事業含む）」が 17.0%、「通所介護（総合事業含む）」が 10.9%と続いている。

■現在実施しているサービス

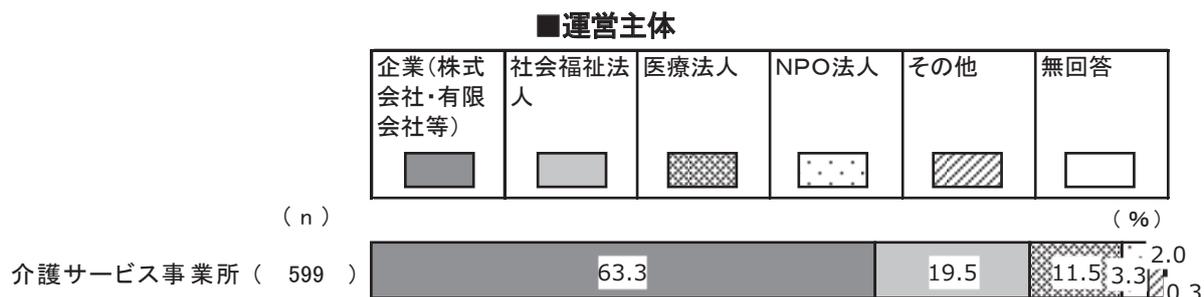


■現在実施しているサービス<まとめ>



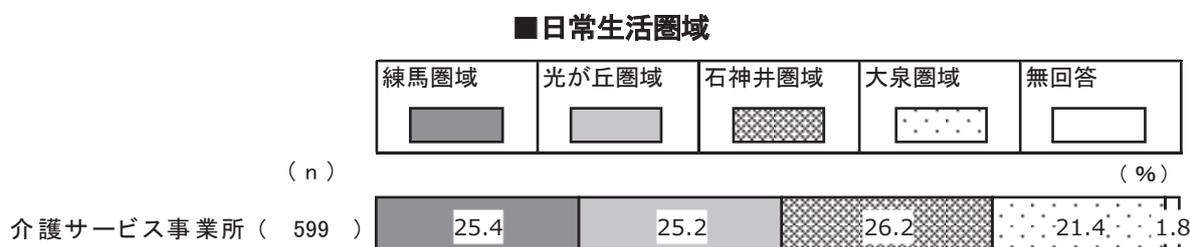
② 運営主体

○「企業（株式会社・有限会社等）」が最も高く 63.3%、次いで「社会福祉法人」（19.5%）、「医療法人」（11.5%）、「NPO法人」（3.3%）と続いている。



③ 日常生活圏域

○「練馬圏域」が 25.4%、「光が丘圏域」が 25.2%、「石神井圏域」が 26.2%、「大泉圏域」が 21.4% となっている。



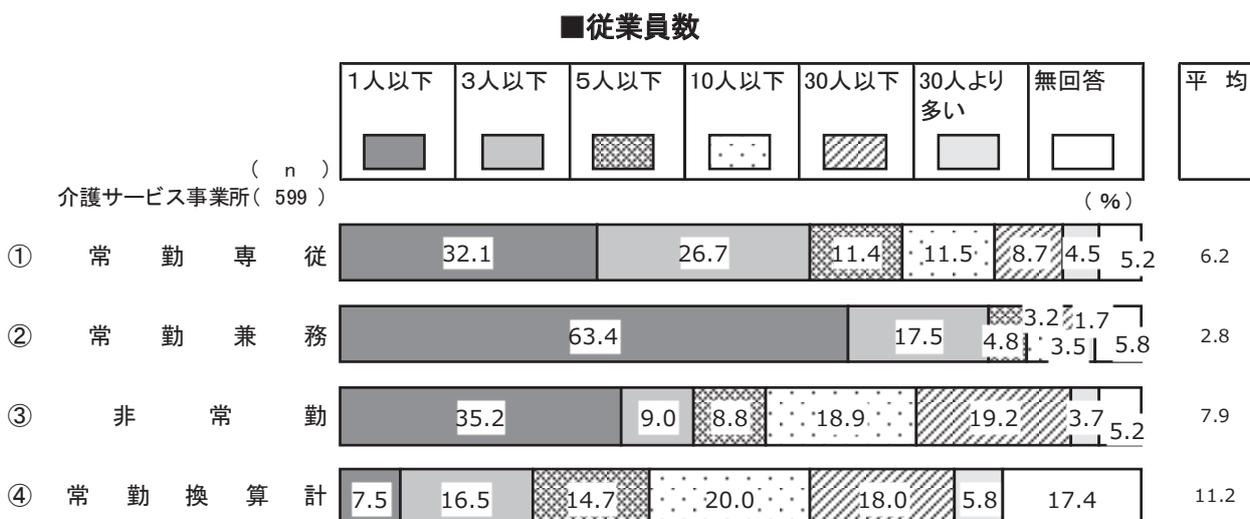
(2) 従業員数

○平均は、常勤専従で 6.2 人、常勤兼務で 2.8 人、非常勤で 7.9 人となっている、常勤換算計の平均は 11.2 人となっている。

○常勤専従は「1人以下」が最も高く 32.1%で、「3人以下」と合わせて、「3人以下」が 6割近くとなっている。

○常勤兼務は「1人以下」が 6割超となっている。

○非常勤は、「1人以下」が最も高く 35.2%となっている。



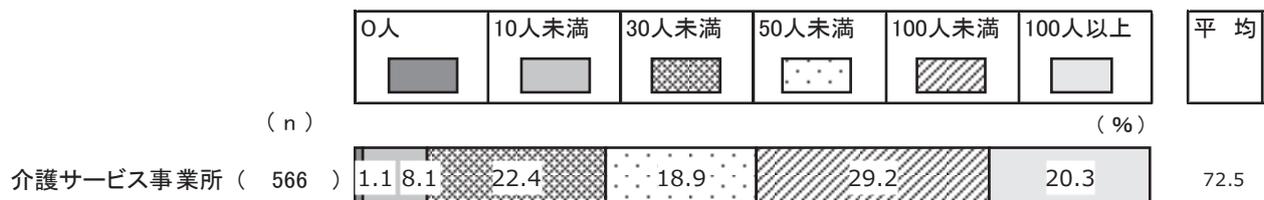
(3) 利用者数

① 要介護度別利用者数

○利用者数（合計）は、「10人未満」が8.1%、「30人未満」が22.4%、「50人未満」が18.9%、「100人未満」が29.2%、「100人以上」が20.3%、平均は72.5人となっている。

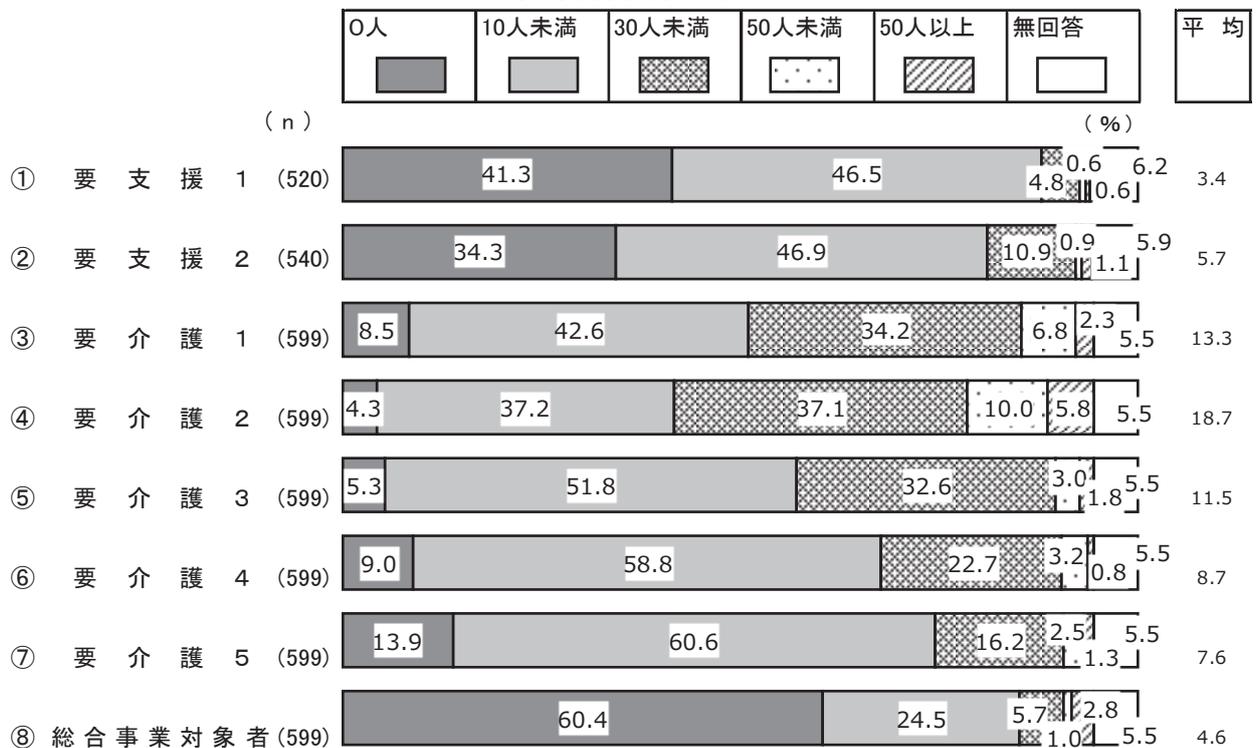
○要介護度別利用者数の平均は、要支援1で3.4人、要支援2で5.7人、要介護1で13.3人、要介護2で18.7人、要介護3で11.5人、要介護4で8.7人、要介護5で7.6人、総合事業対象者で4.6人となっている。

■利用者数（合計）



※ 無回答を除いて集計した

■要介護度別利用者数



※ 要支援1は、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」「夜間対応型訪問介護」「地域密着型通所介護」「看護小規模多機能型居宅介護」「（介護予防）認知症高齢者グループホーム」「地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護」を除いて集計した

※ 要支援2は、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」「夜間対応型訪問介護」「地域密着型通所介護」「看護小規模多機能型居宅介護」「地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護」を除いて集計した

【サービス種別】

○サービス種別にみると、利用者人数が“100 人未満”（「0 人」～「100 人未満」の合計）の事業所が多い（福祉用具貸与・販売を除く）。

■利用者数（合計）＜サービス種別＞

	n	（％）						平均
		0 人	1 0 人 未 満	3 0 人 未 満	5 0 人 未 満	1 0 0 人 未 満	1 0 0 人 以 上	
介護サービス事業所	566	1.1	8.1	22.4	18.9	29.2	20.3	72.5
居宅介護支援	141	1.4	4.3	14.9	19.9	29.8	29.8	74.4
訪問系	137	0.7	8.8	16.1	22.6	35.0	16.8	62.5
通所系	122	-	4.9	31.1	18.0	32.0	13.9	56.7
入所系	48	-	20.8	12.5	20.8	29.2	16.7	52.1
地域密着型サービス	44	2.3	13.6	75.0	4.5	2.3	2.3	22.6
福祉用具貸与・販売	27	7.4	7.4	7.4	-	11.1	66.7	317.9
特定施設入居者生活介護	26	-	-	3.8	38.5	46.2	11.5	64.9

※ 無回答を除いて集計した

② 要介護度の1年間の変化

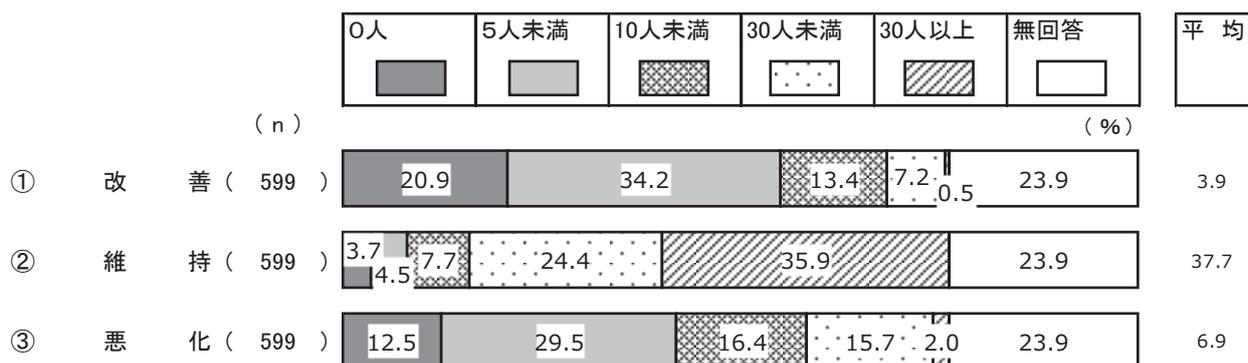
○改善は、「0人」が20.9%、「5人未満」が34.2%、「10人未満」が13.4%、「30人未満」が7.2%、「30人以上」が0.5%、平均は3.9人となっている。

○維持は、「0人」が3.7%、「5人未満」が4.5%、「10人未満」が7.7%、「30人未満」が24.4%、「30人以上」が35.9%、平均は37.7人となっている。

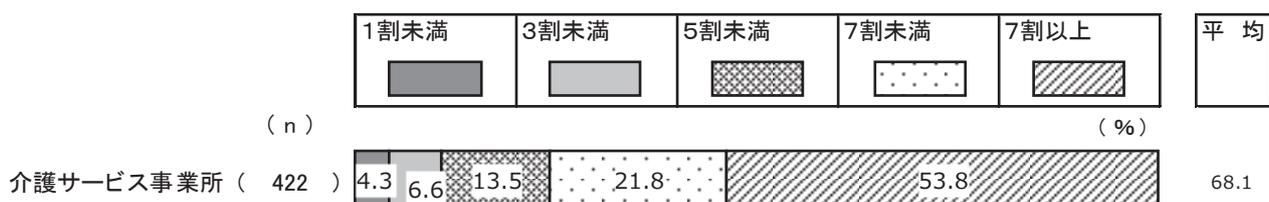
○悪化は、「0人」が12.5%、「5人未満」が29.5%、「10人未満」が16.4%、「30人未満」が15.7%、「30人以上」が2.0%、平均は6.9人となっている。

○各介護サービス事業所の利用者数に占める1年間の要介護度の改善・維持の状態をみると、改善・維持が「7割以上」が53.8%となっている。

■要介護度の1年間の変化



■利用者数に占める1年間の改善・維持の割合



※ 利用者数の回答があった事業者を集計対象とし、「改善」「維持」の合計人数の利用者数に占める割合を示す

【サービス種別】

○サービス種別にみると、いずれのサービス種別でも「維持」が最も多い。

■要介護度の1年間の変化（実人数）＜サービス種別＞

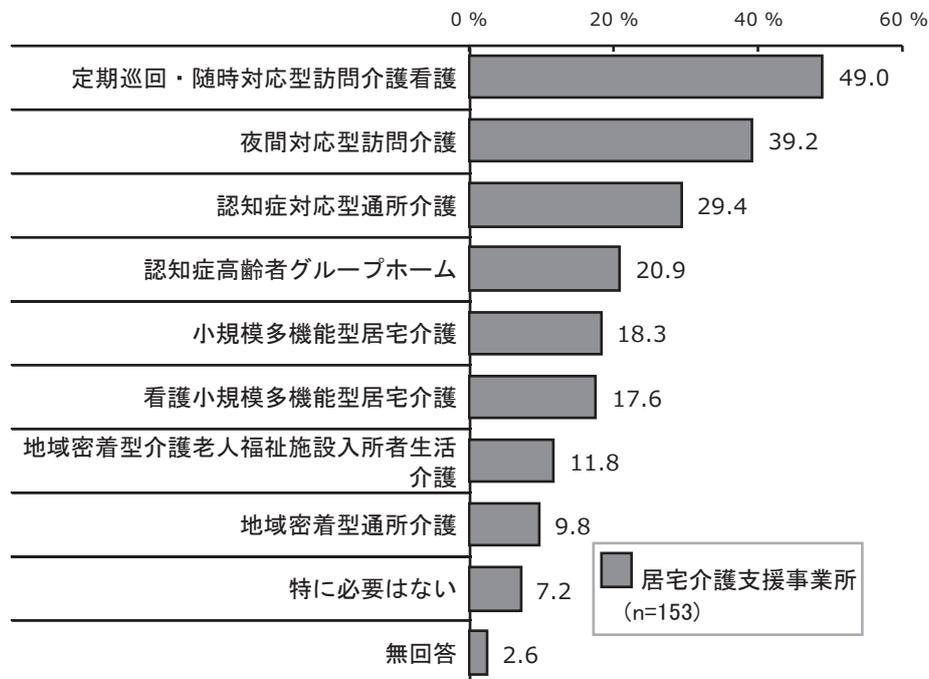
	n	(人)		
		改善	維持	悪化
介護サービス事業所	599	1,794	17,174	3,128
居宅介護支援	153	507	5,233	871
訪問系	144	357	4,077	601
通所系	128	351	3,577	575
入所系	50	114	1,123	177
地域密着型サービス	45	29	478	99
福祉用具貸与・販売	30	253	1,544	396
特定施設入居者生活介護	27	101	671	258

(4) 居宅介護支援事業所の考え

① 今後整備が必要な地域密着型サービス

○「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」が最も高く 49.0%、次いで、「夜間対応型訪問介護」(39.2%)、「認知症対応型通所介護」(29.4%)、「認知症高齢者グループホーム」(20.9%)、「小規模多機能型居宅介護」(18.3%)と続いている。

■今後整備が必要な地域密着型サービス（複数回答）



【圏域別】

○圏域別にみると、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」と回答した事業所が、『練馬圏域』で22件、『石神井圏域』で20件となっている。

■今後整備が必要な地域密着型サービス（複数回答）＜圏域別＞

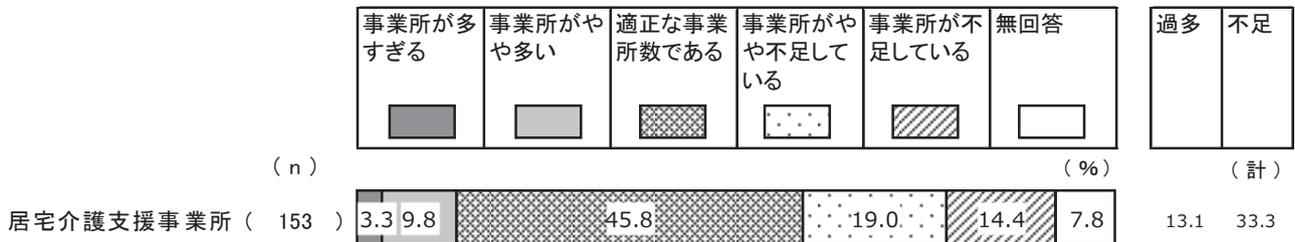
	n	(件)									
		定期巡回・随時対応型訪問介護看護	夜間対応型訪問介護	認知症対応型通所介護	活認知症対応型共同生活介護	小規模多機能型居宅介護	看護小規模多機能型居宅介護	福祉施設入所者生活介護	地域密着型通所介護	地域密着型通所介護	特に必要はない
居宅介護支援事業所	153	75	60	45	32	28	27	18	15	11	4
練馬圏域	36	22	14	8	9	7	1	5	4	0	3
光が丘圏域	39	16	14	7	10	10	6	6	5	4	0
石神井圏域	47	20	21	20	7	7	10	4	1	3	1
大泉圏域	29	16	9	9	5	3	9	2	4	4	0

② 小規模多機能型居宅介護

ア. 小規模多機能型居宅介護の需給バランス

- 「適正な事業所数である」が最も高く 45.8%となっている。
- “不足”（「事業所が不足している」と「事業所がやや不足している」の合計）が3割超で、“過多”（「事業所が多すぎる」と「事業所がやや多い」）の1割超を上回っている。

■小規模多機能型居宅介護の需給バランス



【圏域別】

○圏域別にみると、“不足”と回答した事業所は、『光が丘圏域』で19件となっている。

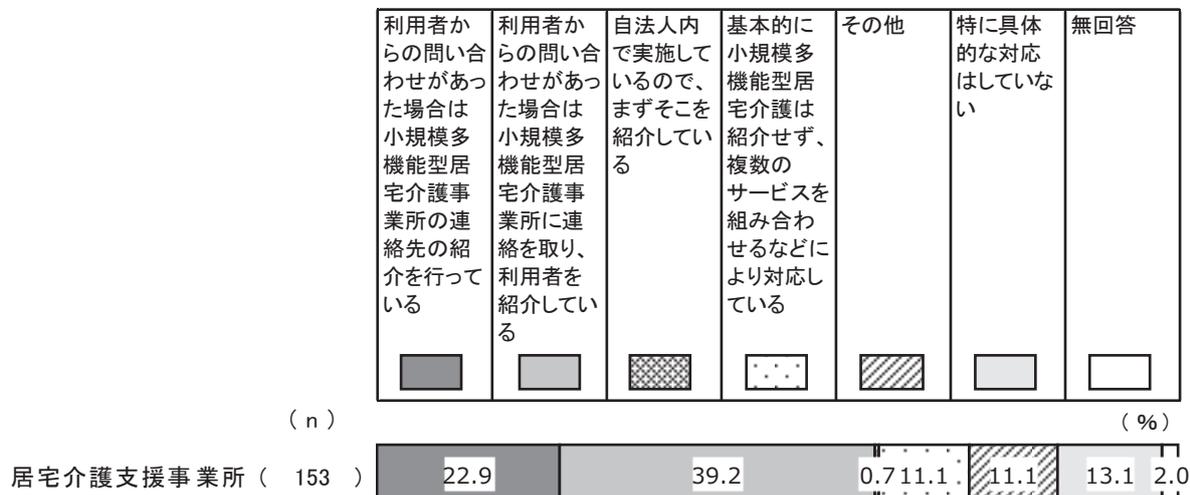
■小規模多機能型居宅介護の需給バランス<圏域別>

	n	(件)						(計)	
		事業所が多すぎる	事業所がやや多い	適正な事業所数である	事業所がやや不足している	事業所が不足している	無回答	過多	不足
居宅介護支援事業所	153	5	15	70	29	22	12	20	51
練馬圏域	36	1	2	17	8	4	4	3	12
光が丘圏域	39	3	4	13	9	10	0	7	19
石神井圏域	47	1	4	26	8	3	5	5	11
大泉圏域	29	0	4	13	4	5	3	4	9

イ. 小規模多機能型居宅介護の対応状況

- 「利用者からの問い合わせがあった場合は小規模多機能型居宅介護事業所に連絡を取り、利用者を紹介している」が最も高く 39.2%、次いで「利用者からの問い合わせがあった場合は小規模多機能型居宅介護事業所の連絡先の紹介を行っている」(22.9%)と続いている。「特に具体的な対応はしていない」は13.1%となっている。

■小規模多機能型居宅介護の対応状況

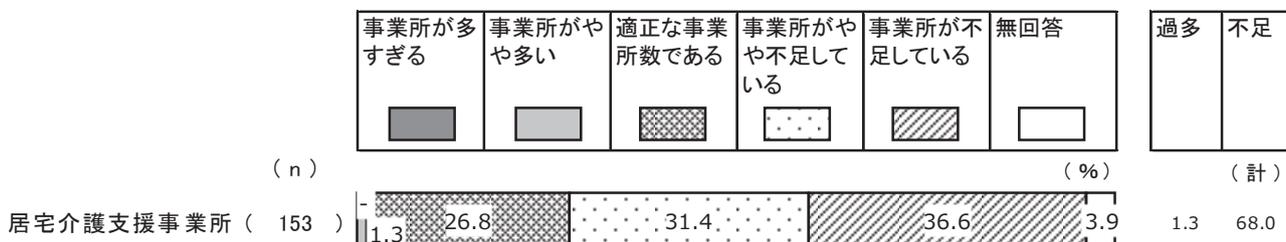


③ 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

ア. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護の需給バランス

- “不足”が68.0%と、“過多”を大きく上回っている。
- 「適正な事業所数である」は26.8%となっている。

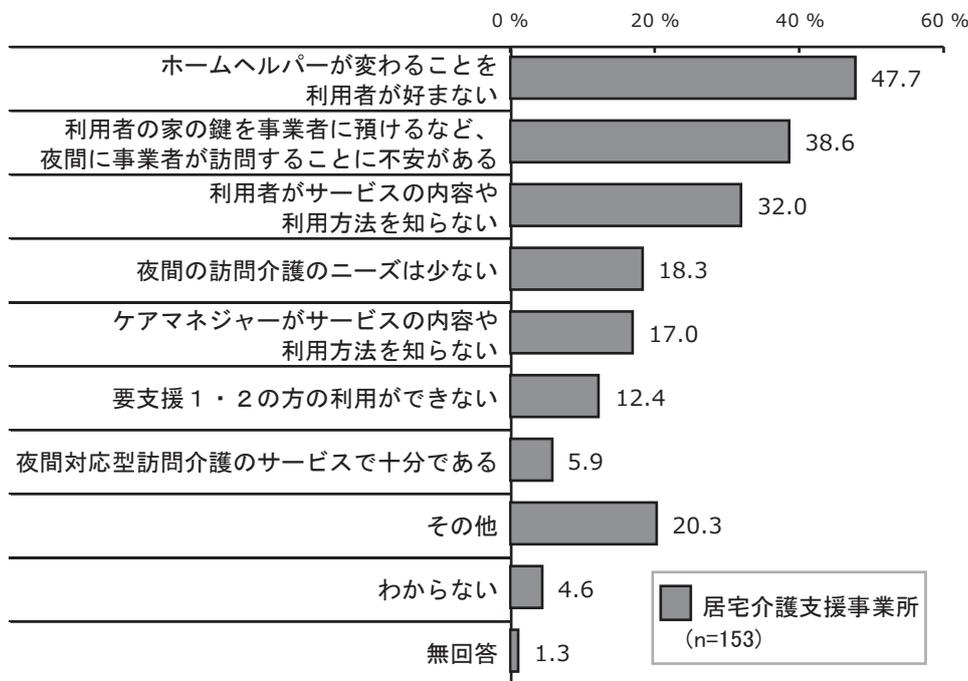
■定期巡回・随時対応型訪問介護看護の需給バランス



イ. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護の課題

- 「ホームヘルパーが変わることを利用者が好まない」が最も高く 47.7%、次いで「利用者の家の鍵を事業者に預けるなど、夜間に事業者が訪問することに不安がある」(38.6%)、「利用者がサービスの内容や利用方法を知らない」(32.0%)と続いている。
- 「わからない」は4.6%となっている。

■定期巡回・随時対応型訪問介護看護の課題（複数回答）

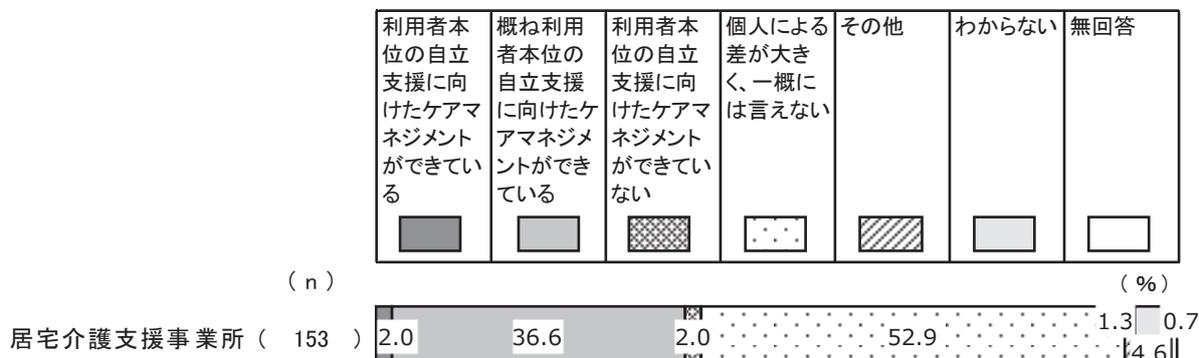


④ ケアマネジャーの質の向上

ア. 区内のケアマネジャーの質についての感じ方

- 「個人による差が大きく、一概には言えない」が最も高く、半数を超えている。「利用者本位の自立支援に向けたケアマネジメントができていない」は2.0%、「概ね利用者本位の自立支援に向けたケアマネジメントができていない」は36.6%、「利用者本位の自立支援に向けたケアマネジメントができていない」は2.0%となっている。

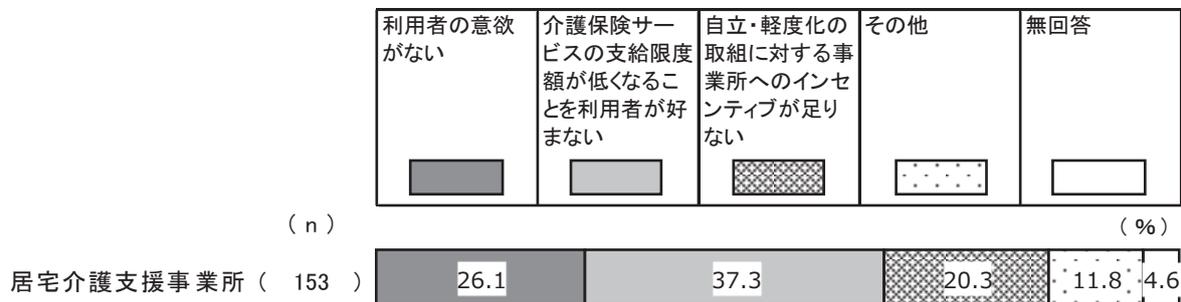
■区内のケアマネジャーの質についての感じ方



イ. 自立・軽度化に向けた課題

○「介護保険サービスの支給限度額が低くなることを利用者が好まない」が最も高く 37.3%、次いで「利用者の意欲がない」(26.1%)、「自立・軽度化の取組に対する事業所へのインセンティブが足りない」(20.3%)と続いている。

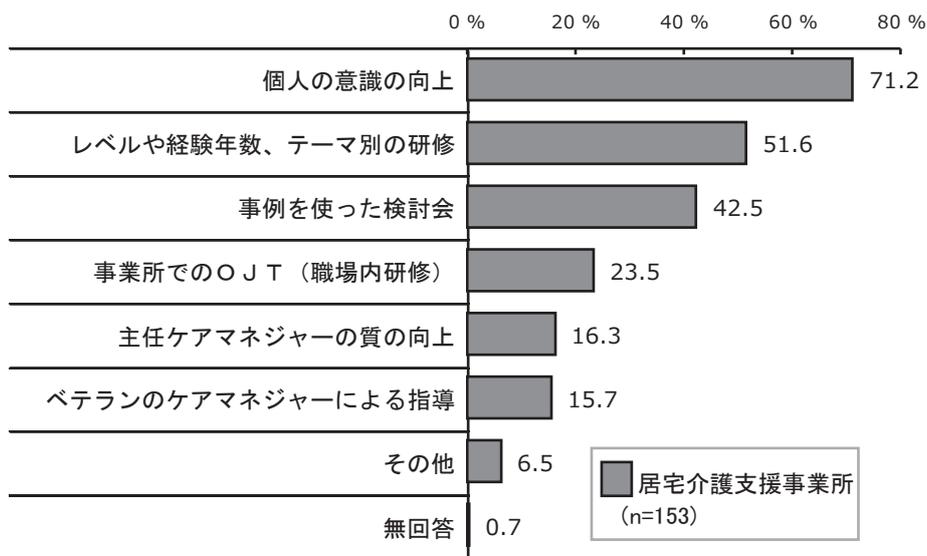
■自立・軽度化に向けた課題



ウ. ケアマネジャーの質の向上を図るために必要なこと

○「個人の意識の向上」が最も高く 71.2%、次いで「レベルや経験年数、テーマ別の研修」(51.6%)、「事例を使った検討会」(42.5%)と続いている。

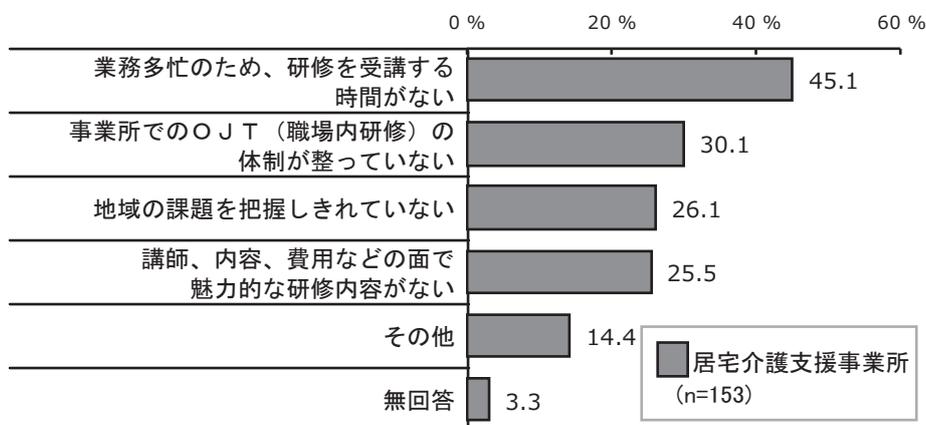
■ケアマネジャーの質の向上を図るために必要なこと (複数回答)



エ. ケアマネジャーの質の向上における課題

- 「業務多忙のため、研修を受講する時間がない」が最も高く45.1%、次いで「事業所でのOJT（職場内研修）の体制が整っていない」（30.1%）、「地域の課題を把握しきれていない」（26.1%）、「講師、内容、費用などの面で魅力的な研修内容がない」（25.5%）と続いている。

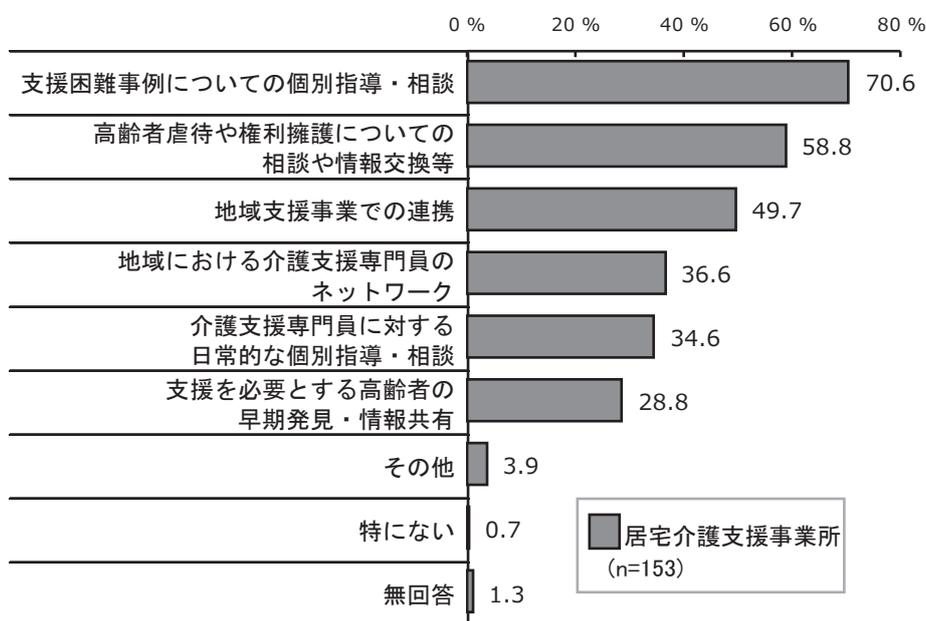
■ケアマネジャーの質の向上における課題（複数回答）



⑤ 高齢者相談センター本所・支所との連携内容

- 「支援困難事例についての個別指導・相談」が最も高く70.6%、次いで「高齢者虐待や権利擁護についての相談や情報交換等」（58.8%）、「地域支援事業での連携」（49.7%）と続いている。

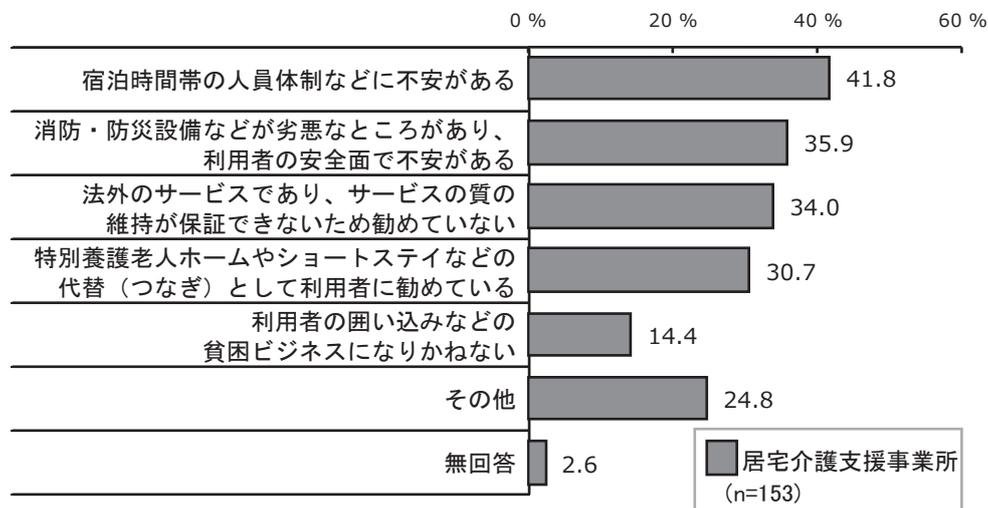
■高齢者相談センター本所・支所との連携内容（複数回答）



⑥ 宿泊デイサービスの考え方

○「宿泊時間帯の人員体制などに不安がある」が最も高く 41.8%、次いで「消防・防災設備などが劣悪なところがあり、利用者の安全面で不安がある」(35.9%)、「法外のサービスであり、サービスの質の維持が保証できないため勧めていない」(34.0%)、「特別養護老人ホームやショートステイなどの代替(つなぎ)として利用者に勧めている」(30.7%)と続いている。

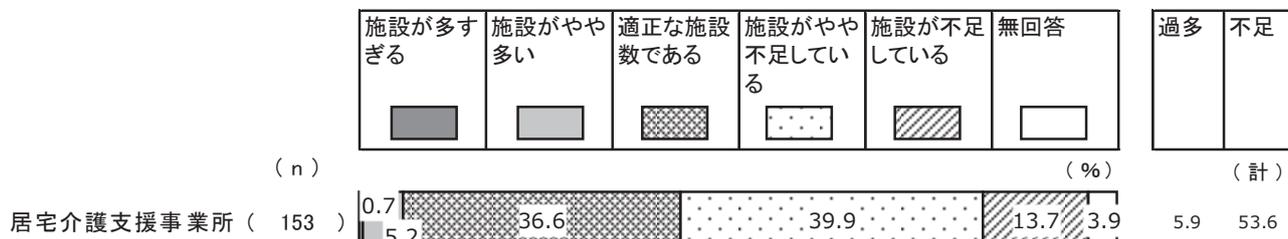
■宿泊デイサービスの考え方(複数回答)



⑦ 認知症高齢者グループホームの需給バランス

○“不足”が 53.6%と“過多”を大きく上回っている。
○「適正な施設数である」は 36.6%となっている。

■認知症高齢者グループホームの需給バランス



【圏域別】

○圏域別にみると、“不足”と回答した事業所は、『石神井圏域』で 30 件となっている。

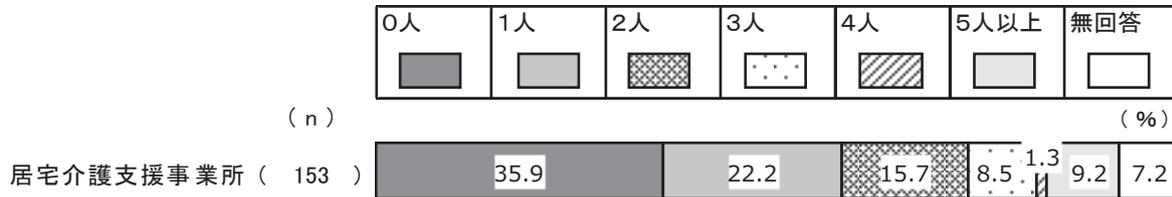
■認知症高齢者グループホームの需給バランス<圏域別>

圏域	n	(件)						(計)	
		施設が多すぎる	施設がやや多い	適正な施設数	施設がやや不足	施設が不足	無回答	過多	不足
居宅介護支援事業所	153	1	8	56	61	21	6	9	82
練馬圏域	36	0	2	19	10	2	3	2	12
光が丘圏域	39	1	2	13	16	6	1	3	22
石神井圏域	47	0	2	14	22	8	1	2	30
大泉圏域	29	0	2	9	12	5	1	2	17

⑧ 認知症による徘徊行動のある人

○利用者のうち認知症による徘徊行動のある人は、「0人」が35.9%、「1人」が22.2%、「2人」が15.7%、「3人」が8.5%、「4人」が1.3%、「5人以上」が9.2%となっている。

■認知症による徘徊行動のある人

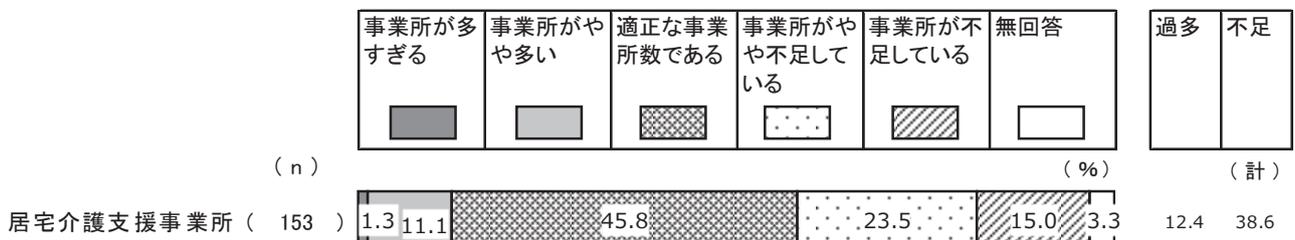


⑨ 訪問看護ステーションの需給バランス

○「適正な事業所数である」が最も高く、45.8%となっている。

○一方、“不足”は38.6%となっている。

■訪問看護ステーションの需給バランス



【圏域別】

○圏域別にみると、『練馬圏域』では「適正な事業所数である」あるいは“過多”と回答した事業所の合計は27件で、適正数以上とする事業所が7割半ばとなっている。

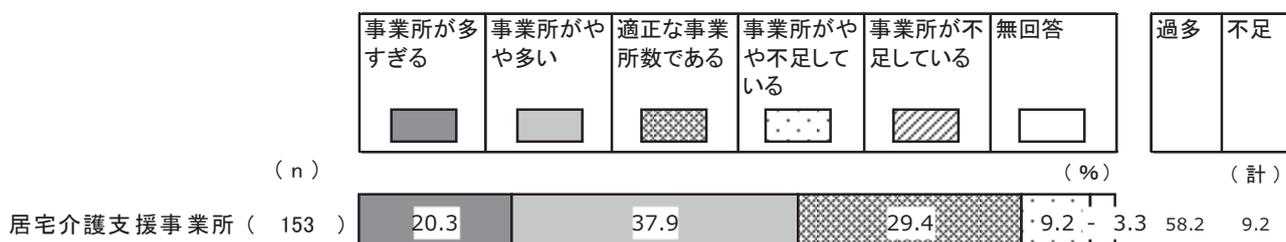
■訪問看護ステーションの需給バランス<圏域別>

	n	(件)						(計)	
		事業所が多すぎる	事業所がやや多い	適正な事業所数である	事業所がやや不足している	事業所が不足している	無回答	過多	不足
居宅介護支援事業所	153	2	17	70	36	23	5	19	59
練馬圏域	36	1	5	21	5	2	2	6	7
光が丘圏域	39	1	4	18	10	5	1	5	15
石神井圏域	47	0	6	18	11	11	1	6	22
大泉圏域	29	0	2	12	9	5	1	2	14

⑩ 通所介護の需給バランス

- “過多” が 58.2% と、“不足” を大きく上回っている。
- 「適正な事業所数である」は、29.4% となっている。

■通所介護の需給バランス



【圏域別】

- 圏域別にみると、いずれの圏域でも「適正な事業所数である」あるいは“過多”と回答した事業所の合計は8割半ば～9割超となっている。

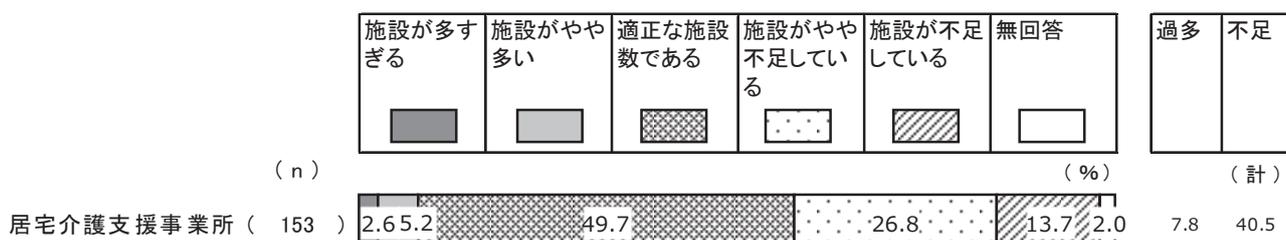
■通所介護の需給バランス<圏域別>

	n	(件)						(計)	
		事業所が多すぎる	事業所がやや多い	適正な事業所数である	事業所がやや不足している	事業所が不足している	無回答	過多	不足
居宅介護支援事業所	153	31	58	45	14	0	5	89	14
練馬圏域	36	8	12	11	3	0	2	20	3
光が丘圏域	39	7	15	11	4	0	2	22	4
石神井圏域	47	9	22	12	3	0	1	31	3
大泉圏域	29	7	8	10	4	0	0	15	4

⑪ ショートステイの需給バランス

- 「適正な施設数である」が最も高く 49.7% となっている。
- 一方、“不足”は 40.5% となっている。

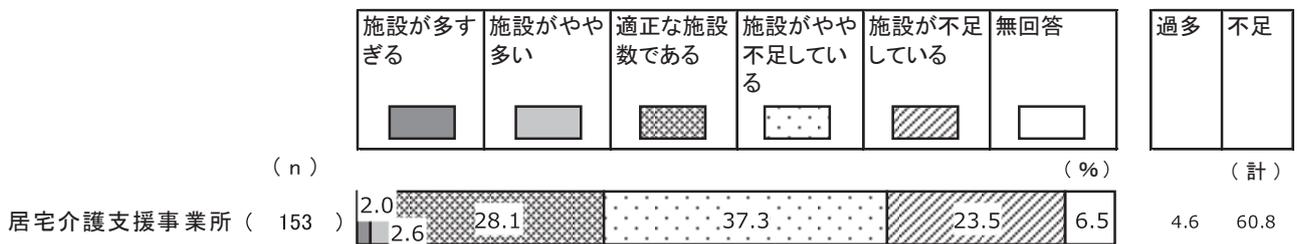
■ショートステイの需給バランス



⑫ 都市型軽費老人ホームの需給バランス

- “不足”が60.8%と、“過多”を大きく上回っている。
- 「適正な施設数である」は28.1%となっている。

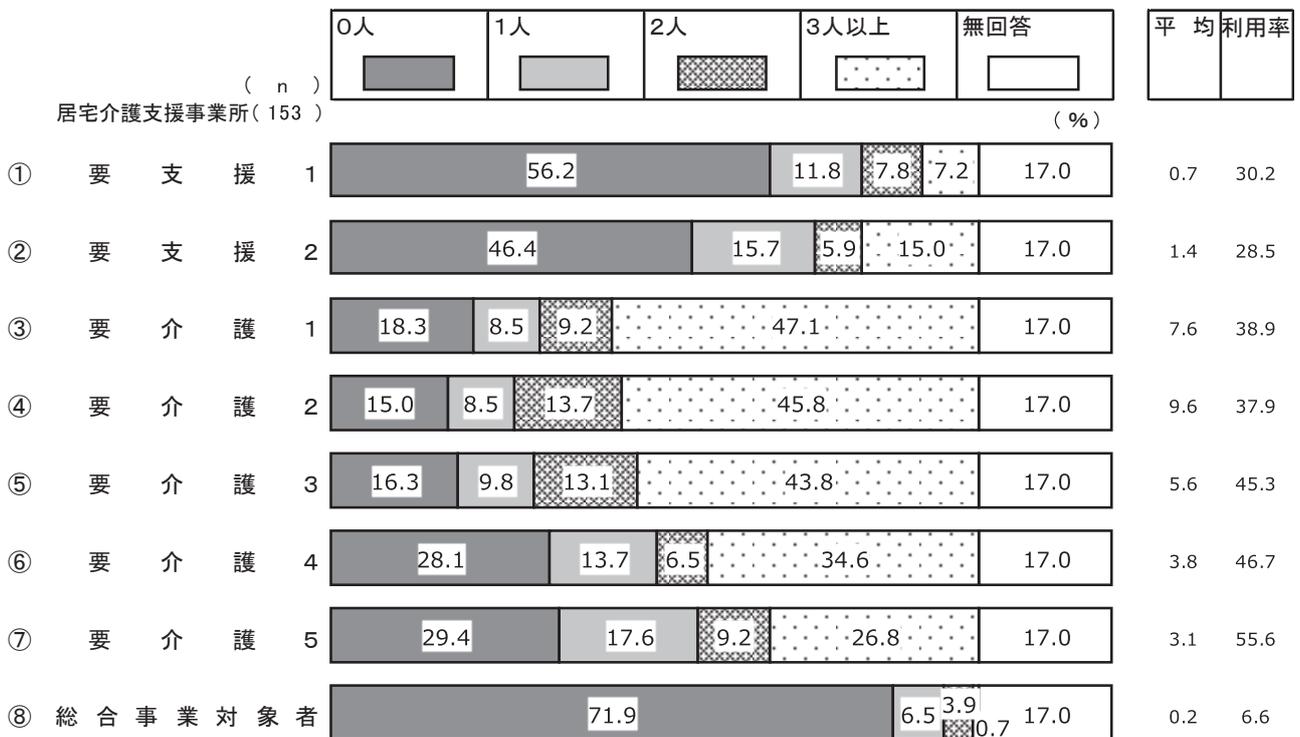
■都市型軽費老人ホームの需給バランス



⑬ 介護保険外サービスの利用状況

- 介護保険外サービスをケアプランに盛り込んでいる利用者は、要支援1、総合事業対象者で「0人」が半数以上となっている。
- 要介護1～3では、「3人以上」が4割を超えている。

■介護保険外サービスの利用状況



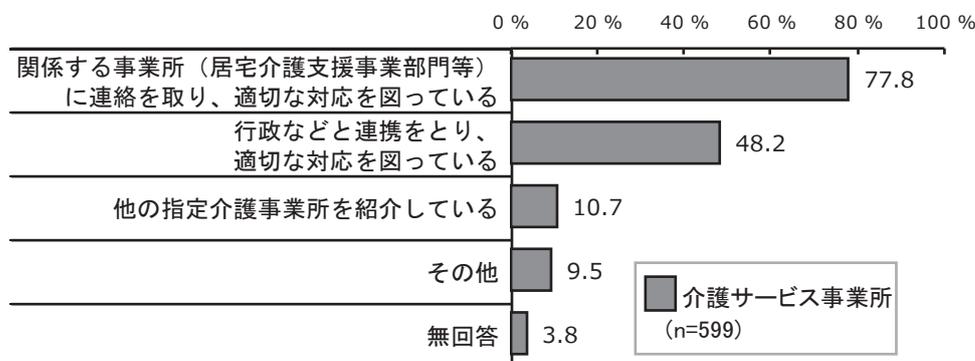
※ 利用率は、「介護保険外サービスをケアプランに盛り込んでいる人数の和」を「利用者数の和」で除して求めた
 ※ 利用率は、介護保険外サービスをケアプランに盛り込んでいる人数と利用者数の2つについて回答のあったサンプルを計算対象として使用したため、利用率のサンプル数は要介護度別に異なる（要支援1・2・要介護2・総合事業対象者は115、要介護1は114、要介護3・4は111、要介護5は113であった）

(5) 苦情対応

① サービス提供困難時の対応

- 「関係する事業所（居宅介護支援事業部門等）に連絡を取り、適切な対応を図っている」が最も高く77.8%、次いで「行政などと連携をとり、適切な対応を図っている」（48.2%）、「他の指定介護事業所を紹介している」（10.7%）と続いている。

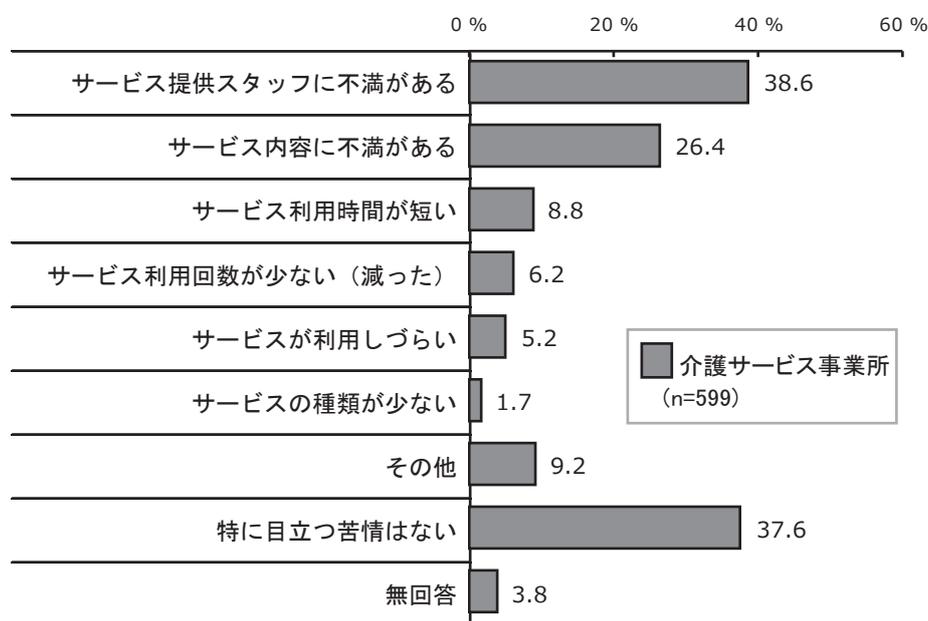
■ サービス提供困難時の対応（複数回答）



② 利用者からの苦情内容

- 「サービス提供スタッフに不満がある」が最も高く38.6%、次いで「サービス内容に不満がある」（26.4%）と続いている。
- 「特に目立つ苦情はない」は37.6%となっている。

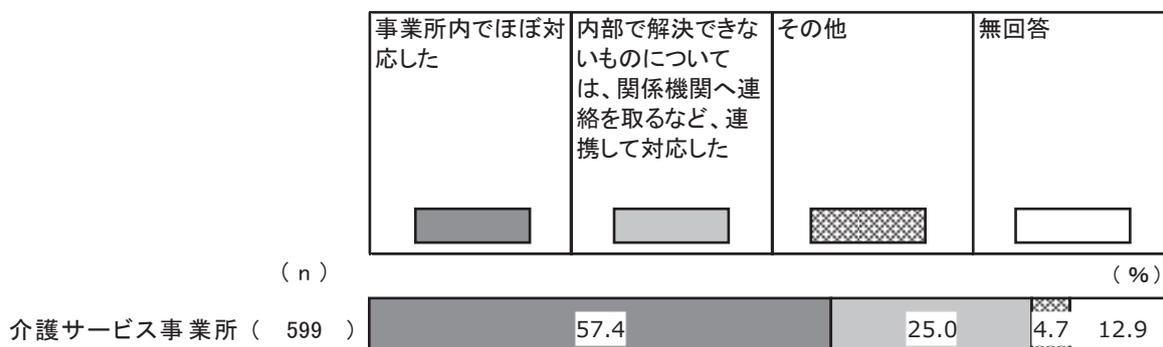
■ 利用者からの苦情内容（〇は3つまで）



③ 寄せられた苦情の対応方法

○「事業所内でほぼ対応した」が57.4%、「内部で解決できないものについては、関係機関へ連絡を取るなど、連携して対応した」が25.0%となっている。

■寄せられた苦情の対応方法



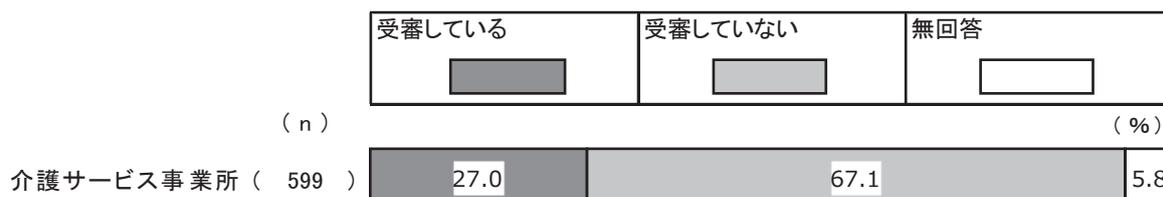
(6) サービスの質の向上

① 第三者評価の受審状況と受審した評価方式

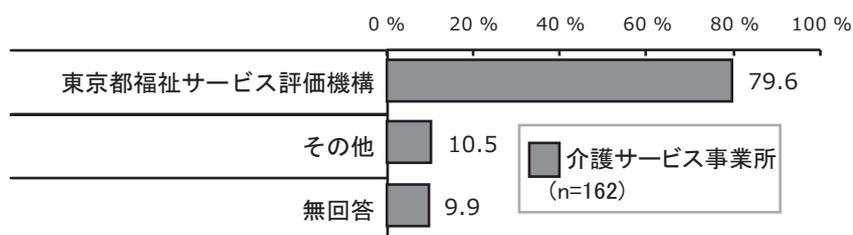
○「受審している」が27.0%、「受審していない」が67.1%となっている。

○受審した評価方式は、「東京都福祉サービス評価機構」が79.6%となっている。

■第三者評価の受審状況

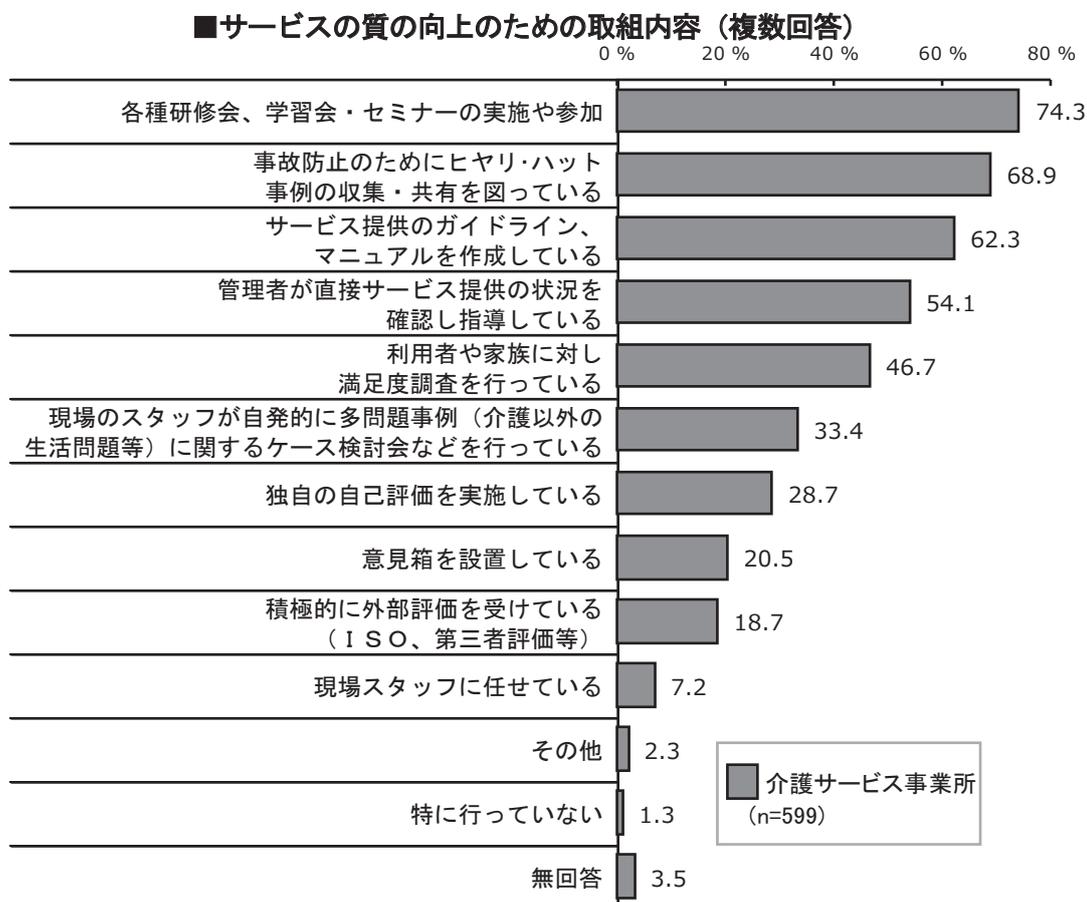


■受審した評価方式 (複数回答)



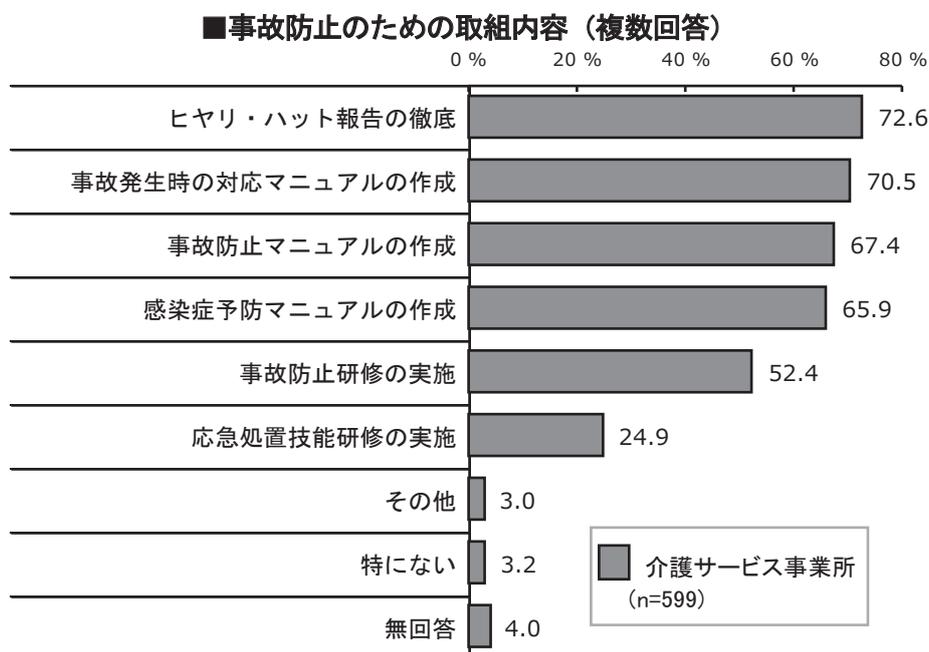
② サービスの質の向上のための取組内容

- 「各種研修会、学習会・セミナーの実施や参加」が最も高く74.3%、次いで「事故防止のためにヒヤリ・ハット事例の収集・共有を図っている」（68.9%）、「サービス提供のガイドライン、マニュアルを作成している」（62.3%）、「管理者が直接サービス提供の状況を確認し指導している」（54.1%）と続いている。



③ 事故防止のための取組内容

- 「ヒヤリ・ハット報告の徹底」が最も高く72.6%、ついで「事故発生時の対応マニュアルの作成」（70.5%）、「事故防止マニュアルの作成」（67.4%）、「感染症予防マニュアルの作成」（65.9%）と続いている。

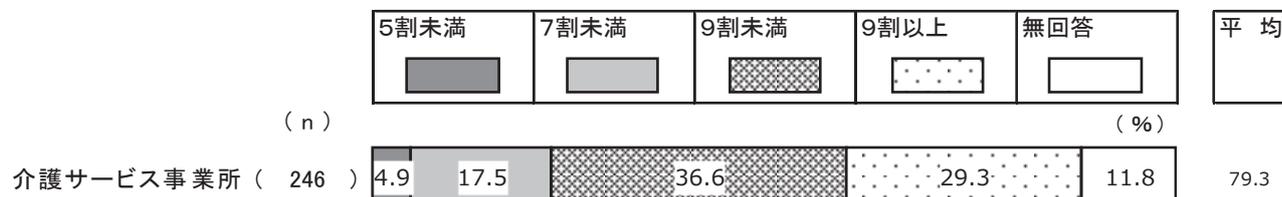


(7) 事業所の運営

① 定員数と稼働状況

○稼働状況は、「5割未満」が4.9%、「7割未満」が17.5%、「9割未満」が36.6%、「9割以上」が29.3%となっている。

■稼働率



※ 「通所介護（総合事業含む）」 「（介護予防）通所リハビリテーション」 「（介護予防）短期入所生活介護」 「（介護予防）短期入所療養介護」 「（介護予防）特定施設入居者生活介護」 「（介護予防）認知症対応型通所介護」 「地域密着型通所介護」 「（介護予防）小規模多機能型居宅介護」 「看護小規模多機能型居宅介護」 「（介護予防）認知症高齢者グループホーム」 「地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護」 「介護老人福祉施設」 「介護老人保健施設」 「介護療養型医療施設」 を対象に集計した

【サービス種別】

○サービス種別にみると、『入所系』は「9割以上」が約6割となっている。

■稼働率<サービス種別>

	n	5割未満	7割未満	9割未満	9割以上	無回答	平均
介護サービス事業所	246	4.9	17.5	36.6	29.3	11.8	79.3
通所系	128	4.7	22.7	50.0	13.3	9.4	75.7
入所系	50	2.0	4.0	16.0	58.0	20.0	89.9
地域密着型サービス	41	12.2	17.1	19.5	41.5	9.8	77.5
特定施設入居者生活介護	27	-	18.5	37.0	33.3	11.1	81.4

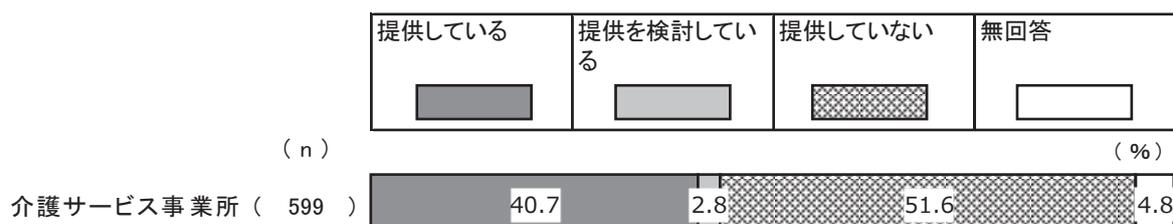
※ 「通所介護（総合事業含む）」 「（介護予防）通所リハビリテーション」 「（介護予防）短期入所生活介護」 「（介護予防）短期入所療養介護」 「（介護予防）特定施設入居者生活介護」 「（介護予防）認知症対応型通所介護」 「地域密着型通所介護」 「（介護予防）小規模多機能型居宅介護」 「看護小規模多機能型居宅介護」 「（介護予防）認知症高齢者グループホーム」 「地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護」 「介護老人福祉施設」 「介護老人保健施設」 「介護療養型医療施設」 を対象に集計した

② 介護保険外サービスの提供状況

ア. 提供状況

○介護保険外サービスについて、「提供している」は40.7%、「提供を検討している」は2.8%、「提供していない」は51.6%となっている。

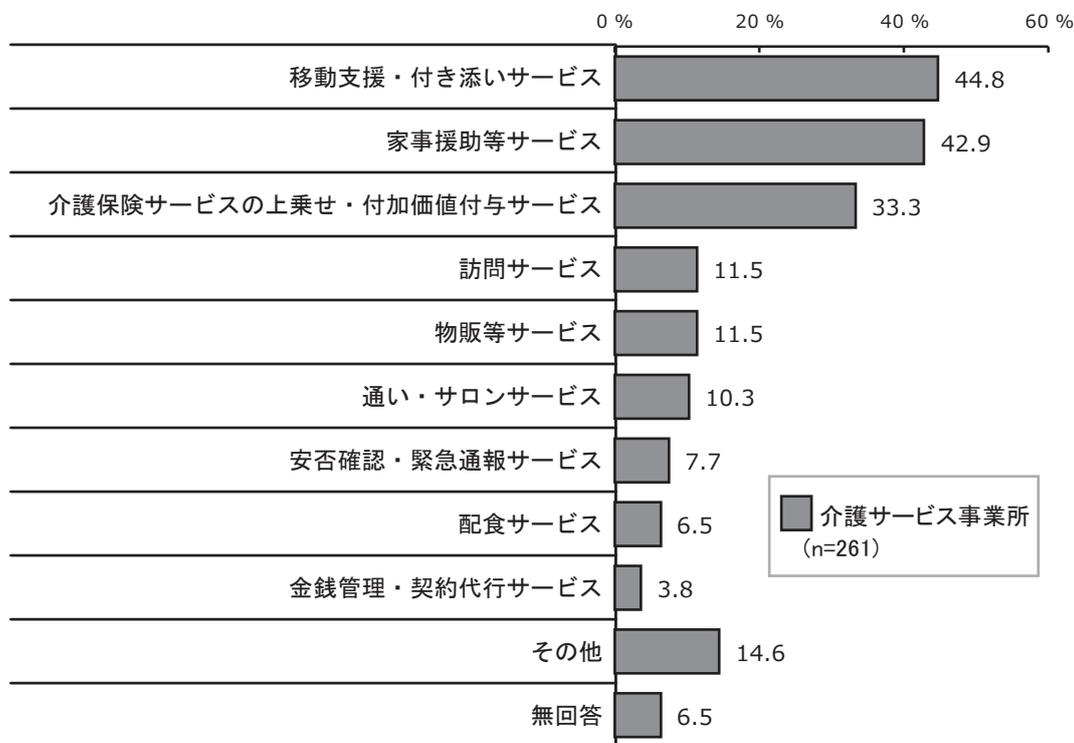
■介護保険外サービスの提供状況



イ. 提供または提供を検討しているサービス

○介護保険外サービスを「提供している」「提供を検討している」と回答した事業所が提供または提供を検討しているサービスは、「移動支援・付き添いサービス」が最も高く44.8%、次いで「家事援助等サービス」（42.9%）、「介護保険サービスの上乗せ・付加価値付与サービス」（33.3%）と続いている。

■提供または提供を検討しているサービス（複数回答）

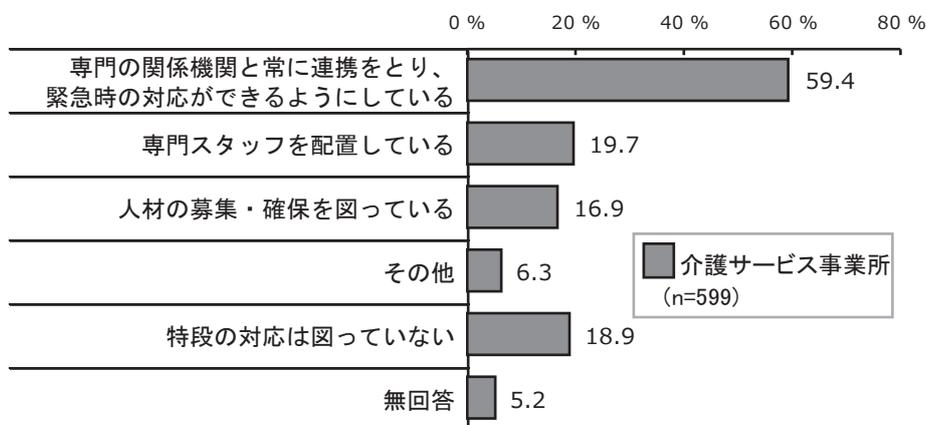


③ 要医療、認知症、障害等を有する利用者への対応

○「専門の関係機関と常に連携をとり、緊急時の対応ができるようにしている」が最も高く59.4%、次いで「専門スタッフを配置している」（19.7%）、「人材の募集・確保を図っている」（16.9%）と続いている。

○「特段の対応は図っていない」は18.9%となっている。

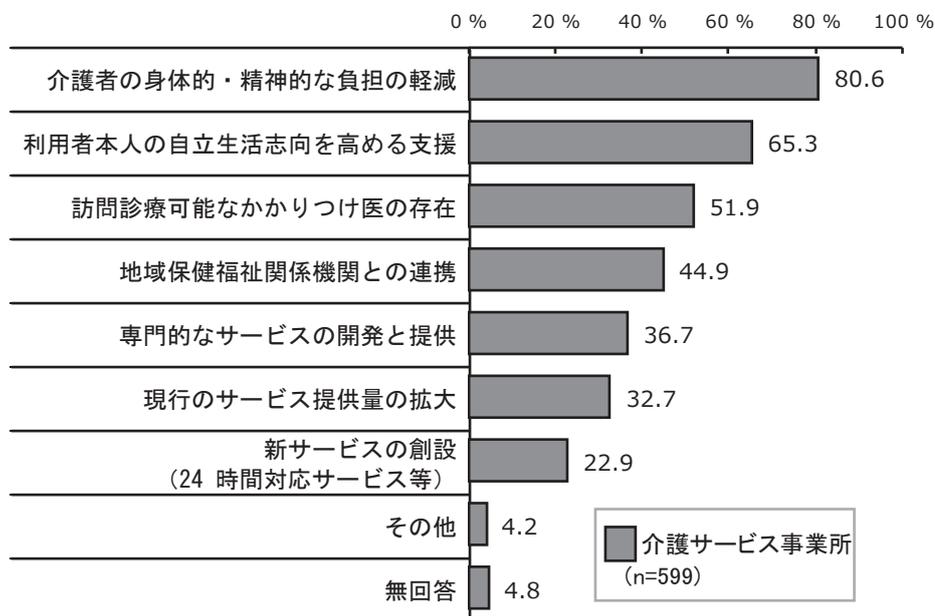
■要医療、認知症、障害等を有する利用者への対応（複数回答）



④ 要介護者が在宅生活を継続するための必要な条件

○「介護者の身体的・精神的な負担の軽減」が最も高く 80.6%、次いで「利用者本人の自立生活志向を高める支援」(65.3%)、「訪問診療可能なかかりつけ医の存在」(51.9%)、「地域保健福祉関係機関との連携」(44.9%)と続いている。

■要介護者が在宅生活を継続するための必要な条件（複数回答）

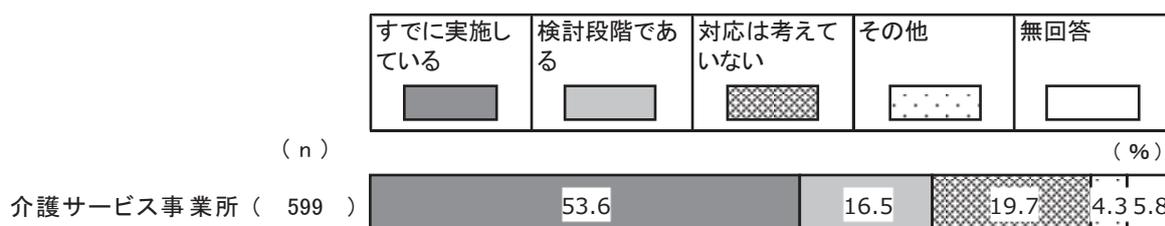


⑤ 事業所におけるターミナルケアへの対応

ア. ターミナルケアへの対応状況

○「すでに実施している」は 53.6%、「検討段階である」は 16.5%、「対応は考えていない」は 19.7%となっている。

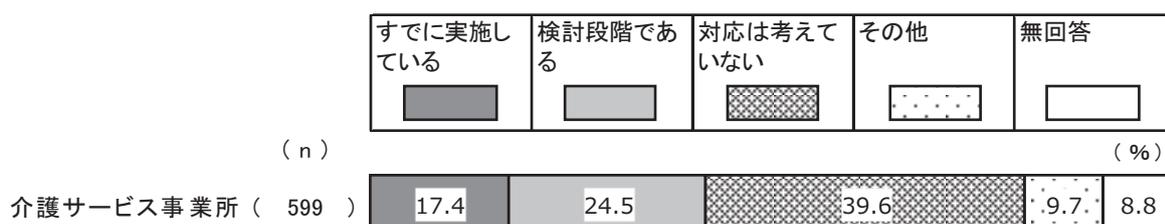
■ターミナルケアへの対応状況



イ. 介護職員によるたん吸引等の医療的ケアへの対応状況

○「すでに実施している」は 17.4%、「検討段階である」は 24.5%、「対応は考えていない」は 39.6%となっている。

■介護職員によるたん吸引等の医療的ケアへの対応状況

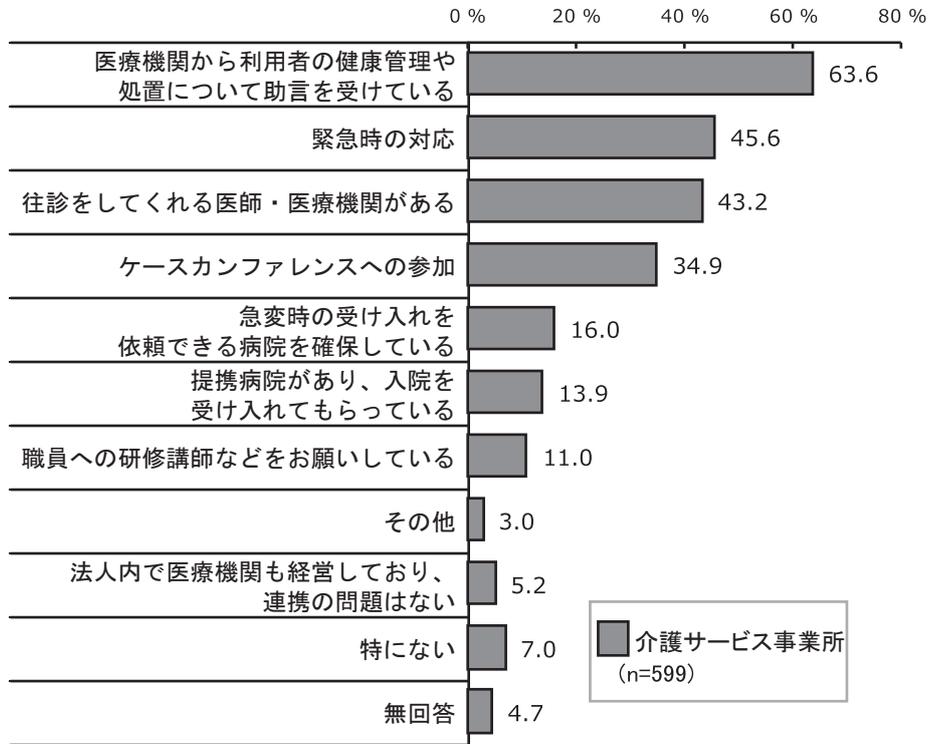


⑥ 医療機関との連携

ア. 医療機関との連携で取り組んでいること

○「医療機関から利用者の健康管理や処置について助言を受けている」が最も高く 63.6%、次いで「緊急時の対応」(45.6%)、「往診をしてくれる医師・医療機関がある」(43.2%)、「ケースカンファレンスへの参加」(34.9%)と続いている。

■医療機関との連携で取り組んでいること（複数回答）



【サービス種別】

○サービス種別にみると、全体（介護サービス事業所）と同様に、『居宅介護支援』『訪問系』で「医療機関から利用者の健康管理や処置について助言を受けている」「緊急時の対応」「往診をしてくれる医師・医療機関がある」「ケースカンファレンスへの参加」が上位に挙げられている。

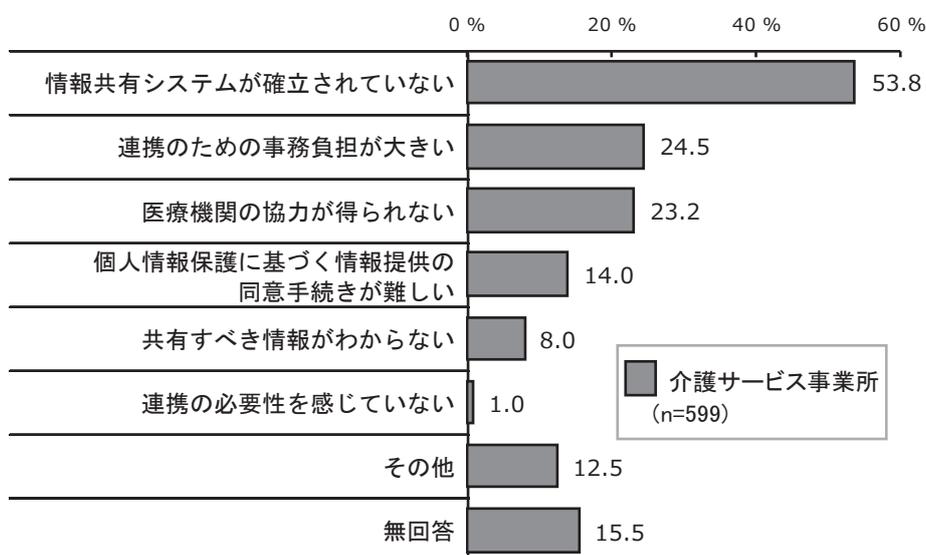
■医療機関との連携で取り組んでいること（複数回答）＜サービス種別＞

	n	医療機関から利用者の健康管理や処置について助言を受けている (%)	緊急時の対応 (%)	往診をしてくれる医師・医療機関がある (%)	ケースカンファレンスへの参加 (%)	急変時の受け入れを依頼できる病院を確保している (%)	提携病院があり、入院を受け入れてもらっている (%)	職員への研修講師などをお願いしている (%)	その他 (%)	法人内で、医療機関も経営している (%)	特になし (%)	無回答 (%)
介護サービス事業所	599	63.6	45.6	43.2	34.9	16.0	13.9	11.0	3.0	5.2	7.0	4.7
居宅介護支援	153	70.6	30.7	57.5	45.8	11.1	3.3	7.2	1.3	3.9	2.6	9.8
訪問系	144	68.8	50.7	40.3	42.4	13.9	5.6	13.2	2.1	4.2	6.3	3.5
通所系	128	45.3	50.0	12.5	20.3	7.8	4.7	8.6	6.3	4.7	15.6	1.6
入所系	50	64.0	56.0	60.0	28.0	36.0	62.0	18.0	-	4.0	2.0	4.0
地域密着型サービス	45	86.7	55.6	60.0	24.4	26.7	20.0	17.8	8.9	13.3	-	-
福祉用具貸与・販売	30	33.3	16.7	10.0	43.3	6.7	6.7	6.7	3.3	6.7	23.3	10.0
特定施設入居者生活介護	27	96.3	81.5	100.0	33.3	29.6	44.4	14.8	-	3.7	-	-

イ. 医療機関との連携を進める上での課題

○「情報共有システムが確立されていない」が最も高く 53.8%、次いで「連携のための事務負担が大きい」(24.5%)、「医療機関の協力が得られない」(23.2%)と続いている。

■医療機関との連携を進める上での課題（複数回答）

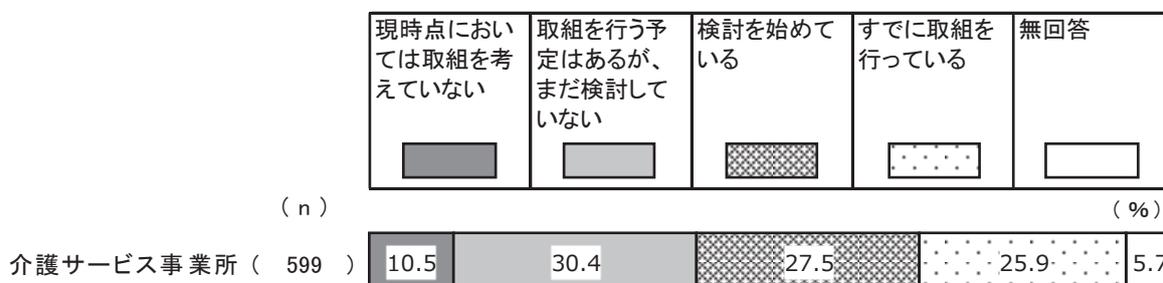


⑦ 大規模災害発生時における利用者の安否確認

ア. 大規模災害発生時における利用者の安否確認の取組状況

○「現時点においては取組を考えていない」は 10.5%、「取組を行う予定はあるが、まだ検討していない」は 30.4%、「検討を始めている」は 27.5%、「すでに取組を行っている」は 25.9%となっている。

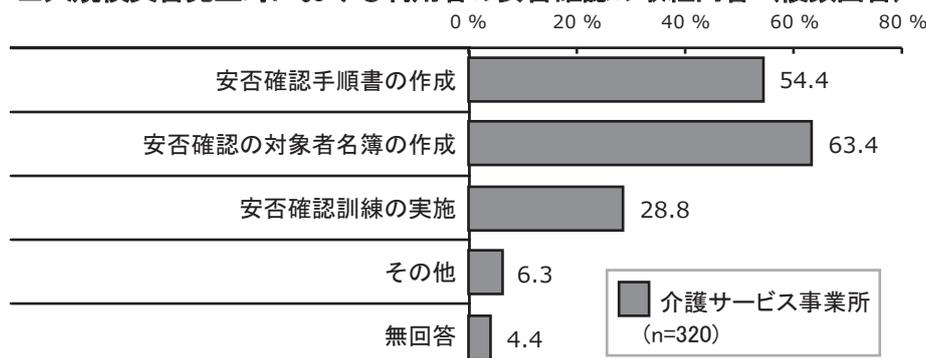
■大規模災害発生時における利用者の安否確認の取組状況



イ. 大規模災害発生時における利用者の安否確認の取組内容

○「検討を始めている」「すでに取組を行っている」と回答した事業所の取組内容は、「安否確認手順書の作成」が 54.4%、「安否確認の対象者名簿の作成」が 63.4%、「安否確認訓練の実施」が 28.8%となっている。

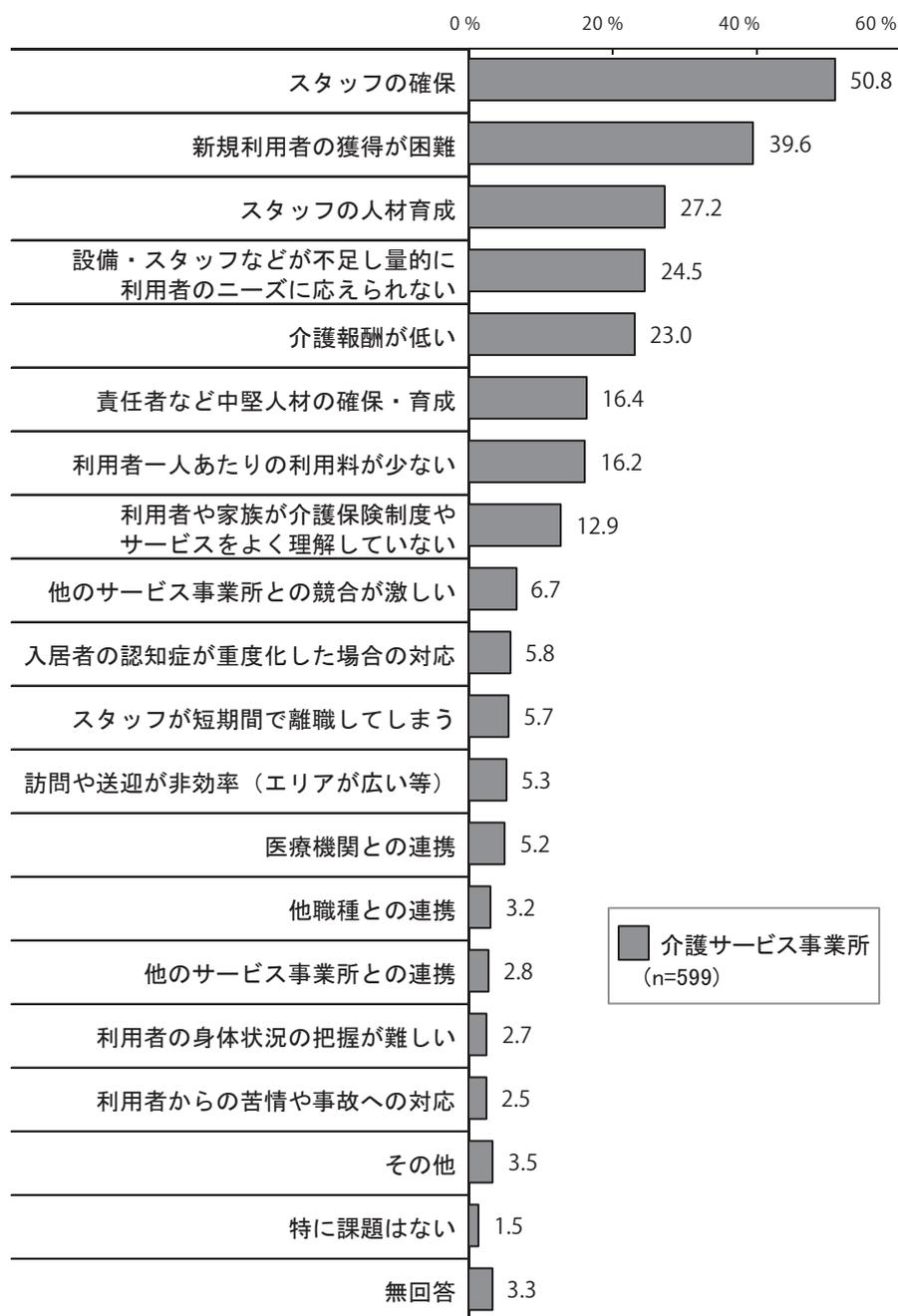
■大規模災害発生時における利用者の安否確認の取組内容（複数回答）



⑧ 事業を運営する上での課題

○「スタッフの確保」が最も高く50.8%、次いで「新規利用者の獲得が困難」(39.6%)、「スタッフの人材育成」(27.2%)、「設備・スタッフなどが不足し量的に利用者のニーズに応えられない」(24.5%)、「介護報酬が低い」(23.0%)と続いている。

■事業を運営する上での課題 (〇は3つまで)



【サービス種別】

○サービス種別にみると、『訪問系』『入所系』で「スタッフの確保」が約7割となっている。

■事業を運営する上での課題（〇は3つまで）＜サービス種別＞

	(%)							
	介護サービス事業所	居宅介護支援	訪問系	通所系	入所系	地域密着型サービス	福祉用具貸与・販売	特定施設入居者生活介護
(n)	599	153	144	128	50	45	30	27
スタッフの確保	50.8	28.1	70.8	47.7	70.0	55.6	23.3	66.7
新規利用者の獲得が困難	39.6	45.1	35.4	42.2	18.0	37.8	46.7	63.0
スタッフの人材育成	27.2	21.6	22.2	29.7	44.0	31.1	26.7	33.3
設備・スタッフなどが不足し量的に利用者のニーズに応えられない	24.5	7.8	31.9	27.3	40.0	28.9	10.0	37.0
介護報酬が低い	23.0	26.8	25.0	27.3	14.0	24.4	3.3	7.4
責任者など中堅人材の確保・育成	16.4	10.5	20.8	16.4	20.0	11.1	13.3	14.8
利用者1人あたりの利用料が少ない	16.2	16.3	16.0	22.7	10.0	8.9	20.0	-
利用者や家族が介護保険制度やサービスをよく理解していない	12.9	22.2	10.4	11.7	4.0	8.9	13.3	7.4
他のサービス事業所との競合が激しい	6.7	2.6	1.4	10.2	8.0	4.4	30.0	3.7
入居者の認知症が重度化した場合の対応	5.8	1.3	2.8	4.7	14.0	22.2	3.3	14.8
スタッフが短期間で離職してしまう	5.7	4.6	6.3	3.1	14.0	8.9	3.3	7.4
訪問や送迎が非効率(エリアが広い等)	5.3	3.3	7.6	7.8	4.0	8.9	-	-
医療機関との連携	5.2	9.8	1.4	4.7	8.0	4.4	6.7	-
他職種との連携	3.2	4.6	1.4	3.1	4.0	2.2	6.7	3.7
他のサービス事業所との連携	2.8	2.6	4.2	2.3	2.0	2.2	6.7	-
利用者の身体状況の把握が難しい	2.7	3.3	-	4.7	-	6.7	6.7	-
利用者からの苦情や事故への対応	2.5	2.0	-	4.7	6.0	4.4	-	3.7
その他	3.5	5.9	2.8	2.3	2.0	4.4	3.3	-
特に課題はない	1.5	2.6	0.7	-	-	2.2	10.0	-
無回答	3.3	6.5	2.8	0.8	4.0	-	3.3	-

【経年比較】

○平成 25 年度調査結果と比較すると、平成 25 年度、平成 28 年度ともに「スタッフの確保」が最も高く、平成 28 年度は約 5 割とポイントがあがっている。

■事業を運営する上での課題（○は3つまで）＜経年比較＞

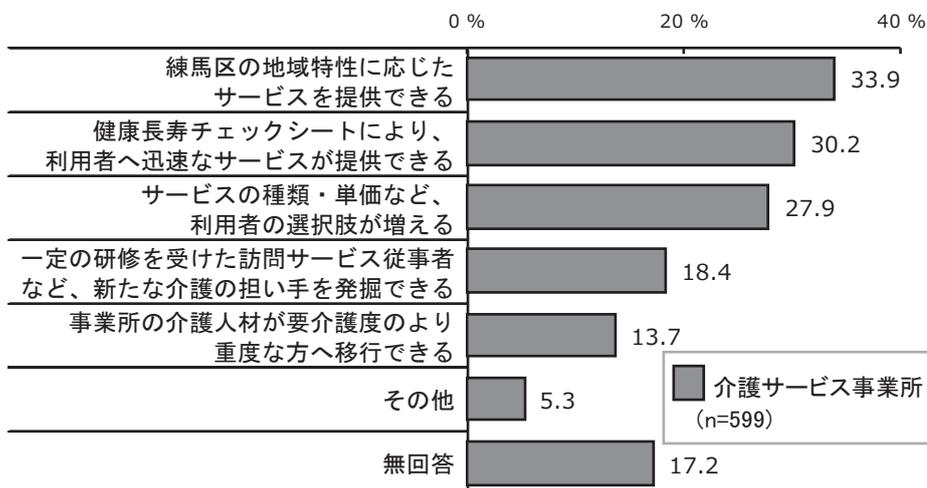
	(%)	
	平成 28年度	平成 25年度
(n)	599	656
スタッフの確保	50.8	42.2
新規利用者の獲得が困難	39.6	39.9
スタッフの人材育成	27.2	27.9
設備・スタッフなどが不足し量的に利用者のニーズに応えられない	24.5	20.1
介護報酬が低い	23.0	22.1
責任者など中堅人材の確保・育成	16.4	17.4
利用者1人あたりの利用料が少ない	16.2	13.3
利用者や家族が介護保険制度やサービスをよく理解していない	12.9	18.9
他のサービス事業所との競合が激しい	6.7	8.1
入居者の認知症が重度化した場合の対応	5.8	7.6
スタッフが短期間で離職してしまう	5.7	4.4
訪問や送迎が非効率(エリアが広い等)	5.3	7.2
医療機関との連携	5.2	10.5
他職種との連携	3.2	4.7
他のサービス事業所との連携	2.8	4.3
利用者の身体状況の把握が難しい	2.7	3.2
利用者からの苦情や事故への対応	2.5	4.6
その他	3.5	2.4
特に課題はない	1.5	0.8
無回答	3.3	2.3

(8) 新しい総合事業

① 新しい総合事業に期待する効果

- 「練馬区の地域特性に応じたサービスを提供できる」が最も高く 33.9%、次いで「健康長寿チェックシートにより、利用者へ迅速なサービスが提供できる」(30.2%)、「サービスの種類・単価など、利用者の選択肢が増える」(27.9%)と続いている。

■新しい総合事業に期待する効果（複数回答）



② 今後、練馬区が充実を図っていくべき主な多様なサービス（自由回答）

(家事代行・生活支援・買い物支援等)

- ・現在、介護保険ではできないサービス（衣替え、大そうじ、庭のそうじ等）。[居宅介護支援]
- ・買い物代行サービス。デイやショートで抱えているドライバー等が利用者宅に伺い、スーパーで降ろして1時間後くらいに迎えに行く。[通所介護]
- ・独居の高齢者が多いことから、ちょっとした安否確認等でも家族は安心できると思う。[小規模多機能型居宅介護]
- ・緊急通報システムサービスの普及（訪看の24時間対応だけでは対応できない事例もある）。[訪問看護]
- ・「食」の充実。おいしい食事が楽しめる場があると良い。地元の野菜を利用し、昔ながらの和食や漬物、汁物等、若い人が教えてもらえる場がほしい。[居宅介護支援]

(運動・介護予防（生きがい・役割づくり）・社会参加、認知症予防)

- ・高齢者一人ひとりの地域での役割づくり、社会参加型サービスの充実。[短期入所生活介護]
- ・いきがいデイサービス、認知症カフェ等、地域の至るところに誰でも歩いて行ける場所に気兼ねなく参加ができる場があり、社会とつながった生活が送れる環境の構築（孤独にならない環境）。[特定施設入居者生活介護]
- ・認知症の利用者が増えているなか、金銭管理ができない人が増えている。社会福祉協議会「ほっとサポート」はあるが、手続きに時間を要し早急な対応と、入り口のハードルが高くサービス導入が困難になっているため何とかしてほしい。[居宅介護支援]
- ・話相手やちょっとしたショッピングに付き合う等、本人が楽しく過ごして精神面、身体機能を向上させるようなこと。[居宅介護支援]

(その他のサービス)

- ・服薬確認等、ピンポイントで毎日行う必要のあるケアや方法の確保。団地や密集した住宅環境で効率的に訪問できるシステムと人材確保。[訪問介護]
- ・総合事業の対象者も、家族の精神的負担は大きいため、レスパイト型のサービスも必要。[通所介護]
- ・必要な時に必要なサービスの提供（ピンポイントでの対応）。[訪問介護]
- ・在宅での生活が（希望すれば）継続できるような、本人・家族を含めたサービスの充実。[訪問介護]

- ・日本人特有の他人に迷惑をかけたくないという気持ちのため、孤立している高齢者が多い。今後、相談する窓口の多様化が必要。[居宅介護支援]

(多様なサービスの充実にあたって必要なこと)

- ・通所の非営業日に、サロン・交流会場として開放できるようにすれば、地域資源の有効利用が可能となる。[地域密着型通所介護]
- ・まずは地域と連携し、練馬区が地域とつながりを持たなければ総合事業として機能しない。多様なサービスはそこから発掘される。[通所介護]
- ・民生委員と協力体制を築き、地域の高齢者を把握（今以上に）するためのきめ細かいネットワークサービス。[介護老人福祉施設]
- ・サービスが充実してもサービス自体を知らない人が多い。全ての人にサービスの周知ができる対策が先に必要だと思う。[居宅介護支援]
- ・サービス提供の必要があるにも関わらず、金銭的あるいは人との関わりを嫌うような人たちの掘り起こし、積極的な介入等。[訪問看護]
- ・予防、総合事業のプランをきちんと支所で持てるよう、プランナーなどを充実してほしい。[居宅介護支援]
- ・介護事業という枠に捉われるのではなく、医療・教育等の分野とも情報共有を密にすることで、区民全体が活性化し、自主的に介護予防や認知症の理解に努めることのできるシステムを築けるのではないか。[地域密着型通所介護]
- ・多様なサービスを考える前に、ケアマネが地域のインフォーマルサービスを知る仕組みを構築することの方が優先だと思う。[居宅介護支援]

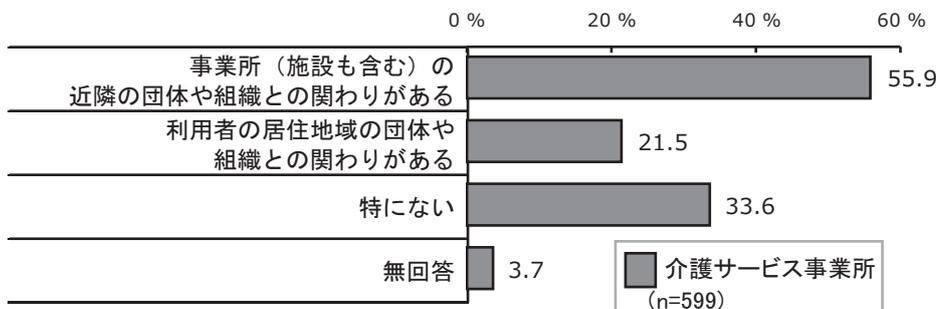
(9) 地域との関わり

① 地域の各種団体や組織との関わり

ア. 地域の各種団体や組織との関わりの有無

- 「事業所（施設も含む）の近隣の団体や組織との関わりがある」が 55.9%、「利用者の居住地の団体や組織との関わりがある」が 21.5%となっている。
- 「特にない」は 33.6%となっている。

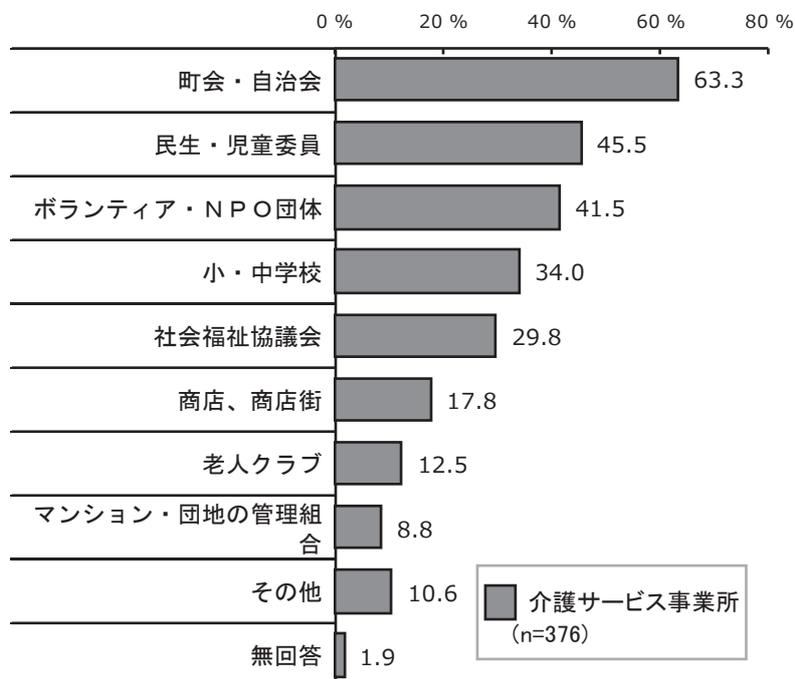
■地域の各種団体や組織との関わりの有無（複数回答）



イ. 関わりがある地域の各種団体や組織

- 地域の各種団体や組織との関わりがあると回答した事業所の関わりがある各種団体・組織は、「町会・自治会」が最も高く 63.3%、次いで「民生・児童委員」（45.5%）、「ボランティア・NPO 団体」（41.5%）、「小・中学校」（34.0%）、「社会福祉協議会」（29.8%）と続いている。

■関わりがある地域の各種団体や組織（複数回答）



【経年比較】

○平成 25 年度調査結果と比較すると、平成 25 年度、平成 28 年度ともに「町会・自治会」が最も高く、平成 28 年度はさらにポイントが上がっている。

■関わりがある地域の各種団体や組織（複数回答）＜経年比較＞

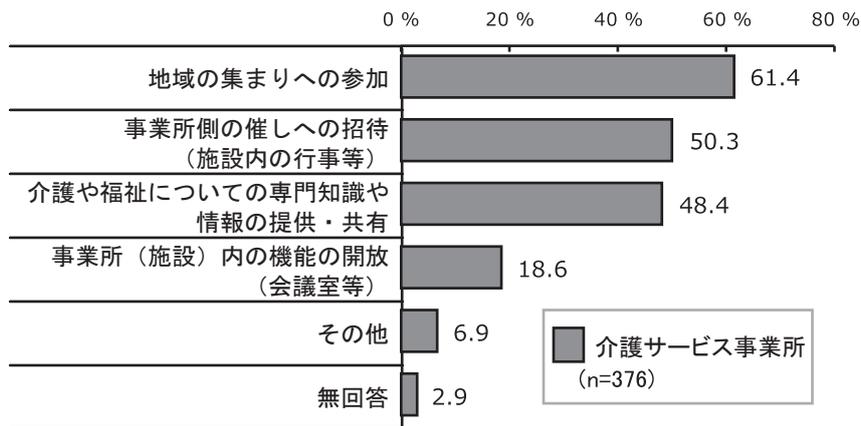
	n	町会・自治会	民生・児童委員	NPOボランティア・団体	小・中学校	社会福祉協議会	商店、商店街	老人クラブ	地の管理組合・団	その他	無回答
平成28年度	376	63.3	45.5	41.5	34.0	29.8	17.8	12.5	8.8	10.6	1.9
平成25年度	414	53.4	45.2	43.2	24.9	30.4	18.6	9.9	6.0	13.0	1.2

※ 平成 25 年度は、「民生委員」として聞いている

ウ. 地域の各種団体や組織との関わりの内容

○地域の各種団体や組織との関わりがあると回答した事業所の関わりの内容は、「地域の集まりへの参加」が最も高く 61.4%、次いで「事業所側の催しへの招待（施設内の行事等）」（50.3%）、「介護や福祉についての専門知識や情報の提供・共有」（48.4%）、「事業所（施設）内の機能の開放（会議室等）」（18.6%）と続いている。

■地域の各種団体や組織との関わりの内容（複数回答）



② ボランティアの受け入れ状況

ア. ボランティアの人数

- ボランティアの人数は、区全体で約4,000人、そのうち高齢者のボランティアは約1,600人となっている。
- 『入所系』、『通所系』でのボランティア活用が進んでいる。

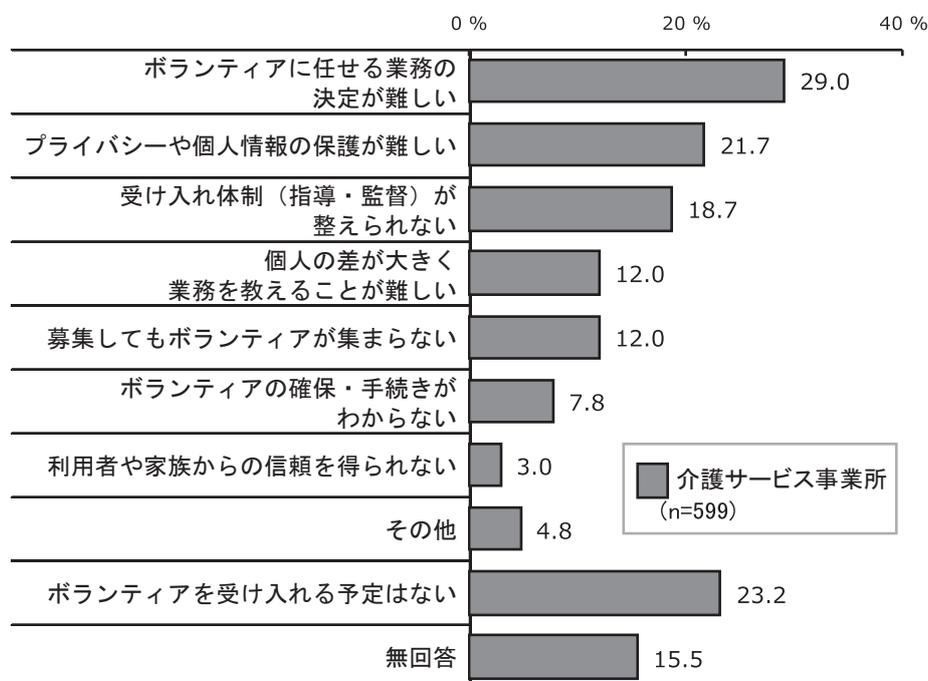
■ボランティアの人数

	n	ボランティア人数 (%)					実数 (人)	
		0人	5人未満	20人未満	20人以上	無回答	合計	うち高齢者
介護サービス事業所	599	56.8	8.3	10.5	9.0	15.4	3945.5	1572.0
居宅介護支援	153	71.9	1.3	2.0	0.7	24.2	48.0	27.5
訪問系	144	79.9	2.8	1.4	0.7	15.3	82.0	53
通所系	128	42.2	20.3	17.2	14.1	6.3	1909.0	488
入所系	50	8.0	4.0	28.0	40.0	20.0	1049.0	704.5
地域密着型サービス	45	24.4	24.4	28.9	15.6	6.7	576.0	220
福祉用具貸与・販売	30	80.0	-	-	-	20.0	-	-
特定施設入居者生活介護	27	48.1	11.1	18.5	14.8	7.4	140.5	38

イ. ボランティアを受け入れる際の課題

- 「ボランティアに任せる業務の決定が難しい」が最も高く29.0%、次いで「プライバシーや個人情報の保護が難しい」(21.7%)、「受け入れ体制(指導・監督)が整えられない」(18.7%)、「個人の差が大きく業務を教えることが難しい」「募集してもボランティアが集まらない」(ともに12.0%)と続いている。
- 「ボランティアを受け入れる予定はない」は23.2%となっている。

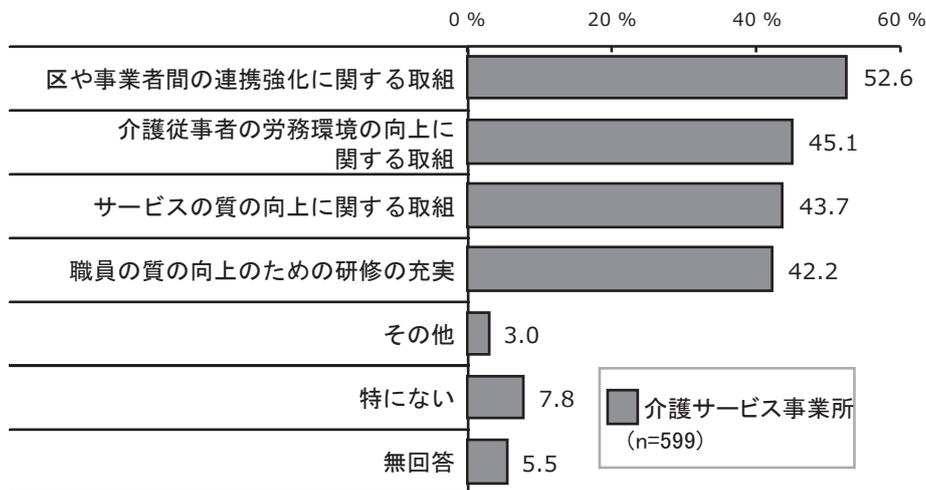
■ボランティアを受け入れる際の課題 (○は3つまで)



③ 練馬区介護サービス事業者連絡協議会に期待すること

○「区や事業者間の連携強化に関する取組」が最も高く52.6%、次いで「介護従事者の労務環境の向上に関する取組」（45.1%）、「サービスの質の向上に関する取組」（43.7%）、「職員の質の向上のための研修の充実」（42.2%）と続いている。

■練馬区介護サービス事業者連絡協議会に期待すること（複数回答）

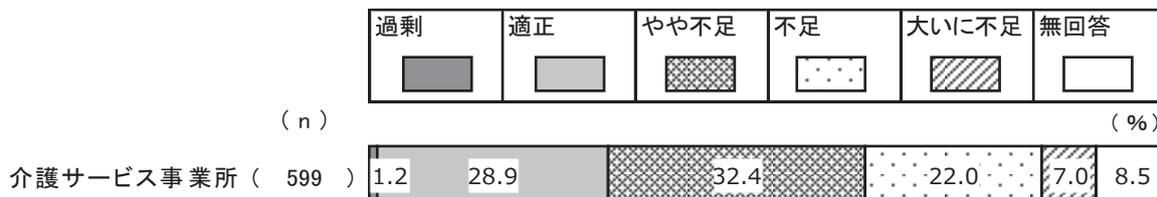


(10) 人材の確保・育成

① 職員の過不足の状況

○職員の状況について、「過剰」は1.2%、「適正」は28.9%、「やや不足」は32.4%、「不足」は22.0%、「大いに不足」は7.0%となっている。

■職員の過不足の状況



【サービス種別】

○サービス種別にみると、『訪問系』は「やや不足」「不足」「大いに不足」の合計が8割を超えている。『居宅介護支援』では「適正」が5割近くとなっている。

■職員の過不足の状況<サービス種別>

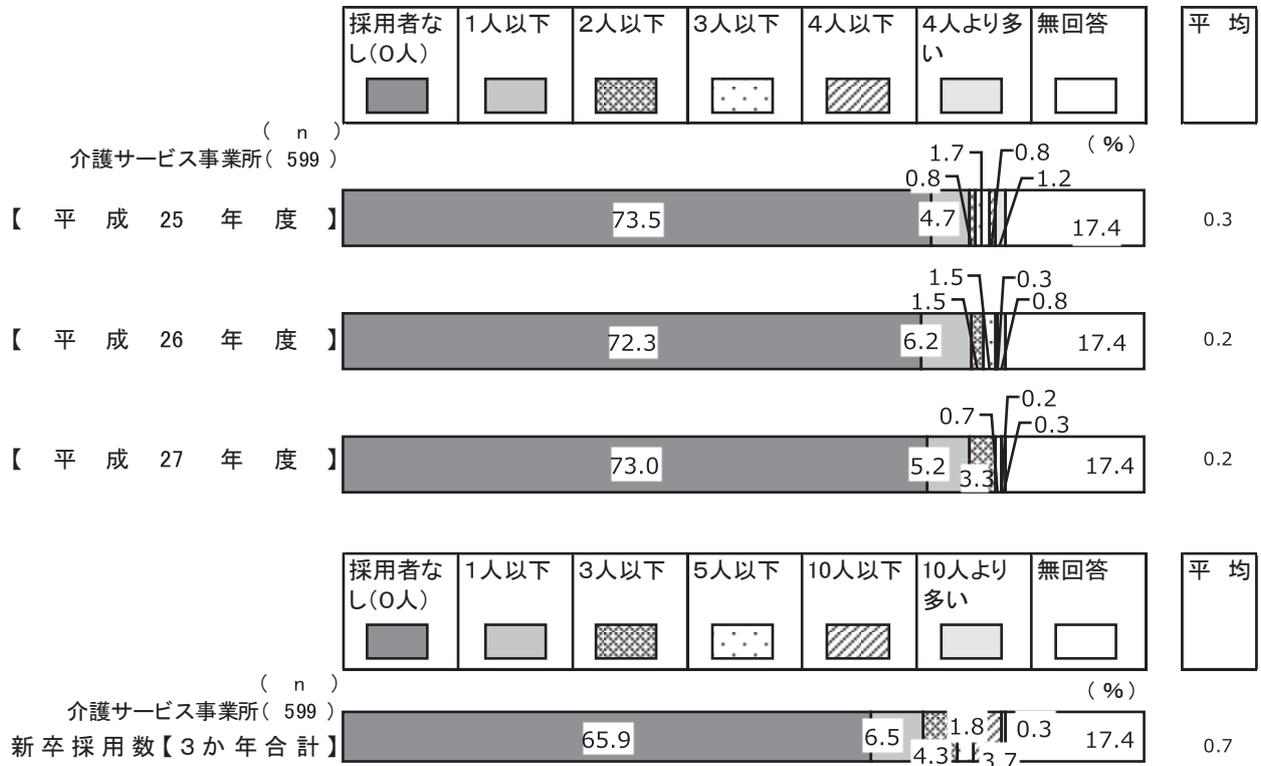
	n	過剰 (%)	適正 (%)	やや不足 (%)	不足 (%)	大いに不足 (%)	無回答 (%)
介護サービス事業所	599	1.2	28.9	32.4	22.0	7.0	8.5
居宅介護支援	153	2.0	47.1	20.9	13.1	3.3	13.7
訪問系	144	-	10.4	29.2	36.1	16.0	8.3
通所系	128	2.3	31.3	41.4	17.2	2.3	5.5
入所系	50	-	20.0	32.0	34.0	8.0	6.0
地域密着型サービス	45	2.2	15.6	46.7	22.2	8.9	4.4
福祉用具貸与・販売	30	-	46.7	30.0	10.0	3.3	10.0
特定施設入居者生活介護	27	-	33.3	37.0	22.2	7.4	-

② 過去3年間の採用者数と離職者数

ア. 新卒採用数

○平成25～27年度の3か年の新卒採用数は、「採用者なし(0人)」が65.9%、「1人以下」が6.5%、「3人以下」が4.3%、「5人以下」が1.8%、「10人以下」が3.7%、「10人より多い」が0.3%となっている。

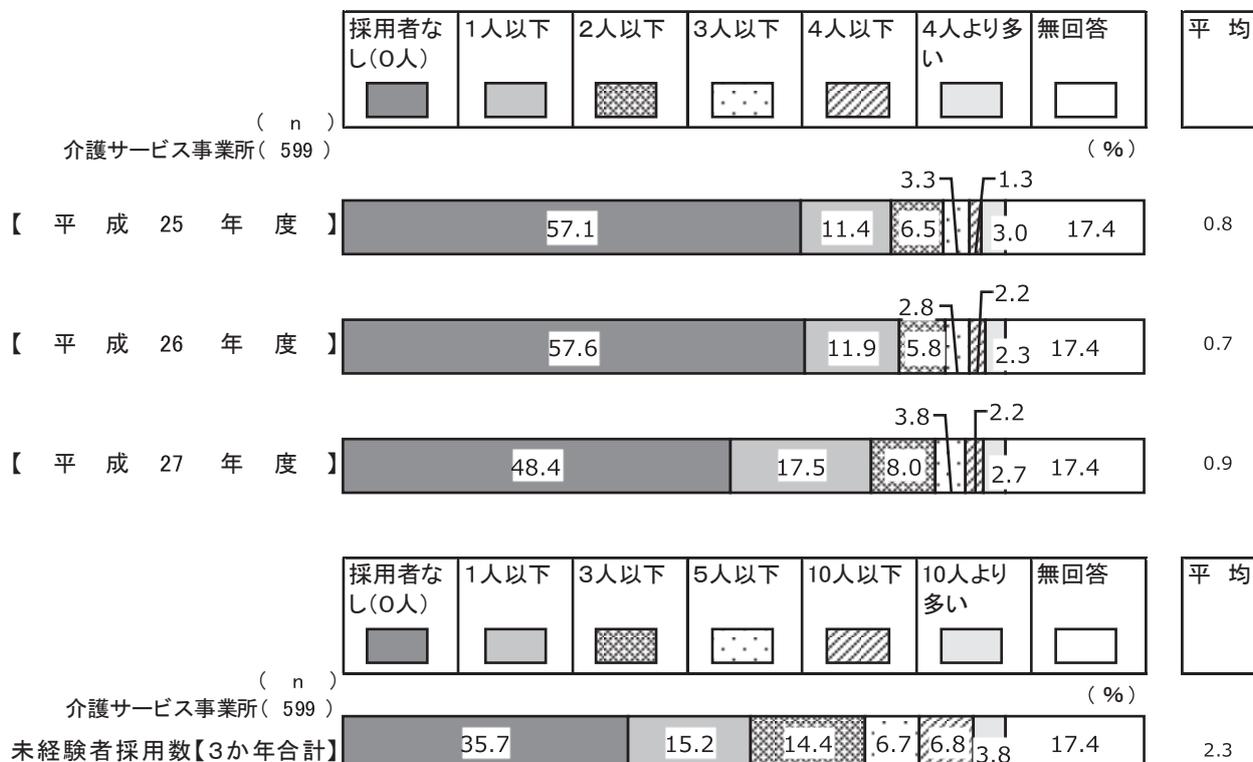
■新卒採用数



イ. 未経験者採用数

○平成 25～27 年度の 3 か年の未経験者採用数は、「採用者なし（0人）」が 35.7%、「1人以下」が 15.2%、「3人以下」が 14.4%、「5人以下」が 6.7%、「10人以下」が 6.8%、「10人より多い」が 3.8%となっている。

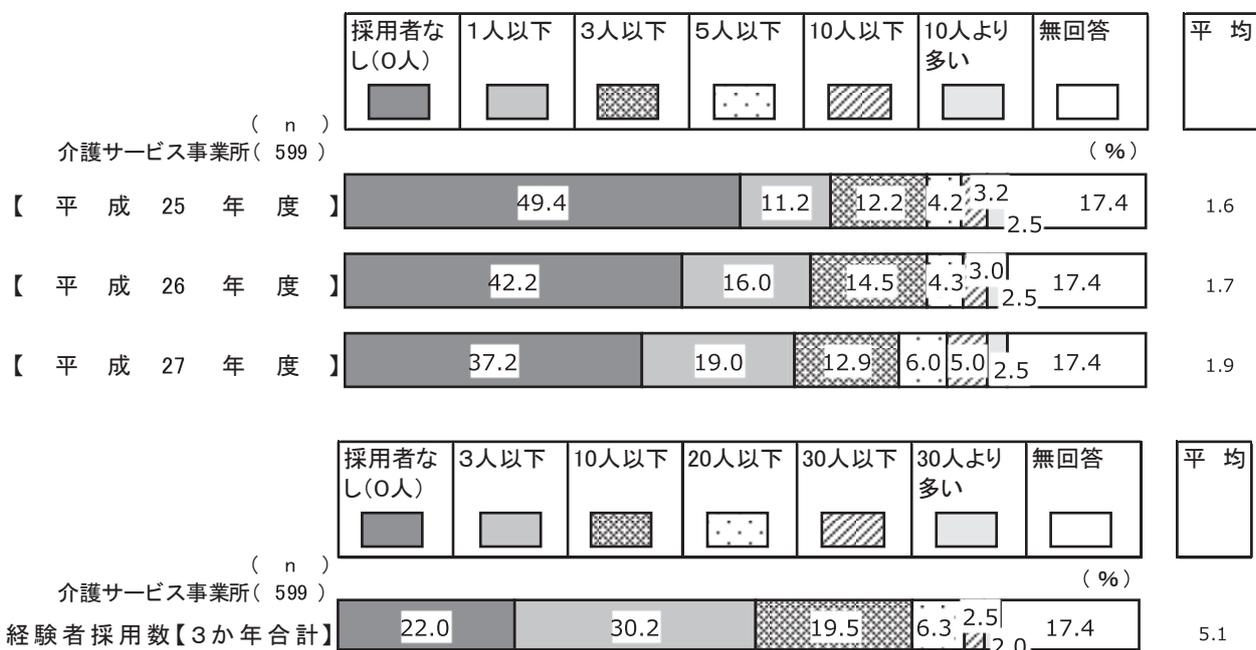
■未経験者採用数



ウ. 経験者採用数

○平成 25～27 年度の 3 か年の経験者採用数は、「採用者なし（0人）」が 22.0%、「3人以下」が 30.2%、「10人以下」が 19.5%、「20人以下」が 6.3%、「30人以下」が 2.5%、「30人より多い」が 2.0%となっている。

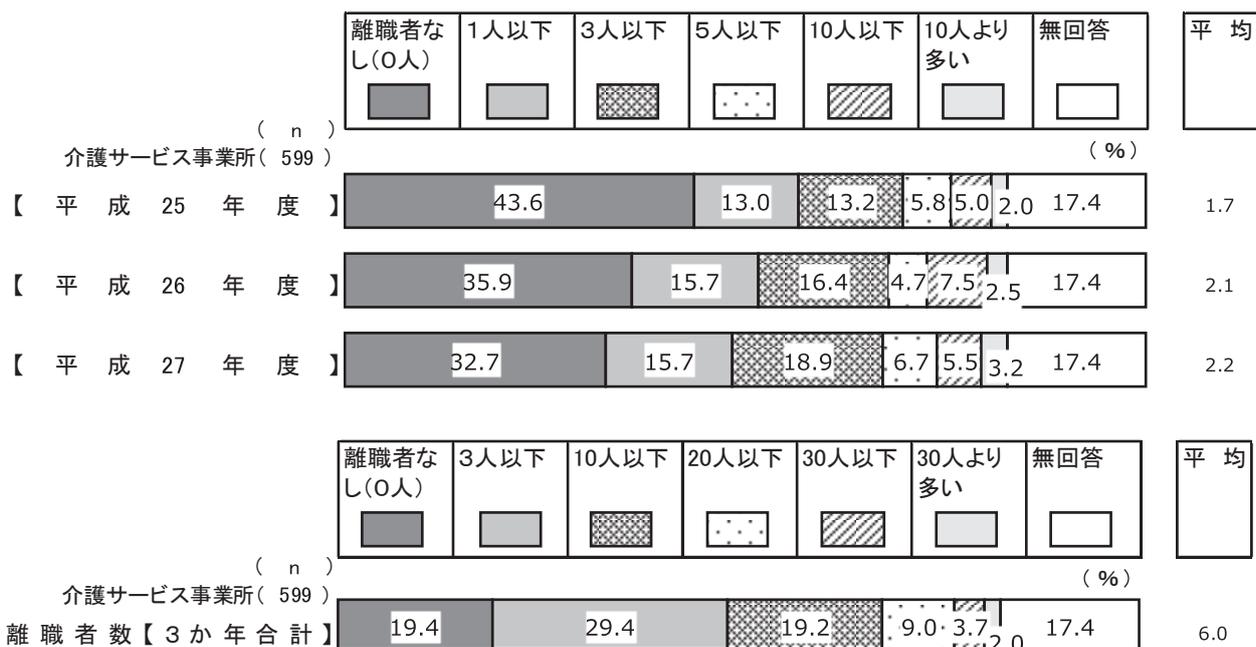
■経験者採用数



エ. 離職者数

○平成 25～27 年度の 3 か年の離職者数は、「離職者なし（0人）」が 19.4%、「3人以下」が 29.4%、「10人以下」が 19.2%、「20人以下」が 9.0%、「30人以下」が 3.7%、「30人より多い」が 2.0%となっている。

■離職者数

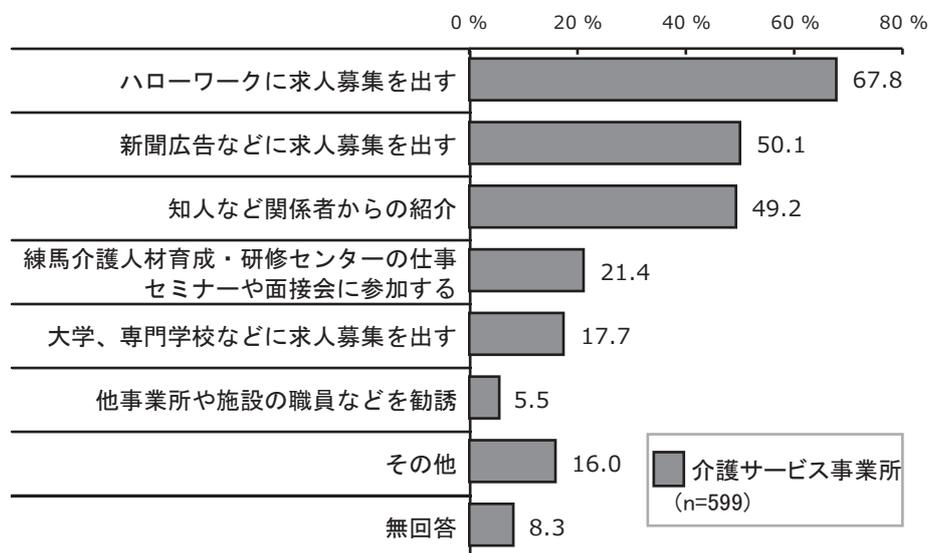


③ 介護人材の確保

ア. 介護人材の確保策

- 「ハローワークに求人募集を出す」が最も高く 67.8%、次いで「新聞広告などに求人募集を出す」(50.1%)、「知人など関係者からの紹介」(49.2%)と続いている。
- 「練馬介護人材育成・研修センターの仕事セミナーや面接会に参加する」は 21.4%となっている。

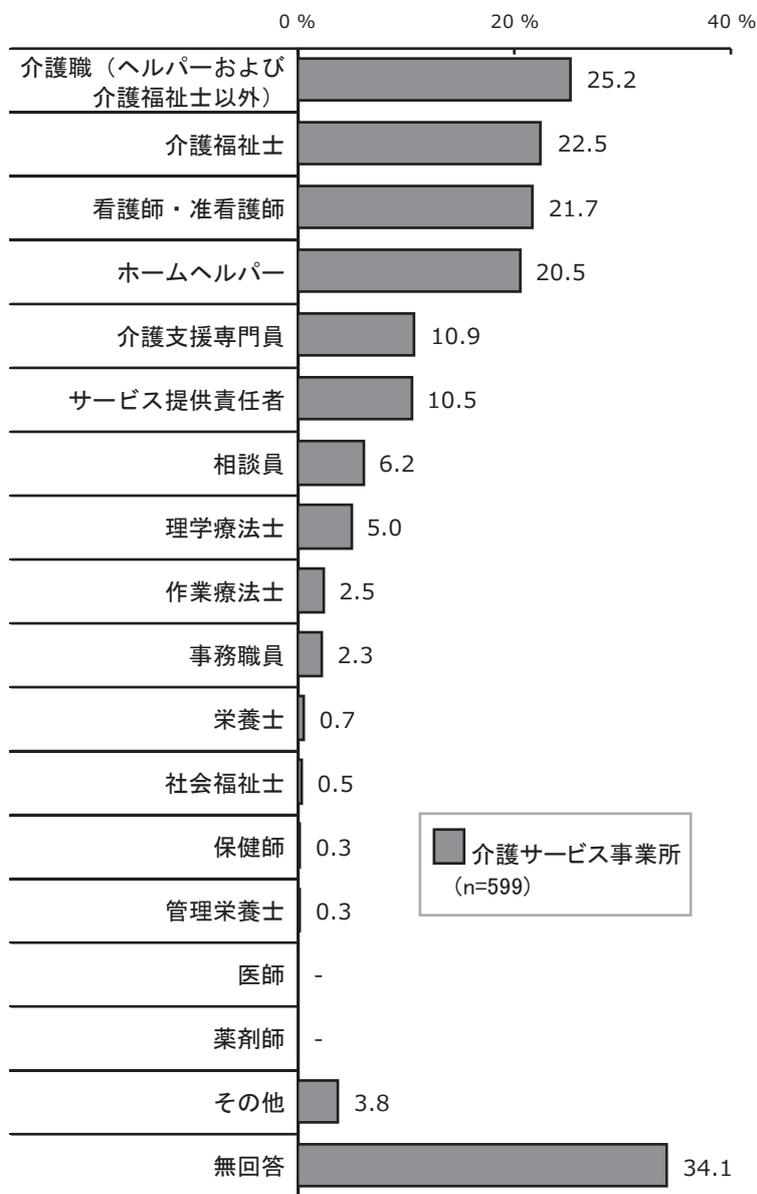
■介護人材の確保策（複数回答）



イ. 特に確保の困難な職種

○「介護職（ヘルパーおよび介護福祉士以外）」が最も高く 25.2%、次いで「介護福祉士」（22.5%）、「看護師・准看護師」（21.7%）、「ホームヘルパー」（20.5%）、「介護支援専門員」（10.9%）、「サービス提供責任者」（10.5%）と続いている。

■特に確保の困難な職種（複数回答）



ウ. 特に確保の困難な職種の不足人数

○回答のあった事業所の特に確保の困難な職種の不足人数を合計すると、全体で「ホームヘルパー」が454人、「介護職（ヘルパーおよび介護福祉士以外）」が345人、「介護福祉士」が278人となっている。

■特に確保の困難な職種の不足人数

○サービス提供責任者

	n	最大	合計
全体	62	3	72
居宅介護支援	13	2	16
訪問系	43	3	47
通所系	3	3	5
入所系	0	-	0
地域密着型サービス	1	1	1
福祉用具貸与・販売	1	2	2
特定施設入居者生活介護	1	1	1

○介護支援専門員

	n	最大	合計
全体	64	8	73
居宅介護支援	41	8	46
訪問系	11	2	12
通所系	3	5	7
入所系	1	1	1
地域密着型サービス	6	1	5
福祉用具貸与・販売	0	-	0
特定施設入居者生活介護	1	1	1

○ホームヘルパー

	n	最大	合計
全体	123	20	454
居宅介護支援	22	10	94
訪問系	74	20	305
通所系	5	3	9
入所系	5	5	14
地域密着型サービス	10	3	20
福祉用具貸与・販売	1	1	1
特定施設入居者生活介護	5	4	9

○介護職（ヘルパー/介護福祉士以外）

	n	最大	合計
全体	147	10	345
居宅介護支援	9	5	22
訪問系	15	10	44
通所系	51	3	90.5
入所系	33	7	92
地域密着型サービス	22	5	43.5
福祉用具貸与・販売	1	2	2
特定施設入居者生活介護	12	10	45

○保健師

	n	最大	合計
全体	2	2	3
居宅介護支援	1	1	1
訪問系	0	-	0
通所系	1	2	2
入所系	0	-	0
地域密着型サービス	0	-	0
福祉用具貸与・販売	0	-	0
特定施設入居者生活介護	0	-	0

○看護師・准看護師

	n	最大	合計
全体	123	10	177.5
居宅介護支援	5	3	7
訪問系	26	10	58.5
通所系	38	2	39.5
入所系	24	3	37
地域密着型サービス	8	1	6.5
福祉用具貸与・販売	2	1	2
特定施設入居者生活介護	11	3	17

○社会福祉士

	n	最大	合計
全体	3	1	2
居宅介護支援	2	1	1
訪問系	0	-	0
通所系	1	1	1
入所系	0	-	0
地域密着型サービス	0	-	0
福祉用具貸与・販売	0	-	0
特定施設入居者生活介護	0	-	0

○介護福祉士

	n	最大	合計
全体	132	10	278
居宅介護支援	5	2	7
訪問系	19	10	68
通所系	38	3	49
入所系	28	5	66
地域密着型サービス	25	5	45
福祉用具貸与・販売	0	-	0
特定施設入居者生活介護	10	10	29

○理学療法士

	n	最大	合計
全体	29	5	34
居宅介護支援	0	-	0
訪問系	12	5	20
通所系	11	1	9
入所系	2	1	2
地域密着型サービス	0	-	0
福祉用具貸与・販売	1	1	1
特定施設入居者生活介護	1	0	0

○作業療法士

	n	最大	合計
全体	14	2	14
居宅介護支援	0	-	0
訪問系	6	2	7
通所系	6	1	5
入所系	0	-	0
地域密着型サービス	0	-	0
福祉用具貸与・販売	0	-	0
特定施設入居者生活介護	0	-	0

○管理栄養士

	n	最大	合計
全体	2	1	2
居宅介護支援	0	-	0
訪問系	0	-	0
通所系	1	1	1
入所系	0	-	0
地域密着型サービス	0	-	0
福祉用具貸与・販売	0	-	0
特定施設入居者生活介護	1	1	1

○事務職員

	n	最大	合計
全体	14	1	12
居宅介護支援	1	0	0
訪問系	8	1	7
通所系	1	1	1
入所系	2	1	2
地域密着型サービス	0	-	0
福祉用具貸与・販売	1	1	1
特定施設入居者生活介護	1	1	1

○相談員

	n	最大	合計
全体	35	2	35
居宅介護支援	1	1	1
訪問系	0	-	0
通所系	26	2	25
入所系	0	-	0
地域密着型サービス	2	1	2
福祉用具貸与・販売	3	2	4
特定施設入居者生活介護	1	1	1

○栄養士

	n	最大	合計
全体	4	2	4.5
居宅介護支援	1	2	2
訪問系	0	-	0
通所系	3	1	2.5
入所系	0	-	0
地域密着型サービス	0	-	0
福祉用具貸与・販売	0	-	0
特定施設入居者生活介護	0	-	0

○その他

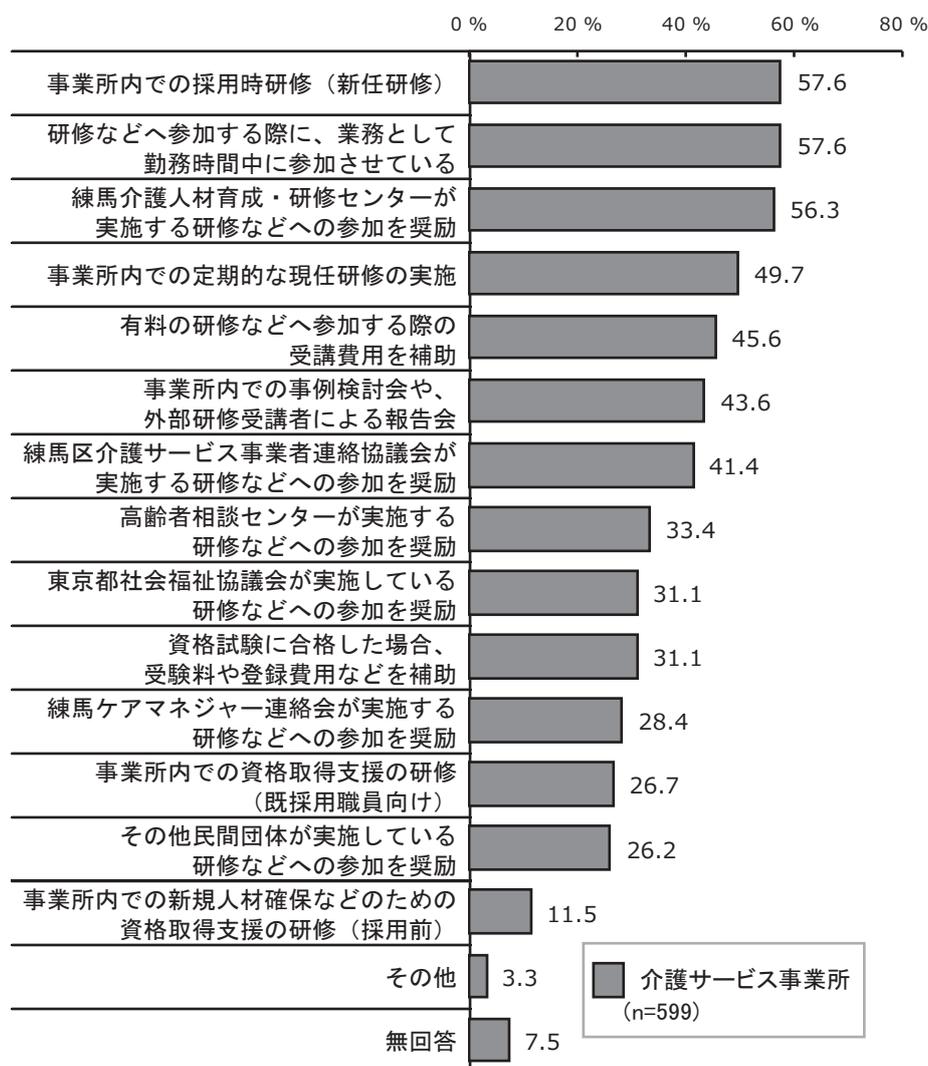
	n	最大	合計
全体	23	2	29
居宅介護支援	1	0	0
訪問系	1	2	2
通所系	13	2	17
入所系	2	2	4
地域密着型サービス	1	1	1
福祉用具貸与・販売	5	1	5
特定施設入居者生活介護	0	-	0

④ 研修や資格取得支援の取組

ア. 研修や資格取得支援の取組状況

○「事業所内での採用時研修（新任研修）」「研修などへ参加する際に、業務として勤務時間中に参加させている」が最も高い（ともに 57.6%）。次いで、「練馬介護人材育成・研修センターが実施する研修などへの参加を奨励」（56.3%）、「事業所内での定期的な現任研修の実施」（49.7%）、「有料の研修などへ参加する際の受講費用を補助」（45.6%）、「事業所内での事例検討会や、外部研修受講者による報告会」（43.6%）、「練馬区介護サービス事業者連絡協議会が実施する研修などへの参加を奨励」（41.4%）と続いている。

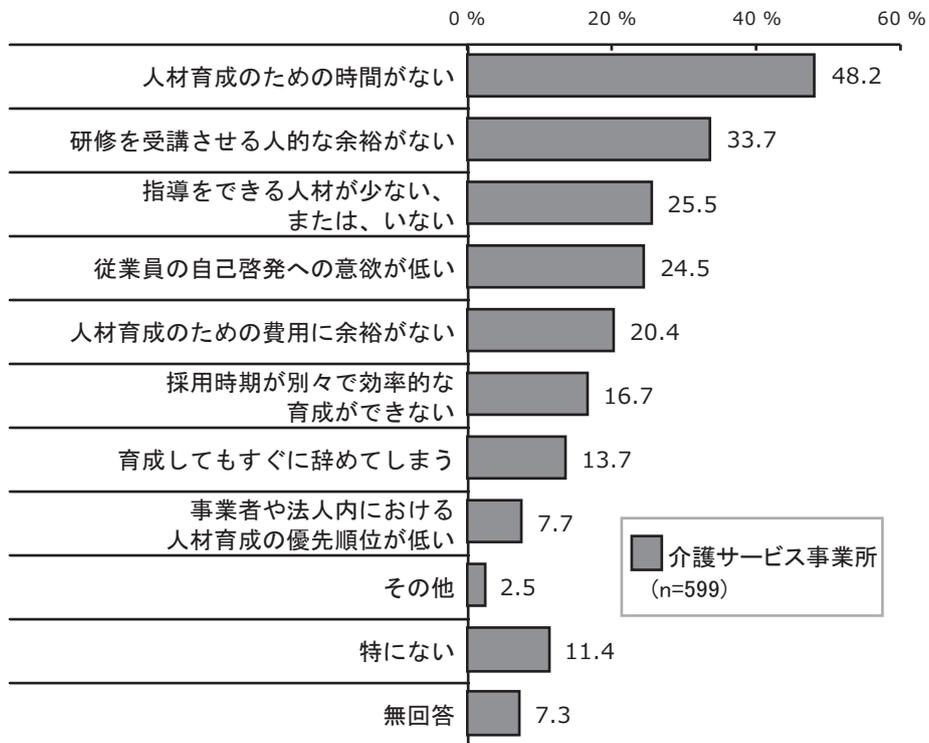
■ 研修や資格取得支援の取組状況（複数回答）



イ. 従業員の研修・教育等で困っていること

- 「人材育成のための時間がない」が最も高く 48.2%、次いで「研修を受講させる人的な余裕がない」(33.7%)、「指導をできる人材が少ない、または、いない」(25.5%)、「従業員の自己啓発への意欲が低い」(24.5%)、「人材育成のための費用に余裕がない」(20.4%)と続いている。
- 「特にない」は 11.4%となっている。

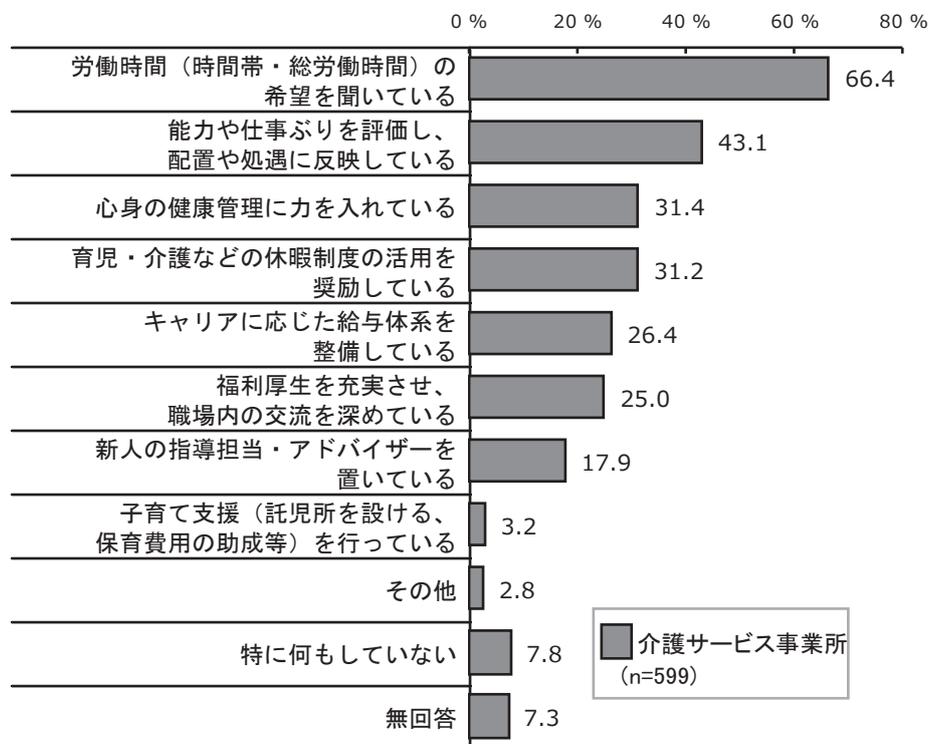
■従業員の研修・教育等で困っていること（複数回答）



⑤ 従業員の早期離職防止や定着促進のための取組状況

- 「労働時間（時間帯・総労働時間）の希望を聞いている」が最も高く66.4%、次いで「能力や仕事ぶりを評価し、配置や処遇に反映している」（43.1%）、「心身の健康管理に力を入れている」（31.4%）、「育児・介護などの休暇制度の活用を奨励している」（31.2%）と続いている。
- 「特に何もしていない」は7.8%となっている。

■従業員の早期離職防止や定着促進のための取組状況（複数回答）

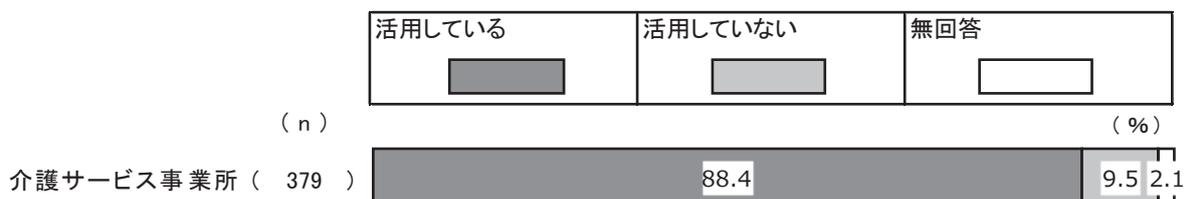


⑥ 介護職員処遇改善加算

ア. 介護職員処遇改善加算の活用状況

- 「活用している」は88.4%、「活用していない」は9.5%となっている。

■介護職員処遇改善加算の活用状況

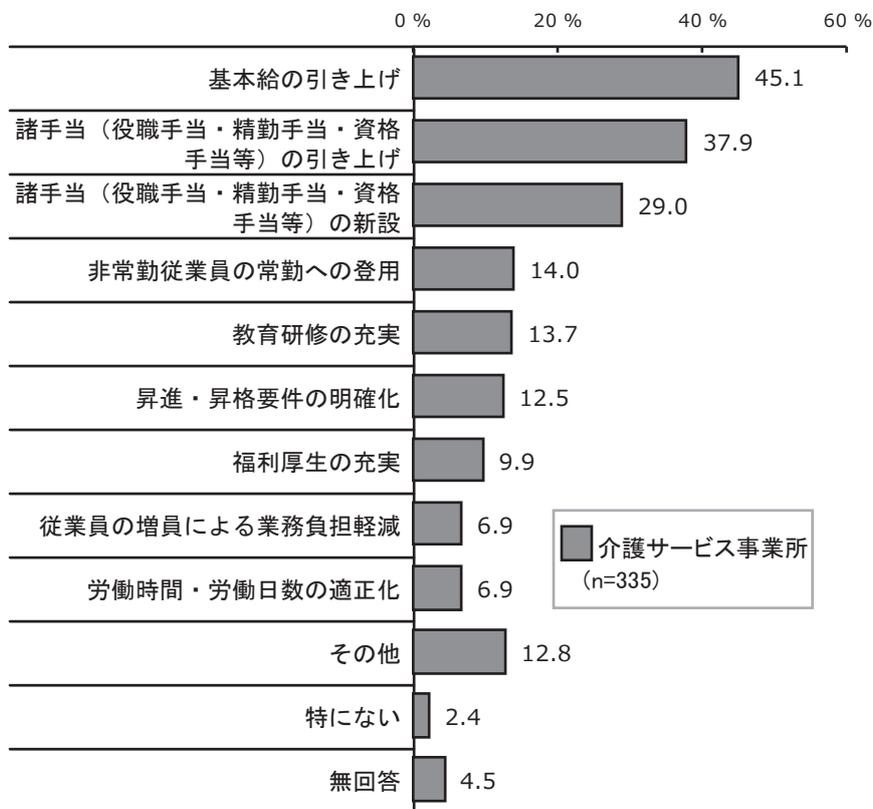


※ 「（介護予防）訪問看護」「（介護予防）訪問リハビリテーション」「（介護予防）福祉用具貸与」「（介護予防）福祉用具販売」「（介護予防）居宅療養管理指導」「居宅介護支援（介護予防支援）」を除外して集計した

イ. 介護職員処遇改善加算の活用策

○介護職員処遇改善加算を活用していると回答した事業所の活用策は、「基本給の引き上げ」が最も高く45.1%、次いで「諸手当（役職手当・精勤手当・資格手当等）の引き上げ」（37.9%）、「諸手当（役職手当・精勤手当・資格手当等）の新設」（29.0%）と続いている。

■介護職員処遇改善加算の活用策（複数回答）

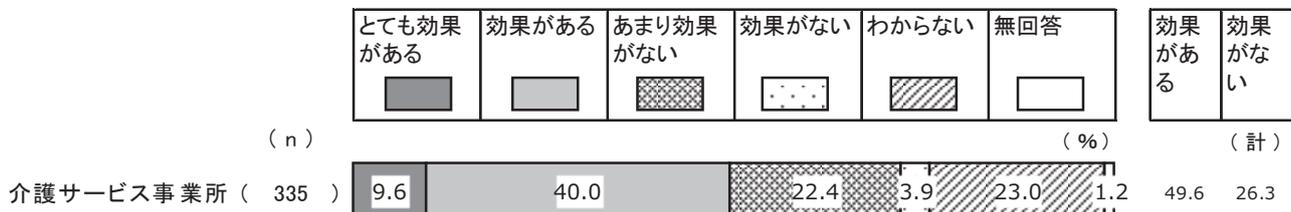


※ 「（介護予防）訪問看護」「（介護予防）訪問リハビリテーション」「（介護予防）福祉用具貸与」「（介護予防）福祉用具販売」「（介護予防）居宅療養管理指導」「居宅介護支援（介護予防支援）」を除外して集計した

ウ. 介護職員処遇改善加算の活用による職員の離職防止の効果の有無

○介護職員処遇改善加算を活用していると回答した事業所の活用による効果は、“効果がある”（「とても効果がある」と「効果がある」の合計）は49.6%と、“効果がない”（「効果がない」と「あまり効果がない」の合計）を上回っている。

■介護職員処遇改善加算の活用による職員の離職防止の効果の有無

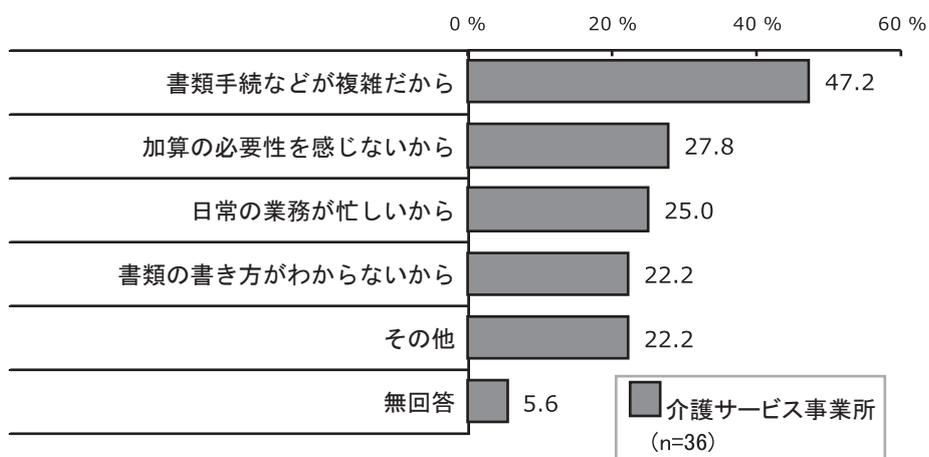


※ 「（介護予防）訪問看護」「（介護予防）訪問リハビリテーション」「（介護予防）福祉用具貸与」「（介護予防）福祉用具販売」「（介護予防）居宅療養管理指導」「居宅介護支援（介護予防支援）」を除外して集計した

エ. 介護職員処遇改善加算を活用していない理由

○介護職員処遇改善加算を活用していないと回答した事業所のその理由は、「書類手続などが複雑だから」が47.2%となっている（ただし、参考値）。

■介護職員処遇改善加算を活用していない理由（複数回答）



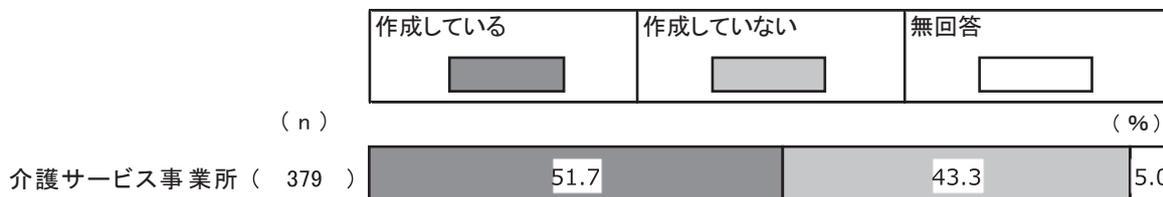
※ 「（介護予防）訪問看護」「（介護予防）訪問リハビリテーション」「（介護予防）福祉用具貸与」「（介護予防）福祉用具販売」「（介護予防）居宅療養管理指導」「居宅介護支援（介護予防支援）」を除外して集計した

⑦ キャリアパス（経験・能力に応じた職務・職位の経歴モデル）の作成

ア. キャリアパスの作成状況

○「作成している」が51.7%、「作成していない」が43.3%となっている。

■キャリアパスの作成状況



※ 「（介護予防）訪問看護」「（介護予防）訪問リハビリテーション」「（介護予防）福祉用具貸与」「（介護予防）福祉用具販売」「（介護予防）居宅療養管理指導」「居宅介護支援（介護予防支援）」を除外して集計した

【サービス種別】

○サービス種別にみると、『入所系』は「作成している」が7割となっている。

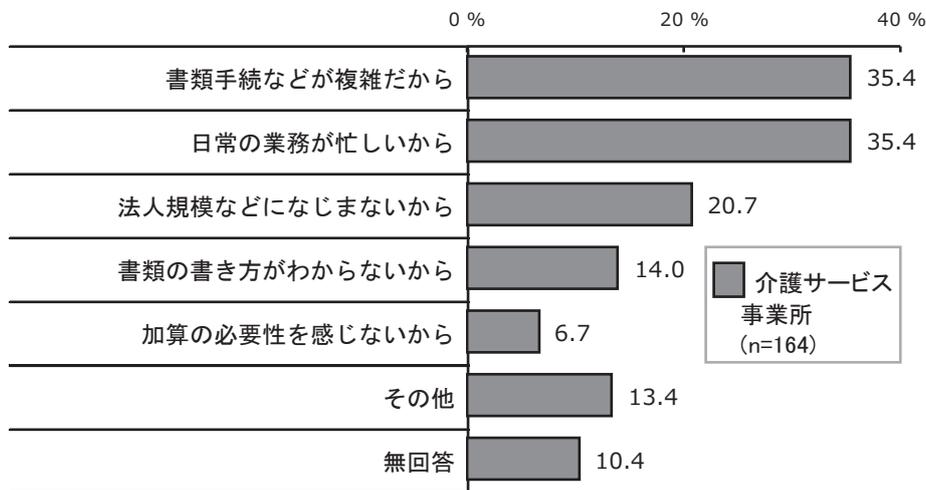
■キャリアパスの作成状況<サービス種別>

	n	(%)		
		作成している	作成していない	無回答
介護サービス事業所	379	51.7	43.3	5.0
訪問系	107	57.9	36.4	5.6
通所系	128	46.1	52.3	1.6
入所系	50	70.0	26.0	4.0
地域密着型サービス	45	44.4	46.7	8.9
特定施設入居者生活介護	27	48.1	37.0	14.8

イ. キャリアパスを作成していない理由

○キャリアパスを作成していないと回答した事業所のその理由は、「書類手続などが複雑だから」「日常の業務が忙しいから」がいずれも 35.4%で最も高く、次いで「法人規模などになじまないから」(20.7%)と続いている。

■キャリアパスを作成していない理由（複数回答）

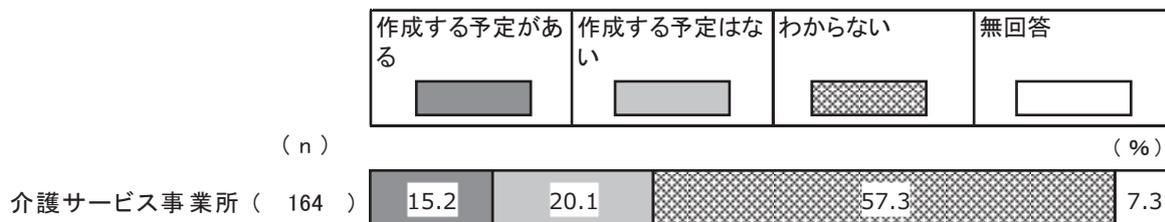


※ 「（介護予防）訪問看護」「（介護予防）訪問リハビリテーション」「（介護予防）福祉用具貸与」「（介護予防）福祉用具販売」「（介護予防）居宅療養管理指導」「居宅介護支援（介護予防支援）」を除外して集計した

ウ. キャリアパスの作成予定

○キャリアパスを作成していないと回答した事業所の今後の作成意向は、「作成する予定がある」は 15.2%、「作成する予定はない」は 20.1%、「わからない」は 57.3%となっている。

■キャリアパスの作成予定



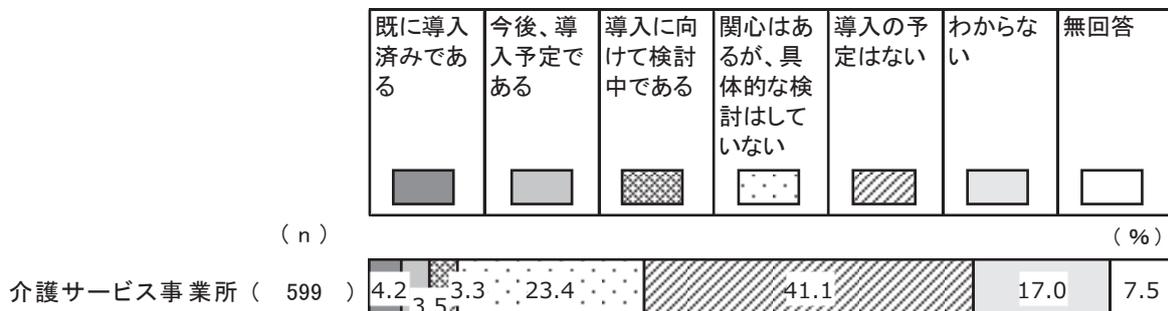
※ 「（介護予防）訪問看護」「（介護予防）訪問リハビリテーション」「（介護予防）福祉用具貸与」「（介護予防）福祉用具販売」「（介護予防）居宅療養管理指導」「居宅介護支援（介護予防支援）」を除外して集計した

⑧ 多様な人材不足の解消方法

ア. 介護ロボットの活用状況

- 「導入の予定はない」が最も高く 41.1%となっている。
- 「既に導入済みである」は 4.2%、「今後、導入予定である」は 3.5%となっている。

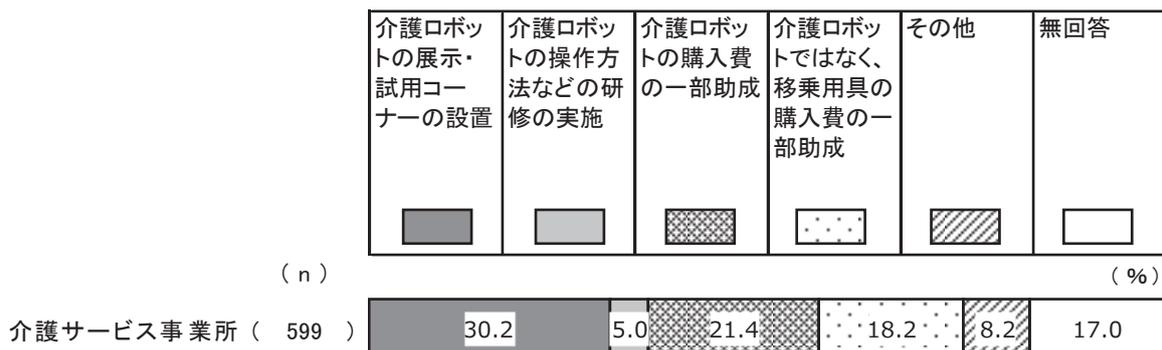
■介護ロボットの活用状況



イ. 介護ロボットなどの導入にあたって区に取り組んでほしいこと

- 「介護ロボットの展示・試用コーナーの設置」が最も高く 30.2%、次いで「介護ロボットの購入費の一部助成」(21.4%)、「介護ロボットではなく、移乗用具の購入費の一部助成」(18.2%)、「介護ロボットの操作方法などの研修の実施」(5.0%)と続いている。

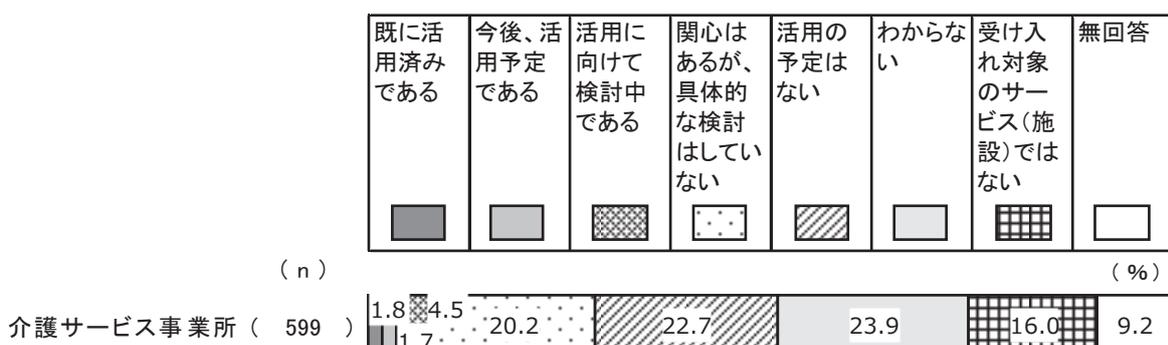
■介護ロボットなどの導入にあたって区に取り組んでほしいこと



ウ. EPAに基づく外国人介護人材の活用状況

- 「既に活用済みである」は 1.8%、「今後、活用予定である」は 1.7%となっている。
- 「活用に向けて検討中である」は 4.5%、「関心はあるが、具体的な検討はしていない」は 20.2%となっている。
- 「活用の予定はない」は 22.7%、「わからない」は 23.9%となっている。

■EPAに基づく外国人介護人材の活用状況

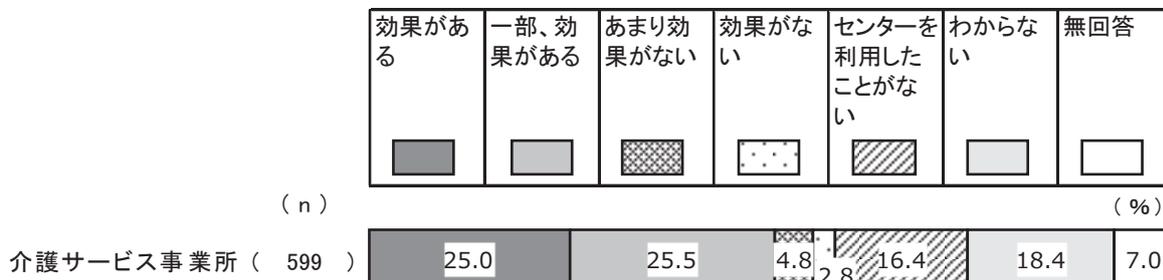


⑨ 練馬介護人材育成・研修センターの研修

ア. 研修の効果

- 「効果がある」(25.0%)、「一部、効果がある」(25.5%)を合わせると半数は効果を実感している。
- 「センターを利用したことがない」は16.4%となっている。

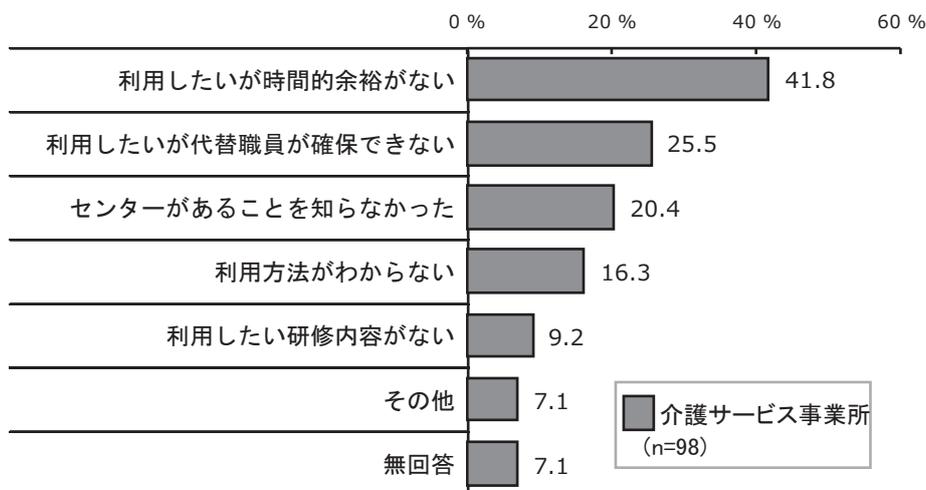
■研修の効果



イ. 利用したことのない理由

- 練馬介護人材育成・研修センターを利用したことのない理由は、「利用したいが時間的余裕がない」が最も高く41.8%、次いで「利用したいが代替職員が確保できない」(25.5%)、「センターがあることを知らなかった」(20.4%)、「利用方法がわからない」(16.3%)、「利用したい研修内容がない」(9.2%)と続いている。

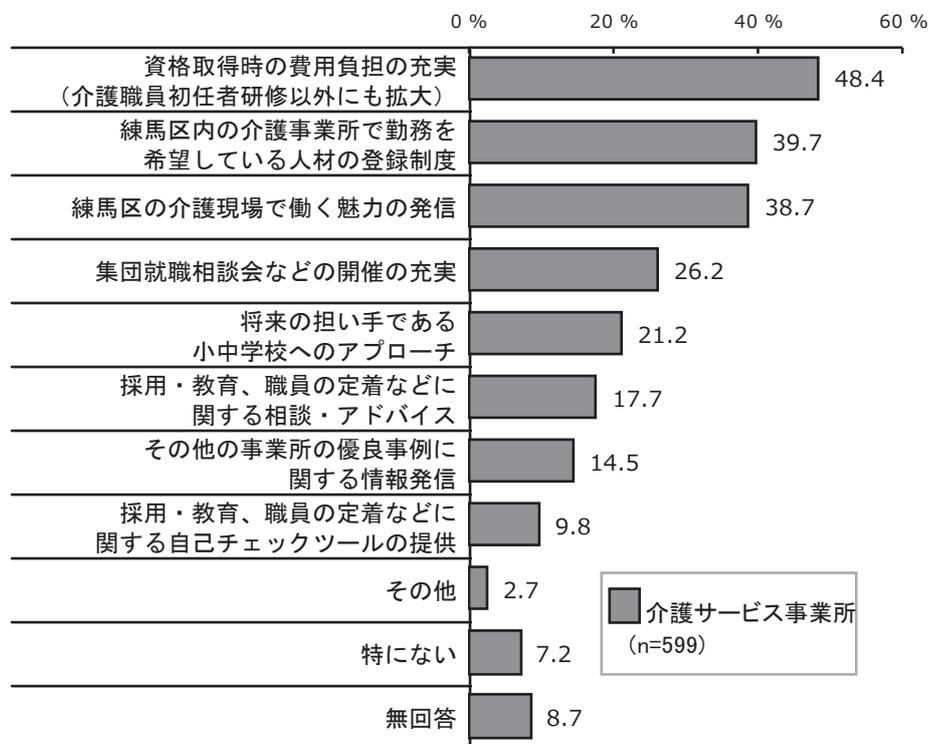
■利用したことのない理由（複数回答）



⑩ 練馬区に取り組んでほしいこと

○「資格取得時の費用負担の充実（介護職員初任者研修以外にも拡大）」が最も高く 48.4%、次いで「練馬区内の介護事業所で勤務を希望している人材の登録制度」（39.7%）、「練馬区の介護現場で働く魅力の発信」（38.7%）、「集団就職相談会などの開催の充実」（26.2%）、「将来の担い手である小中学校へのアプローチ」（21.2%）と続いている。

■練馬区に取り組んでほしいこと（複数回答）



【サービス種別】

○サービス種別にみると、いずれのサービス種別でも「資格取得時の費用負担の充実（介護職員初任者研修以外にも拡大）」が上位に挙げられている。

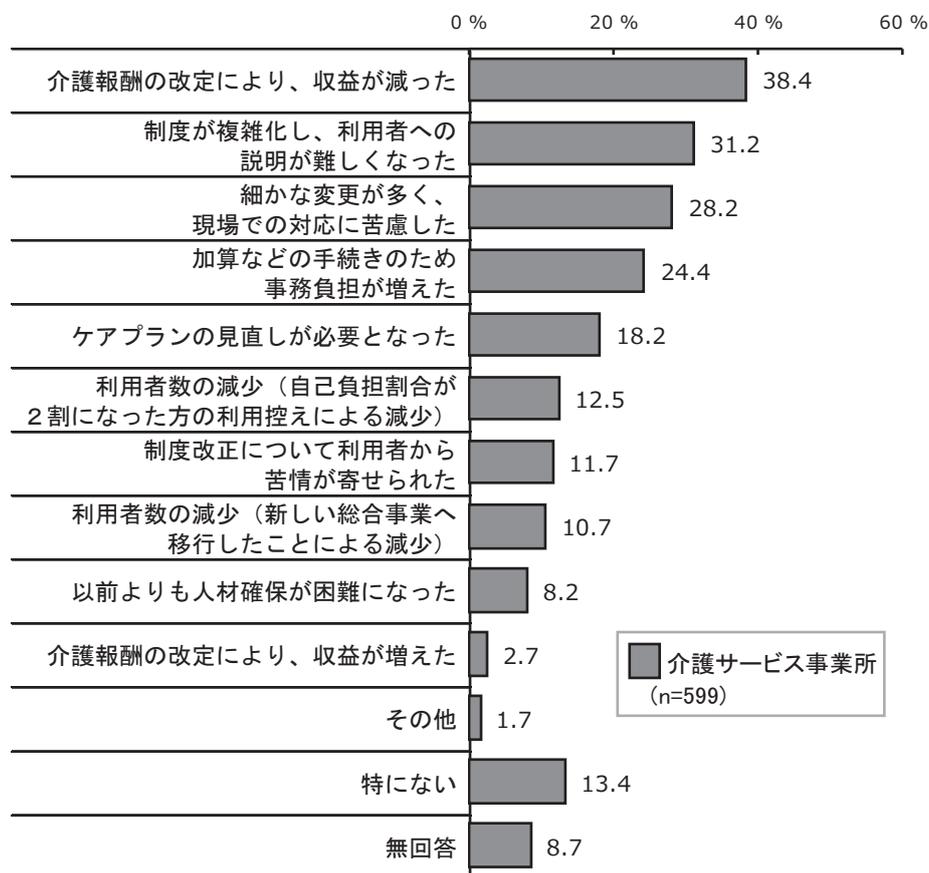
■練馬区に取り組んでほしいこと（複数回答）＜サービス種別＞

サービス種別	n	資格取得時の費用負担の充実（介護職員初任者研修以外にも拡大）	練馬区内の介護事業所で勤務を希望している人材の登録制度	練馬区の介護現場で働く魅力の発信	集団就職相談会などの開催の充実	将来の担い手である小中学校へのアプローチ	採用・教育、職員の定着などに関する相談・アドバイス	その他の事業所の優良事例に関する情報発信	採用・教育、職員の定着などに関する自己チェックツールの提供	その他	特になし	無回答
介護サービス事業所	599	48.4	39.7	38.7	26.2	21.2	17.7	14.5	9.8	2.7	7.2	8.7
在宅介護支援	153	41.2	29.4	26.8	17.6	16.3	13.7	11.8	9.2	2.6	11.1	13.1
訪問系	144	50.0	37.5	37.5	27.1	11.1	16.0	9.7	9.0	2.8	4.9	9.7
通所系	128	50.0	42.2	48.4	22.7	26.6	23.4	15.6	10.2	3.1	4.7	5.5
入所系	50	66.0	64.0	56.0	46.0	54.0	28.0	32.0	12.0	2.0	2.0	-
地域密着型サービス	45	57.8	57.8	48.9	33.3	20.0	20.0	17.8	15.6	4.4	2.2	2.2
福祉用具貸与・販売	30	30.0	26.7	26.7	13.3	13.3	16.7	20.0	10.0	-	16.7	20.0
特定施設入居者生活介護	27	51.9	37.0	37.0	48.1	18.5	11.1	14.8	7.4	-	7.4	3.7

(11) 平成 27 年介護保険制度改正による影響

- 「介護報酬の改定により、収益が減った」が最も高く 38.4%、次いで「制度が複雑化し、利用者への説明が難しくなった」(31.2%)、「細かな変更が多く、現場での対応に苦慮した」(28.2%)、「加算などの手続きのため事務負担が増えた」(24.4%)と続いている。
- 「特にない」は 13.4%となっている。

■平成 27 年介護保険制度改正による影響 (〇は3つまで)



(12) 介護保険および高齢者保健福祉施策について、利用者から寄せられた主な意見（自由回答）

（介護保険制度全般）

- ・認定が低くなると、現在使っているサービスが利用できない若しくは減らされてしまう。[通所介護]
- ・認定期間が半年間と短く、認定調査をすぐ受けねばならず負担になっている。[居宅介護]
- ・自己負担割合が1割から2割に増えたことに対する苦情や、介護保険料が高くなったのにサービスが上手く使えないなどの苦情。[居宅介護]
- ・介護サービスの内容やどのようにしたら利用できるのか分からなかったため、サービス（デイや福祉用具、訪問介護）を受けるのが遅れてしまった。[通所介護]
- ・制度が複雑で、高齢者は理解できないという声を聞いている。[短期入所生活介護]
- ・軽度者に対する給付の縮小や福祉用具給付の縮小があると、今までできていたことができなくなるのではとの不安を抱えている。[福祉用具貸与・販売]
- ・生活援助の時間が減り、四角い部屋を丸くしか掃除ができなくなった。短時間の掃除を週に何度も来られるのは嫌だ。[訪問介護]
- ・本当にできないことを手伝ってほしい。[地域密着型通所介護]

（区の施策）

- ・他の区と比べると練馬区は充実していると友人から聞いた。寝たきりにならないよう、様々なサービス（運動、口腔など）があり、健康寿命を延ばすための区としての努力を感じる。総合事業が始まり、サービスが選べるようになった。[通所介護]
- ・呼び名をシンプルにして欲しい。「高齢者相談センター」「地域包括支援センター」「在宅介護支援センター」と、利用者・事業所ともに混乱している。[訪問介護]

（その他）

- ・他施設見学の際、「職員が少ない施設が多く不安」との意見があった。[認知症対応型共同生活介護]
- ・病院や往診できるクリニックが少ない、できれば現在の医師に診てほしいため在宅療養支援診療所は利用したくない等、医療の充実について。[居宅介護支援]

(13) 介護保険制度に対する主な要望・意見（自由回答）

（介護保険制度全般）

- ・状態が若干悪くなったにも関わらず、要介護1から要支援1への変更は、利用者・事業所ともに辛い。要介護1の人が半年ごとに支援と介護を行き来するのも事務手続きが煩雑になる。[通所介護]
- ・2005年にあれほど介護予防を訴えたのに、今では予防の観点のサービスを削っていく方向に見受けられる。利用者に対して、要支援、要介護状態が悪化しないような提案をしても、説得力に欠けることが多くなっている。[居宅介護支援]
- ・ルールが細かく、複雑すぎる。また、記録も重要だが、介護そのものに職員が時間を費やせるようにしてほしい。[通所介護]

（事業所の運営が経営的に厳しい）

- ・介護報酬が下がり、処遇改善加算が上がった結果、事業所としては非常に厳しい状況に追い込まれている。[訪問介護]
- ・現場としては何もやる事変わらないのに報酬の変更を国指導で行って、それに従うしかない現状が残念。処遇改善の実績や申請等の手間がかかる。もっと無駄を省き（計画書、モニタリング等書類が多い）、現場を重んじる制度になっていくようにしてほしい。[訪問介護]

（関係者との連携）

- ・サービス担当者会議が多い。1つのサービスの開始にあたり、その都度、会議が行われるが調整して参加するのが大変である。[訪問看護]
- ・地域包括ケアシステム構築に向けて多職種連携会議は大変有効である。これからもよろしく願いたい。警察・消防・救急との連携もあると良い。[居宅介護支援]
- ・医療機関と介護保険事業所が連携をとるための共通シート（ツール）を作成してほしい。[居宅介護支援]

(情報提供)

- ・特に制度改正について、情報が早く知りたい。[通所介護]
- ・今までできていたことができなくなることが多いため、制度改正の度に利用者から苦情を受ける。丁寧に説明するが、事業所が悪いように受け取られることもある。行政から利用者に分かりやすく伝える方法を考えてほしい。一方的に送りつける書類だけでは、多くの人が理解できない（見ない）。[訪問介護]
- ・区から送られてくる様々な通知や申請書（例えば介護保険関係、年金、国保など）は、独居高齢者には難しすぎるようだ。訪問すると、取り扱いについて聞かれ、結構な手間になっている。区に問い合わせしたり、わかりやすく1か所で相談できる専用フリーダイヤルを設置してもらえると良い。これ以上難しくなると、全てケアマネにおんぶにだっこになってしまう。単純明快にし、自分でもプランが立てられるような（本人参加の）制度にしてほしい。[居宅介護支援]

(介護職の地位向上／人材確保)

- ・ホームヘルパーの人材確保が困難な中で、サービス時間も短縮化され、高齢なヘルパーは「移動が大変だから…」と仕事を断るケースも多くみられる。総合事業への移行で単価が下がり、更に夫婦按分等の日割りの導入で利用者は安く利用できるようになったかもしれないが、ヘルパー数の維持が困難になってきている。人件費と収入のバランスが崩れ、閉鎖する事業所も徐々に増えてきている。このままでは、在宅介護は数年で深刻な事態になるのではないか。[訪問介護]
- ・介護に携わる人員の確保がいかに大切かを考えると、給与面・待遇等を改善していくことが、人材確保につながると考える。[地域密着型通所介護]

(その他)

- ・無駄遣いが多すぎる。サービス内容に踏み込んだ指導を事業者に対してすべきではないか。[訪問看護]
- ・障がい者の方の援助について、65歳になって介護保険で支えるのは非常に困難である。[訪問介護]
- ・必要な人たちがサービスを受けられるように、費用負担の軽減を考えてほしい。[訪問看護]
- ・在宅での生活（独居）が困難な人が、特養の入所待機をしている状況でショートステイを希望することが多い。郊外ではなく、住み慣れた地域で生活できると良い。[短期入所生活介護]

II

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

Ⅱ－1. 調査概要

1 調査の目的

要支援1、2の認定を受けている人及び要支援・要介護認定を受けていない高齢者の家族や生活状況、身体状況や外出の状況、転倒予防の状況等を把握し、生活支援の必要性などを検討することを目的として実施した。なお、調査は高齢者基礎調査（第1部）として同時に実施し、調査項目は『介護予防・日常生活圏域ニーズ調査』として国が示した内容のとおりとした。

2 調査方法

郵送法（郵送配付・郵送回収）

3 調査対象

第1部の高齢者基礎調査のうち、性別、年齢、日常生活圏域、要介護度（認定なし・総合事業対象者・要支援1・2の認定者）について回答のあった下記の方を対象者として再集計を行った。

調査種別	再集計の範囲	再集計対象者数
①高齢者一般調査	・ 全員	1,418 人
②要支援・要介護認定者調査	・ 総合事業対象者 ・ 要支援1、2の認定者	855 人

4 調査期間

調査種別	調査期間
①高齢者一般調査	平成28年12月9日～平成28年12月26日
②要支援・要介護認定者調査	

5 報告書を利用するにあたって

- 図・表中のnとは、基数となる実数のことである。
- 回答はnを100%として百分率で算出している。小数点以下第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が全体を示す数値と一致しないことがある。
- 図・表中の「－」は回答者が皆無のものである。
- 複数回答ができる質問では、回答比率の合計が100%を超える。
- 統計比率を合算した比率（例えば、「とてもよい」と「まあよい」を合計した“よい”の比率）は実数を用いて算出しているため、各比率（例えば、「とてもよい」と「まあよい」の比率）を単純に合算した比率とは一致しない場合がある。
- 質問において、調査対象者の基本属性を中心としたクロス集計結果の図・表については、基本属性等に「無回答」があるため、全体の示す数値と一致しない。
- 図・表において、回答の選択肢表記を簡略化している場合がある。

II-2. 調査結果の詳細

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の集計結果は下記のとおりとなった。

基本属性について

Q. あなたの性別と、平成 28 年 12 月 1 日現在の満年齢を教えてください。① 性別（1つ選択回答）

(%)

	n	男性	女性
全体	2,273	38.1	61.9
練馬	487	36.1	63.9
光が丘	596	38.1	61.9
石神井	667	39.6	60.4
大泉	523	38.0	62.0

Q. あなたの性別と、平成 28 年 12 月 1 日現在の満年齢を教えてください。② 年齢（記述回答）

(%)

	n	6 6 9 5 歳 歳 }	7 7 4 0 歳 歳 }	7 7 9 5 歳 歳 }	8 8 4 0 歳 歳 }	8 8 9 5 歳 歳 }	以 9 上 0 歳
全体	2,273	18.3	15.9	24.4	21.9	13.9	5.6
練馬	487	20.7	15.4	23.4	20.3	14.4	5.7
光が丘	596	18.5	15.4	25.3	22.0	14.6	4.2
石神井	667	18.6	16.5	22.3	21.3	14.2	7.0
大泉	523	15.5	16.3	26.8	23.9	12.4	5.2

Q. あなたのお住まいはどちらですか。（記述回答）

(%)

	n	練馬	光が丘	石神井	大泉
全体	2,273	21.4	26.2	29.3	23.0
練馬	487	100.0	-	-	-
光が丘	596	-	100.0	-	-
石神井	667	-	-	100.0	-
大泉	523	-	-	-	100.0

問 1 あなたのご家族や生活状況について

(1) 家族構成をお教えてください。（1つ選択回答）

(%)

	n	1 人 暮 ら し	歳（夫 以配婦 上偶 2 ）者人 6 暮 5 ら し	歳（夫 以配婦 下偶 2 ）者人 6 暮 4 ら し	世息 帯子・ 娘と の 2	そ の 他	無 回 答
全体	2,273	35.5	26.0	4.6	15.0	18.3	0.7
練馬	487	37.8	22.6	2.5	16.2	20.7	0.2
光が丘	596	35.2	27.2	4.7	13.6	18.3	1.0
石神井	667	38.1	24.7	5.2	14.4	16.8	0.7
大泉	523	30.6	29.3	5.5	16.1	17.8	0.8

(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(1つ選択回答)

(%)

	n	ない 介護・ 介助は 必要	在 は 受 け て い な い 現	助 は ら か け た い が 、 ・ 介 護	護 を 受 け て い か る の 介	現 在 、 何 も い か ら な い	無 回 答
全体	2,273	64.8	15.0	18.1	2.1		
練馬	487	66.5	14.6	17.2	1.6		
光が丘	596	64.1	15.8	17.8	2.3		
石神井	667	63.7	15.6	18.4	2.2		
大泉	523	65.4	13.8	18.9	1.9		

(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(1つ選択回答)

(%)

	n	大 変 苦 し い	や や 苦 し い	ふ つ う	が あ る と り	が 大 変 あ る と り	無 回 答
全体	2,273	10.9	26.4	52.2	8.1	1.2	1.1
練馬	487	10.1	24.4	53.4	8.2	1.2	2.7
光が丘	596	13.4	27.9	50.2	6.9	0.8	0.8
石神井	667	8.1	27.4	52.8	8.8	1.8	1.0
大泉	523	12.2	25.4	52.6	8.6	1.0	0.2

問2 からだを動かすことについて

(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(1つ選択回答)

(%)

	n	し で き い る し 、	し で き い る な い ど	で き な い	無 回 答
全体	2,273	50.2	18.6	29.8	1.5
練馬	487	51.3	21.1	26.1	1.4
光が丘	596	49.3	19.3	29.5	1.8
石神井	667	52.2	16.2	30.1	1.5
大泉	523	47.4	18.4	33.1	1.1

(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(1つ選択回答)

(%)

	n	し で き い る し 、	し で き い る な い ど	で き な い	無 回 答
全体	2,273	64.8	12.7	20.1	2.4
練馬	487	65.7	13.6	18.1	2.7
光が丘	596	64.8	13.4	19.1	2.7
石神井	667	64.9	11.8	20.8	2.4
大泉	523	63.9	12.2	22.2	1.7

(3) 15分位続けて歩いていますか。(1つ選択回答)

(%)

	n	できているし、	できていないけど	できない	無回答
全体	2,273	75.1	10.8	12.3	1.8
練馬	487	74.5	10.3	13.1	2.1
光が丘	596	74.3	11.7	11.9	2.0
石神井	667	76.0	11.5	10.6	1.8
大泉	523	75.3	9.4	14.0	1.3

(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか。(1つ選択回答)

(%)

	n	何度もある	1度ある	ない	無回答	リ(ス計ク)あ転り倒
全体	2,273	11.8	24.9	62.1	1.2	36.7
練馬	487	9.9	25.5	63.2	1.4	35.3
光が丘	596	13.3	25.2	60.6	1.0	38.4
石神井	667	11.1	24.0	63.9	1.0	35.1
大泉	523	12.8	25.2	60.4	1.5	38.0

※転倒リスクがありとは、過去1年間の転んだ経験が「何度もある」と「1度ある」の合計を指す

(5) 転倒に対する不安は大きいですか。(1つ選択回答)

(%)

	n	とても不安	やや不安	あまり不安	不安でない	無回答
全体	2,273	24.9	36.3	23.2	13.8	1.9
練馬	487	23.0	37.2	22.6	14.6	2.7
光が丘	596	27.0	36.1	22.3	12.8	1.8
石神井	667	23.2	37.6	24.0	14.1	1.0
大泉	523	26.2	33.8	23.7	13.8	2.5

(1) ~ (5) 運動器機能の低下について

(%)

	n	し運動器機能が低下	し運動器機能は低下	無回答
全体	2,273	25.7	72.0	2.2
練馬	487	24.4	72.9	2.7
光が丘	596	25.3	72.0	2.7
石神井	667	24.7	73.8	1.5
大泉	523	28.7	69.0	2.3

※ (1) ~ (5) について、下記の項目に3つ以上該当する場合に、「運動器機能の低下している高齢者」としている

- (1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇ることが「できない」
- (2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がることが「できない」
- (3) 15分続けて歩くことが「できない」
- (4) 過去1年間に転んだ経験が、「何度もある」あるいは「1度ある」
- (5) 転倒に対して、「とても不安である」あるいは「やや不安である」

(6) 週に1回以上は外出していますか。(1つ選択回答)

(%)

	n	ほとんど外出しない	週1回	週2〜4回	週5回以上	無回答	も(計)り(傾)向(閉)じ(り)こ
全体	2,273	5.9	13.0	43.9	35.4	1.8	18.8
練馬	487	5.7	14.4	41.5	36.1	2.3	20.1
光が丘	596	6.5	12.2	44.0	35.2	2.0	18.8
石神井	667	6.3	13.5	42.3	36.4	1.5	19.8
大泉	523	4.6	11.9	48.2	33.7	1.7	16.4

閉じこもり傾向のありとは、「ほとんど外出しない」と「週1回」の合計を指す

(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(1つ選択回答)

(%)

	n	い(と)も(減)っ(て)	減(っ)て(い)る	い(あ)ま(り)減(っ)て	減(っ)て(い)ない	無回答
全体	2,273	6.0	27.3	31.7	33.3	1.7
練馬	487	6.2	27.3	27.9	36.8	1.8
光が丘	596	6.4	27.3	32.2	32.2	1.8
石神井	667	6.0	26.7	33.1	33.1	1.0
大泉	523	5.4	28.1	32.7	31.7	2.1

問3 食べることについて

(1) 身長・体重 (BMI)

(%)

	n	疑(低)わ(栄)れ(養)る(が)	標(準)	未(満)	無(回)答
全体	2,273	9.5	65.8	19.8	4.9
練馬	487	10.9	65.1	19.3	4.7
光が丘	596	9.7	63.9	20.6	5.7
石神井	667	10.2	67.9	17.1	4.8
大泉	523	7.1	65.8	22.8	4.4

※ BMIとは、体重(kg)÷(身長(m)×身長(m))で算出され、18.5未満の場合に低栄養が疑われる。18.5~25.0未満が標準、25.0以上が肥満気味を指す

(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(1つ選択回答)

(%)

	n	は(い)	い(い)え	無(回)答
全体	2,273	36.6	60.6	2.8
練馬	487	34.3	63.2	2.5
光が丘	596	36.9	60.4	2.7
石神井	667	36.9	60.0	3.1
大泉	523	38.2	59.1	2.7

(3) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です。1つ選択回答)

(%)

	n	れ本自 歯以分 を上の 利、歯 用かは つ2 入0	の本自 利以分 用の上 な、歯 し入れ れ2 歯0	れ本自 歯以分 を下の 利、歯 用かは つ1 入9	の本自 利以分 用の下 な、歯 し入れ れ1 歯9	無 回 答
全体	2,273	17.1	27.0	42.4	8.6	4.9
練馬	487	17.9	26.9	41.9	9.2	4.1
光が丘	596	15.9	26.5	42.8	8.9	5.9
石神井	667	17.7	26.8	41.1	9.6	4.8
大泉	523	17.0	27.7	44.0	6.5	4.8

(4) どなたかと食事をとにもする機会がありますか。(1つ選択回答)

(%)

	n	毎 日 あ る	か週 あに る何 度	か月 あに る何 度	か年 あに る何 度	なほ いと んど	無 回 答
全体	2,273	44.7	13.9	20.5	10.5	9.0	1.4
練馬	487	43.3	14.4	23.6	8.6	9.0	1.0
光が丘	596	44.8	12.2	19.6	12.9	9.1	1.3
石神井	667	44.7	15.3	18.7	9.1	11.1	1.0
大泉	523	45.9	13.4	21.0	11.3	6.3	2.1

問4 毎日の生活について

(1) 物忘れが多いと感じますか。(1つ選択回答)

(%)

	n	は い	い い え	無 回 答
全体	2,273	52.5	46.1	1.5
練馬	487	54.2	45.0	0.8
光が丘	596	52.7	45.3	2.0
石神井	667	51.3	47.4	1.3
大泉	523	52.2	46.3	1.5

(2) バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)。(1つ選択回答)

(%)

	n	しで て き い る し 、	しで て き い る な い ど	で き な い	無 回 答
全体	2,273	79.9	9.3	9.5	1.4
練馬	487	80.1	9.4	9.2	1.2
光が丘	596	79.5	10.4	8.7	1.3
石神井	667	81.3	8.5	9.6	0.6
大泉	523	78.2	8.8	10.5	2.5

(3) 自分で食品・日用品の買い物をしていますか。(1つ選択回答)

(%)

	n	しで て き い る し 、	しで て き い る な い ど	で き な い	無 回 答
全体	2,273	82.3	9.8	7.0	1.0
練馬	487	83.2	9.2	6.6	1.0
光が丘	596	83.1	10.9	5.0	1.0
石神井	667	83.1	9.4	6.9	0.6
大泉	523	79.5	9.6	9.6	1.3

(4) 自分で食事の用意をしていますか。(1つ選択回答)

(%)

	n	でき ている し、	でき ている けど	でき ない	無 回 答
全体	2,273	74.3	16.5	8.1	1.1
練馬	487	76.4	14.6	7.8	1.2
光が丘	596	74.8	17.6	6.4	1.2
石神井	667	73.8	16.6	9.0	0.6
大泉	523	72.3	17.0	9.4	1.3

(5) 自分で請求書の支払いをしていますか。(1つ選択回答)

(%)

	n	でき ている し、	でき ている けど	でき ない	無 回 答
全体	2,273	85.0	8.7	5.2	1.1
練馬	487	85.4	8.0	5.5	1.0
光が丘	596	84.6	8.9	5.4	1.2
石神井	667	87.4	7.5	4.0	1.0
大泉	523	82.0	10.7	6.1	1.1

(6) 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(1つ選択回答)

(%)

	n	でき ている し、	でき ている けど	でき ない	無 回 答
全体	2,273	84.6	9.0	5.1	1.2
練馬	487	86.0	8.0	4.9	1.0
光が丘	596	83.7	9.2	5.5	1.5
石神井	667	86.1	8.5	4.3	1.0
大泉	523	82.6	10.3	5.9	1.1

問5 地域での活動について

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。(老人クラブ・町内会・自治会の活動をのぞきます)

① ボランティアのグループ(1つ選択回答)

(%)

	n	週 4 回 以 上	週 2 〜 3 回	週 1 回	月 1 〜 3 回	年 に 数 回	な ま ま な 参 加 し て い ない	無 回 答
全体	2,273	0.4	1.4	1.0	2.7	1.7	54.4	38.5
練馬	487	1.0	1.2	2.3	2.3	1.4	53.6	38.2
光が丘	596	0.3	1.7	0.2	3.2	1.5	56.9	36.2
石神井	667	0.4	1.3	0.9	2.5	1.8	55.2	37.8
大泉	523	-	1.1	1.0	2.7	1.9	51.2	42.1

② スポーツ関係のグループやクラブ(1つ選択回答)

(%)

	n	週 4 回 以 上	週 2 〜 3 回	週 1 回	月 1 〜 3 回	年 に 数 回	な ま ま な 参 加 し て い ない	無 回 答
全体	2,273	1.5	5.6	5.3	3.2	1.6	48.5	34.3
練馬	487	1.6	4.7	6.4	3.7	1.8	47.6	34.1
光が丘	596	2.0	7.4	2.9	3.2	1.5	52.0	31.0
石神井	667	1.2	5.1	6.0	2.4	1.8	48.9	34.6
大泉	523	1.1	5.2	6.1	3.6	1.3	44.9	37.7

③ 趣味関係のグループ（1つ選択回答）

(%)

	n	週 4 回 以上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	な い 参 加 し て い	無 回 答
全体	2,273	1.4	3.5	5.4	10.3	3.3	45.0	31.2
練馬	487	1.2	3.3	6.6	9.9	3.5	43.9	31.6
光が丘	596	1.3	4.2	5.7	9.7	2.7	47.3	29.0
石神井	667	1.0	3.7	3.7	10.0	3.7	45.6	32.1
大泉	523	1.9	2.7	5.9	11.5	3.3	42.4	32.3

④ 学習・教養サークル（1つ選択回答）

(%)

	n	週 4 回 以上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	な い 参 加 し て い	無 回 答
全体	2,273	0.2	1.1	1.8	4.1	1.8	50.7	40.3
練馬	487	0.4	1.4	2.9	5.1	1.8	49.1	39.2
光が丘	596	-	0.8	1.7	4.4	1.5	53.4	38.3
石神井	667	0.1	1.5	1.3	3.0	1.9	51.7	40.3
大泉	523	0.4	0.6	1.7	4.2	1.9	47.8	43.4

(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。（1つ選択回答）

(%)

	n	た い 非 参 加 し	よ 参 加 し て も	な 参 加 し た く	無 回 答
全体	2,273	8.8	48.4	32.2	10.5
練馬	487	7.6	51.1	32.2	9.0
光が丘	596	10.6	46.8	32.0	10.6
石神井	667	8.8	50.7	30.1	10.3
大泉	523	8.0	44.7	35.2	12.0

(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（1つ選択回答）

(%)

	n	た い 非 参 加 し	よ 参 加 し て も	な 参 加 し た く	無 回 答
全体	2,273	2.4	30.0	57.2	10.4
練馬	487	2.3	27.7	59.8	10.3
光が丘	596	2.5	30.0	57.6	9.9
石神井	667	2.8	31.8	55.3	10.0
大泉	523	1.9	29.8	56.8	11.5

問6 たすけあいについて

(1) あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人。（あてはまるものすべて選択回答）

(%)

	n	配 偶 者	も 同 居 の 子 ど	も 別 居 の 子 ど	孫 親 兄 弟 ・ 姉 妹 ・ ・	近 隣	友 人	そ の 他	人 そ は の い よ う い な	無 回 答
全体	2,273	33.3	15.6	31.4	24.4	7.7	38.1	2.5	8.5	7.3
練馬	487	30.8	16.6	29.6	25.3	7.0	39.0	2.5	9.4	7.4
光が丘	596	34.7	14.3	34.1	26.2	7.9	38.4	2.3	7.9	6.9
石神井	667	31.5	16.6	27.6	23.8	7.9	37.9	2.7	9.1	8.2
大泉	523	36.5	14.9	35.0	22.2	8.0	37.1	2.3	7.6	6.5

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人。（あてはまるものすべて選択回答）

(%)

	n	配偶者	も同居の子ど	も別居の子ど	孫親兄弟・親妹・姉妹	近隣	友人	その他	人そのいよないな	無回答
全体	2,273	31.9	13.0	26.4	25.3	10.7	39.1	1.9	10.3	9.5
練馬	487	29.4	15.0	24.6	25.7	10.3	39.8	1.6	10.9	9.9
光が丘	596	31.4	11.6	28.5	25.0	10.9	39.3	1.2	11.2	9.4
石神井	667	30.9	13.3	23.2	25.3	10.2	39.1	2.7	10.3	10.6
大泉	523	36.1	12.2	29.8	25.0	11.7	38.0	1.9	8.6	7.8

(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人。（あてはまるものすべて選択回答）

(%)

	n	配偶者	も同居の子ど	も別居の子ど	孫親兄弟・親妹・姉妹	近隣	友人	その他	人そのいよないな	無回答
全体	2,273	37.1	21.6	29.7	12.0	3.5	6.6	2.8	12.8	7.7
練馬	487	33.3	24.0	27.3	13.8	3.5	8.4	2.5	15.8	7.6
光が丘	596	38.1	20.1	31.4	12.4	3.7	6.7	3.2	11.4	7.4
石神井	667	36.3	20.8	26.7	11.5	3.4	5.8	2.5	14.1	9.1
大泉	523	40.5	21.8	34.0	10.5	3.3	5.9	3.1	10.1	6.3

(4) 反対に、看病や世話をしてあげる人。（あてはまるものすべて選択回答）

(%)

	n	配偶者	も同居の子ど	も別居の子ど	孫親兄弟・親妹・姉妹	近隣	友人	その他	人そのいよないな	無回答
全体	2,273	38.2	17.0	22.0	16.0	3.7	8.2	2.3	19.4	11.1
練馬	487	33.7	19.5	20.3	16.8	4.1	10.5	2.7	20.9	10.3
光が丘	596	39.3	16.9	22.5	14.9	4.0	8.7	2.9	17.6	10.9
石神井	667	37.5	16.0	21.4	15.9	3.1	7.3	1.5	20.4	12.1
大泉	523	42.1	16.1	23.5	16.4	3.8	6.7	2.3	18.9	10.9

問7 健康について

(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか。（1つ選択回答）

(%)

	n	よといても	まあよい	よくなり	よくない	無回答
全体	2,273	10.3	58.9	24.7	3.9	2.2
練馬	487	12.9	59.5	22.0	3.7	1.8
光が丘	596	8.2	57.0	28.4	3.9	2.5
石神井	667	10.0	61.3	22.2	3.6	2.8
大泉	523	10.3	57.4	26.2	4.6	1.5

(2) あなたは、現在どの程度幸せですか。（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として選択回答）

(%)

	n	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答
全体	2,273	0.6	0.5	1.1	2.2	3.7	18.0	9.7	14.2	20.9	10.4	14.8	3.8
練馬	487	0.4	0.6	1.0	2.5	3.9	16.0	9.4	14.2	22.4	10.9	15.8	2.9
光が丘	596	0.8	0.8	1.3	2.0	3.5	21.5	8.7	12.9	20.0	8.4	14.9	5.0
石神井	667	0.4	0.3	0.4	2.4	4.5	16.8	10.0	14.4	22.8	11.4	12.4	4.0
大泉	523	0.6	0.4	1.5	2.1	2.9	17.6	10.5	15.5	18.0	11.1	16.8	3.1

(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(1つ選択回答)

(%)

	n	はい	いいえ	無回答
全体	2,273	40.2	56.9	2.9
練馬	487	38.8	60.0	1.2
光が丘	596	38.4	57.9	3.7
石神井	667	42.3	53.7	4.0
大泉	523	40.9	57.0	2.1

(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(1つ選択回答)

(%)

	n	はい	いいえ	無回答
全体	2,273	26.3	70.8	2.9
練馬	487	27.5	70.4	2.1
光が丘	596	28.4	68.1	3.5
石神井	667	24.9	71.7	3.4
大泉	523	24.7	73.0	2.3

(3) ~ (4) うつ傾向について

(%)

	n	あうつ傾向	なうつ傾向	無回答
全体	2,273	43.9	53.0	3.1
練馬	487	42.7	55.6	1.6
光が丘	596	43.5	52.5	4.0
石神井	667	45.6	50.5	3.9
大泉	523	43.4	54.1	2.5

※ うつ傾向ありとは、(3) (4) のいずれか1つでも「はい」に該当した場合を指す

(5) タバコは吸っていますか。(1つ選択回答)

(%)

	n	いほぼ毎日吸って	時々吸っている	吸ってたがやめた	いもないと吸って	無回答
全体	2,273	7.6	1.9	26.6	60.4	3.5
練馬	487	9.2	2.1	22.6	62.4	3.7
光が丘	596	7.0	1.2	30.2	58.2	3.4
石神井	667	6.9	2.2	25.3	60.9	4.6
大泉	523	7.6	2.1	27.7	60.6	1.9

(6) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(あてはまるものすべて選択回答)

(%)

	n	ない	高血圧	目の病気	ししょう症、関節症等	筋骨格の病気(骨粗)	高脂血症(脂質異常)	糖尿病	心臓病	腎臓・前立腺の病気	病氣	胃腸・肝臓・胆のうの	気管支炎等	呼吸器の病気(肺炎や)	耳の病気	外傷(転倒・骨折等)	塞等)	脳卒中(脳出血・脳梗)	がん(悪性新生物)	血液・免疫の病気	マール病等)	認知症(アルツハイ)	うつ病	パーキンソン病	その他	無回答
全体	2,273	10.9	42.4	21.6	19.0	14.6	14.0	13.0	8.3	8.1	7.6	6.4	6.1	5.1	5.1	2.4	2.0	1.8	1.0	12.1	5.0					
練馬	487	13.8	39.2	20.9	19.3	13.6	11.3	12.3	8.6	8.8	4.7	6.2	6.6	5.3	5.7	2.3	2.5	2.1	0.8	12.3	5.7					
光が丘	596	11.1	42.3	25.2	19.8	15.8	17.1	13.6	8.6	7.6	7.7	7.0	5.2	5.5	5.0	1.7	1.3	1.8	1.0	14.6	4.9					
石神井	667	9.0	42.4	22.8	19.5	15.6	12.3	12.4	6.7	8.8	8.2	6.3	5.8	5.1	4.3	3.3	2.4	1.9	1.3	10.8	5.1					
大泉	523	10.3	45.5	16.4	17.2	13.0	15.3	13.8	9.8	7.3	9.4	5.9	6.9	4.2	5.4	2.1	1.7	1.3	0.6	10.9	4.2					

Ⅲ

在宅介護実態調査

Ⅲ－１．調査概要

1 調査の目的

「介護離職をなくしていくためにはどのようなサービスが必要か」といった観点から、「高齢者等の適切な在宅生活の継続」と「家族等介護者の就労継続」の実現に向けた介護サービスの在り方を検討するための基礎資料を得ることを目的とし、以下の調査を実施した。

調査種別	調査の目的
A票	対象者の世帯類型、介護の頻度、介護のための離職の有無、施設等への入所・入居の検討状況等を把握する。
B票	主な介護者の勤務形態、働き方の調整の状況、就労継続の可否に係る意識、在宅生活の継続に向けて不安に感じる介護等を把握する。

調査項目は『在宅介護実態調査』として国が示した内容のとおりとした。

2 調査方法

介護保険認定調査実施時に、介護保険認定調査員が、調査対象者や調査に立ち会っている家族などに、聞き取り調査を行った。

3 調査対象

区内で在宅生活をしている、要介護・要支援認定の区分変更および更新申請に伴う認定調査対象者とその家族で、「在宅介護実態調査」へのご協力の了解を得られた方。

4 調査期間

平成 28 年 10 月 13 日～平成 29 年 3 月 14 日

5 回収状況

対象者数	有効回答数 (率)
493	493 (100%)

6 報告書を利用するにあたって

- 図・表中のnとは、基数となる実数のことである。
- 回答はnを100%として百分率で算出している。小数点以下第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が全体を示す数値と一致しないことがある。
- 複数回答ができる質問では、回答比率の合計が100%を超える。
- 報告書作成にあたり「厚生労働省老健局介護保険計画課 在宅介護実態調査集計分析ソフト 2010版」を用いてデータ集計・分析を行った。
- サービスの利用回数・組み合わせ等に着目した集計・分析に係る用語の定義は以下のとおりである。

<サービスの利用の分析に用いた用語の定義>

用語	定義	
未利用	・「住宅改修」、「福祉用具貸与・購入」のみを利用している方については、「未利用」として集計している。	
訪問系	・（介護予防）訪問介護、（介護予防）訪問入浴介護、（介護予防）訪問看護、（介護予防）訪問リハビリテーション、（介護予防）居宅療養管理指導、夜間対応型訪問介護を「訪問系」として集計している。	
通所系	・（介護予防）通所介護、（介護予防）通所リハビリテーション、（介護予防）認知症対応型通所介護を「通所系」として集計している。	
短期系	・（介護予防）短期入所生活介護、（介護予防）短期入所療養介護を「短期系」として集計している。	
その他	小規模多機能	・（介護予防）小規模多機能型居宅介護を「小規模多機能」として集計している。
	看護多機能	・看護小規模多機能型居宅介護を「看護多機能」として集計している。
	定期巡回	・定期巡回・随時対応型訪問介護看護を「定期巡回」として集計している。

<サービス利用の組み合わせの分析に用いた用語の定義>

用語	定義
未利用	・上表に同じ
訪問系のみ	・上表の「訪問系」もしくは「定期巡回」のみの利用を集計している。
訪問系を含む組み合わせ	・上表の「訪問系（もしくは定期巡回）」＋「通所系」、「訪問系（もしくは定期巡回）」＋「短期系」、「訪問系（もしくは定期巡回）」＋「通所系」＋「短期系」、「小規模多機能」、「看護多機能」の利用を集計している。
通所系・短期系のみ	・上表の「通所系」、「短期系」、「通所系」＋「短期系」の利用を集計している。

<障害高齢者の日常生活自立度>

用語	説明
J	何らかの障害等を有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出する。
	J 1 交通機関等を利用して外出する。
	J 2 隣近所へなら外出する。
A	屋内での生活は概ね自立しているが、介助なしには外出しない。
	A 1 介助により外出し、日中はほとんどベッドから離れて生活する。
	A 2 外出の頻度が少なく、日中も寝たり起きたりの生活をしている。
B	屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが、座位を保つ。
	B 1 車いすに移乗し、食事、排泄はベッドから離れて行う。
	B 2 介助により車いすに移乗する。
C	1 日中ベッド上で過ごし、排泄、食事、着替において介助を要する。
	C 1 自力で寝返りをうつ。
	C 2 自力では寝返りもうたない。

<認知症高齢者の日常生活自立度>

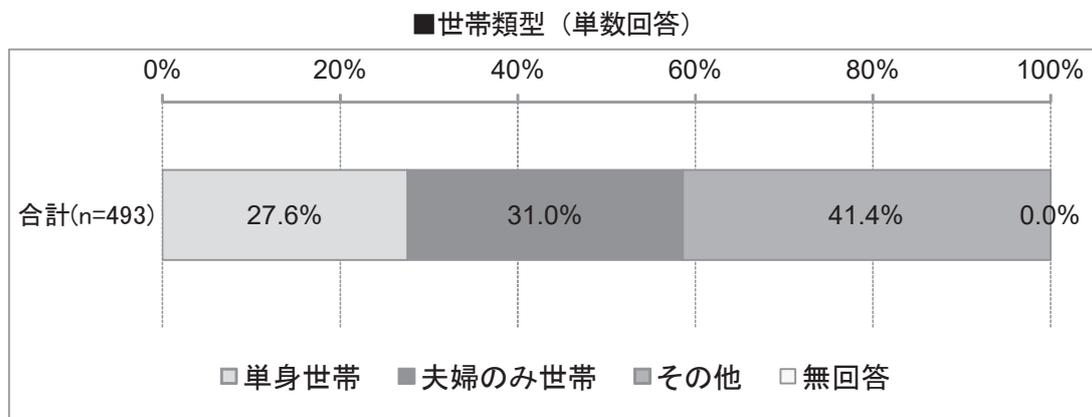
用語	説明
I	何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内および社会的にほぼ自立している。
II	日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる。
	II a 家庭外で上記IIの状態が見られる。
	II b 家庭内でも上記IIの状態が見られる。
III	日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする。
	III a 日中を中心として上記IIIの状態が見られる。
	III b 夜間を中心として上記IIIの状態が見られる。
IV	日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする。
M	著しい精神症状や周辺症状あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする。

Ⅲ-2. 調査結果の詳細（単純集計結果）

1 基本調査項目（A票）

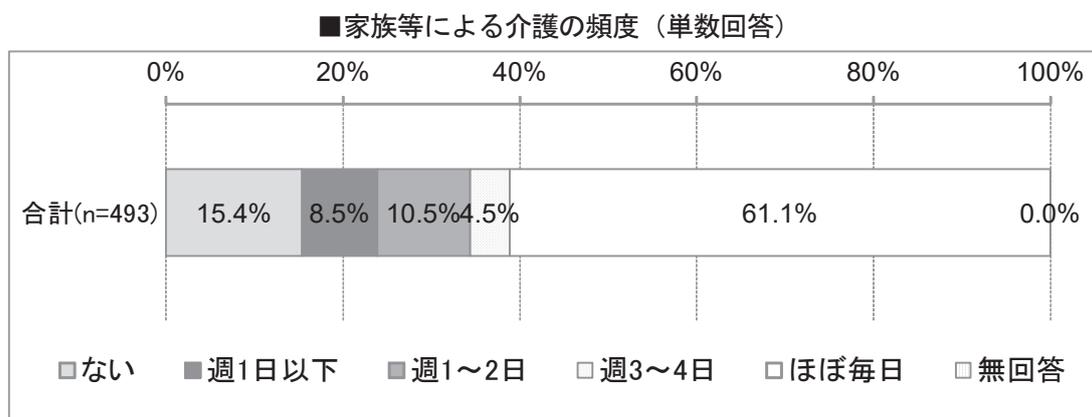
（1）世帯類型

○「単身世帯」27.6%、「夫婦のみ世帯」31.0%、「その他」41.4%であった。



（2）家族等による介護の頻度

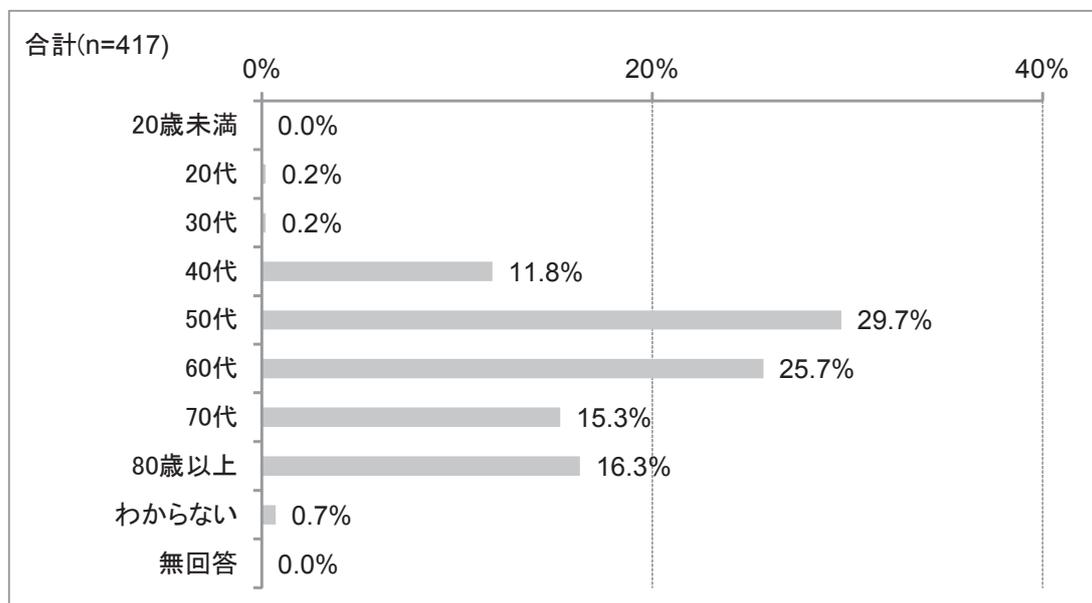
○「ほぼ毎日」が最も高く61.1%、次いで「週1～2日」が10.5%であった。一方、「ない」と回答した割合は15.4%であった。



(3) 主な介護者の年齢

○「50代」と「60代」を合わせると 55.4%で半数以上を占めていた。70代以上も 31.6%と約3割を占めていた。

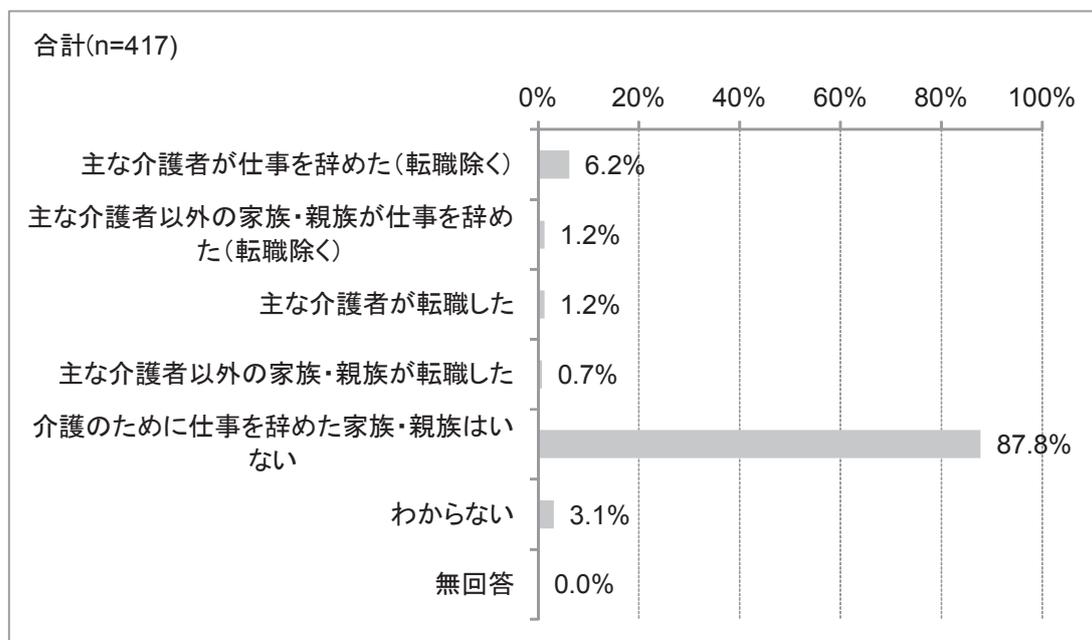
■主な介護者の年齢（単数回答）



(4) 介護のための離職の有無

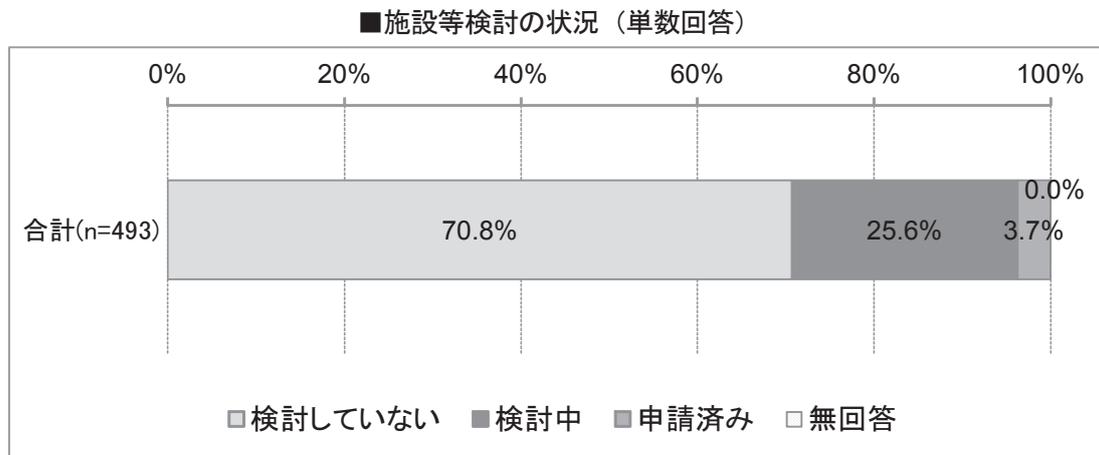
○「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が 87.8%と最も高かった。一方、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」割合は 6.2%であった。

■介護のための離職の有無（複数回答）



(5) 施設等検討の状況

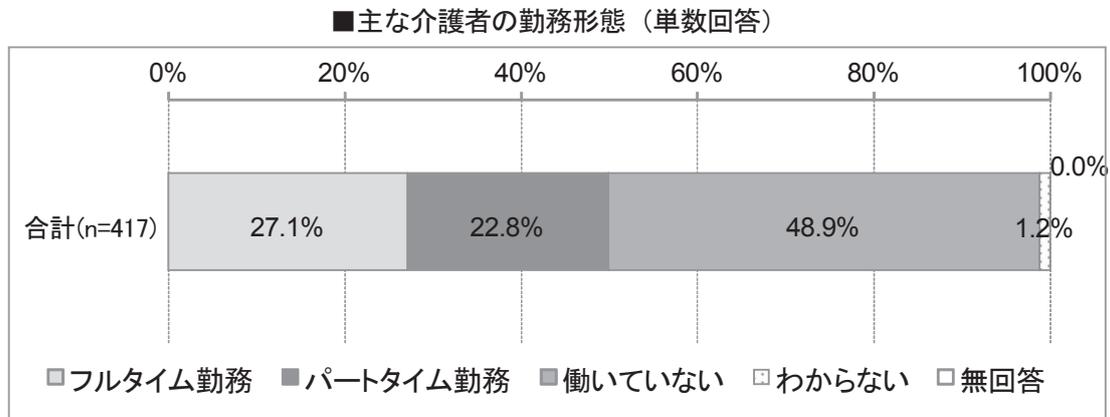
○「検討していない」が最も高く70.8%であった。一方、「検討中」と「申請済み」を合わせると3割弱であった。



2 主な介護者に関する調査項目（B票）

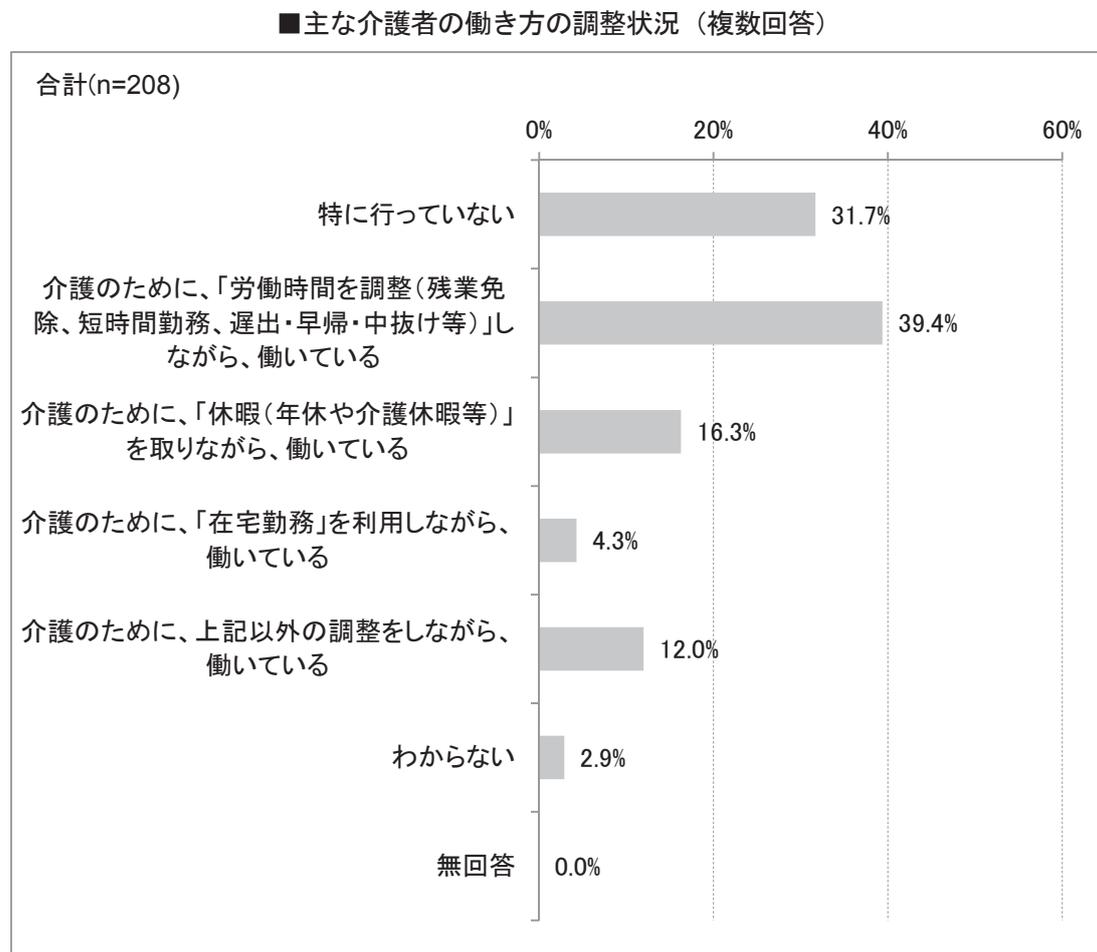
（1）主な介護者の勤務形態

○全体の約半数は働いており、「フルタイム勤務」は27.1%、「パートタイム勤務」は22.8%であった。



（2）主な介護者の働き方の調整状況

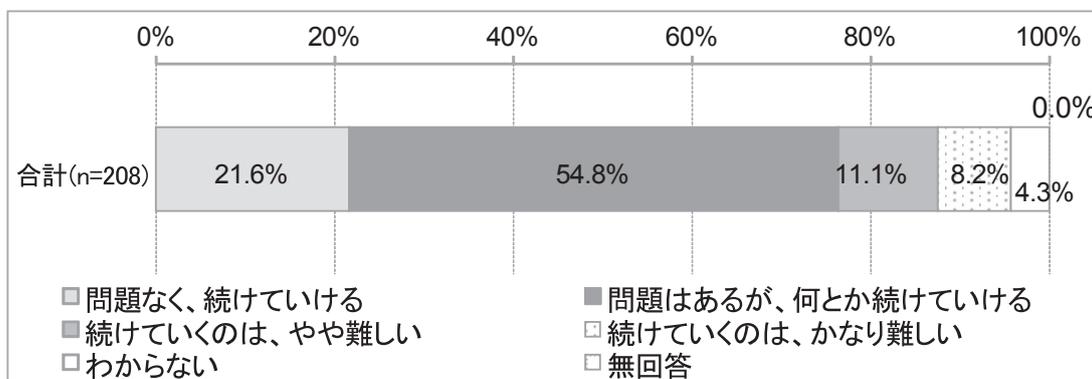
○「介護のために、『労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）』しながら、働いている」割合が39.4%と最も高かったが、「特に行っていない」と回答した割合も31.7%あった。



(3) 主な介護者の就労継続の可否に係る意識

- 「問題はあるが、何とか続けていける」が54.8%で最も高かった。
- 「問題なく、続けていける」は21.6%だった。一方、「問題はあるが、何とか続けていける」「続けていくのは、やや難しい」「続けていくのは、かなり難しい」の合計は74.1%で、主な介護者が働く上で何らかの問題を感じているのは7割を超えた。

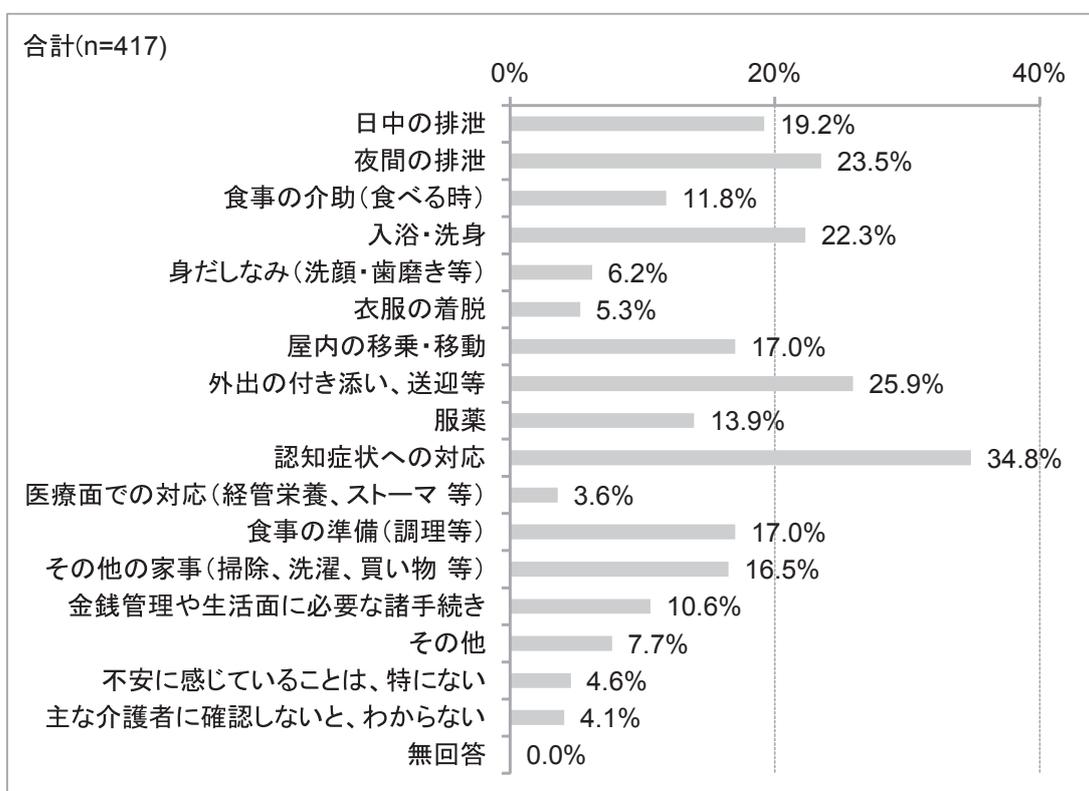
■主な介護者の就労継続の可否に係る意識（単数回答）



(4) 今後の在宅生活の継続に向けて、主な介護者が不安に感じる介護

- 「認知症状への対応」が34.8%と最も高く、「外出の付き添い、送迎等」が25.9%、「夜間の排泄」が23.5%と続いた。

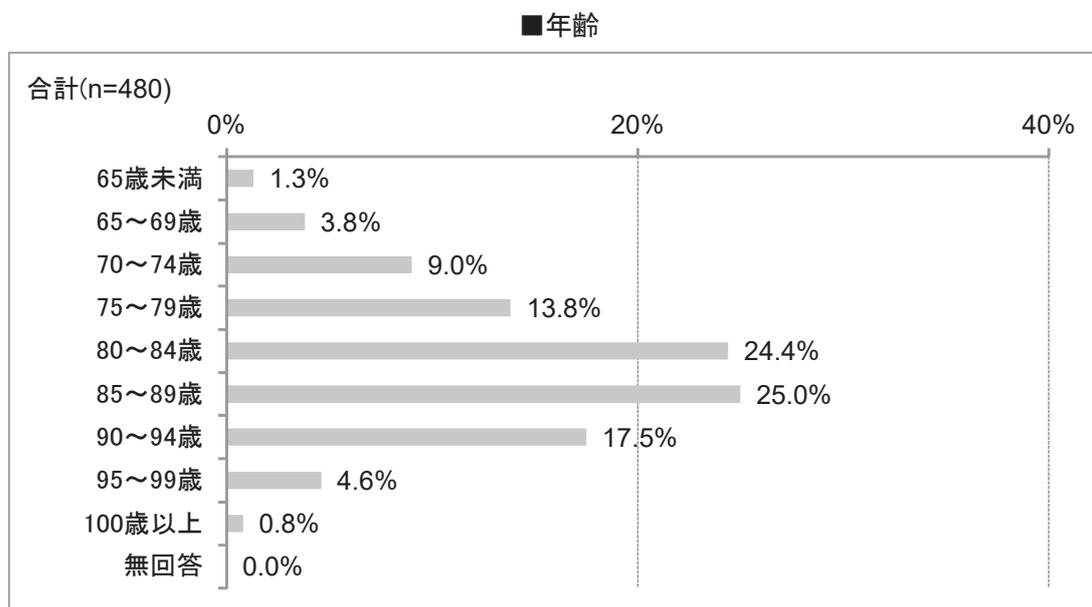
■今後の在宅生活の継続に向けて、主な介護者が不安に感じる介護（複数回答）



3 要介護認定データ

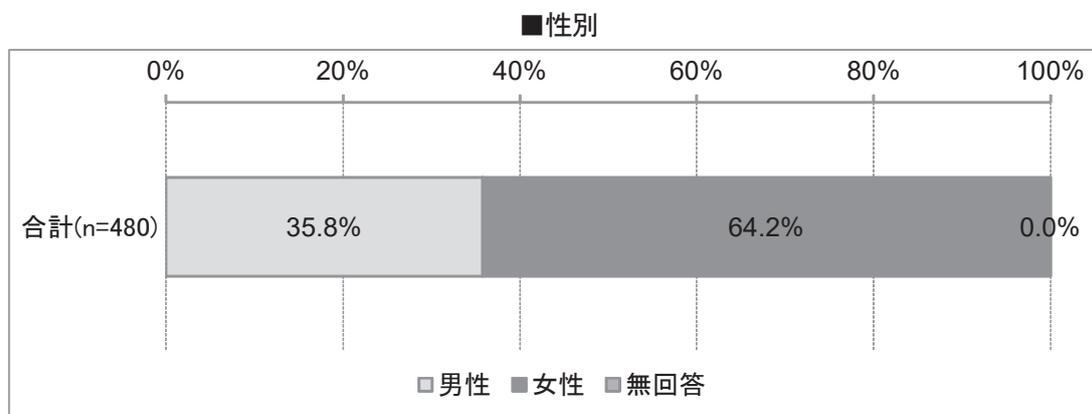
(1) 年齢

○調査対象者は、75歳以上の後期高齢者が86.1%で、一方、「65歳未満」は1.3%であった。



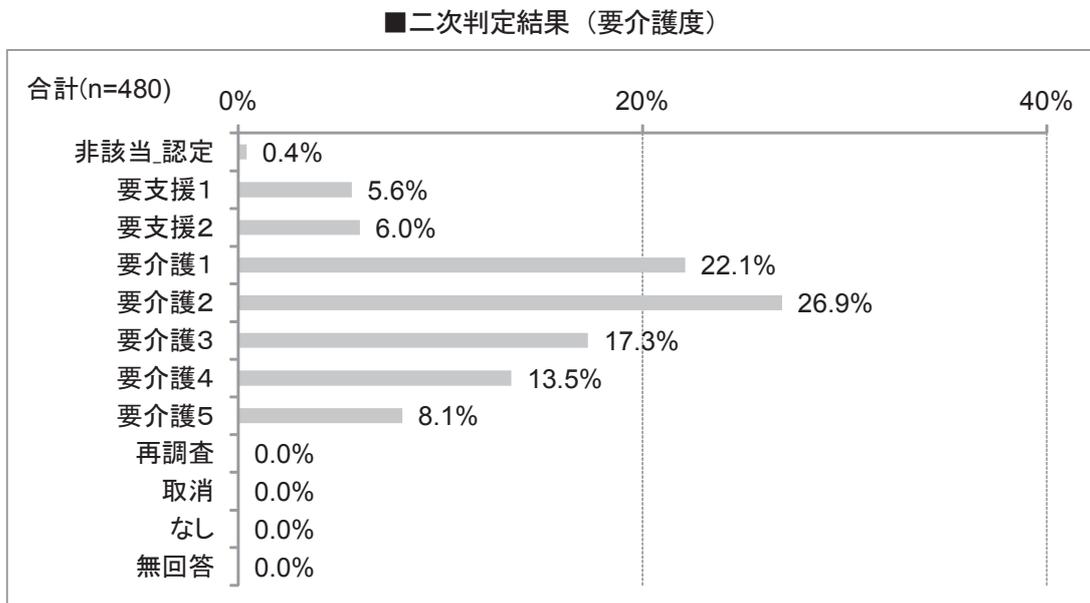
(2) 性別

○「男性」35.8%、「女性」64.2%であった。



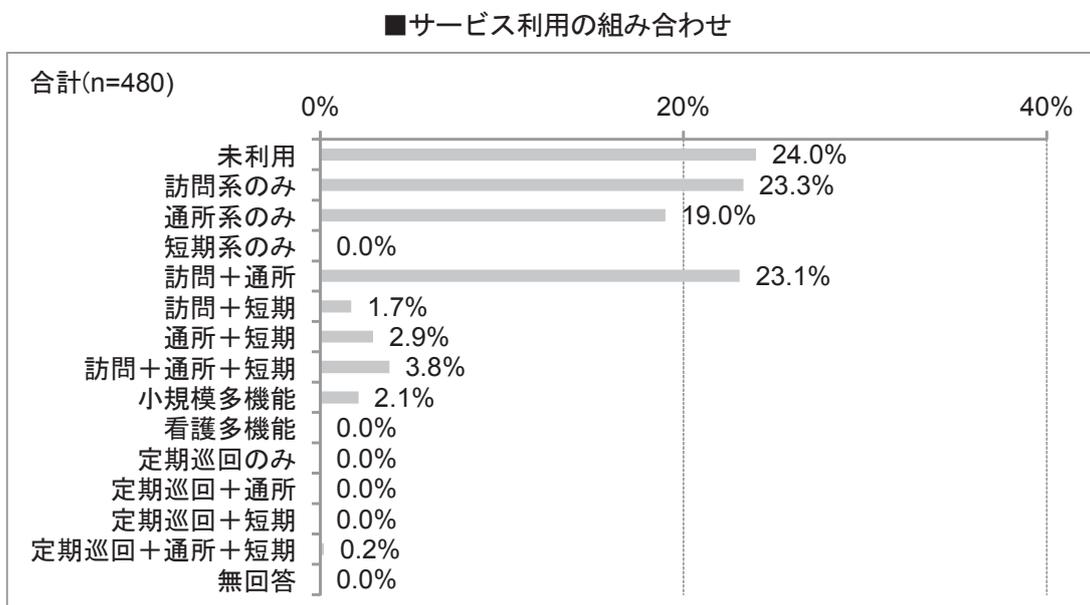
(3) 二次判定結果（要介護度）

○「要介護2」が26.9%、「要介護1」が22.1%であった。「要支援1」と「要支援2」は合わせて11.6%、要介護3以上は38.9%と約4割を占めた。



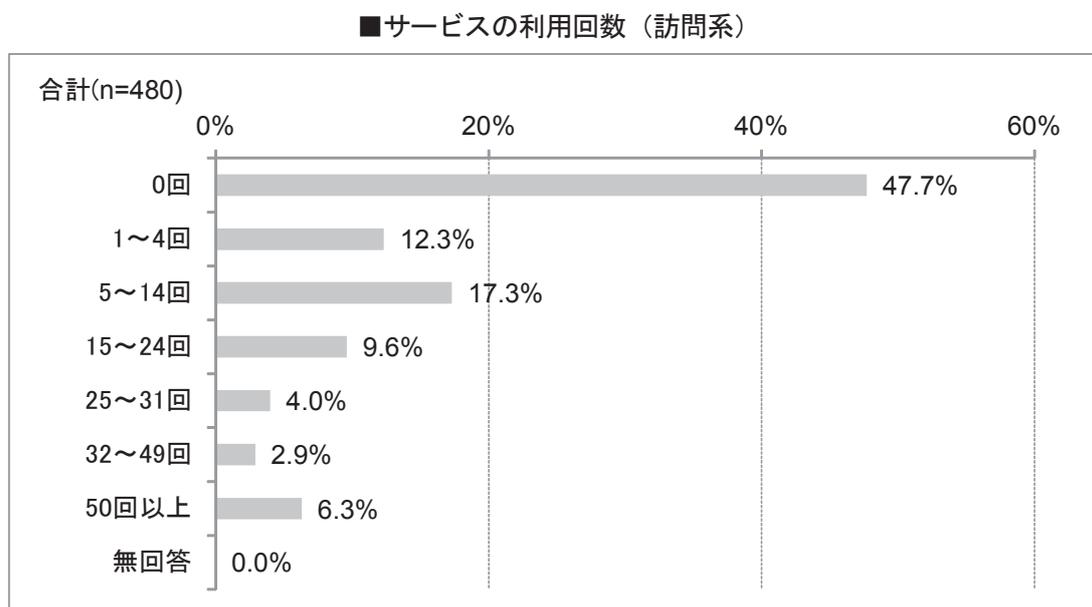
(4) サービス利用の組み合わせ

○「未利用」が24.0%と最も高く、「訪問系のみ」利用が23.3%、「訪問+通所」が23.1%、「通所系のみ」が19.0%と続いた。



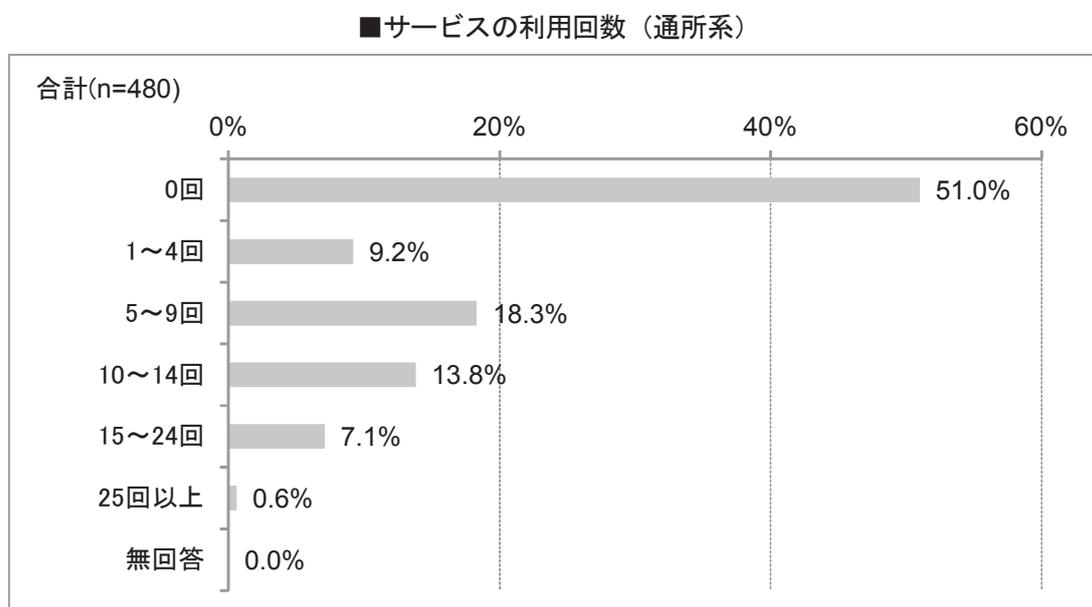
(5) 訪問系サービスの合計利用回数

○「0回」が47.7%と約半数を占め、「5～14回」が17.3%、「1～4回」が12.3%と続いた。一方「50回以上」利用も6.3%あった。



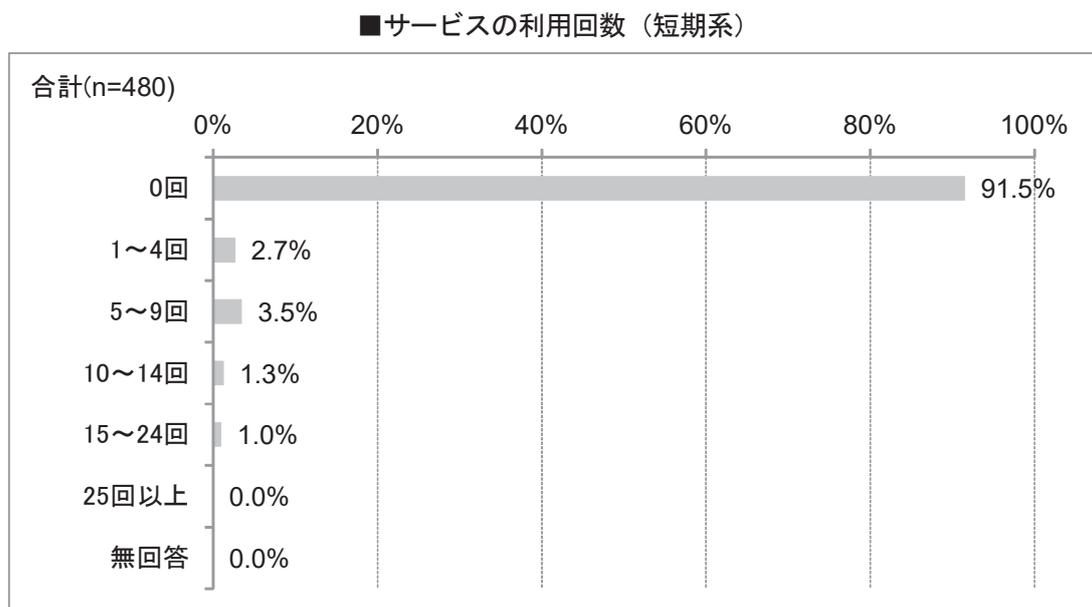
(6) 通所系サービスの合計利用回数

○「0回」が51.0%と最も高く半数以上を占めた。次いで「5～9回」が18.3%、「10～14回」が13.8%と続いた。また、10回以上利用している割合は約2割であった。



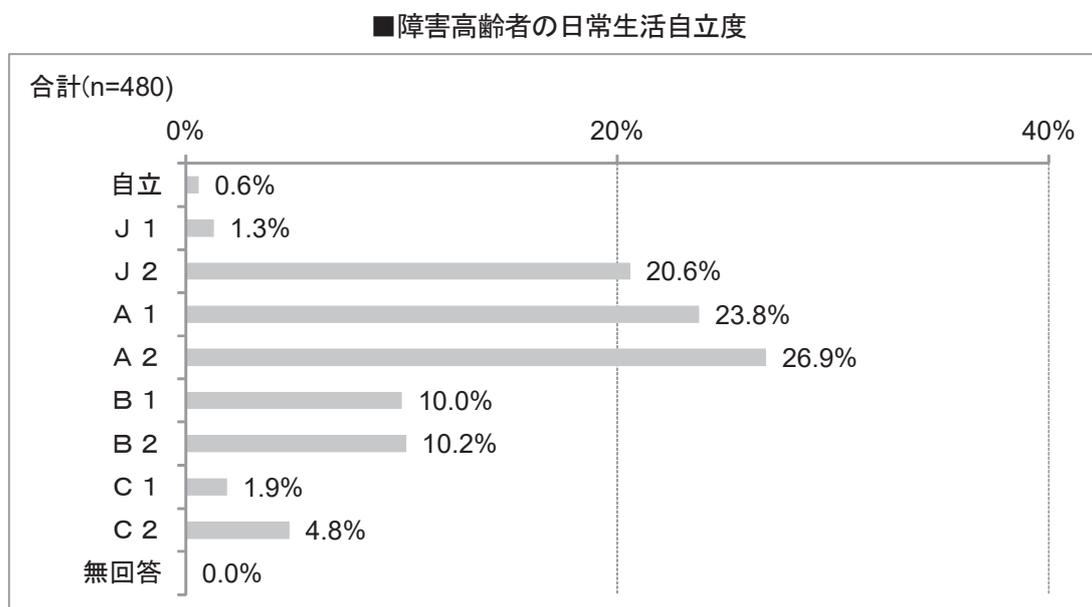
(7) 短期系サービスの合計利用回数

○「0回」が91.5%と、9割を超えた。



(8) 障害高齢者の日常生活自立度

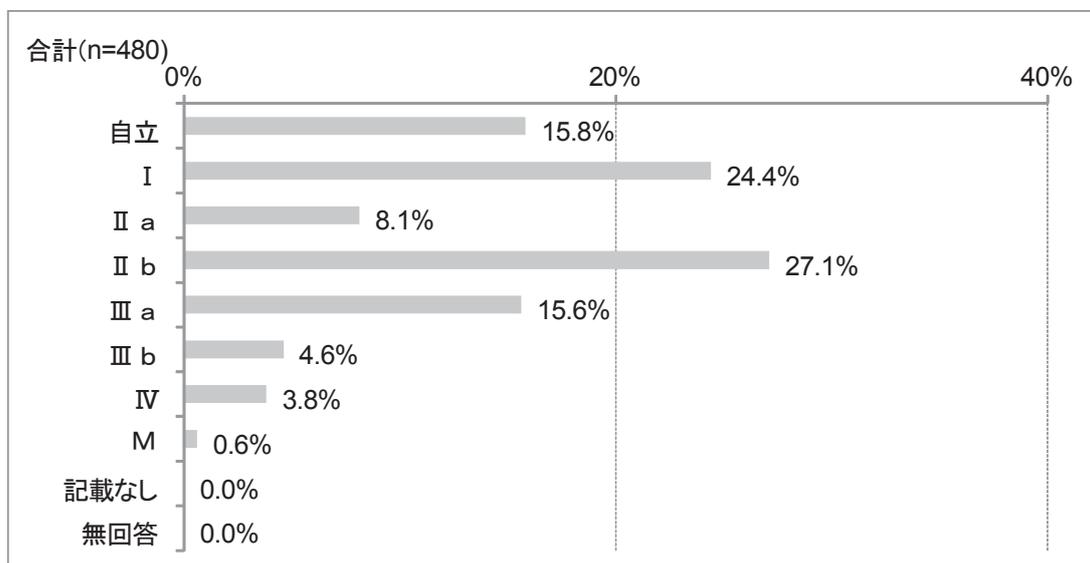
○「J 2」が20.6%、「A 1」が23.8%、「A 2」が26.9%であった。BおよびCランクの合計は26.9%と4分の1強を占めた。



(9) 認知症高齢者の日常生活自立度

○「II b」が 27.1%と最も高く、「I」が 24.4%、「自立」が 15.8%と続いた。また、認知症III以上は、24.6%と約4分の1を占めた。

■ 認知症高齢者の日常生活自立度

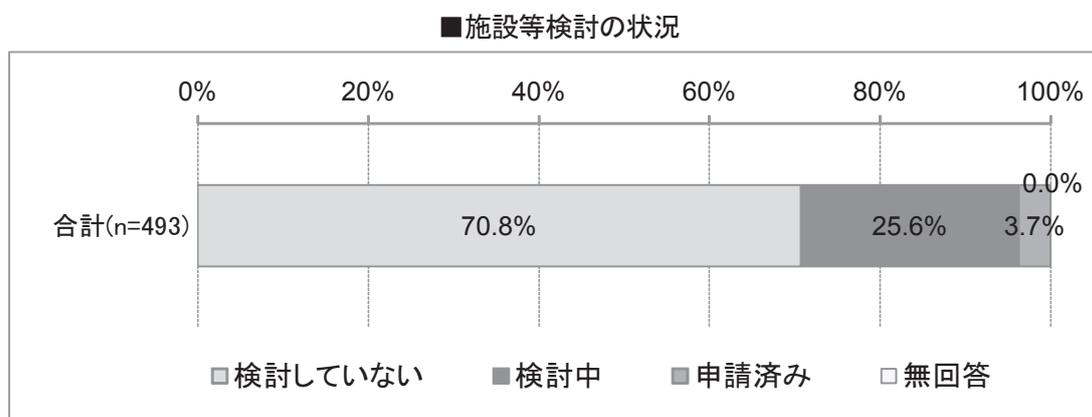


Ⅲ-3. 調査結果の詳細（クロス集計結果）

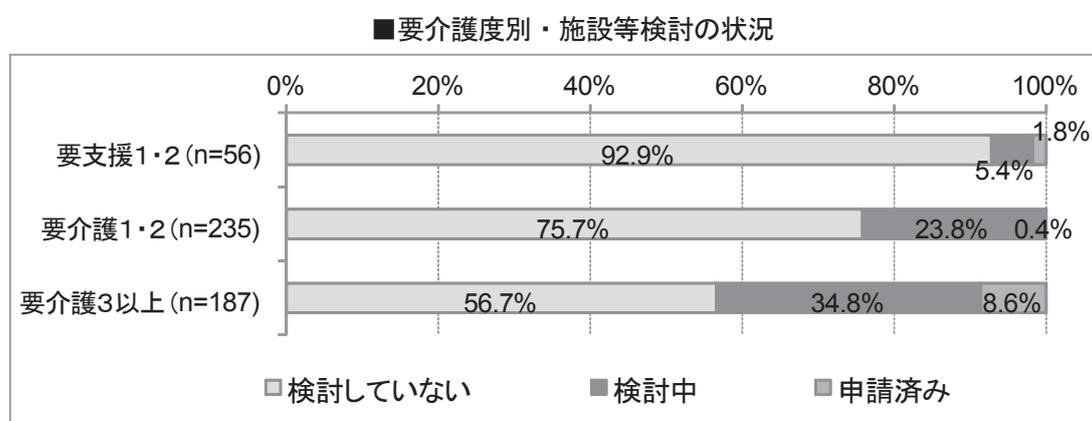
1 サービス利用状況等と介護者が不安に感じる介護

(1) 基礎集計

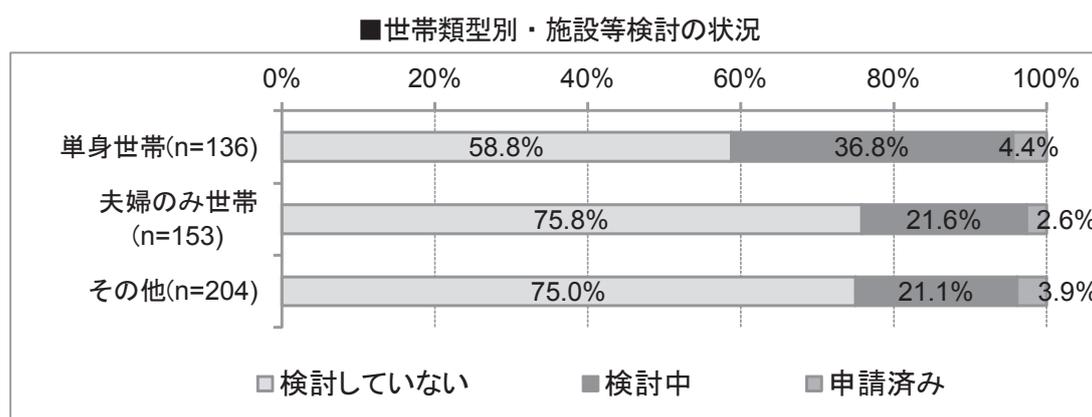
○施設等検討の状況は、「検討していない」が70.8%と7割を超えた。一方、「検討中」または「申請済み」は合わせて29.3%であった。



○要介護度別・施設等検討の状況で施設等の入所を「検討中」または「申請済み」は、『要支援1・2』で7.2%、『要介護1・2』は24.2%、『要介護3以上』は43.4%であり、重度化に伴い検討中や申請済みの割合が高くなっていった。一方、『要介護3以上』においても「検討していない」が56.7%と半数を超えた。



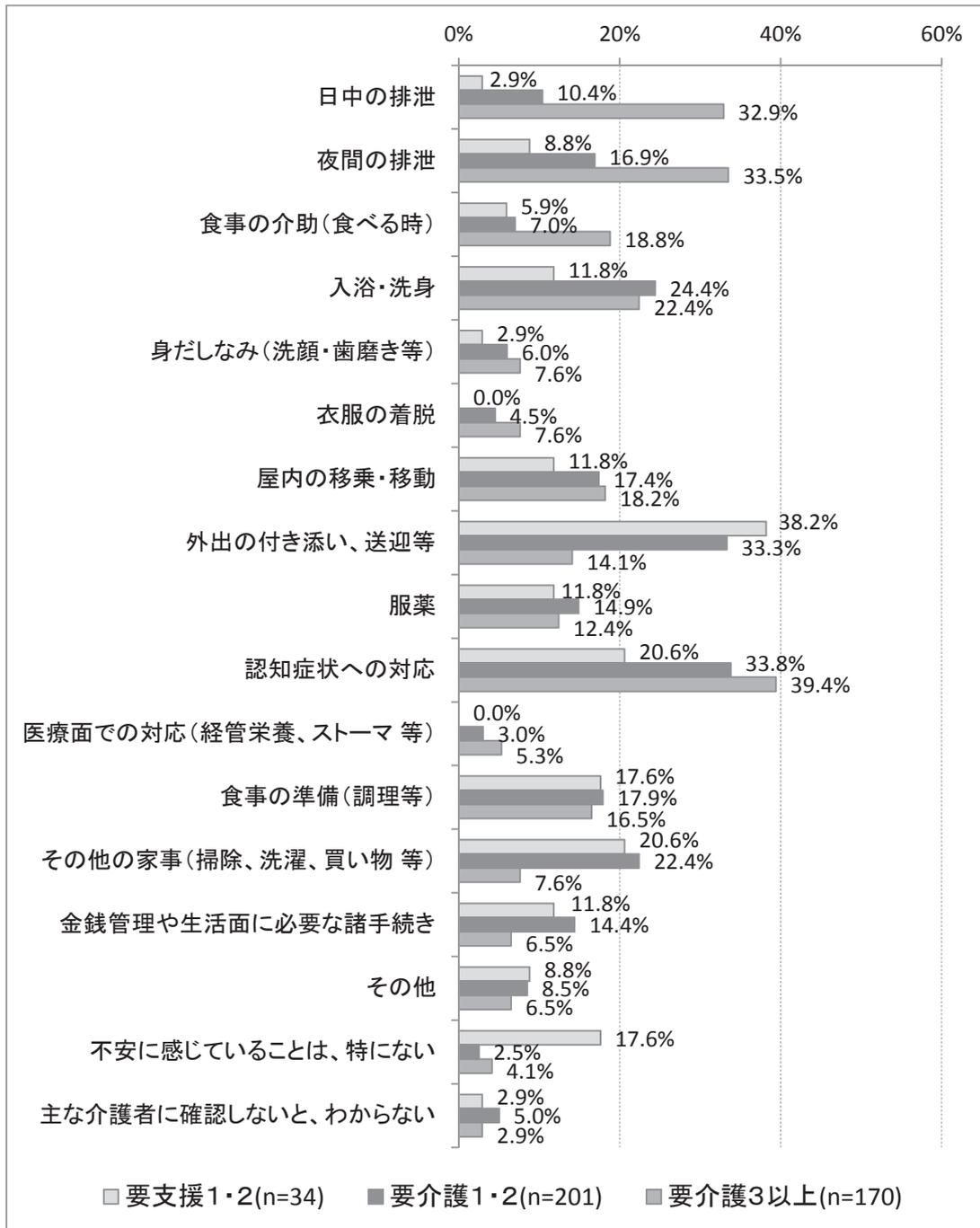
○世帯類型別・施設等検討の状況で施設等の入所を「検討中」または「申請済み」は、『単身世帯』で41.2%、『夫婦のみ世帯』で24.2%であった。



(2) 要介護度・認知症自立度の重度化に伴う「主な介護者が不安に感じる介護」の変化

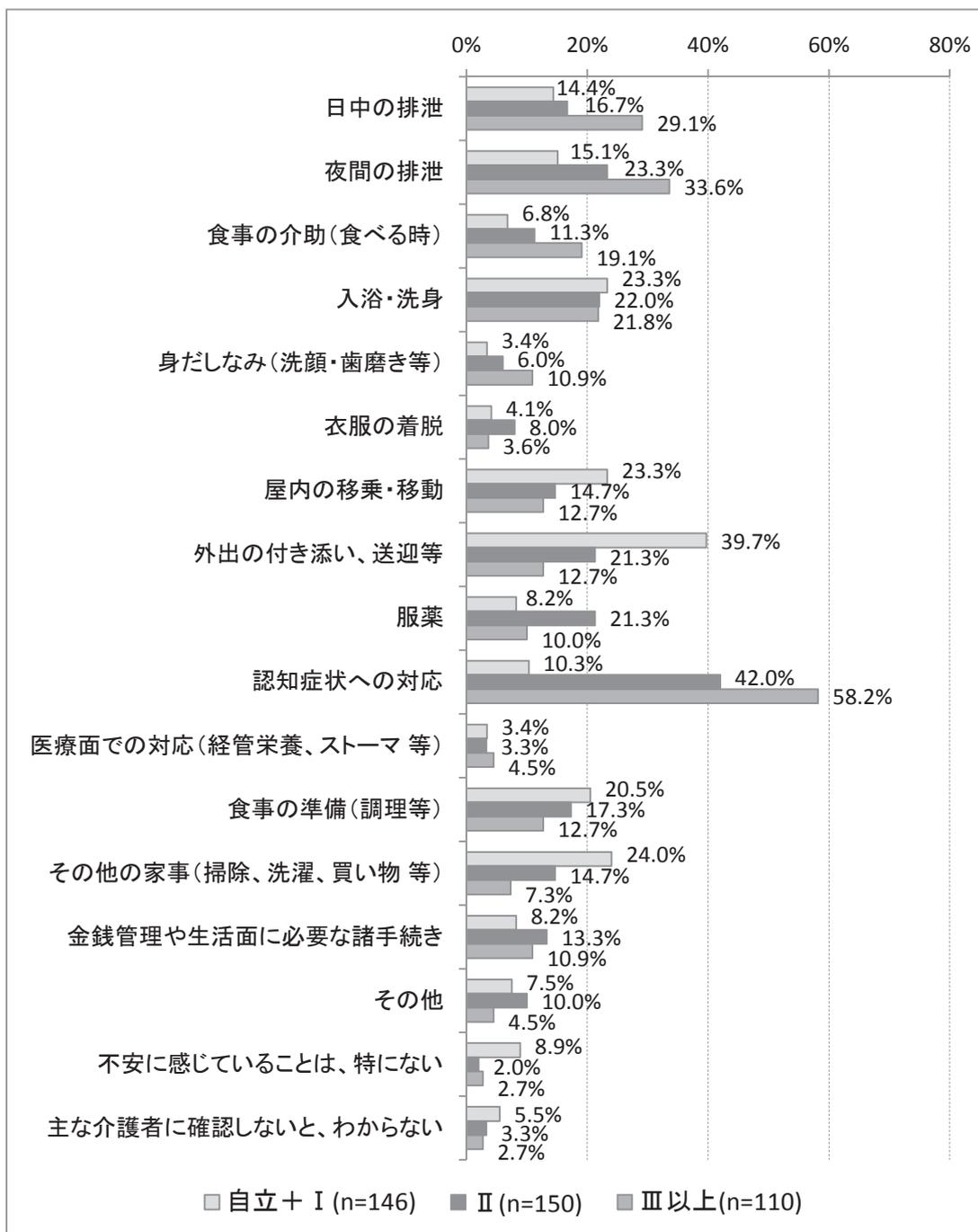
○『要支援1・2』では「外出の付き添い、送迎等」が38.2%と最も高く、『要介護1・2』と『要介護3以上』では「認知症状への対応」が最も高く、それぞれ33.8%、39.4%であった。また、『要介護3以上』では、「夜間の排泄」が33.5%、「日中の排泄」が32.9%と続いた。

■要介護度別・介護者が不安に感じる介護



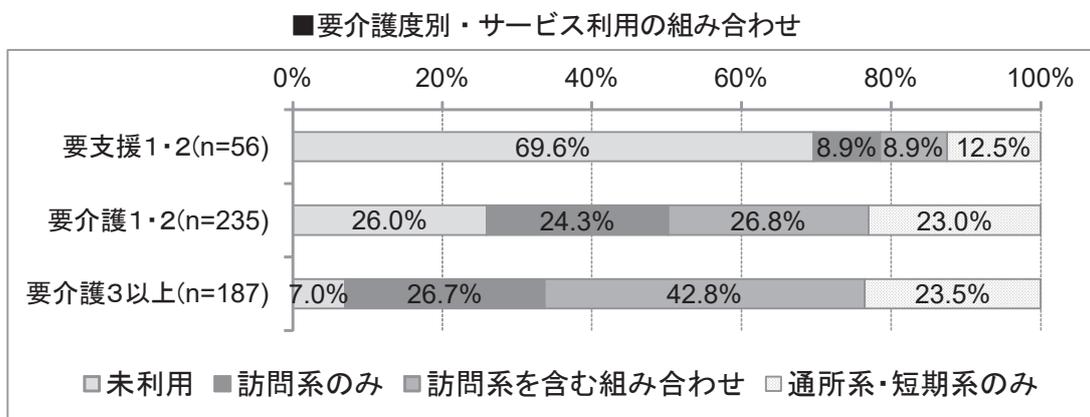
○認知症自立度『Ⅱ』および『Ⅲ以上』では「認知症状への対応」が最も高くそれぞれ42.0%、58.2%であった。『自立+Ⅰ』では「外出の付き添い、送迎等」が最も高く39.7%であった。『Ⅲ以上』では「夜間の排泄」33.6%、「日中の排泄」29.1%と続いた。

■認知症自立度別・介護者が不安に感じる介護

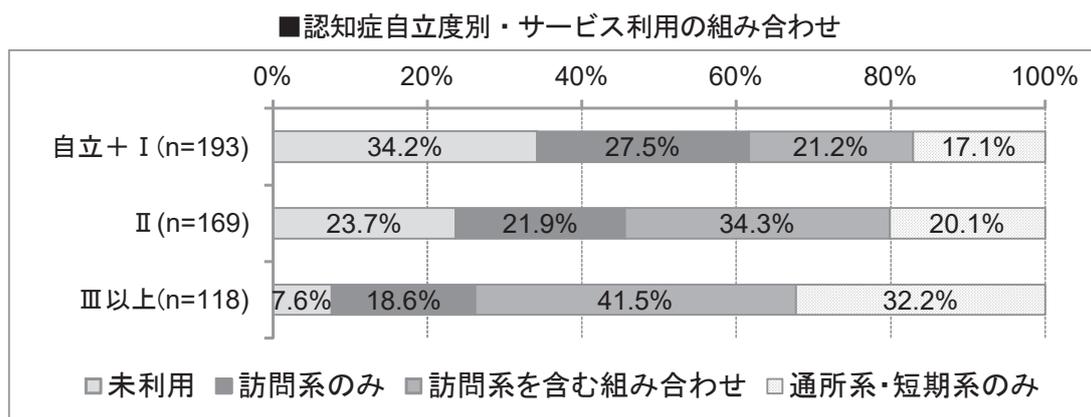


(3) 要介護度・認知症自立度の重度化に伴う「サービス利用の組み合わせ」の変化

○要介護度の重度化に伴い、「未利用」の割合が減少し、「訪問系のみ」「訪問系を含む組み合わせ」「通所系・短期系のみ」とも利用割合が増していた。特に「訪問系を含む組み合わせ」の増加が顕著であった。



○認知症自立度の重度化に伴い、「未利用」および「訪問系のみ」の割合が減少し、「訪問系を含む組み合わせ」および「通所系・短期系のみ」の割合が増していた。

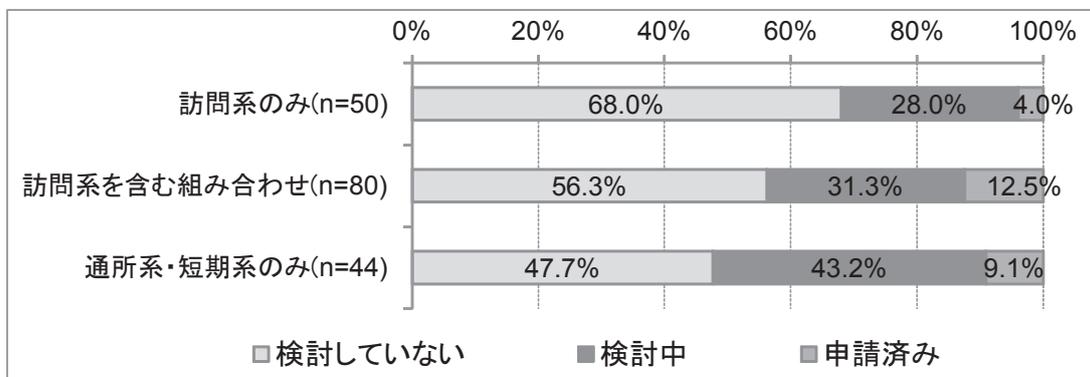


(4) 「サービス利用の組み合わせ」と「施設等検討の状況」の関係

【要介護3以上】

○施設等の入所を「検討していない」割合は、『訪問系のみ』のサービス利用者で最も高く68.0%、『訪問系を含む組み合わせ』で56.3%、『通所系・短期系のみ』で47.7%となっていた。

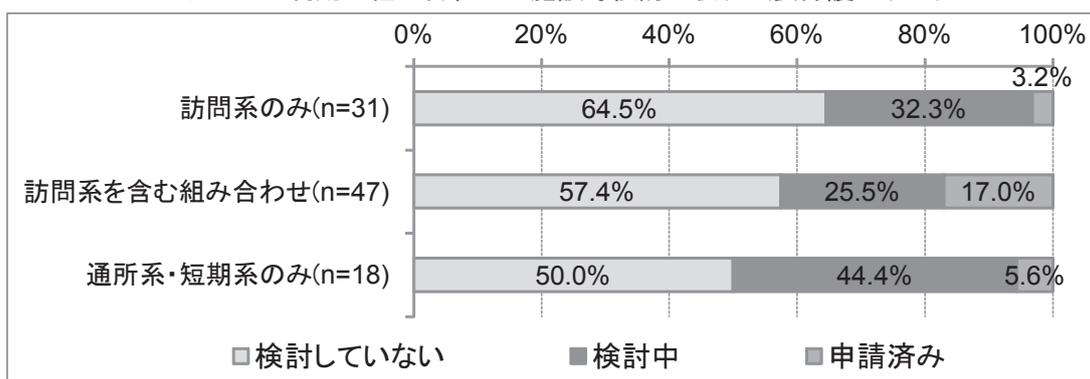
■ サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（要介護3以上）



【要介護4以上】

○施設等の入所を「検討していない」割合は、『訪問系のみ』のサービス利用者で最も高く64.5%、『訪問系を含む組み合わせ』で57.4%、『通所系・短期系のみ』で50.0%となっていた。

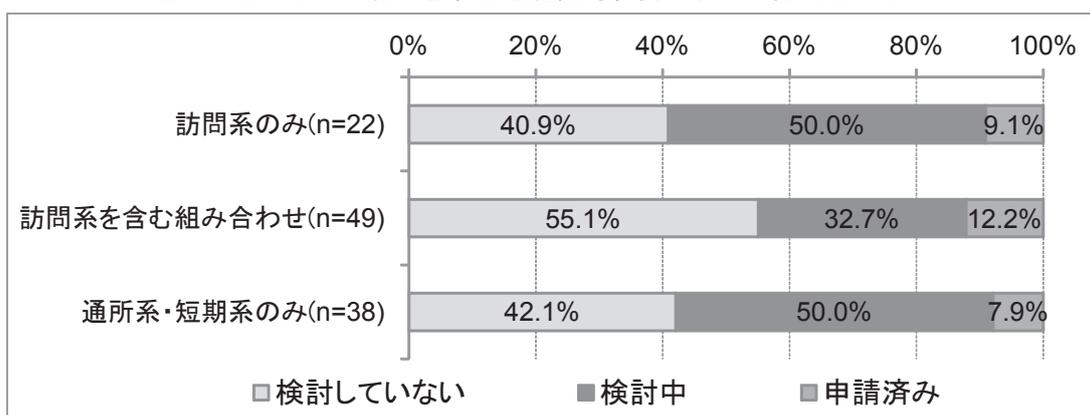
■ サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（要介護4以上）



【認知症Ⅲ以上】

○施設等の入所を「検討中」および「申請済み」の割合は、『訪問系のみ』のサービス利用者で59.1%、『訪問系を含む組み合わせ』の利用者で44.9%、『通所系・短期系のみ』利用者で57.9%となっている。一方「検討していない」のは『訪問系を含む組み合わせ』で最も高く55.1%であった。

■ サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（認知症Ⅲ以上）

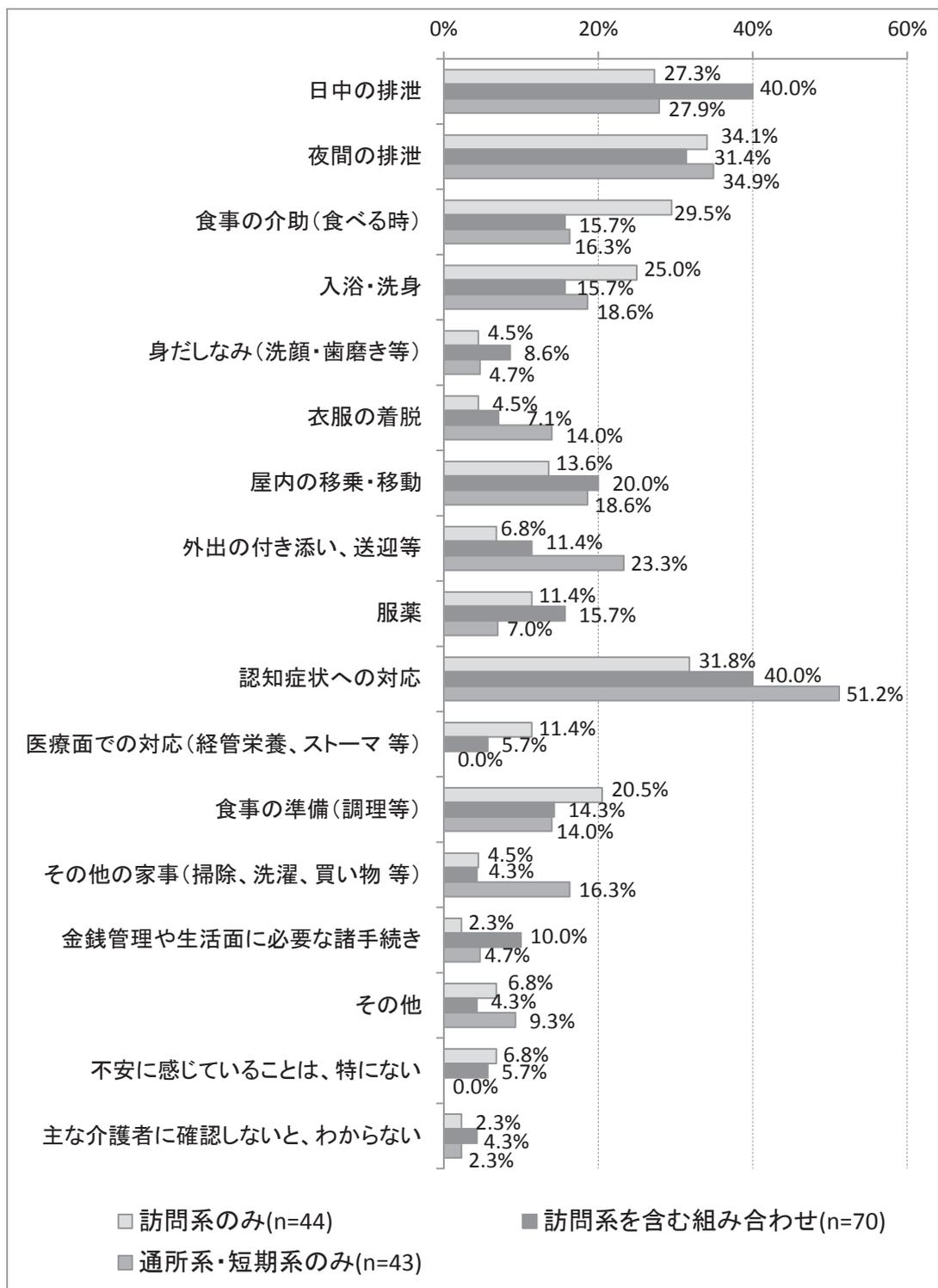


(5) 「サービス利用の組み合わせ」と「主な介護者が不安に感じる介護」の関係

【要介護3以上】

- 『訪問系のみ』のサービス利用では、「夜間の排泄」が34.1%と最も高く、「認知症状への対応」が31.8%、「食事の介助」が29.5%と続いた。
- 『訪問系を含む組み合わせ』のサービス利用では、「日中の排泄」「認知症状への対応」がそれぞれ40.0%で最も高く、「夜間の排泄」が31.4%と続いた。
- 『通所系・短期系のみ』のサービス利用では、「認知症状への対応」が51.2%と最も高く、「夜間の排泄」が34.9%、「日中の排泄」が27.9%であった。

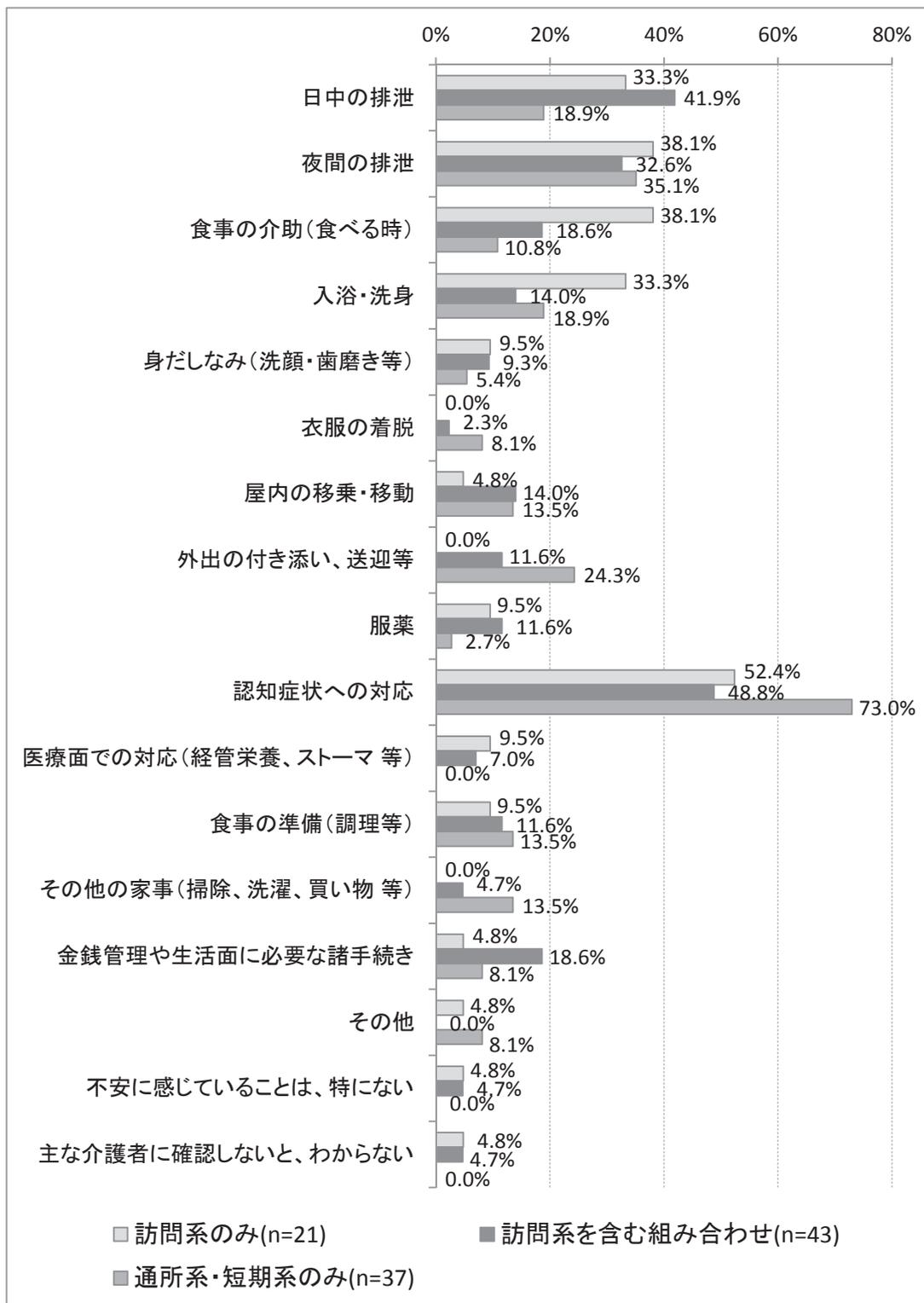
■ サービス利用の組み合わせ別・介護者が不安に感じる介護（要介護3以上）



【認知症Ⅲ以上】

- 『訪問系のみ』のサービス利用では、「認知症状への対応」が52.4%と最も高く、「夜間の排泄」「食事の介助」がそれぞれ38.1%と続いた。
- 『訪問系を含む組み合わせ』のサービス利用では、「認知症状への対応」が48.8%と最も高く、「日中の排泄」が41.9%、「夜間の排泄」が32.6%と続いた。
- 『通所系・短期系のみ』のサービス利用では、「認知症状への対応」が73.0%と最も高く、「夜間の排泄」が35.1%、「外出の付き添い、送迎等」が24.3%と続いた。

■ サービス利用の組み合わせ別・介護者が不安に感じる介護（認知症Ⅲ以上）

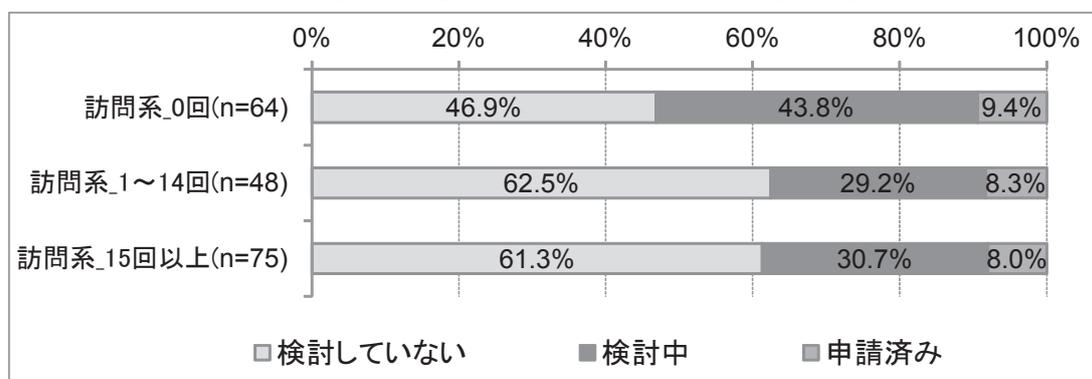


(6) 「サービス利用の回数」と「施設等検討の状況」の関係

【訪問系、要介護3以上】

- 『0回』では、施設等の入所を「検討中」が43.8%、「検討していない」が46.9%であった。
- 『1～14回』では、施設等の入所を「検討していない」が62.5%、「検討中」が29.2%であった。
- 『15回以上』では、施設等の入所を「検討していない」が61.3%、「検討中」が30.7%であった。

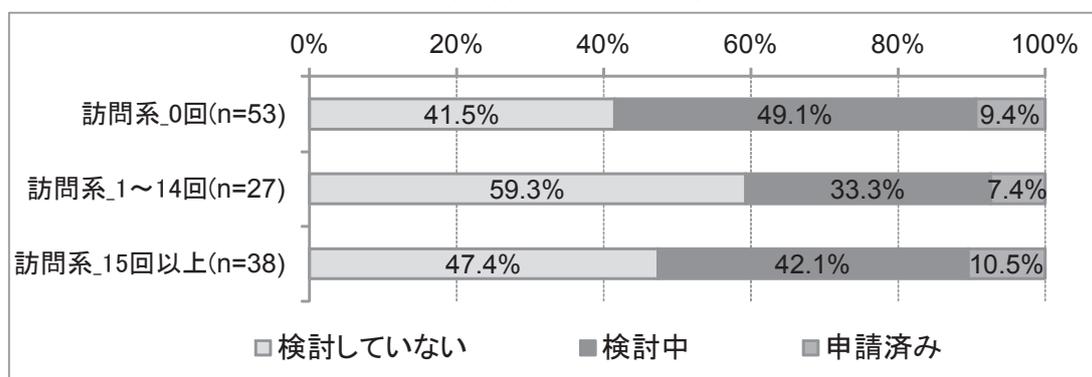
■サービス利用回数と施設等検討の状況（訪問系、要介護3以上）



【訪問系、認知症Ⅲ以上】

- 『0回』では、施設等の入所を「検討中」が49.1%、「検討していない」が41.5%であった。
- 『1～14回』では、施設等の入所を「検討していない」が59.3%、「検討中」が33.3%であった。
- 『15回以上』では、施設等の入所を「検討していない」が47.4%、「検討中」が42.1%であった。

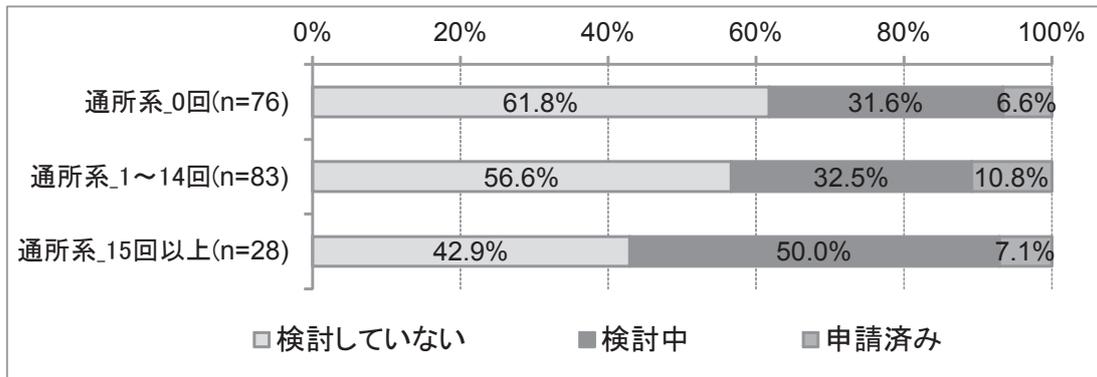
■サービス利用回数と施設等検討の状況（訪問系、認知症Ⅲ以上）



【通所系、要介護3以上】

○利用回数が多くなるに従い、「検討中」の割合が高くなっていった。（『0回』：31.6%、『1～14回』：32.5%、『15回以上』：50.0%）

■サービス利用回数と施設等検討の状況（通所系、要介護3以上）

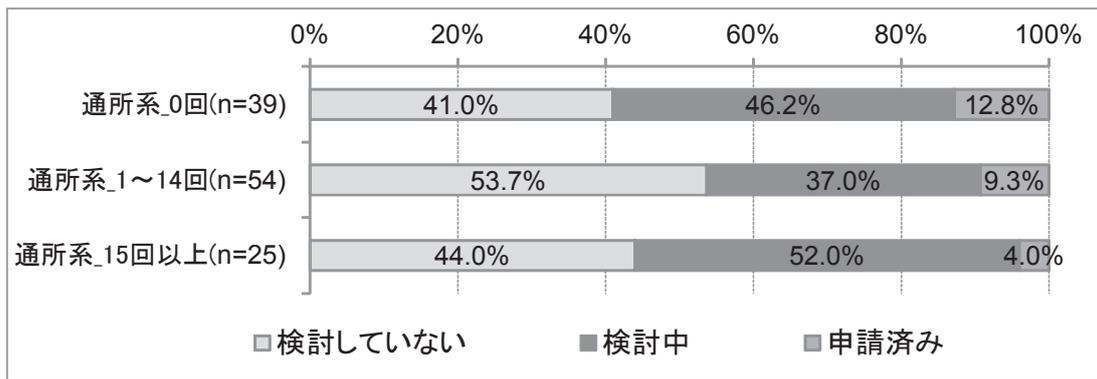


【通所系、認知症Ⅲ以上】

○「検討していない」割合は、『1～14回』が最も高く53.7%で、次いで『15回以上』の44.0%であった。

○「検討中」の割合は、『15回以上』が最も高く52.0%で、次いで『0回』の46.2%であった。

■サービス利用回数と施設等検討の状況（通所系、認知症Ⅲ以上）

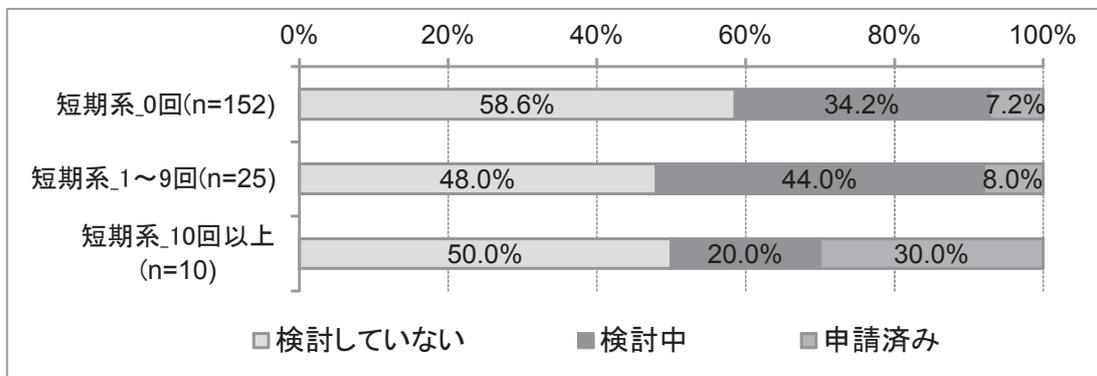


【短期系、要介護3以上】

○「検討していない」割合は、『0回』が最も高く58.6%で、次いで『10回以上』の50.0%であった。

○「検討中」の割合は、『1～9回』が最も高く44.0%で、次いで『0回』の34.2%であった。

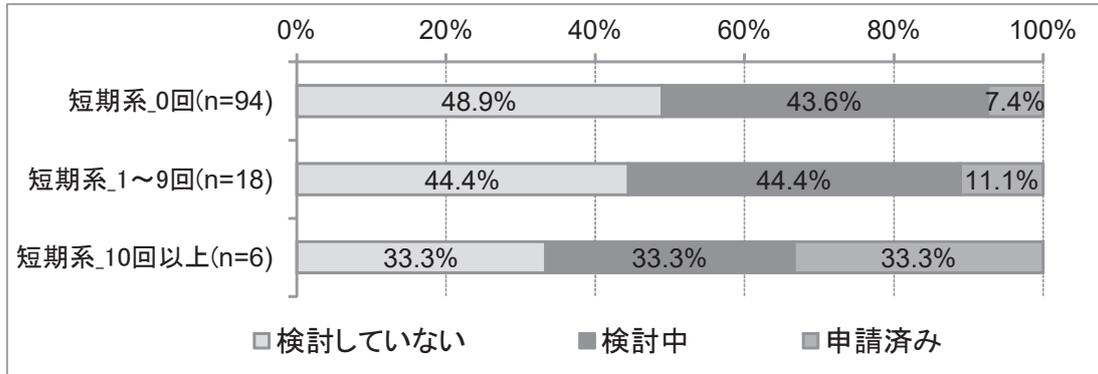
■サービス利用回数と施設等検討の状況（短期系、要介護3以上）



【短期系、認知症Ⅲ以上】

- 利用回数が多くなるに従い、「検討していない」割合が低くなっていた（『0回』：48.9%、『1～9回』：44.4%、『10回以上』：33.3%）。
- 「検討中」の割合は、『1～9回』が最も高く44.4%で、次いで『0回』の43.6%であった。

■サービス利用回数と施設等検討の状況（短期系、認知症Ⅲ以上）

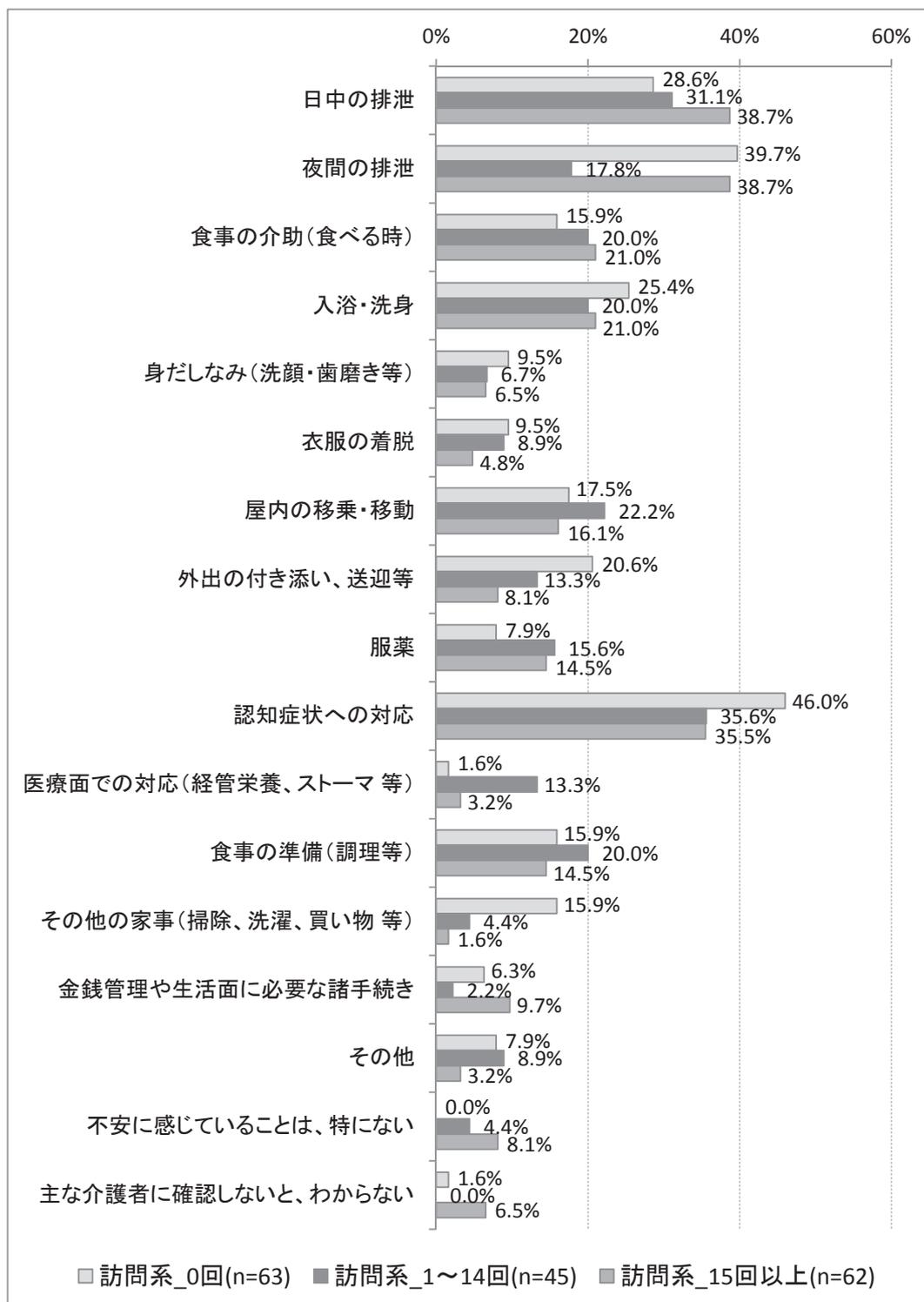


(7) 「サービス利用の回数」と「主な介護者が不安に感じる介護」の関係

【訪問系、要介護3以上】

- 『0回』では、「認知症状への対応」が46.0%で、「夜間の排泄」が39.7%、「日中の排泄」が28.6%と続いた。
- 『1～14回』では、「認知症状への対応」が35.6%で、「日中の排泄」が31.1%、「屋内の移乗・移動」が22.2%と続いた。
- 『15回以上』では、「日中の排泄」と「夜間の排泄」がそれぞれ38.7%で、「認知症状への対応」が35.5%と続いた。

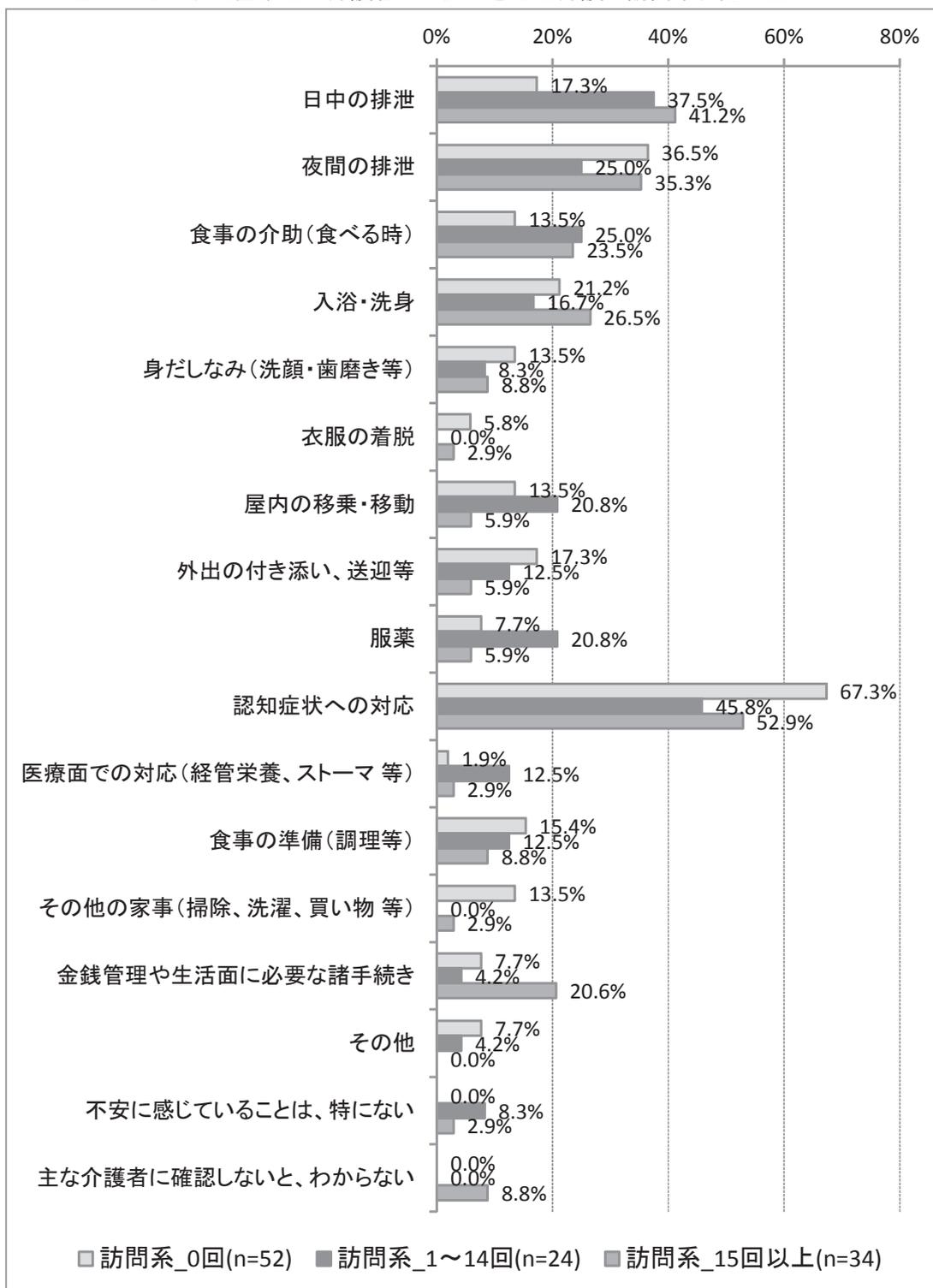
■ サービス利用回数別・介護者が不安に感じる介護（訪問系、要介護3以上）



【訪問系、認知症Ⅲ以上】

- いずれの利用回数においても、「認知症状への対応」の割合が最も高かった。（『0回』：67.3%、『1～14回』：45.8%、『15回以上』：52.9%）
- 『0回』では、「夜間の排泄」が36.5%、「入浴・洗身」が21.2%と続いた。
- 『1～14回』では「日中の排泄」が37.5%、「夜間の排泄」「食事の介助」がそれぞれ25.0%と続いた。
- 『15回以上』では、「日中の排泄」が41.2%、「夜間の排泄」が35.3%と続いた。

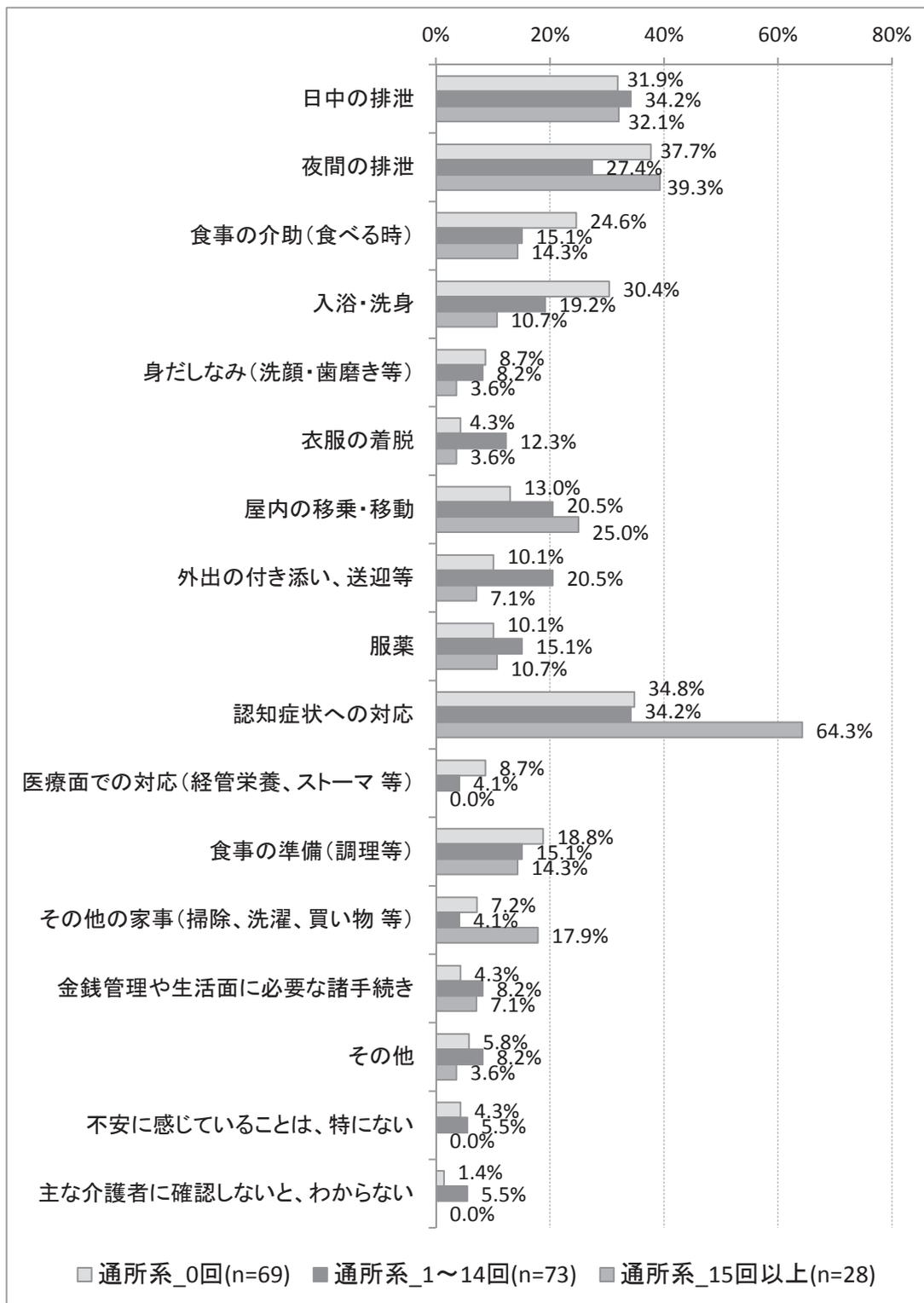
■ サービス利用回数別・介護者が不安に感じる介護（訪問系、認知症Ⅲ以上）



【通所系、要介護3以上】

- 『0回』では、「夜間の排泄」が37.7%で、「認知症状への対応」が34.8%、「日中の排泄」が31.9%と続いた。
- 『1～14回』では、「認知症状への対応」と「日中の排泄」がそれぞれ34.2%で、「夜間の排泄」が27.4%と続いた。
- 『15回以上』では、「認知症状への対応」が64.3%と高く、「夜間の排泄」が39.3%、「日中の排泄」が32.1%と続いた。

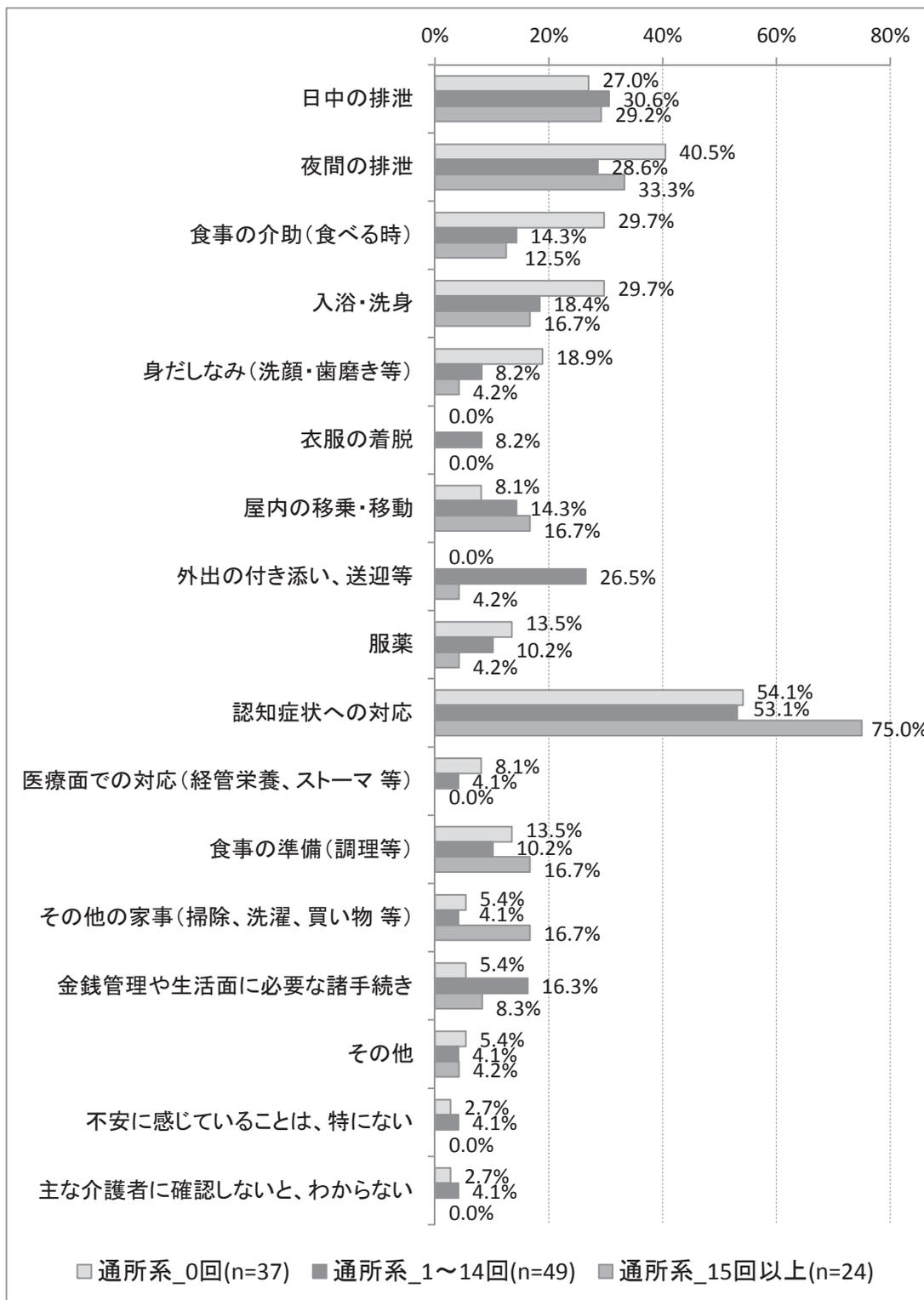
■ サービス利用回数別・介護者が不安に感じる介護（通所系、要介護3以上）



【通所系、認知症Ⅲ以上】

- いずれの利用回数においても「認知症状への対応」の割合が高かった（『0回』：54.1%、『1～14回』：53.1%、『15回以上』：75.0%）。
- 『0回』では、「夜間の排泄」が40.5%、「食事の介助」と「入浴・洗身」がそれぞれ29.7%と続いた。
- 『1～14回』では、「日中の排泄」が30.6%、「夜間の排泄」が28.6%と続いた。
- 『15回以上』では、「夜間の排泄」が33.3%、「日中の排泄」が29.2%と続いた。

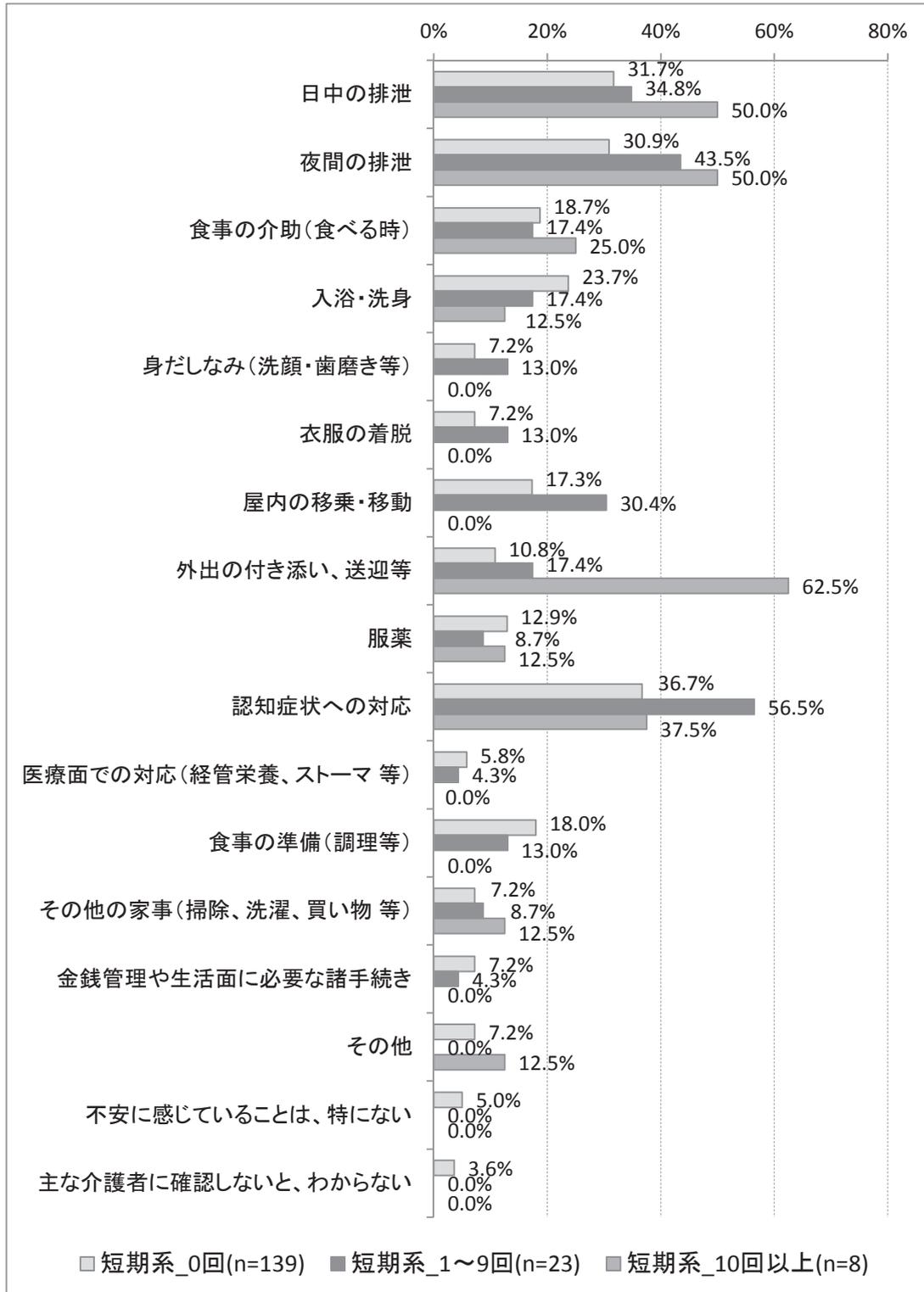
■ サービス利用回数別・介護者が不安に感じる介護（通所系、認知症Ⅲ以上）



【短期系、要介護3以上】

- 『0回』では、「認知症状への対応」が36.7%で、「日中の排泄」が31.7%、「夜間の排泄」が30.9%と続いた。
- 『1～9回』では、「認知症状への対応」が56.5%で、「夜間の排泄」が43.5%、「日中の排泄」が34.8%と続いた。
- 『10回以上』では、「外出の付き添い、送迎等」が62.5%と高く、「日中の排泄」と「夜間の排泄」がそれぞれ50.0%と続いた。

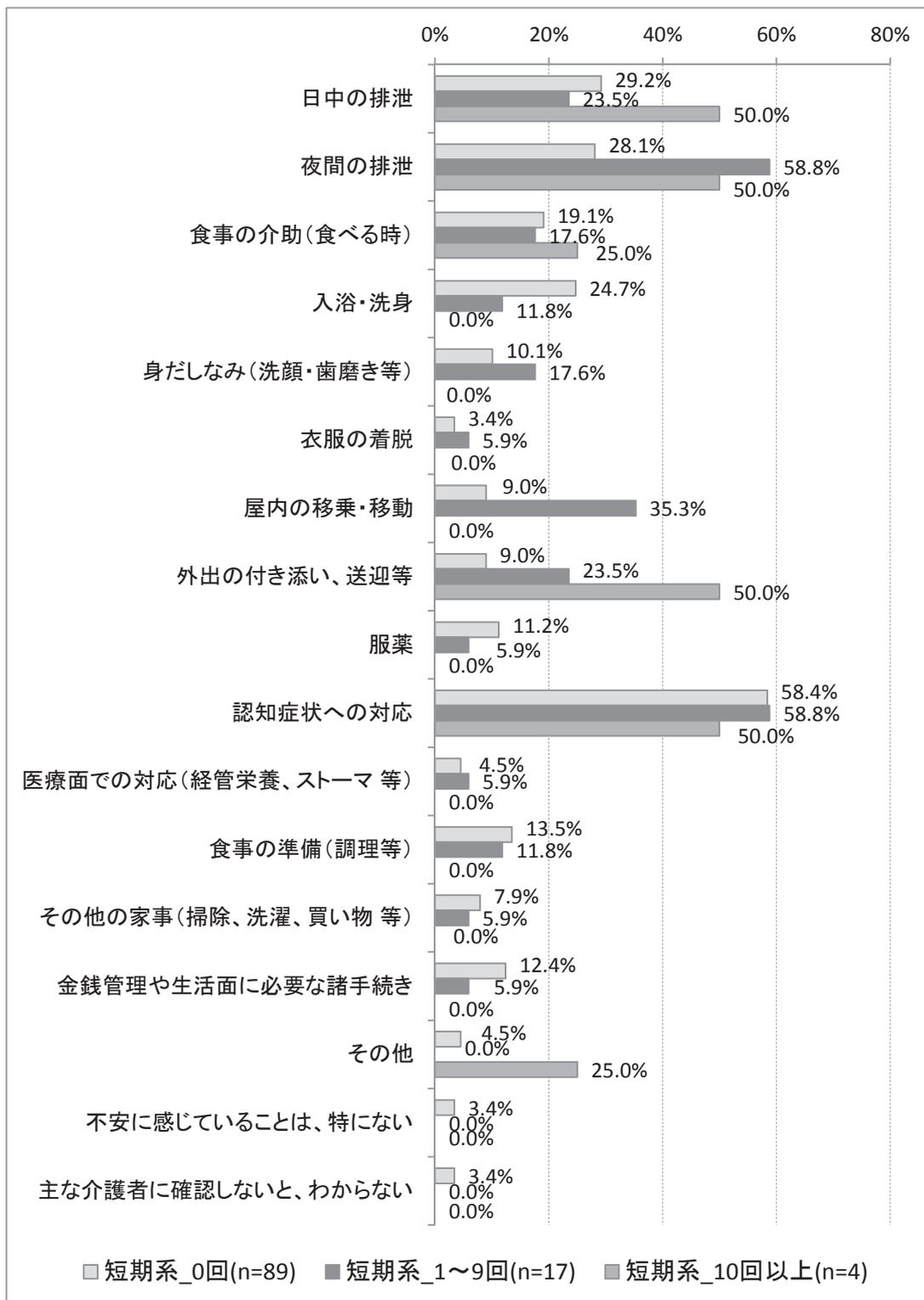
■ サービス利用回数別・介護者が不安に感じる介護（短期系、要介護3以上）



【短期系、認知症Ⅲ以上】

- 『0回』では、「認知症状への対応」が最も高く 58.4%で、「日中の排泄」が 29.2%、「夜間の排泄」が 28.1%と続いた。
- 『1～9回』では、「認知症状への対応」と「夜間の排泄」が最も高く 58.8%で、「屋内の移乗・移動」が 35.3%と続いた。
- 『10回以上』では、「認知症状への対応」、「日中の排泄」、「夜間の排泄」および「外出の付き添い、送迎等」が最も高く 50.0%であった。

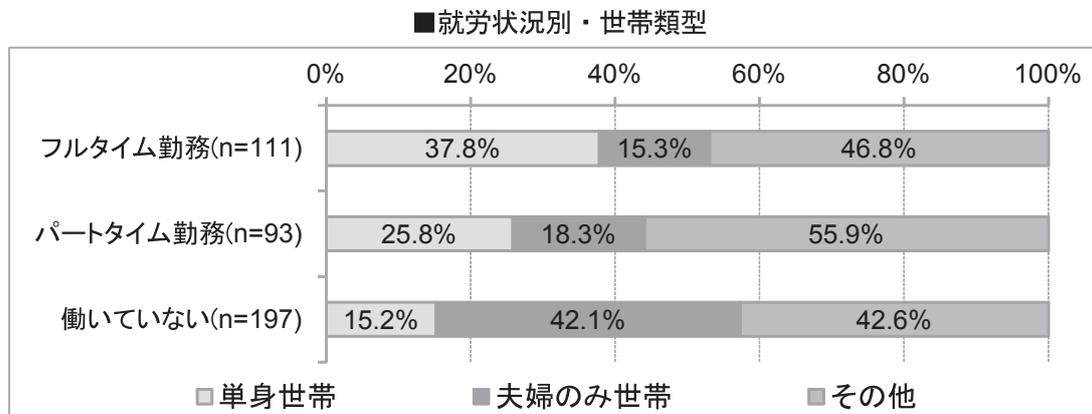
■ サービス利用回数別・介護者が不安に感じる介護（短期系、認知症Ⅲ以上）



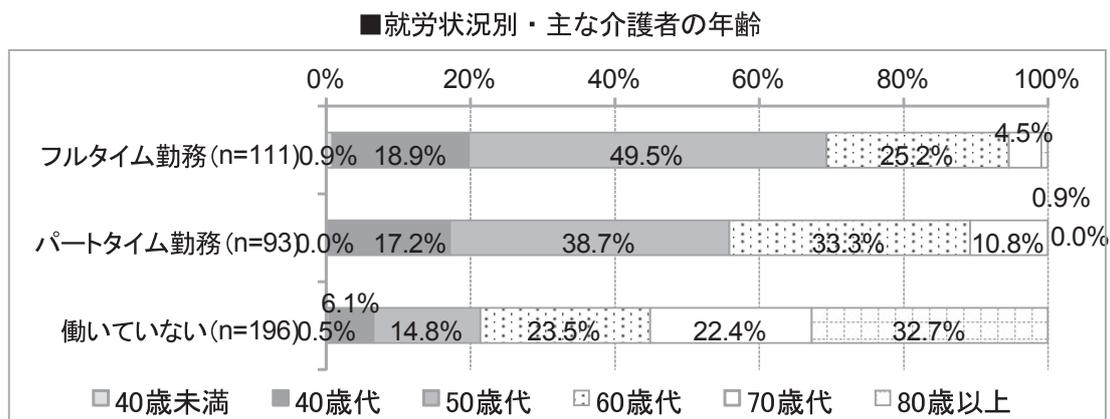
2 主な介護者の就労状況と就労継続見込み

(1) 基本集計

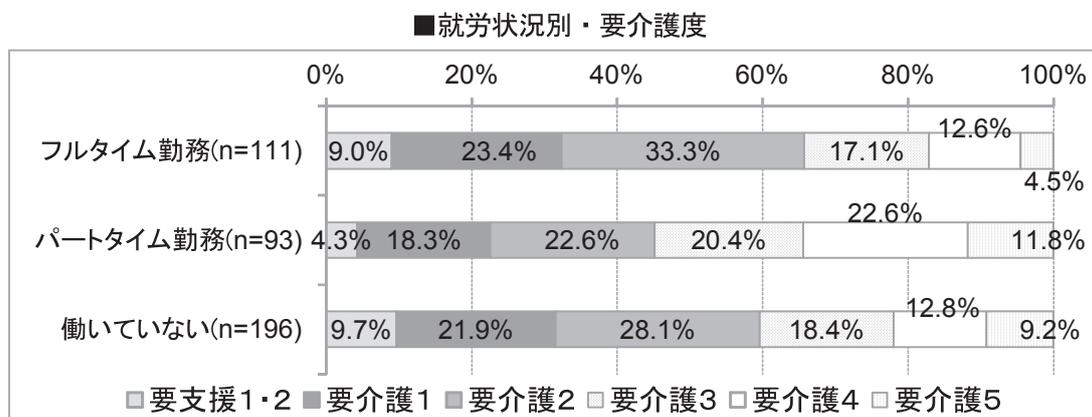
- 『フルタイム勤務』では「その他」が46.8%と最も高く、次いで「単身世帯」の37.8%であった。
- 『働いていない』では「その他」が42.6%と最も高く、「夫婦のみ世帯」も42.1%と4割を超えた。



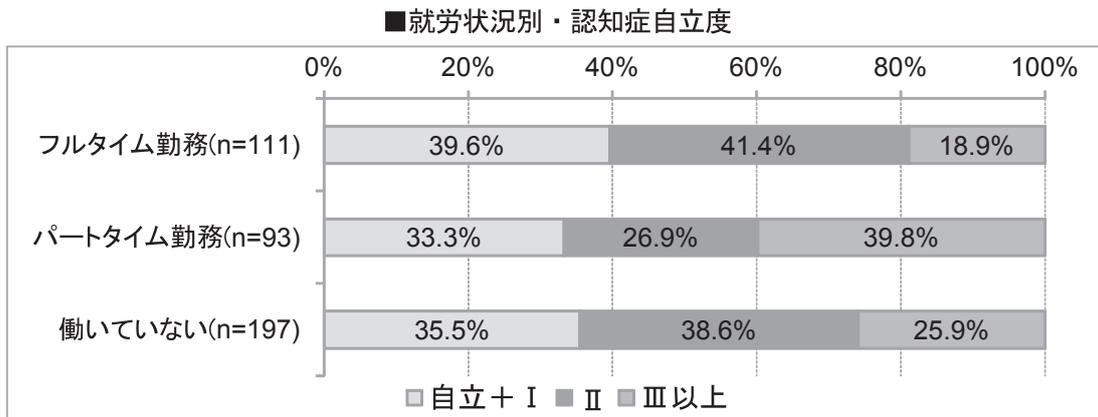
- 介護者の年齢について、『フルタイム勤務』では「50歳代」が49.5%と約半数を占め、「60歳代」は25.2%と約4分の1を占めた。
- 『パートタイム勤務』では「50歳代」が38.7%と最も高かったが、「60歳代」も33.3%と約3分の1を占めた。



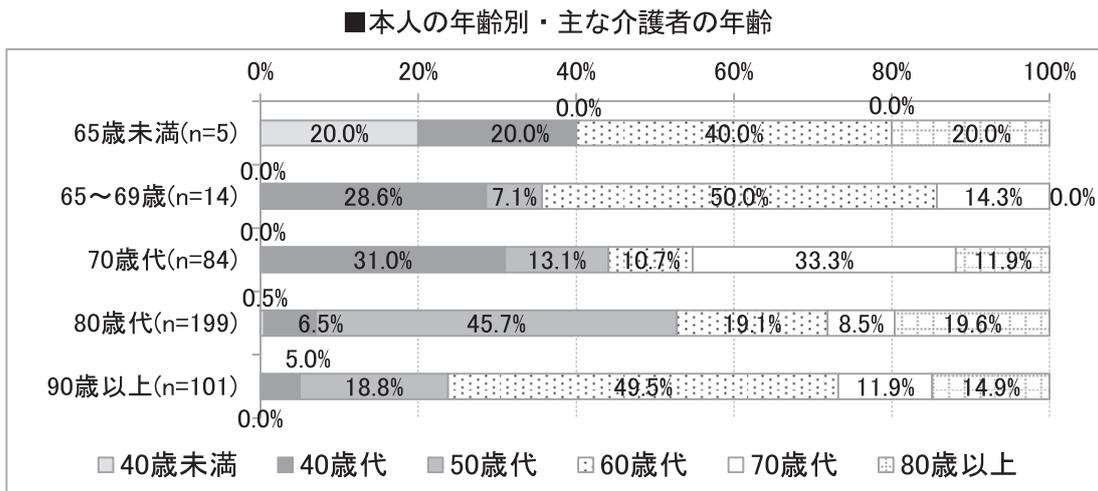
- 『フルタイム勤務』『パートタイム勤務』『働いていない』のいずれにおいても「要介護2」が最も高くそれぞれ33.3%、22.6%、28.1%となっていた。



- 『フルタイム勤務』および『働いていない』は認知症自立度「Ⅱ」が最も高く、それぞれ41.4%、38.6%であった。
- 『パートタイム勤務』は認知症自立度「Ⅲ以上」が最も高く39.8%であった。



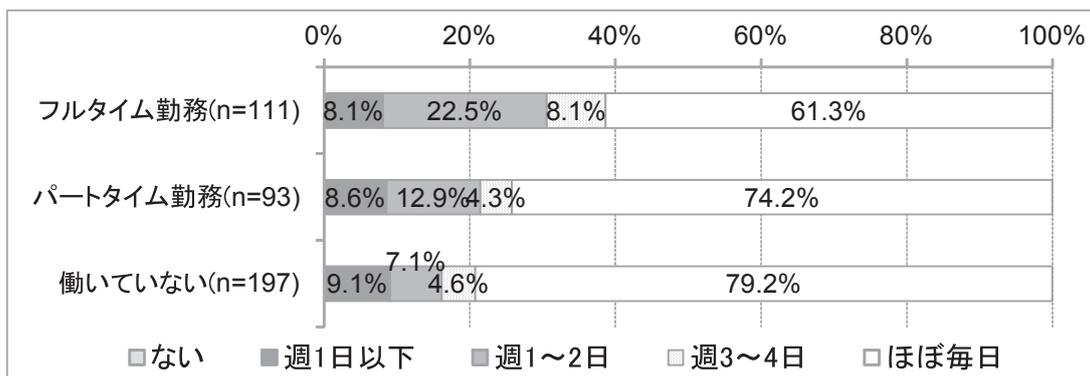
- 本人の年齢が『65歳未満』『65～69歳』『90歳以上』では主な介護者の年齢は「60歳代」が最も高くそれぞれ40.0%、50.0%、49.5%となっていた。
- 本人の年齢が『70歳代』では主な介護者は「70歳代」が最も高く33.3%で、「40歳代」が31.0%と続いた。
- 本人の年齢が『80歳代』では主な介護者は「50歳代」が最も高く、45.7%であった。



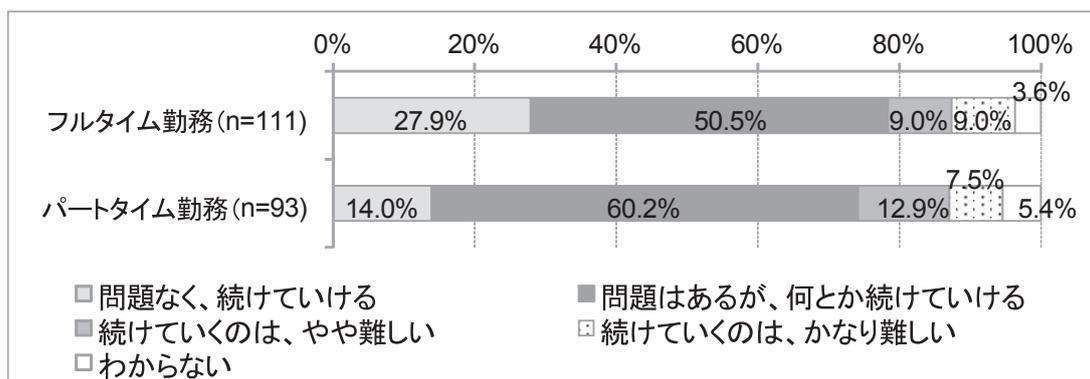
(2) 就労状況別の就労継続見込み

- 「ほぼ毎日」介護している割合は、『働いていない』で79.2%と最も高く、『パートタイム勤務』の74.2%、『フルタイム勤務』の61.3%と続いた。
- 就労継続見込みについては、『フルタイム勤務』『パートタイム勤務』とも「問題はあるが、何とか続けていける」が最も高くそれぞれ50.5%、60.2%であった。
- 要介護度別の就労継続見込みについては、『要支援1～要介護1』『要介護2以上』ともに「問題はあるが、何とか続けていける」が最も高く、それぞれ49.1%、57.1%であった。
- 認知症自立度別の就労継続見込みについては、『自立+I』『II以上』ともに「問題はあるが、何とか続けていける」が最も高く、それぞれ49.3%、58.1%であった。

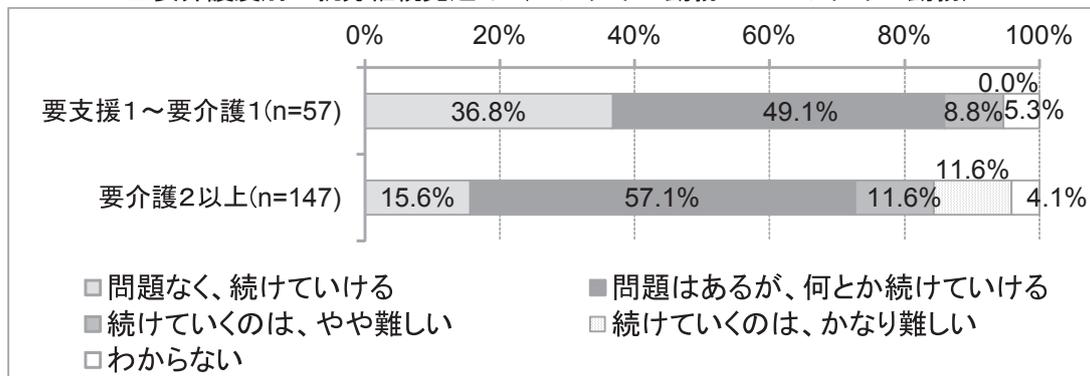
■就労状況別・家族等による介護の頻度



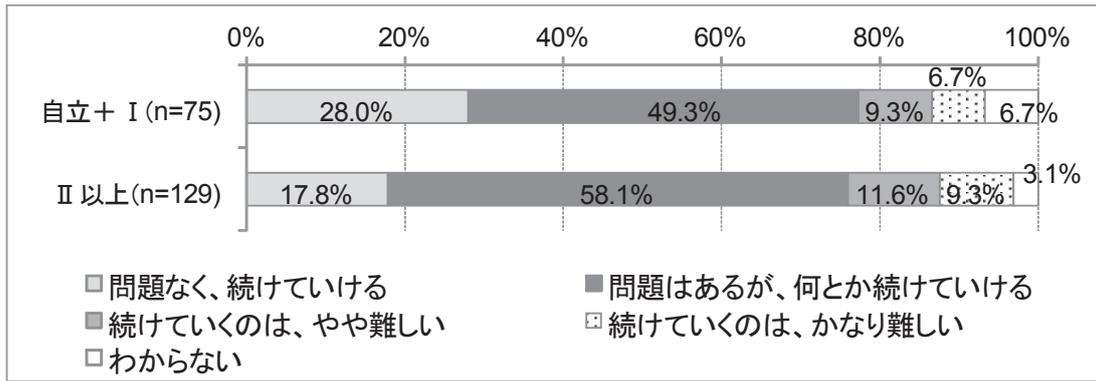
■就労状況別・就労継続見込み



■要介護度別・就労継続見込み（フルタイム勤務+パートタイム勤務）



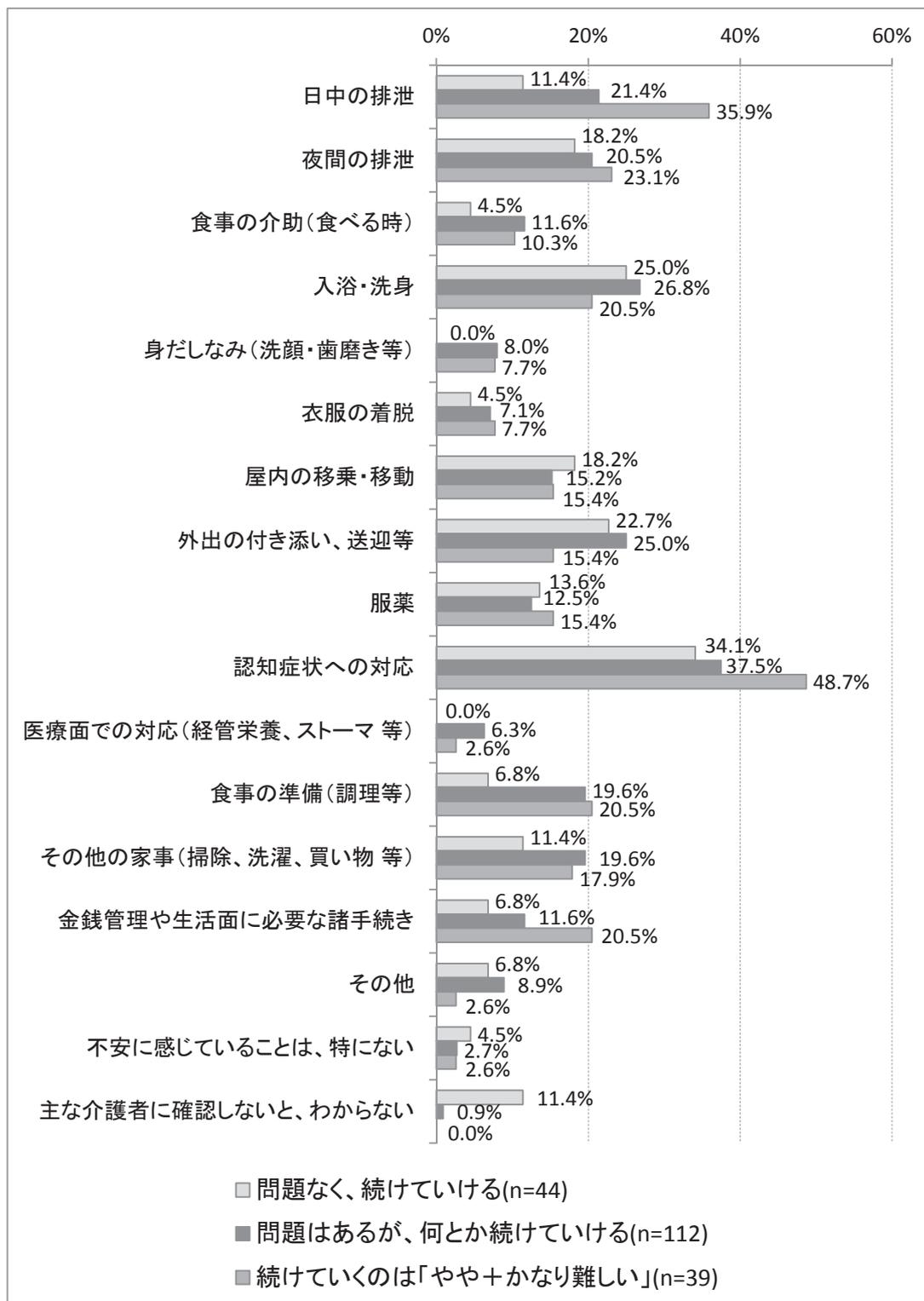
■認知症自立度別・就労継続見込み（フルタイム勤務+パートタイム勤務）



(3) 「就労継続見込み」と「主な介護者が不安に感じる介護」の関係

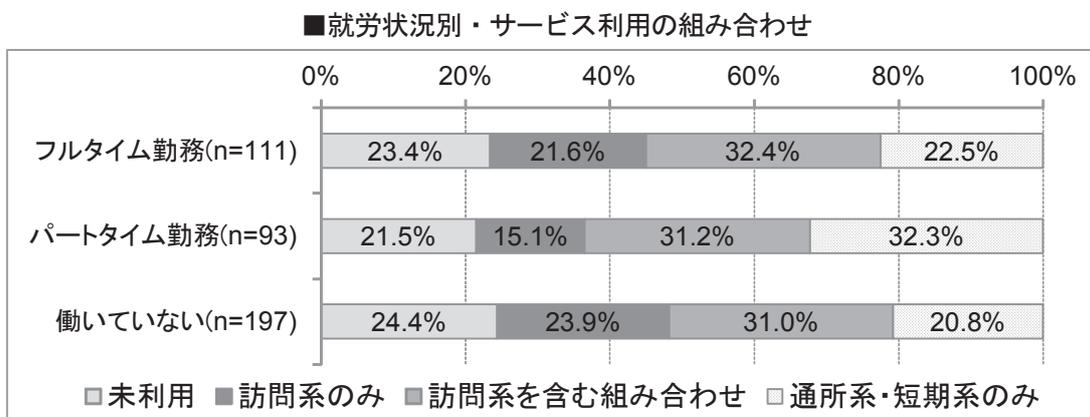
○『問題なく、続けていける』『問題はあるが、何とか続けていける』『続けていくのは「やや+かなり難しい』のいずれにおいても、「認知症状への対応」が最も高かった。(それぞれ 34.1%、37.5%、48.7%)

■就労継続見込み別・介護者が不安に感じる介護（フルタイム勤務+パートタイム勤務）



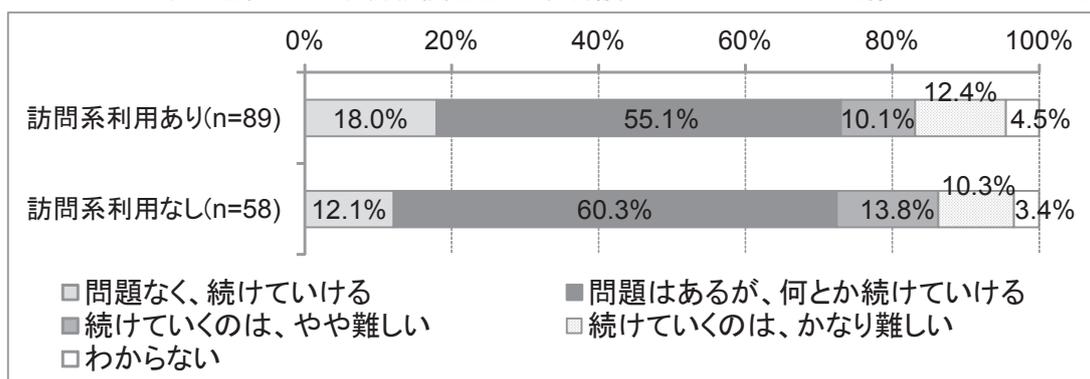
(4) 「サービス利用の組み合わせ」と「就労継続見込み」の関係

- 『フルタイム勤務』『働いていない』については、「訪問系を含む組み合わせ」が最も高く、それぞれ32.4%、31.0%であった。
- 『パートタイム勤務』では「通所系・短期系のみ」が最も高く、32.3%であった。



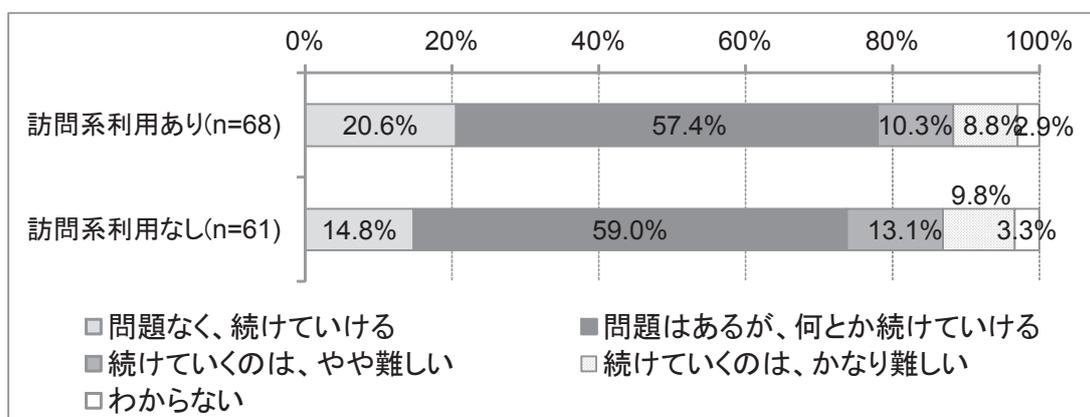
- 要介護2以上の就労継続見込みは『訪問系利用あり』『訪問系利用なし』とも「問題はあるが何とか続けていける」が最も高くそれぞれ55.1%、60.3%であった。

■サービス利用の組み合わせ別・就労継続見込み（要介護2以上、フルタイム勤務+パートタイム勤務）



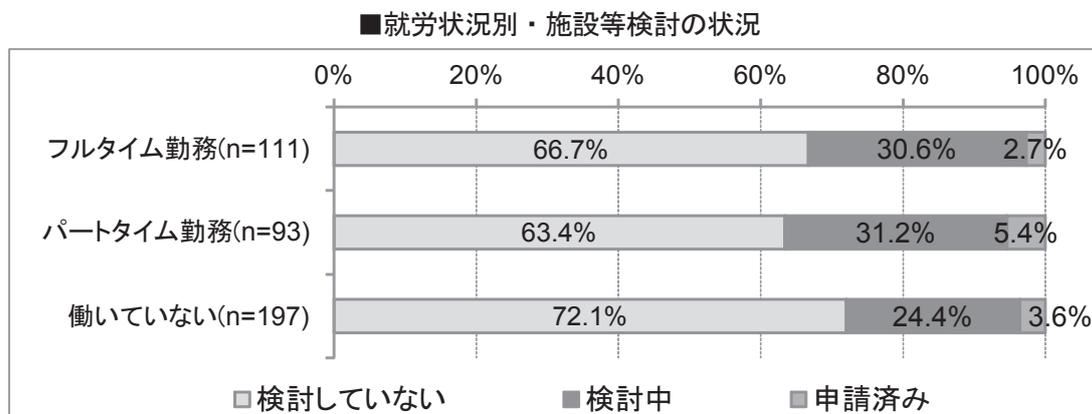
- 認知症自立度Ⅱ以上においても『訪問系利用あり』『訪問系利用なし』とも「問題はあるが、何とか続けていける」が最も高く、それぞれ57.4%、59.0%であった。

■サービス利用の組み合わせ別・就労継続見込み（認知症自立度Ⅱ以上、フルタイム勤務+パートタイム勤務）



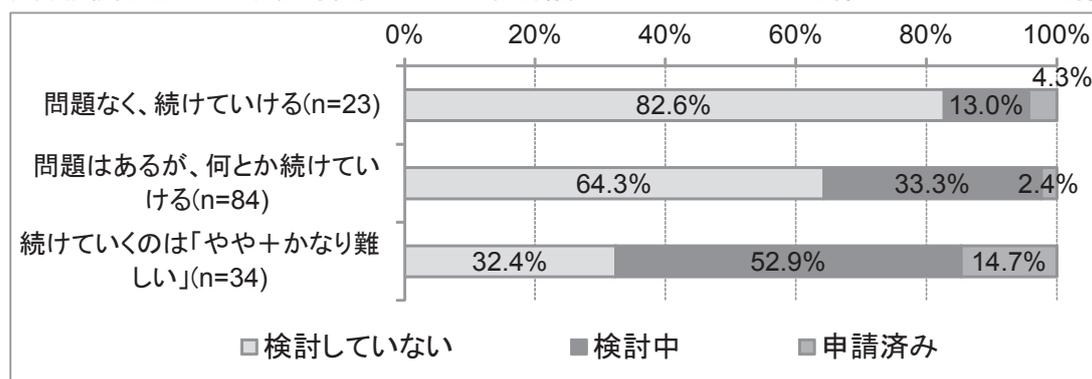
(5) 就労状況別の施設等検討の状況

○『フルタイム勤務』『パートタイム勤務』『働いていない』とも施設等の入所を「検討していない」が最も高く、それぞれ66.7%、63.4%、72.1%であった。



○就労継続見込みについて『問題なく、続けていける』では、施設等の入所を「検討していない」が最も高く82.6%であったが、『続けていくのは「やや+かなり難しい』では、「検討中」が52.9%と最も高かった。

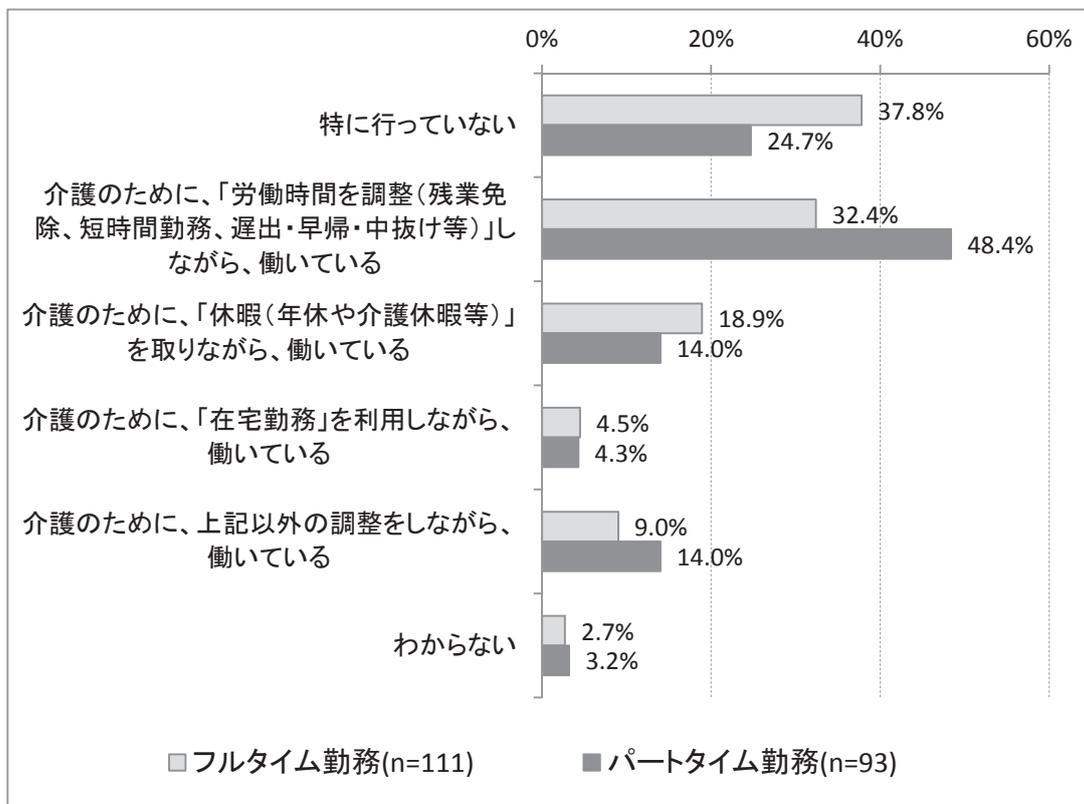
■就労継続見込み別・施設等検討の状況（要介護2以上、フルタイム勤務+パートタイム勤務）



(6) 就労状況別の介護のための働き方の調整

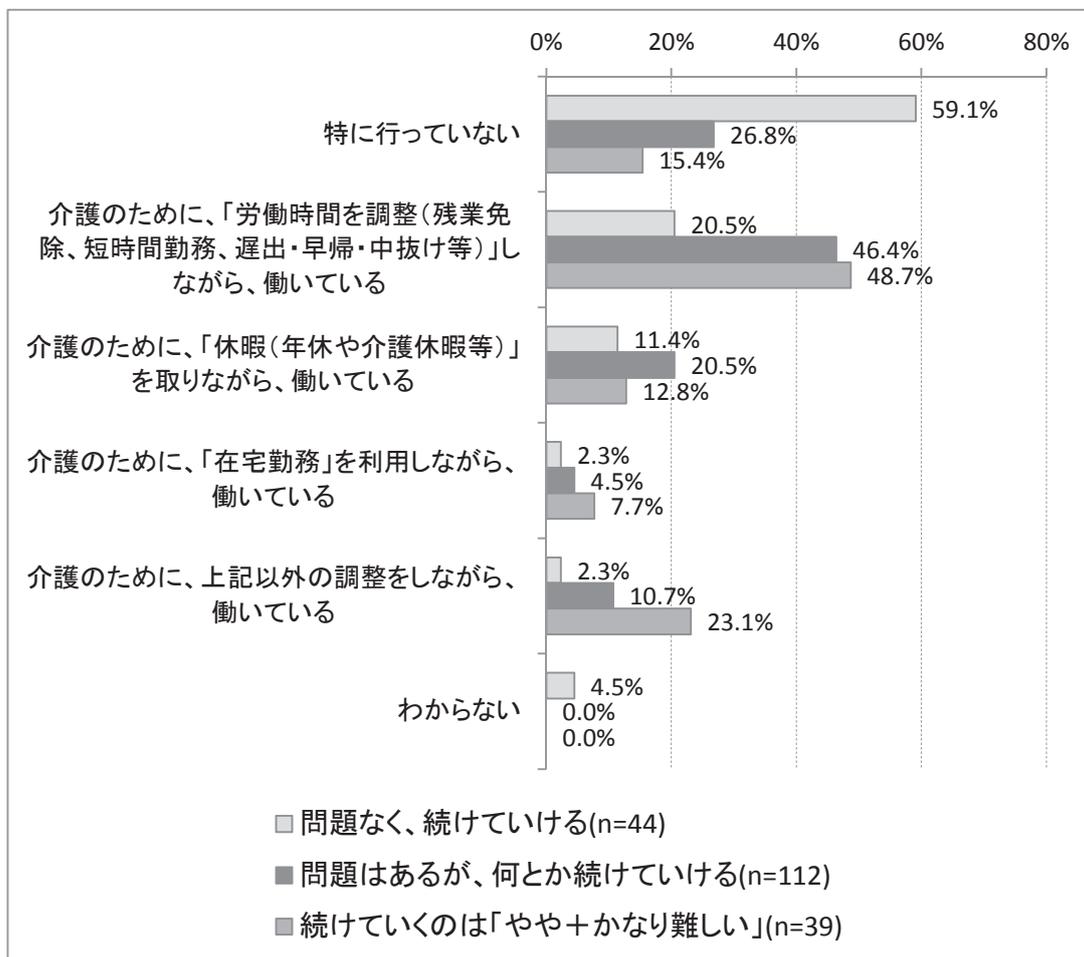
- 『フルタイム勤務』では介護のための働き方の調整を「特に行っていない」が37.8%と最も高く、『パートタイム勤務』では「介護のために、『労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）』しながら、働いている」が48.4%と最も高かった。

■就労状況別・介護のための働き方の調整



○就労継続見込みについて『問題なく、続けていける』では、介護のための働き方の調整を「特に行っていない」が59.1%と最も高く、『続けていくのは「やや+かなり難しい」』では、「介護のために、『労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）』しながら、働いている」が48.7%と最も高かった。

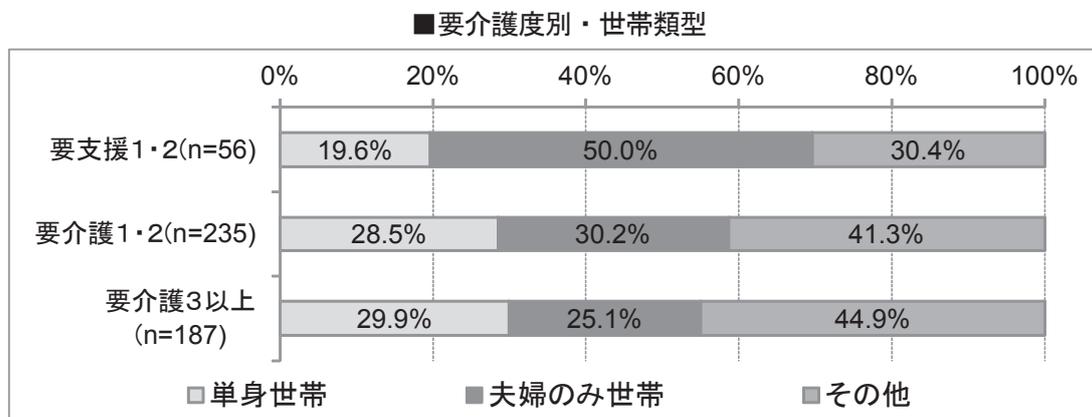
■就労継続見込み別・介護のための働き方の調整（フルタイム勤務+パートタイム勤務）



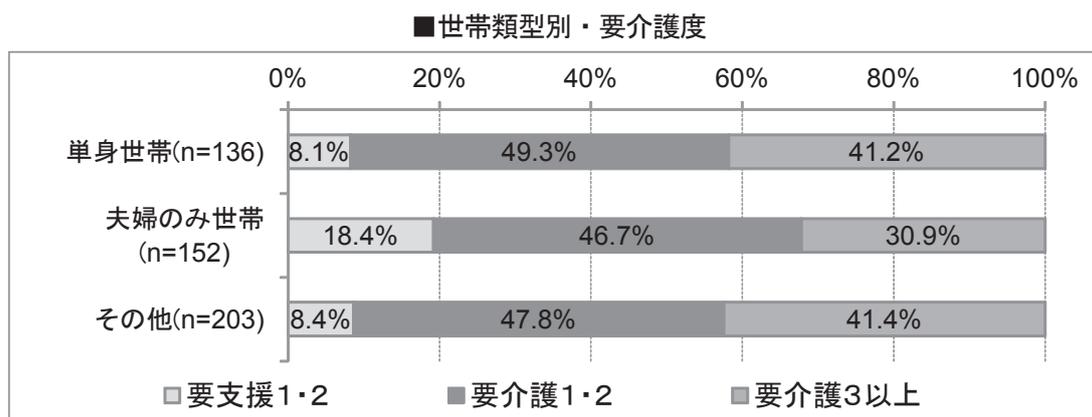
3 世帯類型別のサービス利用や施設等の検討状況

(1) 基礎集計

○要介護度が重度化するに従い、「単身世帯」の割合が高くなり（『要支援1・2』は19.6%、『要介護1・2』は28.5%、『要介護3以上』は29.9%）、一方「夫婦のみ世帯」の割合が低くなっていた（『要支援1・2』は50.0%、『要介護1・2』は30.2%、『要介護3以上』は25.1%）。

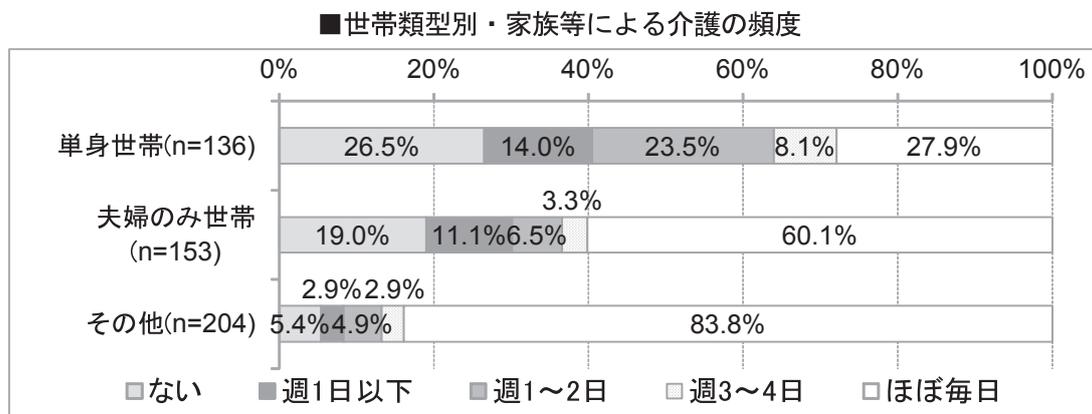


○『単身世帯』『夫婦のみ世帯』『その他』いずれも「要介護1・2」が最も高く、それぞれ49.3%、46.7%、47.8%であった。

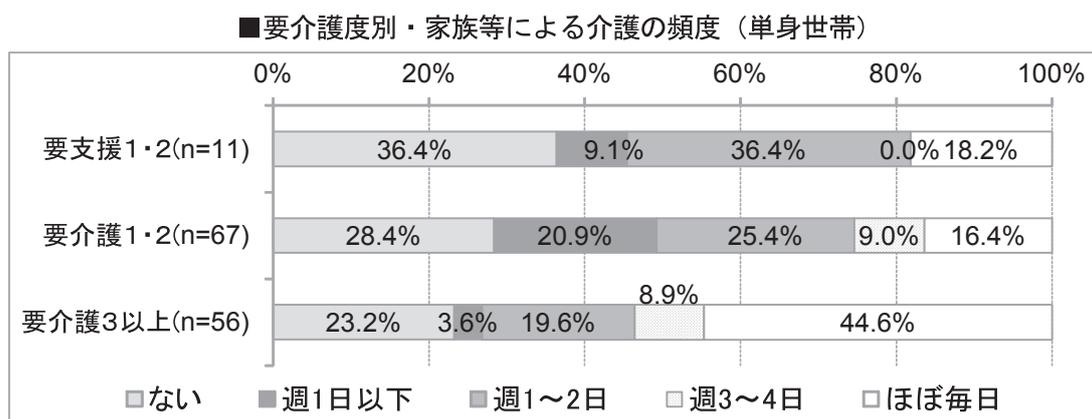


(2) 「世帯類型別・要介護度別」の「家族等による介護の頻度」

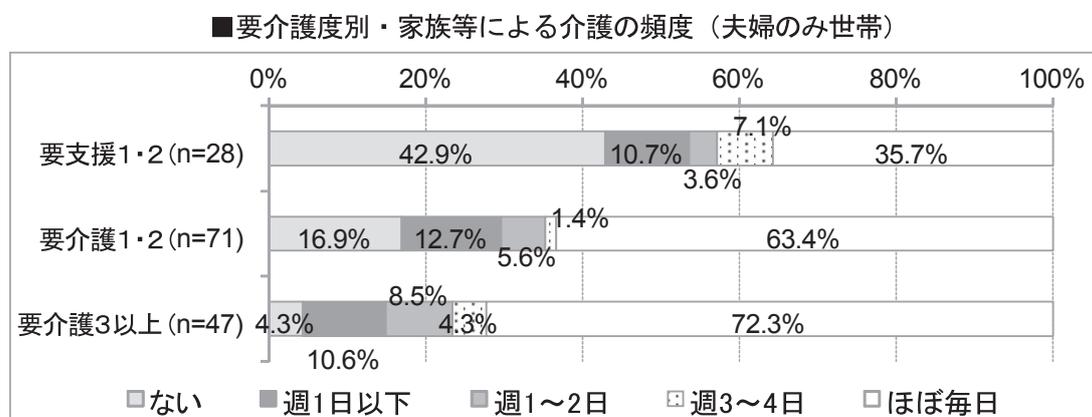
○『単身世帯』『夫婦のみ世帯』『その他』とも、家族による介護の頻度が「ほぼ毎日」が最も高くそれぞれ27.9%、60.1%、83.8%となっていた。



○単身世帯では要介護度の重度化に伴い「ない」の割合が低くなり（『要支援1・2』は36.4%、『要介護1・2』は28.4%、『要介護3以上』は23.2%）、「ほぼ毎日」の割合が高くなっていった（『要支援1・2』は18.2%、『要介護1・2』は16.4%、『要介護3以上』は44.6%）。

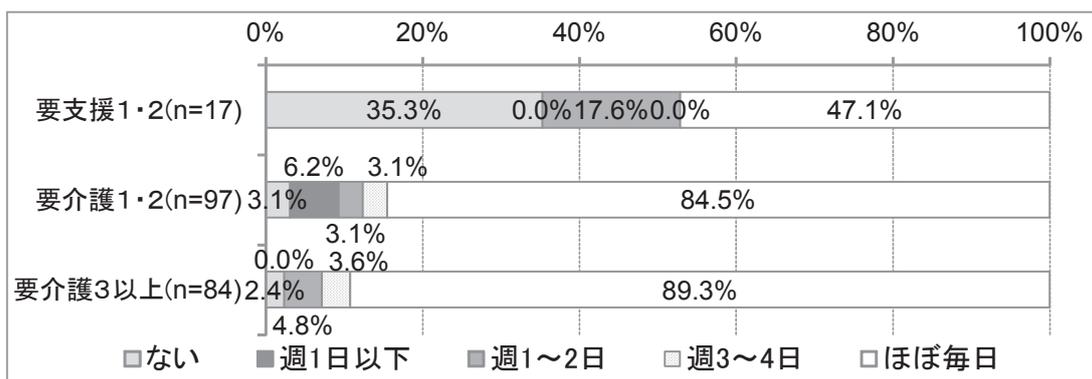


○夫婦のみ世帯においても要介護度の重度化に伴い「ない」の割合が低くなり（『要支援1・2』は42.9%、『要介護1・2』は16.9%、『要介護3以上』は4.3%）、「ほぼ毎日」の割合が高くなっていった（『要支援1・2』は35.7%、『要介護1・2』は63.4%、『要介護3以上』は72.3%）。



○その他世帯においては、いずれの介護度においても「ほぼ毎日」が最も高かった。

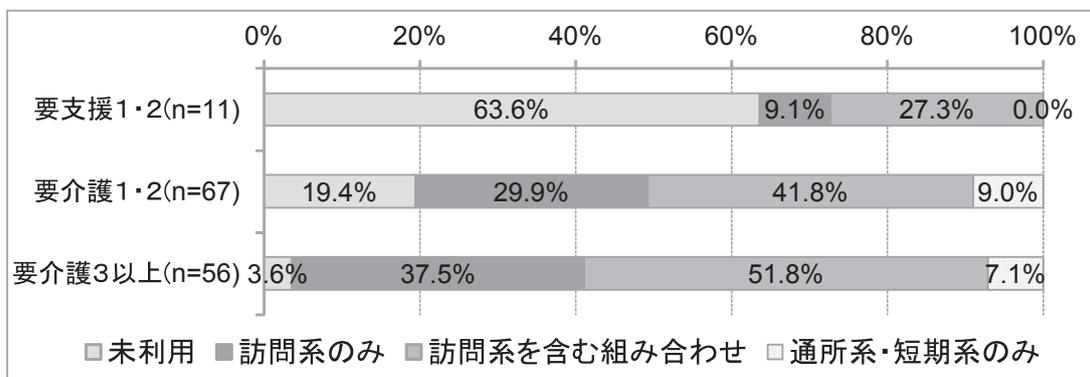
■要介護度別・家族等による介護の頻度（その他世帯）



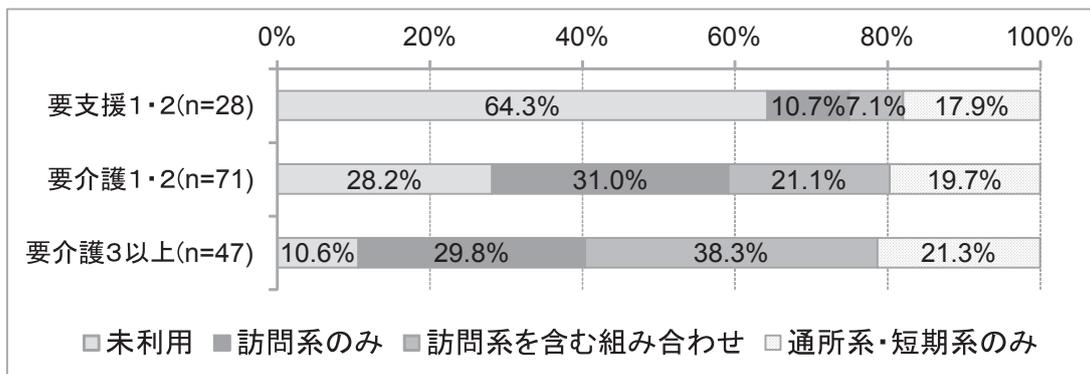
(3) 「要介護度別・認知症自立度別」の「世帯類型別のサービス利用の組み合わせ」

- 単身世帯、夫婦のみ世帯、その他世帯とも要介護度の重度化に伴い、サービスの「未利用」が少なくなり、サービス利用の割合が高くなっていった。
- 『要介護3以上』においては、単身世帯、夫婦のみ世帯、その他世帯のいずれにおいても、「訪問系を含む組み合わせ」の割合が最も高かった。

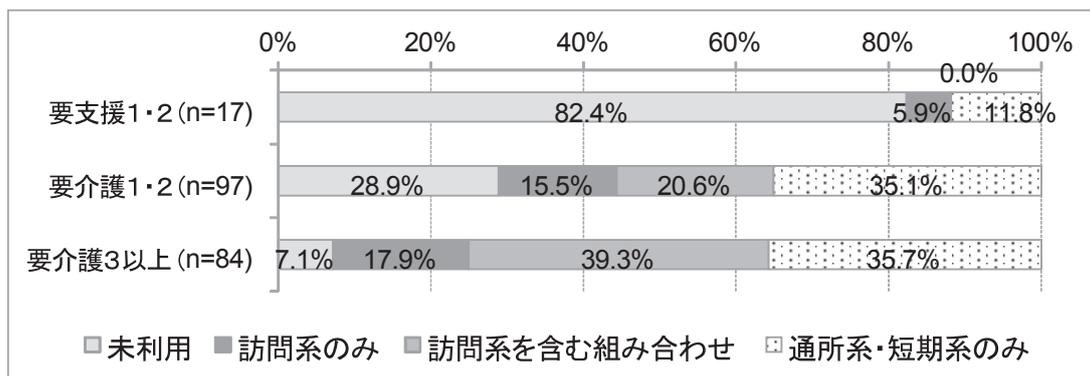
■要介護度別・サービス利用の組み合わせ（単身世帯）



■要介護度別・サービス利用の組み合わせ（夫婦のみ世帯）

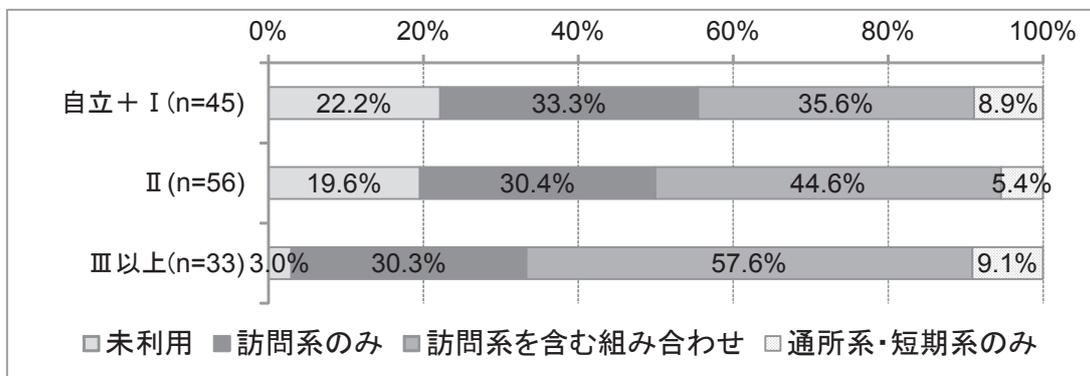


■要介護度別・サービス利用の組み合わせ（その他世帯）

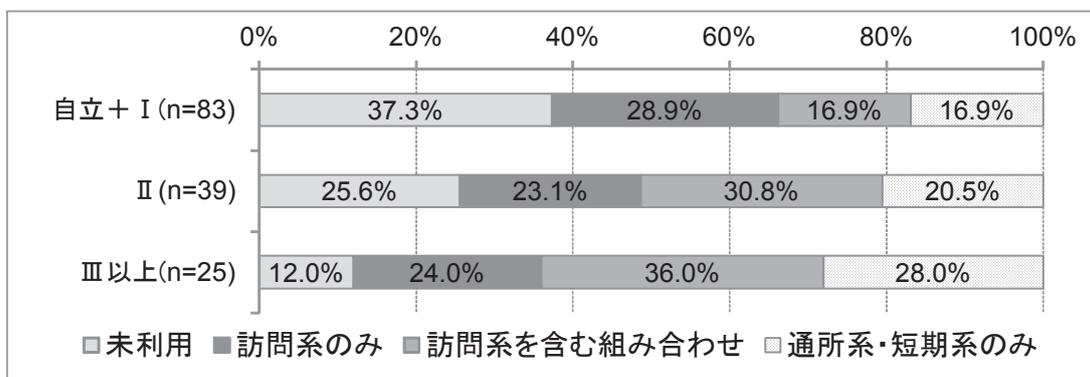


- 単身世帯、夫婦のみ世帯、その他世帯とも認知症自立度の重度化に伴い、サービスの「未利用」が少なくなり、サービス利用の割合が高くなっていった。
- 『認知症自立度Ⅲ以上』において、単身世帯、夫婦のみ世帯では「訪問系を含む組み合わせ」が最も高くそれぞれ57.6%、36.0%で、その他世帯では、「通所系・短期系のみ」が46.7%と最も高かった。

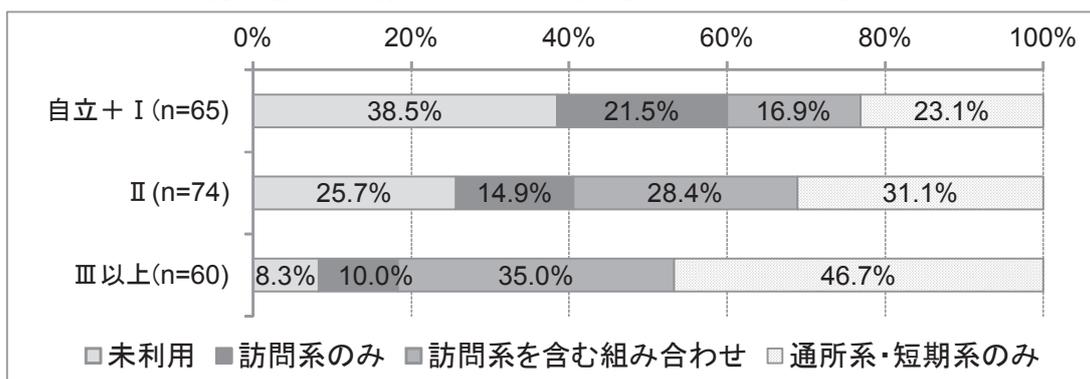
■認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ（単身世帯）



■認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ（夫婦のみ世帯）

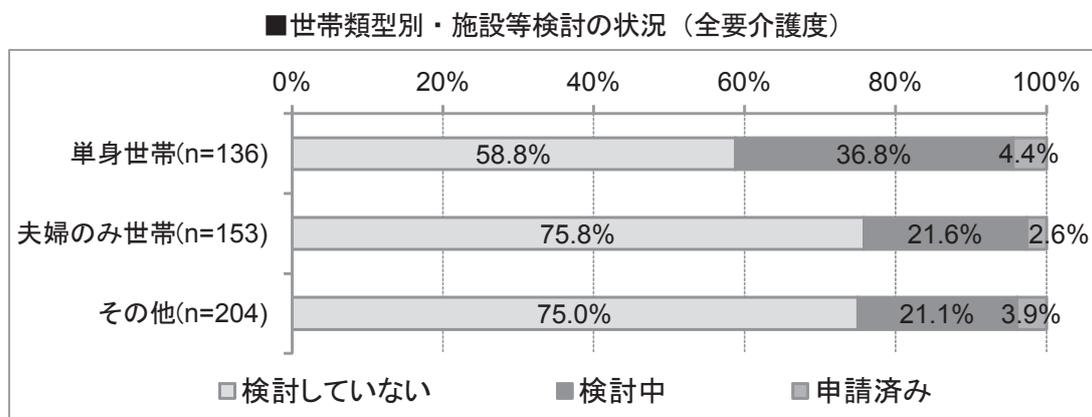


■認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ（その他世帯）



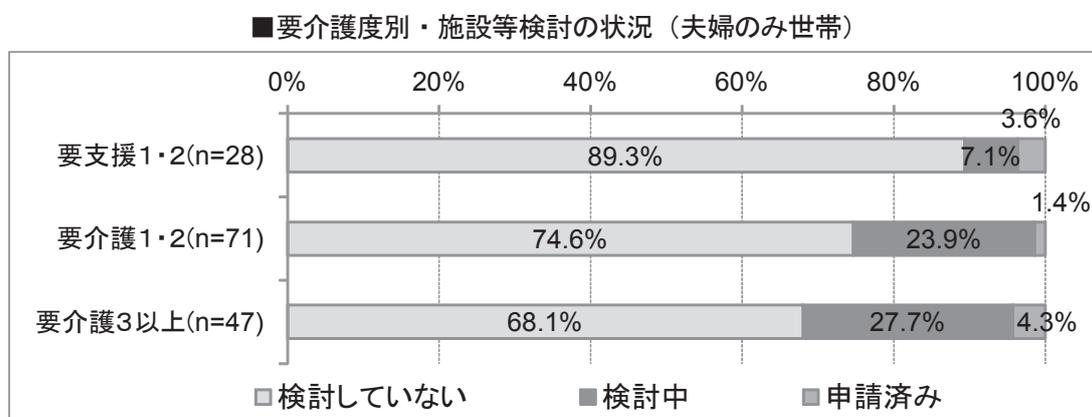
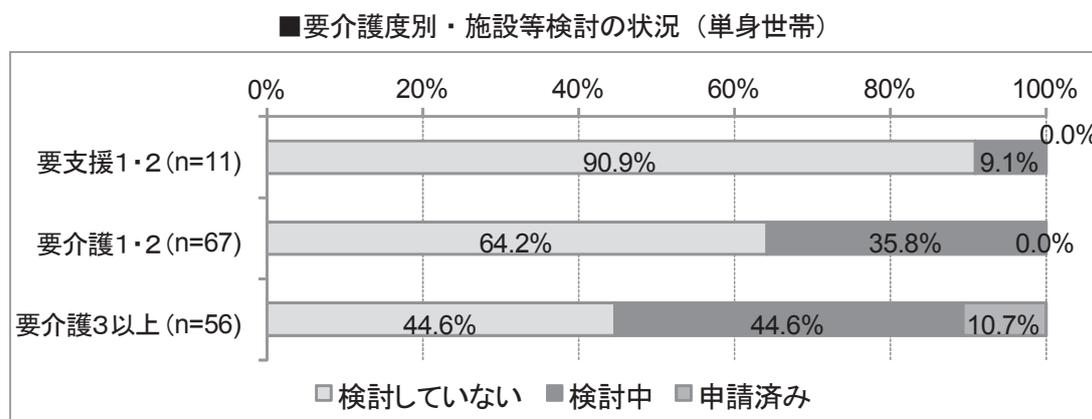
(4) 「要介護度別・認知症自立度別」の「世帯類型別の施設等検討の状況」

○『単身世帯』では41.2%が施設等の入所を「検討中」および「申請済み」と回答。同様に『夫婦のみ世帯』では24.2%、『その他』では25.0%が施設等の入所を「検討中」および「申請済み」と回答した。

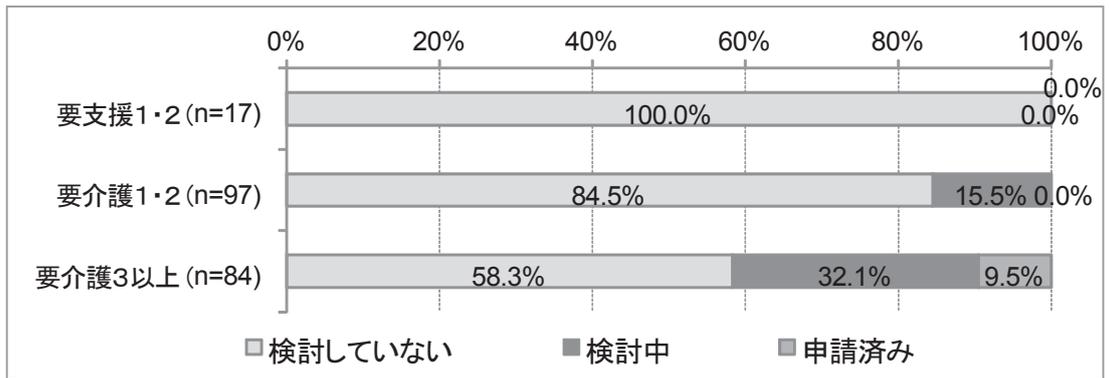


○要介護度別・施設等検討の状況について単身世帯では、施設等の入所を「検討中」および「申請済み」の割合は、『要支援1・2』で9.1%、『要介護1・2』で35.8%、『要介護3以上』で55.3%であった。夫婦のみ世帯においても同様の傾向であった。その他世帯では『要支援1・2』で施設等の入所を「検討していない」割合が100%であった。

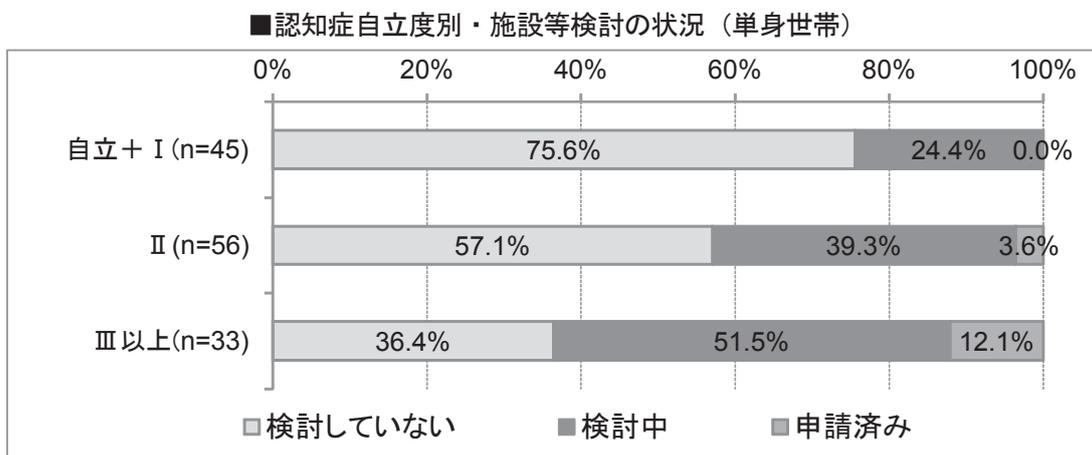
○いずれの世帯においても介護度の重度化に伴い施設等の入所を検討中、申請済みの割合が増える傾向にあった。



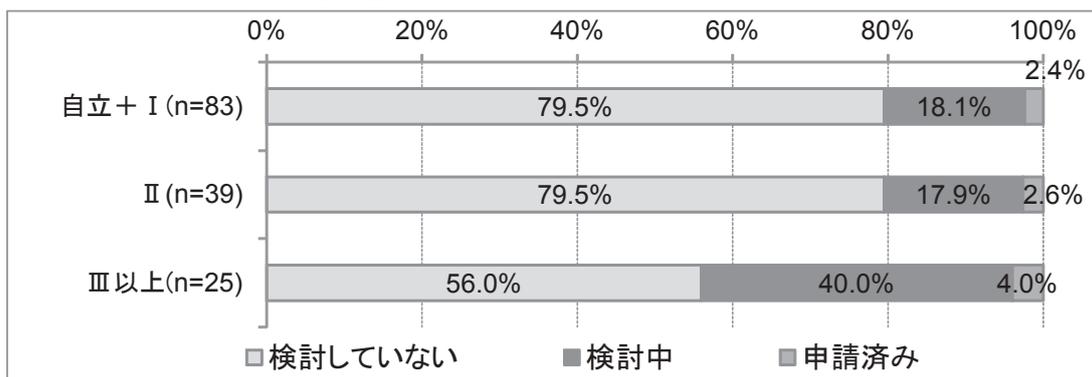
■要介護度別・施設等検討の状況（その他世帯）



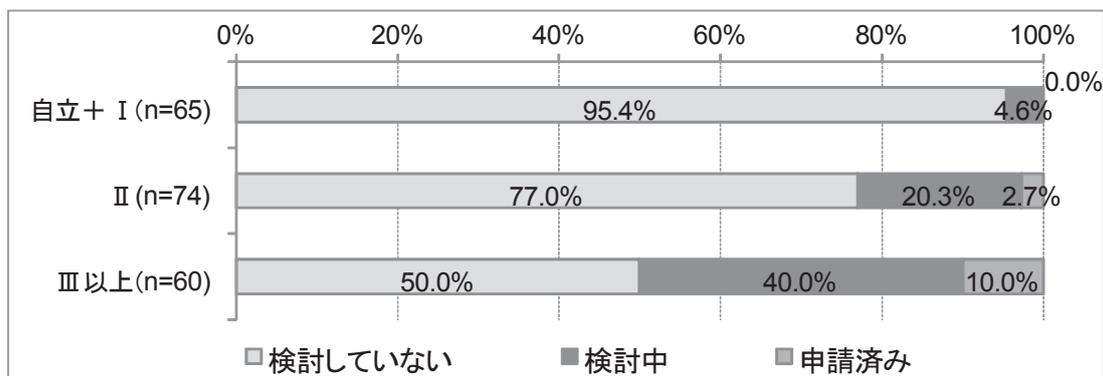
- 認知症自立度別・施設等検討の状況について単身世帯では、施設等の入所を「検討中」および「申請済み」の割合は、『自立+ I』で24.4%、『II』で42.9%、『III以上』で63.6%と認知症自立度の重度化に伴い高くなっていった。
- 夫婦のみ世帯では施設等の入所を「検討中」および「申請済み」の割合は、『自立+ I』、『II』でいずれも約2割、『III以上』で44.0%であった。
- その他の世帯では『自立+ I』で施設等の入所を「検討していない」割合が95.4%と高率であった。
- いずれの世帯においても『III以上』で施設等の入所を「検討中」、「申請済み」の割合が増える傾向にあった。



図表 3-18 認知症自立度別・施設等検討の状況（夫婦のみ世帯）



図表 3-19 認知症自立度別・施設等検討の状況（その他の世帯）



IV

施設整備調査

IV-1. 調査概要

第7期練馬区高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定のための基礎資料を得ることを目的とし、区内に所在する介護保険施設等を対象に、施設の利用状況等の調査を実施した。

調査期間：平成29年1月14日～1月31日

調査時点：（利用状況）平成28年12月

（下表1～5の施設：平成27年12月、平成26年12月の利用状況も調査）

（入退所状況）平成28年1月～12月

施設類型	施設数	回答数	回答率
1 特別養護老人ホーム	27 施設	26 施設	96.3%
2 ショートステイ	33 施設	30 施設 (*1)	90.9%
3 介護老人保健施設	13 施設	10 施設	76.9%
4 介護付き有料老人ホーム	51 施設	28 施設	54.9%
5 サービス付き高齢者向け住宅	11 施設	9 施設 (*2)	81.8%
6 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	7 施設	5 施設	71.4%
7 夜間対応型訪問介護	2 施設	2 施設	100%
8 地域密着型通所介護	133 施設	79 施設	59.3%
9 (介護予防) 認知症対応型通所介護	17 施設	16 施設	94.1%
10 (介護予防) 小規模多機能型居宅介護・ 看護小規模多機能型居宅介護	17 施設	14 施設	82.3%
11 (介護予防) 認知症対応型共同生活介護	33 施設	22 施設	66.6%

*1：特別養護老人ホーム併設 27 施設、単独型 3 施設

*2：特定施設入居者生活介護事業所 2 施設、その他 7 施設

なお、都市型軽費老人ホームについては、毎月、提出を受けている報告書等の情報をもとに施設の利用状況等を整理した。

※ 集計結果の表やグラフでの施設類型の名称は、以下の略称を使用している。

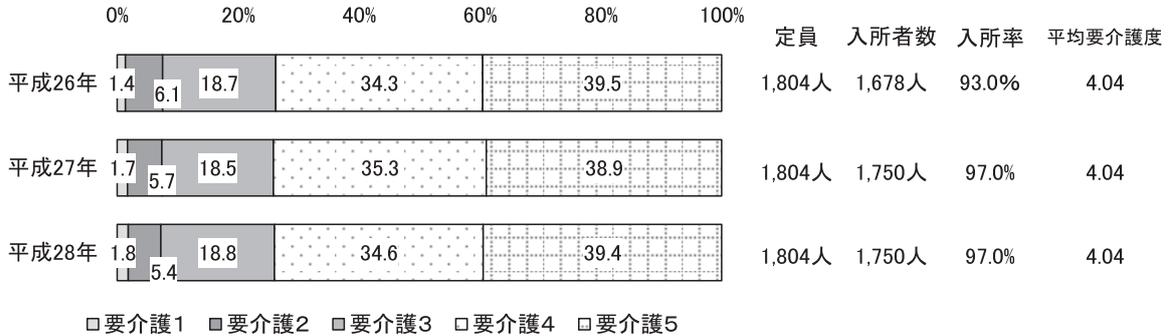
施設類型	略称
特別養護老人ホーム	特養
ショートステイ	ショート
介護老人保健施設	老健
介護付き有料老人ホーム	有料
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	定期巡回
夜間対応型訪問介護	夜間対応訪問介護
地域密着型通所介護	密着通所
(介護予防) 認知症対応型通所介護	認知デイ
(介護予防) 小規模多機能型居宅介護	小多機
看護小規模多機能型居宅介護	看多機
(介護予防) 認知症対応型共同生活介護	GH
地域密着型特別養護老人ホーム	密着特養

IV-2. 調査結果の詳細

1 特別養護老人ホーム

(1) 要介護度別利用状況 (各年12月末現在)

○定員に対する入所者の割合は、平成27年12月、平成28年12月ともに、97.0%となっている。
○入所者のうち、要介護3以上の方の割合は、各年ともに93%程度となっている。



(2) 入所者の住所地 (平成28年12月末現在)

○入所者のうち、入所前の住所地が区内である方の割合は、96.8%となっている。

	圏域					練馬区計	22区	市	都外	計
	練馬	光が丘	石神井	大泉	無回答					
入所者	266	394	496	375	163	1,694	40	8	8	1,750
	15.2%	22.5%	28.3%	21.4%	9.3%	96.8%	2.3%	0.5%	0.5%	

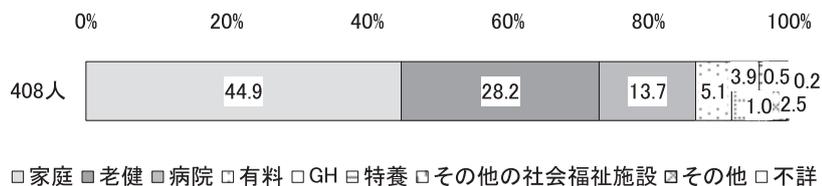
(3) 平成28年中の入退所状況

①入退所

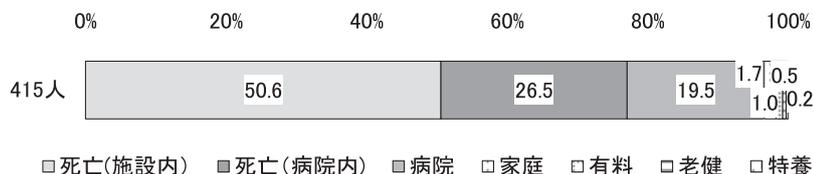
○平成28年中の入所者408人の入所前の生活場所は、「家庭」が44.9%、「老健」が28.2%、「病院」が13.7%となっている。

○退所後の行先(退所の理由)では、「死亡」が最も高く77.1%となっており、次いで「病院」が19.5%となっている。

<入所>

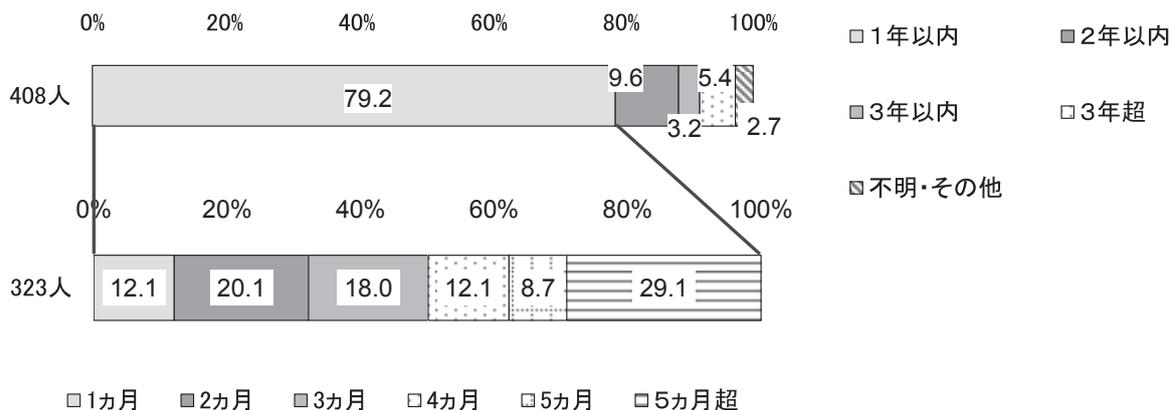


<退所>



②平成 28 年中入所者の待機期間

○平成 28 年中の入所者のうち、約 4 割の方が申込から 3 か月以内に入所しており、1 年以内に入所した方は約 8 割となっている。

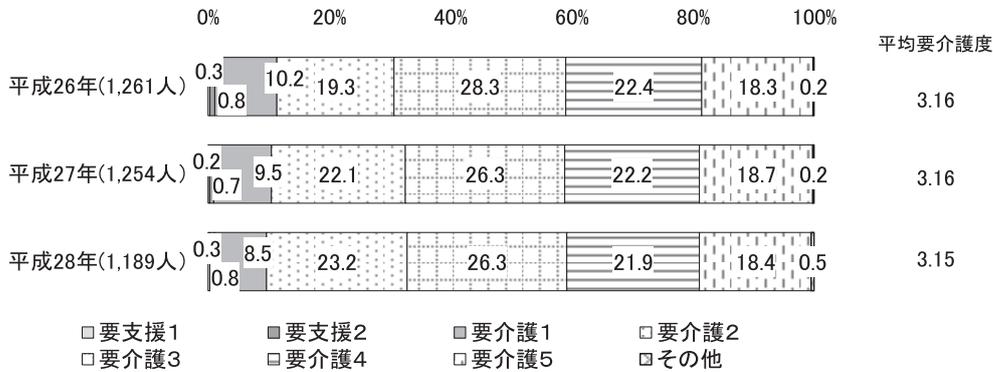


2 ショートステイ

(1) 要介護度別利用状況 (各年12月実績)

①利用人数

○利用者のほとんどは、要介護1から5の方であり、利用者の平均要介護度は、3.15～3.16となっている。



②利用日数

○利用日数を利用者数で除した平均利用日数は、7.3日程度となっている。

		(日)									計
		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他		
平成26年12月	利用日数	20	57	775	1,584	2,605	2,252	1,672	47	9,012	
	利用者数	4	10	129	244	357	283	231	3	1,261	
	平均利用日数	5.0	5.7	6.0	6.5	7.3	8.0	7.2	15.7	7.1	
平成27年12月	利用日数	24	33	662	1,811	2,443	2,279	1,777	15	9,044	
	利用者数	3	9	119	277	330	279	234	3	1,254	
	平均利用日数	8.0	3.7	5.6	6.5	7.4	8.2	7.6	5.0	7.2	
平成28年12月	利用日数	13	30	662	1,760	2,265	2,125	1,773	49	8,677	
	利用者数	4	10	101	276	313	260	219	6	1,189	
	平均利用日数	3.3	3.0	6.6	6.4	7.2	8.2	8.1	8.2	7.3	

(2) 利用者の住所地 (平成28年12月実績)

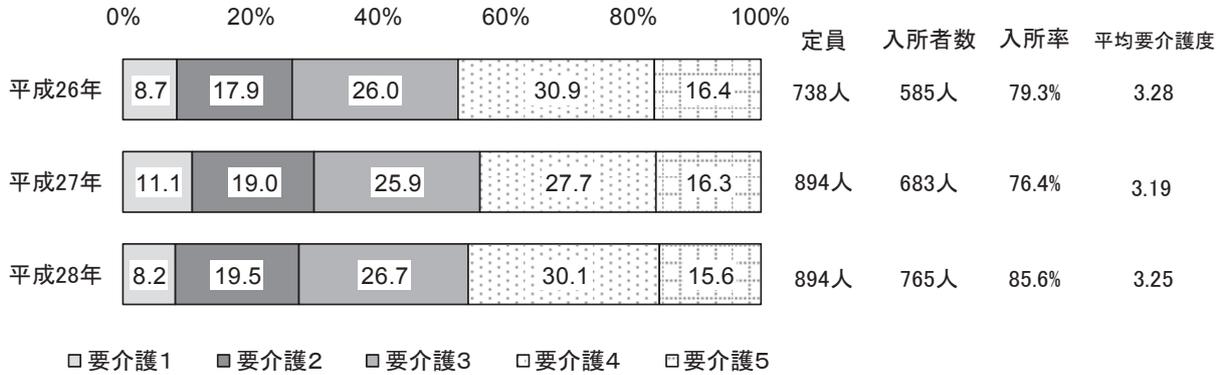
○区民の方の利用割合は、91.7%となっている。

施設所在地	施設数	定員	圏域				練馬区計	都内 (22区)	都内 (その他)	都外・不明	計
			練馬	光が丘	石神井	大泉					
区内全域	30	310	198	269	331	292	1,090	45	39	15	1,189
			16.7%	22.6%	27.8%	24.6%	91.7%	3.8%	3.3%	1.3%	
練馬圏域	3	18	69	4	2	0	75	8	1	4	88
			78.4%	4.5%	2.3%	0.0%	85.2%	9.1%	1.1%	4.5%	
光が丘圏域	8	83	72	233	20	8	333	18	0	3	354
			20.3%	65.8%	5.6%	2.3%	94.1%	5.1%	0.0%	0.8%	
石神井圏域	6	80	22	3	208	28	261	13	4	1	279
			7.9%	1.1%	74.6%	10.0%	93.5%	4.7%	1.4%	0.4%	
大泉圏域	13	129	35	29	101	256	421	6	34	7	468
			7.5%	6.2%	21.6%	54.7%	90.0%	1.3%	7.3%	1.5%	

3 介護老人保健施設

(1) 要介護度別利用状況 (各年12月末現在)

- 入所者のうち、要介護3以上の方の割合は7割程度以上となっており、平均要介護度は、3.19～3.28となっている。
- 定員に対する入所者の割合は8割程度となっている。



(2) 入所者の住所地 (平成28年12月末現在)

- 入所者のうち、入所前の住所地が区内である方の割合は約6割となっている。

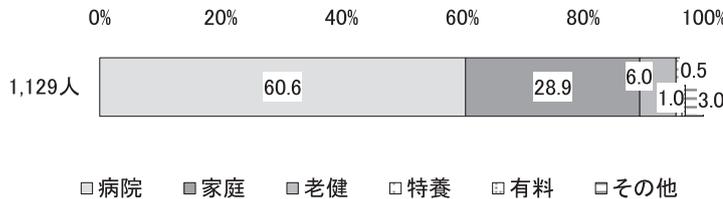
(人)

	圏域				練馬区計	都内 (22区)	都内 (その他)	都外	計
	練馬	光が丘	石神井	大泉					
入所者	85	132	128	106	451	227	51	36	765
	11.1%	17.3%	16.7%	13.9%	59.0%	29.7%	6.7%	4.7%	

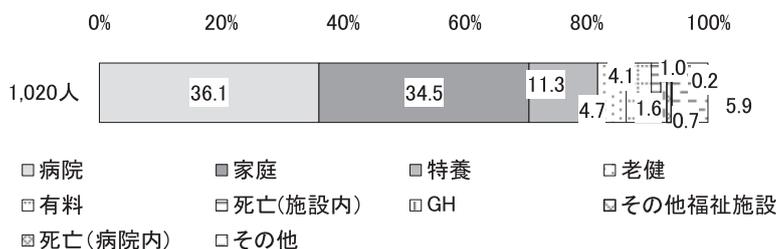
(3) 平成28年中の入退所状況

- 平成28年中の入所者1,129人の入所前の生活場所は、「病院」が60.6%、「家庭」が28.9%となっている。
- 退所後の行先(退所の理由)では、「病院」が36.1%、「家庭」が34.5%となっており、「死亡」の割合は低い。

<入所>



<退所>

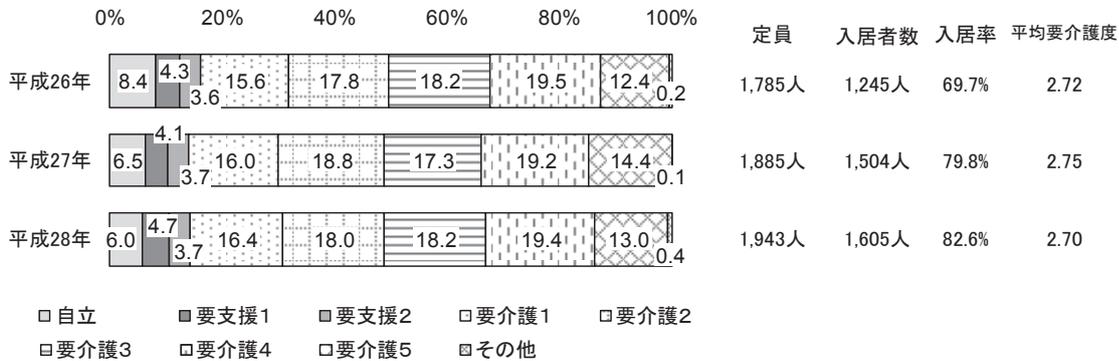


4 介護付き有料老人ホーム

(1) 要介護度別利用状況

①入居者数（各年12月末現在）

○入居者の9割以上が要支援1～要介護5の方であり、また、要介護3以上の方の入居割合は5割を超えている。平均要介護度は2.7程度となっている。



②利用可能タイプ別入居者数および平均要介護度（平成28年12月末現在）

○定員に対する入居者数の割合は、全施設では82.6%となっているが、介護専用型では90.6%となっている。

○介護専用型の平均要介護度は、2.96となっている。

	施設数	定員数	入居者数	入居率	平均要介護度
計	28	1,943人	1,605人	82.6%	2.70
混合型(自立～要介護入所可)	14	921人	731人	79.4%	2.70
混合型(要支援・要介護入所可)	7	659人	545人	82.7%	2.55
介護専用型	7	363人	329人	90.6%	2.96

(2) 入居者の前住所地（平成28年12月末現在）

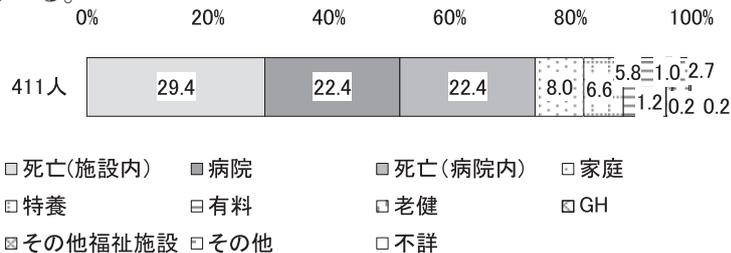
○入居前の住所地が区内である方の割合は約4割となっている。

	圏域				練馬区計	都内 (22区)	都内 (その他)	都外	計
	練馬	光が丘	石神井	大泉					
入居者	240	113	155	117	625	642	100	134	1,501
	16.0%	7.5%	10.3%	7.8%	41.6%	42.8%	6.7%	8.9%	(*注)

※ 前住所地の把握ができていない者がいるため、入居者数とは一致していない

(3) 平成28年中の退所者数および行先

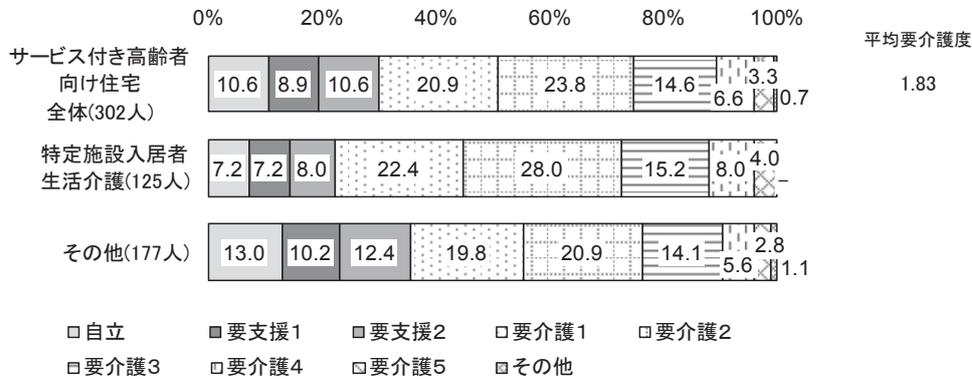
○退所後の行先（退所の理由）では、「死亡」が最も高く51.8%となっており、次いで「病院」が22.4%となっている。



5 サービス付き高齢者向け住宅

(1) 要介護度別利用状況 (平成28年12月末現在)

○入居者の9割ほどが要支援1～要介護5の方であり、また、要介護3以上の方の入居割合は25%程度となっている。平均要介護度は1.83となっている。



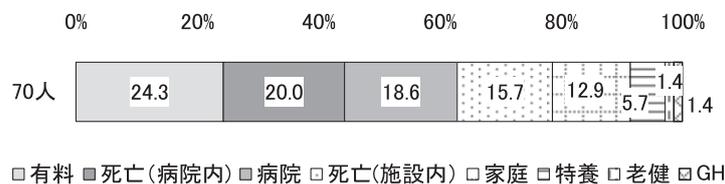
(2) 入居者の前住所地 (平成28年12月末現在)

○入居者のうち、入居前の住所地が区内である方の割合は5割程度である。

	圏域				練馬区計	都内 (23区)	都内 (その他)	都外	計
	練馬	光が丘	石神井	大泉					
全体	44 14.6%	48 15.9%	31 10.3%	30 9.9%	153 50.7%	76 25.2%	24 7.9%	49 16.2%	302
特定施設入居者生活介護	6 4.8%	26 20.8%	16 12.8%	2 1.6%	50 40.0%	45 36.0%	18 14.4%	12 9.6%	125
その他	38 21.5%	22 12.4%	15 8.5%	28 15.8%	103 58.2%	31 17.5%	6 3.4%	37 20.9%	177

(3) 平成28年中の退所者数および行先

○退所後の行先(退所の理由)では、「死亡」が最も高く35.7%となっており、次いで「有料」24.3%、「病院」18.6%となっている。



6 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

(1) 定員数と1日あたりの平均利用者数 (平成28年12月末時点)

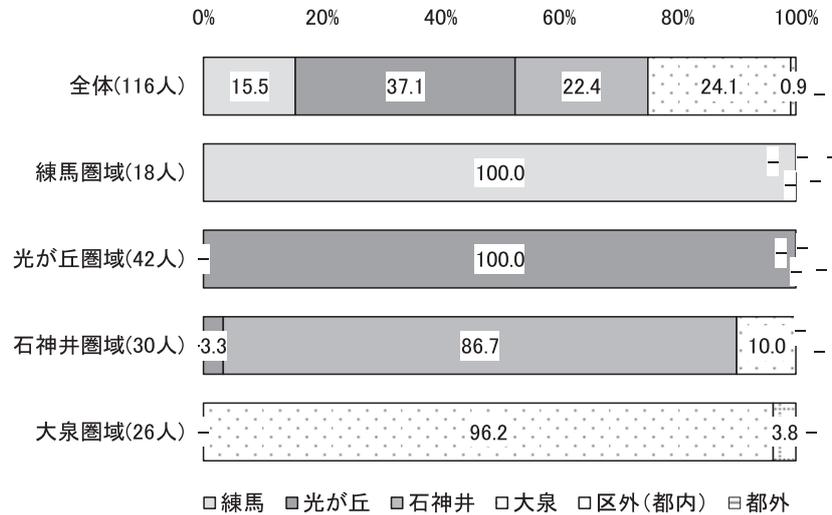
○1日あたりの平均利用者数は、「21人以上」の事業所が多い。

(所)							
	1～5人	6～10人	11～15人	16～20人	21人以上	無回答・不明他	計
定員数	0	0	1	1	2	1	5
平均利用者数	0	0	1	1	3	0	5

(2) 利用者数 (平成28年12月末時点)

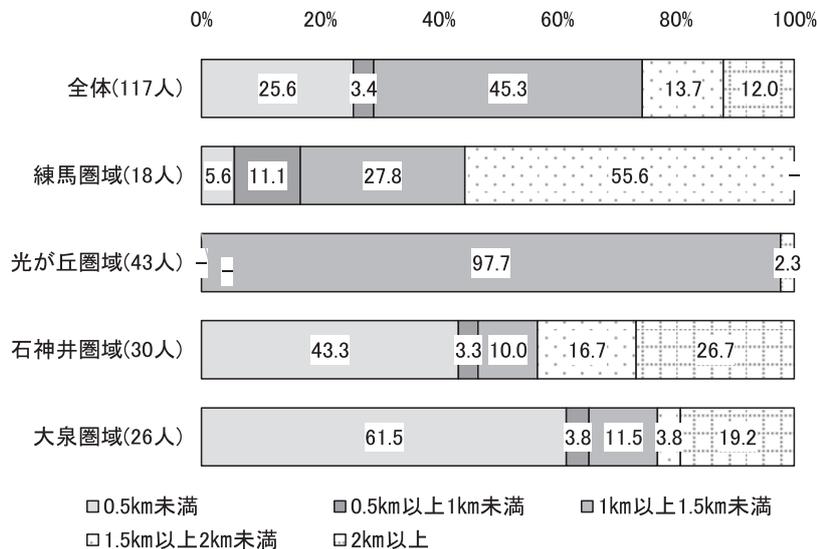
① 圏域別

○利用者数を圏域別で見ると、練馬区全体では光が丘圏域が37.1%である。



② 事業所からの距離別

○利用者数を事業所からの距離別で見ると、練馬区全体では「1km以上1.5km未満」が45.3%である。



(3) 利用者数について

○利用者数について、「やや少ない」と感じている事業所は60.0%である。

(所)

事業所	回答				計
	やや多い	やや少ない	適正	その他	
練馬圏域	0	1	0	0	1
	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	
光が丘圏域	0	1	0	0	1
	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	
石神井圏域	0	1	0	1	2
	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	
大泉圏域	0	0	1	0	1
	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
全体	0	3	1	1	5
	0.0%	60.0%	20.0%	20.0%	

(4) 利用待機者

○利用待機者は、いずれの事業所も「いない」としている。

(所)

事業所	回答			計
	いない	いる	その他	
練馬圏域	1	0	0	1
	100.0%	0.0%	0.0%	
光が丘圏域	2	0	0	2
	100.0%	0.0%	0.0%	
石神井圏域	1	0	0	1
	100.0%	0.0%	0.0%	
大泉圏域	1	0	0	1
	100.0%	0.0%	0.0%	
全体	5	0	0	5
	100.0%	0.0%	0.0%	

(5) 地域密着型サービスの課題 (複数回答)

○地域密着型サービスの課題は、「ケアマネが内容や利用法を知らない」が41.7%となっている。

(所)

	ケアマネが内容や 利用法を知らない	利用者が 限定される	事業所数 が多い	事業者数 が少ない	報酬・加算 が少ない	わからない	その他	計
全体	5	1	0	3	2	0	1	12
	41.7%	8.3%	0.0%	25.0%	16.7%	0.0%	8.3%	

(6) 整備が必要と思うサービス (複数回答)

○整備が必要と思うサービスは、「定期巡回」が57.1%となっている。

(人)

	定期巡回	夜間対応 訪問介護	認知デイ	密着通所	小多機	看多機	GH	密着 特養	必要ない	計
全体	4	2	0	0	0	0	1	0	0	7
	57.1%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	

(7) 運営推進会議の開催状況（年間）

○運営推進会議の開催状況は、「年間3～4回」とする事業所が多い。

(所)

	0回	1～2回	3～4回	5～6回	7回以上	無回答	計
全体	0	0	5	0	0	0	5

(8) 運営推進会議の参加者（複数回答）

○運営推進会議の参加者は、「ケアマネ」、「行政職員」、「包括職員」とする事業所が多い。

(所)

	民生委員・ 町会関係者	ケアマネ	利用者 家族	行政 職員	包括 職員	その他	計
全体	2	5	0	5	5	0	17

(9) 高齢者（65歳以上）のボランティア

○高齢者のボランティアは、いずれの事業所も「いない」としている。

(所)

	1人	2人	3人	4人以上	いない	計
全体	0	0	0	0	5	5

(10) 施設内に集える場所（多目的室等）

○施設内に集える場所（多目的室等）は、いずれの事業所も「ない」としている。

(所)

	ある	ない	その他	計
全体	0	5	0	5

(11) 地域交流推進への課題（複数回答）

○地域交流推進への課題は、「人員配置ができない」とする事業所が多い。

(所)

	交流方法が わからない	人員配置が できない	地域情報 がない	必要性を 感じない	その他	計
全体	1	5	0	0	0	6

7 夜間対応型訪問介護

(1) 定員数と1日あたりの平均利用者数 (平成28年12月末時点)

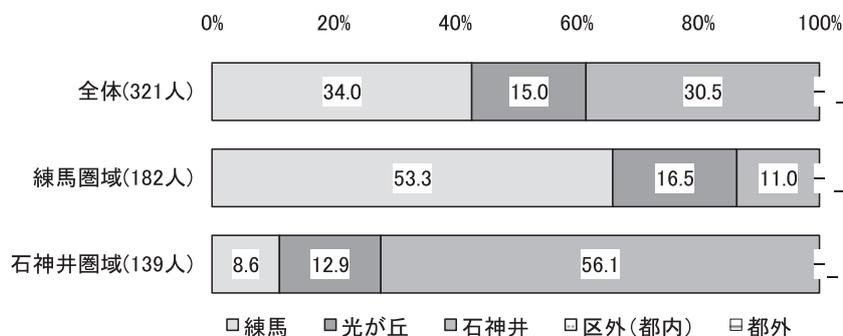
○1日あたりの平均利用者数は、「6～10人」の事業所が多い。

(所)							
	1～5人	6～10人	11～15人	16～20人	21人以上	無回答・不明他	計
定員数	0	0	0	0	1	1	2
平均利用者数	0	2	0	0	0	0	2

(2) 利用者数 (平成28年12月末時点)

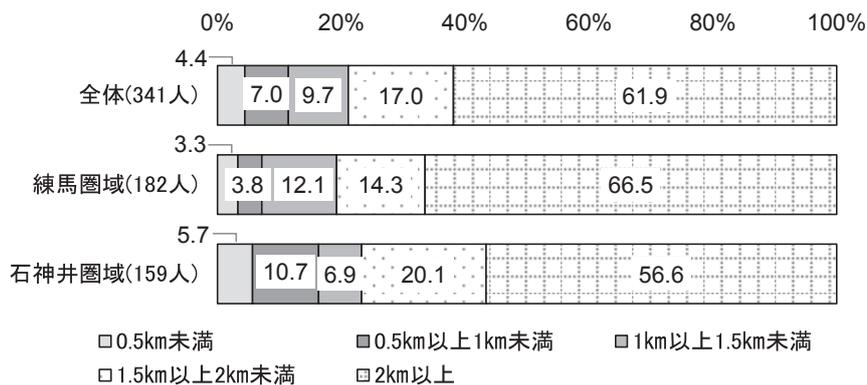
① 圏域別

○利用者数を圏域別で見ると、練馬区全体では練馬圏域が34.0%である。



② 事業所からの距離別

○利用者数を事業所からの距離別で見ると、練馬区全体では「2km以上」が61.9%である。



(3) 利用者数について

○利用者数について、「適正」と感じている事業所は 50.0%である。

(所)

事業所	回答				計
	やや多い	やや少ない	適正	その他	
練馬圏域	0	0	1	0	1
	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
光が丘圏域	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
石神井圏域	0	0	0	1	1
	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
大泉圏域	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
全体	0	0	1	1	2
	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	

(4) 利用待機者

○利用待機者は、いずれの事業所も「いない」としている。

(所)

事業所	回答			計
	いない	いる	その他	
練馬圏域	1	0	0	1
	100.0%	0.0%	0.0%	
光が丘圏域	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	
石神井圏域	1	0	0	1
	100.0%	0.0%	0.0%	
大泉圏域	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	
全体	2	0	0	2
	100.0%	0.0%	0.0%	

(5) 地域密着型サービスの課題 (複数回答)

○地域密着型サービスの課題は、「ケアマネが内容や利用法を知らない」、「利用者が限定」、「事業者数が少ない」が 22.2%となっている。

(所)

	ケアマネが内容や 利用法を知らない	利用者が 限定される	事業所数 が多い	事業者数 が少ない	報酬・加算 が少ない	わからない	その他	計
全体	2	2	0	2	1	0	2	9
	22.2%	22.2%	0.0%	22.2%	11.1%	0.0%	22.2%	

(6) 整備が必要と思うサービス (複数回答)

○整備が必要と思うサービスは、「定期巡回」が 40.0%となっている。

(人)

	定期巡回	夜間対応 訪問介護	認知デイ	密着通所	小多機	看多機	GH	密着 特養	必要ない	計
全体	2	1	0	0	1	0	0	1	0	5
	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	

(7) 運営推進会議の開催状況（年間）

○運営推進会議の開催状況は、「年間0回」もしくは「年間3～4回」となっている。

(所)

	0回	1～2回	3～4回	5～6回	7回以上	無回答	計
全体	1	0	1	0	0	0	2

(8) 運営推進会議の参加者（複数回答）

○運営推進会議の参加者は、「民生委員・町会関係者」、「ケアマネ」、「利用者家族」、「行政職員」、「包括職員」となっている。

(所)

	民生委員・町会関係者	ケアマネ	利用者家族	行政職員	包括職員	その他	計
全体	1	1	1	1	1	0	5

(9) 高齢者（65歳以上）のボランティア

○高齢者のボランティアは、いずれの事業所も「いない」としている。

(所)

	1人	2人	3人	4人以上	いない	計
全体	0	0	0	0	2	2

(10) 施設内に集える場所（多目的室等）

○施設内に集える場所（多目的室等）は、いずれの事業所も「ない」としている。

(所)

	ある	ない	その他	計
全体	0	2	0	2

(11) 地域交流推進への課題（複数回答）

○地域交流推進への課題は、いずれの事業所も「人員配置ができない」としている。

(所)

	交流方法がわからない	人員配置ができない	地域情報がない	必要性を感じない	その他	計
全体	0	2	0	0	0	2

8 地域密着型通所介護

(1) 定員数と1日あたりの平均利用者数 (平成28年12月末時点)

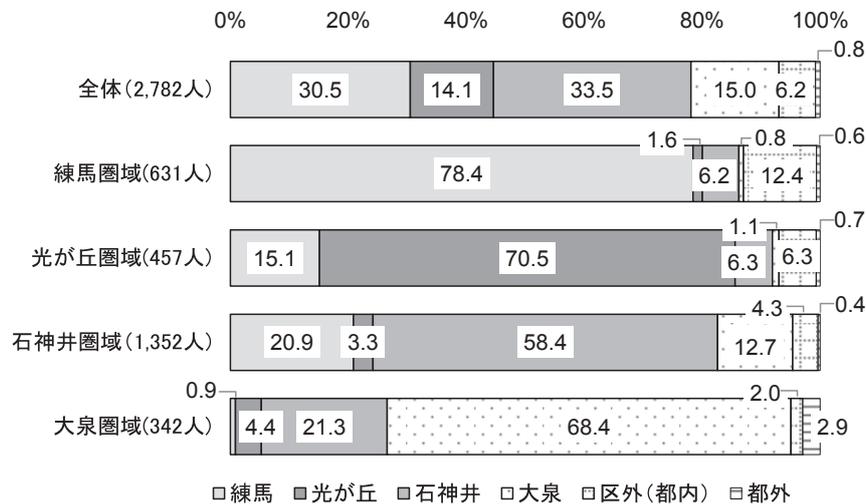
○1日あたりの平均利用者数は、「6～10人」の事業所が多い。

(所)							
	1～5人	6～10人	11～15人	16～20人	21人以上	無回答・不明他	計
定員数	1	46	10	15	7	0	79
平均利用者数	10	44	12	7	5	1	79

(2) 利用者数 (平成28年12月末時点)

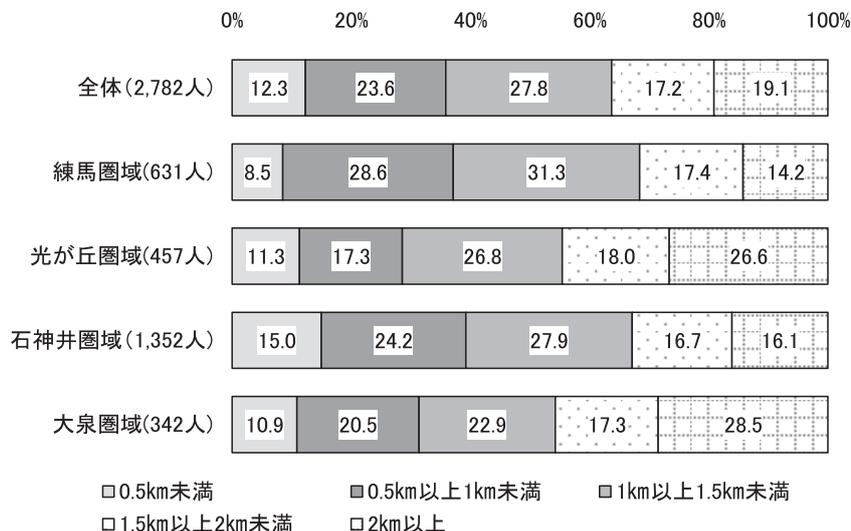
① 圏域別

○利用者数を圏域別で見ると、練馬区全体では石神井圏域が33.5%である。



② 事業所からの距離別

○利用者数を事業所からの距離別で見ると、練馬区全体では「1km以上1.5km未満」が27.8%である。



(3) 利用者数について

○利用者数について、「やや少ない」と感じている事業所は52.6%である。

(所)

事業所	回答				計
	やや多い	やや少ない	適正	その他	
練馬圏域	0 0.0%	9 69.2%	3 23.1%	1 7.7%	13
光が丘圏域	0 0.0%	6 40.0%	6 40.0%	3 20.0%	15
石神井圏域	0 0.0%	17 45.9%	17 45.9%	3 8.1%	37
大泉圏域	0 0.0%	9 69.2%	3 23.1%	1 7.7%	13
全体	0 0.0%	41 52.6%	29 37.2%	8 10.3%	78

(4) 利用待機者

○利用待機者が「いない」としている事業所は、77.2%である。

(所)

事業所	回答			計
	いない	いる	その他	
練馬圏域	11 84.6%	1 7.7%	1 7.7%	13
光が丘圏域	13 81.3%	3 18.8%	0 0.0%	16
石神井圏域	28 75.7%	8 21.6%	1 2.7%	37
大泉圏域	9 69.2%	4 30.8%	0 0.0%	13
全体	61 77.2%	16 20.3%	2 2.5%	79

(5) 地域密着型サービスの課題 (複数回答)

○地域密着型サービスの課題は、「報酬・加算が少ない」が30.4%となっている。

(所)

	ケアマネが内容や 利用法を知らない	利用者が 限定される	事業所数 が多い	事業者数 が少ない	報酬・加算 が少ない	わからない	その他	計
全体	8 6.4%	36 28.8%	18 14.4%	2 1.6%	38 30.4%	16 12.8%	7 5.6%	125

(6) 整備が必要と思うサービス (複数回答)

○整備が必要と思うサービスは、「定期巡回」が18.5%となっている。

(所)

	定期巡回	夜間対応 訪問介護	認知デイ	密着通所	小多機	看多機	GH	密着 特養	必要ない	計
全体	23 18.5%	20 16.1%	16 12.9%	15 12.1%	17 13.7%	6 4.8%	11 8.9%	5 4.0%	11 8.9%	124

(7) 運営推進会議の開催状況（年間）

○運営推進会議の開催状況は、「年間1～2回」とする事業所が多い。

							(所)
	0回	1～2回	3～4回	5～6回	7回以上	無回答	計
全体	22	49	3	0	0	5	79

(8) 運営推進会議の参加者（複数回答）

○運営推進会議の参加者は、「民生委員・町会関係者」とする事業所が多い。

							(所)
	民生委員・ 町会関係者	ケアマネ	利用者 家族	行政 職員	包括 職員	その他	計
全体	43	34	40	22	25	10	174

(9) 高齢者（65歳以上）のボランティア

○高齢者のボランティアは、「いない」とする事業所が多い。

						(所)
	1人	2人	3人	4人以上	いない	計
全体	4	10	2	9	54	79

(10) 施設内に集える場所（多目的室等）

○施設内に集える場所（多目的室等）は、「ない」とする事業所が多い。

				(所)
	ある	ない	その他	計
全体	14	60	5	79

(11) 地域交流推進への課題（複数回答）

○地域交流推進への課題は、「人員配置ができない」とする事業所が多い。

						(所)
	交流方法が わからない	人員配置が できない	地域情報 がない	必要性を 感じない	その他	計
全体	22	47	16	5	12	102

9 (介護予防) 認知症対応型通所介護

(1) 定員数と1日あたりの平均利用者数 (平成28年12月末時点)

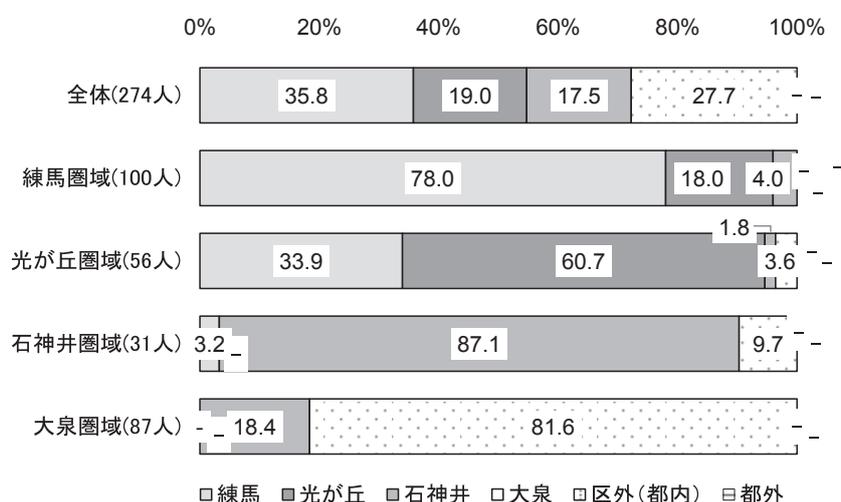
○1日あたりの平均利用者数は、「6～10人」の事業所が多い。

(所)							
	1～5人	6～10人	11～15人	16～20人	21人以上	無回答・不明他	計
定員数	0	7	8	0	1	0	16
平均利用者数	6	8	1	0	0	1	16

(2) 利用者数 (平成28年12月末時点)

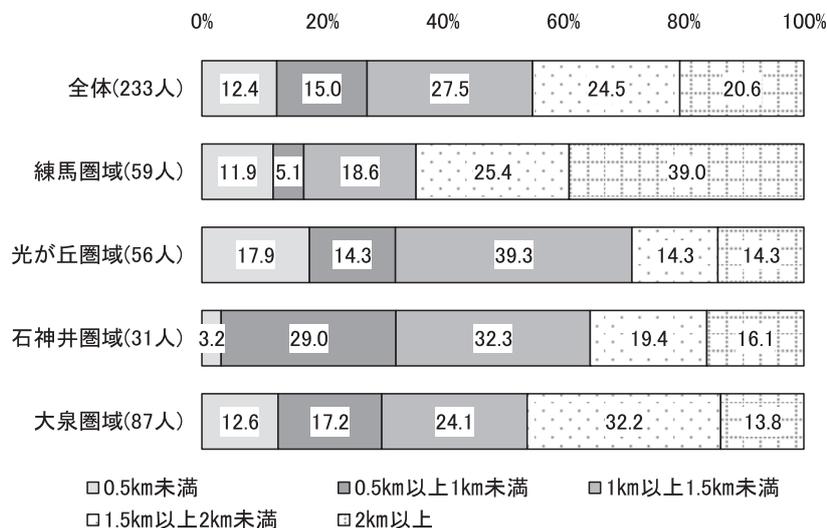
① 圏域別

○利用者数を圏域別で見ると、練馬区全体では練馬圏域が35.8%である。



② 事業所からの距離別

○利用者数を事業所からの距離別で見ると、練馬区全体では「1km以上1.5km未満」が27.5%である。



(3) 利用者数について

○利用者数について、「やや少ない」と感じている事業所は81.3%である。

(所)

事業所	回答				計
	やや多い	やや少ない	適正	その他	
練馬圏域	0	3	2	0	5
	0.0%	60.0%	40.0%	0.0%	
光が丘圏域	0	4	0	1	5
	0.0%	80.0%	0.0%	20.0%	
石神井圏域	0	2	0	0	2
	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	
大泉圏域	0	4	0	0	4
	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	
全体	0	13	2	1	16
	0.0%	81.3%	12.5%	6.3%	

(4) 利用待機者

○利用待機者が「いない」としている事業所は、93.8%である。

(所)

事業所	回答			計
	いない	いる	その他	
練馬圏域	5	0	0	5
	100.0%	0.0%	0.0%	
光が丘圏域	5	0	0	5
	100.0%	0.0%	0.0%	
石神井圏域	2	0	0	2
	100.0%	0.0%	0.0%	
大泉圏域	3	1	0	4
	75.0%	25.0%	0.0%	
全体	15	1	0	16
	93.8%	6.3%	0.0%	

(5) 地域密着型サービスの課題 (複数回答)

○地域密着型サービスの課題は、「利用者が限定」が32.1%となっている。

(所)

	ケアマネが内容や 利用法を知らない	利用者が 限定される	事業所数 が多い	事業者数 が少ない	報酬・加算 が少ない	わからない	その他	計
全体	8	9	6	0	2	1	2	28
	28.6%	32.1%	21.4%	0.0%	7.1%	3.6%	7.1%	

(6) 整備が必要と思うサービス (複数回答)

○整備が必要と思うサービスは、「認知デイ」が33.3%となっている。

(所)

	定期巡回	夜間対応 訪問介護	認知デイ	密着通所	小多機	看多機	GH	密着 特養	必要ない	計
全体	2	2	6	0	1	1	1	1	4	18
	11.1%	11.1%	33.3%	0.0%	5.6%	5.6%	5.6%	5.6%	22.2%	

(7) 運営推進会議の開催状況（年間）

○運営推進会議の開催状況は、「年間1～2回」とする事業所が多い。

(所)

	0回	1～2回	3～4回	5～6回	7回以上	無回答	計
全体	1	15	0	0	0	0	16

(8) 運営推進会議の参加者（複数回答）

○運営推進会議の参加者は、「利用者家族」とする事業所が多い。

(所)

	民生委員・ 町会関係者	ケアマネ	利用者 家族	行政 職員	包括 職員	その他	計
全体	11	8	13	8	8	4	52

(9) 高齢者（65歳以上）のボランティア

○高齢者のボランティアは、「4人以上」とする事業所が多い。

(所)

	1人	2人	3人	4人以上	いない	計
全体	3	0	1	7	5	16

(10) 施設内に集える場所（多目的室等）

○施設内に集える場所（多目的室等）は、「ある」とする事業所が多い。

(所)

	ある	ない	その他	計
全体	8	6	2	16

(11) 地域交流推進への課題（複数回答）

○地域交流推進への課題は、「人員配置ができない」とする事業所が多い。

(所)

	交流方法が わからない	人員配置が できない	地域情報 がない	必要性を 感じない	その他	計
全体	4	10	4	0	0	18

10 (介護予防) 小規模多機能型居宅介護・看護小規模多機能型居宅介護

(1) 定員数と1日あたりの平均利用者数 (平成28年12月末時点)

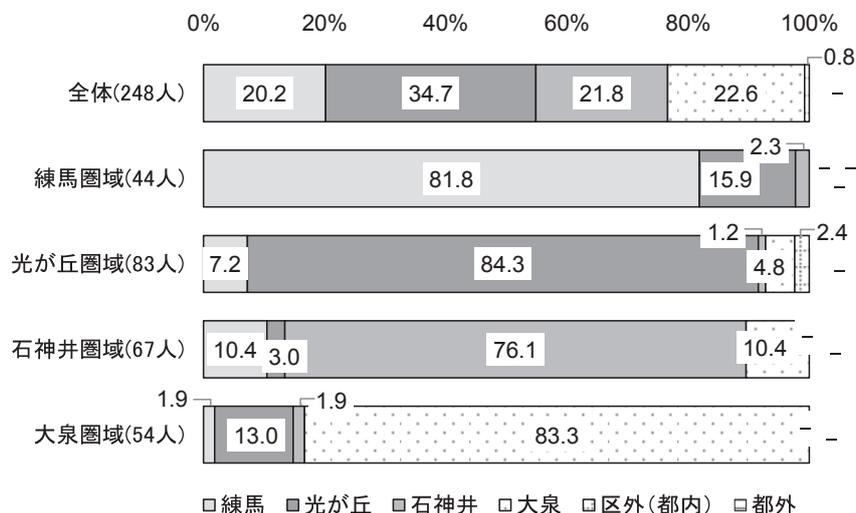
○1日あたりの平均利用者数は、「11～15人」の事業所が多い。

(所)							
	1～5人	6～10人	11～15人	16～20人	21人以上	無回答・不明他	計
定員数	0	0	0	0	13	1	14
平均利用者数	2	3	6	3	0	0	14

(2) 利用者数 (平成28年12月末時点)

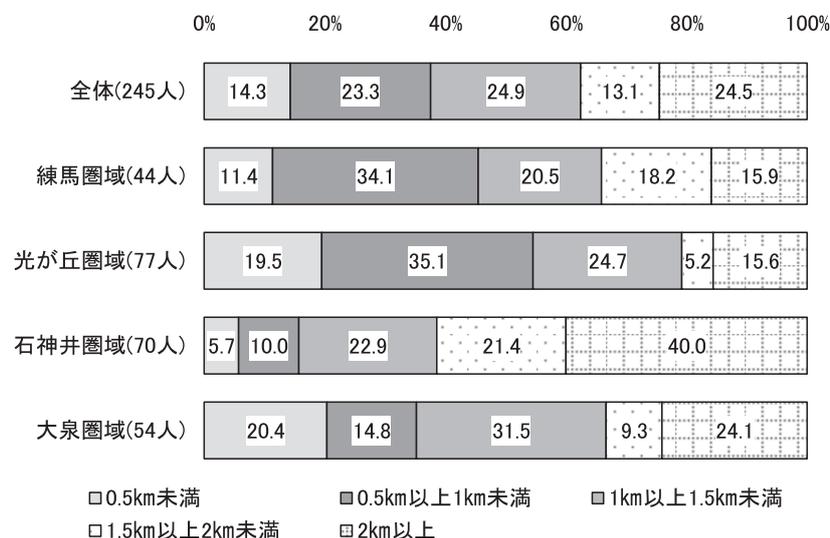
① 圏域別

○利用者数を圏域別で見ると、練馬区全体では光が丘圏域が34.7%である。



② 事業所からの距離別

○利用者数を事業所からの距離別で見ると、練馬区全体では「1km以上1.5km未満」が24.9%である。



(3) 利用者数について

○利用者数について、「やや少ない」と感じている事業所は50.0%である。

(所)

事業所	回答				計
	やや多い	やや少ない	適正	その他	
練馬圏域	1	1	0	0	2
	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	
光が丘圏域	0	3	1	0	4
	0.0%	75.0%	25.0%	0.0%	
石神井圏域	1	0	2	1	4
	25.0%	0.0%	50.0%	25.0%	
大泉圏域	0	3	0	1	4
	0.0%	75.0%	0.0%	25.0%	
全体	2	7	3	2	14
	14.3%	50.0%	21.4%	14.3%	

(4) 利用待機者

○利用待機者が「いない」としている事業所は、78.6%である。

(所)

事業所	回答			計
	いない	いる	その他	
練馬圏域	1	1	0	2
	50.0%	50.0%	0.0%	
光が丘圏域	4	0	0	4
	100.0%	0.0%	0.0%	
石神井圏域	3	1	0	4
	75.0%	25.0%	0.0%	
大泉圏域	3	1	0	4
	75.0%	25.0%	0.0%	
全体	11	3	0	14
	78.6%	21.4%	0.0%	

(5) 地域密着型サービスの課題 (複数回答)

○地域密着型サービスの課題は、「ケアマネが内容や利用法を知らない」が57.1%となっている。

(所)

	ケアマネが内容や 利用法を知らない	利用者が 限定される	事業所数 が多い	事業者数 が少ない	報酬・加算 が少ない	わからない	その他	計
全体	12	2	4	0	1	0	2	21
	57.1%	9.5%	19.0%	0.0%	4.8%	0.0%	9.5%	

(6) 整備が必要と思うサービス (複数回答)

○整備が必要と思うサービスは、「看多機」が33.3%となっている。

(所)

	定期巡回	夜間対応 訪問介護	認知デイ	密着通所	小多機	看多機	GH	密着 特養	必要ない	計
全体	2	2	1	1	5	7	0	1	2	21
	9.5%	9.5%	4.8%	4.8%	23.8%	33.3%	0.0%	4.8%	9.5%	

(7) 運営推進会議の開催状況（年間）

○運営推進会議の開催状況は、「年間5～6回」とする事業所が多い。

(所)

	0回	1～2回	3～4回	5～6回	7回以上	無回答	計
全体	0	1	0	13	0	0	14

(8) 運営推進会議の参加者（複数回答）

○運営推進会議の参加者は、「利用者家族」、「包括職員」とする事業所が多い。

(所)

	民生委員・ 町会関係者	ケアマネ	利用者 家族	行政 職員	包括 職員	その他	計
全体	11	7	14	8	13	2	55

(9) 高齢者（65歳以上）のボランティア

○高齢者のボランティアは、「2人」「4人以上」とする事業所が多い。

(所)

	1人	2人	3人	4人以上	いない	計
全体	3	4	1	4	2	14

(10) 施設内に集える場所（多目的室等）

○施設内に集える場所（多目的室等）は、「ない」とする事業所が多い。

(所)

	ある	ない	その他	計
全体	4	9	1	14

(11) 地域交流推進への課題（複数回答）

○地域交流推進への課題は、「人員配置ができない」とする事業所が多い。

(所)

	交流方法が わからない	人員配置が できない	地域情報 がない	必要性を 感じない	その他	計
全体	3	12	3	0	2	20

11 (介護予防) 認知症対応型共同生活介護

(1) 定員数と1日あたりの平均利用者数 (平成28年12月末時点)

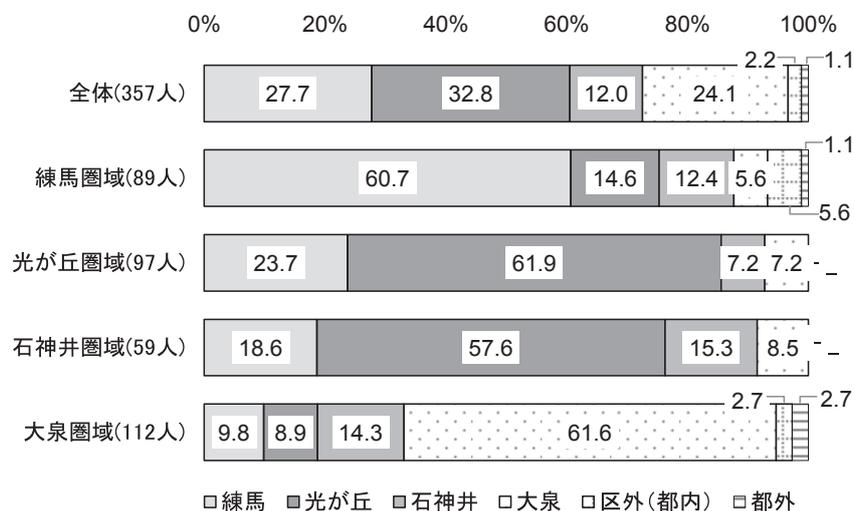
○1日あたりの平均利用者数は、「16~20人」とする事業所が多い。

(所)							
	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21人以上	無回答・不明他	計
定員数	0	3	0	16	3	0	22
平均利用者数	0	4	2	12	2	2	22

(2) 利用者数 (平成28年12月末時点)

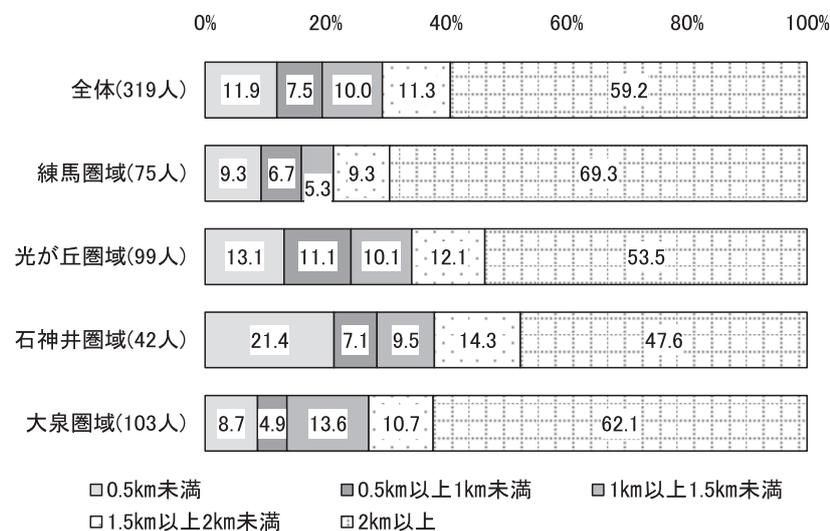
① 圏域別

○利用者数を圏域別で見ると、練馬区全体では光が丘圏域が32.8%である。



② 事業所からの距離別

○利用者数を事業所からの距離別で見ると、練馬区全体では「2km以上」が59.2%である。



(3) 利用者数について

○利用者数について、「適正」と感じている事業所は81.8%である。

(所)

事業所	回答				計
	やや多い	やや少ない	適正	その他	
練馬圏域	0 0.0%	2 40.0%	3 60.0%	0 0.0%	5
光が丘圏域	0 0.0%	2 33.3%	4 66.7%	0 0.0%	6
石神井圏域	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%	0 0.0%	4
大泉圏域	0 0.0%	0 0.0%	7 100.0%	0 0.0%	7
全体	0 0.0%	4 18.2%	18 81.8%	0 0.0%	22

(4) 利用待機者

○利用待機者が「いる」としている事業所は、61.9%である。

(所)

事業所	回答			計
	いない	いる	その他	
練馬圏域	3 75.0%	1 25.0%	0 0.0%	4
光が丘圏域	2 33.3%	3 50.0%	1 16.7%	6
石神井圏域	1 25.0%	3 75.0%	0 0.0%	4
大泉圏域	1 14.3%	6 85.7%	0 0.0%	7
全体	7 33.3%	13 61.9%	1 4.8%	21

(5) 認知症対応型共同生活介護事業所のみ

①平成28年中の退所者数

○退所者数は、「1～2人」とする事業所が多い。

(所)

	0人	1～2人	3～4人	5～6人	7～8人	9人以上	計
全体	3	6	4	5	2	1	21

②平成28年中の退所者の行先

○退所者の行先は、「医療機関」が41.3%となっている。

(人)

	家庭	特養	老健	有料	GH	その他福祉施設	医療機関	死亡	その他	計
全体	2 2.7%	13 17.3%	1 1.3%	7 9.3%	0 0.0%	0 0.0%	31 41.3%	21 28.0%	0 0.0%	75

(6) 地域密着型サービスの課題 (複数回答)

○地域密着型サービスの課題は、「報酬・加算が少ない」が30.6%となっている。

(所)

	ケアマネが内容や利用法を知らない	利用者が限定される	事業所数が多い	事業者数が少ない	報酬・加算が少ない	わからない	その他	計
全体	6 16.7%	6 16.7%	3 8.3%	3 8.3%	11 30.6%	2 5.6%	5 13.9%	36

(7) 整備が必要と思うサービス (複数回答)

○整備が必要と思うサービスは、「定期巡回」、「小多機」がそれぞれ17.9%となっている。

(所)

	定期巡回	夜間対応 訪問介護	認知デイ	密着通所	小多機	看多機	GH	密着 特養	必要ない	計
全体	7 17.9%	3 7.7%	5 12.8%	2 5.1%	7 17.9%	6 15.4%	6 15.4%	3 7.7%	0 0.0%	39

(8) 運営推進会議の開催状況 (年間)

○運営推進会議の開催状況は、いずれの事業所も「年間5～6回」となっている。

(所)

	0回	1～2回	3～4回	5～6回	7回以上	無回答	計
全体	0	0	0	22	0	0	22

(9) 運営推進会議の参加者 (複数回答)

○運営推進会議の参加者は、「利用者家族」、「行政職員」、「包括職員」とする事業所が多い。

(所)

	民生委員・ 町会関係者	ケアマネ	利用者 家族	行政 職員	包括 職員	その他	計
全体	18	8	21	21	20	4	92

(10) 高齢者 (65歳以上) のボランティア

○高齢者のボランティアは、「いない」とする事業所が多い。

(所)

	1人	2人	3人	4人以上	いない	計
全体	3	0	0	8	11	22

(11) 施設内に集える場所 (多目的室等)

○施設内に集える場所 (多目的室等) は、「ない」とする事業所が多い。

(所)

	ある	ない	その他	計
全体	7	15	0	22

(12) 地域交流推進への課題 (複数回答)

○地域交流推進への課題は、「人員配置ができない」とする事業所が多い。

(所)

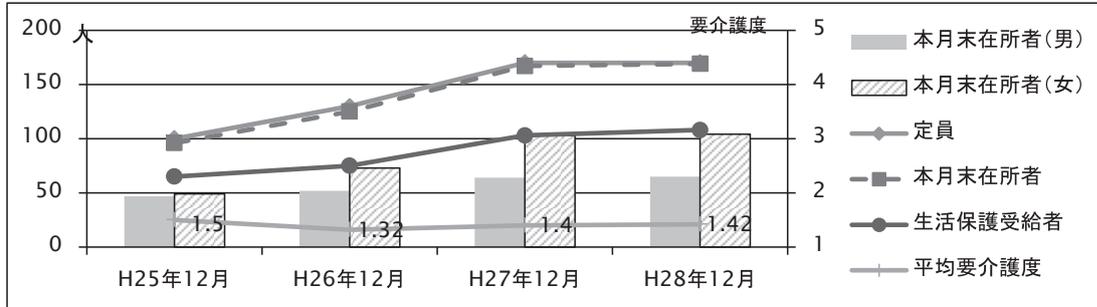
	交流方法が わからない	人員配置が できない	地域情報 がない	必要性を 感じない	その他	計
全体	2	18	0	1	3	24

12 都市型軽費老人ホーム 《参考》

- 平成25年～平成28年の「入退所状況報告書」などをもとに作成。
- 平成28年12月現在、9施設（定員：170人）が開設している。

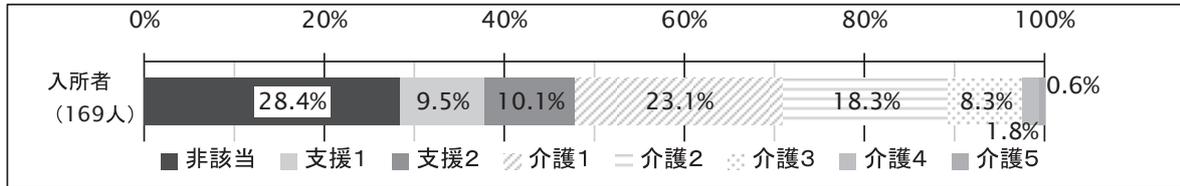
(1) 定員および入所者の推移

○入所者に占める生活保護受給者の割合は、定員の6割強で推移している。



(2) 入所者要介護度別人数（平成28年12月末現在）

○非該当および要支援1・2の方が約5割を占め、平均要介護度は1.42となっている。



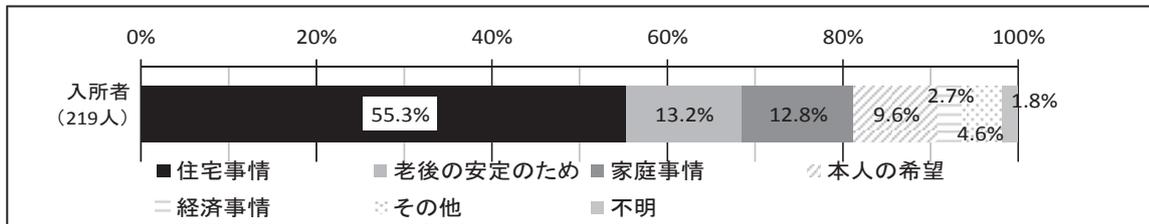
(3) 入所者の待機期間

○入所までの待機期間は、長くなる傾向がみられる。

	（上段：人数）					計	（参考） 施設数（定員）
	3か月未満	3か月以上～ 6か月未満	6か月以上～ 1年未満	1年以上～ 2年未満	不明		
25年	63 80.8%	3 3.8%			12 15.4%	78	5(100)
26年	40 78.4%	1 2.0%			10 19.6%	51	7(130)
27年	52 85.2%		1 1.6%		8 13.1%	61	9(170)
28年	10 34.5%	9 31.0%	5 17.2%	3 10.3%	2 6.9%	29	9(170)

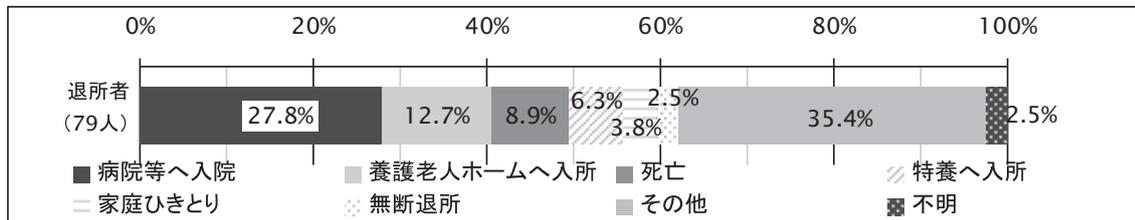
(4) 入所者数および入所理由（平成25年～28年の合計数）

○入所理由は「住宅事情」が多い。



(5) 退所者数および退所理由（平成25年～28年の合計数）

○退所理由は「病院等への入院」が多い。



V

参 考 资 料

練馬区高齢者基礎調査

◆ 調査へのご協力をお願い ◆

日頃から、練馬区政にご理解とご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。区では、新たな「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の策定に着手しています。この調査は、効果的な介護予防政策の立案と効果評価および高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画がより実りある計画となるよう、高齢者の方々から、日頃の生活状況や区の高齢者施策に対するご意見・ご希望などをお聞きするため実施するものです。

調査の対象として、区内にお住まいの要介護認定を受けていない65歳以上の方々から2,300人、55～64歳の方々から800人を無作為で選び、調査票を送付させていただきます。

本調査で得られた情報につきましては、計画策定と効果評価の目的以外には利用いたしません。当該情報については、区で適切に管理し、個人が特定される形での公表や、他の目的での使用はいたしません。ただし、介護保険事業計画策定時および効果評価時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理するデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析することがあります。ご協力いただきますようお願いいたします。

平成28年12月 練馬区

◆ 調査票のご記入にあたって ◆

- 調査票上の「あなた」とは、封筒に印刷されたあて名本人を指します。
- 回答は、あてはまる番号に○をつけてください。質問文にある「○は1つ」「あてはまるものすべてに○」などの指示にしたがってご回答ください。また、ご意見や数字などを直接ご記入いただく質問もあります。
- 質問の回答が、「その他」にあてはまる場合は、() 内になるべく具体的にその内容をご記入ください。
- 回答はできる限り、対象者ご本人がご記入ください。なお、対象者ご本人お一人での回答がむずかしい場合は、ご家族の方などにお手伝いいただき、対象者ご本人の意見を聞いた上で代わりにご記入ください。
- ご記入いただいた調査票は、**12月26日(月)まで**に、同封の返信用封筒にてご返送ください。切手は不要ですので、そのままご投函ください。
- この調査票および返信用封筒へのお名前のご記入は不要です。

この調査は、練日本能率協会総合研究所に委託して実施しています。調査についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

【調査委託元】 練馬区 高齢施策担当部 高齢社会対策課 計画係

【調査実施・お問い合わせ先】 練日本能率協会総合研究所 担当：田中、政岡

電話：0120-876-300 (フリーダイヤル)

受付時間：月曜日～金曜日(平日) 10:00～17:00

記入日 平成 年 月 日

調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。

- 1 あて名のご本人が記入
- 2 ご家族が記入(あて名のご本人からみた続柄)
- 3 その他

◆あなたのご家族や生活状況について

問1 あなたの性別と、平成28年12月1日現在の満年齢を教えてください。

① 性別 (○は1つ) ② 年齢 (右詰めで記入)

1 男性 歳
2 女性 歳

問2 あなたのお住まいはどちらですか。記入例のように、町名と丁目をご記入ください。

町名 丁目
(記入例) 町名 光が丘 3 丁目

問3 家族構成をお教えください。(○は1つ)

- 1 1人暮らし
- 2 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)
- 3 夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)
- 4 息子・娘との2世帯
- 5 その他

問4 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(○は1つ)

- 1 介護・介助は必要ない
- 2 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
- 3 現在、何らかの介護を受けている
(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)

問5 現在、あなたにはお子さんがいらっしゃいますか。(○は1つ)

- 1 いる
- 2 いない(→問6へ進む)

(問5で、「1 いる」とお答えの方におたずねします。)

問5-1 お子さんの中で、最も日頃よく行き来しているお子さんの家は、どこにありますか。(通常、使っている交通手段での時間。○は1つ)

- 1 同居
- 2 となり(2世帯住宅を含む)
- 3 30分未満
- 4 30分～1時間未満
- 5 1時間以上

(すべての方におたずねします。)

問6 平日の昼間、ご自宅にあなた以外にどなたかいらっしゃいますか。(○は1つ)

- 1 いつも誰かがいる
- 2 誰かがいることが多い
- 3 自分一人のことが多い
- 4 いつも自分一人である

問7 地震などの災害時あるいは病気になる際の緊急連絡先はありますか。(○は1つ)

1 緊急連絡先を決めて、周囲に伝えている	2 緊急連絡先を決めているが、周囲には伝えていない
3 緊急連絡先は決めていない	4 緊急時に連絡できる家族・親族・友人はいない
5 わからない	

問8 あなたの年収(配偶者がいる場合はご夫婦を合わせた年収。年金を含む)はどのくらいですか。(○は1つ)

1 100万円未満	2 100～200万円未満	3 200～300万円未満
4 300～400万円未満	5 400～500万円未満	6 500～700万円未満
7 700～1,000万円未満	8 1,000万円以上	9 わからない

問9 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(○は1つ)

1 大変苦しい	2 やや苦しい	} (→3～5は 問10へ 進む)
3 ふつう	4 ややゆとりがある	

(問9で、1または2とお答えの方におたずねします。)

問9-1 経済的に暮らしが苦しい場合、何を節約されていますか。(あてはまるものすべてに○)

1 飲食費	2 光熱水費	3 服飾費(衣類、履物)
4 趣味の費用	5 保健医療費	6 交通費(車、電車等)
7 通信費(電話代等)	8 教養費	9 その他()

(すべての方におたずねします。)

問10 あなたは、成年後見制度を知っていますか。(○は1つ)

1 名称も内容も知っている	2 名称は聞いたことがある	3 初めて聞いた
---------------	---------------	----------

※成年後見制度：認知症や知的障害、精神障害などにより、判断能力が不十分な方々を法律面や生活面で保護・支援する制度で、高齢者に代わって契約を行ったり、財産管理などを

問11 あなたやあなたの家族が、判断能力が十分でなくなってきた場合、成年後見制度を利用したいと思いませんか。(○は1つ)

1 既に利用している	2 利用してみたい
3 制度の内容がよく理解できていないため、利用したくない	4 利用方法が分からないため、利用したくない
5 家族などが支援してくれるため、利用したくない	6 その他()
7 わからない	

◆からだを動かすことについて

問12 階段をすすりや壁をつたわずに昇っていますか。(○は1つ)

1 できるし、している	2 できるけどしていない	3 できない
-------------	--------------	--------

問13 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(○は1つ)

1 できるし、している	2 できるけどしていない	3 できない
-------------	--------------	--------

問14 15分位続けて歩いていますか。(○は1つ)

1 できるし、している	2 できるけどしていない	3 できない
-------------	--------------	--------

問15 過去1年間に転んだ経験がありますか。(○は1つ)

1 何度もある	2 1度ある	3 ない
---------	--------	------

問16 転倒に対する不安は大きいですか。(○は1つ)

1 とても不安である	2 やや不安である	3 あまり不安でない	4 不安でない
------------	-----------	------------	---------

問17 週に1回以上は外出していますか。(○は1つ)

1 ほとんど外出しない	2 週1回	3 週2～4回	4 週5回以上
-------------	-------	---------	---------

問18 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(○は1つ)

1 とても減っている	2 減っている	3 あまり減っていない	4 減っていない
------------	---------	-------------	----------

◆食べることにについて

問19 身長・体重(右詰めで記入)

身長	cm	体重	kg

問20 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(○は1つ)

1 はい	2 いいえ
------	-------

問21 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です。○は1つ)

1 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用	2 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし
3 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用	4 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし

問22 どなたかと食事をとにもする機会はありますか。(○は1つ)

1 毎日ある	2 週に何度かある	3 月に何度かある
4 年に何度かある	5 ほとんどない	

◆毎日の生活について

問23 物忘れが多いと感じますか。(○は1つ)

1 はい	2 いいえ
------	-------

問24 バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)。(○は1つ)

1 できるし、している	2 できるけどしていない	3 できない
-------------	--------------	--------

問 25 自分で食品・日用品の買い物をしていますか。(○は1つ)

1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない

問 26 自分で食事の用意をしていますか。(○は1つ)

1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない

問 27 自分で請求書の支払いをしていますか。(○は1つ)

1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない

問 28 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(○は1つ)

1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない

問 29 日常生活の中での困りごとはありませんか。(あてはまるものすべてに○)

1 食事の準備 2 掃除や洗濯
 3 ごみの分別やごみ出し 4 庭の掃除や手入れ
 5 買い物(荷物を持って帰ることも含む) 6 バスや電車、車を使っての外出
 7 通院や薬をとりに行くこと 8 銀行や郵便局での手続き
 9 区役所などでの手続き 10 生活に必要な情報を得ること
 11 隣近所との付き合い 12 話し相手がいないこと
 13 その他 () 14 特に困っていることはない

◆住まいについて

問 30 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(○は1つ)

1 一戸建て 2 集合住宅

問 31 お住まいは、つぎのどれにあたりませんか。(○は1つ)

1 自分または家族などの持家 2 民間賃貸住宅
 3 公的賃貸住宅 4 その他 ()
 (区・都営、UR都市機構、公社等)

問 32 今後、あなたのお住まいの中で、心身の状況に合わせ、自宅での生活を営みやすくする目的で改修をしたいところはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1 廊下・階段などに手すりをつけたい 2 玄関や室内の段差をなくしたい
 3 床などを滑りにくくしたい 4 引き戸など開けやすい扉にしたい
 5 寝室の近くにトイレを作りたい 6 脱衣場やトイレに暖房を入れたい
 7 台所・洗面所などを使いやすくしたい 8 家具転倒防止器具をつけたい
 9 浴室を使いやすくしたい 10 その他 ()
 11 特に改修したいところはない

問 33 介護が必要になった場合にどのような暮らし方を希望しますか。(○は1つ)

1 自宅で、介護保険のサービスを中心に利用したい
 2 自宅で、家族や親族などからの介護を中心に利用したい
 3 家族や親族などの家に住み替えて、介護保険のサービスを中心に利用したい
 4 家族や親族などの家に住み替えて、家族や親族などからの介護を中心に受けたい
 5 安否確認サービスのある住宅(シルバークリア)に住み替えて、介護保険のサービスを利用したい
 6 安否確認と食事や入浴のサービスのある住宅(サービス付き高齢者向け住宅、都市型軽費老人ホーム、住宅型有料老人ホーム)に住み替えて、介護保険のサービスを利用したい
 7 介護保険サービスのある施設・住宅(特別養護老人ホーム、介護付き有料老人ホーム、認知症対応型グループホーム)に入りたい
 8 その他 ()
 9 わからない

【高齢者向けの住宅・施設の用語説明一覧】

区分	施設などの名称	概要
住宅	①シルバークリア	バリアフリー化され、緊急通報システムなどが備わっている単身の高齢者または高齢者のみの世帯を対象とした賃貸住宅です。
施設	②サービス付き高齢者向け住宅	バリアフリー化され、安否確認サービス、緊急時対応サービス、生活相談サービスなどの付いた高齢者向けの賃貸住宅です。
	③都市型軽費老人ホーム	食事や安否確認のサービスが付いた、身体機能の低下などにより自立した生活に不安がある低所得の高齢者を対象とした施設です。
	④住宅型有料老人ホーム	食事などの日常生活上のサービスは付きませんが、介護保険サービスは別契約で外部の事業所を利用する有料老人ホームです。
	⑤介護付き有料老人ホーム	介護保険サービスなどが付いた有料老人ホームです。介護が必要になっても、そのホームが提供する介護保険サービスなどを利用することができます。
	⑥特別養護老人ホーム	常時介護が必要で家庭での生活が困難な人が、介護や身の回りの世話を受けながら生活する施設です。
	⑦認知症対応型グループホーム	認知症高齢者が少人数で、家庭的な雰囲気のもとで介護や身の回りの世話を受けながら共同生活を送る住まいです。

問 34 ケア付き住宅・施設(上の表の用語説明一覧の②～⑦)に入居する場合、家賃・食費・光熱水費・サービス提供などの費用負担の合計額はいくらまでだったらいですか。(○は1つ)

1 月10万円程度 2 月15万円程度 3 月20万円程度
 4 月25万円程度 5 その他 ()

問 35 高齢者の方々によるグループリビングという住まい方について、あなたのお考えは
いかがですか。(○は1つ)

- | | |
|-------------|---------------|
| 1 興味・関心がある | 2 少し興味・関心がある |
| 3 どちらともいえない | 4 あまり興味・関心はない |
| 5 興味・関心はない | |
- ※グループリビング：血縁関係のない比較的元気な高齢者が、自発的に高齢期の自立支援や生活支援などを目的として、一つの家で共同生活により助け合う住み方・暮らし方

問 36 国では、高齢者が地方に移り住み、多世代と交流しながら健康でアクティブな生活を送り、必要に応じて医療・介護を受けることができるような地域づくりを進めています。これについて、あなたのお考えはいかがですか。(○は1つ)

- | | |
|-------------|---------------|
| 1 興味・関心がある | 2 少し興味・関心がある |
| 3 どちらともいえない | 4 あまり興味・関心はない |
| 5 興味・関心はない | |

(問 31 で、「1 自分または家族などの持家」とお答えの方におたずねします。その他の方は、問 38 に進んでください。)

問 37 もしあなたが施設などに入所することになった場合、持家の自宅を貸し出すことにより、その家賃収入を施設入所にかかる費用に充てることについて、あなたのお考えはいかがですか。(○は1つ)

- | | |
|-------------|---------------|
| 1 興味・関心がある | 2 少し興味・関心がある |
| 3 どちらともいえない | 4 あまり興味・関心はない |
| 5 興味・関心はない | |

◆健康について

問 38 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○は1つ)

- | | | | |
|---------|--------|-----------|--------|
| 1 とてもよい | 2 まあよい | 3 あまりよくない | 4 よくない |
|---------|--------|-----------|--------|

問 39 あなたは、現在のどの程度幸せですか。

(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)

- | | |
|-------|-------|
| とても不幸 | とても幸せ |
| 0点 | 10点 |
| 1点 | 2点 |
| 2点 | 3点 |
| 3点 | 4点 |
| 4点 | 5点 |
| 5点 | 6点 |
| 6点 | 7点 |
| 7点 | 8点 |
| 8点 | 9点 |
| 9点 | 10点 |

問 40 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(○は1つ)

- | | |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|

問 41 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(○は1つ)

- | | |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|

問 42 タバコは吸っていますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1 ほぼ毎日吸っている | 2 時々吸っている |
| 3 吸っていたがやめた | 4 もともと吸っていない |

問 43 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| 1 ない | 2 高血圧 |
| 3 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等) | 4 心臓病 |
| 5 糖尿病 | 6 高脂血症 (脂質異常) |
| 7 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等) | 8 胃腸・肝臓・胆のうの病気 |
| 9 腎臓・前立腺の病気 | 10 筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等) |
| 11 外傷 (転倒・骨折等) | 12 がん (悪性新生物) |
| 13 血液・免疫の病気 | 14 うつ病 |
| 15 認知症 (アルツハイマー病等) | 16 パーキンソン病 |
| 17 目の病気 | 18 耳の病気 |
| 19 その他 () | |

◆医療について

問 44 あなたは、自身の体調や口腔ケア、服薬などについて相談できる「かかりつけ医」、「かかりつけ歯科医」、「かかりつけ薬局」を持っていますか。

(○はそれぞれの質問に1つ)

- | | | | |
|---------------|------|-------|---------|
| ① かかりつけ医・・・ | 1 いる | 2 いない | 3 わからない |
| ② かかりつけ歯科医・・・ | 1 いる | 2 いない | 3 わからない |
| ③ かかりつけ薬局・・・ | 1 ある | 2 ない | 3 わからない |

問 45 1日の食事の回数は何回ですか。(○は1つ)

- | | | |
|------------|----------|-----------|
| 1 朝・昼・晩の3食 | 2 朝・晩の2食 | 3 朝・昼の2食 |
| 4 昼・晩の2食 | 5 1食 | 6 その他 () |

問 46 現在、病院・医院 (診療所・クリニック) への受診はどのようにされていますか。(○は1つ)

- | | |
|------------------|----------------------|
| 1 通院している | 2 通院と往診の両方を利用している |
| 3 訪問診療・往診を利用している | 4 受診していない (→問 47へ進む) |

(問46で、1～3のいずれかにお答えの方におたずねします。)
 問46-1 どのくらいの頻度で、病院・医院（診療所・クリニック）を受診していますか。
 (○は1つ)

1 ほぼ毎日	2 週4～5日	3 週2～3日
4 週1日	5 月2～3回	6 月1回程度
7 2～3か月に1回程度	8 その他 ()	

(すべての方におたずねします。)

問47 あなたは、脳卒中の後遺症や末期がんなどで長期療養が必要になった場合、病院などへの入院・入所はしないで、自宅で生活したいと思いますか。(○は1つ)

1 そう思う	} (→問47-2へ進む)
2 そう思わない	
3 わからない	} (→問48へ進む)
4 その他 ()	

(問47で、「1 そう思う」とお答えの方におたずねします。)

問47-1 あなたは、在宅での療養は実現可能だと思いますか。(○は1つ)

1 難しいと思う	} (→問48へ進む)
2 可能だと思う	
3 わからない	
4 その他 ()	

(問47で、「2 そう思わない」、問47-1で「1 難しいと思う」とお答えの方におたずねします。)

問47-2 それはなぜですか。(○は3つまで)

1 介護してくれる家族がいらないから
2 介護してくれる家族などに負担をかけるから
3 急に病状が変わったときの対応が不安だから
4 在宅でどのような医療や介護を受けられるかわからないから
5 療養できる居住環境（部屋やトイレ等）が整っていないから
6 往診してくれる医師がいらないから
7 地域の訪問看護・介護体制が整っていないから
8 経済的な負担が大いから
9 特に理由はない
10 その他 ()

◆日常の活動の状況について

問48 あなたは、積極的に外出をされていますか。(○は1つ)

1 積極的に外出している	2 なるべく外出するようにしている
3 どちらともいえない	4 あまり外出しようとしていない
5 自宅に閉じこもりがちである	

問49 つぎの①～④で外出する頻度はどのくらいですか。

① 買い物 (○は1つ)

1 ほぼ毎日	2 週4～5日	3 週2～3日	4 週1日	5 週1日未満
--------	---------	---------	-------	---------

② 散歩 (○は1つ)

1 ほぼ毎日	2 週4～5日	3 週2～3日	4 週1日	5 週1日未満
--------	---------	---------	-------	---------

③ 家族・親せきや友人・知人の家 (○は1つ)

1 週3日以上	2 週1～2日	3 月1～2日	4 年数日	5 外出しない
---------	---------	---------	-------	---------

④ 図書館、体育館、プールなどの区立施設 (○は1つ)

1 週3日以上	2 週1～2日	3 月1～2日	4 年数日	5 外出しない
---------	---------	---------	-------	---------

問50 問49の①～④以外に、一週間に1回以上、外出する場所がありますか。
 (あてはまるものすべてに○)

1 区役所や高齢者相談センター (地域包括支援センター)	2 フィットネス、スポーツジム等
3 銀行、郵便局などの金融機関	4 公園、遊歩道等
5 飲食店	6 映画館、美術館、博物館等
7 銭湯、スパ等	8 パチンコ、競馬関係施設等
9 お墓参り	10 一週間に1回以上の外出場所はない
11 その他 ()	

問51 あなたは、高齢者センターや敬老館、地域集会所 (地区区民館・地域集会所) を利用していますか。(○は1つ)

1 利用している	2 名前は知っているが、利用したことはない
3 知らない	

問52 日中に、気軽に立ち寄り人と話をしたり、自由に過ごしたりできる場所がご自宅から徒歩15分圏内にありますか。(○は1つ)

1 徒歩15分圏内にある → (具体的に:)
2 徒歩15分圏外にならある → (具体的に:)
3 ない

問 53 食料品や日用品の買い物は、どこでされることが最も多いですか。(○は1つ)

- 1 近所の商店街
- 2 近所のスーパー
- 3 近所のコンビニエンスストア
- 4 自宅から離れたお店
- 5 宅配、通販 (ネットスーパー含む)
- 6 家族などが買い物をするためわざわざいかない)
- 7 その他 ()

問 54 外出をためらってしまふような問題点がありますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 自動車などの運転免許を持っていないこと
- 2 電車やバスに乗ることが難しくなってきたこと
- 3 以前よりも歩くことが難しくなってきたこと(青信号の間に横断歩道を渡りきれない等)
- 4 道路に階段や段差、傾斜があったり、歩道が狭いこと
- 5 ベンチや椅子など休める場所が少ないこと
- 6 トイレが少ないこと、使いにくいこと
- 7 けがや病気の心配
- 8 外出したい場所がないこと
- 9 外出する気力が起きないこと
- 10 人との関わりが面倒なこと
- 11 一緒に外出する人がいないこと
- 12 お金がないこと
- 13 その他 ()
- 14 特に問題点はない

問 55 あなたは、現在、収入のある仕事をしていますか。(○は1つ)

- 1 週5日以上、仕事をしている
- 2 週3～4日、仕事をしている
- 3 週1～2日、仕事をしている
- 4 1か月に1日程度、仕事をしている
- 5 不定期に仕事をしている
- 6 仕事はしていない (→問 55-3へ進む)

(問 55 で、1～5のいずれかにお答えの方におたずねします。)

問 55-1 何歳ぐらいまで働きたいですか。(1日2時間や週1～2日など、勤務時間が短いまたは勤務日数が少ない仕事を含みます。○は1つ)

- 1 65歳まで
- 2 66～70歳まで
- 3 71～75歳まで
- 4 76～80歳まで
- 5 ずっと働きたい
- 6 これ以上働きたくない

問 55-2 働きたいのは、どのような理由からですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 生活費を得るため
- 2 小遣いを得るため
- 3 将来への蓄え (預貯金) のため
- 4 生きがいを得るため
- 5 持っている技術や資格を活かすため
- 6 健康のため
- 7 何もしないでいると退屈するため
- 8 その他 ()

[問 56 へ進んでください]

(問 55 で、「6 仕事はしていない」とお答えの方におたずねします。)

問 55-3 週に何日程度であれば働きたいですか。(1日2時間や週1～2日など、勤務時間が短いまたは勤務日数が少ない仕事を含みます。○は1つ)

- 1 週5日以上
- 2 週3～4日
- 3 週1～2日
- 4 1か月に1日程度
- 5 不定期
- 6 働きたくない

(すべての方におたずねします。)

問 56 あなたは、体力や健康を維持するためにに行っている、運動やスポーツ (ルールに基づいて勝敗や記録を競うスポーツだけでなく、健康づくりのためのウォーキングや散歩、軽い体操、介護予防のためのトレーニングなど目的をもった身体活動のすべてをいいます) はありますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 体操 (太極拳・ヨガなど含む)
- 2 ウォーキングまたはジョギング
- 3 ダンス
- 4 水泳 (水中ウォーキング・水中エアロビクス含む)
- 5 球技 (ゴルフ・テニス・卓球・ゲートボール等)
- 6 機械や器具を使用した運動 (トレーニンング機器・ダンベル等)
- 7 その他 ()
- 8 運動・スポーツはしていない (→問 57へ進む)

(問 56 で、1～7とお答えの方におたずねします。)

問 56-1 どのくらいの頻度で運動やスポーツをしていますか。(○は1つ)

- 1 ほぼ毎日
- 2 週4～5日
- 3 週2～3日
- 4 週1日
- 5 週1日未満

◆地域での活動について

問 57 以下のような会・グループなどにどのくらいの頻度で参加していますか。

※① - ⑥それぞれに回答してください。(それぞれ○は1つ)

	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない
① ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
② スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6
③ 趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④ 学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤ 老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑥ 町内会・自治会	1	2	3	4	5	6

(問57で、1つでも「6 参加していない」とお答えの方におたずねします。その他の方は、問59に進んでください。)

問58 あなたは、どのようなきっかけがあれば、地域活動に取り組みたいと思いますか。すでに参加している活動がある方は、地域活動を増やすきっかけについてお答えください。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------------------|------------------------|
| 1 紹介があれば活動したい | 2 時間に余裕があれば活動したい |
| 3 知り合いがいれば活動したい | 4 関心・興味のあるテーマがあれば活動したい |
| 5 活動する拠点となるような施設が身近なところがあれば活動したい | 6 健康状態がよくなったら活動したい |
| 7 すでに参加している活動があり、現在の活動で満足している | 8 その他 () |
| 9 活動したくない・関心がない | (→問59へ進む) |

(問58で、1～8とお答えの方におたずねします。)

問58-1 あなたは、今後、どのような分野で活動してみたいですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------|-------------------------|
| 1 ボランティアのグループ | 2 NPO活動 |
| 3 スポーツ関係のグループやクラブ | 4 趣味関係のグループ |
| 5 学習・教養サークル | 6 老人クラブ |
| 7 町内会・自治会 | 8 その他 () |
| 9 特にない | [3～9とお答えの方は問59へ進んでください] |

(問58-1で、1または2とお答えの方におたずねします。)

問58-2 あなたは、どのくらいの頻度であればボランティアのグループ・NPO活動に参加したいですか。(○は1つ)

- | | | |
|---------|---------|-------|
| 1 週4回以上 | 2 週2～3回 | 3 週1回 |
| 4 月1～3回 | 5 年に数回 | |

(すべての方におたずねします。)

問59 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味などのグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(○は1つ)

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1 是非参加したい | 2 参加してもよい | 3 参加したくない |
|-----------|-----------|-----------|

問60 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味などのグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。(○は1つ)

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1 是非参加したい | 2 参加してもよい | 3 参加したくない |
|-----------|-----------|-----------|

問61 地域活動をすることで今後必要なものは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------------|-----------------------|
| 1 敬老館・高齢者センターなど活動する施設の充実 | 2 身近で気軽に集い、自主活動ができる場所 |
| 3 活動をすることで補助金の支給 | 4 リーダーやサポーターの養成 |
| 5 各種活動と参加者のマッチング | 6 先進事例や成功事例の発信 |
| 7 その他 () | 8 特にない |

◆介護予防について

問62 あなたは、就労、運動・スポーツや地域行事・趣味サークルなどへの積極的な参加、栄養・口腔衛生教室、認知症予防教室への参加、食事の工夫などの介護予防につながる活動に意識して取り組んでいますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------------------|-------------|
| 1 意識して取り組んでいる | } (→問63へ進む) |
| 2 体力が落ちてきたら取り組みたい | |
| 3 もう少し歳をとってから取り組みたい | |
| 4 きっかけがあれば取り組みたい | |
| 5 興味はあるが、具体的な取り組み方がわからない | |
| 6 その他 () | |
| 7 興味・関心は特にない | |

(問62で、「1 意識して取り組んでいる」とお答えの方におたずねします。)

問62-1 実際に取り組んでみて、効果があると感じていますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------|----------------|
| 1 効果を感じている | 2 少し効果を感じている |
| 3 どちらともいえない | 4 あまり効果を感じていない |
| 5 効果を感じていない | |

[問64へ進んでください]

(問62で、2～7のいずれかにお答えの方におたずねします。)

問63 介護予防につながる活動に取り組んでいない理由は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--------------------------|
| 1 元気に過ごせているから |
| 2 時間に余裕がないから |
| 3 時間帯が希望に合わないから |
| 4 開催場所が身近なところにはないから |
| 5 人との関わりが煩わしいから |
| 6 一緒に参加する仲間がないから |
| 7 内容に興味がないから |
| 8 参加しても効果がないと思うから |
| 9 費用がかかるから |
| 10 医療機関に通院していて取り組みが難しいから |
| 11 介護予防事業があることを知らないから |
| 12 日時・場所などが分からないから |
| 13 その他 () |

(すべての方におたずねします。)

問 64 介護予防の教室・講座などに参加する場合、教室・講座などの実施期間はどのくらいが望ましいですか。(○は1つ)

1 1週間	2 2～3週間	3 1か月程度
4 2か月程度	5 3か月程度	6 4～5か月程度
7 半年程度	8 半年以上	9 特に希望なし

問 65 介護予防に取り組むためには、どのような条件であれば取り組めると思われますか。(あてはまるものすべてに○)

1 男性または女性のみが参加する活動
2 自宅で取り組める活動
3 自宅から徒歩圏内のところで取り組める活動
4 一人で取り組める活動
5 友人・知人と一緒に取り組める活動
6 友人・知人ではない人と一緒に取り組める活動
7 知り合いのいないところで取り組める活動
8 特定の教養・娯楽に特化した活動
9 自分と同じような年齢の人が参加する活動
10 自分と同じような職業経験を持つ人が参加する活動
11 時間や曜日に関係なく、自分の好きなきときに自由に取り組める活動
12 費用をかけずに取り組める活動
13 講師の指導のもと取り組める活動
14 その他 ()
15 特にない

問 66 あなたが参加したいと思う活動はどれですか。(あてはまるものすべてに○)

1 体操 (太極拳・ヨガなど含む)
2 ウォーキングまたはジョギング
3 ダンス
4 水泳 (水中ウォーキング・水中エアロビクス含む)
5 球技 (ゴルフ・テニス・卓球・ゲートボール等)
6 機械や器具を使用した運動 (トレニング機器・ダンベル等)
7 ちよとした収入を得ることができる就労活動
8 高齢者施設などでの掃除、洗濯などの補助的な作業の就労活動
9 仲間と話をしたり趣味の活動を行うサロンなどの場
10 子育て中の親と交流を持ち、子育てをサポートするサロンなどの場
11 文化 (書道、俳句等) 芸術 (絵画、美術鑑賞等) を中心とした仲間と集まる場
12 囲碁、将棋、健康麻雀などを行うゲームの場
13 パソコンやインターネットなどの学習ができる場
14 教養講座の受講などの学習活動
15 区民農園・市民農園などでの農業を通じた活動
16 見守りが必要な高齢者を訪問支援するボランティア活動
17 高齢者施設などでの楽器演奏、演劇、話し相手などのボランティア活動
18 高齢者の買い物支援や、庭木の手入れなどのちよとしたボランティア活動
19 学校で子ども達の活動を支援するボランティア活動
20 学校以外で子ども達に勉強や自分の趣味・特技を教えるボランティア活動
21 子育て中の親を支援するボランティア活動
22 地域に住んでいる外国人の方を支援するボランティア活動
23 地域の生活環境の改善 (美化) を行うボランティア活動
24 災害に備えて防災会や避難拠点の運営などを支援するボランティア活動
25 その他 ()
26 特にない

問 67 どの時間帯であれば活動に参加しやすいですか。(あてはまるものすべてに○)

1 平日午前	2 平日午後	3 平日夜間
4 土曜日午前	5 土曜日午後	6 土曜日夜間
7 日曜日午前	8 日曜日午後	9 日曜日夜間

問68 介護予防に取り組むために、どのような支援が必要ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 効果のある介護予防の取組の紹介
- 2 介護予防の取組を行うための場所の確保
- 3 介護予防の取組を教えてくれる講師の派遣
- 4 介護予防の取組に関する教材（DVD等）の貸出し
- 5 地域の運動サークルなどの紹介
- 6 自分の健康や介護予防の取組状況を管理できるツール（手帳等）の提供
- 7 歩いて通える範囲で参加できる介護予防の実施
- 8 介護予防に取り組み仲間づくりを目的とした講習会の実施
- 9 気軽に誰でも取り組める介護予防について専門職が行うアドバイス
- 10 高齢者センター、敬老館、地域集会施設などの公共施設の活用支援
- 11 シルバー人材センターなどを活用した就労支援
- 12 老人クラブや高齢者サークルなどの高齢者による団体への活動支援
- 13 高齢者によるボランティア活動を推進するための支援
- 14 定年退職者を対象とした地域活動を始めるための講習会の実施
- 15 その他（ ）
- 16 特にない

問69 あなたは、今後介護を必要とする状態にならないようにするため(または状態が悪くならないようにするため)、つぎのようなサービスを利用したいと思いませんか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 保健師やリハビリ専門職などの専門職による個別のアドバイスの教室
- 2 足腰の衰えを防ぐためのストレッチ、筋力向上トレーニング、バランス運動を行う教室
- 3 口腔衛生や口の体操など、肺炎などを予防するための教室
- 4 効率的な栄養摂取や体力の改善をするための教室
- 5 認知症を予防するための教室
- 6 気の合った人たちと仲間づくりをするための場
- 7 上記（1～6）で利用してみたいものはない

◆介護保険について

問70 介護保険は、介護が必要になった方も、尊厳を保持し、その方の有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるよう、社会みんなで支える制度です。その保険料は、区全体の介護保険サービスの利用状況や過去の実績などから、3年ごとに決まります。介護保険のサービスと保険料の関係について、あなたのお考えに最も近いものはどれですか。(○は1つ)

- 1 保険料が今より高くなっても、施設や在宅サービスの水準を上げる方がよい
- 2 施設や在宅サービスの水準は現状程度とし、保険料の上昇は高齢者人口の伸びなどによる影響の範囲に抑える方がよい
- 3 サービスの水準が低下しても、保険料は安い方がよい
- 4 わからない

問71 あなたは、介護保険料についてどのように感じていますか。(○は1つ)

- 1 負担と感じる
- 2 多少負担と感じる
- 3 どちらともいえない
- 4 それほど負担とは感じない
- 5 負担とは感じない
- 6 わからない

◆たすけあいについて

あなたとまわりの人の「たすけあい」についてお考えをお願いします

問72 あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人。(あてはまるものすべてに○)

- 1 配偶者
- 2 同居の子ども
- 3 別居の子ども
- 4 兄弟姉妹・親戚・親・孫
- 5 近隣
- 6 友人
- 7 その他（ ）
- 8 そのような人はいない

問73 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人。(あてはまるものすべてに○)

- 1 配偶者
- 2 同居の子ども
- 3 別居の子ども
- 4 兄弟姉妹・親戚・親・孫
- 5 近隣
- 6 友人
- 7 その他（ ）
- 8 そのような人はいない

問74 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人。(あてはまるものすべてに○)

- 1 配偶者
- 2 同居の子ども
- 3 別居の子ども
- 4 兄弟姉妹・親戚・親・孫
- 5 近隣
- 6 友人
- 7 その他（ ）
- 8 そのような人はいない

問75 反対に、看病や世話をしてあげる人。(あてはまるものすべてに○)

- 1 配偶者
- 2 同居の子ども
- 3 別居の子ども
- 4 兄弟姉妹・親戚・親・孫
- 5 近隣
- 6 友人
- 7 その他（ ）
- 8 そのような人はいない

問76 日頃、隣近所の人と、どの程度お付き合いをしていますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1 何かあったときに助け合える関係 | 2 互いに訪問し合う関係 |
| 3 立ち話をする程度 | 4 あいさつをする程度 |
| 5 ほとんど付き合いはない | 6 どんな人が住んでいるのか知らない |

問77 近所付き合いや地域住民の交流について、どの程度必要だとお考えですか。

- (○は1つ)
- | | |
|--------------------------------|--|
| 1 ふだんからの交流は必要だ | |
| 2 多少面倒でもふだんから交流しておいた方がよい | |
| 3 日頃の交流は面倒なのであまりしたくない | |
| 4 助け合いは必要だと思わないが、地域で交流することは大切だ | |
| 5 気の合った仲間やグループで交流し、その中で助け合えばよい | |
| 6 地域での助け合いや日頃の交流は必要ない | |
| 7 その他 () | |

問78 あなたが、もし高齢や病気、事故などで日常生活が不自由になったとき、地域の皆さんにどんな手助けをしてほしいですか。(○は3つまで)

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1 安否確認等 | 2 趣味など世間話の相手 |
| 3 介護などの相談相手 | 4 炊事・洗濯・掃除などの家事 |
| 5 ちよっとした買い物 | 6 子どもの預かり |
| 7 外出の付添い | 8 災害時の手助け |
| 9 ごみ出し・雨戸の開け閉め | 10 電球交換や簡単な大工仕事 |
| 11 その他 () | 12 特にない |

問79 (高齢者のみならず) 地域住民が安心して暮らすことができよう、地域の支え合いとして、あなたご自身ができることは何ですか。(○は3つまで)

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 1 安否確認等 | 2 趣味など世間話の相手 |
| 3 介護などの相談相手 | 4 炊事・洗濯・掃除などの家事 |
| 5 ちよっとした買い物 | 6 子どもの預かり |
| 7 外出の付添い | 8 災害時の手助け |
| 9 ごみ出し・雨戸の開け閉め | 10 電球交換や簡単な大工仕事 |
| 11 認知症の方を見かけたときの声かけ | 12 その他 () |
| 13 特にない | |

問80 今年(平成28年)のお正月は、誰と過ごしましたか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|-----------|-----------|--------|
| 1 家族・親族 | 2 友人・知人 | 3 近所の人 |
| 4 その他 () | 5 一人で過ごした | |

問81 1か月に1回以上、会う友人は何人いますか。(○は1つ)

- | | | |
|--------|---------|--------|
| 1 いない | 2 1~2人 | 3 3~5人 |
| 4 6~9人 | 5 10人以上 | |

◆認知症と高齢者の虐待への対応について

問82 もし、あなたの周囲で高齢者の虐待がわかったら、どこに相談しますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------|----------------|
| 1 家族・親族 | 2 知人・友人 |
| 3 警察 | 4 医療機関 |
| 5 高齢者相談センター(地域包括支援センター) | 6 総合福祉事務所(区役所) |
| 7 その他 () | 8 わからない |

問83 あなたは、高齢者の虐待を防止するために、どのようなことが必要だと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | |
|------------------------|
| 1 介護される側と介護する側の相互理解の促進 |
| 2 地域における見守りやふだんからの声かけ |
| 3 気軽に相談できる窓口の充実 |
| 4 介護に関する情報提供の充実 |
| 5 認知症に関する理解の促進 |
| 6 介護保険サービスの充実 |
| 7 介護する家族同士の集い |
| 8 介護者がリフレッシュできる機会の充実 |
| 9 経済的な支援 |
| 10 その他 () |

問84 あなたやご家族が認知症ではないかと感じたとき、どこに相談しますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------|-------------------------|
| 1 家族・親族 | 2 知人・友人 |
| 3 かかりつけ医 | 4 精神科などの専門医 |
| 5 ケアマネジャー | 6 介護家族の会などの集まり |
| 7 民生・児童委員 | 8 高齢者相談センター(地域包括支援センター) |
| 9 保健相談所 | 10 社会福祉協議会 |
| 11 その他 () | 12 相談しない |

問 85 あなたは、認知症に関わる施策として、どのようなことが必要だと思いますか。
(○は3つまで)

- 1 認知症の兆候を早期に見てできる仕組みづくり
- 2 医療と介護保険サービスの連携による認知症の人を支える仕組みづくり
- 3 認知症について正しい知識を得るための講習会や情報提供
- 4 地域での見守りなど、日常的な支え合い
- 5 本人や介護している家族が安心できる相談先や居場所の整備
- 6 認知症高齢者グループホームの整備など、介護保険サービスの充実
- 7 介護している家族の負担の軽減
- 8 認知症予防についての講習会や情報提供
- 9 介護保険制度や成年後見制度、その他の利用できるサービスに関する情報提供
- 10 権利擁護センター「ほっとサポートねりま」からの支援
- 11 その他 ()
- 12 特にない

◆区の保健福祉施策について

問 86 あなたが日常生活で何か困ったことがあった時の相談先はどこですか。
(あてはまるものすべてに○)

- 1 家族・親族
- 2 知人・友人
- 3 かかりつけ医
- 4 かかりつけ医以外の医療機関 (薬局等)
- 5 ケアマネジャー
- 6 介護家族の会などの集まり
- 7 民生・児童委員
- 8 高齢者相談センター (地域包括支援センター)
- 9 保健相談所
- 10 社会福祉協議会
- 11 その他 ()
- 12 そのような相談先はない

問 87 あなたは老後を楽しく生きていくために必要なものはどのようなことだと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

- 1 仕事や家庭内での役割
- 2 家族の愛情
- 3 豊かな生活のためのお金
- 4 何でも相談できる友人・知人
- 5 打ち込むことのできる趣味や生きがい
- 6 自分や家族の健康
- 7 保健福祉などの社会的援助
- 8 隣近所の助け合い
- 9 奉仕活動などを通して得られる社会的満足感
- 10 その他 ()
- 11 特にない

問 88 あなたは、何歳以上が高齢者だと思いますか。(○は1つ)

- 1 60 歳以上
- 2 65 歳以上
- 3 70 歳以上
- 4 75 歳以上
- 5 80 歳以上
- 6 その他 ()

問 89 あなたは、将来に対してどのようなことに不安がありますか。
(あてはまるものすべてに○)

- 1 健康 (自分や家族が介護を必要とする状態になること等)
- 2 生計 (経済的に苦しくなること等)
- 3 防犯・防災 (災害時の避難場所がわからない等)
- 4 住居 (老朽化、バリアフリーでない等)
- 5 家族・親族との関係 (連絡を取り合っていない等)
- 6 隣近所との関係 (困ったときに助け合える間柄でない等)
- 7 預貯金などの管理
- 8 1 人暮らしになること
- 9 老後への漠然とした不安
- 10 その他 ()
- 11 不安なことはない

問 90 あなたは、高齢者相談センター (地域包括支援センター) をご存知ですか。(○は1つ)

- 1 現在利用している
- 2 利用したことがある
- 3 名前は知っているが、利用したことはない
- 4 知らない

問 91 あなたは、高齢者相談センター (地域包括支援センター) にどのような役割を期待しますか。(○は3つまで)

- 1 要支援者などを対象に、適切な介護予防サービスの利用を促進する
- 2 個々の高齢者に必要な支援内容を把握し、適切なサービスなどの利用につなげる
- 3 高齢者の虐待防止・早期対応や権利擁護を図る
- 4 ケアマネジャーへの日常的個別指導・相談
- 5 地域の関係者が高齢者に関する地域課題などを検討するための地域ケア会議の充実
- 6 在宅医療・介護連携の推進
- 7 認知症の早期発見・早期対応などの認知症施策の推進
- 8 地域の社会資源の把握・開発および社会資源と人的資源のマッチング体制の整備
- 9 その他 ()
- 10 わからない
- 11 特にない

練馬区高齢者基礎調査

◆ 調査へのご協力をお願い ◆

日頃から、練馬区政にご理解とご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。区では、新たな「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の策定に着手しています。この調査は、効果的な介護予防政策の立案と効果評価および高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画がより実りある計画となるよう、高齢者の方々から、日頃の生活状況や区の高齢者施策に対するご意見・ご希望などをお聞きするための実施するものです。

調査の対象者として、区内にお住まいの要介護認定を受けているあるいは総合事業の対象となっている65歳以上の方々から5,000人を無作為で選び、調査票を送付させていただきました。

本調査で得られた情報につきましては、計画策定と効果評価の目的以外には利用いたしません。当該情報については、区で適切に管理し、個人が特定される形での公表や、他の目的での使用はいたしません。ただし、介護保険事業計画策定時および効果評価時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理するデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析することがあります。ご協力いただきますようお願いいたします。

平成28年12月 練馬区

◆ 調査票のご記入にあたって ◆

- 調査票上の「あなた」とは、封筒に印刷されたあて名ご本人を指します。
- 回答は、あてはまる番号に○をつけてください。質問文にある「○は1つ」「あてはまるものすべてに○」などの指示にしたがってご回答ください。また、ご意見や数字などを直接ご記入いただく質問もあります。
- 質問の回答が、「その他」にあてはまる場合は、() 内になるべく具体的にその内容をご記入ください。
- 回答はできる限り、対象者ご本人がご記入ください。なお、対象者ご本人一人での回答がむずかしい場合は、ご家族の方などにお手伝いいただき、対象者ご本人の意見を聞いた上で代わりにご記入ください。
- ご記入いただいた調査票は、**12月26日(月)まで**に、同封の返信用封筒にてご返送ください。切手は不要ですので、そのままご投函ください。
- この調査票および返信用封筒へのお名前のご記入は不要です。

この調査は、練日本能率協会総合研究所に委託して実施しています。

調査についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

【調査委託元】

練馬区 高齢施策担当部 高齢社会対策課 計画係

【調査実施・お問い合わせ先】 練日本能率協会総合研究所 担当：田中、政岡

電話：0120-876-300 (フリーダイヤル)

受付時間：月曜日～金曜日 (平日) 10:00～17:00

記入日 平成 年 月 日

調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。

- 1 あて名のご本人が記入
- 2 ご家族が記入 (あて名のご本人からみられた続柄)
- 3 その他

◆あなたのご家族や生活状況について

問1 あなたの性別と、平成28年12月1日現在の満年齢を教えてください。

① 性別 (○は1つ) ② 年齢 (右詰めで記入)

- 1 男性
- 2 女性

問2 あなたのお住まいはどちらですか。記入例のように、町名と丁目をご記入ください。

町名 丁目
 (記入例) 町名 光が丘 3 丁目

問3 家族構成をお教えてください。(○は1つ)

- 1 1人暮らし
- 2 夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)
- 3 夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)
- 4 息子・娘との2世帯
- 5 その他

【2～5とお答えの方は、問4へ進んでください】

(問3で、「1 1人暮らし」とお答えの方におたずねします。)

問3-1 高齢者の方々によるグループリビングという住まい方について、あなたはどうか思われますか。(○は1つ)

- 1 興味・関心がある
- 2 少し興味・関心がある
- 3 あまり興味・関心はない
- 4 全く興味・関心はない
- 5 わからない
- 6 その他 ()

※グループリビング：血縁関係のない比較的元気が高齢者が、自発的に高齢期の自立支援や生活支援などを目的として、一つの家屋で共同生活により助け合う住み方・暮らし方

(すべての方におたずねします。)

問4 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(○は1つ)

- 1 介護・介助は必要ない
- 2 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
- 3 現在、何らかの介護を受けている
(介護認定を受けていない家族などの介護を受けている場合も含む)

問5 現在、あなたにはお子さんがいらっしゃいますか。(○は1つ)

- 1 いる
- 2 いない (→問6へ進む)

(問5で、「1 いる」とお答えの方におたずねします。)

問5-1 お子さんの中で、最も日頃よく行き来しているお子さんの家は、どこにありますか。
(通常、使っている交通手段での時間。○は1つ)

- | | |
|---------|------------------|
| 1 同居 | 2 となり (2世帯住宅を含む) |
| 3 30分未満 | 4 30分～1時間未満 |
| 5 1時間以上 | |

(すべての方におたずねします。)

問6 平日の昼間、ご自宅にあなた以外にどなたかいらっしゃいますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1 いつも誰かがいる | 2 誰かがいることが多い |
| 3 自分一人のことが多い | 4 いつも自分一人である |

問7 あなたの年収 (配偶者がいる場合はご夫婦を合わせた年収。年金を含む) はどのくらいですか。(○は1つ)

- | | | |
|-----------------|---------------|---------------|
| 1 100万円未満 | 2 100～200万円未満 | 3 200～300万円未満 |
| 4 300～400万円未満 | 5 400～500万円未満 | 6 500～700万円未満 |
| 7 700～1,000万円未満 | 8 1,000万円以上 | 9 わからない |

問8 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(○は1つ)

- | | | |
|---------|------------|------------------------|
| 1 大変苦しい | 2 やや苦しい | } (-3～5は
問9へ
進む) |
| 3 ふつう | 4 ややゆとりがある | |

(問8で、1または2とお答えの方におたずねします。)

問8-1 経済的に暮らしが苦しい場合、何を節約されていますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|--------------|---------|---------------|
| 1 飲食費 | 2 光熱水費 | 3 服飾費 (衣類、履物) |
| 4 趣味の費用 | 5 保健医療費 | 6 交通費 (車、電車等) |
| 7 通信費 (電話代等) | 8 教養費 | 9 介護保険サービスの利用 |
| 10 その他 () | | |

(すべての方におたずねします。)

問9 あなたは、成年後見制度を知っていますか。(○は1つ)

- | | | |
|---------------|---------------|----------|
| 1 名称も内容も知っている | 2 名称は聞いたことがある | 3 初めて聞いた |
|---------------|---------------|----------|
- ※成年後見制度：認知症や知的障害、精神障害などにより、判断能力が不十分な方々を法律面や生活面で保護・支援する制度で、高齢者に代わって契約を行ったり、財産管理などをする

問10 あなたやあなたの家族が、判断能力が十分でなくなってきた場合、成年後見制度を利用したいと思えますか。(○は1つ)

- | |
|------------------------------|
| 1 既に利用している |
| 2 利用してみたい |
| 3 制度の内容がよく理解できていないため、利用したくない |
| 4 利用方法が分からないため、利用したくない |
| 5 家族などが支援してくれるため、利用したくない |
| 6 その他 () |
| 7 わからない |

◆からだを動かすことについて

問11 階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか。(○は1つ)

- | | | |
|-------------|--------------|--------|
| 1 できるし、している | 2 できるけどしていない | 3 できない |
|-------------|--------------|--------|

問12 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(○は1つ)

- | | | |
|-------------|--------------|--------|
| 1 できるし、している | 2 できるけどしていない | 3 できない |
|-------------|--------------|--------|

問13 15分位続けて歩いていますか。(○は1つ)

- | | | |
|-------------|--------------|--------|
| 1 できるし、している | 2 できるけどしていない | 3 できない |
|-------------|--------------|--------|

問14 過去1年間に転んだ経験がありますか。(○は1つ)

- | | | |
|---------|--------|------|
| 1 何度もある | 2 1度ある | 3 ない |
|---------|--------|------|

問15 転倒に対する不安は大きいですか。(○は1つ)

- | | | | |
|------------|-----------|------------|---------|
| 1 とても不安である | 2 やや不安である | 3 あまり不安でない | 4 不安でない |
|------------|-----------|------------|---------|

問16 週に1回以上は外出していますか。(○は1つ)

- | | | | |
|-------------|-------|---------|---------|
| 1 ほとんど外出しない | 2 週1回 | 3 週2～4回 | 4 週5回以上 |
|-------------|-------|---------|---------|

問17 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(○は1つ)

- | | | | |
|------------|---------|-------------|----------|
| 1 とても減っている | 2 減っている | 3 あまり減っていない | 4 減っていない |
|------------|---------|-------------|----------|

◆食べることについて

問18 身長・体重 (右詰めで記入)

- | | | | | | |
|----|--|----|----|--|----|
| 身長 | | cm | 体重 | | kg |
|----|--|----|----|--|----|

問19 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(○は1つ)

- | | |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|

問20 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えください。(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です。○は1つ)

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用 | 2 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし |
| 3 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用 | 4 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし |

問21 どなたかと食事をもつ機会がありますか。(○は1つ)

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1 毎日ある | 2 週に何度かある | 3 月に何度かある |
| 4 年に何度かある | 5 ほとんどない | |

◆毎日の生活について

- 問22 物忘れが多いと感じますか。(○は1つ)
- 1 はい 2 いいえ
- 問23 バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)。(○は1つ)
- 1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない
- 問24 自分で食品・日用品の買い物をしていますか。(○は1つ)
- 1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない
- 問25 自分で食事の用意をしていますか。(○は1つ)
- 1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない
- 問26 自分で請求書の支払いをしていますか。(○は1つ)
- 1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない
- 問27 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(○は1つ)
- 1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない

- 問28 日常生活の中での困りごとはありませんか。(あてはまるものすべてに○)
- 1 食事の準備 2 掃除や洗濯
 3 ごみの分別やごみ出し 4 庭の掃除や手入れ
 5 買い物(荷物を持って帰ることも含む) 6 バスや電車、車を使っての外出
 7 通院や薬をとりに行くこと 8 銀行や郵便局での手続き
 9 区役所などでの手続き 10 生活に必要な情報を得ること
 11 隣近所との付き合い 12 話し相手がいらないこと
 13 その他() 14 特に困っていることはない

◆住まいについて

- 問29 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(○は1つ)
- 1 一戸建て 2 集合住宅
- 問30 お住まいは、つぎのどれにあたりますか。(○は1つ)
- 1 自分または家族などの持家 2 民間賃貸住宅
 3 公的賃貸住宅 4 その他()
 (区・都営、UR都市機構、公社等)
- 問31 今後、あなたのお住まいの中で、心身の状況に合わせ、自宅での生活を営みやすくする目的で改修をしたいところはありますか。(あてはまるものすべてに○)
- 1 廊下・階段などに手すりを付けたい 2 玄関や室内の段差をなくしたい
 3 床などを滑りにくくしたい 4 引き戸など開けやすい扉にしたい
 5 寝室の近くにトイレを作りたい 6 脱衣場やトイレに暖房を入れたい
 7 台所・洗面所などを使いやすくしたい 8 家具転倒防止器具をつけたい
 9 浴室を使いやすくしたい 10 その他()
 11 特に改修したいところはない

- 問32 下記の高齢者向け住宅・施設で知っているものはありませんか。
 (あてはまるものすべてに○)
- 1 有料老人ホーム 2 サービス付き高齢者向け住宅
 3 都市型軽費老人ホーム 4 特別養護老人ホーム
 5 介護老人保健施設 6 認知症対応型グループホーム
 7 上記(1～6)で知っているものはない

- 問33 介護が必要になった場合(介護がすでに必要な方についてはこれから)どのような暮らし方を希望しますか。(○は1つ)
- 1 自宅で、介護保険のサービスを中心に利用したい
 2 自宅で、家族や親族などからの介護を中心に受けたい
 3 家族や親族などの家に住み替えて、介護保険のサービスを中心に利用したい
 4 家族や親族などの家に住み替えて、家族や親族などからの介護を中心に受けたい
 5 安否確認サービスのある住宅(シルバークリア)に住み替えて、介護保険のサービスを利用したい
 6 安否確認と食事や入浴のサービスのある住宅(サービス付き高齢者向け住宅、都市型軽費老人ホーム、住宅型有料老人ホーム)に住み替えて、介護保険のサービスを利用したい
 7 介護保険サービスのある施設・住宅(特別養護老人ホーム、介護付き有料老人ホーム、認知症対応型グループホーム)に入りたい
 8 その他()
 9 わからない

※各住宅・施設の用語説明は、次頁をご覧ください。

【高齢者向けの住宅・施設の用語説明一覧】

区分	施設などの名称	概要
住宅	①シルバークリア	バリアフリー化され、緊急通報システムなどが備わっている単身の高齢者または高齢者のみの世帯を対象とした賃貸住宅です。
	②サービス付き高齢者向け住宅	バリアフリー化され、安否確認サービス、緊急時対応サービス、生活相談サービスなどの付いた高齢者向けの賃貸住宅です。
施設	③都市型軽費老人ホーム	食事や安否確認のサービスが付いた、身体機能の低下などにより自立した生活に不安がある低所得の高齢者を対象とした施設です。
	④住宅型有料老人ホーム	食事などの日常生活上のサービスは付きますが、介護保険サービスは別契約で外部の事業所を利用する有料老人ホームです。
	⑤特別付き有料老人ホーム	介護保険サービスなどが付いた有料老人ホームです。介護が必要になっても、そのホームが提供する介護保険サービスなどを利用することができます。
	⑥特別養護老人ホーム	常時介護が必要で家庭での生活が困難な人が、介護や身の回りの世話を受けながら生活する施設です。
	⑦認知症対応型グループホーム	認知症高齢者が少人数で、家庭的な雰囲気のもとで介護や身の回りの世話を受けながら共同生活を送る住まいです。

問 34 ケア付き住宅・施設（上の表の用語説明一覧の②～⑦）に入居する場合、家賃・食費・光熱水費・サービス提供などの費用負担の合計額はいくらまで良かったら良いですか。（○は1つ）

1 月 10 万円程度	2 月 15 万円程度	3 月 20 万円程度
4 月 25 万円程度	5 その他（	）

（問 30 で、「1 自分または家族などの持家」とお答えの方におたずねします。その他の方は、問 36 に進んでください。）

問 35 もしあなたが施設などに入居することになった場合、持家の自宅を貸し出すことにより、その家賃収入を施設入所にかかる費用に充てることについて、あなたのお考えはいかがですか。（○は1つ）

1 興味・関心がある	2 少し興味・関心がある
3 どちらともいえない	4 あまり興味・関心はない
5 興味・関心はない	

◆健康について

問 36 現在のあなたの健康状態はいかがですか。（○は1つ）

1 とてもよい	2 まあよい	3 あまりよくない	4 よくない
---------	--------	-----------	--------

問 37 あなたは、現在のどの程度幸せですか。

（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください）

とても不幸	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	とても幸せ
-------	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-------

問 38 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありますか。（○は1つ）

1 はい	2 いいえ
------	-------

問 39 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。（○は1つ）

1 はい	2 いいえ
------	-------

問 40 タバコは吸っていますか。（○は1つ）

1 ほぼ毎日吸っている	2 時々吸っている
3 吸っていたがやめた	4 もともと吸っていない

問 41 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。（あてはまるものすべてに○）

1 ない	2 高血圧
3 脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	4 心臓病
5 糖尿病	6 高脂血症（脂質異常）
7 呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）	8 胃腸・肝臓・胆のうの病気
9 腎臓・前立腺の病気	10 筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）
11 外傷（転倒・骨折等）	12 がん（悪性新生物）
13 血液・免疫の病気	14 うつ病
15 認知症（アルツハイマー病等）	16 パーキンソン病
17 目の病気	18 耳の病気
19 その他（	）

◆医療について

問 42 あなたは、自身の体調や口腔ケア、服薬などについて相談できる「かかりつけ医」、
「かかりつけ歯科医」、「かかりつけ薬局」を持っていますか。

(○はそれぞれの質問に1つ)

- | | | | | |
|---|----------|------|-------|---------|
| ① | かかりつけ医 | 1 いる | 2 いない | 3 わからない |
| ② | かかりつけ歯科医 | 1 いる | 2 いない | 3 わからない |
| ③ | かかりつけ薬局 | 1 ある | 2 ない | 3 わからない |

問 43 1日の食事の回数は何回ですか。(○は1つ)

- | | | | |
|---|----------|----------|-----------|
| 1 | 朝・昼・晩の3食 | 2 朝・晩の2食 | 3 朝・昼の2食 |
| 4 | 昼・晩の2食 | 5 1食 | 6 その他 () |

問 44 現在、病院・医院（診療所・クリニック）への受診はどのようにされていますか。
(○は1つ)

- | | | | |
|---|----------------|---|---------------------|
| 1 | 通院している | 2 | 通院と往診の両方を利用している |
| 3 | 訪問診療・往診を利用している | 4 | 受診していない (→問 45 へ進む) |

(問 44 で、1～3のいずれかにお答えの方におたずねします。)

問 44-1 どのくらいの頻度で、病院・医院（診療所・クリニック）を受診していますか。
(○は1つ)

- | | | | | | |
|---|------------|---|---------|---|-------|
| 1 | ほぼ毎日 | 2 | 週4～5日 | 3 | 週2～3日 |
| 4 | 週1日 | 5 | 月2～3回 | 6 | 月1回程度 |
| 7 | 2～3か月に1回程度 | 8 | その他 () | | |

(すべての方におたずねします。)

問 45 あなたは、要介護度が高くなったり、脳卒中の後遺症や末期がんなどで長期療養が
必要になったりした場合でも、病院などへの入院・入所はしないで、自宅で生活
したいと思いますか。(○は1つ)

- | | | | |
|---|---------|---|---------------|
| 1 | そう思う | } | (→問 45-3 へ進む) |
| 2 | そう思わない | | |
| 3 | わからない | } | (→問 46 へ進む) |
| 4 | その他 () | | |

(問 45 で、「1 そう思う」とお答えの方におたずねします。)

問 45-1 どのようなサービスや条件を整えば、介護が必要になっても今の家での生活を
続けられると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----|---|
| 1 | 24時間365日必要に応じて、定期的かつ随時に、自宅でヘルパーや看護師に食事・入浴などの介助や緊急時に対応してもらえる |
| 2 | 24時間365日必要に応じて、計画的あるいは随時に、自宅で医師に診療してもらえらる |
| 3 | 施設へ通うことを中心に、自宅へ訪問してもらったり、施設へ泊まったりするなど、柔軟に対応してもらえる |
| 4 | 認知症に配慮した介護保険サービスが整っている |
| 5 | 在宅生活ができるよう、専門家にリハビリをしてもらえる |
| 6 | デイサービスやショートステイを利用したいときに利用できる |
| 7 | 段差の解消や手すりなど、住まいの構造や設備がバリアフリーになっている |
| 8 | 配食や買い物、ごみ出しなどの生活面を支援してもらえる |
| 9 | 困ったときいつでも身近に相談できる体制が整っている |
| 10 | 声かけや見守りをしてくれるなど地域の理解や支えがある |
| 11 | 家族が理解・協力してくれる |
| 12 | その他 () |
| 13 | 特にない |

問 45-2 あなたは、在宅での療養は実現可能だと思いますか。(○は1つ)

- | | | | |
|---|---------|---|-------------|
| 1 | 難しいと思う | } | (→問 46 へ進む) |
| 2 | 可能だと思う | | |
| 3 | わからない | | |
| 4 | その他 () | | |

(問 45 で、「2 そう思わない」、問 45-2 で「1 難しいと思う」とお答えの方におたずねします。)

問 45-3 それはなぜですか。(○は3つまで)

- | | |
|----|-----------------------------|
| 1 | 介護してくれる家族がいないから |
| 2 | 介護してくれる家族などに負担をかけるから |
| 3 | 急に病状が変わったときの対応が不安だから |
| 4 | 在宅でのような医療や介護を受けられるかわからないから |
| 5 | 療養できる居住環境（部屋やトイレ等）が整っていないから |
| 6 | 往診してくれる医師がいないから |
| 7 | 地域の訪問看護・介護体制が整っていないから |
| 8 | 経済的な負担が大きいから |
| 9 | 特に理由はない |
| 10 | その他 () |

(すべての方におたずねします。)

問 46 練馬区では、高齢者相談センター（地域包括支援センター）本所（区内4か所）に「医療と介護の相談窓口」を設置しています。相談窓口では、看護師などの保健福祉・介護の専門職員が、在宅での療養への支援や物忘れが気になった際の医師の紹介など、一人ひとりに合った在宅生活に向けたお手伝いをしています。あなたは、医療と介護の両方が必要になった場合に、「医療と介護の相談窓口」を利用したいと思いませんか。(○は1つ)

1	すぐに利用したい
2	必要な状態になったら利用したい
3	利用したくない
4	わからない

} (→問 48 へ進む)

(問 46 で、1 または 2 とお答えの方におたずねします。)

問 47 どのような相談をしたいですか。(あてはまるものすべてに○)

1	在宅医療や介護保険サービスなど、在宅での療養するための基本的な事項
2	自分や家族の状況に応じた、在宅での療養の方法
3	1人暮らしでの在宅での療養の方法
4	急に病状が変わったときの対応方法
5	現在行っている在宅での療養の見直し
6	退院後の在宅生活やリハビリの方法
7	物忘れへの不安
8	その他 ()
9	具体的には分からない

◆介護について

問 48 あなたの現在の要介護度は、つぎのうちどれですか。(○は1つ)

1	要支援 1	2	要支援 2	3	要介護 1	4	要介護 2
5	要介護 3	6	要介護 4	7	要介護 5	8	総合事業対象者
9	わからない						

問 49 あなたが、介護保険の要介護認定(総合事業対象者の方は健康長寿チェックシートによる判断)を申請した主な理由は何ですか。(○は3つまで)

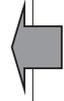
1	家事・調理、洗濯、掃除などが負担になってきたから
2	身の回りの行為が困難になってきたから
3	買い物や外出が負担になってきたから
4	通院などに手助けがほしくなくなってきたから
5	物忘れが進んだから
6	介護保険の施設入所を希望しているから
7	住宅改修または福祉用具購入を利用したいから
8	必要時にサービスを受けたいから
9	自分の要介護度を知りたかったから
10	医師、看護師から勧められたから
11	家族に勧められたから
12	友人・知人などに勧められたから
13	その他 ()

問 50 あなたが、介護保険の要介護認定を申請した主な原因は、つぎのうちどれですか。(○は1つ)

1	脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	2	心臓病
3	がん(悪性新生物)	4	呼吸器の病気(肺炎腫・肺炎等)
5	関節の病気(リウマチ等)	6	認知症(アルツハイマー病等)
7	パーキンソン病	8	糖尿病
9	視覚・聴覚障害	10	骨折・転倒
11	脊椎損傷	12	高齢による衰弱
13	その他 ()	14	わからない

問 51 あなたが現在利用している介護保険サービスのうち、満足しているサービスとその理由を教えてください。介護保険サービスを利用していない場合は、「22 いずれも利用していない」を選択してください。(あてはまるものすべてに○をつけ、その理由を下の欄の①～⑩から選び、記入してください)

A：利用しているサービスのうち満足しているサービスすべてに○	B：満足している理由を下の欄からあてはまるものすべて選び記入 (① ② ③)
(記入例) ① 訪問介護	()
1 訪問介護	()
2 訪問入浴介護	()
3 訪問リハビリテーション	()
4 訪問看護	()
5 居宅療養管理指導	()
6 通所介護 (地域密着型通所介護含む)	()
7 通所リハビリテーション	()
8 短期入所生活介護	()
9 短期入所療養介護	()
10 特定施設入居者生活介護	()
11 福祉用具貸与・購入	()
12 住宅改修	()
13 介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	()
14 介護老人保健施設	()
15 介護療養型医療施設	()
16 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	()
17 夜間対応型訪問介護	()
18 小規模多機能型居宅介護	()
19 看護小規模多機能型居宅介護	()
20 認知症対応型通所介護	()
21 認知症対応型共同生活介護	()
22 いずれも利用していない (→問 56 へ進む)	()



【満足している理由】	②技術的にしっかりしている
①利用回数や時間が希望に合う	④契約内容どおりのサービス提供である
③料金が安い (適切である)	⑥不満や要望をしっかりと聞いてもらえる
⑤サービスについての説明が十分である	⑧プライバイシーへの配慮がしっかりしている
⑦担当者と気が合う	⑩その他 ()
⑨緊急時に対応してくれる	

問 52 現在、介護保険サービスの支給限度額に対して、どの程度利用していますか。(○は1つ)

1 自費負担分を含めて限度額以上に利用している	}	(→問 53 へ進む)
2 ほとんど限度額いっぱい利用している		
3 限度額まで利用していない		
4 わからない (→問 53 へ進む)		

(問 52 で、「3 限度額まで利用していない」とお答えの方におたずねします。)

問 52-1 限度額まで利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1 利用中のサービス間に合っているから
2 家族介護により、多く利用せずに済んでいるから
3 利用料の負担が大きくなるから
4 希望するサービスが利用できないから
5 他に利用したいサービスがないから
6 その他 ()

(介護保険サービスを利用されている方におたずねします。)

問 53 あなたは、ケアマネジャー (介護支援専門員) に満足していますか。(○は1つ)

1 満足している	2 やや満足している	3 ふつう
4 やや不満である	5 不満である	

問 54 あなたは、ケアマネジャーについてのどのよう感じていますか。つぎの①～⑨について、あなたの気持ちを答えください。(○はそれぞれの質問①～⑨に1つ)

	そう思う と思う 思わない	どちら ともい えない	そう思 わない
① (介護予防) ケアプラン作成前に親身になって話を聞いてくれた	1	2	3
② 複数のサービス事業所を紹介し、選べるようにしてくれる	1	2	3
③ 介護保険以外の練馬区のサービスなどの情報も提供してくれる	1	2	3
④ サービス内容や利用料について、分かりやすく説明してくれる	1	2	3
⑤ 月1回程度、定期的に訪問して様子や満足度を確認してくれる	1	2	3
⑥ サービス事業者との間に入り、連絡や調整を行ってくれる	1	2	3
⑦ 自分の意向と異なる不要なサービスを勧められたことはない	1	2	3
⑧ ケアプラン以外の介護や生活全般についても相談に乗ってくれる	1	2	3
⑨ 家族や友人・知人にも、同じケアマネジャーをお薦めできる	1	2	3

問 55 あなたは、介護保険サービスを利用するようになって変わったことはありませんか。(あてはまるものすべてに○)

1 体が動くようになった
2 すぐに疲れを感じなくなった
3 筋肉や関節などの痛みが減った、感じなくなった
4 自分もやればできる、という自信がいった
5 食事が楽しくなった
6 一緒に参加する仲間ができた
7 人と接するのがおっくうでなくなった
8 その他 ()
9 利用する以前と特に変わった点はない

[問 57 へ進んでください]

(問51で、「22 いずれも利用していない」とお答えの方におたずねします。)

問56 介護保険サービスを利用されていない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 病院や診療所に入院中
- 2 家族などの介護がある
- 3 自分で身の回りのことをするよう努力している
- 4 介護保険サービスを使うほど具合が悪くない
- 5 できるだけ他人の世話になりたくない
- 6 介護保険サービスの使い方がわからない
- 7 利用しようとしたが、事業者から断られた
- 8 使いたい介護保険サービスがない
- 9 近くに介護保険サービス事業者がない
- 10 他人が家に入ることには抵抗がある
- 11 介護保険サービスの料金が安い
- 12 介護保険外のサービスを使っている
- 13 介護保険制度に不満がある
- 14 その他 ()

(すべての方におたずねします。)

問57 要介護状態になっても、リハビリをはじめとした様々な介護保険サービスを利用することにより、心身の維持向上に努めることが大切です。要介護度が改善することについて、あなたはどのように考えていますか。(○は1つ)

- 1 改善して、介護保険サービスの利用を減らし、自立した生活を送りたい
- 2 改善したいが、介護保険サービスの利用量の減少と内容の変更が不安
- 3 介護保険サービスの利用量の減少・内容の変更になるため改善したくない
- 4 改善するとは思えない
- 5 その他 ()
- 6 わからない

問58 新しい総合事業への移行に伴い、一定の研修を受けた区民の方などが訪問型サービスや通所型サービスを従来の単価より少し安価に提供できるようになりました。このようなサービスの利用について、あなたはどのように考えていますか。(○は1つ)

- 1 積極的に利用したい
- 2 サービス内容によっては利用したい
- 3 少しでも料金が安くなるのであれば、利用したい
- 4 ヘルパーなどの介護のプロが良いため、利用したくない
- 5 その他 ()
- 6 わからない

問59 介護保険は、介護が必要になった方も、尊厳を保持し、その方の有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるよう、社会みんなで支える制度です。その保険料は、区全体の介護保険サービスの利用状況や過去の実績などから、3年ごとに決まります。介護保険のサービスと保険料の関係について、あなたのお考えに最も近いものはどれですか。(○は1つ)

- 1 保険料が今より高くなって、施設や在宅サービスの水準を上げる方がよい
- 2 施設や在宅サービスの水準は現状程度とし、保険料の上昇は高齢者人口の伸びなどによる影響の範囲に抑える方がよい
- 3 サービスの水準が低下しても、保険料は安い方がよい
- 4 わからない

問60 あなたは、介護保険料についてどのように感じていますか。(○は1つ)

- 1 負担と感じる 2 多少負担と感じる 3 どちらともいえない
- 4 それほど負担とは感じない 5 負担とは感じない 6 わからない

問61 あなたは、介護保険サービスの利用料(食費や娯楽費など実費負担は除く)についてどのように感じていますか。(○は1つ)

- 1 負担と感じる 2 多少負担と感じる 3 どちらともいえない
- 4 それほど負担とは感じない 5 負担とは感じない 6 わからない

◆外出について

問62 買い物、散歩で外出する頻度はどのくらいですか。

- ① 買い物 (○は1つ)
- 1 ほぼ毎日 2 週4～5日 3 週2～3日 4 週1日 5 週1日未満
- ② 散歩 (○は1つ)
- 1 ほぼ毎日 2 週4～5日 3 週2～3日 4 週1日 5 週1日未満

問63 外出をためらってしまうような問題点はありますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 自動車などの運転免許を持っていないこと
- 2 電車やバスに乗ることが難しくなってきたこと
- 3 以前よりも歩くことが難しくなってきたこと(青信号の間に横断歩道を渡りきれない等)
- 4 道路に階段や段差、傾斜があったり、歩道が狭いこと
- 5 ベンチや椅子など休める場所が少ないこと
- 6 トイレが少ないこと、使いにくいこと
- 7 けがや病気のことで
- 8 外出したい場所がないこと
- 9 外出する気力が起きないこと
- 10 人との関わりが面倒なこと
- 11 一緒に外出する人がいないこと
- 12 お金がないこと
- 13 その他 ()
- 14 特に問題点はない

◆地域での活動について

問 64 以下のような会・グループなどにどのくらいの頻度で参加していますか。

※① - ⑥それぞれに回答してください。(それぞれ○は1つ)

	週4回 以上	週2 ~3回	週1回 ~3回	月1 回	年に 数回	参加して いない
① ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
② スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6
③ 趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④ 学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤ 老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑥ 町内会・自治会	1	2	3	4	5	6

問 65 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味などのグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(○は1つ)

1 是非参加したい	2 参加してもよい	3 参加したくない
-----------	-----------	-----------

問 66 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味などのグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。(○は1つ)

1 是非参加したい	2 参加してもよい	3 参加したくない
-----------	-----------	-----------

◆たすけあいについて

あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします

問 67 あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人。(あてはまるものすべてに○)

1 配偶者	2 同居の子ども	3 別居の子ども
4 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5 近隣	6 友人
7 その他()	8 そのような人はいない	

問 68 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人。(あてはまるものすべてに○)

1 配偶者	2 同居の子ども	3 別居の子ども
4 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5 近隣	6 友人
7 その他()	8 そのような人はいない	

問 69 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人。(あてはまるものすべてに○)

1 配偶者	2 同居の子ども	3 別居の子ども
4 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5 近隣	6 友人
7 その他()	8 そのような人はいない	

問 70 反対に、看病や世話をしてあげる人。(あてはまるものすべてに○)

1 配偶者	2 同居の子ども	3 別居の子ども
4 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5 近隣	6 友人
7 その他()	8 そのような人はいない	

◆認知症と高齢者の虐待への対応について

問 71 もし、あなたの周囲で高齢者の虐待がわかったら、どこに相談しますか。(あてはまるものすべてに○)

1 家族・親族	2 知人・友人
3 警察	4 医療機関
5 高齢者相談センター(地域包括支援センター)	6 総合福祉事務所(区役所)
7 その他()	8 わからない

問 72 あなたは、高齢者の虐待を防止するために、どのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1 介護される側と介護する側の相互理解の促進
2 地域における見守りやふだんからの声かけ
3 気軽に相談できる窓口の充実
4 介護に関する情報提供の充実
5 認知症に関する理解の促進
6 介護保険サービスの充実
7 介護する家族同士の集い
8 介護者がリフレッシュできる機会の充実
9 経済的な支援
10 その他()

問 73 あなたやご家族が認知症ではないかと感じたとき、どこに相談しますか。(あてはまるものすべてに○)

1 家族・親族	2 知人・友人
3 かかりつけ医	4 精神科などの専門医
5 ケアマネジャー	6 介護家族の会などの集まり
7 民生・児童委員	8 高齢者相談センター(地域包括支援センター)
9 保健相談所	10 社会福祉協議会
11 その他()	12 相談しない

問74 あなたは、認知症に関わる施策として、どのようなことが必要だと思いますか。(○は3つまで)

- 1 認知症の兆候を早期に見ていきける仕組みづくり
- 2 医療と介護保険サービスの連携による認知症の人を支える仕組みづくり
- 3 認知症について正しい知識を得るための講習会や情報提供
- 4 地域での見守りなど、日常的な支え合い
- 5 本人や介護している家族が安心できる相談先や居場所の整備
- 6 認知症高齢者グループホームの整備など、介護保険サービスの充実
- 7 介護している家族の負担の軽減
- 8 認知症予防についての講習会や情報提供
- 9 介護保険制度や成年後見制度、その他の利用できるサービスに関する情報提供
- 10 権利擁護センター「ほっとサポートねりま」からの支援
- 11 その他 ()
- 12 特にない

◆区の保健福祉施策について

問75 あなたは老後を楽しく生きていくために必要なものはどのようなことだと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 仕事や家庭内での役割
- 2 家族の愛情
- 3 豊かな生活のためのお金
- 4 何でも相談できる友人・知人
- 5 打ち込むことのできる趣味や生きがい
- 6 自分や家族の健康
- 7 保健福祉などの社会的援助
- 8 隣近所の助け合い
- 9 奉仕活動などを通して得られる社会的満足感
- 10 その他 ()
- 11 特にない

問76 あなたは、何歳以上が高齢者だと思いますか。(○は1つ)

- | | | |
|---------|---------|-----------|
| 1 60歳以上 | 2 65歳以上 | 3 70歳以上 |
| 4 75歳以上 | 5 80歳以上 | 6 その他 () |

問77 あなたは、将来に対してどのようなことに不安がありますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 健康 (自分や家族が介護を必要とする状態になること等)
- 2 生計 (経済的に苦しくなること等)
- 3 防犯・防災 (災害時の避難場所がわからない等)
- 4 住居 (老朽化、バリアフリーでない等)
- 5 家族・親族との関係 (連絡を取り合っていない等)
- 6 隣近所との関係 (困ったときに助け合える間柄でない等)
- 7 預貯金などの管理
- 8 1人暮らしになること
- 9 老後への漠然とした不安
- 10 その他 ()
- 11 不安なことはない

問78 あなたは、高齢者相談センター(地域包括支援センター)をご存知ですか。(○は1つ)

- 1 現在利用している
- 2 利用したことがある
- 3 名前は知っているが、利用したことはない
- 4 知らない

問79 あなたは、高齢者相談センター(地域包括支援センター)にどのような役割を期待しますか。(○は3つまで)

- 1 要支援者などを対象に、適切な介護予防サービスの利用を促進する
- 2 個々の高齢者に必要な支援内容を把握し、適切なサービスなどの利用につなげる
- 3 高齢者の虐待防止・早期対応や権利擁護を図る
- 4 ケアマネジャーへの日常的個別指導・相談
- 5 地域の関係者が高齢者に関する地域課題などを検討するための地域ケア会議の充実
- 6 在宅医療・介護連携の推進
- 7 認知症の早期発見・早期対応などの認知症施策の推進
- 8 地域の社会資源の把握・開発および社会資源と人的資源のマッチング体制の整備
- 9 その他 ()
- 10 わからない
- 11 特にない

問80 あなたは、保健福祉や介護保険に関する知識・情報を何から得ていますか。(○は3つまで)

- 1 ねりま区報
- 2 練馬区ホームページ
- 3 高齢者相談センター(地域包括支援センター)
- 4 「わたしの便利帳」[高齢者の生活ガイド]など区の刊行物
- 5 高齢者向けホームページ「シニアナビねりま」
- 6 社会福祉協議会の相談窓口
- 7 回覧板・掲示板
- 8 新聞・雑誌・テレビ・ラジオ
- 9 インターネット
- 10 家族・友人
- 11 病院などの医療機関
- 12 その他 ()
- 13 特にない

問 88 あて名のご本人が介護保険サービスを利用されているとき、**介護者ご自身**はどのようなにお感じですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 本人がうれしそうにしており、満足である
- 2 サービス利用中は介護者自身もリフレッシュでき、ありがたい
- 3 本人よりも介護者の方がサービス利用を増やしたい、と感じるときがある
- 4 本人と介護者との、サービス利用について意見が一致しないときがある
- 5 サービス利用後、本人が気分を害したり、具合が悪くなったりすることがあり、サービス内容などに不満がある
- 6 本人がサービス利用を嫌がることがあり、介護者としてつらいときがある
- 7 異性のスタッフの対応に不安を感じるときがある
- 8 その他 ()

問 89 在宅での介護について、**困ったり、負担に感じていることはありますか。**
(あてはまるものすべてに○)

- 1 本人に正確な症状を伝えるのが難しい
- 2 来客の際に気を遣う
- 3 日中、家を空けることに不安を感じる
- 4 本人の言動が理解できないことがある
- 5 本人に受診を勧めても同意してもらえない
- 6 適切な対応や介護方法がわからない
- 7 介護を家族など他の人に任せてよいか、悩むことがある
- 8 誰に、何を、どのように相談すればよいかわからない
- 9 家族や親族に介護を協力してもらえない
- 10 家の構造が介護をするのに適していない
- 11 サービスを利用したら本人の状態が悪化した (したことがある)
- 12 睡眠時間が不規則になり、健康状態がおもわしくない
- 13 身体的につらい (腰痛や肩こり等)
- 14 精神的なストレスがたまっている
- 15 自分の用事を済ませることができない
- 16 自分の自由になる時間が持てない
- 17 先々のことを考える余裕がない
- 18 経済的につらいと感じたときがある
- 19 その他 ()
- 20 特に困っていることはない

問 90 介護をしていてつらい時、どこ(だれ)に相談しましたか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------------|---------------------------|
| 1 家族・親族 | 2 近所の人 |
| 3 民生・児童委員 | 4 ボランティア |
| 5 介護家族の会などの集まり | 6 社会福祉協議会 |
| 7 ケアマネジャー | 8 医師・医療機関 |
| 9 在宅サービスを行っているホームヘルパー・訪問看護師等 | 10 高齢者相談センター (地域包括支援センター) |
| 11 その他 () | 12 どこにも (誰にも) 相談していない |

問 91 **主に介護している方自身が希望するご自身の将来の姿はどのようなものですか。**
(○は1つ)

- 1 自宅で、介護保険のサービスを中心に利用したい
- 2 自宅で、家族や親族などからの介護を中心に受けたい
- 3 家族や親族などの家に住み替えて、介護保険のサービスを中心に利用したい
- 4 家族や親族などの家に住み替えて、家族や親族などからの介護を中心に受けたい
- 5 安否確認サービスの有る住宅 (シルバークロ) に住み替えて、介護保険のサービスを利用したい
- 6 安否確認と食事や入浴のサービスのある住宅 (サービス付き高齢者向け住宅、都市型有料老人ホーム、住宅型有料老人ホーム) に住み替えて、介護保険のサービスを利用したい
- 7 介護保険サービスの有る施設・住宅 (特別養護老人ホーム、介護付き有料老人ホーム、認知症対応型グループホーム) に入りたい
- 8 その他 ()
- 9 わからない

ご協力ありがとうございました。**12月26日(月)まで**に同封の返信用封筒でご返送ください。切手は不要ですので、そのままご投函ください。
なお、この調査票および返信用封筒へのお名前のご記入は不要です。

練馬区高齢者基礎調査

◆ 調査へのご協力をお願い ◆

日頃から、練馬区政にご理解とご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。特別養護老人ホームに入所申し込みをされている皆さまには、待機期間が長期におよび、大変ご不便をおかけしています。

区では、新たな「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の策定に着手しています。この調査は、高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画がより実りある計画となるよう、特別養護老人ホームの入所待機者の皆さまを対象に、生活場所や申し込みの理由、入所を希望する時期などの現在の状況およびニーズを把握させていただくために実施するものです。調査の対象者として、区内にお住まいの特別養護老人ホームの入所待機者の方を対象に、調査票を送付させていただきます。

ご回答いただいた内容は、統計情報の作成のみ 사용됩니다。個人が特定される形での公表や、他の目的での使用はいたしません。ご協力いただきまますようお願いいたします。なお、調査のご回答内容により、待機の順番が変わることはありません。ご了解ください。

平成28年12月 練馬区

◆ 調査票のご記入にあたって ◆

- 調査票上の「あなた」とは、封筒に印刷されたあなたご本人を指します。
- 回答は、あてはまる番号に○をつけてください。質問文にある「○は1つ」「あてはまるものすべてに○」などの指示にしたがってご回答ください。また、ご意見や数字などを直接ご記入いただく質問もあります。
- 質問の回答が、「その他」にあてはまる場合は、() 内になるべく具体的にその内容をご記入ください。
- 回答はできる限り、対象者ご本人がご記入ください。なお、対象者ご本人一人での回答がむずかしい場合は、ご家族の方などにお手伝いいただき、対象者ご本人の意見を聞いた上で代わりにご記入ください。
- ★ 対象者ご本人が不在や体調などの何らかの事情により回答できない場合には、下の枠内のいずれかに○印をつけてご返送ください。

1 入院・入所中で意思表示ができない 2 転居 3 その他

- ご記入いただいた調査票は、**平成29年1月13日(金)まで**に、同封の返信用封筒にてご返送ください。切手は不要ですので、そのままご投函ください。
- この調査票および返信用封筒へのお名前のご記入は不要です。

この調査は、㈱日本能率協会総合研究所に委託して実施しています。

調査についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

【調査委託元】 練馬区 高齢施策担当部 高齢社会対策課 計画係

【調査実施・お問い合わせ先】 ㈱日本能率協会総合研究所 担当：田中、政岡

電話：0120-876-300 (フリーダイヤル)

受付時間：月曜日～金曜日 (平日) 10:00～17:00

調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。

- 1 あて名のご本人が記入
- 2 ご家族が記入 (あて名のご本人からみられた続柄：)
- 3 その他

◆あなたのご家族や生活状況について

問1 あなたの性別と、平成28年12月1日現在の満年齢を教えてください。

① 性別 (○は1つ) ② 年齢 (右詰めで記入)

1 男性			歳
2 女性			

問2 あなたのお住まいはどちらですか。記入例のように、町名と丁目をご記入ください。

町名		丁目
(記入例)	町名 光が丘	3 丁目

問3 家族構成をお教えてください。(○は1つ)

- 1 1人暮らし 2 夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)
- 3 夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下) 4 息子・娘との2世帯
- 5 その他

問4 現在、あなたにはお子さんがいらっしゃいますか。(○は1つ)

- 1 いる 2 いない (→問5へ進む)

(問4で、「1 いる」とお答えの方におたずねします。)

問4-1 お子さんの中で、最も日頃よく行き来しているお子さんの家は、どこにありますか。(通常、使っている交通手段での時間。○は1つ)

1 同居	2 となり (2世帯住宅を含む)	3 30分未満
4 30分～1時間未満	5 1時間以上	

(すべての方におたずねします。)

問5 あなたの年取(配偶者がいる場合はご夫婦を合わせた年取。年金を含む)はどのくらいですか。(○は1つ)

1 100万円未満	2 100～200万円未満	3 200～300万円未満
4 300～400万円未満	5 400～500万円未満	6 500～700万円未満
7 700～1,000万円未満	8 1,000万円以上	9 わからない

問6 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(○は1つ)

1 大変苦しい 2 やや苦しい 3 ややゆとりがある 4 ややゆとりがある 5 大変ゆとりがある } (→3～5は問7へ進む)

(問6で、1または2とお答えの方におたずねします。)

問6-1 経済的に暮らしが苦しい場合、何を節約されていますか。(あてはまるものすべてに○)

1 飲食費 2 光熱水費 3 服飾費(衣類、履物) 4 趣味の費用 5 保健医療費 6 交通費(車、電車等) 7 通信費(電話代等) 8 教養費 9 介護保険サービスの利用 10 その他()

(すべての方におたずねします。)

問7 あなたは現在どこで生活していますか。(○は1つ)

1 自宅(家族などとの同居も含む) 2 介護老人保健施設 3 病院に入院中 4 介護療養型医療施設 5 認知症高齢者グループホーム 6 有料老人ホーム 7 都市型軽費老人ホーム 8 サービス付き高齢者向け住宅 9 特別養護老人ホーム 10 その他()

【2～10とお答えの方は、問10へ進んでください】

(問7で、「1 自宅(家族などとの同居も含む)」とお答えの方におたずねします。)

問8 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(○は1つ)

1 一戸建て 2 集合住宅

問9 お住まいは、つぎのどれにあたりませんか。(○は1つ)

1 自分または家族などの持家 2 民間賃貸住宅 3 公的賃貸住宅 4 その他() (区・都営、UR都市機構、公社等)

◆あなたの心身の状況について

問10 あなたの現在の要介護度は、つぎのうちどれですか。(○は1つ)

1 要介護1 2 要介護2 3 要介護3 4 要介護4 5 要介護5 6 わからない

問11 あなたは、現在、つぎにあげるような医療器具を利用したり、医療処置を受けたたりしていますか。(あてはまるものすべてに○)

1 胃ろう・経管栄養 2 気管切開 3 インスリン注射 4 尿管カテーテル 5 人工肛門 6 在宅酸素 7 ペースメーカー 8 人工透析 9 たんの吸引 10 褥瘡(床ずれ)の処置 11 その他() 12 あてはまるものはない

問12 医師から認知症と診断されたことがありますか。(○は1つ)

1 認知症専門医(物忘れ外来、老年内科、精神科、心療内科、神経内科等)に診断されたことがある 2 認知症専門医以外(かかりつけ医等)に診断されたことがある 3 医師ではないが、認定調査員による認定調査で指摘されたことがある 4 診断されたことはない

◆特別養護老人ホーム入所申し込み状況について

問13 特別養護老人ホームの入所を最初に申し込んだのはいつですか。

平成 年 月

問14 あなたが入所したい特別養護老人ホームは、どのタイプですか。(○は1つ)

1 多床室(2～4人部屋で、費用が安い) 2 従来型個室(共用のリビングを併設していない個室で、多床室に比べて費用が高い) 3 ユニット型個室(共用のリビングを併設している個室で、従来型個室に比べて費用が高い) 4 どちらでもよい

問15 問14のご回答の理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

1 居室や設備の形態が自分の生活スタイルに合っているから 2 希望に合った形の介護を受けられるから 3 費用負担の面を考慮して 4 急な体調の変化など、緊急の際に安心だから 5 入居したいと考えている施設がそのタイプだから 6 なるべく早く入居したいから 7 特にこだわりがないから 8 その他()

問16 特別養護老人ホームへの入所申し込みはどなたが決定しましたか。(○は1つ)

1 本人 2 夫 3 妻 4 息子 5 娘 6 子の夫 7 子の妻 8 親 9 孫 10 兄弟姉妹 11 その他()

問17 入所申し込みをした際に、施設見学はされましたか。(あてはまるものすべてに○)

1 自分自身が見学に行った 2 家族などが見学に行った 3 家族などと一緒に見学に行った 4 見学に行った施設と行かなかった施設がある 5 見学に行かなかった 6 覚えていない、わからない

問 18 入所申し込みをした際に、「練馬区特別養護老人ホーム入所基準」(入所順位の指数のつけ方が記載された表)は把握しましたか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 自分自身で把握した
- 2 家族などが把握した
- 3 把握しなかった
- 4 覚えていない、わからない

問 19 入所申し込みをした際に、医療行為への対応状況は把握しましたか。

(あてはまるものすべてに○)

- 1 自分自身で把握した
- 2 家族などが把握した
- 3 把握した施設としなかった施設がある
- 4 把握しなかった
- 5 覚えていない、わからない

問 20 入所申し込みをした特別養護老人ホームの情報はどこで入手されましたか。

(あてはまるものすべてに○)

- 1 ケアマネジャー
- 2 高齢者相談センター(地域包括支援センター)
- 3 区役所
- 4 入所(入院)している(いた)施設職員
- 5 医師・医療機関
- 6 社会福祉協議会
- 7 親族・友人等
- 8 インターネット
- 9 特別養護老人ホーム
- 10 その他()

問 21 特別養護老人ホームへ入所申し込みをした後に、最も欲しい情報(連絡)はどれですか。(○は1つ)

- 1 入所申し込みを受け付けた旨とその日付
- 2 自身の指数(点数)
- 3 待機者のうち、入所の優先度の目安
- 4 入所申込書の有効期間(※)
- 5 提出した申込書の写し
- 6 特に情報は知らない

※練馬区では、平成26年10月に入所指針の改定を行い、入所申込書に有効期間を設けました。有効期間は、入所申込書を提出した時の「要介護度の認定期間」と同じになります。

問 22 入所申し込みをした特別養護老人ホームを選択した理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 自宅から近い
- 2 家族が面会に来る際に交通が便利
- 3 居室タイプ(多床室、ユニット型等)が希望と合っている
- 4 併設のデイサービスなど、同じ法人の介護保険サービスを受けていた
- 5 必要な介護保険サービスが受けられる(介護専門職が十分いる)
- 6 必要な介護保険外サービスが受けられる
- 7 必要な医療処置を受けられる
- 8 自立支援に向けたリハビリなどの機能訓練サービスが受けられる
- 9 日中のプログラムが充実している
- 10 緊急時にも対応が可能である(24時間対応)
- 11 施設の防犯・見守りがしっかりしている
- 12 職員が親切で対応が良い
- 13 部屋や建物の環境が充実している
- 14 見学をして、施設の雰囲気良かった
- 15 栄養管理の行き届いた食事が食べられる
- 16 おいしい食事が食べられる
- 17 料金が安い
- 18 最期までいられる(現在の入所施設には期限があるため)
- 19 話し相手やクラブ活動など仲間との交流がある
- 20 ケアマネジャーに勧められた
- 21 知人・友人に勧められた
- 22 すぐに入所できそうだから
- 23 その他()
- 24 特にない

問 23 あなたが特別養護老人ホームを申し込んだ理由は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

- 1 将来の介護に不安を感じるため
- 2 1人暮らしで介護する同居の家族がいないため
- 3 家族が働いており、介護する家族がいないため
- 4 家族が精神的・身体的に疲れているため
- 5 現在の住居がバリアフリー化されていないため
- 6 ショートステイ(短期入所生活介護)が必要ときに使えないため
- 7 デイサービス(通所介護)が必要ときに使えないため
- 8 24時間のホームヘルプサービス(訪問介護)が必要ときに使えないため
- 9 現在の在宅サービスの内容に不満があるため
- 10 その他()

問 24 あなたが特別養護老人ホームに期待することは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 専門的な介護が受けられること
- 2 24時間体制で介護が受けられること
- 3 掃除、洗濯などの家事を代わりにやってくれらること
- 4 防犯、防災面などで安心できること
- 5 孤独にならないこと
- 6 在宅の介護保険サービスより費用が安くなること
- 7 その他 ()
- 8 特にない

問 25 あなたは、区外の特別養護老人ホームに申し込んでいますか。(○は1つ)

- 1 申し込んでいる
- 2 申し込んでいない (→問 26へ進む)

(問 25 で、「1 申し込んでいる」とお答えの方におたずねします。)

問 25-1 申し込んでいる特別養護老人ホームはどこにありますか。
(あてはまるものすべてに○)

- 1 都内 (23区内)
- 2 都内 (23区外)
- 3 埼玉県
- 4 千葉県
- 5 神奈川県
- 6 その他 ()

【問 27へ進んでください】

(問 25 で、「2 申し込んでいない」とお答えの方におたずねします。)

問 26 区外の特別養護老人ホームに申し込まない理由は何ですか。(○は1つ)

- 1 特別養護老人ホームに家族が訪ねてくるのが遠くなるため
- 2 区内の特別養護老人ホームしか申し込みできなかつたため
- 3 区外にどのような特別養護老人ホームの施設があるか知らないため
- 4 その他 ()

(すべての方におたずねします。)

問 27 申し込んでいる特別養護老人ホームから「入所できます」という連絡がきた場合、あなたは入所しますか。(○は1つ)

- 1 すぐに入所する
- 2 複数の施設に申し込んでおり、最も希望する施設であれば入所する
- 3 すぐには決められない
- 4 まだ自宅で暮らせるため、お断りする

問 28 申し込んでいる特別養護老人ホームから「入所できます」という連絡があった際に、断ったことはありますか。(○は1つ)

- 1 ある
- 2 ない (→問 31へ進む)

(問 28 で、「1 ある」とお答えの方におたずねします。)

問 29 どのような理由で入所の案内を断りましたか。(○は1つ)

- 1 入院中だったため
- 2 通院中だったため
- 3 カゼなどで一時的に体調を崩していたため
- 4 介護老人保健施設に入所していたため
- 5 介護療養型医療施設に入所していたため
- 6 まだ自宅で暮らしたかったため
- 7 その他 ()

問 30 入所の案内を断ったことは、何回ありますか。(右詰めで記入)

回

(すべての方におたずねします。)

問 31 どのくらいの時期に入所を希望しますか。(○は1つ)

- 1 すぐに入所したい
- 2 3か月以内に入所したい
- 3 6か月以内に入所したい
- 4 1年以内に入所したい
- 5 2年以内に入所したい
- 6 その他 ()

問 32 あなたが、現在特別養護老人ホーム以外に申し込みされている施設、もしくは、今後利用を検討している施設などはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 介護老人保健施設
- 2 一般の病院 (医療保険での入院)
- 3 介護療養型医療施設
- 4 認知症高齢者グループホーム
- 5 有料老人ホーム
- 6 都市型軽費老人ホーム
- 7 サービス付き高齢者向け住宅
- 8 その他 ()
- 9 特にない (→問 32-2へ進む)

(問 32 で、1～8とお答えの方におたずねします。)

問 32-1 このような施設などを利用したい理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 将来の介護に不安を感じるため
- 2 1人暮らしで介護する同居の家族がいないため
- 3 家族が働いており、介護する家族がいないため
- 4 家族が精神的・身体的に疲れているため
- 5 現在の住居がバリアフリー化されていないため
- 6 その他 ()

【問 33へ進んでください】

(問 32 で、「9 特にない」とお答えの方におたずねします。)

問 32-2 このような施設などの申し込みをしない理由は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

- 1 すでに特別養護老人ホーム以外の施設に入所しているため
- 2 特別養護老人ホーム以外の施設がわからないため
- 3 特別養護老人ホーム以外の施設は経済的に入れないため
- 4 特別養護老人ホーム以外の施設では希望するサービスを受けられないため
- 5 入所待ちの期間を見込んで早めに申し込んだが、現在は自宅で生活できるため
- 6 その他 ()

(すべての方におたずねします。)

問33 あなたが希望する在宅サービスの提供や制度の充実が見込めるのであれば、自宅での生活を希望しますか。(○は1つ)

- 1 ぜひ、今の家で生活を続けたい
- 2 可能な限り今の家で生活を続けたい
- 3 いつかは特別養護老人ホームに入所したい
- 4 なるべく早く特別養護老人ホームに入所したい (→問34へ進む)

(問33で、1～3のいずれかにお答えの方におたずねします。)

問33-1 どのような在宅サービスを利用すれば、今の家での生活を続けられると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 24時間365日必要に応じて、定期的かつ随時に、自宅でヘルパーや看護師に食事・入浴などの介助や緊急時に対応してもらえ
- 2 24時間365日必要に応じて、計画的あるいは随時に、自宅で医師に診療してもらえ
- 3 施設へ通うことを中心に、自宅へ訪問してもらったり、施設へ泊まったりするなど、柔軟に対応してもらえ
- 4 認知症に配慮した介護保険サービスが整っている
- 5 在宅生活ができるよう、専門家にリハビリをしてもらえ
- 6 デイサービスやショートステイを利用したいときに利用できる
- 7 段差の解消や手すりなど、住まいの構造や設備がバリアフリーになっている
- 8 配食や買い物、ごみ出しなどの生活面を支援してもらえ
- 9 困ったときにいつでも身近に相談できる体制が整っている
- 10 声かけや見守りをしてもらえるなど地域の理解や支えがある
- 11 家族が理解・協力してくれる
- 12 その他 ()
- 13 特にない

◆介護について

問34 以下の介護保険サービスのうち、現在利用しているサービスに○をつけてください。(あてはまるものすべてに○)

- 1 訪問介護 (ホームヘルプサービス)
- 2 訪問入浴介護
- 3 訪問リハビリテーション
- 4 訪問看護
- 5 居宅療養管理指導
- 6 通所介護 (デイサービス、地域密着型通所介護含む)
- 7 通所リハビリテーション (デイケア)
- 8 短期入所生活介護 (ショートステイ)
- 9 短期入所療養介護 (医療型ショートステイ)
- 10 特定施設入居者生活介護 (有料老人ホーム等)
- 11 福祉用具貸与・購入
- 12 住宅改修
- 13 介護老人保健施設
- 14 介護療養型医療施設
- 15 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 (24時間対応の訪問サービス)
- 16 夜間対応型訪問介護
- 17 小規模多機能型居宅介護 (通い・訪問・泊まりなどを組み合わせたサービス)
- 18 看護小規模多機能型居宅介護 (小規模多機能型居宅介護に訪問看護を組み合わせたサービス)
- 19 認知症対応型通所介護
- 20 認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)
- 21 いずれも利用していない (→問37へ進む)

(問34で、1～2と答えの方におたずねします。)

問35 問34で○をつけたサービスのうち、満足しているサービスとその理由を教えてください。あてはまるものすべてに○をつけ、その理由を下の欄の①～⑩から選び、記入してください)

A：利用しているサービスのうち満足しているサービスすべてに○	B：満足している理由を下の欄からあてはまるものすべてを選び記入 (① ② ③)
(記入例) ①訪問介護	()
1 訪問介護	()
2 訪問入浴介護	()
3 訪問リハビリテーション	()
4 訪問看護	()
5 居宅療養管理指導	()
6 通所介護(地域密着型通所介護含む)	()
7 通所リハビリテーション	()
8 短期入所生活介護	()
9 短期入所療養介護	()
10 特定施設入居者生活介護	()
11 福祉用具貸与・購入	()
12 住宅改修	()
13 介護老人保健施設	()
14 介護療養型医療施設	()
15 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	()
16 夜間対応型訪問介護	()
17 小規模多機能型居宅介護	()
18 看護小規模多機能型居宅介護	()
19 認知症対応型通所介護	()
20 認知症対応型共同生活介護	()

【満足している理由】

- ①利用回数や時間が希望に合う
- ②技術的にしっかりしている
- ③料金が安い(適切である)
- ④契約内容どおりのサービス提供である
- ⑤サービスについての説明が十分である
- ⑥不満や要望をしっかりと聞いてもらえる
- ⑦担当者と気が合う
- ⑧プライバシーへの配慮がしっかりしている
- ⑨緊急時に対応してくれる
- ⑩その他()

問36 現在、介護保険サービスの支給限度額に対して、どの程度利用していますか。(○は1つ)

- 1 自費負担分を含めて限度額以上に利用している } (→問37へ進む)
- 2 ほとんど限度額いっぱい利用している
- 3 限度額まで利用していない
- 4 わからない (→問37へ進む)

(問36で、「3 限度額まで利用していない」とお答えの方におたずねします。)

問36-1 限度額まで利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 利用中のサービスで間に合っているから
- 2 家族介護により、多く利用せずに済んでいるから
- 3 利用料の負担が大きくなるから
- 4 希望するサービスが利用できないから
- 5 他に利用したいサービスがないから
- 6 その他()

(すべての方におたずねします。)

問37 介護保険は、介護が必要になつた方も、尊厳を保持し、その方の有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるよう、社会みんなで支える制度です。その保険料は、区全体の介護保険サービスの利用状況や過去の実績などから、3年ごとに決まります。介護保険のサービスと保険料の関係について、あなたのお考えに最も近いものはどれですか。(○は1つ)

- 1 保険料が今より高くなってても、施設や在宅サービスの水準を上げる方がよい
- 2 施設や在宅サービスの水準は現状程度とし、保険料の上昇は高齢者人口の伸びなどによる影響の範囲に抑える方がよい
- 3 サービスの水準が低下しても、保険料は安い方がよい
- 4 わからない

問38 あなたは、介護保険料についてどのように感じていますか。(○は1つ)

- 1 負担と感じる
- 2 多少負担と感じる
- 3 どちらともいえない
- 4 それほど負担とは感じない
- 5 負担とは感じない
- 6 わからない

問39 あなたは、介護保険サービスの利用料(食費や娯楽費などの実費負担は除く)についてどのように感じていますか。(○は1つ)

- 1 負担と感じる
- 2 多少負担と感じる
- 3 どちらともいえない
- 4 それほど負担とは感じない
- 5 負担とは感じない
- 6 わからない

問40 平成27年12月～平成28年11月の過去1年間にショートステイ(短期入所生活介護、もしくは短期入所療養介護)を利用しましたか。(○は1つ)

- 1 利用した
- 2 利用していない (→問44へ進む)

(問40で、「1 利用した」とお答えの方におたずねします。)

問41 ショートステイの利用目的は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 介護者や家族の心身の負担軽減のため
- 2 介護者や家族の冠婚葬祭、旅行などのため
- 3 介護者や家族の急病のため
- 4 認知症への対応のため
- 5 生活のリズムをつくる(取り戻す)ため
- 6 夜間の見守りのため
- 7 閉じこもり状態を防止するため
- 8 施設の入所待ちのため
- 9 その他()

問42 ショートステイは希望している時期に利用できていますか。(○は1つ)

- | | | |
|----------------|--------------|-------------|
| 1 利用できている | 2 利用できるときが多い | 3 どちらともいえない |
| 4 利用できないうときが多い | 5 利用できさない | |

問43 ショートステイは希望している施設を利用できていますか。(○は1つ)

- | | | |
|----------------|--------------|-------------|
| 1 利用できている | 2 利用できるときが多い | 3 どちらともいえない |
| 4 利用できないうときが多い | 5 利用できさない | |

◆入所施設の状態について

(問7で、2～10のいずれかにお答えの方(現在の生活場所が自宅以外の方)におたずねします。それ以外の方(現在の生活場所が自宅の方)は16ページの問49へお進みください。)

問44 現在の入所施設の満足度を教えてください。(○は1つ)

- | | | |
|-----------|-------------|-------------|
| 1 満足している | 2 少しは満足している | 3 どちらともいえない |
| 4 少し不満である | 5 不満である | |

問45 現在の入所施設の満足な点を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- 1 自宅から近い
- 2 家族が面会に来る際に交通が便利
- 3 居室タイプが希望と合っている
- 4 入所前に利用していた介護保険サービスと同じ法人が運営している
- 5 近隣で同じ法人が運営しているデイサービスなどを利用できる
- 6 必要な介護保険サービスが受けられる(介護専門職が十分いる)
- 7 必要な介護保険外サービスが受けられる
- 8 必要な医療処置を受けられる
- 9 自立支援に向けたリハビリなどの機能訓練サービスが受けられる
- 10 日中のプログラムが充実している
- 11 緊急時にも対応が可能である(24時間対応)
- 12 施設の防犯・見守りがしっかりしている
- 13 職員が親切で対応が良い
- 14 部屋や建物の環境が充実している
- 15 施設の雰囲気が良い
- 16 栄養管理の行き届いた食事が食べられる
- 17 おいしい食事が食べられる
- 18 料金が安い
- 19 最期までいられる
- 20 話し相手やクラブ活動など仲間との交流がある
- 21 すぐに入所できた
- 22 その他()
- 23 特にない

問46 現在の入所施設で今後さらに充実を期待することは何ですか。(○は3つまで)

- 1 家族が面会に来やすい(交通が便利)こと
- 2 必要な介護保険サービスが受けられる(介護専門職が十分いる)こと
- 3 必要な介護保険外サービスが受けられること
- 4 必要な医療処置を受けられること
- 5 自立支援に向けたリハビリなどの機能訓練サービスが受けられること
- 6 日中のプログラムが充実していること
- 7 緊急時にも対応が可能である(24時間対応)こと
- 8 施設の防犯・見守りがしっかりしていること
- 9 職員が親切で対応が良くなること
- 10 部屋や建物の環境が充実すること
- 11 栄養管理の行き届いた食事が食べられること
- 12 おいしい食事が食べられること
- 13 最期までいられること
- 14 話し相手やクラブ活動など仲間との交流があること
- 15 その他()
- 16 特にない

ここからは介護をしている方（介護者）におたずねする質問です。

問51 主に介護している方は、あて名のご本人のご家族ですか。(○は1つ)

- 1 家族である (→問51-1へ進む)
 2 家族ではない →以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました。

(問51で、「1 家族である」とお答えの方におたずねします。)

問51-1 あて名のご本人を主に介護しているご家族の性別・年齢・続柄・健康状態について、あてはまるものにそれぞれ○をつけてください。(それぞれ○は1つ)

性別 (○は1つ)	1 男性	2 女性	
年齢 (○は1つ)	1 40歳未満	2 40歳代	3 50歳代
	4 60歳代	5 70歳代	6 80歳以上
続柄 (○は1つ) *あて名ご本人からみた 続柄でお答えください。	1 夫	2 妻	3 息子
	4 娘	5 子の夫	6 子の妻
	7 親	8 孫	9 兄弟姉妹
	10 その他 ()		
健康状態 (○は1つ)	1 とてもよい	2 まあよい	
	3 あまりよくない	4 よくない	

問52 あて名のご本人の介護期間を教えてください。(○は1つ)

1 1年未満	2 1～3年未満	3 3～5年未満
4 5～8年未満	5 8～10年未満	6 10年以上

問53 主に介護している方の就労状況を教えてください。(○は1つ)

1 正規社員	2 非正規社員	3 パート・アルバイト
4 無職	5 その他 ()	

問54 主に介護している方の今後の就労意向を教えてください。(○は1つ)

1 現在と同様の形で働きたい	2 正規社員として働きたい
3 非正規社員として働きたい	4 パート・アルバイトとして働きたい
5 わからない	6 働きたくない

問55 主に介護をしている方は、あて名のご本人の介護以外に育児（自分の子どもや孫の世話）や他の家族の方の介護もされていますか。(あてはまるものすべてに○)

1 子（未就学児）の育児をしている	2 孫（未就学児）の世話をしている
3 他の家族の介護もしている	4 本人の介護のみしている
5 その他 ()	

問56 あて名のご本人が介護保険サービスを利用されているとき、介護者ご自身はどのようなお感じですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 本人がうれしそうにしており、満足である
- 2 サービス利用中は介護者自身もリフレッシュでき、ありがたい
- 3 本人よりも介護者の方がサービス利用を増やしたい、と感じるときがある
- 4 本人と介護者で、サービス利用について意見が一致しないときがある
- 5 サービス利用後、本人が気分を害したり、具合が悪くなったりすることがあり、サービス内容などに不満がある
- 6 本人がサービス利用を嫌がることもあり、介護者としてつらいときがある
- 7 異性のスタッフの対応に不安を感じるときがある
- 8 その他 ()

問57 在宅での介護について、困ったり、負担に感じていることはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

- 1 本人に正確な症状を伝えるのが難しい
- 2 来客の際に気を遣う
- 3 日中、家を空けることに不安を感じる
- 4 本人の言動が理解できないことがある
- 5 本人に受診を勧めても同意してもらえない
- 6 適切な対応や介護方法がわからない
- 7 介護を家族など他の人に任せてよいか、悩むことがある
- 8 誰に、何を、どのように相談すればよいかわからない
- 9 家族や親族に介護を協力してもらえない
- 10 家の構造が介護するのに適していない
- 11 サービスを利用したら本人の状態が悪化した（したことがある）
- 12 睡眠時間が不規則になり、健康状態がおもわしくない
- 13 身体的につらい（腰痛や肩こり等）
- 14 精神的なストレスがたまっている
- 15 自分の用事を済ませることができない
- 16 自分の自由になる時間が持てない
- 17 先々のことを考える余裕がない
- 18 経済的につらいと感じたときがある
- 19 その他 ()
- 20 特に困っていることはない

問 58 介護をしていてつらい時、どこ(だれ)に相談しましたか。(あてはまるものすべてに○)

1 家族・親族	2 近所の人
3 民生・児童委員	4 ボランティア
5 介護家族の会などの集まり	6 社会福祉協議会
7 ケアマネジャー	8 医師・医療機関
9 在宅サービスを行っている ホームヘルパー・訪問看護師等	10 高齢者相談センター (地域包括支援センター)
11 その他 ()	12 どこにも(誰にも)相談していない

問 59 介護者ご自身の視点から、特別養護老人ホームを申し込んだ理由は何か。

(あてはまるものすべてに○)

1 将来の介護に不安を感じるため
2 働いており介護する家族がいないため
3 高齢あるいは病弱で、介護が困難なため
4 精神的に疲れているため
5 身体的に疲れているため
6 在宅サービスを使いたくないため
7 地域に十分な介護保険サービス事業者がいないため
8 本人が1人暮らしで、介護する同居の家族がいないため
9 ショートステイ(短期入所生活介護)が必要なきに使用しないため
10 デイサービス(通所介護)が必要なきに使用しないため
11 24時間のホームヘルプ(訪問介護)サービスが必要なきに使用しないため
12 現在の在宅サービスの内容に不満があるため
13 その他 ()
14 特にない

問 60 介護者ご自身の視点から、特別養護老人ホームに期待することは何か。

(あてはまるものすべてに○)

1 専門的な介護が受けられること
2 24時間体制で介護が受けられること
3 掃除、洗濯などの家事を代わりにやってくれること
4 防犯、防災面などで安心できること
5 孤独にならないこと
6 在宅の介護保険サービスより費用が安くなること
7 その他 ()
8 特にない

ご協力ありがとうございました。平成 29 年 1 月 13 日(金)までに同封の返信用封筒でご返送ください。切手は不要ですので、そのままご投函ください。

なお、この調査票および返信用封筒へのお名前のご記入は不要です。

練馬区介護サービス事業所調査

◆ 調査へのご協力をお願い ◆

日頃から、練馬区政にご理解とご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。区では、新たな「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の策定に着手しています。この調査は、高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画がより実りある計画となるよう、区内で介護保険サービスを提供されているすべての事業所を対象に、事業展開の現状と今後、介護保険制度の見直しなどに関するご意見・ご要望などをお聞きするための実施するものです。

ご回答いただいた内容は、統計情報の作成のみに使用します。事業所が特定される形の公表や、他の目的での使用はいたしませんので、ご協力いただきますようお願いいたします。

平成 28 年 12 月 練馬区

◆ 調査票のご記入にあたって ◆

- 調査票は、送付した封筒の宛名に記載されているサービス種別ごとに発送していただきます。複数の調査票をお届けした事業所においては、お手数ですが、サービス種別ごとに調査票を作成してください。
 - 回答は、あてはまる番号に○をつけてください。質問文にある「○は1つ」「あてはまるものすべてに○」などの指示にしたがってご回答ください。また、ご意見や数字などを直接ご記入いただく質問もあります。
 - 質問の回答が、「その他」にあてはまる場合は、() 内になるべく具体的にその内容をご記入ください。
 - ご記入いただいた調査票は、**12月26日(月)まで**に、同封の返信用封筒にてご返送ください。切手は不要ですので、そのままご投函ください。
 - この調査票および返信用封筒へのお名前のご記入は不要です。
 - この調査は、(株)日本能率協会総合研究所に委託して実施しています。調査についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。
【調査委託元】練馬区 高齢施策担当部 高齢社会対策課 計画係
【調査実施・お問い合わせ先】
- (株)日本能率協会総合研究所 社会政策研究部 担当：田中、政岡**
電話：0120-876-300
受付時間：月曜～金曜(平日) 10:00～17:00

◆ 機関・組織について

問1 貴事業所が現在実施しているサービスは、つぎのどれですか。(○は1つ)

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| 1 居宅介護支援 | 2 訪問介護 (総合事業含む) |
| 3 (介護予防)訪問入浴介護 | 4 (介護予防)訪問看護 |
| 5 (介護予防)訪問リハビリテーション | 6 (介護予防)居宅療養管理指導 |
| 7 通所介護 (総合事業含む) | 8 (介護予防)通所リハビリテーション |
| 9 (介護予防)短期入所生活介護 | 10 (介護予防)短期入所療養介護 |
| 11 (介護予防)福祉用具貸与・販売 | 12 (介護予防)特定施設入居者生活介護 |
| 13 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 | 14 夜間対応型訪問介護 |
| 15 (介護予防)認知症対応型通所介護 | 16 地域密着型通所介護 |
| 17 (介護予防)小規模多機能型居宅介護 | 18 看護小規模多機能型居宅介護 |
| 19 (介護予防)認知症対応型共同生活介護 | 20 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 |
| 21 介護老人福祉施設 | 22 介護老人保健施設 |
| 23 介護療養型医療施設 | |

問2 運営主体は、つぎのどれですか。(○は1つ)

- | | | |
|-------------------|-----------|--------|
| 1 企業 (株式会社・有限会社等) | 2 社会福祉法人 | 3 医療法人 |
| 4 NPO法人 | 5 その他 () | |

問3 貴事業所の住所地に該当する日常生活圏域は、つぎのどれですか。(○は1つ)

- | | | | |
|--------|---------|---------|--------|
| 1 練馬圏域 | 2 光が丘圏域 | 3 石神井圏域 | 4 大泉圏域 |
|--------|---------|---------|--------|

問4 貴事業所の従業員数を教えてください (法人の従業員数ではありません)。
(具体的に記入。換算数は小数点第2位を四捨五入して小数点以下第1位まで計上)

- ① 常勤専従・・・ 人
- ② 常勤兼務・・・ 人 ⇒換算数 人
- ③ 非常勤・・・ 人 ⇒換算数 人

※厚生労働省が実施する「介護サービス施設・事業所調査」で回答された各職種の従事者数のペー
ージのコピーを返信用封筒に同封していただき、従事者数の合計 (再掲の数値は除外) を上
の表に記入してください。調査票は、9月下旬～10月上旬(平成28年5月2日～9月30日ま
で)に事業を開始した施設・事業所は11月中旬)にお手元に届いています。

※詳細は、厚生労働省ホームページをご確認ください。
<http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/soshiki/toukei/tp160815-01.html>

※雇用形態に関わらず、施設・事業所が定める1週間の勤務時間 (所定労働時間) のすべてを勤
務する場合は「常勤」、勤務しない場合は「非常勤」としてください。

※常勤兼務には、「常勤専従」分は含めません。

※換算数は下記の式により求められます。

換算数 =

従事者の1週間の勤務延長時間 (残業除く)

当該施設・事業所において常勤の従事者が勤務すべき1週間の時間数 (所定労働時間)

問5～問22は、居宅介護支援事業所の方への質問です。居宅介護支援事業所以外の方は7ページの問23へ進んでください。

居宅介護支援事業所の方にお聞きます。

問5 地域密着型サービスのうち、今後さらに整備が必要と思われるサービスはどれですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------|------------------------|
| 1 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 | 2 夜間対応型訪問介護 |
| 3 認知症対応型通所介護 | 4 地域密着型通所介護 |
| 5 小規模多機能型居宅介護 | 6 看護小規模多機能型居宅介護 |
| 7 認知症対応型共同生活介護 | 8 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 |
| 9 特に必要はない | |

問6 小規模多機能型居宅介護の利用者数(需要)に対する事業所数(供給)の関係について、どのように思われますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------|----------------|
| 1 事業所が多すぎる | 2 事業所がやや多い |
| 3 適正な事業所数である | 4 事業所がやや不足している |
| 5 事業所が不足している | |

問7 貴事業所では、小規模多機能型居宅介護には、どのように対応していますか。(○は1つ)

- | |
|---|
| 1 利用者からの問い合わせがあった場合は小規模多機能型居宅介護事業所の連絡先の紹介を行っている |
| 2 利用者からの問い合わせがあった場合は小規模多機能型居宅介護事業所に連絡を取り、利用者を紹介している |
| 3 自法人内で実施しているので、まずそこを紹介している |
| 4 基本的に小規模多機能型居宅介護は紹介せず、複数のサービスを組み合わせるなどにより対応している |
| 5 その他 () |
| 6 特に具体的な対応はしていない |

問8 定期巡回・随時対応型訪問介護看護の利用者数(需要)に対する事業所数(供給)の関係について、どのように思われますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------|----------------|
| 1 事業所が多すぎる | 2 事業所がやや多い |
| 3 適正な事業所数である | 4 事業所がやや不足している |
| 5 事業所が不足している | |

問9 定期巡回・随時対応型訪問介護看護の課題は何だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---|
| 1 利用者がサービスの内容や利用方法を知らない |
| 2 ホームヘルパーが変わることを利用者が好まない |
| 3 ケアマネジャーがサービスの内容や利用方法を知らない |
| 4 要支援1・2の方の利用ができない |
| 5 夜間対応型訪問介護のサービスで十分である |
| 6 夜間の訪問介護のニーズは少ない |
| 7 利用者の家の鍵を事業者に預けるなど、夜間に事業者が訪問することに不安がある |
| 8 その他 () |
| 9 わからない |

問10 区内のケアマネジャーの質についてどのように感じていますか(貴事業所のケアマネジャーを含む)。(○は1つ)

- | |
|-----------------------------------|
| 1 利用者本位の自立支援に向けたケアマネジメントができています |
| 2 概ね利用者本位の自立支援に向けたケアマネジメントができています |
| 3 利用者本位の自立支援に向けたケアマネジメントができていない |
| 4 個人による差が大きく、一概には言えない |
| 5 その他 () |
| 6 わからない |

問11 自立・軽度化への取組について、どのような課題を感じていますか。(○は1つ)

- | |
|----------------------------------|
| 1 利用者の意欲がない |
| 2 介護保険サービスの支給限度額が低くなることを利用者が好まない |
| 3 自立・軽度化の取組に対する事業所へのインセンティブが足りない |
| 4 その他 () |

問12 ケアマネジャーの質の向上を図るために必要だと思われることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1 レベルや経験年数、テーマ別の研修 | 2 事業所でのOJT(職場内研修) |
| 3 ベテランのケアマネジャーによる指導 | 4 事例を使った検討会 |
| 5 個人の意識の向上 | 6 主任ケアマネジャーの質の向上 |
| 7 その他 () | |

問13 貴事業所のケアマネジャーの質の向上における課題は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|-----------------------------|
| 1 業務多忙のため、研修を受講する時間がない |
| 2 講師、内容、費用などの面で魅力的な研修内容がない |
| 3 事業所でのOJT(職場内研修)の体制が整っていない |
| 4 地域の課題を把握しきれていない |
| 5 その他 () |

問 14 貴事業所では、高齢者相談センターや支所とどのような連携をとっていますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------------|--|
| 1 地域支援事業での連携 | |
| 2 介護支援専門員に対する日常的な個別指導・相談 | |
| 3 地域における介護支援専門員のネットワーク | |
| 4 支援困難事例についての個別指導・相談 | |
| 5 支援を必要とする高齢者の早期発見・情報共有 | |
| 6 高齢者虐待や権利擁護についての相談や情報交換等 | |
| 7 その他 () | |
| 8 特にない | |

問 15 宿泊サービスについて、どう思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---|--|
| 1 特別養護老人ホームやショートステイなどの代替 (つなぎ) として利用者に勤めている | |
| 2 法外のサービスであり、サービスの質の維持が保証できないため勤めていない | |
| 3 消防・防災設備などが劣悪なところがあり、利用者の安全面で不安がある | |
| 4 宿泊時間帯の人員体制などに不安がある | |
| 5 利用者の囲い込みなどの貧困ビジネスになりかねない | |
| 6 その他 () | |

問 16 認知症グループホームの利用者数 (需要) に対する施設数 (供給) の関係について、
どのように思いますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------|---------------|
| 1 施設が多すぎる | 2 施設がやや多い |
| 3 適正な施設数である | 4 施設がやや不足している |
| 5 施設が不足している | |

問 17 平成 28 年 10 月 1 日時点の利用者数のうち、認知症による徘徊行動のある人は何人
いますか。(具体的に記入)

利用者のうち認知症による徘徊行動のある人・・・ 人

問 18 訪問看護ステーションの利用者数 (需要) に対する事業所数 (供給) の関係について、
どのように思いますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------|----------------|
| 1 事業所が多すぎる | 2 事業所がやや多い |
| 3 適正な事業所数である | 4 事業所がやや不足している |
| 5 事業所が不足している | |

問 19 通所介護 (地域密着型通所介護を含む) の利用者数 (需要) に対する事業所数 (供給) の
関係について、どのように思いますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------|----------------|
| 1 事業所が多すぎる | 2 事業所がやや多い |
| 3 適正な事業所数である | 4 事業所がやや不足している |
| 5 事業所が不足している | |

問 20 ショートステイの利用者数 (需要) に対する施設数 (供給) の関係について、どのように
思いますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------|---------------|
| 1 施設が多すぎる | 2 施設がやや多い |
| 3 適正な施設数である | 4 施設がやや不足している |
| 5 施設が不足している | |

問 21 都市型軽費老人ホームの利用者数 (需要) に対する施設数 (供給) の関係について、
どのように思いますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------|---------------|
| 1 施設が多すぎる | 2 施設がやや多い |
| 3 適正な施設数である | 4 施設がやや不足している |
| 5 施設が不足している | |

問 22 貴事業所で介護保険外サービスをケアプランに盛り込んでいる利用者 (練馬区民
以外も含む) は何人いますか。(要介護度別に具体的に記入)

- | | | | |
|------------|------------------------|------------|------------------------|
| ① 要支援 1・・・ | <input type="text"/> 人 | ② 要支援 2・・・ | <input type="text"/> 人 |
| ③ 要介護 1・・・ | <input type="text"/> 人 | ④ 要介護 2・・・ | <input type="text"/> 人 |
| ⑤ 要介護 3・・・ | <input type="text"/> 人 | ⑥ 要介護 4・・・ | <input type="text"/> 人 |
| ⑦ 要介護 5・・・ | <input type="text"/> 人 | ⑧ 総合事業対象者・ | <input type="text"/> 人 |

すべての事業所の方にお聞きします。

問 23 平成 28 年 10 月 1 日時点の貴事業所の利用者数（練馬区民以外も含む）について、要介護度別に記入してください。（具体的に記入）

- ① 要支援 1 人 ② 要支援 2 人
 ③ 要介護 1 人 ④ 要介護 2 人
 ⑤ 要介護 3 人 ⑥ 要介護 4 人
 ⑦ 要介護 5 人 ⑧ 総合事業対象者 人

問 24 上記の利用者は、平成 27 年 10 月 1 日時点と比較して、要介護度はどのように変化していますか。

- （例 要介護 3 から要介護 2 へ変化した場合改善として、人数を計算してください）
 ① 改善 人 ② 維持 人
 ③ 悪化 人

◆苦情対応について

問 25 サービス提供困難時（利用者からの過大な要求等）には、どのように対応していますか。（あてはまるものすべてに○）

- 1 関係する事業所（居宅介護支援事業部門等）に連絡を取り、適切な対応を図っている
 2 行政などと連携をとり、適切な対応を図っている
 3 他の指定介護事業所を紹介している
 4 その他（ ）

問 26 直近 1 年間で、利用者からどのような苦情を受けましたか。（○は 3 つまで）

- 1 サービス利用時間が短い 2 サービス利用回数が少ない（減った）
 3 サービスの種類が少ない 4 サービス内容に不満がある
 5 サービスが利用しづらい 6 サービス提供スタッフが不満がある
 7 その他（ ） 8 特に目立つ苦情はない

問 27 寄せられた苦情をどのように対応しましたか。（○は 1 つ）

- 1 事業所内ではほぼ対応した
 2 内部で解決できないものについては、関係機関へ連絡を取るなど、連携して対応した
 3 その他（ ）

◆サービスの質の向上について

問 28 貴事業所では、サービスの第三者評価を受審していますか。つぎのうち、受審された種類をお答えください。

- （○は 1 つ） （あてはまるものすべてに○）
 1 受審している  （受審した評価方式） 1 東京都福祉サービス評価機構
 2 受審していない 2 その他（ ）

問 29 サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか。（あてはまるものすべてに○）

- 1 サービス提供のガイドライン、マニュアルを作成している
 2 事故防止のためにヒヤリ・ハット事例の収集・共有を図っている
 3 利用者や家族に対し満足度調査を行っている
 4 積極的に外部評価を受けている（ISO、第三者評価等）
 5 独自の自己評価を実施している
 6 管理者が直接サービス提供の状況を確認し指導している
 7 現場のスタッフが自発的に多問題事例（介護以外の生活問題等）に関するケース検討会などを行っている
 8 現場スタッフに任せている
 9 意見箱を設置している
 10 各種研修会、学習会・セミナーの実施や参加
 11 その他（ ）
 12 特に行っていない

問 30 サービス提供を通して利用者の身に起こり得る事故（例：転倒・誤嚥）について、貴事業所で事故防止や、同様の事故を繰り返さないために講じている取組はどのようなものがありますか。（あてはまるものすべてに○）

- 1 事故防止マニュアルの作成 2 事故防止研修の実施
 3 ヒヤリ・ハット報告の徹底 4 事故発生時の対応マニュアルの作成
 5 応急処置技能研修の実施 6 感染症予防マニュアルの作成
 7 その他（ ） 8 特にない

◆事業所運営について

問 31 平成 28 年 10 月 1 日時点の貴事業所の定員数と稼働状況についておたずねします。（具体的に記入。サービス種別によっては、定員を登録と読み替えてお答えください。時間帯によって利用者を入れ替えている場合は、合計の人数で記入してください。定員・登録と異なるサービス種別については定員数に一を記入してください。）

- ① 定員数 人 ② 定員数のうちの平均利用者数 人

問 32 貴事業所では、介護保険外サービスを提供していますか。(○は1つ)

- 1 提供している 2 提供を検討している 3 提供していない (→問 34 へ進む)

(問 32 で1または2と回答した事業所におたずねします。)

問 33 つぎの介護保険外サービスのうち、貴事業所で提供あるいは提供を検討しているものはどれですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 介護保険サービスの上乗せ・付加価値付与サービス
(支給限度基準額を超えて利用したサービス、介護保険サービスに付加価値をつけるサービス)
- 2 家事援助等サービス
(掃除、洗濯、調理、買い物などの代行、ごみ出し、簡単な大工仕事、庭仕事・ペットの散歩等)
- 3 訪問サービス
(訪問理美容サービス、訪問マッサージ、訪問趣味講座、訪問生活健康相談等)
- 4 配食サービス
(調理した食事を居住地(自宅や施設等)まで配達するサービス)
- 5 物販等サービス
(日常生活用品や食材の通信販売・移動販売又は貸与・お届け等)
- 6 安否確認・緊急通報サービス
(定期訪問サービス、定期的な電話サービス、緊急通報・安否確認機器販売・貸与・設置)
- 7 移動支援・付き添いサービス
(移送サービス、通院・入院・外出付き添い等)
- 8 通い・サロンサービス
(喫茶・レストラン・会食サービス、生活健康講座・相談・指導サービス、趣味講座・レクリエーション等)
- 9 金銭管理・契約代行サービス
(成年後見、葬儀対応、残存家財整理、身元保証支援、金銭管理に関わる支援等)
- 10 その他 ()

(すべての事業所におたずねします。)

問 34 貴事業所では、要医療、認知症、障害などを有する利用者に対して、どのような対応を図っていますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 専門スタッフを配置している
- 2 専門の関係機関と常に連携をとり、緊急時の対応ができるようにしている
- 3 人材の募集・確保を図っている
- 4 その他 ()
- 5 特段の対応は図っていない

問 35 貴事業所では、要介護者が在宅生活を継続するためにはどのような条件が必要と考えますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 専門的なサービスの開発と提供
- 2 現行のサービスの提供量の拡大
- 3 利用者本人の自立生活志向を高める支援
- 4 介護者の身体的・精神的な負担の軽減
- 5 地域保健福祉関係機関との連携
- 6 訪問診療可能なかかりつけ医の存在
- 7 新サービスの創設(24時間対応サービス等)
- 8 その他 ()

問 36 貴事業所では、ターミナルケアへの対応はどのようにお考えですか。(○は1つ)

- 1 すでに実施している 2 検討段階である
- 3 対応は考えていない 4 その他 ()

問 37 貴事業所では、介護職員によるたんの吸引および経管栄養などの医療的ケアへの対応はどのようにお考えですか。(○は1つ)

- 1 すでに実施している 2 検討段階である
- 3 対応は考えていない 4 その他 ()

問 38 医療機関との連携について、貴事業所として取り組んでいることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 医療機関から利用者の健康管理や処置について助言を受けている
- 2 往診をしてくれる医師・医療機関がある
- 3 急変時の受け入れを依頼できる病院を確保している
- 4 提携病院があり、入院を受け入れてもらっている
- 5 職員への研修講師などをお願いしている
- 6 ケースカンファレンスへの参加
- 7 緊急時の対応
- 8 その他 ()
- 9 法人内で医療機関も経営しており、連携の問題はない
- 10 特になし

問 39 医療機関との連携を進める上での課題は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 医療機関の協力が得られない
- 2 情報共有システムが確立されていない
- 3 共有すべき情報がわからない
- 4 連携のための事務負担が大きい
- 5 連携の必要性を感じていない
- 6 個人情報保護に基づく情報提供の同意手続きが難しい
- 7 その他 ()

問 40 大地震などの大規模災害が発生した際の利用者の安否確認などについて、どのような取組を考えていますか。(○は1つ)

<ol style="list-style-type: none"> 1 現時点においては取組を考えていない 2 取組を行う予定はあるが、まだ検討していない 3 検討を始めている 4 すでに取組を行っている 	(→問41へ進む)
---	-----------

(問40で、3または4とお答えの事業所におたずねします。)

問40-1 取組の内容をお教えてください。(あてはまるものすべてに○)

<ol style="list-style-type: none"> 1 安否確認手順書の作成 2 安否確認の対象者名簿の作成 3 安否確認訓練の実施 4 その他 ()

(すべての事業所におたずねします。)

問41 事業を運営する上での課題は何ですか。(○は3つまで)

<ol style="list-style-type: none"> 1 新規利用者の獲得が困難 2 利用者一人あたりの利用料が少ない 3 設備・スタッフなどが不足し量的に利用者のニーズに応えられない 4 利用者や家族が介護保険制度やサービスをよく理解していない 5 利用者の身体状況の把握が難しい 6 利用者からの苦情や事故への対応 7 訪問や送迎が非効率(エリアが広い等) 8 入居者の認知症が重度化した場合の対応 9 スタッフの確保 10 スタッフが短期間で離職してしまう 11 スタッフの人材育成 12 責任者など中堅人材の確保・育成 13 他のサービス事業所との競合が激しい 14 他職種との連携 15 他のサービス事業所との連携 16 医療機関との連携 17 介護報酬が低い 18 その他 () 19 特に課題はない
--

◆新しい総合事業について

問 42 練馬区では、平成 27 年 4 月に新しい総合事業に移行しましたが、今後どのような効果を期待しますか。(あてはまるものすべてに○)

<ol style="list-style-type: none"> 1 健康寿命チェックシートにより、利用者へ迅速なサービスが提供できる 2 サービスの種類・単価など、利用者の選択肢が増える 3 一定の研修を受けた訪問サービス従事者など、新たな介護の担い手を発掘できる 4 事業所の介護人材が要介護度のより重度な方へ移行できる 5 練馬区の地域特性に応じたサービスを提供できる 6 その他 ()

問 43 多様なサービスの提供が新しい総合事業への移行の一つの目的ですが、今後、練馬区でより充実を図っていくべき多様なサービスはどのようなものだと思いますか。自由に記入ください。

<p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p>
--

◆地域との関わりについて

問 44 貴事業所では、地域の各種団体や組織(民生・児童委員、町会・自治会、地区社協等)との関わりはありますか。(あてはまるものすべてに○)

<ol style="list-style-type: none"> 1 事業所(施設も含む)の近隣の団体や組織との関わりがある 2 利用者の居住地域の団体や組織との関わりがある 3 特にない (→問45へ進む)

(問44で、1または2とお答えの事業所におたずねします。)

問44-1 それは、どのような団体・組織ですか。(あてはまるものすべてに○)

<ol style="list-style-type: none"> 1 民生・児童委員 2 町会・自治会 3 小・中学校 4 老人クラブ 5 社会福祉協議会 6 商店、商店街 7 ボランティア・NPO団体 8 マンション・団地の管理組合 9 その他 ()
--

問 44-2 問 44-1 の団体・組織とは、どのように関わっていますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------------|--|
| 1 介護や福祉についての専門知識や情報の提供・共有 | |
| 2 地域の集まりへの参加 | |
| 3 事業所側の催しへの招待 (施設内の行事等) | |
| 4 事業所 (施設) 内の機能の開放 (会議室等) | |
| 5 その他 () | |

(すべての事業所におたずねします。)

問 45 貴事業所で受け入れているボランティアの人数についておたずねします。
(具体的に記入)

- ① ボランティア人数.....人
- ② ボランティア人数のうちの高齢者数.....人

問 46 貴事業所でボランティアを受け入れる際の課題は何ですか。(○は3つまで)

- | | |
|--------------------------|--|
| 1 プライバシーや個人情報の保護が難しい | |
| 2 ボランティアに任せる業務の決定が難しい | |
| 3 個人の差が大きく業務を教えることが難しい | |
| 4 受け入れ体制 (指導・監督) が整えられない | |
| 5 利用者や家族からの信頼を得られない | |
| 6 募集してもボランティアが集まらない | |
| 7 ボランティアの確保・手続きがわからない | |
| 8 その他 () | |
| 9 ボランティアを受け入れる予定はない | |

問 47 練馬区介護サービス事業者連絡協議会 (区内介護サービス事業所で構成される団体) に期待することは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------|--|
| 1 サービスの質の向上に関する取組 | |
| 2 区や事業者間の連携強化に関する取組 | |
| 3 介護従事者の労働環境の向上に関する取組 | |
| 4 職員の質の向上のための研修の充実 | |
| 5 その他 () | |
| 6 特にない | |

◆人材の確保・育成について

問 48 貴事業所の職員の過不足状況についておたずねします。(○は1つ)

- | | | | | |
|------|------|--------|------|---------|
| 1 過剰 | 2 適正 | 3 やや不足 | 4 不足 | 5 大いに不足 |
|------|------|--------|------|---------|

問 49 貴事業所の過去3年間の採用者数と離職者数 (定年退職者は除く) についておたずねします。(派遣は除く。具体的に記入)

	【平成 25 年度】	【平成 26 年度】	【平成 27 年度】
① 新卒採用数.....	人	人	人
② 未経験者採用数.....	人	人	人
③ 経験者採用数.....	人	人	人
④ 離職者数.....	人	人	人

問 50 貴事業所では、介護人材の確保については、どのように取り組んでいますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------------------|--|
| 1 新聞広告などに求人募集を出す | |
| 2 ハローワークに求人募集を出す | |
| 3 練馬介護人材育成・研修センターの仕事セミナーや面接会に参加する | |
| 4 大学、専門学校などに求人募集を出す | |
| 5 知人など関係者からの紹介 | |
| 6 他事業所や施設の職員などを勧誘 | |
| 7 その他 () | |

問 51 貴事業所において、特に確保の困難な職種3つと、その不足数についておたずねします。
(3つの職種を下欄に記入し、その職種の不足人数を具体的に記入)

- | | | |
|------------------------|------------|------------|
| 1 サービス提供責任者 | 2 介護支援専門員 | 3 ホームヘルパー |
| 4 介護職 (ヘルパーおよび介護福祉士以外) | 5 保健師 | 6 看護師・准看護師 |
| 7 社会福祉士 | 8 介護福祉士 | 9 理学療法士 |
| 10 作業療法士 | 11 管理栄養士 | 12 事務職員 |
| 13 相談員 | 14 医師 | 15 栄養士 |
| 16 薬剤師 | 17 その他 () | |
- ① () 人 ② () 人 ③ () 人

(記入例) ① 1 (2 人) ② 3 (5) 人 ③ 4 (3) 人

問 52 貴事業所では、どのような研修や資格取得支援などを行っていますか。
(あてはまるものすべてに○)

- 1 事業所内での新規人材確保などのための資格取得支援の研修 (採用前)
- 2 事業所内での採用時研修 (新任研修)
- 3 事業所内での資格取得支援の研修 (既採用職員向け)
- 4 事業所内での定期的な現任研修の実施
- 5 事業所内での事例検討会や、外部研修受講者による報告会
- 6 練馬介護人材育成・研修センターが実施する研修などへの参加を奨励
- 7 練馬ケアマネジャー連絡会が実施する研修などへの参加を奨励
- 8 練馬区介護サービス事業者連絡協議会が実施する研修などへの参加を奨励
- 9 高齢者相談センターが実施する研修などへの参加を奨励
- 10 東京都社会福祉協議会が実施している研修などへの参加を奨励
- 11 その他民間団体が実施している研修などへの参加を奨励
- 12 研修などへ参加する際に、業務として勤務時間中に参加させている
- 13 有料の研修などへ参加する際の受講費用を補助
- 14 資格試験に合格した場合、受験料や登録費用などを補助
- 15 その他 ()

問 53 従業員の研修・教育などに関して困っていることは何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

- 1 人材育成のための時間がない
- 2 人材育成のための費用に余裕がない
- 3 従業員の自己啓発への意欲が低い
- 4 事業者や法人内における人材育成の優先順位が低い
- 5 指導をできる人材が少なく、または、いない
- 6 採用時期が別々で効率的な育成ができない
- 7 育成してもすぐに辞めてしまう
- 8 研修を受講させる人的な余裕がない
- 9 その他 ()
- 10 特にない

問 54 貴事業所では、従業員の早期離職防止や定着促進のためにどのような方策をとっていますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 労働時間 (時間帯・総労働時間) の希望を聞いている
- 2 育児・介護などの休暇制度の活用を奨励している
- 3 能力や仕事ぶりを評価し、配置や処遇に反映している
- 4 心身の健康管理に力を入れている
- 5 福利厚生を充実させ、職場内の交流を深めている
- 6 キャリアに応じた給与体系を整備している
- 7 新人の指導担当・アドバイザーを置いている
- 8 子育て支援 (託児所を設ける、保育費用の助成等) を行っている
- 9 その他 ()
- 10 特に何もしていない

問 55 貴事業所では、介護職員処遇改善加算を活用していますか。(○は1つ)

- 1 活用している
- 2 活用していない (→問 55-3 へ進む)

(問 55 で、「1 活用している」とお答えの事業所におたずねします。)

問 55-1 貴事業所では、介護職員処遇改善加算をどのように活用しましたか。
(あてはまるものすべてに○)

- 1 基本給の引き上げ
- 2 諸手当 (役職手当・精勤手当・資格手当等) の新設
- 3 諸手当 (役職手当・精勤手当・資格手当等) の引き上げ
- 4 従業員の増員による業務負担軽減
- 5 労働時間・労働日数の適正化
- 6 昇進・昇格要件の明確化
- 7 非常勤従業員の常勤への登用
- 8 教育研修の充実
- 9 福利厚生の充実
- 10 その他 ()
- 11 特にない

問 55-2 介護職員処遇改善加算は、職員の離職防止に効果があると思いますか。
(○は1つ)

- 1 とても効果がある
- 2 効果がある
- 3 あまり効果がない
- 4 効果がない
- 5 わからない

[問 56 へ進んでください]

問 59 貴事業所の経済連携協定 (EPA) に基づく外国人介護人材の活用状況についておたずね
 します。(○は1つ)

- 1 既に活用済みである
- 2 今後、活用予定である
- 3 活用に向けて検討中である
- 4 関心はあるが、具体的な検討はしていない
- 5 活用の予定はない
- 6 わからない
- 7 受け入れ対象のサービス (施設) ではない

問 60 練馬介護人材育成・研修センターの研修について、貴事業所の人材確保・育成への
 効果はありますか。(○は1つ)

- 1 効果がある
- 2 一部、効果がある
- 3 あまり効果がない
- 4 効果がない
- 5 センターを利用したことがない
- 6 わからない

【1～4、6とお答えの事業所は問 62 へ進んでください】

(問 60 で、「5 センターを利用したことがない」とお答えの事業所におたずねします。)

問 61 利用したことのない理由は何か。(あてはまるものすべてに○)

- 1 センターがあることを知らなかった
- 2 利用方法がわからない
- 3 利用したい研修内容がない
- 4 利用したいが時間的余裕がない
- 5 利用したいが代替職員が確保できない
- 6 その他 ()

(すべての事業所におたずねします。)

問 62 介護人材の確保・育成について、練馬区に取り組んでほしいことは何ですか。
 (あてはまるものすべてに○)

- 1 練馬区の介護現場で働く魅力の発信
- 2 集団就職相談会などの開催の充実
- 3 資格取得時の費用負担の充実 (介護職員初任者研修以外にも拡大)
- 4 採用・教育、職員の定着などに関する相談・アドバイス
- 5 採用・教育、職員の定着などに関する自己チェックツールの提供
- 6 その他の事業所の優良事例に関する情報発信
- 7 練馬区内の介護事業所で勤務を希望している人材の登録制度
- 8 将来の担い手である小中学校へのアプローチ
- 9 その他 ()
- 10 特にない

(問 55 で、「2 活用していない」とお答えの事業所におたずねします。)
 問 55-3 活用していない理由は何か。(あてはまるものすべてに○)

- 1 書類手続などが複雑だから
- 2 書類の書き方がわからないから
- 3 日常の業務が忙しいから
- 4 加算の必要性を感じないから
- 5 その他 ()

(すべての事業所におたずねします。)

問 56 貴事業所はキャリアパスを作成していますか。(○は1つ)

- 1 作成している (→問 57 へ進む)
- 2 作成していない

(問 56 で、「2 作成していない」とお答えの事業所におたずねします。)

問 56-1 作成していない理由は何か。(あてはまるものすべてに○)

- 1 書類手続などが複雑だから
- 2 書類の書き方がわからないから
- 3 日常の業務が忙しいから
- 4 加算の必要性を感じないから
- 5 法人規模などにないから
- 6 その他 ()

問 56-2 今後キャリアパスを作成する予定はありますか。(○は1つ)

- 1 作成する予定がある
- 2 作成する予定はない
- 3 わからない

(すべての事業所におたずねします。)

問 57 貴事業所の介護ロボットの活用状況についておたずねします。(○は1つ)

- 1 既に導入済みである
- 2 今後、導入予定である
- 3 導入に向けて検討中である
- 4 関心はあるが、具体的な検討はしていない
- 5 導入の予定はない
- 6 わからない

※ロボット：①情報を感知 (センサ系)、②判断し (知能・制御系)、③動作する (駆動系)、3つの要
 素技術を有する、知能化した機械システムを指す。ロボット技術が応用され利用者の自立支援や介護者の
 負担の軽減に役立つ介護機器を介護ロボットという。

問 58 介護ロボットなどの導入についての導入について、練馬区に取り組んでほしいことは何ですか。(○は1つ)

- 1 介護ロボットの展示・試用コーナーの設置
- 2 介護ロボットの操作方法などの研修の実施
- 3 介護ロボットの購入費の一部助成
- 4 介護ロボットではなく、移乗用具の購入費の一部助成
- 5 その他 ()

◆介護保険制度改正について

問 63 平成27年4月の介護保険制度改正による影響はありましたか。(○は3つまで)

- | |
|-------------------------------------|
| 1 ケアプランの見直しが必要となった |
| 2 介護報酬の改定により、収益が増えた |
| 3 介護報酬の改定により、収益が減った |
| 4 制度が複雑化し、利用者への説明が難しくなった |
| 5 細かな変更が多く、現場での対応に苦慮した |
| 6 制度改正について利用者から苦情が寄せられた |
| 7 以前よりも人材確保が困難になった |
| 8 加算などの手続きのため事務負担が増えた |
| 9 利用者数の減少（自己負担割合が2割になった方の利用控えによる減少） |
| 10 利用者数の減少（新しい総合事業へ移行したことによる減少） |
| 11 その他（ |
| 12 特にない |

問 64 納馬区の介護保険および高齢者保健福祉施策について、貴事業所の利用者から寄せられた意見がございましたら、自由にご記入ください。

問 65 介護保険制度に対する要望・ご意見などありましたら、自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。12月26日(月)までに同封の返信用封筒でご返送ください。切手は不要ですので、そのままご投函ください。

練馬区高齢者基礎調査

◆ 調査へのご協力をお願い ◆

日頃から、練馬区政にご理解とご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。区では、新たな「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の策定に着手しています。この調査は、高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画がより実りある計画となるよう、施設入所者の皆さまを対象に、生活場所や申し込みの理由、現在の状況およびニーズを把握させていただくために実施するものです。

調査の対象者として、区内の高齢者向け施設の入所者の方を対象に、調査票を送付させていただきます。

ご回答いただいた内容は、統計情報の作成のみに使用します。個人が特定される形での公表や、他の目的での使用はいたしません。ご協力いただきますようお願いいたします。

平成28年12月 練馬区

◆ 調査票のご記入にあたって ◆

- 調査票上の「あなた」とは、封筒に印刷されたあて名ご本人を指します。
- 回答は、あてはまる番号に○をつけてください。質問文にある「○は1つ」「あてはまるものすべてに○」などの指示にしたがってご回答ください。また、ご意見や数字などを直接ご記入いただく質問もあります。
- 質問の回答が、「その他」にあてはまる場合は、() 内になるべく具体的にその内容を ご記入ください。
- 回答はできる限り、対象者ご本人がご記入ください。なお、対象者ご本人一人での回答がむずかしい場合は、ご家族の方などにお手伝いいただき、対象者ご本人の意見を聞いた上で代わりにご記入ください。
- ご記入いただいた調査票は、**平成29年1月13日(金)まで**に、添付の封筒に入れて施設の職員にお渡しください。
- この調査票および返信用封筒へのお名前のご記入は不要です。

この調査は、練日本能率協会総合研究所に委託して実施しています。

調査についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

【調査委託元】

練馬区 高齢施策担当部 高齢社会対策課 計画係

【調査実施・お問い合わせ先】 練日本能率協会総合研究所 担当：田中、政岡

電話：0120-876-300 (フリーダイヤル)

受付時間：月曜日～金曜日 (平日) 10:00～17:00

調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。

- 1 あて名のご本人が記入
- 2 ご家族が記入 (あて名のご本人からみられた続柄)
- 3 その他

◆あなたのご家族や生活状況について

問1 あなたの性別と、平成28年12月1日現在の満年齢を教えてください。

① 性別 (○は1つ) ② 年齢 (右詰めで記入)

1 男性			
2 女性			歳

問2 あなたのお住まいはどちらですか。記入例のように、町名と丁目をご記入ください。

町名		丁目
----	--	----

(記入例) 町名 光が丘 丁目 3

問3 あなたが現在の施設に入所される前の家族構成をお教えてください。(○は1つ)

- 1 1人暮らし
- 2 夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)
- 3 夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)
- 4 息子・娘との2世帯
- 5 その他

問4 現在、あなたにはお子さんがいらっしゃいますか。(○は1つ)

- 1 いる
- 2 いない (→問5へ進む)

(問4で、「1 いる」とお答えの方におたずねします。)

問4-1 お子さんの中で、最も日頃よく行き来しているお子さんの家は、どこにありますか。(通常、使っている交通手段での時間。○は1つ)

- | | | |
|---------|-------------|---------|
| 1 30分未満 | 2 30分～1時間未満 | 3 1時間以上 |
|---------|-------------|---------|

(すべての方におたずねします。)

問5 あなたの年収 (配偶者がいる場合はご夫婦を合わせた年収。年金を含む) はどのくらいですか。(○は1つ)

- | | | |
|-----------------|---------------|---------------|
| 1 100万円未満 | 2 100～200万円未満 | 3 200～300万円未満 |
| 4 300～400万円未満 | 5 400～500万円未満 | 6 500～700万円未満 |
| 7 700～1,000万円未満 | 8 1,000万円以上 | 9 わからない |

問6 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(○は1つ)

- | | | |
|------------|---|----------|
| 1 大変苦しい | } | (→問7へ進む) |
| 2 やや苦しい | | |
| 3 ふつう | | |
| 4 ややゆとりがある | | |
| 5 大変ゆとりがある | | |

(問6で、1または2とお答えの方におたずねします。)

問6-1 経済的に暮らしが苦しい場合、何を節約されていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|--------------|---------|---------------|
| 1 飲食費 | 2 光熱水費 | 3 服飾費 (衣類、履物) |
| 4 趣味の費用 | 5 保健医療費 | 6 交通費 (車、電車等) |
| 7 通信費 (電話代等) | 8 教養費 | 9 介護保険サービスの利用 |
| 10 その他 () | | |

(すべての方におたずねします。)

問7 あなたは現在どこで生活していますか。(○は1つ)

- | | |
|-----------------|-----------|
| 1 認知症高齢者グループホーム | 2 有料老人ホーム |
| 3 サービス付き高齢者向け住宅 | 4 その他 () |

問8 現在の施設に入所されてどれくらいですか。(○は1つ)

- | | |
|------------|------------|
| 1 半年未満 | 2 半年以上1年未満 |
| 3 1年以上2年未満 | 4 2年以上3年未満 |
| 5 3年以上5年未満 | 6 5年以上 |

(施設への入所前のお住まいについておたずねします。)

問9 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(○は1つ)

- | | |
|--------|--------|
| 1 一戸建て | 2 集合住宅 |
|--------|--------|

問10 お住まいは、つぎのどれにあたりませんか。(○は1つ)

- | | | |
|----------------------------|---|-----------|
| 1 自分または家族などの持家 | } | (→問12へ進む) |
| 2 民間賃貸住宅 | | |
| 3 公的賃貸住宅 (区・都営、UR都市機構、公社等) | | |
| 4 その他 () | | |

(問10で、「1 自分または家族などの持家」とお答えの方におたずねします。)

問11 入所前のお住まいはどちらでしたか。(○は1つ)

- | |
|----------------|
| 1 現在も家族が住んでいる |
| 2 入所にあたり売却した |
| 3 入所にあたり賃貸した |
| 4 現在は空き家になっている |
| 5 その他 () |

◆あなたの心身の状況について

問12 あなたの「現在」の要介護度は、つぎのうちどれですか。(○は1つ)

- | | | | |
|------------|----------|--------|-----------|
| 1 要支援1 | 2 要支援2 | 3 要介護1 | 4 要介護2 |
| 5 要介護3 | 6 要介護4 | 7 要介護5 | 8 総合事業対象者 |
| 9 認定なし・非該当 | 10 わからない | | |

問13 あなたの「施設入所前」の要介護度は、つぎのうちどれですか。(○は1つ)

- | | | | |
|------------|----------|--------|-----------|
| 1 要支援1 | 2 要支援2 | 3 要介護1 | 4 要介護2 |
| 5 要介護3 | 6 要介護4 | 7 要介護5 | 8 総合事業対象者 |
| 9 認定なし・非該当 | 10 わからない | | |

問14 あなたは、現在、つぎにあげるような医療器具を利用したり、医療処置を受けたりしていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|-----------------|------------|---------------|
| 1 胃ろう・経管栄養 | 2 気管切開 | 3 インスリン注射 |
| 4 尿管カテーテル | 5 人工肛門 | 6 在宅酸素 |
| 7 ペースメーカー | 8 人工透析 | 9 たんの吸引 |
| 10 褥瘡 (床ずれ) の処置 | 11 その他 () | 12 あてはまるものはない |

問15 医師から認知症と診断されたことがありますか。(○は1つ)

- | |
|--|
| 1 認知症専門医 (物忘れ外来、老年内科、精神科、心療内科、神経内科等) に診断されたことがある |
| 2 認知症専門医以外 (かかりつけ医等) に診断されたことがある |
| 3 医師ではないが、認定調査員による認定調査で指摘されたことがある |
| 4 診断されたことはない |

◆特別養護老人ホーム入所申し込み状況について

問16 あなたは、特別養護老人ホームに入所を申し込み込んだことがありますか。(○は1つ)

- | |
|--------------------------|
| 1 ある |
| 2 ない (→問17へ進む) |
| 3 覚えていない、わからない (→問18へ進む) |

(問16で、「1 ある」とお答えの方におたずねします。)

問16-1 特別養護老人ホームに申し込んでいた理由は何か。

(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---------------------------|
| 1 将来の介護に不安を感じたため |
| 2 1人暮らしで介護する同居の家族がいなかったため |
| 3 家族が働いており、介護する家族がいなかったため |
| 4 家族が精神的・身体的に疲れていたので |
| 5 住居がバリアフリー化されていなかったため |
| 6 他の施設と比べて安価だったため |
| 7 その他 () |

問 16-2 特別養護老人ホームへの入所申し込みはどなたが決定しましたか。(○は1つ)

1 本人	2 夫	3 妻	4 息子
5 娘	6 子の夫	7 子の妻	8 親
9 孫	10 兄弟姉妹	11 その他 ()	

【問 18 へ進んでください】

(問 16 で、「2 ない」とお答えの方におたずねします。)

問 17 特別養護老人ホームに入所を申し込んでいない理由(以前、申し込んだことがある方は、現在、申し込んでいない理由)は何ですか。(○は1つ)

1 現在の入所施設で十分なサービス(医療・介護)が受けられるから
2 現在の生活に満足しているから
3 生活する場所を変えたくないから
4 自由に過ごせなくなってしまうから
5 自宅から離れた施設には入りたくないから
6 申し込んでも入れないから
7 介護が必要ではないから
8 自立しているから
9 その他 ()
10 特にない

(すべての方におたずねします。)

問 18 あなたは、今後、特別養護老人ホームに入所を申し込みますか。(○は1つ)

1 申し込む	2 申し込まない
3 介護が必要になったら申し込む	4 わからない

◆介護について

問 19 介護保険は、介護が必要になった方も、尊厳を保持し、その方の有する能力に応じた自立した日常生活を営むことができるよう、社会みんなが支える制度です。その保険料は、区全体の介護保険サービスの利用状況や過去の実績などから、3年ごとに決まります。介護保険のサービスと保険料の関係について、あなたのお考えに最も近いものはどれですか。(○は1つ)

1 保険料が今より高くなっても、施設や在宅サービスの水準を上げる方がよい
2 施設や在宅サービスの水準は現状程度とし、保険料の上昇は高齢者人口の伸びなどによる影響の範囲に抑える方がよい
3 サービスの水準が低下しても、保険料は安い方がよい
4 わからない

問 20 あなたは、介護保険料についてどのよう感じていますか。(○は1つ)

1 負担と感じる	2 多少負担と感じる	3 どちらともいえない
4 それほど負担とは感じない	5 負担とは感じない	6 わからない

問 21 あなたは、介護保険サービスの利用料(食費や娯楽費などの実費負担は除く)についてどのよう感じていますか。(○は1つ)

1 負担と感じる	2 多少負担と感じる	3 どちらともいえない
4 それほど負担とは感じない	5 負担とは感じない	6 わからない

◆入所施設の状況について

問 22 つぎのサービスのうち、現在の入所施設で利用している介護保険外サービスはどれですか。(あてはまるものすべてに○)

1 介護保険サービスの上乗せ・付加価値付与サービス (支給限度基準額を超えて利用したサービス、介護保険サービスに付加価値をつけるサービス)
2 家事援助等サービス (掃除、洗濯、調理、買い物などの代行、ごみ出し、簡単な大工仕事、庭仕事・ペットの散歩等)
3 訪問サービス (訪問理美容サービス、訪問マッサージ、訪問趣味講座、訪問生活健康相談等)
4 配食サービス (調理した食事を居住施設まで配達するサービス)
5 物販等サービス (日常生活用品や食材の通信販売・移動販売又は貸与・お届け等)
6 安否確認・緊急通報サービス (定期的な電話サービス、緊急通報・安否確認機器販売・貸与・設置)
7 移動支援・付き添いサービス (移送サービス、通院・入院・外出付き添い等)
8 通い・サロンサービス (喫茶・レストラン・会食サービス、生活健康講座・相談・指導サービス、趣味講座・レクリエーション等)
9 金銭管理・契約代行サービス (成年後見、葬儀対応、残存家財整理、身元保証支援、金銭管理に関わる支援等)
10 その他 ()
11 いずれも利用していない

} (→問 24 へ進む)

(問22で、1～9とお答えの方におたずねします。)

問23 問22で○をつけたサービスのうち、満足しているサービスの理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○をつけ、その理由を下の欄の①～⑩から選び、記入してください)

A：利用しているサービスのうち満足しているサービス すべてに○	B：満足している理由を下 の欄からあてはまるもの のすべてを選び記入
(記入例) ② 家事援助等サービス	(① ② ③)
1 介護保険サービスの上乗せ・付加価値付与サービス	()
2 家事援助等サービス	()
3 訪問サービス	()
4 配食サービス	()
5 物販等サービス	()
6 安否確認・緊急通報サービス	()
7 移動支援・付き添いサービス	()
8 通い・サロンスervice	()
9 金銭管理・契約代行サービス	()

【満足している理由】

- ① 利用回数や時間が希望に合う
- ② 技術的にしっかりしている
- ③ 料金が安い (適切である)
- ④ 契約内容どおりのサービス提供である
- ⑤ サービスについての説明が十分である
- ⑥ 不満や要望をしっかりと聞いてもらえる
- ⑦ 担当者との気が合う
- ⑧ プライバシーへの配慮がしっかりしている
- ⑨ 緊急時に対応してくれる
- ⑩ その他 ()

(すべての方におたずねします。)

問24 現在の入所施設の満足度を教えてください。(○は1つ)

- 1 満足している
- 2 少しは満足している
- 3 どちらともいえない
- 4 少し不満である
- 5 不満である

問25 現在の入所施設の満足な点を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- 1 自宅から近い
- 2 家族が面会に来る際に交通が便利
- 3 居室タイプが希望と合っている
- 4 入所前に利用していた介護保険サービスと同じ法人が運営している
- 5 近隣で同じ法人が運営しているデイサービスなどを利用できる
- 6 必要な介護保険サービスが受けられる (介護専門職が十分いる)
- 7 必要な介護保険外サービスが受けられる
- 8 必要な医療処置を受けられる
- 9 自立支援に向けたリハビリなどの機能訓練サービスが受けられる
- 10 日中のプログラムが充実している
- 11 緊急時にも対応が可能である (24時間対応)
- 12 施設の防犯・見守りがしっかりしている
- 13 職員が親切で対応が良い
- 14 部屋や建物の環境が充実している
- 15 施設の雰囲気が良い
- 16 栄養管理の行き届いた食事が食べられる
- 17 おいしい食事が食べられる
- 18 料金が安い
- 19 最期までいられる
- 20 話し相手やクラブ活動など仲間との交流がある
- 21 すぐに入所できた
- 22 その他 ()
- 23 特にない

問26 現在の入所施設で今後さらに充実を期待することは何ですか。(○は3つまで)

- 1 家族が面会に来やすい (交通が便利) こと
- 2 必要な介護保険サービスが受けられる (介護専門職が十分いる) こと
- 3 必要な介護保険外サービスが受けられること
- 4 必要な医療処置を受けられること
- 5 自立支援に向けたリハビリなどの機能訓練サービスが受けられること
- 6 日中のプログラムが充実していること
- 7 緊急時にも対応が可能である (24時間対応) こと
- 8 施設の防犯・見守りがしっかりしていること
- 9 職員が親切で対応が良くなること
- 10 部屋や建物の環境が充実すること
- 11 栄養管理の行き届いた食事が食べられること
- 12 おいしい食事が食べられること
- 13 最期までいられること
- 14 話し相手やクラブ活動など仲間との交流があること
- 15 その他 ()
- 16 特にない

問 27 現在の入所施設にあるとよいサービスは何ですか。(○は3つまで)

- 1 24時間必要に応じて看護師やヘルパーが来てくれるサービス
- 2 24時間必要に応じて医師が往診してくれるサービス
- 3 リハビリ・レクリエーションなど機能訓練サービス
- 4 医療機関や介護施設（事業者）との連絡調整サービス
- 5 看取りへの対応
- 6 24時間対応可能な相談サービス（コンシェルジュ）
- 7 配食サービス
- 8 家事代行サービス
- 9 買い物や銀行、病院への送迎サービス
- 10 その他（ ）

◆区の施策・情報について

問 28 あなたは、保健福祉や介護保険に関する知識・情報を何から得ていますか。(○は3つまで)

- 1 ねりま区報
- 2 練馬区ホームページ
- 3 高齢者相談センター（地域包括支援センター）
- 4 「わたしの便利帳」「高齢者の生活ガイド」など区の刊行物
- 5 高齢者向けホームページ「シニアナビねりま」
- 6 社会福祉協議会の相談窓口
- 7 回覧板・掲示板
- 8 新聞・雑誌・テレビ・ラジオ
- 9 インターネット
- 10 家族・友人
- 11 病院などの医療機関
- 12 その他（ ）
- 13 特にない

問 29 高齢者保健福祉施策や介護保険について、ご意見やご要望がございましたら、下欄にご記入ください。

.....

.....

.....

.....

.....

※次ページからの入所前に介護をしていた方（介護者）へのアンケートにもご協力をお願いいたします。介護者がいない方は、ここで調査は終了です。

ここからは入所前に介護をしていた方（介護者）におたずねする質問です。

問 30 主に介護していた方は、あて名のご本人のご家族ですか。(○は1つ)

- 1 家族である (→問30-1へ進む)
- 2 家族ではない →以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました。

(問30で、「1 家族である」とお答えの方におたずねします。)

問 30-1 あて名のご本人を主に介護していたご家族の性別・年齢・続柄・健康状態について、あてはまるものにそれぞれ○をつけてください。(それぞれ○は1つ)

性別 (○は1つ)	1 男性	2 女性	
年齢 (○は1つ)	1 40歳未満	2 40歳代	3 50歳代
	4 60歳代	5 70歳代	6 80歳以上
続柄 (○は1つ) *あて名ご本人からみた続柄でお答えください。	1 夫	2 妻	3 息子
	4 娘	5 子の夫	6 子の妻
	7 親	8 孫	9 兄弟姉妹
	10 その他（ ）		
健康状態 (○は1つ)	1 とてもよい	2 まあよい	
	3 あまりよくない	4 よくない	

問 31 あて名のご本人の介護期間を教えてください。(○は1つ)

1 1年未満	2 1～3年未満	3 3～5年未満
4 5～8年未満	5 8～10年未満	6 10年以上

問 32 主に介護していたご家族の方について、あて名のご本人の入所前と入所後の就労状況について教えてください。(○は1つずつ)

入所前 (○は1つ)	1 正規社員	2 非正規社員	
	3 パート・アルバイト	4 無職	5 その他（ ）
入所後 (○は1つ)	1 正規社員	2 非正規社員	
	3 パート・アルバイト	4 無職	5 その他（ ）

問 33 主に介護をしていた方は、あて名のご本人の介護以外に育児（自分の子どもや孫の世話）や他の家族の方の介護もされていませんか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 子（未就学児）の育児をしていた
- 2 孫（未就学児）の世話をしていた
- 3 他の家族の介護もしていた
- 4 本人の介護のみしていた
- 5 その他（ ）

問 34 在宅での介護について、困ったり、負担に感じていたことはありませんか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 本人に正確な症状を伝えるのが難しかった
- 2 来客の際に気を遣った
- 3 日中、家を空けることに不安を感じていた
- 4 本人の言動が理解できなことがあった
- 5 本人に受診を勧めても同意してもらえなかった
- 6 適切な対応や介護方法がわからなかった
- 7 介護を家族など他の人に任せてよいか、悩むことがあった
- 8 誰に、何を、どのように相談すればよいかわからなかった
- 9 家族や親族に介護を協力してもらえなかった
- 10 家の構造が介護をするのに適していなかった
- 11 サービスを利用したら本人の状態が悪化した(したことがあった)
- 12 睡眠時間が不規則になり、健康状態がおもしくなかつた
- 13 身体的につらかった(腰痛や肩こり等)
- 14 精神的なストレスがたまっていた
- 15 自分の用事を済ませることができなかつた
- 16 自分の自由になる時間が持てなかつた
- 17 先々のことを考える余裕がなかつた
- 18 経済的につらいと感じたときがあった
- 19 その他()
- 20 特に困っていなかつた

問 35 介護をしていてつらい時、どこ(だれ)に相談しましたか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 家族・親族
- 2 近所の人
- 3 民生・児童委員
- 4 ボランティア
- 5 介護家族の会などの集まり
- 6 社会福祉協議会
- 7 ケアマネジャー
- 8 医師・医療機関
- 9 在宅サービスを行っているホームヘルパー・訪問看護師等
- 10 高齢者相談センター(地域包括支援センター)
- 11 その他()
- 12 どこにも(誰にも)相談しなかつた

問 36 介護者ご自身の視点から、現在の入所施設を申し込んだ理由は何か。(あてはまるものすべてに○)

- 1 将来の介護に不安を感じるため
- 2 働いており介護する家族がいないため
- 3 高齢あるいは病弱で、介護が困難なため
- 4 精神的に疲れているため
- 5 身体的に疲れているため
- 6 在宅サービスを使いたくないため
- 7 地域に十分な介護保険サービス事業者がいないため
- 8 本人が1人暮らしで、介護する同居の家族がいないため
- 9 ショートステイ(短期入所介護)が必要なく使えないため
- 10 デイサービス(通所介護)が必要なく使えないため
- 11 24時間のホームヘルプ(訪問介護)サービスが必要なく使えないため
- 12 現在の在宅サービスの内容に不満があるため
- 13 その他()
- 14 特にない

問 37 介護者ご自身の視点から、入所施設に期待することは何か。(あてはまるものすべてに○)

- 1 専門的な介護が受けられること
- 2 24時間体制で介護が受けられること
- 3 掃除、洗濯などの家事を代わりにやってくれること
- 4 防犯、防災面などで安心できること
- 5 孤独にならないこと
- 6 在宅の介護保険サービスより費用が安くなること
- 7 その他()
- 8 特にない

ご協力ありがとうございました。平成 29 年 1 月 13 日 (金) までに添付の返信用封筒に入れて施設の職員にお渡しください。

なお、この調査票および返信用封筒へのお名前のご記入は不要です。

介護予防・日常生活圏域ニース調査
【調査票（必須項目）】

- 調査票を記入する際は、各項目で該当する数字に○をつけてください。
- 調査票記入後は、3つ折りにし同封の返信用封筒に入れて、
____月 ____日()までに投函してください。

記入日	平成	年	月	日
調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。				
1. あて名のご本人が記入				
2. ご家族が記入 (あて名のご本人からみた続柄)				
3. その他				

____ (市・町・村) ____ 課

____ 係

____ 圏域

個人情報の取り扱いについて

個人情報の保護および活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。
なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと見なさせていただきます。

【個人情報の保護および活用目的について】

- この調査は、効果的な介護予防政策の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報は、市町村による介護保険事業計画策定と効果評価の目的以外には利用いたしません。また当該情報については、市町村内で適切に管理いたします。
- ただし、介護保険事業計画策定時および効果評価時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理する市町村外のデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析することがあります。

問1 あなたのご家族や生活状況について	
(1) 家族構成をお教えてください	1. 1人暮らし 2. 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上) 3. 夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下) 4. 息子・娘との2世帯 5. その他
(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか	1. 介護・介助は必要ない 2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない 3. 現在、何らかの介護を受けている (介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)
(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか	1. 大変苦しい 2. やや苦しい 3. ふつう 4. ややゆとりがある 5. 大変ゆとりがある
問2 からだを動かすことについて	
(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
(3) 15分位続けて歩いていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない
(5) 転倒に対する不安は大きいですか	1. とても不安である 2. やや不安である 3. あまり不安でない 4. 不安でない
(6) 週に1回以上は外出していますか	1. ほとんど外出しない 2. 週1回 3. 週2~4回 4. 週5回以上
(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか	1. とても減っている 2. 減っている 3. あまり減っていない 4. 減っていない
問3 食べることについて	
(1) 身長・体重	身長 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> cm 体重 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> kg
(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい 2. いいえ
(3) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください (成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)	1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用 2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし 3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用 4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし

(4) どなたかと食事をともにする機会がありますか		
1. 毎日ある	2. 週に何度かある	3. 月に何度かある
4. 年に何度かある	5. ほとんどない	

問4 毎日の生活について		
(1) 物忘れが多いと感じますか		
1. はい	2. いいえ	
(2) バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可)		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
(3) 自分で食品・日用品の買物をしていますか		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
(4) 自分で食事の用意をしていますか		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
(5) 自分で請求書の支払いをしていますか		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
(6) 自分で預貯金の出し入れをしていますか		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない

問5 地域での活動について						
(1) 以下のような会・グループ等にとどのくらいの頻度で参加していますか (老人クラブ・町内会・自治会の活動をのぞきます) ※① - ④それぞれに回答してください						
	週4回以上	週2~3回	週1回	月に3~4回	年に5~6回	参加して いない
① ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
② スポーツ関係のグループや クラブ	1	2	3	4	5	6
③ 趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④ 学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に <u>参加者として参加してみたい</u> と思いますか						
1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない						
(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたは <u>その活動に企画・運営 (お世話役) として参加してみたい</u> と思いますか						
1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない						

問6 たすけあいについて

あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいます

(1) あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（いくつでも）

1. 配偶者
2. 同居の子ども
3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
5. 近隣
6. 友人
7. その他（ ）
8. そのような人はいない

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（いくつでも）

1. 配偶者
2. 同居の子ども
3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
5. 近隣
6. 友人
7. その他（ ）
8. そのような人はいない

(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（いくつでも）

1. 配偶者
2. 同居の子ども
3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
5. 近隣
6. 友人
7. その他（ ）
8. そのような人はいない

(4) 反対に、看病や世話をしてあげる人（いくつでも）

1. 配偶者
2. 同居の子ども
3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
5. 近隣
6. 友人
7. その他（ ）
8. そのような人はいない

問7 健康について

(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか

1. とてもよい
2. まあよい
3. あまりよくない
4. よくない

(2) あなたは、現在のどの程度幸せですか
（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください）

- | | | | | | | | | | | | | |
|-----------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----------|
| とても
不幸 | 0点 | 1点 | 2点 | 3点 | 4点 | 5点 | 6点 | 7点 | 8点 | 9点 | 10点 | とても
幸せ |
|-----------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----------|

(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか

1. はい
2. いいえ

(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか

1. はい
2. いいえ

(5) タバコは吸っていますか

1. ほぼ毎日吸っている
2. 時々吸っている
3. 吸っていたがやめた
4. もともと吸っていません

(6) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (いくつでも)

1. ない
2. 高血圧
3. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)
のうしゅつけつ・のうこうそくなど
4. 心臓病
5. 糖尿病
とうにょうびょう
6. 高脂血症 (脂質異常)
こうしけつしやう ししつあじやう
7. 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)
8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気
9. 腎臓・前立腺の病気
じんぞう ぜんりつせん
10. 筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)
きんこつかく こつそ
11. 外傷 (転倒・骨折等)
がいしやう てんとう こつせつなど
12. がん (新生物)
13. 血液・免疫の病気
めいぶき
14. うつ病
15. 認知症 (アルツハイマー病等)
にんちしやう
16. パーキンソン病
17. 目の病気
18. 耳の病気
19. その他 ()

■■■■以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました■■■■

在宅介護実態調査 調査票

基本調査項目のみ

被保険者番号[]

【A票の聞き取りを行った相手の方は、どなたですか】(複数選択可)

1. 調査対象者本人
2. 主な介護者となつている家族・親族
3. 主な介護者以外の家族・親族
4. 調査対象者のケアマネジャー
5. その他

A票 認定調査員が、概況調査等と並行して記載する項目

問1 世帯類型について、ご回答ください(1つを選択)

1. 単身世帯
2. 夫婦のみ世帯
3. その他

問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)(1つを選択)

1. ない
2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない
3. 週に1～2日ある
4. 週に3～4日ある
5. ほぼ毎日ある

問3 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください(1つを選択)

1. 20歳未満
2. 20代
3. 30代
4. 40代
5. 50代
6. 60代
7. 70代
8. 80歳以上
9. わからない

問4 ご家族やご親族の中で、ご本人(認定調査対象者)の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません)(複数選択可)

1. 主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)
2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く)
3. 主な介護者が転職した
4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した
5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない
6. わからない

※ 自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

● **ここから再び、全員に調査してください。**

問5 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください(1つを選択)

1. 入所・入居は検討していない
2. 入所・入居を検討している
3. すでに入所・入居申し込みをしている

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、特定施設(有料老人ホーム等)、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

● 問2で「2.」「5.」を回答し、さらに「主な介護者」が調査に同席している場合は、「主な介護者」の方にB票への回答・ご記入をお願いしてください。

● 「主な介護者」の方が同席されていない場合は、ご本人(調査対象者の方)にご回答・ご記入をお願いしていただきます(ご本人にご回答・ご記入をお願いすることが困難な場合は、無回答で結構です)。

B票 主な介護者様、もしくはご本人様にご回答・ご記入頂く項目

※主な介護者様、もしくはご本人様にご回答・ご記入(調査票の該当する番号に○)をお願い致します。

問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください(1つを選択)

1. フルタイムで働いている
2. パートタイムで働いている
3. 働いていない
4. 主な介護者に確認しないと、わからない

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」「パートタイム」のいずれかを選択してください。

問2 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていきますか(複数選択可)

1. 特に行っていない
2. 介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている
3. 介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている
4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている
6. 主な介護者に確認しないと、わからない

問3 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていくそうですか(1つを選択)

1. 問題なく、続けていく
2. 問題はあるが、何とか続けていく
3. 続けていくのは、やや難しい
4. 続けていくのは、かなり難しい
5. 主な介護者に確認しないと、わからない

● **ここから再び、全員の方にお伺いします。**

問4 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください(現状で行っているか否かは問いません)(3つまで選択可)

【身体介護】

1. 日中の排泄
2. 夜間の排泄
3. 食事の介助(食べる時)
4. 入浴・洗身
5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等)
6. 衣服の着脱
7. 屋内の移乗・移動
8. 外出の付き添い、送迎等
9. 服薬
10. 認知症状への対応
11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)

【生活援助】

12. 食事の準備(調理等)
13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)
14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き

【その他】

15. その他
16. 不安に感じていることは、特になし
17. 主な介護者に確認しないと、わからない

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

練馬区高齢者基礎調査等報告書

平成 29 年（2017 年）3 月発行

編集・発行 練馬区 高齢施策担当部 高齢社会対策課
〒176-8501 東京都練馬区豊玉北 6 丁目 12 番 1 号
電話：03-5984-4584（直通）



古紙配給率70%再生紙を使用しています



この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。